

昭和五十八年一〇月

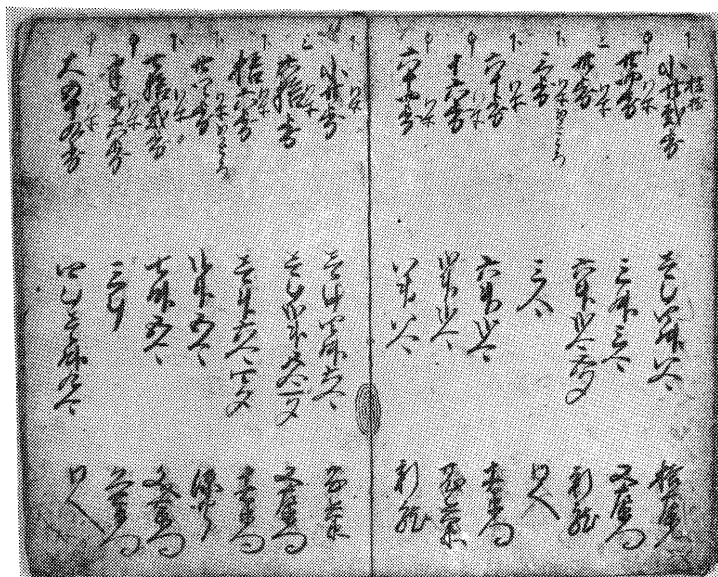
史料館所蔵史料目録 第三十八集

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録
(その一)

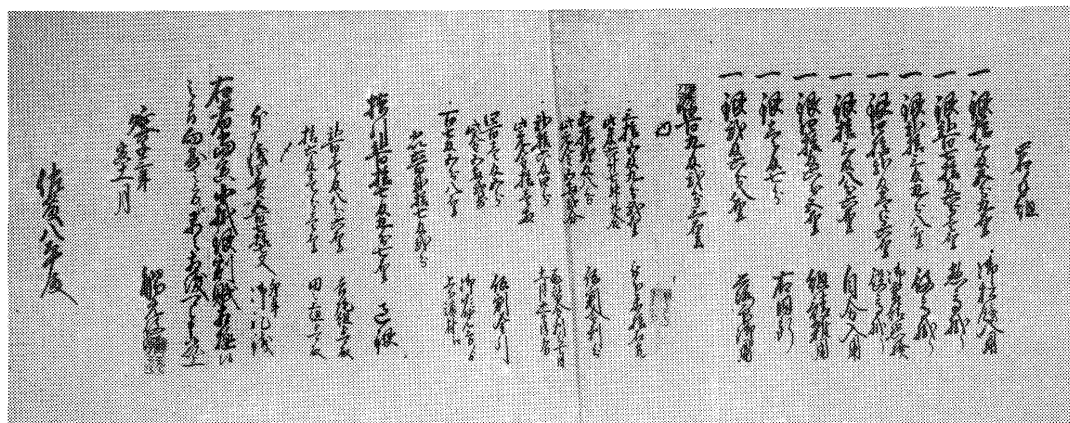
史料館

史料館所蔵史料目録 第三十八集

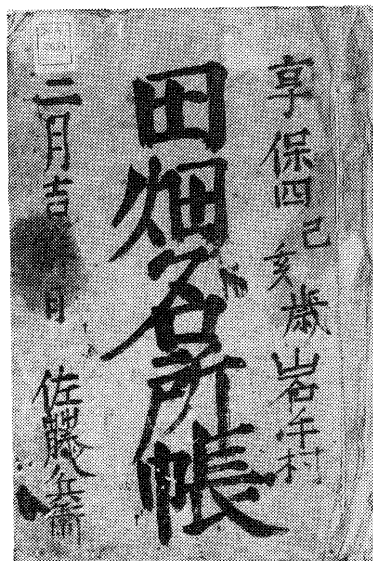
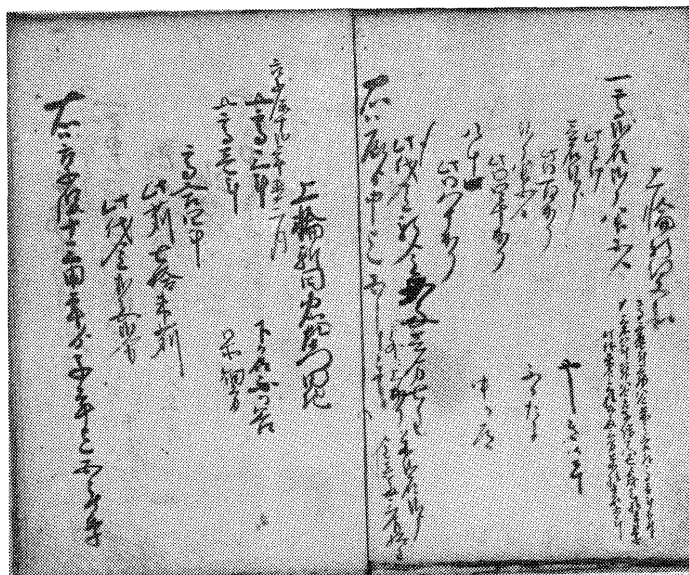
越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録
(その二)



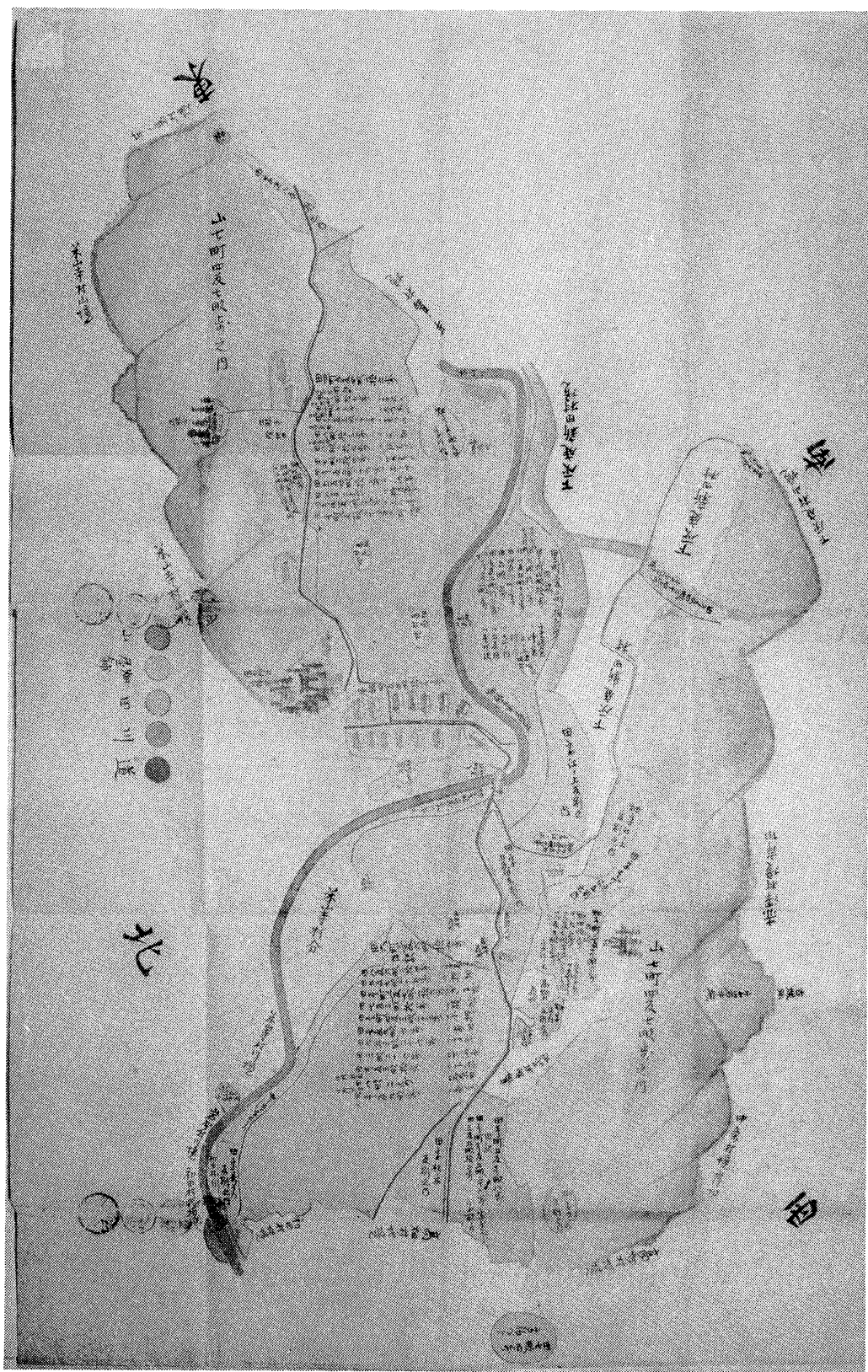
頸城郡夷守郷岩手村御検地帳 慶長三年八月七日（整理番号8001）



岩手組寅小掛銀配賦目録 延享三年十一月（整理番号 673）



佐藤八兵衛田畑名所帳 享保四年二月（整理番号2635）



岩手県地籍図 (差出宛名書部分略) 明治四年七月 (整理番号 9027)

凡 例

- 一 本目録は『史料館所蔵史料目録』第三十八集として、越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その一）を収めた。
- 一 史料は利用上の便宜を考慮して、その内容・性格等に応じ、大・中・小の項目を立てて分類配列した。大項目は一二ポイント活字、中項目は一〇ポイント活字、小項目は九ポイントゴチック活字で示した。また、必要に応じて〇印で細項目を示した。なお、内容が多岐にわたり、他の項目中にも掲げることが妥当と考えた史料は、*印を付して重出した。
- 一 小項目（ないし細項目）の中の史料の配列は、原則として年次順である。
- 一 史料目録の記載欄はほぼ、(一)表題 (二)作成者または差出人 (三)宛名 (四)作成年次 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。但し、裏書・継添書などのある複合文書で右の(二)～(四)を単一に表現できないものについては、/（斜線）のあとに複合部分の作成者・宛名・作成年月日を付記する方法を採った。
- 一 表題（史料名称）は、冊子型史料については原則として表紙記載の原表題を採り、原表題の無いものには仮に命名して（ ）を付した。書付型史料については原表題の無いものが多いので原則として仮表題を掲げ、この場合にはいちいち（ ）を付けることをしなかった。また内容摘記は「」内に八ポイント活字をもって併記した。
- 一 作成年次は年月日もしくは干支を採り、推定年次の場合は（ ）を付した。
- 一 史料の形態は、冊子型史料では半（半紙判）、横半（半紙判横綴）、美（美濃判）、横美（美濃判横綴）、美大（美濃大判）、半半（半紙半截判）、横長半（半紙横長判）、横長美（美濃横長判）、横長美大（美濃大横長判）、横半半（半紙半截横長判）、横美半（美濃半截横長判）などによって原書の大概を示すにとどめた。また書付型史料は通をもつて数量を示し、紙形の大小・寸法などは省略した。絵図類は縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。
- 一 数量の上部に示した仮は仮綴本、合は合冊本、板は木版本、刊は活字本であることを示す。
- 一 史料の利用にあたっては、巻末の解題を参照されたい。

目次

口絵

凡例

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録(その一).....

目次.....

目録.....

解題.....

頁

一

三

五

二七三

越後国
頸城郡
佐藤家
文書目録
(その一)

越後国 頸城郡 岩手村 佐藤家文書目録(その一)目次

支配	頁	貢租・諸懸〔組合村〕	頁	小懸取立指引帳	頁
幕府法制・地方書	五	願書・請書	三〇	願書・請書	四四
領知	五	定免、その他	三〇	損地・毛付	四四
分限帳、鄉村高帳	五	損地書上帳、合毛帳、秋毛目録	三	損地書上帳、仕付荒地書上帳、検見・悪作引方	四四
組合村	五	年貢・小物成	三	書出	四四
触書・御用留、夫人足・伝馬御用、御林、才覚金	五	割付・皆済、先納金、年貢米積帳、小物成定役増減役書上帳、納方元帳、小物成大豆代金取立帳、年貢米村々場帳、蔵米・廻米・払米、刺米勘定帳、年貢米小物成諸色入用目録、年貢米金皆済勘定目録	三	割付・皆済	四四
岩手村	九	郡中割	三	皆済請合証文、年貢割付状、年貢皆済目録、郡中・組内小懸割賦目録、郡中・組内小懸請取目録、年貢米小物成諸色入用目録	四四
土地	一五	夫人足・伝馬御用、普請人足入用、郡中小懸配賦目録、高田小懸割賦帳、縄・蔵・藁	三	村内割賦	六九
組合村	一五	組内割	四〇	免割帳、小物成諸役并小懸割賦帳	六九
検地帳・高反別帳、小前高附帳、起返地、質地証文控	一五	書出、高田宿旅籠銭等割賦帳、村方小入用割賦帳、下条陣屋・蔵方入用割賦帳、宗門改・五人組改・本寺改入用割賦帳	四〇	取立・納入	七〇
岩手村	一七	郡中・組内小懸取立	四三	先納金、蔵納小手形帳・小手形・廻し米手形、上納諸役銀小懸差引取立帳、取立諸帳面、御年貢米金場帳、取立勘定差引帳、郷蔵場詰帳、郷蔵入費夏暮割帳、置扱、未進	七〇
明治期土地制度	三				
地租改正、地押調査、土地台帳、地図更正、絵図・地図	三				

廻米……………	二二	村政〔組合村〕……………	一四	寺社書上、太神宮、村社八幡宮、正眼院、密藏院、明治期寺社明細帳・上知 払下関係書類……………	一六
津出帳、今町会所、江戸廻米……………	二四	村況……………	一四	近代村政……………	一六
地租・地方税・村費……………	二四	村明細帳、新田・道橋……………	一五	町村編制、学校、講金・資金、物産・ 営業、用状、耕地整理事業、その他	一七
普請修繕入費、大区小区制期、三新法 制期、市町村制期……………	二九	村役人……………	一五	争論・訴訟……………	一七
普請……………	二九	死亡・退役・跡役、改判・改名、その 他……………	一五	組合村……………	一七
組合村……………	二九	諸伺・届書……………	一五	用水争論、土地・貸借争論、村役人・ 村方勘定争論、その他……………	一八
国役普請、郡中割・郷割普請、岩手組 諸村普請所……………	三三	災害・救恤……………	一五	岩手村……………	一八
岩手村……………	三三	地震損所、山崩・火事、水旱損・虫付、 拝借米金……………	一五	用水争論、山林争論、土地・貸借争論、 村方勘定争論……………	一九
川除普請、用水堰普請、橋普請、普請 人足用具留帳、明治期普請修繕入費……………	三三	治安・吟味……………	一五	佐藤家〔地主経営〕……………	一九
戸口……………	三三	諸稼……………	一五	家産……………	一九
組合村……………	三三	相場、酒造、蠟……………	一五	所持地、地券、貸金・所得……………	一九
宗門改帳、人別増減書上、新家・禿家 ・棟役増減、他国出・出奔・帰村、改 寺改宗、引越、他領縁組、諸職・渡世、 剃髪……………	三三	寺社……………	一五	土地金融証文……………	一九
岩手村……………	三三	寺社書上、楞嚴寺、その他……………	一五	土地証文（佐藤家宛）、米金借用証文 （佐藤家宛）、金子請取証文（佐藤家 宛）、頼母子証文、佐藤家差出証文、 他家宛証文・その他……………	一九
家数・人馬数、宗門改帳、戸籍、五人 組書上帳、人別増減帳、新家・禿家・ 棟役増減・引越、改寺改宗、他国出稼 ・出奔・帰村、縁組、人別送状・送籍 ・寄留、改判・改名、渡世・奉公、剃 髪、その他……………	三三	村政〔岩手村〕……………	一五	地主帳簿……………	三三
		村況……………	一五	田地入立米金元帳、貸元帳、作物取揚 収納米留帳、取立勘定差引帳、諸勘定 差引書留帳、立会勘定帳、請払帳、田 地入立元差引帳、米金差引元帳、米納	
		村明細帳、道路、村絵図……………	一五		
		村役人・村議定……………	一五		
		村役人、村議定……………	一五		
		諸願・届・詫書……………	一五		
		災害・救恤……………	一五		
		治安……………	一五		
		諸稼……………	一五		
		酒造、蠟、鮭鮎漁、その他……………	一五		
		寺社……………	一五		

得米元仕出帳、預米貸米代積り立勘定	
仕上仮帳、田畑山林入付米取立帳、万	
書留帳、諸支弘明細簿、産米・売米	
諸村支配地	三三
小作地経営、争論・一件	
佐藤家〔家政〕	三五
家政	三五
家系、相統・縁組、葬儀・法事、病氣	
・ 出産、旅行・湯治、交際、奉公人、	
寄進、神道、火事、家作普請、日記、	
書状	
家計・事業	三六
家計帳簿、通帳、代金勘定書・請取書、	
木材、酒株、石油	
代官手代文書	三六
幕府法制・地方書、諸国幕領史料	
記録・学芸	三七
風聞・諸記録、蔵書目録、文芸、書札	
・ 手本、医事・薬事	

越後国 頸城郡 岩手村 佐藤家文書目録(その一) (文書記号 28A・57A)

支配

幕府法制・地方書

――『佐藤家「家政」』『代官手代文書』(二六九頁)を見よ

領知

分限帳

(榊原家分限帳写) (年欠)

郷村高帳

越後国頸城郡・三嶋郡郷村々高反別鑑并繩手石盛帳 元禄七年八月

越後国頸城郡内郷村高帳 寛保二年六月

陸奥国白川・田村・岩瀬・石川郡之内郷村高帳 篠田孫左衛門外五名 辻六郎左衛門宛 寛保二年四月

八ヶ郷惣高役高仕訳帳 宝暦二年九月

高附覚(潟町組・才浜組・馬正面組村々高付その他) 湯本氏 明和二年二月

佐藤家文書目録 支配 領知 組合村

黒岩組惣高役高附・寺院御除地高・下条岩堰水 下高 星野半左衛門 (文化年間力) 横半半 一冊 四
元黒岩組惣高役高三役人名前印鑑 惣代所 文 横美半 一冊 三
政五年二月
榊原様御知行所村々高 (年欠) 12.5 x 15.8cm 一冊 八三三

組合村

触書・御用留

○御触留

享保十五戌の宝暦元申迄御触書 牧野駿河守様御預地が已来 当武求在役中 佐藤氏 享保一五年 半袋入 二冊 三
宝暦元年

宝暦二申の明和四亥迄御触書其外書留 武求在役中 佐藤氏 宝暦二年 明和四年 半袋入 一冊 三〇六

○御用留

亥御用留 佐藤八平 寛保三年 半 一冊 三

子年御用留帳 佐藤八平 寛保四年 半 一冊 六

丑御用書留 延享二年 半 一冊 六

御用書留 延享三年 半 一冊 六

御用留 佐藤 延享四年一月 半 一冊 六

御用留 佐藤 延享五年一月	半	一冊	六
御用留 佐藤氏 寛延三年一月	半	一冊	六
御用留 佐藤八平 宝曆二年一月	半	一冊	六三九
御用留 佐藤 宝曆四年一月	半	一冊	七
御用留 佐藤 宝曆六年一月	半	一冊	七
御用留 佐藤 宝曆一〇年一月	半	一冊	七
御用留 宝曆一二年	半	一冊	七
御用留 宝曆一三年一月	半	一冊	七
御用留 宝曆一四年一月	半	一冊	七
御用留 岩手組 明和二年一月	半	一冊	七
御用留 岩手組 明和四年一月	半	一冊	七
御用留 明和五年	半	一冊	七
○御用書留・村方触出帳			
(御用書留帳) 享保一六年・寛保二年	横長美	一冊	二三
(御用書留帳) 寛保二年・延享元年	横長美	一冊	二三
(紙背) 元文五年二月岩手村御年貢米金割賦并百姓銘々上納帳・寛保三年下美守郷岩手組村々庄屋組頭名前書上、その他	横長美	一冊	二三
御用書留帳 延享二年	横長半	一冊	二三
(御用書留帳) 佐藤氏 (延享四年九)	横長半	一冊	五二四
御用書留帳 寛延元年	横長半	一冊	一六三
(已御用書留・村方触出帳) 寛延二年	横長半	一冊	一三三
(辛未御用書留・村方触出帳) (宝曆元年)	横長半	一冊	一六五

(壬申御用書留・村方触出帳) (宝曆二年)	横長半	一冊	一六四
癸酉御用書留・村方触出帳 宝曆三年	横長半	一冊	一三四
(甲戌御用書留・村方触出帳) 宝曆四年	横長半	一冊	一三五
(丙子御用書留・村方触出帳) 宝曆六年	横長半	一冊	五二五
丁丑御用書留・村方触出帳 宝曆七年	横長半	一冊	一六六
己卯御用書留・村方触出帳 宝曆九年	横長半	一冊	一六七
(庚辰御用書留・村方触出帳) (宝曆一〇年)	横長半	一冊	一六八
辛巳御用書留・村方触出帳 宝曆一一年	横長半	一冊	一六九
壬午御用書留・村方触出帳 宝曆一二年	横長半	一冊	一七〇
癸未御用書留・村方触出帳 宝曆一三年	横長半	一冊	一七一
(甲申御用書留・村方触出帳) 宝曆一四年	横長半	一冊	一七二
乙酉御用書留・村方触出帳 明和二年	横長美	一冊	一七三
(丙戌御用書留・村方触出帳) 明和三年	横長半	一冊	一七四
丁亥御用書留・村方触出帳 明和四年	横長半	一冊	一七五
戊子御用書留・村方触出帳 明和五年正月吉日	横長半	一冊	一七六
○御用状			
御用方状綴 佐藤八平外宛 明和三年	一綴	二通	四七九
○他領触書写			
延享二年正月廿三日從御勘定所被仰出候御書付之写前子年神尾若狭守様御巡村之節御林并諸永引被仰渡候趣を以御改方書付 佐藤八平書留	半	一冊	二九五
延享二年四月一三日			

御料所江被仰渡候御書付写
〔去辰御取箇引戻し
之儀ニ付、三月二日被仰渡候趣〕 寛延二年四月朔日
半 一冊 二九四

〔前々々御制禁被仰出候儀一村限御請一札写〕
越後国頸城郡何村百姓・名子・家抱・水春・百姓代・
組頭・庄屋 久保平三郎様御役所宛 宝曆九年八月
半 一冊 二九六

○その他

諸御用書留帳 黒岩組平沢村兼帯庄屋善兵衛扣 文
化一一年 一冊 五〇三

夫人足・伝馬御用

○巡見使

御巡見様ニ付御触書 高田領奉行・大肝煎所 桜
町新田外一三ヶ村庄屋中宛 延享三年二月 半 一冊 三

御巡見様御名・御紋・荷印・鎚印留御朱印人馬
之御触書 佐藤 延享三年四月 横長半 一冊 一八六

御巡見様御通之節鉢崎詰鯨波迄継人馬組々元帳
附 岩手組人馬割覚 一通 横長美 一冊 一八七

御巡見様御用一件人馬割合指引帳 岩手組扣
御巡見様御用御役人木錢割合 延享三年七月 横長美 合一冊 一八六

御巡見様御用諸雜用割賦元写 延享三年七月 横長美 一冊 一八六

寅年御巡見様御通行ニ付御伝馬人足鉢崎詰・上
下浜詰・鉢崎道作勤元 小懸り割方庄屋竹直村嘉
左衛門外五名連印 延享三年 横長美 一冊 一八六

〔御巡見様御通行上下浜詰人馬組々割帳〕 触元
役所 寅〔延享三年〕 横長美 一冊 二九六

岩手組当夏御巡見様諸入用割賦状 触元役所
佐藤八平宛 寅〔延享三年カ〕八月 横長美 一通 四三三

御巡見様人馬割〔鉢崎宿寄人馬〕 触本役所 百間
町組藤七・山方村半之助・桜町村又右衛門宛 巳〔宝
曆一一年〕五月 横長美 一冊 一八七

御巡見様御役御道具 万日記 宝曆一一年五月 横長半 一冊 一八七

御巡見ニ付人馬積之覚 触元役所 熊田六右衛門
外一七名宛 巳〔宝曆一一年カ〕六月 横長半 一冊 一八七

○佐州御用

佐州御伝馬割 丹波守様同断 〔寛保二年〕 横長美 一冊 一八六

佐州御用ニ付鉢崎御人馬賃銀渡帳 小懸割庄屋惣
代黒岩村権右衛門外五名 宝曆二年一月 横長美 一冊 一八六

目籠人足鉢崎詰村々割勤帳 岩手組 安永七年閏
七月二日 横長半 一冊 一八五

○領主御用

御用留〔鉢崎宿人馬御用其外ニ付〕 寛政元年一〇月 横半 一冊 一八五

岩手組勤方帳〔上下浜詰人馬勤方帳〕 〔年欠〕 横長半 一冊 一八五

上下浜詰鉢崎迄 人足継所 佐藤八平扣 〔年欠〕 横長半 一冊 一八五

〔上下浜詰并鉢崎詰組々人馬勤方帳〕 〔年欠〕 横長半 一冊 一八五

岩手組大肝煎佐藤八平野扶持米請取証文下書
〔去丑年就御用御役人様方郷出被成候節野扶持方米〕
壹番御藏宛 延享三年二月 横長半 一通 四三七

御 林

岩手組大肝煎佐藤八平野扶持米請取証文下書
〔御用ニ付御役人中様方在中へ御出被成候節野扶持方
米〕 何番御藏宛 延享五年二月一〇日 横長半 一通 四三三

猿毛御林御立会之節入用人足書出帳 大肝煎佐藤八平 小野浅右衛門・三宅与市郎宛 延享元年六月	橫長美	一冊	六二
岩手組大肝煎佐藤八平錢請取証文控(去子六月猿毛御林 ^二 而御立会之節御入用錢) 山御奉行所宛 延享二年八月		一通	四三二
猿毛村野扶持米請取帳 猿毛村庄屋作左衛門外一名 大肝煎所宛 延享二年閏二月	橫長平	一冊	六五五
才 覚 金			
子暮才覚上ヶ金米丑郷藏御宛米御手形之扣 延享元年	橫長美	一冊	四九二
築山貞四郎等才覚金請取証文 岩手組黒岩村佐五右衛門宛 延享二年閏二月一日/領奉行奥判		一通	五〇七
筑山貞四郎等才覚金請取証文写并馬正面村楡井美右衛門添書 黒岩村佐五右衛門宛 延享二年閏二月一日四日/添書(証文本紙御領方役所江指上候旨) 明和四年閏九月、尾崎文藏奥書証判		一通	五〇八
筑山貞四郎等才覚金請取証文 岩手組黒岩村佐五右衛門宛 延享三年四月/領奉行奥判		一通	五〇八
筑山貞四郎等才覚金請取証文 岩手組黒岩村佐五右衛門宛 延享三年四月/領奉行奥判		一通	五〇八
筑山貞四郎等才覚金請取証文 岩手組黒岩村佐五右衛門宛 延享三年五月/領奉行奥判		一通	五〇八
筑山貞四郎等才覚金請取証文 岩手組大肝煎佐藤八平宛 延享三年六月/領奉行奥判		一通	五〇九
(才覚金宛米勘定帳下書) 佐藤八平 延享三年二月	橫長美	一冊	四六六
岩手組大肝煎佐藤八平御米買上証文(佐五右衛門利米買上証文) 戸井田権右衛門・豊田武左衛門宛 延享四年二月		一通	四九二
岩手組黒岩村佐五右衛門口上願書写(佐五右衛門指上才覚金御借延 ^二 付 去御年貢米七百俵代金難渋之旨、御手当御勘弁願) 御手代中宛 延享四年三月		一通	四九四
岩手組大肝煎佐藤八平金子内借証文写并黒岩村佐五右衛門請取一札(才覚金返済金として) 御手代中宛 寛延三年二月/請取一札 佐藤八平連印 一二月二五日		一通	五〇四
岩手組大肝煎佐藤八平金子内借証文写并黒岩村星野佐五右衛門請取一札(才覚金返済金として) 野口理左衛門・筑山貞四郎宛 宝暦元年二月/請取一札 佐藤八平宛 一二月二六日		一通	五〇五
岩手組大肝煎佐藤八平金子内借証文写并黒岩村星野佐五右衛門請取一札(才覚金返済金として) 野口理左衛門外二名宛 宝暦二年二月/請取一札 佐藤八平宛		一通	五〇六
岩手組大肝煎佐藤八平金子内借証文写并黒岩村星野佐五右衛門請取一札(才覚金返済金として) 野口理左衛門外二名宛 宝暦三年二月/請取一札 佐藤八平宛 戊(宝暦四年) 六月		一通	五〇七
岩手組大肝煎佐藤八平金子内借証文写并黒岩村星野佐五右衛門請取一札(才覚金返済金として) 御手代中宛 宝暦四年二月/請取一札 佐藤八平宛 亥(宝暦五年) 二月		一通	五〇八
岩手組大肝煎佐藤八平金子内借証文写并黒岩村佐五右衛門請取一札(才覚金返済金として) 野口理左衛門外三名宛 宝暦五年二月/請取一札 一二月二六日		一通	五〇九
本先納 小物成先納八平佐五右衛門勘定仕訳帳 御預地才覚 宝暦二一年二月 横長美		一冊	九〇九
岩手組大肝煎佐藤八平請取手形控(才覚金御借金証文請取手形并返済金請取手形) 石栗儀太夫宛 明和四年二月		一通	五〇九

大肝煎佐藤八平書置覺〔寛延三年、宝曆五年迄六ヶ年御取斗金九十兩之儀、才覺金返濟分ニ付、返納不要之旨〕 黒岩村孫右衛門・岩手村惣左衛門宛 明和四年二月 一通 五〇九

筑山貞四郎書狀〔金子調達筋無之三付、御才覺願〕 佐藤八平宛 五月二日 一通 四九六

佐五右衛門・八平才覺指上金仕証文下書〔年欠〕 〔紙背〕佐藤八平御借戻上納金請取証文控 卯〔延享四年カ〕 一一月一五日 星野佐五右衛門宛 一通 四九五

岩 手 村

触書・布告・御用留

○触書・請書

〔風儀・儉約〕

触書写〔百姓町人孝行之者并 格別農業出精之者等褒賞方触書〕 享保五年一〇月 二通 四九五

門左衛門外四名五人組連判請証文〔博奕停止・博奕打の者宿泊禁止其外〕 庄屋友右衛門・与頭善兵衛・同安左衛門宛 享保一年九月 一通 四三三

被仰出候御書付之写〔博奕禁止其外百姓風儀取締〕 領奉行 大肝煎・村々庄屋・組頭宛 天明七年二月、寛政元年六月二九日 美 一冊 一七三

天明九酉正月寛政三亥年十二月御触書請印〔百姓風儀取締其外〕 黒岩組村々庄や 寛政五年八月 美 一冊 一七四

被仰渡御請書〔百姓風儀取締其外〕 黒岩組庄や中 寛政五年八月二五日 美 一冊 一七五

博奕御吟味御請書 黒岩組中〔庄屋与頭連印〕 大肝煎所宛 寛政五年八月 美 一冊 一七六

〔穢多・非人・虚無僧・修験・替女・座頭其外浪人・跡之者取締ニ付触書写〕 領奉行所 未一〇月四日 半 一冊 一七

御請書〔農業等閑ニ致候者其外取締〕 黒岩組岩手村兼常庄屋平助外村役人小前二五名 文政五年三月 美 一冊 一七

〔博奕禁止其外百姓風儀取締ニ付触書并請書控〕 〔天明七年〕文政三年 美 一冊 一七

〔質素儉約其外ニ付組中一統取極一札控〕 天保四年 半 一冊 一八

御請書控〔百姓風儀取締〕 元黒岩組岩手村扣〔惣百姓連印〕 御奉行中宛 天保五年二月 美 一冊 一八

取極一札〔質素儉約其外〕 何組何村村々三役〔佐藤氏控〕 天保五年四月 美 一冊 一八

天保六未年被仰渡書写〔旅僧修験替女座頭并浪人跡之者取締り〕 領奉行所 天保六年一〇月四日 半 一冊 一八

御請書〔質素儉約〕 高畑組岩手村庄屋啓助外村役人・百姓二五名 御奉行所宛 天保一三年六月／高畑組大肝煎湯本多十郎奥印 美 一冊 一八

〔浪人・跡之者取締ニ付御触書請書控〕 高畑組何村庄屋・与頭・百姓代 御奉行所宛 天保一四年 美 一冊 一八

取極御受書〔質素儉約〕 岩手村 大肝煎所宛 弘化二年七月 横美半 一冊 一八

御請書〔質素儉約〕 高畑組岩手村庄屋啓助外村役人・百姓二五名 嘉永三年正月 美 一冊 一八

御請書〔下書〕〔質素儉約〕 何組何村百姓・百姓代・与頭・庄屋 御奉行所宛 嘉永三年正月 美 一冊 一八

御請書〔質素儉約〕 高畑組岩手村庄屋啓助外村役人・百姓二五人 大肝煎所宛 安政五年正月 半 一冊 一八

御請書〔博交諸勝負取締〕 高畑組岩手村庄屋啓助外
村役人・百姓二四名 安政六年七月 美 一冊 一九

御請書〔質素儉約〕 高畑組岩手村庄屋佐藤啓八外二
三名 民政御役所宛 明治二年一月 半 一冊 一七

（その他）

御請書〔諸国荒地起返新田開闢新立林等見分吟味
御用〕 御廻村村々庄屋・組頭・百姓代 安永二年六
月一九日 美 一冊 一七

（諸国村々疫病流行ニ付藥法触書） 天保八年
五月 半 一冊 一八

（御触書并御請書） 天保九年ノ弘化元年
條目〔寛保四年二月・天保一四年二月領奉行触条目
并請書〕 高畑組岩手村 天保一四年二月 半 一冊 一四

（損地起返方出精之儀ニ付御書取写并請書雛形）
高畑組何村村役人・百姓 大肝煎所宛 安政四年
九月 美 一冊 二五

高畑組二六ヶ村請書〔米穀并諸品雜売・買等
致問敷旨 其外請書一札〕 菱川龍吉・仁豊野大助宛
万延元年一月二〇日／大肝煎湯本多十郎奥印 一通 四三

御請書〔郷宿逗留中遊興取締・検見廻村入用差出命
令其外〕 高畑組岩手村庄屋佐藤啓八外村役人・百姓
二四名 民政御役所宛 明治二年一月 美 一冊 一六

○御用留

（御用状書留帳） 明和六年 横長半 一冊 一七

庚寅御用状書留帳 明和七年正月吉日 横長半 一冊 一五

辛卯御用状書留帳 明和八年正月吉日 横長半 一冊 一七

御用状留帳 岩手村 明和九年正月 横長半 一冊 一六

癸巳御用状留帳 岩手村 安永二年正月 横長半 一冊 一三

（甲午御用状留帳） 安永三年 横長美 一冊 一六

乙未御用状留帳 安永四年正月 横長半 一冊 一四

丙申御用状留帳 安永五年正月 横長半 一冊 一四

（丁未御用状留帳） 岩手村 天明七年 横長美 一冊 一四

御用状留帳 天明八年正月 横長美 一冊 一四

己酉御用状留帳 天明九年正月 横長美 一冊 一四

庚戌御用状留帳 寛政二年正月 横長美 一冊 一四

御用状留帳 寛政三年正月 横長美 一冊 一四

御用状留帳 寛政四年正月 横長美 一冊 一四

御用状留帳 寛政五年正月 横長美 一冊 一四

御庸留帳 藤昌榮 寛政六年正月 横長美 一冊 一四

御用留 寛政七年正月 横長美 一冊 一四

御用留 佐藤喜太郎 寛政八年正月 横長美 一冊 一五

丁巳御用留帳 寛政九年正月 横長美 一冊 一五

戊午御用留帳 寛政一〇年正月 横長美 一冊 一五

己未御用留帳 寛政一一年正月 横長美 一冊 一五

庚申御用留帳 寛政一二年正月 横長美 一冊 一五

辛酉御用留帳 寛政一三年正月二日 横長美 一冊 一五

壬戌御用留帳 岩手村庄屋喜太郎 享和二年正月 横長美 一冊 一六

癸亥御用留帳 享和三年正月 横長美 一冊 一七

甲子御用留帳	享和四年正月	橫長美	一冊	一六	御用留	岩手村庄屋所	安政六年一月	橫半	一冊	一六
乙丑御用留帳	岩手邑庄屋喜太郎 文化二年正月	橫長美	一冊	一五	御用留	岩手村庄屋所	安政七年一月	橫半	一冊	一七
丙寅御用留帳	文化三年正月	橫長美	一冊	一六	御用留	岩手村庄屋所	万延二年一月	橫半	一冊	一六
丁卯御用留帳	文化四年正月	橫長美	一冊	一六	御用留	岩手村庄屋所	文久二年一月	橫半	一冊	一六
御用留	岩手村庄屋所 天保八年八月	橫半	一冊	一六	御用留	岩手村庄屋所	文久三年一月	橫半	一冊	一八
御用留	天保九年五月一日始	橫半	一冊	一七	御用留	岩手村庄屋所	文久四年一月	橫半	一冊	一八
御用留	天保一〇年七月二六日	橫半	一冊	一八	御用留	岩手村庄屋所	元治二年一月	橫半	一冊	一八
御用留	岩手村 天保一一年五月	半	一冊	一八	御用留	岩手村庄屋所	慶応二年一月	橫半	一冊	一八
御用留	岩手村庄屋所 天保一二年六月一日	橫半	一冊	一八	御用留	岩手村庄屋所	慶応三年・慶応四年正月	橫半	一冊	一八
御用留	岩手村 天保一三年六月一四日始	橫半	一冊	一八	御用留	岩手村庄屋所	明治二年正月	橫半	一冊	一八
御用留	岩手村 天保一五年三月	橫半	一冊	一八	御用留	岩手村庄屋所	明治三年正月	橫半	一冊	一八
御用留	佐藤氏 弘化二年一月	橫半	一冊	一八	御用留	岩手村庄屋所	明治四年正月	橫半	一冊	一八
御用留	岩手村佐藤氏 弘化三年六月	橫半	一冊	一八	志番御用留	拾貳番組岩手村庄屋所 庄屋佐藤文吉		橫半	一冊	一八
御用留	岩手村 弘化四年四月二日	橫半	一冊	一八	明治五年正月吉日					
御用留	岩手村 弘化五年三月一九日	橫半	一冊	一八	式番御用留	岩手村庄屋所	明治五年二月	半	一冊	一八
御用留	佐藤氏 嘉永二年四月始	橫半	一冊	一八	○御布告留					
御用留	岩手村庄屋所 嘉永三年九月	橫半	一冊	一八	御布告書	岩手村戸長	明治六年一月	橫半	一冊	一八
御用留	巖手村庄屋所 嘉永五年一月始	橫半	一冊	一八	第老号御布告留	第七大区小八区巖手村旧戸長佐藤文吉	明治六年二月	半	一冊	一八
御用留	岩手村庄屋所 安政二年三月始	橫半	一冊	一八	第貳号御布告書	第七大区小八区巖手村旧戸長佐藤文吉	明治七年二月	半	一冊	一八
御用留	岩手村庄屋所 安政三年一月	橫半	一冊	一八	第三号御布告留	第七大区小八区巖手村旧戸長佐藤文吉	明治七年四月六日	半	一冊	一八
御用留	岩手村庄屋所 安政四年一月	橫半	一冊	一八						
御用留	岩手村庄屋所 安政五年一月	橫半	一冊	一八						

第五号御布告留 第七大区小八区岩手村佐藤氏 明治七年六月三〇日	半	一冊	二四
御布告記載 岩手村改正調用掛 明治七年九月一日	横半	一冊	二五
御布告記 第七大区小八区二番組岩手村改正調用掛 明治八年二月三日	半	一冊	二九二
(御用留) 明治八年九月	半	一冊	二〇六
御用留 岩手村 明治一〇年	横半	一冊	二六
御用留 岩手村 明治一一年一月一日	横半	一冊	二七
○県治報知			
新潟県治報知第五号 明治六年七月二〇日	半	一冊	二〇六
新潟県治報知第百廿式号 明治七年九月二五日	半	板一冊	二〇一
新潟県治報知第百廿三号 明治七年九月二七日	半	板一冊	二〇三
新潟県治報知甲第九号 明治七年一月二七日		板四枚	二〇三
新潟県治報知甲第廿三号 明治七年二月二七日		板一枚	二〇四
新潟県治報知甲第廿五号 明治七年二月二八日		板一枚	二〇五
○明治期諸法令・諸規則			
御触書〔京都府人民告諭大意其外写〕 高畑組大肝煎所 明治二年六月一〇日	半	一冊	二〇四
御布令書 高畑組大肝煎所 百木村外一八ヶ村庄屋中宛 明治三年四月二九日	半	一冊	二〇〇
(布告・布達類写) 明治三年九月	半	一冊	一九六
(布告・布達類写) 明治四年五月九月	半	一冊	一九四

(新潟県布達写)〔用掛訓條・管内堤防組合心得・管内道路橋梁組合心得〕 新潟県令楠本正隆 明治五年一〇月九月八年八月	半	一冊	一九七
(新潟県布達写)〔民費課賦例規・民費支給例規〕 新潟県令楠本正隆 明治五年一〇月	半	一冊	一九〇
(布告・布達類写) 明治五年五月九月	半	一冊	一九五
(布告・布達類写) 明治五年十一月	半	一冊	一九三
(布告・布達類写) 明治五年九月	半	一冊	一九三
(布告・布達写)〔僕婢馬車人力車駕籠乘馬遊船等諸税規則〕 明治六年一月	半	一冊	一九六
(布告・布達類写) 明治六年一月二月	半	一冊	一九三
(布告・布達写)〔受取諸証文印紙貼用心得方規則〕 明治六年二月一七日	半	一冊	一九六
(布告・布達類写) 明治六年三月	半	一冊	一九一
(布告・布達類写) 明治六年三月四月	半	一冊	一九一
(布告・布達類写) 明治六年三月四月	半	一冊	一九四
(布告・布達類写) 明治六年三月四月	半	合一冊	一九五
明治六年改正登種取締規則 明治六年四月	半	板二冊	二〇六
(布告・布達類写) 明治六年四月五月	半	一冊	一九二
(布告・布達類写) 明治六年四月六月	半	一冊	一九七
(布告・布達類写) 明治六年五月	半	一冊	一九九
(布告・布達類写) 明治六年五月七月	半	一冊	一九九
(布告・布達類写) 明治六年六月	半	一冊	一九〇
(布告・布達類写) 明治六年六月	半	一冊	二〇七

(柏崎県布達亨)〔郵便物差出人心得・管内達状配達心得〕 八小区總代 明治六年六月九日 半 一冊 一九六

(大藏省布達亨)〔地方官心得書〕 明治六年七月二十八日 半 一冊 一九七

農商務省令并別冊〔特許條例施行細則他〕 戸長役場回達書共 明治三二年 半 刊一冊 二〇五

改訂徴兵令 半 板一冊 二〇三

證券印税規則 半 板一冊 二〇四

夫人足・伝馬御用

○巡見使

御役所達書亨〔御巡見様方諸御用請込并郷中御案内人之者名前申達〕 御役所 村々庄屋中宛 已(正徳三年)六月 一通 四三〇

御巡検様御下聞合書 百木村八郎左衛門扣書 正徳三年 横長美 一冊 二九六五

御料御巡見様御通行ニ付人馬書上帳 黒岩組鉢崎宿 寛政元年一〇月 横長半 一冊 一八七三

鉢崎組五ヶ村往來道作入人足指引書上帳 百間町組惣代梓友藏・加藤亨惣左衛門 触元御役所宛 寛政元年一〇月 横長半 一冊 一九二六

○海岸防備

非常御備一件書留 岩手村控 天保一四年二月九日ヨリ 半 板一冊 一八五

(岩手村非常御備人足名前請印帳控) 岩手村夫人忠左衛門外三名・百姓代・与頭・庄屋 大肝煎所宛 嘉永元年五月 横長美 一冊 二九七一

高畑組岩手村夫人足書上帳 高畑組岩手村百姓代源左衛門・与頭友七・庄屋啓助 嘉永七年二月 横長美 一冊 一四六六

御台場御取締被仰渡御請書(下書) 高畑組何村御奉行所宛 安政五年七月 美 一冊 一九〇

○幕末・維新时期(戊辰戦争等)

→『貢租・諸懸(岩手村)のうち、「書出」〔村方諸入用・佐藤家貢租〕(四八頁)、および「割付・皆済」〔郡中組内小懸割賦目録〕(八〇頁)も見よ

御用留〔夫人足内訳等付込留〕 岩手村庄屋所 文久四年(明治三年) 横半 一冊 二八

請書〔夫給余荷金割合仕法ニ付〕 高畑組岩手村庄屋啓助外村役人・百姓二五名 大肝煎所宛 慶応元年一二月 美 一冊 一九三

(慶応二寅年上方殿様御帰外大名通行余荷雜用割賦帳) (慶応二年) 横長美 一冊 一六〇〇

御領主様御繼立人馬書上 米山寺村庄屋左右衛門會計方御役所宛 慶応四年五月 美 三冊 二五七九

御領主様御休泊書上 米山寺村庄屋左右衛門會計方御役所宛 慶応四年五月 美 三冊 二五八〇

富山様御繼立人馬書上 米山寺村庄屋左右衛門會計方御役所宛 慶応四年五月 美 三冊 二五八一

高田様・富山様御繼立人馬書上 米山寺村庄屋清右衛門・佐右衛門 岩手村庄屋啓助 大肝煎所宛 慶応四年六月 美 一冊 一九四

鉢崎詰人足其外諸事書上 岩手村庄屋佐藤啓助大肝煎所宛 慶応四年七月 美 一冊 一九五

軍兵糧米搗揚并人足帳 岩手村庄屋所 慶応四年七月 横長半 一冊 一六三一

鉢崎宿外宿々人足帳 岩手村庄屋所 明治二年正月	横半半	一冊	一六七
兩村継場諸入用差引帳 米山寺村・岩手村 明治二年三月	横長半	一冊	一六五
米山寺村・岩手村継場諸入用取調帳 岩手村・米山寺村 明治二年三月	横長半	一冊	一六五
去辰之暮当已之夏触元役所助郷人馬錢其高掛り割賦元帳 明治二年七月	半	一冊	八三四
御領主様御休泊書上 高畑組岩手村庄屋文吉 民政御役所宛 明治三年四月	美	一冊	三五八
御用金			
丑江戸御中屋敷御類焼ニ付御頼金割賦帳 寛政五年二月	横長美	一冊	一二〇
榊原遠江守政令様日光御名代御用金小前割賦取立帳 岩手村庄屋松五郎・同八平 文化二年二月二三日	横長美	一冊	八三六
日光御勤番御用金割賦并取立帳 岩手村 文政七年六月	横長美	一冊	二九五
割込下帳〔日光御勤番御用〕〔文政七年六月〕	横長美	一冊	二九五
高割御用金返金割渡状 惣代所 岩手村庄屋中宛 文政一〇年七月	横長美	一通	五二〇
文化五辰・同八未御用金御返済小前割渡帳 文政一〇年八月	横長半	一冊	五二四
日光御用金御返済割 文政一一年三月一九日	二通	二九七	
御用金返済割賦一札 惣代所 (岩手村) 兼帯庄屋平助宛 天保二年九月	一通	三六九	
御用金割賦指引元帳〔台徳院様御霊屋御修覆御用〕岩手村惣百姓 天保二年一〇月	横半	一冊	二九三

御上洛御先登・御勤番御用金割賦并取立帳 岩手村 文久三年四月	横長美	一冊	二九五
御用金割賦一札 大肝煎所 岩手村庄屋啓助宛 元治元年二月	一通	二九五	
御用金才覚金割賦帳〔勅使下向〕 岩手村庄屋所 慶応四年閏四月	横長半	一冊	二九五
(御用金才覚金割賦并取立帳下書)〔勅使下向〕〔慶応四年〕	横長半	一冊	二九五
(夫人前後金并夫人繰出雜用見込金共割賦帳下書)〔勅使下向〕〔慶応四年または明治二年〕	横長半	一冊	二九五
当辰八月納御用金才覚金受取一札 大肝煎所 岩手村庄屋中宛 慶応四年八月一九日	横長半	一通	二九五
上納金取立帳 (年欠)	横長半	一冊	四七六
御頼金元利仕分帳 (年欠)	横長美	一冊	五〇三

土地

組合村

検地帳・高反別帳

越後国頸城郡水野村新検地水帳(享)	木村縫右衛門	天和三年閏五月(子二月一七日享)	横半半	一冊	云
越後国頸城郡百々木村御検地水帳(享)	真田伊豆守	天和三年閏五月	美	一冊	云
越後国頸城郡高畑村御検地水帳(享)	真田伊豆	天和三年閏五月	美	一冊	云
越後国頸城郡芋嶋村御検地水帳(享)	真田伊豆	天和三年閏五月	美	一冊	云
越後国頸城郡初田村御検地水帳(享)	真田伊豆	天和三年閏五月(子二月享)	美	一冊	云
水野村高反別古帳写	文政七年六月		横長半	一冊	云
小前高附帳					
岩手組高附帳	大肝煎佐藤八平	高木権太夫宛	美	一冊	八三七
芋嶋村・上灰庭新田高附帳	芋嶋村与左衛門	八平宛	横半半	一冊	三
岩手組狸平村百姓高附書上帳	庄屋七右衛門外与頭三名	宝曆九年二月	半	一冊	三八〇

起返地

質地証文控

芋嶋村・上灰庭新田高附書上帳	庄屋与左衛門外与頭三名	宝曆九年二月	半	一冊	三八一
百木村・米山寺村百姓前高附帳	宝曆九年三月		半	一冊	三八三
岩手組黒岩村人別高附書上帳北	庄屋権右衛門外与頭二名	宝曆九年	半	一冊	三八三
岩手組黒岩村高附帳南	庄屋佐五右衛門外組頭二名	宝曆九年	半	一冊	三八四
岩手組上下濱村新田高附帳	庄屋惣助外組頭長百姓二名	宝曆九年三月	美	一冊	三八五
岩手組落合村高目録牒	庄屋甚蔵外与頭一名	大肝煎所宛	美	一冊	三八六
岩手組下灰庭新田村高附帳	庄屋太喜平外与頭百姓二名	宝曆九年	美	一冊	三八七
岩手組猿毛村百姓持高辻書上帳	庄屋弥次兵衛・作左衛門外組頭二名	宝曆九年二月	美	一冊	三八八
岩手組芋嶋村田畑成高反別之内立返り之場所御案内帳	庄屋与左衛門外組頭三名	宝曆六年九月	横長半	一冊	三八七
岩手組村々明和五子年起返り地届書控	桜町新田村・江嶋新田村・竹直村・上灰庭新田各一通	明和五年四月		一冊	三八九
質地証文控	落合村長左衛門質地証文控	落合村請人百姓・組頭・庄屋九名加判		一通	四二六
直海浜村与三左衛門質地証文控	岩手組江嶋新田村証拠人百姓・長百姓・組頭・庄屋七名加判	直海浜村五右衛門宛		一通	三七九

竹直村与三右衛門質地証文控 竹直村百姓請人・与頭八名加判 同村嘉左衛門宛 宝曆五年一月／竹直村嘉左衛門請合奥書	一通 三七〇	馬正面村美右衛門質地証文控 上金原村証拠人百姓・与頭・庄屋六名加判 今町七兵衛宛 宝曆六年二月／今町七兵衛請合奥書	一通 三七九
竹直村德兵衛質地証文控 竹直村百姓請人・与頭一〇名加判 同村嘉左衛門宛 宝曆五年一月／竹直村嘉左衛門請合奥書	一通 三七三	黑岩村孫兵衛質地証文控 黑岩村百姓請人・与頭・庄屋八名加判 同村与三平宛 宝曆六年極月／黑岩村与三平請合奥書	一通 三六〇
竹直村杉右衛門質地証文控 竹直村百姓請人・与頭一〇名加判 同村嘉左衛門宛 宝曆五年一月／竹直村嘉左衛門請合奥書	一通 三七三	黑岩村孫兵衛質地証文控 黑岩村百姓請人・与頭・庄屋八名加判 同村彦兵衛宛 宝曆六年極月／彦兵衛請合奥書	一通 三六五
竹直村喜左衛門質地証文控 竹直村百姓請人・与頭一〇名加判 同村嘉左衛門宛 宝曆五年一月／竹直村嘉左衛門請合奥書	一通 三七三	黑岩村源八質地証文控 黑岩村百姓請人・組頭・庄屋七名加判 同村庄左衛門宛 宝曆六年二月／黑岩村庄左衛門請合奥書	一通 三七四〇
中山村只右衛門質地証文控(前欠) 中山村百姓請人・与頭・庄屋八名加判 同村茂左衛門宛 宝曆五年一月／中山村茂左衛門請合奥書	一通 三七四	黑岩村庄源八質地証文控 黑岩村百姓請人・組頭・庄屋八名加判 同村与三平宛 宝曆六年一月／黑岩村庄与三平請合奥書	一通 三七四一
竹直村云左衛門質地証文控 竹直村百姓請人・与頭九名加判 同村嘉左衛門宛 宝曆五年一月／竹直村嘉左衛門請合奥書	一通 三七六	芋嶋村云右衛門後家質地証文控 百姓請人・与頭・庄屋六名加判 黑岩村庄五右衛門宛 宝曆六年二月／黑岩村庄五右衛門請合奥書	一通 三七四三
上金原村八郎左衛門質地証文控 上金原村証拠人百姓・与頭・庄屋六名加判 今町七兵衛宛 宝曆六年二月／今町七兵衛請合奥書	一通 三七五	上灰庭新田長左衛門質地証文控 請人・与頭・庄屋六名加判 黑岩村庄五右衛門宛 宝曆六年一月／黑岩村庄五右衛門請合奥書	一通 三七四三
馬正面村美右衛門質地証文控 下条村請人百姓・与頭・庄屋五名加判 角取村作兵衛宛 宝曆六年二月／角取村作兵衛請合奥書	一通 三七六	猿毛村清左衛門質地証文控 猿毛村請人・与頭・庄屋五名加判 黑岩村庄左衛門宛 宝曆六年一月／黑岩村庄左衛門請合奥書 御大肝煎所宛	一通 三七四四
馬正面村美右衛門質地証文控 下金原村証拠人百姓・与頭・庄屋五名加判 今町七兵衛宛 宝曆六年二月／今町七兵衛請合奥書	一通 三七七	北代石新田村善長寺質地証文控 上金原村百姓・長百姓・組頭・庄屋四名加判 上金原村治三郎宛 宝曆六年一月／上金原村治三郎請合奥書	一通 三七四五
馬正面村美右衛門質地証文控 下条村証拠人百姓・与頭・庄屋五名加判 今町七兵衛宛 宝曆六年二月／今町七兵衛請合奥書	一通 三七六	中条村彦三郎質地証文控 中山村百姓請人・与頭・庄屋六名加判 黑岩村庄五右衛門宛 宝曆六年一月／黑岩村庄五右衛門請合奥書	一通 三七四六

猿毛村又七質地証文控 猿毛村請人・与頭・庄屋
五名加判 同村甚八宛 宝曆七年二月／猿毛村甚
八請合奥書 一通 三七四七

中山村善左衛門質地証文控 中山村請人・与頭・
庄屋六名加判 同村文右衛門宛 宝曆七年二月／
中山村文右衛門請合奥書 一通 三七四八

黒岩村長兵衛質地証文控 黒岩村百姓請人・組頭
・庄屋八名加判 同村庄左衛門宛 宝曆七年二月
／黒岩村庄左衛門請合奥書 一通 三七四九

中山村善左衛門質地証文控(前欠) 中山村請人・
与頭・庄屋七名加判 同村安右衛門宛 宝曆七年一
二月／中山村安右衛門請合奥書 一通 三七五〇

狸平村利兵衛質地証文控 狸平村百姓請人・組頭
・庄屋七名加判 黒岩村佐五右衛門宛 宝曆七年一
二月／黒岩村佐五右衛門請合奥書 一通 三七五一

竹直村留兵衛質地証文控 江嶋新田村百姓証人・
与頭・庄屋七名加判 直海浜村勘左衛門宛 宝曆一
一年二月／直海浜村勘左衛門請合奥書 一通 三七五二

中山村宿願寺質地証文控 証人・与頭・庄屋六名
加判 米山寺村瀬左衛門宛 宝曆一年二月／米
山寺村質取人瀬左衛門請合奥書 一通 三七五三

芋嶋村彦次右衛門質地証文控 請人百姓・与頭・
庄屋四名加判 黒岩村佐五右衛門宛 宝曆一年一
二月／佐五右衛門請合奥書 一通 三七五三

直海浜村久左衛門質地証文控 百姓・長百姓・組
頭・庄屋七名加判 江嶋村吉郎右衛門宛 宝曆一二
年極月／吉郎右衛門請合奥書 一通 三七五四

竹直村三右衛門質地証文控 証人・与頭・庄屋
七名加判 同村伊左衛門宛 宝曆一年二月／伊
左衛門請合奥書 一通 三七五五

百木村伊左衛門質地証文控 上金原村請人百姓・
庄屋四名加判 上金原村次三郎宛 宝曆一年一二
月／上金原村田地預り主次三郎請合奥書 一通 三七五六

竹直村久右衛門質地証文控 証人・与頭・庄屋
七名加判 同村伊左衛門宛 宝曆一年二月／伊
左衛門請合奥書 一通 三七五七

岩 手 村

検地帳・名寄帳・高反別帳

頸城郡夷守郷岩手村(御検地帳) 慶長三年八月七
日 紙帙箱入 一冊 八〇一

岩手村検地牒 中西助太夫外五名 庄屋安右衛門宛
寛文九年閏一〇月一三日 紙帙箱入 一冊 八〇三

越後国頸城郡岩手村御検地水帳全部 真田伊豆守
内木村縫右衛門 天和三年閏五月 紙帙箱入 一冊 八〇三

祖々父八兵衛様御直筆岩手村田畑名前帳(越後国頸
城郡岩手村御検地水帳写) 天和癸亥年(三年)閏五月 紙帙箱入 一冊 八〇四

越後国頸城郡下美守郷岩手村御検地名寄帳 岩
手村庄屋八兵衛外与頭・百姓二三名 大肝煎八木平
助奥印 天和四年二月 紙帙箱入 一冊 八〇五

(越後国頸城郡下美守郷岩手村御検地名寄帳写)
岩手村庄屋八兵衛外与頭・百姓二三名 大肝煎八
木平助奥印 天和四年二月 13.5 x 9 cm 一冊 九〇六

(天和三年岩手村検地帳寄高写) 第七大区小八区
式番組岩手村(明治初年) 半美 二冊 二七九

(本新田口々高反別位訳帳控) 岩手村庄屋文吉
民政御役所宛 明治三年七月 美 一冊 二九元

岩手八左衛門田畑山地所改帳 黒岩組岩手村庄屋
喜太郎 享和元年十一月
(甚左衛門別名寄帳写)
美 一冊 八三五

小前高附帳

新檢高附人別帳 下美守郷内岩手村庄屋八兵衛 貞
享二年六月 横半半 一冊 八三三

*岩手村百姓高附質物高仕上帳 岩手村庄屋友右衛
門外与頭長百姓四名 享保一年七月
附 (安左衛門等質物高覺帳)(年欠)
美 (二冊) 五

丑高附帳 村扣 岩手組同村庄屋松五郎 大肝煎代
役所宛 明和五年三月 美 一冊 三〇〇

高附帳 黒岩組岩手村扣 庄屋喜太郎外組頭二名
天明八年二月 美 一冊 三三二

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外与頭二名 天
明九年二月 美 一冊 三三三

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政二年 美 一冊 三三三

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政三年 半 一冊 三四四

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政四年 美 一冊 三三五

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政六年 (同八年貼札有) 美 一冊 三三六

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政七年 半 一冊 三七七

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政八年 (同九年貼札有) 美 一冊 三三八

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政九年 (同一〇年貼札有) 美 一冊 三三九

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政一〇年 美 一冊 三四〇

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政一一年 (同一二一年貼札有) 美 一冊 三四一

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 寛
政一三年 美 一冊 三四三

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 享
和二年 (同三年貼札有) 美 一冊 三四三

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 享
和三年 (文化二年貼札有) 美 一冊 三四五

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 享
和四年 美 一冊 三四四

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名 文
化二年 (同三年貼札有) 美 一冊 三四六

高附帳 黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外与頭二名 文
化三年 美 一冊 三四七

小前高附書上帳 黒岩組岩手村 兼帶庄屋平助
大肝煎所宛 文政五年五月 半 一冊 三四八

黒岩組岩手村小前高附帳 庄屋啓助 天保九年二
月 半 一冊 三四九

黒岩組岩手村小前高附帳 天保一一年 美 一冊 三五〇

黒岩組岩手村小前高附帳 天保一二二年二月 半 一冊 三五二

高畑組岩手村小前高附帳 高畑組岩手村 天保一
三年 美 二冊 三五三

高畑組岩手村小前高附帳 天保一四年 美 一冊 三五三

高畑組岩手村小前高附帳	村控	天保一五年	美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	弘化二年		美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	弘化四年		美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	弘化五年		美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	村扣	嘉永二年	半	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	嘉永四年		半	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	嘉永五年		美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	嘉永六年		半	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	嘉永七年四月		美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	安政二年		半	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	安政三年四月		美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	安政四年四月		半	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	庄屋所	安政五年四月	美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	安政六年四月		半	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	万延元年四月		美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	文久元年四月		半	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	文久二年四月		美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	文久三年四月		半	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	文久四年四月		美	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	元治二年四月		半	一冊	三五
高畑組岩手村小前高附帳	慶応二年四月		美	二冊	三七

高畑組岩手村小前高附帳(下帳并控)	慶応三年四月	美半	二冊	三七六
高畑組岩手村小前高附帳	慶応四年	美	一冊	三七七
高附帳	高畑組岩手村 明治二年四月	美	一冊	三七八
高附帳	高畑組岩手村 明治三年四月	美	一冊	三七九
拾式番組岩手村小前高附帳(甲二十九号証)	明治四年四月	美	一冊	三八三
(岩手村小前高附帳)	(庄屋啓助) (年欠)	美	一冊	三八六
立林曳山牒	岩手村惣百姓中 宝永七年三月	横長美	一冊	四五六
地割反分帳	岩手村百姓中 宝永七年三月	横長美	一冊	四五六
(田畑地割帳下帳)	(延享四年)	横長半	一冊	四七三
岩手村田畑地割帳等書類	延享(天明)	袋入	一〇点	八〇九
田畑地割帳	岩手村 宝曆六年(七年)	横長美	一冊	八〇九
山割帳	岩手村庄屋松五郎外組頭・百姓九名 明和五年一〇月(奥書) 明和六年三月二九日	横長美	一冊	八二〇
山割野帳	明和五年一〇月二四日	横長美	一冊	八二一
田畑地割圖替帳	文政元年八月	横長美	一冊	八二三
岩手村田地入立元帳	延享三年寅ノ秋地割ヨリ	横長美	一冊	八二三
田地圖引帳	天明元年一〇月	横長半	一冊	八二四
(残下西ほか地割覚)	(年欠)	横長半	一冊	八二五
(清左衛門畑地割反別入立米覚)	(年欠)	横長半	一冊	八二六

*。(岩手村田地割闌引帳) (年欠)

。(岩手村山割寛井地割絵図下書) (年欠)

(田地割引銘々寛帳) 寛政一二年
地割帳 文化五年四月七日

(地割帳) (年欠)

田畑地割下帳 文化六年一〇月

田畑地割下帳 文政元年八月

山王前山麻畑六拾歩割〔地割帳〕 文政七年三月一
三日

残五拾歩割寛帳 岩手村惣百姓 天保一一年三月
二〇日

残五拾歩割野帳 岩手村惣百姓 天保一一年三月
二〇日

田畑地割野帳 天保一三年一〇月

萱ノ割〔地割帳〕 岩手村惣百姓 嘉永元年

(長瀬萱の割地割野帳) (嘉永元年)

(岩手村田畑地割帳) (前欠) (年欠)

(岩手村田畑地割帳) (前欠) (年欠)

(岩手村田地割引名寄帳) (年欠)

○地割図

岩手村山割絵図面 (年欠)

手作請作書上帳

横長半 仮一冊 八〇七

八枚 八〇八

横長半 一綴 (三冊) 八三三

横長半 一冊 八三四

横長半 一冊 八三五

横長半 一冊 八三七

横長半 一冊 八三七

横長半 一冊 八三七

横長半 一冊 八三七

横長半 一冊 八三六

横長半 一冊 八三六

横長半 一冊 八三六

横長美 一冊 八〇六

横長半 仮一冊 八三六

163x 66cm 一鋪 九〇三

*岩手村百姓高附質物高仕上帳 岩手村庄屋右衛
門外与頭長百姓四名 享保一一年七月
附 (安左衛門等質物高仕上帳) (年欠)

(岩手村小前手作請作反別書上帳控) 庄屋啓助外
与頭・百姓代 御奉行所・大肝煎所宛 天保一五年

高畑組岩手村百姓銘々手作請作書上帳 庄屋啓
助外与頭・百姓代 大肝煎所宛一冊・御奉行所宛四
冊 天保一五年

百姓銘々持高井質地御裏判帳(雛形) 高畑組岩手
村 安政五年改

質入・売買

○質地証文控

岩手村久右衛門質地証文控 岩手村請人百姓・組
頭・庄屋一〇名加判 同村徳兵衛宛 元禄九年一二
月(岩手村) 徳兵衛請合奥書

岩手村元兵衛質地証文控 岩手村請人百姓・組頭
・庄屋九名加判 同村権左衛門宛 元禄九年一二
月(岩手村) 権左衛門請合奥書

岩手村義右衛門質地証文控 岩手村請人百姓・与
頭・庄屋五名加判 同村門左衛門宛 宝永七年極月
預り主門左衛門奥印

岩手村門左衛門又質添証文控 証拠人儀右衛門加
印 米山寺村三左衛門宛 宝永七年極月

岩手村門左衛門定証文(儀右衛門田地又質ノ件ニ付
取決) 庄屋・与頭・百姓中宛 宝永七年

○その他

美

二冊 二〇五

横長美

一冊 二〇五

横長美

合一冊 二五三
(五冊)

半

一冊 二五六

一通 三四四

一通 三四五

一通 三三六

一通 三三六

一通 三三六

岩手村役人人口上願書控〔岩手村儀右衛門身代成立不申田地宛可申旨申出候一件二付、米山寺村三左衛門召出願〕庄屋友右衛門・与頭二名 馬正面附御役所宛 享保二年極月

一通 翌六

岩手村辰右衛門差出一札〔門左衛門方へ質入田地上代米、金五郎へ請取候二付、以後此田地二付構出入無之旨〕庄屋友右衛門宛 元文三年極月／与頭・長百姓三名奥書証文 庄屋友右衛門宛

一通 八二六

岩手村金五郎差出一札〔辰右衛門方へ取置候質田地地上代米、辰右衛門方へ相渡候二付、以来少も申分無御座旨〕庄屋友右衛門宛 元文三年極月／与頭・百姓三名奥書証文 庄屋友右衛門宛

一通 八二七

明治期土地制度

地租改正

繪図分見覽 明治四年六月六日

横半半 一冊 五七〇

大藏省達写〔地券發行地租納規則二十八条〕東京府宛 明治五年正月

半 一冊 二九六

地券竊條件〔刈羽・魚沼兩郡大区長副伺書其外伺書三通写〕 明治五年九月

美 一冊 元〇四

柏崎県布達写〔名寄地価書上帳雛形〕 柏崎県庁〔明治五年力〕九月

半 一冊 二〇三

実地点検帳 岩手村戸長所 明治五年一月

横半半 二五冊 二六九

畑歩点検帳 明治五年一月

横半半 一冊 二六九

畝歩点検〔帳〕 明治五年一月二四日

横半半 一冊 二六九

地方総計帳〔雛形廻達書写〕 第七大区 籠嶋省五外二名宛 明治五年一月一六日

美 一冊 二九七

名寄地価書上帳〔雛形〕 明治五年一月

附 柏崎県布達写〔小野善助、当壬申貢米質受方取扱二付、租稅寮達〕 柏崎県参事鳥居断

三 明治五年一月二八日 半 一冊 二六八

名寄地価書上帳〔雛形〕 〔明治五年力〕

美 一冊 二九六

地券肝煎惣代世話掛り出頭依頼書 八小区總代回達書共 十五番出仕竹田省三外一名 第七大区長副御中宛 西〔明治六年〕一月二四日

一通 二〇八

地方総計帳〔雛形〕 柏崎県地券課 明治六年一月

半 一冊 二六三

* 地方総計書上帳〔下書并控〕 柏崎県御管轄第七大区小八区岩手村戸長佐藤文吉外二名 柏崎県参事鳥居断三宛 明治六年三月

美 二冊 二六五

〔田畑山屋敷地高反別突合帳下書〕 岩手村戸長佐藤文吉外 柏崎県参事鳥居断三宛 明治六年二月

横長半 一冊 二六六

名寄地価書上帳 越後国頸城郡第七大区小八区岩手村 戸長佐藤文吉外 柏崎県参事鳥居断三宛 明治六年二月

美 三冊 二六九

〔名寄地価書上帳下書〕 〔明治六年〕

半 一冊 二六二

〔名寄地価書上帳下書〕 〔明治六年〕

美 一冊 二八三

〔名寄地価書上帳下書〕 〔明治六年力〕

横長半 一冊 二六四

〔名寄地価書上帳〕 割地反別明細記載下帳 〔明治六年力〕

横長半 一冊 二六五

〔名寄地価書上帳下書〕 〔明治六年〕

半 一冊 二六六

〔古田畑割地反別割賦帳〕 〔明治六年力〕

横長半 一冊 二六七

田畑屋敷芝山切替畑漆木貢納口米取調帳〔下書〕 明治六年三月二〇日

横長半 一冊 二六七

(畑屋敷山貢納口米取調帳下書)(明治六年九)	橫長半	一冊	二六三
地租改正施行規則 明治六年七月	半	板一冊	二〇〇
太政大臣布告第二百七十二号(地租改正条例) 明治六年七月二十八日	半	板一冊	二〇二
再地券日誌 岩手村佐藤文吉 明治六年一〇月	橫半半	一冊	二六九四
再地券帳 岩手村 明治六年一〇月~七年一月	橫半半	九冊	二六九五
再地券人足附留帳 岩手村旧戸長 明治六年一	橫長半	一冊	二六六七
月一七日			
分見野帳 岩手村 明治六年二月~七年七月	橫半半	四〇冊	二六六六
浦沖分詰帳 明治七年二月一五日	橫美	二冊	二九〇二
(村中持芝山埋葬地採用願書并鹿絵図 絵図下書 共) 岩手村用挂新部与八郎・戸長三上喜三 明治七年二月	美	一冊 二枚	二七九
*城山実地取調帳 明治七年四月二七日	橫長半	一冊	二九七三
再地券人足附留帳 第七大区小八区二番組岩手村 佐藤氏 明治七年七月	橫長半	一冊	二八九九
岩手村願書控(岩手村地租取調ニ付、当分局ニ於テ御検査受度旨) 岩手村重立佐藤泰助・地租改正掛佐藤文吉 地租改正掛御中宛 明治七年一〇月九日		一通	二六三
(地位等級調遷延并山境論成功遷延ニ付請書控) 第七大区小八区岩手村改正用掛佐藤文吉外 地租改正掛宛 明治八年八月一七日・明治七年八月六日	美	一綴 (二冊)	一九六
山分見野帳 第七大区小八区二番組岩手村 明治七年一〇月	橫半半	八冊	八五〇
(田畑屋敷地曳帳下帳一号~三号) 明治八年一月	橫長美	合三冊	二六九一 二六九二 二六九三

第七大区小八区二番組岩手村字附 地租改正用挂 明治八年一月	橫長半	一冊	二九四三
(県庁布告写)(地租改正地位等級調ニ付) 新潟県令楠本正隆 明治八年三月二三日~四月一三日	美	一冊	一九九
從前檢地帳高内田畑屋敷之外書上 第七大区小八区松留村改正用掛山岸儀作・用掛朝比奈茂平治・戸長三上喜三 新潟県令楠本正隆宛 明治八年五月	美	仮一冊	二七六三
從前檢地帳高内田畑屋敷之外書上(第七大区小八区岩手村)(明治八年五月)	美	仮一冊	二七六三
從前檢地帳高内田畑屋敷之外書上(下書并控) 第七大区小八区岩手村改正用掛佐藤文吉・用掛新部与八郎・戸長三上喜三 新潟県令楠本正隆宛 明治八年五月	美	二冊	二八四
(新潟県布達并請書写)(実地丈量・地位等級取調等ニ付)(請書)第七大区小八区二番組用掛新部与八郎・戸長三上喜三 新潟県地租改正掛小川益三宛 明治八年七月二五日	半	仮一冊	二八四
田畑屋敷其外地引帳 第七大区小八区越後国頸城郡岩手村 明治八年八月	橫長美	二冊	二六八九
田畑屋敷其外地引帳 第七大区小八区越後国頸城郡岩手村 明治八年八月	橫長美	一冊	二六九〇
新潟県知別報第十六号願伺指令写(地引絵図色訳ニ付) 明治八年八月一三日	半	一冊	二七九
実地御点検野帳 第七大区小八区老番組岩手村 明治八年九月二四日	橫長半	一冊	二九三
地租改正調帳 岩手村 明治八年九月	橫半半	一冊	五〇七
地租改正調事務日記 新潟県第七大区小八区岩手村 明治八年十二月一日	橫半半	一冊	五〇四
田畑其外地佃合計取調帳 第七大区小八区二番組岩手村 明治八年十二月二八日	美	二冊	二九五 二九六

地券日誌 岩手村改正用挂佐藤文吉 明治八年（明治一〇年九月）

横半半 一冊 八七五

地価取調帳雛形廻達関係文書綴（明治九年カ）

一綴 四七五

1 戸長新部与八郎廻達書（地価取調帳雛形写取廻達可致旨、小区長三上喜三ヨリ廻達ニ付伝達）
高畑村・岩手村改正用掛中宛（明治九年カ）
一〇月五日

一通

2 大脇大属殿 濁町御出張ニ付大区評議ケ条
真板権少属殿

半 仮一冊

3 地引地価帳案（雛形）

美 一冊

田畑宅地山野反別等級仕訳帳 明治九年四月

横長半 一冊 二九一

地租改正調事務日記 新潟県第七大区小八区岩手村 明治九年四月

横半半 一冊 五〇五

（田畑宅地山野收穫并小作米等級別仕訳帳下書）
岩手村小作總代佐藤長八外三名・地主總代大場義助外二名、改正用掛・戸長・小区長連名 新潟県令
永山盛輝宛 明治九年五月五日

美 仮一冊 二九一

*（田畑宅地山野收穫并小作米等級別仕訳帳下書）
岩手村小作總代佐藤長八外三名・地主總代大場義助外三名、改正用掛・戸長・小区長連名 新潟県令
永山盛輝宛 明治九年

美 仮一冊 二六五

*小作定入付約書（下書） 岩手村小作人物代佐藤長八外三名・地主總代吉村泰治外二名

美 仮一冊 二六五

地引地価取調帳 第七大区小七区越後国頸城郡岩手村 明治九年六月

美 二冊 二六六

地価取調帳 新潟県第七大区小七区越後国頸城郡岩手村 新潟県令永山盛輝宛 明治九年

横長美 一冊 二六六

道川江堤敷取調帳 岩手村 明治九年六月六日

半 一冊 二九三

日当簿 第七大区小七区二番組岩手村改正調用挂佐藤文吉 明治九年九月

横半半 一冊 八五五

地引帳收穫米大豆地価盛日記 岩手村改正用掛佐藤文吉 明治一〇年五月二三日始

横半半 一冊 五〇六

（用水溜三ヶ所、民有地編入願書控） 岩手村改正用掛佐藤文吉 新潟県令永山盛輝宛 明治一〇年五月

美 一冊 二七五

*（岩手村改正用掛佐藤文吉願書下書（佐藤七郎治所持之用水溜三ヶ所、民有地編入願）（明治一〇年カ）

一通 八五五

田畑宅地山野等級字訳一筆限表 第七大区小七区岩手村 明治一〇年六月

美 一冊 二九七

名寄帳 第七大区小七区越後国頸城郡岩手村 明治一〇年八月

美 一冊 二六〇

（改正地租難渋ニ付、田方收穫耕地地形況等踏検願書等） 高畑村改正用掛湯本宗十郎 正副大区長宛 明治一〇年十一月二日

美 一冊 二七六

田畑宅地山野反別收穫地価小計帳 第七大区小七区岩手村改正用掛所 明治一一年五月
附 民有地第壹種小計下書 一枚

横長美 一冊 二九三

（田畑反別地価名寄帳下書） 明治一一年六月成功
（官有地価格調其外雛形）（明治一二年）

美 仮一冊 二六六

（官有地価格調并田畑宅地山野所持人数書上書控） 岩手村惣代佐藤文吉外 戸長・新潟県令永山盛輝宛 明治一二年二月九日

美 一冊 二七六

岩手村田畑宅地山野反別地価銘々取調帳 明治一二年四月

横長美 一冊 二六六

隠地御所置願ニ付手統書 中頸城郡水野村戸長薩美仁左衛門 新潟県令永山盛輝宛 明治一三年一月四日

美 仮一冊 二七六

中頸城郡役所告達書回達写〔地券台帳ト控地価帳引合ニ付、村々惣代召連出頭指令〕 米山寺村戸長役場 村々惣代中宛 明治一三年一月一〇日	一通	二六四	地券書替願 岩手村改メ所有主佐藤文吉・米山寺村券狀差上人湯本与平外 中頸城郡長渡部健藏宛 明治一五年九月	一綴	二七九
〔用水溜三ヶ所、民有地編入許可ニ付、書改願書控〕 岩手村地主惣代佐藤文吉 中頸城郡長渡部健藏宛 明治一三年一月	一冊	二七三	証印稅仕訳書 岩手村佐藤文吉・戸長高嶋清十郎 中頸城郡長渡部健藏宛 明治一五年	各二通	二七九
〔官納地価帳落印ノ分地券狀下与願書控〕 岩手村佐藤七郎治外二名・地主惣代佐藤文吉 中頸城郡長渡部健藏宛 明治一三年一月	二冊	二七三	岩手村山・山林反別并地価書上書控 地主惣代佐藤文吉 戸長宛 明治一六年四月七日	一通	二八三
〔官納地価帳落印ノ分、調印証ヲ以テ地券下附願書控 別紙官納地価帳無印届共〕 岩手村佐藤七郎治外二名 新潟県令永山盛輝宛 明治一三年一月	一綴	二七九	〔官山原野実地調査書上書并絵図面下書〕 岩手村総代佐藤文吉・戸長高嶋清十郎 新潟県令永山盛輝宛 明治一六年八月一四日	一冊	二七六
官納地価帳無印届写 〔明治一三年一月〕	一通	二七六	〔岩手村山野反別筆數取調帳下書并控〕 〔明治一六年〕	二冊	二七六
官納地価帳無印届写 〔明治一三年一月〕	三枚	二七六	岩手村山野反別并地価名寄取調帳下書 〔明治一六年〕	一冊	二六九
〔官納地価帳落印ノ分、調印証ヲ以テ地券下附願書控 別紙官納地価帳無印届共〕 岩手村佐藤七郎治外二名 新潟県令永山盛輝宛 明治一三年一月	三通	二七九	〔岩手村田畑宅地山野反別地価取調帳寄高下書〕 〔明治一六年〕	一冊	二六三
中頸城郡役所達書写〔地券証下渡ニ付、受取方通知〕 岩手村戸長高嶋清十郎宛 明治一四年四月八日	一通	二七五	〔岩手村田畑宅地山野反別地価取調帳寄高下書〕 〔明治一六年〕	一冊	二六三
地券証受領書控 中頸城郡岩手村地主惣代佐藤文吉外一名・戸長高嶋清十郎 新潟県令永山盛輝宛 明治一四年四月二二日	二通	二七九	地券台帳 新潟県越後國中頸城郡岩手村 明治一七年六月	二冊	二六二
地券証落字 調帳 岩手村 明治一四年四月二三日	一冊	二五八	〔耕地段見帳〕	一冊	二七〇
地券証銘々牧數附簿 〔枚〕 明治一四年五月	一冊	二五九	〔耕地分見帳〕	一冊	二七二
名寄帳 岩手村 明治一四年六月	一冊	二六五	田畑其外地価合計取調帳〔雛形〕 新潟県令楠本正隆宛	一冊	二〇三
地券証印稅仕訳書 中頸城郡岩手村佐藤文吉 中 美	一綴	二五七	〔田畑屋敷地収獲高小作入付定高取調帳下書〕 第七大区小八区岩手村	一冊	二〇三

(田畑屋敷山反別口数取調下帳)	横長半	仮一冊	二六七
(田地反別割地石高銘々取調下帳)	横長半	仮一冊	二六六
(田地反別等級仕訳下帳)	横長半	仮一冊	二六六
(田地反別等級名寄下帳)〔籠島省吾分〕	横長半	仮一冊	二六七
(畑地高反別割地取調下帳)	横長半	仮一冊	二七三
(田地高反別割地取調下帳)	横長半	仮一冊	二七四
(田畑屋敷高反別名寄下帳)	横長半	仮一冊	二七五
(田畑屋敷漆木高割下帳)	横長半	仮一冊	二七六
(田畑字反別内訳下帳)	横長半	仮二冊	二七七
(本田反別高割下帳)	横長半	仮一冊	二七九
(人数取調下帳)	横長半	一冊	二八〇
(反別取調下帳断簡類)		一括	二八一
厓位切捨全正田畑屋敷山野反別 岩手村改正用掛	横長半	一冊	二九〇
(岩手村銘々地価合計覚)	美	仮一冊	二九四
地価地租対照換算表	美	一通	二九七
地価式円以下式円以上区別小計	美	一冊	八九三
一ツ山田方步数改帳	横長半	一冊	九〇四
○他村分			
地引地価下帳第壹号ノ第三号〔第六大区小八区越後 国頸城郡下灰庭新田村〕	半	三冊	八五四

地押調査

畦畔取調日勤簿 中頸城郡岩手村 明治一八年一 月一九日ヨリ(明治二〇年九月)	横長半	一冊	八四九
(土地反別名寄取調帳) 明治一八年十一月二七日	半	一冊	二〇三
地押関係諸書類	袋入	七点	八五五 八五七
地押調・畦畔調 岩手村 明治一九年七月二六 日	横長半	仮一冊	八五一
落地 岩手村 明治一九年八月二五日	横長半	一冊	八五三
沿草地取調帳 岩手村 明治一九年八月二六日	横長半	一冊	八五三
開墾地 岩手村 明治一九年八月二六日	横長半	一冊	八五三
交換地 岩手村 明治一九年八月二六日	横長半	一冊	八五三
開墾地分見帳 岩手村 明治一九年一〇月 一日	横長半	一冊	八五四
開墾交換地ケ所調 岩手村 明治二〇年八月 一日	横長半	二冊	八五五
地押検査人足日勤覚 岩手村 明治二〇年八月 一日	横長半	一通	八五六
交換地・開墾地・増歩地・落地筆数取調表下 書(明治二〇年カ)	横長半	一通	八五七
* (岩手村改正用掛佐藤文吉)願書下書〔佐藤七 郎治所持用水溜三ヶ所、民有地編入願〕(明治一〇 年カ)	横長半	一冊	八五七
開墾 地押交換追申取調書類 中頸城郡岩手村 明治一九年一二月	袋入	三二点	二八三 二八三
開墾地交換地丈量図帳 中頸城郡岩手村地主惣 代・戸長渡辺貞治証印 新潟県令篠崎五郎宛 明 治一九年八月 附 地目交換地価修正一筆限表 開墾地々々価取調一筆限表	美半	一綴 二冊	二八三 二八三

開墾・交換地々佃取調一筆限表 落地発見地籍編入内願書 控 丈量図帳 中頸城郡岩手村地主惣代大場儀助外四名・戸長渡辺貞治代理湯本宗一証印 新潟県知事篠崎五郎宛 明治一九年八月	美	一綴 三三	二六三
落地願 中頸城郡岩手村持主鈴木初太郎外一六名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇年八月	美	一冊	二六四
開墾 交換地々佃取調一筆限表 中頸城郡岩手村地主惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治一九年八月二十九日	美	二冊	二六五 二六六
開墾 交換地々佃取調一筆限表 中頸城郡岩手村地主惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治一九年十一月	美	二冊	二六七 二六八
増歩地々佃取調一筆限表 中頸城郡岩手村地主惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治一九年十一月	美	仮一冊 三丁	二六九
落地発見地籍編入内願書控 岩手村地主惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治一九年八月二十九日	美	仮二冊	二七〇
落地発見地籍編入内願書控 (明治一九年八月)	美	仮二冊	二七一
丈量図帳 (後欠) 中頸城郡岩手村 明治一九年八月	美	仮二冊	二七二
丈量図帳残簡 (明治一九年十一月)	美	仮一綴 (九丁)	二七三
丈量図帳残簡綴 (明治一九年又は二〇年)	美	九綴	二七四
丈量図帳下書并残簡	美	一括	二七五
開墾 交換地々佃取調一筆限表残簡綴 具状書 (丈量図面及び落地内願反別書ニ誤リ有ルニ付、検査願) 岩手村佐藤七郎治 戸長渡辺貞治宛 明治一九年十二月二十六日	美	仮二綴	二七六
具状書 (丈量図面及び落地内願反別書ニ誤リ有ルニ付、検査願) 岩手村佐藤七郎治 戸長渡辺貞治宛 明治一九年十二月二十六日	美	仮一冊	二七七
図面訂正之儀内願書控 岩手村地主惣代佐藤七郎治 明治一九年十二月二十三日	美	仮一冊	二七八
図面訂正之儀内願書控 岩手村地主惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治一九年十一月	美	三通	二七九
田方修正地佃下帳 中頸城郡黒川村大字岩手 明治二二年一〇月	美	一冊	二八〇
地方総計書上帳 (下書并控) 柏崎県御管轄第七大区小八区岩手村戸長佐藤文吉外二名 柏崎県参事鳥居断三宛 明治六年三月	美	二冊	二八一 二八二
小作定入付約書 (下書) 岩手村小作人惣代佐藤長八外三名・地主惣代吉村泰治外二名	美	仮一冊	二八三
田畑宅地山野収獲并小作米等級別仕訳帳下書 岩手村小作総代佐藤長八外三名・地主惣代大場義助外三名、改正用掛・戸長・小区長連名 新潟県令永山盛輝宛 明治九年	美	仮一冊	二八四
落地発見地籍編入内願書残簡綴 (明治一九年八月九)	美	仮二綴	二八五
墓地記載洩誤正願 (下書并控) 岩手村地主惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇年八月二三日	美	二冊	二八六
丈量図表坪数下帳 (明治一九年又は二〇年)	美	仮一冊	二八七
中頸城郡役所告達書回達写 (地押調御詮議ノ為メ出張ニ付、各村地主召進出頭指令) 戸長役場高畑外四ヶ村総代御中宛 明治一九年十一月一日	美	一通	二八八

。証明書〔字調書上ニ付、入念調査之上相違無之旨証明〕中頸城郡岩手村地主惣代佐藤七郎治外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇年七月六日	一通	二六九
。柿崎分署新築費寄附褒賞状拝受請書控 岩手村惣代佐藤文吉 新潟県知事篠崎五郎宛 明治一九年一〇月一八日	一通	二六〇
。地券面外書記載洩ニ付、訂正内願書下書 (明治一九年又は二〇年カ)	一通	二六二
。佐藤七郎治ヨリ丈量絵図面及ヒ落地内願反別書誤謬具状書提出ノ件ニ付、反論書下書 (佐藤文吉・佐藤亨吉) (明治二〇年カ)	一通	二六三
。〔開墾地変換地其外申告書類下書并断簡類〕 (明治一九年又は二〇年カ)	仮一綴	二六三
変換地 開墾地 増歩地申告書類 中頸城郡岩手村 落地 明治二〇年八月二九日	五点	二七〇 二七六
変換・開墾・増歩 地筆数取調表 中頸城郡岩手 落地・墓地 村大場儀助外四名 新潟県収税属沢渡猪又宛 明治二〇年八月	一冊	二七四
。墓地々券面外記載之義内願書 中頸城郡岩手村 地主惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇年八月	一冊	二七四
。開墾地丈量絵図 中頸城郡岩手村地主惣代大場 儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇年八月	一冊	二七四
。開墾地々価取調一筆限表 中頸城郡岩手村地主 惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明 治二〇年八月	一冊	二七四

。変換地丈量絵図 中頸城郡岩手村地主惣代大場 儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇年八月	一冊	二七〇
。変換地々価取調一筆限表 中頸城郡岩手村 地 主惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇年八月	一冊	二七〇
。増歩願 中頸城郡岩手村地主惣代大場儀助外四名 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇年八月	一冊	二七〇
。〔墓地々券面外記載之義内願書〕 中頸城郡岩 手村地主惣代大場儀助外四名・戸長渡辺貞治 新 潟県知事篠崎五郎宛 明治二〇年八月	一冊	二七五
。変換地々価取調一筆限表 中頸城郡岩手村地主 惣代大場儀助外四名・戸長渡辺貞治 新潟県知事 篠崎五郎宛 明治二〇年八月	一冊	二七五
。増歩地々価取調一筆限表 中頸城郡岩手村地主 惣代大場儀助外四名・戸長渡辺貞治 新潟県知事 篠崎五郎宛 明治二〇年八月	一冊	二七五
。開墾地々価取調一筆限表 中頸城郡岩手村地主 惣代大場儀助外四名・戸長渡辺貞治 新潟県知事 篠崎五郎宛 明治二〇年八月	一冊	二七五
。落地願 中頸城郡岩手村地主惣代大場儀助外四名 ・戸長渡辺貞治 新潟県知事篠崎五郎宛 明治二 〇年八月	一冊	二七五
。中頸城郡役所令達書等〔八幡社立木調査ニ付申 入〕明治一四年二月五日	一通	二七六

。中頸城郡役所令達書写〔地券下付之運ビニ付、証印稅任証書可差出旨申入〕 米山寺村戸長高橋清十郎宛 明治一四年二月一〇日

*。(米山寺村葉王寺除地一件書類) 安政三年

1 米山寺村葉王寺御除地出入一件〔葉王寺願書其外写〕 安政二年九月

2 (米山寺村役人上書并内濟証文写) 安政二年二月

3 安政三辰年村方葉王寺と出入雜用取調帳

4 (米山寺村高持割合金勘定覚)

明治十九年六月現在各自所有地価取調帳 明治二〇年一月二十四日

関涉地・無関涉地一覽表并粗絵図面 岩手村總代佐藤文吉 明治二〇年四月

約定書之事〔交換落地増減歩実地取調方ニ付協議約定〕 岩手村地押担当人佐藤七郎治外四名・上小野村立入人三上謙三外一名連印 明治二〇年六月一八日

地券台帳五拾筆寄附帳 中頸城郡岩手村 右村惣代佐藤文吉 上小野村外十七ヶ村戸長渡辺貞治宛 明治二〇年二月

地券台帳五拾筆寄附下調帳 中頸城郡岩手村 明治二〇年二月

(地券台帳五十筆寄附帳雛形并各自所有地価取調下帳) (明治二〇年二月)

上小野村外十七ヶ村戸長役場用状〔地券台帳而五十筆寄附帳差出之件相談ニ付、出頭申入〕 岩手村惣代中宛 (明治二〇年九月) 二月一五

附 地押費用等課賦書等 四通 調査委員三上謙三外一名 岩手村惣代御中宛

畦畔地押異動地取調ニ付人足記 (明治二十一年) 二枚 八五六
地押并ニ異動地取調費届書控 中頸城郡岩手村惣代佐藤文吉 上小野村外拾七ヶ村戸長渡辺貞治宛 明治二十一年九月二二日 一通 八五七

(各自所有地価取調帳下帳) (明治二十二年一月) 横長半 飯一冊 八五九

土地名寄帳 岩手村 明治二十二年六月 美 一冊 二六六

田方地価修正ニ付書留帳 黒川村大字岩手 明治二十二年九月 横長半 一冊 八五四

田方修正地価帳控 中頸城郡黒川村大字岩手地主惣代吉村泰治外四名 新潟県令篠崎五郎宛 明治二十二年一〇月 美 一冊 二九二

土地所有者名寄帳 黒川村大字岩手 明治二十三年 美 一冊 二六七

○年欠分

字大門崎俣木田 反別寄附帳 横長半 飯二冊 二九三

字浦沖ル之部反別寄附帳 横長半 飯一冊 二九四

字行清水尻 字追分鮫面 (寄) 横長半 飯一冊 二九四

字高原田反別附帳 字 蟹 穴 横長半 飯一冊 二九四

鴨潜ク之耕地 字同才之部反別寄附帳 横長半 飯一冊 二九三

字川端測ノ下 同俣木田道ノ下 同一大道ノ下 反別寄附帳 横長半 飯一冊 二九四

同新地ケ沢 同大門崎才ノ部 横長半 飯一冊 二九四

字大門崎反別寄附帳

嶋倉畑地曳帳

田畑宅地山野筆數各自取調下書
附 田畑宅地山野筆數集計表

倉橋孝治郎用狀「大字岩手名寄帳借用依頼」 佐藤
宛 四月八日

黒川村役場用狀「地名帳調製ニ付、各字迄反別収穫
及地価表提出依頼」 大字岩手地主惣代御中宛
附 雛形 一通

上小野村外十七ヶ村戸長役場用狀「水害関涉地
異動反別地価取調届出申入」 岩手村惣代中宛 二月
九日

(各自所有地地価地租取調帳下帳)

土地台帳

土地台帳 第壹号ノ第五号 越後国中頸城郡岩手村

地図更正

地図更正ニ関スル書類 黒川村大字岩手 明治二
八年一〇月二三日

1 更正地図調製ニ付約定書(下書共) 高城村大
字新四ノ辻請負人仁木実義・黒川村大字岩手地
主惣代吉村泰治外二名 明治二八年一〇月二二
日

2 請負金領収之証 高城村大字新四ノ辻仁木実
義・大字岩手地主惣代佐藤与吉外二名宛 明治
二八年一〇月二三日

3 地図請負金第二期分領収証 仁木実義 岩
手地主惣代御中宛 明治二八年一二月九日

横長半 飯一冊 二九四
横長半 飯一冊 二九四
横長半 飯一冊 二九四

横長半 飯一冊 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

4 地図請負金第三期分内金受領方依頼書 仁
木実義 岩手出張田代宛 明治二八年一二月二
六日

5 地図請負金内金借用証 高城村大字南五之辻
田代董二 黒川村字岩手吉村常吉宛 明治二八
年一二月三十一日

6 更生地図実測日記 中頸城郡黒川村大字岩手
明治二八年一〇月二三日

7 (日記) 九月一六日ヨリ

8 人足数覚

地図更正野取袋 中頸城郡黒川村大字岩手 明治
二九年九月一三日額定

1 地図更正受負金受取証 中頸城郡高城村新四
ノ辻仁木実義代人中村市作 黒川村字岩手地主
惣代宛 明治二九年一二月一三日

2 取替金証控 黒川村大字岩手佐藤与吉外二名
明治二九年一二月一三日

3 地図更正ノ人足記 明治二九年

4 (覚・下書類)

立会野取丈量帖 明治二九年一二月二四日

絵図・地図

元禄九十年下美守郷岩手村絵図写 梶村大瀧甚
十郎殿ノ借受 明治四年五月八日写取

岩手村耕地鑑絵図控 拾二番組岩手村庄屋佐藤文
吉外組頭百姓代三名連印 民政御役所宛 明治四年
七月

横長半 飯一冊 二九四
横長半 飯一冊 二九四
横長半 飯一冊 二九四

横長半 飯一冊 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

一通 八五七

大字岩手地引絵図 岩手村戸長新部与八郎・改正用
挂佐藤文吉・百姓惣代大場儀助外三名 明治一〇年
六月／副大区長三上喜三奥書 145.0×
182.0cm 一冊 九〇六

新潟県中頸城郡黒川村大字岩手全図 製図者中
村市作・地主惣代佐藤与吉外二名 明治一九年一〇月 194.0
381.0cm 一冊 九〇二

中頸城郡黒川村大字岩手全図 製図者中村市作・
地主惣代佐藤与吉外二名 明治一九年一〇月 55.0×
77.0cm 一冊 九〇三

〔岩手村絵図面下書〕

岩手村絵図 六枚 三七六
54.5×
56.5cm 一冊 九〇三

越後國中頸城郡岩手村絵図 一冊 九〇三
56.0×
53.5cm

大字岩手地引絵図 一冊 九〇七
袋入
180×
367cm

大字岩手地引絵図 一冊 九〇一
248×
318cm

〔大字岩手字図面帳〕 一冊 九〇四
27.5×
40.0cm

○他村分

字図面〔大字字／嶋字図面帳〕 一冊 九〇五
27.0×
36.5cm

貢租・諸懸〔組合村〕

願書・請書

定免

馬正面附村々願書〔定免採用願〕 享保九年一
月一六日 一通 八三五

下灰庭新田村外三ヶ村村役人口上願書下書〔一
〇ヶ年季定免願〕 庄屋与頭百姓代連署 享保一九年
大平村外一ヶ村請書控〔一〇ヶ年季定免〕 享保
一九年四月 一通 三七〇

下灰庭新田外二ヶ村村役人願書控〔定免願書〕
庄屋与頭百姓代一〇名連署 享保一九年三月二八日 一通 四三五

岩手組一五ヶ村村役人願書控〔定免採用願〕 狸平
外一四ヶ村庄屋組頭百姓代・大肝煎佐藤八平連印
宝曆一一年 一通 三六

岩手組一五ヶ村村役人願書案詞并控〔定免採用
願〕 黒岩村外一四ヶ村庄屋組頭百姓代連印・大肝煎
佐藤八平連署 御奉行所宛 明和三年二月、三月 二通 三六

大肝煎屈書案詞〔定免願允可ニ付屈書〕 郡御奉行
所宛并御代官所宛 戊（明和三年）二月 一通 三六

御居免被仰付候御請書 岩手組一五ヶ村庄屋組頭
百姓代・大肝煎佐藤八平連印 御奉行所宛 明和
三年八月 一冊 六

寛政五丑年八月居免被仰付冥加米指上候所、殿
様御筆を以御免被仰付候御請書 黒岩組狸平村
庄や久左衛門外一九ヶ村庄屋 大肝煎所宛 寛政五
年八月 一冊 二九三

美

飯一冊 二九三

その他

竹直村役人願書控〔竹直村年貢米下条村御藏へ上納願〕 岩手組竹直村与頭左衛門外一名・庄屋嘉左衛門連印 延享元年七月

下金原村役人書上一札〔当子御年貢米未進人より取上置申候米并雜物寛〕 庄屋市郎左衛門外組頭百姓三名連印 佐藤八平宛 延享元年二月

岩手組大肝煎佐藤八平口上覚下書〔下条御藏年貢米持運之件承知并御米かゝり物三分一赦免願〕 御手代中宛 延享三年七月

岩手組中山村村役人惣百姓願書〔去年御年貢米之内ふけ腐米老俵分御有免仰上願〕 百姓二六名・請作人九名・与頭庄屋三名連印 大肝煎所宛 寛延四年六月

岩手組一五ヶ村村役人願書控〔当年作方不熟ニ付御検見之節御慈悲御勘弁願〕 上下浜新田外一四ヶ村庄屋与頭・大肝煎佐藤八平連印 御奉行所宛 宝曆五年八月

大肝煎一〇名連署窺書下書〔来子年先納金之内当年納分減額并納期限延期ノ窺〕 高田廻り年番森弥三左衛門外大肝煎九名〔年欠〕

黒岩組岩手村外二ヶ村庄屋届書控〔米山寺村去亥御年貢未進ニ付、大肝煎様御威光を以蔵組皆済仕度旨届書〕 岩手村庄屋啓助・水野村同仁左衛門・高畑村同多十郎 大肝煎所宛 天保一二年六月

損地・毛付

損地書上帳

上下浜村新田御損地高反別書上帳 岩手組上下浜村新田百姓代与頭庄屋 明和五年四月

横長美

一通 三六七

岩手組中山村御損地御改書上帳扣 岩手組中山村庄屋組頭百姓代 明和五年四月 横長美 一冊 九六

岩手組猿毛村御損地御改書上帳扣 猿毛村庄屋与頭百姓代 明和五年四月 横長美 一冊 九七

岩手組黒岩村前々御損地書上帳御扣分 岩手組黒岩村庄屋組頭百姓代 明和五年四月 横長美 一冊 九八

岩手組狸平村御損地書上帳扣 岩手組狸平村庄屋組頭百姓代 明和五年四月 横長美 一冊 九九

前々御損地御引高反別小前書上帳 岩手組落合村庄屋与頭百姓代 明和五年四月 横長美 一冊 一〇〇

岩手組羊嶋村御損地御改ニ付小前書上帳御扣 羊嶋村庄屋組頭惣百姓代 明和五年四月 横長美 一冊 一〇一

合毛帳

岩手組村々田畑反別合毛帳扣 大肝煎佐藤八平寛延二年九月 横長美 一冊 一〇二

秋毛目録

岩手組江嶋新田村秋毛目録 庄屋・与頭 宝曆二年八月 半 一冊 一〇三

岩手組中山村秋毛目録 中山村庄屋組頭・大肝煎佐藤八平 宝曆二年 半 一冊 一〇四

岩手組下条村秋毛目録扣 下条村庄屋組頭 宝曆二年八月 美 一冊 一〇五

岩手組黒岩村秋毛目録扣 黒岩村庄屋組頭 宝曆二年八月 美 一冊 一〇六

竹直村秋毛目録扣 竹直村庄屋組頭 宝曆二年八月 美 一冊 一〇七

岩手組中山村秋毛目録扣 中山村庄屋組頭・大肝煎佐藤八平 宝曆六年九月 美 一冊 一〇八

岩手組下灰庭新田村秋毛目録帳 下灰庭新田村庄屋組頭 宝曆六年九月	美	一冊	一八〇四
岩手組猿毛村秋毛目録扣 猿毛村庄屋与頭・大肝煎佐藤八平 宝曆六年	美	一冊	一八〇五
岩手組下金原村秋毛目録 下金原村庄屋組頭 宝曆六年八月	美	一冊	一八〇六
岩手組狸平村秋毛目録扣 狸平村庄屋与頭 宝曆六年	美	一冊	一八〇七
〔右手組狸平村秋毛目録〕 狸平村庄屋組頭 宝曆九年八月	美	一冊	一七九五
岩手組中山村秋毛目録 岩手組中山村庄屋与頭・大肝煎佐藤八平 宝曆九年	美	一冊	二九五
岩手組竹直村秋毛目録扣 岩手組竹直村庄屋与頭 大肝煎所宛 宝曆九年八月	美	一冊	二九五
年貢・小物成			
割付・皆済			
鴈海村戊御年貢割付状写 牧〔牧野〕駿河内疋田水右衛門 宝曆四年一〇月	一通	三三	
米山寺村已年免相状 前嶋甚左衛門・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門 米山寺村庄屋百姓中宛 文政四年一〇月一五日	一通	三七	
岩手組已御年貢米大豆小物成御皆済目録下書	一通	三六	
○			
上金原村庄屋兵次郎辰年皆済目録受取一札 大肝煎所宛 寛延三年七月二日	一通	三七	

先納金			
○取立帳			
小物成并御年貢米之内先納金取立帳 年番小林平次郎 寛保二年七月	横長美	一冊	三〇四
亥年先納金取立帳 寛保三年	横長美	一冊	三〇四
附 先納金納方一札 下灰庭村・高畑村庄屋 岩手村大肝煎所宛 亥四月二日・二二日	横長美	一通	三〇四
子年先納金取立帳 去々戌年先納金御利分請取 狸平村外一四ヶ村庄屋 寛保四年三月	横長美	一冊	三〇六
丑年先納金取立帳 去々亥年先納金御利分請取 狸平村外一四ヶ村庄屋 延享二年	横長美	一冊	三〇六
卯年先納金月割上納 延享四年	横長美	一冊	三〇六
辰年先納金取立帳 延享五年	横長美	一冊	三〇六
巳年先納金取立帳 岩手組 寛延二年正月	横長美	一冊	三〇六
酉年先納金取立帳 宝曆三年二月	横長美	一冊	三〇六
戌年先納金取立帳 宝曆四年閏二月	横長美	一冊	三〇六
亥年先納金取立帳 宝曆五年二月	横長美	一冊	三〇六
子年先納金取立帳 岩手組 宝曆六年二月	横長美	一冊	三〇六
丑年先納金取立帳 岩手組 宝曆七年二月	横長美	一冊	三〇六
寅年先納金取立帳 岩手組 宝曆八年	横長美	一冊	三〇六
卯年先納金取立帳 但小役先納飯割 宝曆九年七月	横長美	一冊	三〇六
辰年先納金取立帳 岩手組 宝曆一〇年	横長美	一冊	三〇六
巳年先納金取立帳 岩手組 宝曆十一年	横長美	一冊	三〇六
寅丑御頼先納金取立 (年欠)	横長美	一冊	三〇六

○返濟請取帳

子先納金御返濟指引帳 狸平村外一四ヶ村庄屋組
頭 大肝煎所宛 宝曆七年二月

先納金元利返濟請取証文控
平 笹倉權兵衛・伊崎平七郎宛
岩手組大肝煎佐藤八
延享二年一〇月
一通 四六六

○利分割賦帳

寅先納金御利分割賦帳 宝曆八年二月 横長美 一冊 八六

年貢米積帳

丑御年貢米積り帳	延享二年	横長半	一冊	六四
卯御年貢米積帳	延享四年	横長半	一冊	六三
辰御年貢米積帳	寛延元年	横長美	一冊	六五
申御年貢米積り帳	宝曆二年	横長美	一冊	五九
酉御年貢米積り帳	宝曆三年	横長美	一冊	五八
戌御年貢米積り帳	宝曆四年	横長美	一冊	七六
亥御年貢米積帳	宝曆五年	横長美	一冊	七九
子御年貢米積帳	宝曆六年	横長美	一冊	八三
丑御年貢米積帳	宝曆七年	横長美	一冊	八六
寅御年貢米積帳	宝曆八年	横長美	一冊	八五
卯御年貢米積帳	宝曆九年	横長美	一冊	八六
午御年貢米積帳	宝曆一二年	横長美	一冊	九三
小物成定役増減役書上帳				
(下美守郷中組村々小物成金井大豆納書上帳)				
年番八平・平次郎 寛保二年一二月 附 覚 二通				
岩手組村々小物成之内定役増減役書上帳	岩手	横長半	一冊	六九
組大肝煎佐藤八平	延享二年一〇月	横長半	一冊	六三
岩手組村々小物成之内定役増減役書上帳	岩手	横長半	一冊	六三
組大肝煎佐藤八平	延享四年一〇月	横長半	一冊	七五
岩手組村々小物成之内定役増減役書上帳	岩手	横長半	一冊	七五
組大肝煎佐藤八平	寛延元年一〇月	横長半	一冊	七五

岩手組村々小物成之内定役増減役書上帳	岩手	横長半	一冊	七九
組大肝煎佐藤八平	御奉行所宛 寛延四年一〇月	横長半	一冊	七九
岩手組村々小物成之内定役増減役書上帳	大肝	横長半	一冊	七六
組大肝煎佐藤八平	御奉行所宛 宝曆二年一〇月	横長半	一冊	七六
岩手組村々小物成之内定役増減役書上帳	大肝	横長半	一冊	七六
組大肝煎佐藤八平	御奉行所宛 宝曆三年一〇月	横長半	一冊	七六
岩手組村々小物成之内定役増減役書上帳	大肝	横長半	一冊	七六
組大肝煎佐藤八平	御奉行所宛 宝曆四年一〇月	横長半	一冊	七六
岩手組村々小物成定役増減役書上帳	御奉行所	横長半	一冊	八三
宛 宝曆五年一〇月	御奉行所	横長半	一冊	八三
岩手組村々小物成定役増減役書上帳	御奉行所	横長半	一冊	八三
宛 宝曆六年一〇月	御奉行所	横長半	一冊	八三
岩手組村々小物成定役増減役書上帳	大肝煎佐	横長半	一冊	八七
藤八平 御奉行所宛 宝曆七年一〇月	大肝煎佐	横長半	一冊	八七
岩手組村々小物成定役増減役書上帳	大肝煎佐	横長半	一冊	八七
藤八平 御奉行所宛 宝曆八年一〇月	大肝煎佐	横長半	一冊	八七
岩手組村々小物成定役増減役書上帳	大肝煎佐	横長半	一冊	八七
藤八平 御奉行所宛 宝曆九年一〇月	大肝煎佐	横長半	一冊	八七
岩手組村々小物成定役増減役書上帳	大肝煎佐	横長半	一冊	八七
佐藤八平 御奉行所宛 宝曆一〇年一〇月	大肝煎	横長半	一冊	八八
岩手組村々小物成銀定役増減役書上帳	大肝煎	横長半	一冊	八八
佐藤八平 御奉行所宛 宝曆一二年一〇月	大肝煎	横長半	一冊	八八
岩手組村々小物成銀定役増減役書上帳	大肝	横長半	一冊	九三
煎佐藤八平 御奉行所宛 宝曆一二年一〇月	大肝	横長半	一冊	九三
岩手組村々小物成銀定役増減役書上帳	大肝	横長半	一冊	九三
煎佐藤八平 御奉行所宛 宝曆一二年一〇月	大肝	横長半	一冊	九三
未御年貢米小物成大豆納方元帳	岩手組	横長半	一冊	一七〇
年一二月	宝曆元	横長半	一冊	一七〇

納方元帳

申御年貢米小物成大豆納方元帳 岩手組扣 岩手組大肝煎佐藤八平 加藤源藏宛 宝曆二年一月二日	半	一冊	二九四
西御年貢米小物成大豆納方元帳 宝曆三年一月二日	半	一冊	一七二
西御年貢米小物成大豆納方元帳 岩手組扣 宝曆三年二月二日	半	一冊	一七三
亥御年貢米小物成大豆納方元帳 宝曆五年一月二日	半	一冊	一七三
子御年貢米小物成大豆納方元帳 宝曆六年一月二日	半	一冊	一七四
丑御年貢米小物成大豆納方元帳 宝曆七年一月二日	半	一冊	一七五
寅御年貢米小物成大豆納方元帳 宝曆八年一月二日	半	一冊	一七六
卯御年貢米小物成大豆納方元帳 宝曆九年一月二日	半	一冊	一七七
西御年貢米小物成大豆納方元帳 明和二年	半	一冊	一七八
小物成大豆代金取立帳			
巳小物成金大豆代金取立帳 宝曆十一年一月二日	橫長美	一冊	九四
午小物成大豆代金取立帳 宝曆十二年	橫長美	一冊	九三
附 午小物成大豆代金上納通 岩手村	橫長美	一通	九三
年貢米村々場帳			
戌之御年貢米納村々切振帳 下条御藏 下美守郷中組 寛保二年一月二日	橫長美	一冊	六三
寅御年貢米場帳 延享三年	橫長美	一冊	六六
卯御年貢米場帳 延享四年	橫長美	一冊	六八
辰御年貢米場帳 岩手組村々 寛延元年一月二日	橫長美	一冊	七三
辰御年貢米指引場帳 岩手組村々 寛延元年一月二日	橫長半	一冊	七三

未御年貢米村々場帳 宝曆元年一月二日	橫長美	一冊	七三
申御年貢米場帳(下書共) 宝曆二年一月二九日	橫長半	二冊	七五
西御年貢米村々場帳 宝曆三年一月二三日	橫長半	一冊	七六
戌御年貢米村々場帳 岩手組 宝曆四年二月四日	橫長半	一冊	七六
亥御年貢米場帳 宝曆五年二月三日	橫長半	一冊	八三
子御年貢米村々場帳 宝曆六年	橫長美	一冊	八八
丑御年貢米村々場帳 宝曆七年二月二三日	橫長美	一冊	八三
寅御年貢米村々場帳 岩手組 宝曆八年二月二日	橫長美	一冊	八五
卯御年貢米村々場帳 宝曆九年一月一六日(二月九日)	橫長美	一冊	八四
辰御年貢米村々場帳 宝曆十一年一月二九日場詰	橫長美	一冊	八九
辛巳御年貢米村々場帳 宝曆十一年二月朔日場詰(二月二〇日升附)	橫長美	一冊	九三
午御年貢米村々場帳 宝曆十二年一月二〇日場詰	橫長美	一冊	九六
未御年貢米村々場帳 岩手組 宝曆十三年二月朔日場詰	橫長美	一冊	九六
申御年貢米村々場帳 岩手組 明和元年二月二九日場詰	橫長美	一冊	九五
蔵納・廻米・払米			
下条村庄屋御蔵米預り証文(丑之御年貢米津出シ駄賃錢之方として) 庄屋佐次右衛門・幾右衛門連印 佐藤八平宛 延享二年閏二月四日		一通	四三

諸品買上ヶ通 下条組 延享二年二月二日 下条村太次右衛門通之内書拔 延享三年	横長半 合一冊 六六
川浦源兵衛米請取証文〔御松米運賃米、積預り証文を以請取〕 佐藤八平宛 延享三年二月	一通 四九三
卯年岩手組下條郷藏御年貢米納通写 延享四年二月	横長半 一冊 六二
御本領下条郷御藏御米川下ヶ上乘庄屋宿松帳 八木彦四郎 佐藤八平宛 宝曆三年一月	横長半 一冊 七九
柿崎村藤左衛門差出一札〔岩手組下条御藏米此度御質物ニ請取候ニ付、御質米取扱方取決一札〕 岩手組村々庄屋中宛 宝曆四年一〇月	一通 四三〇
酉御年貢米三本橋出諸入用帳 小懸割立会庄屋竹直村嘉左衛門外五名 宝曆四年一月	横長美 一冊 七四
御用米御改人足上下浜詰賃銀渡方帳 竹直村嘉左衛門外四名 宝曆四年一月	横長美 一冊 七七
福永十三郎藏米請取一札 佐藤八平宛 丑〔宝曆七年〕二月	一通 八六
石倉善八郎代金請取一札〔下条鉢崎指米弘代金〕 岩手組大肝煎佐藤八平宛 宝曆七年二月一七日	一通 三六六
美濃屋善兵衛書狀〔岡本五右衛門様御質米請取ニ付〕 佐藤八平宛 〔宝曆一〇年〕二月二十九日	包紙入 一通 八六
福永十三郎書狀〔御藏請取米御配符并運賃金ニ付〕 佐藤八平宛 〔宝曆一〇年〕八月二日、八月二十五日	包紙入 二通 八九七
柿崎梅屋仁兵衛藏米請取書・鈴木全右衛門等松米渡方一札其外綴 岩手村大肝煎佐藤八平宛 巳〔宝曆一一年〕二月二日、七月二八日	一綴 八四 〔七通〕
柿崎村清左衛門藏米請取書等綴 岩手村佐藤八平宛 巳〔宝曆一一年〕五月一日、二月三日	一綴 八五 〔二通〕
御年貢米納方差引勘定覚 岩手組大肝煎佐藤八平 巳〔宝曆一一年〕二月	一通 九三
御藏米切出勘定覚綴 巳〔宝曆一一年〕二月、二月	一綴 九四 〔七通〕
御藏米切出勘定覚綴 巳〔宝曆一一年〕二月、二月	一綴 九五 〔九通〕
御納米村々出方覚 下条村太次右衛門外一名 佐藤八平宛 午〔宝曆一二年〕五月	一通 九六
〔藏出米改帳〕 〔宝曆一二年〕	横長美 一冊 九二〇
柿崎村彦六藏米請取書等綴 岩手村佐藤八平外宛 午〔宝曆一二年〕閏四月二八日、六月一日	一綴 九二 〔六通〕
〔津出并駄付覚帳〕 〔宝曆年中〕	横長半 一冊 二五
手形替米并納米勘定覚綴 友七外 佐藤八平外宛 戌〔明和三年〕	一綴 九四〇 〔七通〕
戌柿崎津出覚 戌〔明和三年〕	横長半 一冊 九四
〔上納米勘定覚帳〕 子〔明和五年〕	横長半 一冊 九四
丑下条藏正米弘覚 〔年欠〕	横長半 一冊 五八〇
卯御年貢米藏弘帳 〔年欠〕	横長半 一冊 二五七
御出米枅違書立口上書写 善太郎〔柿サキ大田屋 〆〕上小野旦那様外三名宛 〔年欠〕	一通 四八七
刺米勘定帳	
卯刺米勘定帳 小懸割惣代庄屋下金原村市郎左衛門外三名 寛延元年二月	半 一冊 七二〇
巳刺米勘定帳 小懸割惣代庄屋北黒岩村権右衛門外四名 寛延三年二月	横長美 一冊 七二五

午刺米勘定帳	小懸割庄屋惣代北黒岩村權右衛門外 五名 宝曆元年 二月	橫長美	一冊	七三
未刺米勘定帳	小懸割庄屋惣代北黒岩村權右衛門外 五名 宝曆二年 二月	橫長美	一冊	七九
申刺米勘定帳	小懸割惣代庄屋竹直村嘉左衛門外五 名 宝曆三年 一月	橫長美	一冊	七六
酉刺米勘定帳	小懸割惣代庄屋竹直村嘉左衛門外五 名 宝曆四年 一月	橫長美	一冊	七二
戌刺米勘定帳	下金原村市郎左衛門外 五名 宝曆五 年 一月	橫長美	一冊	八〇
亥刺米勘定帳	割方庄屋落合甚藏外 四名 宝曆六 年 一月	橫長美	一冊	八九
子刺米勘定帳	割方庄屋落合村甚藏外 四名 宝曆七 年 一月	橫長美	一冊	八三
丑刺米勘定帳	割方庄屋落合村甚藏外 四名 宝曆八 年 一月	橫長美	一冊	八五
寅刺米勘定帳	割方庄屋落合村甚藏外 五名 宝曆九 年 一月	橫長美	一冊	八五
卯刺米勘定帳	割方庄屋落合村甚藏外 五名 大肝煎 佐藤八平宛 宝曆一〇年 一月	橫長美	一冊	八九
辰刺米勘定帳	芋嶋村庄屋与左衛門外 六名 大肝煎 所宛 宝曆一一年 一月	橫長美	一冊	九五
巳刺米勘定帳	割方庄屋竹直村嘉左衛門外 五名 大 肝煎所宛 宝曆一二年 一月 一日	橫長美	一冊	九七
午刺米勘定帳	割方庄屋竹直村嘉左衛門外 六名 大 肝煎所宛 宝曆一三年 一月	橫長美	一冊	九七
未刺米勘定帳	割方庄屋竹直村嘉左衛門外 五名 大 肝煎所宛 明和元年 二月	橫長美	一冊	九五

佐藤家文書目録 貢租・諸懸〔組合村〕 年貢・小物成

申刺米勘定帳	割方庄屋竹直村嘉左衛門外 六名 大 肝煎所宛 明和二年 一月 一日	橫長美	一冊	九七
酉刺米勘定帳	割方庄屋竹直村嘉左衛門外 六名 明 和三年 二月 一日 三日	橫長美	一冊	九〇
年貢米小物成諸色入用目録				
岩手組黒岩村辰御年貢米小物成銀万納方并村中 諸入用勘定目録	村役人惣百姓連印 寛延二年	美	一通	三六九
上下浜新田未御年貢米小物成諸色入用帳	村役 人惣百姓連印 宝曆二年三月	美	一冊	一七〇
黒岩村御年貢小物成諸色入用目録	村役人惣百姓 連印 宝曆二年三月	美	一冊	一七三
戌御年貢米小物成諸色入用目録	岩手組落合村村 役人惣百姓連印 宝曆五年二月	美	一冊	一五四
岩手組上下浜新田未御年貢米小物成諸色入用帳	村役人物百姓連印 宝曆一四年三月	半	一冊	一五二
岩手組狸平村申御年貢米小物成諸色入用目録帳	村役人物百姓連印 明和二年三月	美	一冊	一五九
上下浜新田申御年貢米小物成諸色入用帳扣	村役人惣百姓連印 明和二年三月	美	一冊	一五三
岩手組竹直村申御年貢米小物成諸色入用目録扣	村役人物百姓連印 明和二年三月	美	一冊	一七七
江嶋新田村申御年貢米小物成諸色入用帳扣	村役人惣百姓連印 明和二年三月	美	一冊	二九七
○他組分				
宝曆元未年御年貢米小物成銀諸色入用目録(亨)	西野嶋組原町村 宝曆二年正月	半	一冊	一六九
年貢米金皆濟勘定目録				

辰御年貢米金皆濟御勘定目録	岩手組	寛延二年	半	一冊	一七九
巳御年貢米金皆濟御勘定目録	岩手組	寛延三年	半	一冊	一八〇
申御年貢米金皆濟御勘定目録	岩手組	宝曆三年	半	一冊	一八一
酉御年貢米金皆濟御勘定目録	岩手組	宝曆四年	半	一冊	一八二
亥御年貢米金皆濟御勘定目録	岩手組	宝曆六年	半	一冊	一八三
子御年貢米金皆濟御勘定目録	宝曆七年八月	半	一冊	一八四	
丑御年貢米金皆濟御勘定目録	宝曆八年六月	半	一冊	一八五	
寅御年貢米金皆濟御勘定目録	岩手組	宝曆九年	半	一冊	一八六
卯御年貢米金皆濟御勘定目録	岩手組	宝曆一〇年八月	半	一冊	一八七
辰御年貢米金皆濟御勘定目録	宝曆十一年	半	一冊	一八八	
郡 中 割					
夫人足・伝馬御用					
『支配』『組合村』（七頁）を見よ					
普請人足入用					
『普請』『組合村』（一九頁）を見よ					
郡中小懸配賦目録					
子年諸懸り銀割賦帳〔全領分〕	岩手組扣	宝曆六年一月	半	一冊	八五四

岩手組当寅小掛銀配賦目録	触元役所	佐藤八平宛	延享三年十一月	一通	六七三
岩手組当辰年中万雜銀并桶水門御普請人足賃銀共配賦目録	長谷川郡八外三名	佐藤八平宛	辰（寛延元年）十一月	一通	五二一
岩手組当未年郡役諸掛金銀差引配賦目録	掘田源次右衛門外一名	佐藤八平宛	未（宝曆元年）二月	二通	二五三
岩手組当申年小掛銀品々配賦目録	早津九郎左衛門外二名	佐藤八平宛	宝曆二年一〇月	一通	五二三
岩手組当酉年万雜配賦目録	横山久右衛門・塚田源次右衛門・上野只右衛門・齊京三太左衛門	佐藤八平宛	酉（宝曆三年）一〇月	一通	三九〇
岩手組当丑小懸り銀配賦目録	永井要助外三名	佐藤八平宛	丑（宝曆七年）一〇月	一通	八四五
岩手組当巳万雜銀配賦目録	清水喜右衛門外二名	佐藤八平宛	巳（宝曆一一年）二月	一通	九二三
高田小懸割賦帳					
高田割方惣高役高割賦帳	佐藤扣	寛保二年	半	一綴	六四
附。（佐州御伝馬賃銀割帳）	（子年先納金・御俵見・戌亥役米状繼米・丹波様御伝馬割帳）		半	三冊	
惣高割郡中御用寄合雜用銀割帳	佐藤八平・年番喜右衛門外四名	寛保二年二月	半	一冊	六五
高田郡中年番所会所諸入用帳	下美守郷中組割方庄屋下金原村市郎左衛門外三名	寛保二年二月	横長美	一冊	六六

高田会所入用 所々普請勦入用 繩藥納入用 帳 (延享二年)	橫長半	一冊	六五
藏取人足上納 御札錢入用			
御巡見様入用 高田会所入用 納繩藥入用 所々用水堰人足用具入用并請負金 元割帳 海道筋道作り人足入用 狀繼役代米 寅小懸割惣代竹直村庄屋嘉左衛門外五人 延享三年	橫長美	一冊	六二
高田小懸惣高役高割帳 割方庄屋下金原村市郎左 衛門外三名 寛延元年	橫長美	一冊	七二
岩手組諸割合并人足賃銀共割賦 寛延元年閏一〇 月	橫長半	一冊	七六
高田小懸惣高役高割帳 小懸割庄屋竹直村嘉左衛 門外五名 宝曆元年一月	橫長美	一冊	七四
高田小懸惣高役高割帳 小懸割庄屋竹直村嘉左衛 門外五名 宝曆二年一月	橫長美	一冊	七三
高田小懸惣高役高割帳 小懸割庄屋竹直村嘉左衛 門外四名 宝曆三年一月	橫長美	一冊	七七
高田小懸惣高役高割帳 小懸割庄屋竹直村嘉左衛 門外五名 宝曆四年一月	橫長美	一冊	七九
高田小懸惣高役高割帳 小懸割庄屋下金原村市郎 左衛門外五名 宝曆五年一月	橫長美	一冊	七九
高田小懸惣高役高割帳 小懸割庄屋落合村甚藏外 四名 宝曆六年閏一月	橫長美	一冊	八五
高田小懸惣高役高割帳 割方庄屋落合村甚藏外 名 宝曆七年一月	橫長美	一冊	八〇

佐藤家文書目錄 貢租・諸懸〔組合村〕 郡中割

高田小懸惣高役高割帳 割方庄屋落合村甚藏外四 名 宝曆八年一月	橫長美	一冊	八五
卯高田小懸惣高役高割賦帳 割方庄屋落合村甚藏 外五名 宝曆九年一月	橫長美	一冊	八七
高田小懸惣高役高割賦帳 宝曆一〇年一月	橫長美	一冊	八五
高田小懸惣高懸役高懸割賦帳 割方庄屋竹直村嘉 左衛門外五名 宝曆一二年二月	橫長美	一冊	九四
高田小懸惣高懸役高懸割賦帳 割方庄屋竹直村嘉 左衛門外六名 宝曆一三年二月	橫長美	一冊	九五
高田小懸惣高懸役高懸割賦帳 明和元年二月	橫長美	一冊	九五
高田小懸り惣高懸役高懸割賦帳 割方庄屋竹直村 嘉左衛門外六名 明和二年二月一日	橫長美	一冊	九六
高田小懸惣高懸役高懸割賦帳 割方庄屋竹直村嘉 左衛門外五名 明和三年二月一日	橫長美	一冊	九七

繩・蕨・藁

○納繩

丑年納寅年納繩代金村々江請取割賦帳 小掛割 方庄屋竹直村嘉左衛門外五名 延享三年一月	橫長美	一冊	六六
岩手組辰年納繩請取狀 竹本庄右衛門 岩手組宛 寛延三年三月一日 元所與判 井九右・安作 兵裏判		一通	四四七
寛保二戊年納繩代御返濟割賦元帳 小懸割庄屋惣 代黒岩村權左衛門外五名 宝曆二年一日	橫長美	一冊	七五
岩手組戌年納繩請取狀 村瀬理右衛門 岩手組中 宛 宝曆六年三月一日 元所與判 新平左・水 清藏裏判		一通	四四八

○蕨・藁代請取狀

岩手組去戌年藏代錢請取狀 内田直之丞外一名
岩手組大肝煎佐藤八平宛 宝曆元年二月一七日
元ノ所奥判

一通 二五三

御献上藏御漬入用上納寛控 岩手組大肝煎佐藤八平
御余金御役所宛 子二二月

一通 四五三

岩手組去午年藏代金請取狀 領奉行所 岩手組大
肝煎佐藤八平宛 宝曆元年二月一七日

一通 二五四

組内割

岩手組去申年藏代金請取狀 菅沼市兵衛・野口利
左衛門 岩手組大肝煎佐藤八平宛 宝曆三年二月
二七日

一通 三六六

書出

当戌村々勤人足書出留帳 下美守郷中組 寛保二
年一月

横長美

一冊 六五

岩手組当戌年藏代金請取狀 内田仁左衛門・豊田
武左衛門 岩手組大肝煎佐藤八平宛 宝曆四年一
月一四日ノ元ノ所奥判 水清蔵・井九右・安作兵裏

一通 三八三

辰小掛り方書出シ綴 黒岩村佐五右衛門外 大肝
煎・小掛割方庄屋衆中宛 辰(寛延元年)閏一〇月
十一月

横長美
一綴
一飯
九通
四九四

岩手組去酉年藏代金請取狀 菅沼市兵衛 岩手組
大肝煎佐藤八平宛 戊(宝曆四年)二月一一日

一通 三八四

村々引請帳 寛延元年一月
辰年取替物書出帳 岩手村平六 小懸割庄屋衆中
宛 寛延元年二月

横長半

一冊 七〇七

岩手組当戌年藏代金請取狀 内田仁左衛門・豊田
武左衛門 岩手組大肝煎佐藤八平宛 宝曆五年一
月一四日ノ元ノ所奥判 新平左・水清蔵・井九右裏

一通 三七四

高田宿旅籠錢等割賦帳

岩手組去戌年藏代金請取狀 菅沼市兵衛 岩手組
大肝煎佐藤八平宛 亥(宝曆五年)二月二四日

一通 三八五

年番所・庄屋高田宿旅籠錢并諸品調物割賦帳
下美守中組 小懸リ割方庄屋下金原村市郎左衛門
外三名 寛保二年二月

横長美

一冊 六六

岩手組去子年藏代金請取狀 荒井忠助・小林元右
衛門 岩手組大肝煎佐藤八平宛 宝曆七年正月二三
日ノ元ノ所奥判 新平左外二名裏判

一通 四九三

年番所・庄屋中共ニ高田宿旅籠錢并諸品調物割
賦帳 下美守郷中組 小懸割元庄屋下金原市郎左衛
門外三名 寛保二年二月

横長美

一冊 六七

村方小入用割賦帳

岩手組去丑年藏代金請取狀 煉山文左衛門外二
名 岩手組大肝煎佐藤八平宛 宝曆八年七月一〇日

一通 八四七

村方小入用割賦帳 (下美守郷)中組小掛り割庄屋
下金原村市郎左衛門外三名 寛保二年

横長美

一冊 六三

岩手組当寅年藏代金請取狀 煉山文左衛門外二
名 岩手組大肝煎佐藤八平宛 宝曆八年二月一四
日ノ元ノ所奥判 安孫右外三名裏判

一通 四四三

村方小入用惣高掛り役高懸リ割賦帳 小掛り割
方庄屋黒岩村佐五右衛門外四名 延享二年二月

横長美

一冊 六七

村方小入用惣高掛役高掛割賦帳 割方庄屋桜町新
田村又右衛門外五名 延享三年二月

横長美

一冊 六三

村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 嘉左衛門外三名 寛延元年十一月	割方庄屋竹直村 横長美	一冊	六九
村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 嘉左衛門外六名 宝曆元年十一月	割方庄屋竹直村 横長美	一冊	七六
村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 嘉左衛門外五名 宝曆二年十一月	割方庄屋竹直村 横長美	一冊	七二
村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 嘉左衛門外五名 宝曆三年十一月	割方庄屋竹直村 横長美	一冊	七三
村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 嘉左衛門外五名 宝曆四年十一月	割方庄屋竹直村 横長美	一冊	七七
村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 佐五右衛門外五名 宝曆五年二月	割方庄屋黒岩村 横長美	一冊	七六
村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 甚蔵外四名 宝曆六年閏十一月	割方庄屋落合村 横長美	一冊	八四
村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 外四名 宝曆七年十一月	割方庄屋落合村甚蔵 横長美	一冊	八六
村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 外四名 宝曆八年十一月	割方庄屋落合村甚蔵 横長美	一冊	八五
村方小入用惣高懸役高懸割賦帳 外五名 宝曆九年十一月	割方庄屋落合村甚蔵 横長美	一冊	八〇
村方小入用惣高懸り役高掛り割賦帳 落合村甚蔵外五名 大肝煎所佐藤八平宛 宝曆一〇年十一月二日	割方庄屋 横長美	一冊	八四
村方小入用惣高掛り役高掛り割賦帳 芋嶋村与左衛門外六名 大肝煎所宛 宝曆一一年一月一七日	割方庄屋 横長美	一冊	九三
村方小入用惣高懸り役高掛り割賦帳 竹直村嘉左衛門外五名 大肝煎所宛 宝曆一二年一月一五日	割方庄屋 横長美	一冊	九三

佐藤家文書目録 貢租・諸懸〔組合村〕 組内割

村方小入用惣高掛割賦帳 門外六名 大肝煎所宛 宝曆一三年十一月二日	割方庄屋竹直村嘉左衛 横長美	一冊	九三
村方小入用役高掛割賦帳 門外六名 宝曆一三年十一月二日	割方庄屋竹直村嘉左衛 横長美	一冊	九三
村方小入用惣高掛割賦帳 門外五名 大肝煎所宛 明和元年二月二七日	割方庄屋竹直村嘉左衛 横長美	一冊	九三
村方小入用役高掛割賦帳 名 明和元年二月二六日	割方庄屋嘉左衛門外五 横長美	一冊	九三
村方小入用惣高懸割賦帳 明和二年十一月一〇日	割方庄屋嘉左衛門外五 横長美	一冊	九六
村方小入用役高掛割賦帳 左衛門外六名 明和二年二月一〇日	割方庄屋芋嶋村庄屋与 横長美	一冊	九六
村方小入用惣高懸割賦帳 左衛門外五名 明和三年二月一三日	割方庄屋芋嶋村庄屋与 横長美	一冊	九七
村方小入用役高掛割賦帳 門外五名 明和三年二月一三日	割方庄屋竹直村嘉左衛 横長美	一冊	九七

下条陣屋・蔵方入用割賦帳

下條村御蔵造立ニ付入用割賦帳 小掛割方庄屋下金原村市郎左衛門外三名 寛保二年十一月	下美守郷中組 横長美	一冊	六三〇
下條御蔵方小掛割賦帳 方庄屋下金原村市郎左衛門外三名 寛保二年十一月	下美守郷中組 小懸り割 横長美	一冊	六三
御陣屋入用割賦帳 名 延享元年十一月	割方庄屋竹直村嘉左衛門外三 横長美	一冊	六四〇
下条陣屋入用通帳綴			
。下条御陣屋御買物通 馬正面村又五郎 延享二 年十二月			

下条村御陣屋酒御通 馬正面村小林藤五郎 延享二年二月	横長半	一冊	二五〇	下條御陣屋・御藏方諸入用帳 割方庄屋竹直村嘉左衛門外四名 宝曆五年二月	横長美	一冊	八〇二
。人足賃銀・諸色入用其外書付綴 寅(延享三年)	一綴 (六通)	二五二		下條御陣屋・御藏方諸入用帳 割方庄屋落合村甚藏外五名 宝曆六年閏十一月	横長美	一冊	八〇六
。御陣屋入用 下条村長兵衛 寅(延享三年)	横長半	一冊	二五三	下条御陣屋・御藏方諸入用帳 田中組松留村佐五兵衛・岩手組黒岩村佐五右衛門外四名 宝曆七年一月	横長美	一冊	八〇四
。下条村御陣屋油御通 馬正面村橋立林右衛門 延享二年二月	横長半	一冊	二五三	下条御陣屋造立諸入用帳 割方庄屋市郎左衛門外六名 宝曆八年十一月二十四日	横長美	一冊	八〇四
。(御陣屋入用通帳) 下条村園右衛門 寅(延享三年)	横長半	一冊	二五四	下条御陣屋諸入用牒 割方庄屋市郎左衛門外五名 宝曆八年十二月二日	横長美	一冊	八〇五
下条御藏方・御陣屋小掛村々割賦帳 割方庄屋桜町新田村又右衛門外五名 延享三年二月	横長美	一冊	六〇四	下條御藏方諸入用帳 割方庄屋松留村祐右衛門・落合村甚藏外五名 宝曆八年十二月二五日	横長美	一冊	八〇六
下条御藏方・御陣屋小懸村々割賦帳 割方下金原村庄屋市郎左衛門外四名 寛延元年一月	横長美	一冊	六〇六	下條御陣屋・御藏方諸入用帳 割方庄屋市郎左衛門外五名 宝曆九年十二月二日	横長美	一冊	八〇七
御陣屋造立 辰年 御祭礼入用 割帳 割方下金原村庄屋市郎左衛門外四名 寛延元年一月	横長美	一冊	六〇七	下条御陣屋并御藏方小懸牒 割方庄屋下条村太次右衛門外六名 大肝煎佐藤八平宛 宝曆一〇年二月	横長美	一冊	八〇八
地震ニ付下條御藏・御陣屋破損修覆入用帳 割方庄屋竹直村嘉左衛門外六名 宝曆元年一月	横長美	一冊	七〇〇	当未下条御陣屋方小懸割賦帳 割方庄屋黒岩村佐五右衛門外七名 宝曆一三年十二月二六日	横長美	一冊	九〇九
下條御藏方・御陣屋小掛村々割賦帳 割方庄屋下金原村市郎左衛門外六名 宝曆元年一月	横長美	一冊	七〇七	当申下条御陣屋方小懸割賦帳 割方庄屋黒岩村庄屋佐五右衛門外五名 明和元年十二月二六日	横長美	一冊	九一五
下條御藏方・御陣屋小懸村々割賦帳 割方庄屋下金原村市郎左衛門外五名 宝曆二年一月	横長美	一冊	七〇二	当西下条御陣屋方小懸割賦帳 黒岩村庄屋佐五右衛門外五名 明和二年十一月二日	横長美	一冊	九一七
下条御陣屋諸入用帳 割方庄屋下金原村市郎左衛門外六名 宝曆三年二月二日	横長美	一冊	七六三	当戊下条御陣屋方小懸割賦帳 下金原村市郎左衛門外四名 明和三年	横長美	一冊	九一八
下條御藏方小掛村々割賦帳 割方庄屋下金原村市郎左衛門外六名 宝曆三年二月	横長美	一冊	七六四	下条御陣屋方書出し (年欠)	横長半	一冊	四九四二
下条御陣屋・御藏方諸入用帳 割方庄屋竹直村嘉左衛門外六名 宝曆四年二月	横長美	一冊	七六三				

宗門改
五人組改入用割賦帳
本寺改

当寅本寺御改并宗門御改入用割賦帳 寅小懸リ 割惣代竹直村庄屋嘉左衛門外五名 延享三年十一月	横長美	一冊	六三
宗門人別御改入用割賦帳 割方下金原村庄屋市郎 左衛門外三名 寛延元年二月	横長美	一冊	六九
未本寺御改・宗門御改入用割賦帳 小懸割庄屋 下条村太次右衛門外五名 宝曆元年十一月	横長美	一冊	七五
申本寺御改・宗門御改入用割賦帳 小懸割庄屋竹 直村嘉左衛門外四名 宝曆二年二月	横長美	一冊	七四
酉宗門御改・五人組御改・本寺御改入用割賦帳 小掛割庄屋 宝曆三年二月	横長平	一冊	七五
戌宗門御改・五人組御改・本寺御改入用割賦帳 小懸割庄屋下金原村市郎左衛門外五名 宝曆四年 十一月	横長美	一冊	七六
亥年宗門御改・五人組御改・本寺御改入用割賦 帳 小懸割庄屋下金原村市郎左衛門外二名 宝曆五 年二月	横長美	一冊	八〇
子年宗門御改・五人組御改・本寺御改入用割賦 帳 小懸割庄屋落合村甚藏外四名 宝曆六年閏一 月	横長美	一冊	八七
丑年宗門御改・五人組御改・本寺御改入用割賦 帳 割方庄屋落合村甚藏外四名 宝曆七年	横長美	一冊	八三
宗門帳御書改書賃取立帳 割方庄屋落合村甚藏外 四名 宝曆八年十一月	横長美	一冊	八七
卯本寺御改・宗門御改人別懸割賦帳 割方庄屋 落合村甚藏外五名 宝曆九年二月	横長美	一冊	八三

佐藤家文書目録 貢租・諸懸〔組合村〕 郡中・組内小懸取立

辰本寺御改・宗門御改人別掛割賦帳 割方庄屋 落合村甚藏外五名 大肝煎佐藤八平宛 宝曆一〇年 十一月	横長美	一冊	八七
午本寺御改・宗門御改人別懸割賦帳 割方庄屋 竹直村嘉左衛門外五名 宝曆一二年十一月	横長美	一冊	九五
酉本寺御改・宗門御改人別掛割賦帳 竹直村嘉 左衛門外六名 明和二年二月二日	横長美	一冊	九六

郡中・組内小懸取立

小懸取立指引帳

小掛金弘方帳 寛保二年二月	横長美	一冊	六七
寅年村々小懸金指引帳 岩手組 延享三年二月	横長美	一冊	六三
寅小懸取立指引帳 延享三年	横長美	一冊	六六
辰年村々小懸取立差引帳 岩手組 寛延元年二 月 附 高畑村湯本三太右衛門差出寛 二通 佐 藤八平宛	横長美	一冊 二通	七四
辰村々指引帳 (寛延元年カ)	横長美	一冊	六八
午村々取立指引帳 寛延三年	横長美	一冊	七四
未村々取立指引帳 宝曆元年二月	横長美	一冊	七六
未年村々小懸取立差引帳 宝曆元年二月	横長美	一冊	七九
申年村々小懸取立差引帳 宝曆二年二月	横長美	一冊	七八
申小懸方村々取立指引帳 宝曆二年	横長美	一冊	七九
酉年村々小懸取立指引帳 宝曆三年二月	横長美	一冊	七六
村々取立指引帳 宝曆三年二月	横長美	一冊	七五

村々内分指引帳 (宝曆四年) 一二月	横長美	一冊	七五
戌年村々小懸取立指引帳 宝曆四年一二月	横長美	一冊	七六
亥年村々小懸取立指引帳 岩手組 宝曆五年一二月	横長美	一冊	八七
子年村々小懸取立指引帳 岩手組 宝曆六年一二月	横長美	一冊	八八
丑年村々小懸取立指引帳 岩手組 宝曆七年一二月	横長美	一冊	八九
寅年村々小懸取立指引帳 岩手組 宝曆八年一二月	横長美	一冊	九〇
卯年村々小懸取立指引帳 岩手組 宝曆九年一二月	横長美	一冊	九一
辰年村々小懸取立指引帳 岩手組 宝曆一〇年一二月	横長美	一冊	九二
午年村々小懸銀取立指引帳 岩手組 宝曆一二年一二月	横長美	一冊	九三
未年村々小懸銀取立指引帳 岩手組 宝曆一三年一二月	横長美	一冊	九四
申年村々小懸銀取立指引帳 岩手組 明和元年一二月	横長美	一冊	九五
酉年村々小懸銀取立指引帳 岩手組 明和二年一二月	横長美	一冊	九六
戌年村々小懸銀取立指引帳 明和三年	横長美	一冊	九七

貢租・諸懸〔岩手村〕

願書・請書

岩手村小前百姓二三名連印請書〔御年貢米撰立ニ付領奉行所達書請書〕 三役人中宛 安政二年八月	美	一通	四七
御請書〔御蔵米撰立并俵拵方等ニ付〕 高畑組岩手村百姓作左衛門外二四名 庄屋所宛 安政六年五月	美	一冊	一三
〔當年〆已前之通御蔵役出役被仰渡候ニ付、御請書控〕 高畑組岩手村庄屋啓助外組頭百姓二四名連印 御奉行所宛 文久三年一〇月	半	飯一冊	二九三
小物成諸願書案文 郷中御規則取扱書 式冊合帳 (明治四年)	半	一冊	五五
〔米俵拵方ニ付御布告并請書雛形〕 壬申 (明治五年) 九月	一綴 (三通)	一冊	一九九
子〆已迄六ヶ年物成書上被仰出雛形写 明治五年九月	半	一冊	一九六
損地・毛付			
損地書上帳			
頸城郡下美守郷岩手村損地場所指出帳 庄屋友右衛門外与頭・長百姓四名 享保一〇年五月	横長美	一冊	八四四
〔岩手村・高畑村御損地帳下書〕 (享保一九年)	横長半	一冊	五七
卯損地帳(下書) 岩手村友右衛門外四名 (享保二〇年八月)	横長半	一冊	五七

已御損地帳(下書) 岩手村友右衛門外四名 元文二年九月	橫長半	一冊	五七五	高畑組岩手村御損地御引高反別書上帳 与頭友七・庄屋啓助 弘化三年	橫長美	一冊	一四四五
水押百姓仲間見分帳 明和三年八月一六日	橫長半	一冊	八四〇五	高畑組岩手村御損地御引高書上帳 与頭友七・庄屋啓助 弘化四年六月	橫長美	一冊	一四二九
御損地書上帳扣 岩手組岩手村百姓代組頭・大肝煎佐藤八平 明和五年四月	橫長美	一冊	一〇〇一	高畑組岩手村御損地御引高反別書上帳 与頭友七・庄屋啓助 嘉永二年五月	橫長美	一冊	一四四九
御損地書上帳 岩手組岩手村庄屋松五郎外組頭・百姓代三名 明和七年	橫長美	一冊	八四〇七	高畑組岩手村古損地御引高反別書上帳 与頭友七・庄屋啓助 嘉永三年六月	橫長美	一冊	一四六一
黒岩組岩手村川欠見取場所書上帳 庄屋喜太郎外与頭二名 寛政八年	橫長半	一冊	二二九	高畑組岩手村御損地御引高反別書上帳 与頭友七・庄屋啓助 嘉永四年六月	橫長美	一冊	一四六五
岩手村御損地場所書上帳扣 庄屋喜太郎外与頭・百姓代三名 享和三年	橫長半	一冊	八四〇八	高畑組岩手村御損地御引高反別書上帳 与頭友七・庄屋啓助 嘉永五年六月	橫長美	一冊	一四七
前々御引高反別書上帳 組頭友七・兼帶庄屋湯本平助 大肝煎湯本平助奥印 郡御奉行所宛 天保五年六月	橫長美	一冊	一三〇八	御損地御引高反別書上帳 高畑組岩手村与頭友七・庄屋啓助 嘉永六年六月	橫長美	一冊	一四七九
黒岩組岩手村御損地御引高反別書上帳 組頭友七・庄屋啓助 天保一〇年六月	橫長美	一冊	八六八	御損地御引高反別書上帳 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・百姓代 嘉永七年六月	橫長美	一冊	一四六七
黒岩組岩手村御損地御引高反別書上帳 (下書共) 与頭友七・庄屋啓助 天保一二年六月	橫長美	二冊	一三五三 一三五四	古損地御引高反別書上帳 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・百姓代 安政二年六月	橫長美	一冊	一五〇〇
黒岩組岩手村御損地御引高反別書上帳 (下書共) 与頭友七・庄屋啓助 天保一二年六月	橫長美	二冊	一六三三 一六四	古損地御引高反別書上帳 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・百姓代 安政三年六月	橫長美	一冊	一五〇〇
高畑組岩手村御損地御引高反別書上帳扣 庄屋啓助外組頭・百姓代 天保一三年	橫長美	一冊	一三七五	古損地御引高反別書上帳 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・百姓代 安政四年六月	橫長美	一冊	一五九
高畑組岩手村御損地御引高反別書上帳 与頭友七・庄屋啓助 天保一四年六月	橫長美	一冊	一三七	古損地御引高反別書上帳 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・百姓代 安政五年六月	橫長美	一冊	一五三
高畑組岩手村御損地御引高反別書上帳 与頭友七・庄屋啓助 天保一五年六月	橫長美	一冊	一三六	古損地御引高反別書上帳 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・百姓代 安政六年六月	橫長美	一冊	一五四
高畑組岩手村御損地御引高反別書上帳 与頭友七・庄屋啓助 弘化二年六月	橫長美	一冊	一四〇五	古損地御引高反別書上帳 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・百姓代 安政六年六月	橫長美	一冊	一五五

古損地御引高反別書上帳 高畑組岩手村組頭友七
・庄屋啓助 文久元年六月 横長美 一冊 一五七

高畑組岩手村古損地御引高反別書上帳 組頭友七・庄屋啓助 文久二年六月 横長美 一冊 二九六

高畑組岩手村古損地御引高反別書上帳 村控 組頭友七・庄屋啓助 元治元年 横長美 一冊 二九六

高畑組岩手村古損地御引高反別書上帳 村控 組頭友七・庄屋啓助 慶応元年六月 横長美 一冊 一五九

高畑組岩手村古損地御引高反別書上帳 組頭友七・庄屋佐藤啓助 慶応三年六月 横長美 一冊 八九六

仕付荒地書上帳

岩手村当戌作仕付荒地書上帳扣 庄や友右衛門外組頭・長百姓三名 享保一五年八月 横長美 一冊 五七

岩手村当亥作仕付あれ地書上帳 庄や友右衛門外組頭・長百姓三名 享保一六年八月 横長美 一冊 五六

岩手村当子作仕付荒地書上帳扣 庄や友右衛門外組頭・長百姓三名 享保一七年七月 横長美 一冊 五九

（岩手村当丑作仕付荒地書上帳扣）（享保一八年） 横長美 一冊 五四

検見・悪作引方

馬正面附岩手村当中悪作小検見引方帳 沢村義太郎・高橋善兵衛 右村庄屋・百姓中宛 宝永元年九月 横長美 一冊 八三三

馬正面組岩手村当西悪作引方帳 土肥八兵衛・宮原勘右衛門 右村庄屋・百姓中宛 宝永二年九月 横長美 一冊 八三九

馬正面附岩手村亥秋早晚稲方水風損悪作引方帳 宮原勘右衛門・沢村義太夫・高橋善兵衛 右村庄屋・百姓中宛 宝永四年九月 横長美 一冊 八四〇

馬正面附岩手村子秋中稲悪作引方帳 宮原勘右衛門・白沢段右衛門・高橋善兵衛 右村庄屋・百姓中宛 宝永五年九月 横長美 一冊 八四二

岩手村当丑早損悪作引方帳 白沢段右衛門・沢田伴藏・和田縁右衛門 右村庄屋・百姓中宛 宝永六年九月 横長美 一冊 八四三

頸城郡下美守郷岩手村寅年早損虫付引方帳 山口弥平太・箭田又八 右村庄屋・与頭・百姓中宛 宝永七年一〇月 横長美 一冊 八四三

当亥岩手村小検見引人別達書 本多井右衛門・松井忠藏 頸城郡岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 享保四年一〇月／長谷川庄五郎奥印 横長美 一通 三七九

岩手村辰下見合付帳 享保九年八月 横長美 一冊 四八六

岩手村当戌作毛下見合付帳 庄や友右衛門外与頭二名 享保一五年八月 横長美 一綴 五〇八

附 扣帳 二冊、覚 一通 横長美 一冊 五〇九

戌御検見入用書拔帳（享保一五年） 横長美 一冊 五七

岩手村当亥作毛下見合附帳扣 庄屋友右衛門外与頭長百姓三名 享保一六年九月 横長美 一冊 五九

岩手村当子作毛下見合附帳 庄屋友右衛門外与頭長百姓三名 享保一七年八月 横長美 一冊 五九

岩手村当丑作毛下見合附帳 庄屋友右衛門外与頭長百姓三名 享保一八年八月 横長美 一冊 五二

（岩手村当寅作毛下見合附帳下書） 庄や友右衛門外与頭長百姓三名 享保一九年八月 横長美 一冊 五五

岩手村当卯作毛下見合附帳 庄屋友右衛門外与頭長百姓三名 享保二〇年八月 横長美 一冊 五〇

辰御損地改并御検見下見帳 岩手村 元文元年 附 中稲御検見反別内訳之覚 元文元年八月 横長美 一通 五八

岩手村当已作毛下見合附帳 長百姓三名 元文二年九月	庄屋友右衛門外与頭 横長半	一冊	五七四
岩手村当午作毛下見合附帳 長百姓四名 元文三年八月一五日	庄や友右衛門外与頭 横長半	一冊	五三三
岩手村当未作毛下見合附帳 長百姓四名 元文四年八月 (紙背) 享保十七年申斐國巨摩郡鳥原村子年田方 立毛内毛見帳	庄屋友右衛門外与頭 横長美	一冊	五八
申水無木植付荒旱損寒立皆無書上帳 申川欠御損地書上帳	横長半	一通	五九五
岩手村当申作毛下見合附帳 庄屋友右衛門外与頭長百姓三名 元文五年八月 附 見取畑壹ヶ所届書写 御役所宛 元文五年八月	横長半	一冊	四九四
岩手村当申作方書上指出帳 友右衛門外四名 元文五年八月	半	一冊	六〇
岩手村当酉作毛下見合附帳 西川欠御損地・酉水無荒書上共 岩手村庄屋友右衛門外与頭・長百姓三名 寛保元年八月	横長半	一冊	八三六
辰水押悪作余荷差引帳 岩手村百姓 延享五年六月一二日	横長半	一冊	六〇
丑満水悪作小作引方高割元帳 松五郎外与頭百姓八名 天明元年一二月	横長美	一冊	一〇五四
水押悪作御検見御案内帳 黒岩組岩手村 寛政元年八月	横長半	一冊	八三〇
黒岩組岩手村高反別合毛帳 文化八年八月	横長半	一冊	五〇〇
御検見ニ付申渡口演 大肝煎 出会庄屋中宛 (文化一二二年)八月二六日	横長美	一冊	一八七四
文化十二亥秋大廻り御検見東郷御触順帳 組岩手村庄屋八平所持 文化一二二年	横長半	一冊	一八七五

岩手村合毛帳 文化一二二年九月	横長半	一冊	四七〇九
黒岩組岩手村高反別合毛帳 文化一二二年九月	横長半	一冊	五〇三
寅悪作小前引方野帳 文政一三年八月二六日	横長半	一冊	二九六三
寅悪作小前引方帳 文政一三年八月二六日	横長半	一冊	二二七
卯悪作小前引方帳 岩手村惣百姓 天保二年九月一日	横長半	一冊	一三五
癸巳悪作引方帳 岩手村惣百姓 天保四年九月	横長半	一冊	一三〇一
悪作引方割賦帳 佐藤友右衛門 天保六年十一月	横長半	一冊	一三五
御検見一件人足諸入用付留 明治二年九月	横長半	一丁	二九六
検見帳 岩手村庄屋所 明治二年九月七日	横長半	一冊	五〇六九
已御検見諸帳面 明治二年	袋入	一五點	八三六四 八三六
御検見内見帳 岩手村庄屋所 明治二年八月一四日	横長半	一冊	八六四
御検見案内手引帳 (明治二年)	横長半	二冊	八六五
高畑組村々悪作御願高反別合毛附 (雛形) 明治二年八月	横長半	一冊	八六六
高畑組岩手村悪作御願高反別合毛附 (下書并控) 庄屋佐藤啓助外組頭二名 大肝煎所・御奉行所・郡御奉行所宛 明治二年八月	横長半	二冊	八六七
高畑組岩手村秋毛目録 庄屋佐藤啓助外組頭二名 民政御役所・郡方御役所・大肝煎所宛 明治二年八月/大肝煎湯本宗十郎奥書	美	一冊	八六八
* 御救恵米 高割 貧民 割賦帳 (下帳共) 岩手村庄屋所 明治二年一二月	横長美 横長半	二冊	八六九

*。已御免相御引捨米 御損地 仲間田 割賦帳（下帳二冊共）

岩手村惣百姓 明治二年二月

横長美 三冊 八三〇

。惡作引米点検帳（下帳共） 岩手村庄屋所 明治二年二月

横長美 二冊 八五一

。惡作御検見願場所産絵図控 高畑組岩手村庄屋 佐藤啓助外組頭二名連印 民政御役所・郡方御役所・大肝煎所宛 明治二年八月

横長美 二枚 八三三

。御検見順村覚（明治二年九月）

横長平 一通 八三三

。（惡作引米割賦帳下書）

横長平 一通 八三四

。御藏入渡方米覚 七郎治 高原宛（年欠）

横長平 一通 八三五

。（惡作引方反別覚）（年欠）

横長平 一通 八三六

。岩手村絵図下書

横長平 一枚 八三七

。帳面下敷〔明治二年岩手村惡作御願高反別合毛附并秋毛目録用〕

横長美 二枚 八三六

明治二已年銘々作田入立米之内惡作引方小前計入切遣帳次ニ御上様御引捨米高持平均割取差引ニ組入帳

横長美 一冊 三六五

書出

夫人足・伝馬御用

——『支配』『岩手村』（二三頁）を見よ

普請人足入用

——『普請』『岩手村』（二三頁）を見よ

村方諸入用・佐藤家貢租

○元禄・元文

亥年村割遣銀之覚 岩手村 元禄八年極月

横長美 一冊 四四九

下美守郷岩手村済銀（佐藤喜太郎） 元禄一三年

横長美 一冊 四五〇

米山寺御藏造立人足用具出附込之覚 享保一六年九月

横長美 一冊 五五

附 遣人足小手形〔岩手村分〕 小八 亥極月四日・二日 七通

享保一六年諸村持高年貢諸懸り算用目録并立米差引勘定書等綴

横長美 一綴 四九九

元文元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等

横長美 一括 四九六

。阿弥陀瀬村庄屋新三郎辰年貢諸懸り算用目録 岩手村友右衛門宛 元文元年二月

横長美 一通 四九六

。米山寺村庄屋清三郎年貢諸懸り金算用目録（元文元年）二月一日

横長美 一通 四九七

。薩美喜右衛門下条堰人足材木割賦書 佐藤八郎兵衛宛（元文二年）六月七日

横長美 一通 四九八

附 庄屋平右衛門去辰年貢米算用目録

横長美 一通 四九八

。徳右衛門布代米勘定書 八郎兵衛宛 辰極月

横長美 一通 四九九

。阿弥陀瀬村庄片桐三郎右衛門書状〔三分巻金渡方願其外〕 佐藤友右衛門宛 辰二月二日

横長美 一通 四九九

。阿ミたせ村三郎右衛門辰入立米差引目録 佐藤友右衛門宛 元文元年二月

横長美 一通 四九九

。米山寺村喜左衛門入立米差引勘定書 岩手村八郎兵衛宛 元文元年極月

横長美 一通 四九五

。安左衛門年貢諸懸り算用目録 友右衛門宛 辰（元文元年）二月一七日

横長美 一通 四九五

。安左衛門入立米差引勘定書 友右衛門宛 (元文元年) 二月一八日	一通	四九三
。赤沢村支配人増右衛門・庄や吉郎右衛門当辰米納算用目録 岩手村友右衛門宛 元文元年極月	一通	四九五
。赤沢村太郎左衛門・支配人増右衛門年貢諸懸り金納方算用目録指引覚 岩手村友右衛門宛 元文元年二月	一通	四九五
。品代勘定書 (かさ・ろうそく・油其外)	一通	四九五
。小八金銭勘定書 八郎兵衛宛 二月二七日	一通	四九七
。鍛冶屋作料勘定書 いわて村八郎兵衛宛 (元文元年)	一通	四九五
米山寺村清三郎年貢諸懸り算用目録 岩手村佐藤八郎兵衛宛 元文元年二月	一通	四九六
元文二年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴	一綴 (四二通)	四七六
元文四年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴	一綴 (五三通)	五九四
元文五年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴	一綴 (五七通)	四七六
(上乘・飛脚賃書出帳) (元文五年)	一冊	六三
○寛保		
寛保元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴	一綴 (四八通)	六八
1 米山寺村庄屋清三郎西金納方算用目録 岩手村友右衛門宛 寛保元年二月	一通	
2 蔵弘米・廻り米等場詰勘定寛	一通	

3 預り米等場詰勘定寛	一通	
4 阿ミたせ村与頭伝右衛門大和守忬吉田官無心金割賦書 岩手村友右衛門宛 西(寛保元年) 二月	一通	
5 阿弥陀瀬村庄屋新三郎西年貢諸懸り算用目録 岩手村友右衛門宛 寛保元年二月	一通	
6 柿崎町相沢借金願ニ付覚書 西(寛保元年) 二月二九日	一通	
7 上納金請払差引勘定寛	一通	
8 諸品代金勘定書 (油・もと其外)	一通	
9 諸品代金差引勘定書 (魚・塩其外)	一通	
10 善之丞買物代金取替勘定書 (ぬりばし・たばこ其外) 八平宛 極月二〇日	一通	
11 小山宇右衛門書状 (黒岩田地預り手形ニ付) 佐藤八平宛 西(寛保元年) 二月二五日	一通	
12 下灰庭庄や六右衛門当西小懸り算用目録 岩手村友右衛門宛 西(寛保元年) 二月二七日	一通	
13 馬正面村九郎次諸品代金勘定書 (真鴨・あじ其外) 八平宛 西(寛保元年) 二月	一通	
14 岩手村友右衛門廻し米手形 百木村庄屋八郎左衛門宛 西(寛保元年) 二月	一通	
15 茂右衛門片町馬正面小懸り差引勘定書 友右衛門宛 西(寛保元年) 二月	一通	
16 赤沢村庄屋茂右衛門金納方算用目録 岩手村友右衛門宛 寛保元年極月	一通	
17 阿ミたせ村太次右衛門入上米差引勘定目録 佐藤友右衛門宛 寛保元年二月	一通	

18 小山与左衛門書狀〔黒岩田地三付内談一札〕 佐藤友右衛門宛 酉(寛保元年)二月二三日	一通	33 かぢや三平酉年鍛冶作料勘定書 八平宛	一通
19 (上灰庭懸持高寛)	一通	34 相沢彦右衛門申酉預り米算用目録 佐藤八平宛 酉(寛保元年)二月三日	一通
20 中山村与一右衛門書狀〔墨蠟渡方願〕 岩手村与吉宛 二月二十四日宛	一通	35 下灰庭新田庄屋六右衛門年貢諸懸り算用目録 岩手村友右衛門宛 酉(寛保元年)二月一日	一通
21 納米免合寛 平七 九左衛門宛 酉(寛保元年)二月一八日	一通	36 年番楡井美右衛門去申佐州御伝馬余荷銀請取書 岩手村庄屋友右衛門宛 寛保元年二月六日	一通
22 松兵衛勤工数其外勘定寛	一通	37 阿ミたせ村片桐太次右衛門書狀〔当酉出金渡方願〕 佐藤友右衛門宛 寛保元年二月四日	一通
23 庄や源次郎年貢諸懸り算用目録 岩手村八平宛 寛保元年二月	一通	38 赤沢村支配人増右衛門・庄屋茂右衛門金納米納算用目録 岩手村友右衛門宛 寛保元年一月	一通
24 米山寺村庄屋清三郎米山寺御藏御陣屋小懸り銀請取書 友右衛門宛 寛保元年二月	一通	39 喜右衛門懸持出金請取書 八平宛 酉(寛保元年)二月一日	一通
25 中山村与一右衛門銀納小懸り算用目録 岩手村佐藤八平宛 酉(寛保元年)二月一日	一通	40 猿之助申酉借米并品代勘定書 岩手村八平宛	一通
26 岩手村上金勘定寛 酉(寛保元年)二月一日	一通	41 酒や代金請取書〔酒代〕 八平宛	一通
27 下灰庭六右衛門年貢諸懸り算用目録 岩手村友右衛門宛 酉(寛保元年)二月一日	一通	42 (本数銘々書立寛)	一通
28 米山寺村庄屋清三郎寛保元酉米納方算用目録 岩手村友右衛門宛 酉(寛保元年)二月九日	一通	43 善之丞諸品買物代金勘定書(中欠) 佐藤八平宛 七月二三日	一通
29 米納方寛(後欠)	一通	44 中山村磨井与一右衛門書狀〔墨蠟借用願〕 岩手村佐藤八平宛 一月四日	一通
30 芋嶋村宇右衛門借金百姓方銘々目録之寛 岩手村八平宛 酉(寛保元年)二月一日	一通	45 水野村薩美喜右衛門書狀〔米代金請取并返銀・津出駄賃錢遣シ〕 岩手村佐藤八平宛 六月二三日	一通
31 伝右衛門書狀〔町米借用願〕 佐藤八平宛 二月一日	一通	46 又五郎代金勘定書〔水さとう其外〕	一通
32 水野村庄や喜右衛門米納方算用目録 岩手村友右衛門宛 寛保元年二月	一通	47 新八代金勘定書〔釘・紙代〕	一通

48 諸品代金勘定書〔もみぢ笠其外〕

年貢諸役入用米勘定覚（寛保元年カ）

一通 六〇九

寛保三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（四七通） 六三三

○延享

延享元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（三四通） 六四三

延享二年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（二五通） 六四七

居村月行使飛脚勤方帳 岩手村庄屋組頭 延享四年正月一五日

横長半 一冊 六七七

延享四年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（二五通） 六五三

○寛延

寛延元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（三八通） 六九一

○宝暦

宝暦元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

包紙入 一綴（一冊）
（四四通） 四七九

宝暦二年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（三九通） 七六

宝暦三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（四一） 四九三

宝暦五年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（四一） 七九五

宝暦六年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（四一） 八二

宝暦九年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（二七） 四九〇

宝暦一〇年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（二七） 八八三

宝暦一三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（四九） 四二七

○明和

明和元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（六三） 九四六

伝左衛門・高畑三太右衛門入立米廻し米勘定書 平六宛 申（明和元年）二月一日

一綴（一冊）
（二） 九四七

大乘寺村庄屋佐五右衛門書伏（先達而御願申上候一件ニ付）佐藤八平宛（明和元年カ）六月一日

一通 九四九

小前高附并納米勘定等覚（明和元年カ）

一通 九五二

明和二年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴

一綴（一冊）
（五二） 四二八

明和四年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一綴 (一三冊) 六九

明和五年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一綴 (八通) 九三

明和六年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一綴 (四二通) 四九

村中諸人用書留帳 明和七年二月 横長平 一冊 一〇二

明和八年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一綴 (八三通) 四七六

○安永

安永五年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一綴 (五〇通) 一四〇

安永八年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一綴 (四九通) 一〇五

高畑村太郎左衛門柳崎藏入米勘定書 岩手松五郎宛 安永八年二月一日 一通 二〇六

安永九年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一綴 (六二通) 四七五

○天明

水野村庄屋喜惣治当丑年貢諸懸り算用目錄 岩手村喜太郎宛 天明元年二月 一通 四七六

藏番給・藏敷地・御伝馬宿入用米割賦覚 (天明元年) 一通 一〇六

芋嶋村松五郎代金勘定書〔相之物其外〕 岩手村庄屋松五郎宛 丑(天明元年)二月 一通 一〇六

下条村御藏番竹直村納下敷抄請取書 竹直村庄屋中宛 丑(天明元年)一〇月一三日 一通 一〇七

下条村御藏番竹直村納下敷抄請取書 岩手村松五郎宛 丑(天明元年)一月九日 一通 一〇八

下条橋普請遣人足覚 立会庄屋 岩手村庄屋所宛 丑(天明元年)一〇月五日 一通 一〇九

上小野村御用書請取状〔篠田五郎左衛門様より出雲崎御役所江御用書老封〕 岩手村宛 (天明元年)閏五月一四日 一通 一〇七

(錢負高書付) (天明元年カ) 一枚 一〇七

天明二年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一綴 (三九通) 四九〇

利兵衛代金勘定書〔わらじ代其外〕 寅(天明二年カ)四月一〇日 一通 一〇六

天明三年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一綴 (三九通) 四九四

天明六年諸村持高年貢諸懸り算用目錄并品代勘
定書等綴 一通 四八三

阿弥陀瀬村外諸村持高年貢諸懸り算用目錄綴 岩手村喜太郎宛 天明六年二月 一通 四八三

諸品勘定書其外綴 岩手村喜太郎宛 午(天明六年)二月未(天明七年)二月 一通 四八三

星野孫右衛門書状〔借用金返済ニ付御札其外之件〕 佐藤喜太郎宛 一二月二三日 一通 四八四

某書狀(金子借用願) 一二月二四日	一通	四六五
阿弥陀瀬村惣右衛門午徳米勘定覚 岩手村喜太郎宛 午(天明六年)一二月	一通	四八六
高畑村半右衛門柳ヶ崎御蔵預米勘定書 岩手村喜太郎宛	一通	四八七
天明七年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴	一綴 (一冊) (三五通)	五〇〇
諸品買物代金通帳 佐藤善左衛門・高田山形屋平太郎外 佐藤喜太郎宛 未(天明七年)	一綴 (三冊) (三五通)	五〇三
天明八年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等	一括 (三冊) (二六五)	二六五
御買物之通 (高田上小町) 山形屋平太郎 佐藤喜太郎宛 天明八年正月	一冊	二六五
天明八年諸村持高年貢諸懸り算用目録并入立米勘定書等綴 猿毛村外 岩手村喜太郎外宛 天明八年二月	一綴 (一冊) (二七通)	二六五
諸品代金勘定書并納米勘定書等綴 岩手村喜太郎外宛 天明八年	一綴 (一冊) (二七通)	二六五
○寛政		
御巡見様道作人足賃 岩手村 寛政元年	一冊	二〇九
銘々取替物飛脚賃 横長美	一冊	二〇九
水野村庄屋喜惣次当酉年貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政元年二月	一通	四七七
諸上納米金諸方目録(寛政三年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴) 岩手村喜太郎宛 寛政三年二月	一綴 (一冊) (三七通)	四七五
調物諸方書出(寛政三年諸品代金勘定書等綴) 寛政三年二月	一綴 (一冊) (四四通)	一〇〇

丑無宿并遊行上人持送人足下条つかせ木出人足帳 寛政五年二月	一冊	二二六
御上納目録并處之商人書出(寛政五年諸村持高年貢算用目録并品代勘定書等) 佐藤氏 寛政五年二月	三二点 (四九七) (四九六)	四九七
米山寺村庄屋幸左衛門当丑年貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	二通	四九七
芋嶋村庄屋彦右衛門当丑年貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	一通	四九六
水野村庄屋喜惣治当丑年貢諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 丑(寛政五年)二月	一通	四九六
猿毛村兼帯村庄屋茂右衛門小役大豆代諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 丑(寛政五年)二月	一通	四九〇
落合村兼帯村庄屋庄兵衛外二名当丑小物成大豆代諸懸り算用目録 岩手村喜多郎宛 寛政五年二月	一通	四九二
落合村兼帯村庄屋庄兵衛外二名上納米算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	一通	四九三
中山村庄屋茂右衛門小役大豆代諸懸り算用目録 岩手村喜太郎宛 丑(寛政五年)二月	一通	四九三
百木村庄屋所当丑米納方算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	一通	四九四
百木村庄屋所当丑小物成大豆代諸懸算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	一通	四九五
下条村庄屋幾右衛門当丑小掛大豆小物成御国役算用目録 岩手村喜太郎宛 丑(寛政五年)二月	二通	四九六

。下条村庄屋幾右衛門上納金割賦書〔御類焼ニ付御頼金〕 岩手村甚左衛門・岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	二通	四九七
。下灰庭新田庄屋又三郎当丑御年貢米算用目錄 岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	一通	四九八
。下灰庭新田村庄屋又三郎当丑諸出銀并御用金算用目錄 岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	一通	四九九
。当丑年不作引方寛〔下灰庭新田村力〕〔寛政五年〕	一通	四九三〇
。米山寺村庄屋幸左衛門用狀〔当丑御年貢米金之内米九日限上納願其外ニ付〕 岩手村懸持喜太郎宛 丑〔寛政五年〕二月六日	一通	四九三
。阿弥陀瀬村庄屋惣右衛門当丑諸懸り永割賦書并入立米差引勘定書 岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	二通	四九三
。芋嶋村庄屋彦右衛門去子年越後国川々御普請国役金割賦書 岩手村喜太郎宛 寛政五年一月一四日	一通	四九三
。芋嶋村庄屋彦右衛門御類焼御頼金三月上納分割賦書 岩手村喜太郎宛 寛政六年三月	一通	四九四
。下小野村庄屋助右衛門年貢諸懸り算用目錄 岩手村喜太郎宛 丑〔寛政五年〕二月	一通	四九五
。下条村庄屋太次右衛門御頼金当寅納分指引勘定書 岩手村喜太郎宛 〔寛政六年〕三月六日	一通	四九六
。上輪新田村庄屋平七去丑年貢諸懸り算用目錄 懸持岩手村佐藤喜太郎宛 寅〔寛政六年〕正月二〇日	一通	四九七
。下灰庭新田村庄屋又三郎去丑御頼金当三月取立分割賦書 岩手村喜太郎・米山寺村市郎左衛門宛 寛政六年三月	二通	四九六

。米山寺村庄屋幸左衛門当丑御年貢金算用目錄 岩手村喜太郎・甚左衛門宛 丑〔寛政五年〕二月二十四日	一通	四九八
。〔赤沢村〕庄屋吉郎左衛門・伊左衛門当丑諸懸り金算用目錄 岩手村喜太郎宛 丑〔寛政五年〕二月	一通	四九三〇
。赤沢村庄屋伊左衛門・吉郎左衛門丑御年貢米算用目錄 岩手村喜多郎宛 寛政五年	一通	四九三
。下条村貞平米勘定御立依頼書 岩手村庄屋喜太郎宛 丑〔寛政五年〕二月十五日	一通	四九三
。岩野村弥五右衛門藏米請取書 岩手村喜太郎宛 丑〔寛政五年〕二月一日	一通	四九三
。百木村油屋利左衛門代金勘定書〔油代〕 岩手村佐藤喜太郎宛 丑〔寛政五年〕二月	一通	四九四
。灰庭四郎右衛門頼母子金并利銀差引皆濟勘定書	一通	四九五
。当丑水元山諸懸り請取書 出会场 岩手村喜太郎宛 寛政五年二月	一通	四九六
。米山寺村佐左衛門外諸品代金勘定書并請取書等綴 岩手村甚左衛門外宛 〔寛政五年〕	一綴 二通	四九七
。小田久右衛門書狀〔御異見難聞濟候間、私宅へ御越被下候事御無用可被下旨〕 木村勘右衛門・佐藤喜太郎宛 二月一七日	一通	四九六
。〔米山寺村〕庄屋幸左衛門当寅年貢諸懸り米金仮目録〔喜太郎并惣左衛門分〕 喜太郎宛 寅〔寛政六年〕閏一月	一通	四九三
。下灰庭新田村庄屋又三郎当寅年貢諸懸り算用目錄 岩手村喜太郎宛 寛政六年二月	一通	四九五

下灰庭新田村庄屋又三郎当寅小役小物成大豆代
小懸り銀算用目録 岩手村喜太郎宛 寛政六年一
二月

諸道具下条村太次右衛門江預帳 下条蔵組立会庄
屋 寛政九年八月

○文化

諸村持高年貢諸懸り算用目録・品代勘定書并田
地入立元指引帳等 文化九年、文化一四年

*。申酉田地入立元差引帳 岩手村佐藤松五郎 文
化九年正月(一〇年)

*。戌亥田地入立元差引帳 佐藤松五郎 文化一一
年正月(一二二年)

附 米山寺村庄屋清三郎御用金并初代金請
取書 岩手村松五郎宛 亥(文化一二二年)
四、六月 四通

*。子田地入立元指引帳 佐藤松五郎 文化一三年
正月

。(高田)佐藤泊賃賄代勘定書 岩手村善兵衛宛
丑(文化一四年)七月一〇日

。川田村庄屋金左衛門年貢諸懸り算用目録 岩
手村佐藤文左衛門宛 文化七年二月

。河田村支配人惣左衛門入立米差引勘定書 岩
手村佐藤文左衛門宛 文化七年二月

。米山寺村庄屋清三郎年貢諸懸り算用目録 岩
手村松五郎宛 文化一一年二月

。川田村市左衛門入立米差引勘定書〔米方目録〕
岩手村佐藤松五郎宛 文化一一年二月

。(川田村)市左衛門代金勘定書〔髮油・荳草其外〕
松五郎宛 亥(文化一二二年)二月

横長半

袋入 一八點 八四二〇
八四七

横長半

横長半

横長半

横長半

横長半

横長半

横長半

横長半

横長半

。米山寺村庄屋清三郎小物成大豆代并諸懸り金
算用目録 岩手村松五郎宛 文化一二年二月

。米山寺村庄屋清三郎年貢米算用目録 岩手村
松五郎宛 文化一二年二月

。高畑村湯本平助売米代金勘定書 岩手村佐藤松
五郎宛 亥(文化一二二年)二月二十六日

。川田村市左衛門入立米差引勘定書 岩手村松
五郎宛 文化一三年二月

。岩手村松五郎去亥米代金受取書 川田村市左衛
門宛 文化一三年正月三日、九月一三日

。米山寺村庄屋清三郎年貢諸懸り算用目録 岩
手村松五郎宛 子(文化一三年)二月

。米山寺村庄屋清三郎年貢諸懸り算用目録 岩
手村松五郎宛 文化一四年二月

。上小野村喜惣右衛門金子受取書〔黒岩村孫右
衛門殿当寅利金〕 岩手村松五郎宛 寅(文政元年
九)二月二八日

。川田村市左衛門金錢差引勘定書 一二月二一日

○文政

諸村持高年貢諸懸り算用目録・品代勘定書并田
地入立元指引帳等 文政元年、二年

*。戊寅田地入立元指引帳 岩手村佐藤松五郎 文
政元年正月

。米山寺村庄屋清三郎当寅年貢諸懸り算用目録
岩手村松五郎宛 文政元年二月

。川田村市左衛門入立米差引勘定書 岩手村松
五郎宛 文政元年二月

一通 八四九

一通 八四三〇

一通 八四三二

一通 八四三三

二通 八四三三

一通 八四三四

一通 八四三五

一通 八四三六

一通 八四三七

袋入 二九點 四七九
八六三

横長半

一通 四七九

一通 八四〇〇

。長沢屋六左衛門代金勘定書〔宿賃・賄代・諸品代〕 岩手村庄屋松五郎宛 寅〔文政元年〕二月二三日 横長半 飯一冊 四八〇二	。小出喜佐八代金勘定書〔糸ぬひ賃・茶吞代其外〕 佐藤松五郎宛 寅〔文政元年〕二月二十四日 一通 四八〇三	。芋嶋村幸助金錢受取差引勘定書 岩手村松五郎宛 〔文政元年カ〕二月二十九日 一通 四八〇三	。米山寺村次郎右衛門代金勘定書〔坪・九重其外〕 岩手村佐藤宛 〔文政元年カ〕極月日 一通 四八〇四	。米山寺弥右衛門代金勘定書〔揚代其外〕 岩手松五郎宛 寅〔文政元年〕二月 一通 四八〇五	。米山寺佐多左衛門代金勘定書〔干いか代〕 松五郎宛 寅〔文政元年〕二月二十九日 一通 四八〇六	。三右衛門代金勘定書〔菓子代〕 新屋宛 〔文政元年カ〕 一通 四八〇七	。米山寺弥右衛門錢受取書 岩手松五郎宛 〔文政元年カ〕二月二十九日 一通 四八〇六	。寅割落金其外寛下書 〔文政元年カ〕 一通 四八〇九	。米山寺村三左衛門代金勘定書〔紙・水引・針其外〕 岩手村佐藤松五郎宛 寅〔文政元年〕二月 一通 四八二〇	。芋嶋村豊助代金勘定書〔板・釘代〕 岩手村松五郎宛 〔文政元年カ〕 一通 四八二一	。川田村庄屋金左衛門年貢諸懸り算用目録 岩手村松五郎宛 卯〔文政二年〕二月一九日 一通 四八二三	。川田村油屋市左衛門代金勘定書〔燈油代〕 岩手村松五郎宛 卯〔文政二年〕二月 一通 四八二三	。〔米山寺村〕庄屋清三郎当卯年貢諸懸り算用目録 岩手村松五郎宛 文政二年二月 一通 四八二四
--	--	---	---	--	---	-------------------------------------	---	----------------------------	--	---	--	--	--

。岩手村五郎右衛門代金勘定書〔草鞋・草履代〕 卯〔文政二年〕二月二十六日 一通 四八二五	。米山寺村佐多左衛門代金勘定書〔干いか代其外〕 岩手村佐藤松五郎宛 卯〔文政二年〕二月二七日 一通 四八二六	。米山寺三左衛門代金勘定書〔わらじ・煎香其外〕 岩手村佐藤松五郎宛 卯〔文政二年〕極月 一通 四八二七	。米山寺弥右衛門代金勘定書〔揚代〕 岩手松五郎宛 〔文政二年カ〕二月二二日 一通 四八二八	。あめや代金勘定書〔菓子代〕 新屋宛 〔文政二年カ〕 一通 四八二九	。米山寺清兵衛代金勘定書〔こくろ漆代〕 岩手村佐藤松五郎宛 卯〔文政二年〕二月 一通 四八三〇	。川田村市左衛門入立米差引勘定書 岩手村松五郎宛 卯〔文政二年〕二月 一通 四八三一	。芋嶋四郎右衛門分人足遣方覚 岩手村松五郎宛 〔文政二年カ〕 一通 四八三三	。米山寺久左衛門綿代錢覚 岩手村松五郎宛 〔文政二年カ〕 一通 四八三三	。田地字名作人覚断簡 一通 四八三四	。米高勘定覚 〔文政二年カ〕 一通 四八三五	。しだら代覚 〔文政二年カ〕 一通 四八三六	。岩手村小物成諸役永割賦覚 〔文政六年〕 一通 二九六	。薬師番錢其外取替金書出 〔文政六年〕 一通 二九六	。〔高畑〕湯本平助書状〔岩手村去未年御下札并当申金方勘定其外差遣二付〕 佐藤宛 〔文政七年〕一月一日 一通 二〇六
--	--	---	---	------------------------------------	---	--	--	--------------------------------------	--------------------	------------------------	------------------------	-----------------------------	----------------------------	---

高畑湯本平助当申上納永差引勘定書 高原宛 (文政七年)二月二五日	一通	二二九
岩野村八郎兵衛上納永差引勘定書 松五郎宛 申 (文政七年)二月二七日	一通	二三〇
割返し永高寛 (文政七年)	一通	二三二
松木・わら代勘定寛 (文政七年)	一通	二三三
岩手村郷藏諸色入用差引勘定書 友右衛門 原吉宛 (文政八年)	二通	二三三
岩手村七郎右衛門取替金書出〔高畑江年始酒其外〕 高畑村湯本源吉宛 (文政八年)一〇月二九日	一通	二三三
組頭藤吉取替金書出〔座頭浪人奉賀錢其外〕 上様宛 (文政八年)	一通	二三三
浪人・座頭奉加金其外書出 (文政九年)	一通	二三三
(文政一〇年)諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴	一綴 (二九通)	四七四
郷宿泊り賃勘定書〔岩手村友右衛門・友七分〕 立会庄屋 岩手村庄屋中宛 文政一〇年一〇月	一通	二三七
組宿与五右衛門賄賃勘定書 岩手村宛 文政一〇年一〇月	一通	二三六
岩手村七郎右衛門取替金書出并岩手村郷藏諸色入用割賦書等綴 (文政一〇年)十一月	一綴 (五通)	二四〇
諸色寛〔郷藏諸色入用其外差引〕 (文政一一年)	一冊	二四六
高田郷宿泊り錢勘定書〔岩手村七郎右衛門・友七分〕 割方立会庄屋 湯本平助宛 子(文政一二年)一〇月	一通	二四九
惣代所年始入用等取替金書出并岩手村諸役小懸金勘定寛等綴 (文政一一年)	一綴 (六通)	二五〇

岩手村友七書狀〔善光寺越後坊・浪人其外取替金寛〕 高畑村湯本原吉宛 (文政一二年)十一月一〇日	封紙入 一通	二五八
七郎右衛門取替金書出〔薬師番錢其外〕 湯本源吉宛 (文政一二年)十一月一〇日	一通	二五九
薩見吉左衛門書狀〔去年借米代利足勘弁願〕 佐藤友右衛門宛 (文政一二年)二月二三日	一通 (二枚)	二六〇
川役雑用其外取替金書出 (文政一二年)	一通	二六一
高畑郷宿賄代勘定書 割方立会庄屋 岩手村庄屋中宛 寅(文政一三年)一〇月	一通	二七三
酒之御通 米山寺村酒屋 岩手高原佐藤様宛 文政一三年	横半半 一冊	二七三
御通帳〔すき油・切もとへ・はり其外〕 野俣屋 佐藤様宛 文政一三年正月吉日	横半半 一冊	二七四
郎人泊り普請之諸色留 文政一三年正月吉日	横半半 一冊	二七五
賄代并品物代金勘定書等綴 岩手高原佐藤宛 (文政一三年)	一綴 (二通)	二七六
文政一三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并芋嶋村支配人目録等綴 上輪新田村外 佐藤友右衛門・八平宛 文政一三年十一月一二日	一綴 (三五通)	二七七
岩手村郷藏諸色入用差引勘定書 (文政一三年)	一通	二七八
○天保		
七郎右衛門取替金其外村割入用書出綴 (天保二年)	一綴 (七通)	二八八
佐三右衛門書狀〔大乗寺村半了米宅承諾〕 高原宛 (天保二年)十一月一三日	一通	二八九

下原長太書狀〔別紙御用金割賦目録差遣〕 佐藤宛 (天保二年) 卯月一八日	一通	二九〇	灰庭村一作書狀〔御歳末御礼其外〕 岩手村旦那様宛 極月二四日	一通	四八九
真常寺書狀〔来朔日御招之件承諾〕 佐藤啓助宛 (天保三年) 四月二八日	一通	二九六	米山寺村庄屋瀬左衛門年貢諸懸り算用目録綴 岩手村友右衛門・啓助宛 未(天保六年) 嘉永七年	一綴 (三通)	四七六
米金目録 佐藤氏 天保三年一月	袋入 一二点 四八八 四八九		(郷蔵建替縄藁人足代割賦帳) (天保六年)	二冊	一三六
。天保三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并芋嶋村支配人目録綴 岩手村佐藤友右衛門・八平宛	一綴 (飯一冊) (三〇通)	四八八	天保七年諸村持高年貢諸懸り算用目録并立米差引勘定書等綴	一綴 (飯一冊) (三〇通)	五〇〇
。諸品代金勘定書并立米勘定書等綴 佐藤宛 (天保三年)	一綴 (一九通)	四八八	水元山一件雑用出分其外村方諸入用書出綴 天保八年	一綴 (四通)	一三五
。酒之御通 米山寺村酒屋 岩手高原佐藤宛 天保三年	一冊 横半	四八〇	吉左衛門書狀 佐藤宛 (天保八年) 五月七日	一通	一三七
。〔諸品立替金并時かし金覚帳〕 卯(天保二年) 一二月 辰(天保三年) 一二月	一冊 横半	四八九	米代永割合小手形 (天保八年)	一綴 (二六通)	一三八
。〔借米并入米諸勘定覚〕 子年(文政一年)分 辰年(天保三年)分	一冊 横半	四九三	岩野々諸方飛脚賃書出 (天保八年)	一通	一三九
。下次左衛門代金勘定書〔草鞋・草履代〕 高原宛 辰(天保三年) 一二月三〇日	一通	四八三	未申不足賃・割米勘定書出 (天保八年)	一通	一四〇
。湯本原吉借用金差引勘定書 高原宛 一二月二二日	一通	四八九	岩手村大豆代・小物成・諸掛割賦覚 (天保八年)	一通	一四二
。駄賃銘々覚	一通	四九五	上納金取立覚 (天保八年)	一通	一四三
。〔直江津今町〕 苫屋蔵米并諸品代差引勘定書 佐藤松五郎・湯本源吉宛 (天保三年) 閏(一月) 二三日	一通	四八六	戌暮諸色雇人調帳 米山寺村郷蔵所 天保一〇年 一月	一冊 横半	一四六
。原吉書狀〔御村方懸持目録差上候間御取立可被下旨〕 佐藤宛 (天保三年) 閏(一月) 二三日	一通	四八七	天保一二年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 芋嶋村外五ヶ村 岩手村啓助外宛 天保一二年二月	一綴 (六通)	四四三
。上輪新田村年貢諸懸り算用目録 佐藤友右衛門 殿支配人九左衛門宛 天保三年二月	一通	四八九	水元山雑出金出分其外村方諸入用書出綴 天保一二年	一綴 (七通)	一三七
			芋嶋村庄屋啓助当丑年貢諸懸り算用目録 天保一二年二月	一通	一六八

中山村源四郎書狀〔御伝者御礼并酒直段ニ付御願〕 岩手村高原啓助宛 (天保一二年) 二月二日	一通 一三七	高畑下宿賄銭・人足取計酒入用等勘定書 未 (弘化四年) 一〇月	一通 一四三
岩手村大豆代・小役・諸掛割賦覚 天保一二年	一通 一三七〇	灰庭村貢三郎酒代勘定書 芋嶋村・岩手村役人 衆中宛 (弘化四年)	一通 一四三
酒代・郷宿賄銭其外村方諸入用書出綴 岩手村 ・佐藤外宛 (天保一三年)	一通 一三二	灰庭村貢三郎書狀〔酒造米七俵拝借御礼〕 佐藤宛 (弘化四年) 二月七日	二通 四七六
岩手村大豆代・小物成・諸掛割賦覚 (天保一三年)	一通 一三三	附 芋嶋村孫左衛門書狀〔灰庭村貢三郎へ米七 俵相渡シ申候旨〕 岩手村高原宛 弘化四年 二月四日	一通 四七六
米山寺々取分永差引覚 (天保一三年)	一通 一三三	水野村庄屋仁左衛門外去未三月中地震ニ付拾ヶ 年賦拝借御下金割賦書綴 岩手村啓助宛 弘化五 年二月一三月	一綴 四七三 (五通)
下宿肴諸雜用錢勘定書出 (天保一三年)	一通 一三四	御普請酒・郷宿賄銭其外村方諸入用書出綴 岩 手村役人外宛 天保一四年	一綴 一三九
御普請酒・郷宿賄銭其外村方諸入用書出綴 岩 手村役人外宛 天保一四年	一綴 一三九	金錢・すり縄差上覚 松右衛門 高原宛 卯(天 保一四年) 二月二〇日	一通 一三四
弘化二年諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 馬 正面村外五ヶ村 岩手村友右衛門・啓助宛 弘化二 年一月一二月	一綴 五〇二 (九通)	○弘化	
酒代・郷宿賄代其外村方諸入用書出綴 (弘化 三年)	一綴 一四七 (六通)	岩手村大豆代・小物成・諸掛永割賦覚 (嘉永 二年)	一通 一四五
岩手村諸懸上納永差引勘定覚 (弘化三年)	一綴 一四八 (二通)	岩手村大豆代・小物成・諸掛永割賦覚 (嘉永 二年)	一通 一四五
銘々取替納口之覚〔大豆代・小物成其外諸掛永差 引〕 (弘化三年)	一冊 一四九	岩手村水元山入用割賦書 嘉永二年	一通 一四五
岩手村大豆代・小物成・諸掛上納永割賦覚 (弘 化三年)	一通 一四〇	高畑佐五右衛門取替金勘定書出〔賄代・酒代〕 西 (嘉永二年) 一〇月	一通 一四五
人足代錢割賦覚 (弘化三年)	一通 一四一	出金差引覚 (嘉永二年)	一通 一四六
人足・大工勤人数覚 (弘化三年)	一通 一四三	横田東作酒代・江普請入用年賦割覚 佐藤啓助 宛 西(嘉永二年) 二月	一通 一四七

酒代寛 (嘉永二年)

一通 一四六

高畑村佐五右衛門取替金勘定書出〔賄錢・兩村割酒代〕 亥(嘉永四年)一〇月二二日

一通 一四六

岩手村水元山入用割賦書 嘉永四年八月

一通 一四六

(高田)長沢屋六左衛門代金勘定書〔宿賃其外〕 岩手村佐藤友七宛 亥(嘉永四年)一〇月

一通 一四七〇

米山寺村庄屋瀬左衛門戌米亥夏暮割勘定取調書 岩手村庄屋啓助宛 嘉永四年

一通 四七六

岩手村水元山入用割賦書 嘉永五年八月

一通 一四七四

高畑村佐五右衛門取替金勘定書出〔賄代・酒代其外岩手村・兩村割諸雜入用〕 子(嘉永五年)一〇月一四日

一通 一四七五

(人足入用書出写帳)〔小屋懸人足・番人足・御出役人足等〕 嘉永五年一二月二六日

一冊 二〇六三

米山寺計藏ニ付わら・なる・なわ・かや・四品割附帳 岩手村佐藤氏 嘉永六年一〇月

一冊 二九六二

嘉永七年諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 松留村外二ヶ村 岩手村啓助宛 嘉永七年一二月一二月

一綴 四九三九

高畑村米助取替金勘定書出〔岩手村・兩村割分賄代并酒代諸入用〕 寅(嘉永七年)一〇月一四日

一通 一四九〇

岩手村水元山入用割賦書 嘉永七年八月

一通 一四九一

芋嶋村酒屋与次右衛門代金勘定書〔酒代〕 岩手村高原様宛 (嘉永七年)一二月二日

一通 一四九三

与頭友七取替金勘定書出〔高畑大肝煎年始看代其外〕 (嘉永七年)一二月

一通 一四九三

螢家差出一札〔高掛上納金渡方〕 佐藤宛 寅(嘉永七年)一二月五日

一通 一四九四

○安政

米山寺村庄屋瀬左衛門年貢諸懸り算用目録綴 岩手村啓助宛 安政二年一月・三年二月

一綴 四七〇

下灰庭新田村庄屋貢三郎江戸三御屋敷造立献納金割戻し勘定書 岩手村啓助宛 安政二年二月

一通 四七九

岩手村水元山入用割賦書并賄代・酒代其外村方入用書出綴 (安政三年)

一綴 一五五

米山寺村庄屋瀬左衛門金子請取書并安政四巳年金方差引目録 岩手村啓助宛 安政四年七月

二通 四七六

安政四年諸村持高年貢諸懸り算用目録等綴 鴈海村外二ヶ村 岩手村啓助宛 安政四年一二月一二月

一綴 四九二

芋嶋村酒屋与次右衛門代金勘定書〔酒代〕 岩手村佐藤宛 (安政四年)一二月一四日

一通 一五三

岩手村水元山入用割賦書 (安政四年)

一通 一五四

高畑村与五右衛門取替金勘定書出〔岩手村御名代賄代・兩村割酒代其外〕 岩手村高原且那宛 巳(安政四年)一〇月一三日

一通 一五五

(高田)長沢屋六左衛門代金勘定書〔泊賃〕 岩手村組頭友七宛 巳(安政四年)一〇月

一通 一五六

芋嶋村与次右衛門代金請取書〔酒代〕 岩手村高原佐藤宛 (安政四年)一二月二日

一通 一五七

芋嶋村酒屋与次右衛門代金請取書〔酒代〕 岩手村高原佐藤宛 (安政五年)一二月七日

一通 一五五

高畑村与五右衛門取替金勘定書出〔兩村割酒代其外〕 岩手村高原且那様宛 午(安政五年)一〇月一三日

一通 一五六

芋嶋村酒屋与次右衛門・幾左衛門代金勘定書
〔酒代〕 岩手村高原佐藤・村役人宛 午〔安政五年〕
一〇月二日

岩手村水元山入用割賦書 安政五年

岩手村水元山入用割賦書 安政六年九月

芋嶋酒屋与次右衛門代金勘定書〔酒代〕 岩手高原
佐藤宛 〔安政六年〕十一月九日

芋嶋村酒屋与次右衛門代金受取書〔酒代〕 岩手
高原佐藤宛 未〔安政六年〕二月九日

高畑村与五右衛門取替金勘定書出 〔岩手村御名
代賄代并両村割分人足心付酒入用其外〕 高原宛 未
〔安政六年〕一〇月

去年今町表納米不足買入直段すり違分其外割
賦金書出 〔安政六年〕

馬正面村庄屋楡井美右衛門当末年貢諸懸り算用
目録 岩手村友右衛門宛 安政六年二月

○万延

諸目録上納目録

。万延元年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 岸
海村外一三ヶ村 岩手村啓助宛 万延元年一月
一二月

。泉村小池甚右衛門上納米再勘弁割覚〔去未違
作ニ付〕 岩手村啓助宛 万延元年一〇月

。芋嶋村庄屋与右衛門・作兵衛当申年貢諸懸り
算用目録 岩手村啓助宛 申〔万延元年〕一一
月二七日

。去年悪作引之覚 〔万延元年〕

一綴 一五七
(二通)

一通 一五六

一通 一五六

一通 一五九

一通 一五〇

一通 一五一

一通 一五三

一通 四七五

包紙入
四點 四三七
四三〇

一綴 四七七
(四通)

一通 四七六

一通 四七元

一通 四七三

諸品代金勘定書綴 岩手村佐藤宛 万延元年

岩手村水元山入用割賦書 申〔万延元年〕八月

高畑村与五右衛門取替金勘定書出〔江堀飯水揚
入用其外酒代等〕 高原旦那様宛 〔万延元年〕一一月

芋嶋村酒屋与次右衛門代金勘定書〔酒代〕 岩手
村高原佐藤宛 申〔万延元年〕二月五日

酒屋幾右衛門代金割合勘定書〔酒代〕 岩手村役人
中宛 申〔万延元年〕十一月五日

大肝煎様年始玉子代其外村方入用書出覚 〔万
延元年〕

橋敷石代其外取替銭覚 〔万延元年〕

田中様割金覚 出会所 岩手村宛 〔万延元年〕

○文久

文久元年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 米山
寺村外一五ヶ村 岩手村啓助宛 文久元年一月一
二月

文久二年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 芋嶋
村外一二ヶ村 岩手村啓助宛 文久二年一月一
二月

文久三年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 米山
寺村外一ヶ村 岩手村啓助宛 文久三年一月一
二月

御上洛御先登夫人給金諸入用并御用金其外割賦
書等綴〔佐藤家諸村持高〕 赤沢村外一ヶ村 岩
手村啓助宛 文久三年三月一九月

〔義倉焼失一件入用割賦帳下書〕 下条村外七ヶ
村庄屋 文久三年一〇月

一綴 四七四〇
(二通)

一通 一五六〇

一通 一五六〇

一通 一五六二

一通 一五三

一通 一五四

一通 一五五

一通 一五六

一綴 四七二
(二六通)

一綴 四七三
(二四通)

一綴 四七三
(二五通)

一綴 四七四
(二七通)

一冊 八六五

○元治

元治元年諸村持高年貢諸懸り算用目録綴 泉村
外一ヶ村 岩手村啓助宛 元治元年一月一二月

一綴
(二通) 四三五

御用金八月納分割賦書綴〔佐藤家諸村持高分〕 阿
弥陀瀬村外六ヶ村 岩手村啓助宛 元治元年八月

一綴
(七通) 四七六

御用金四月納并佐州夫人給割賦書綴〔佐藤家諸
村持高分〕 鴈海村外一ヶ村 岩手村啓助宛 元治
元年三月一四月

一綴
(二通) 四七七

赤沢村庄屋庄作先納金請取書 岩手村啓助宛 元
治元年九月

一通 四七五

南黒岩檜山勤人足代并酒代覚 高原御旦那宛 元
治元年二月

一通 四八七

○慶応

慶応元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并御用金
夫人給割賦書・請取書等綴 岩手村啓助宛 慶応
元年二月一二月

一綴
(三三通) 四九五

諸村持高分御用金夫人給割賦書・請取書并品代
勘定書等綴 岩手村啓助宛 慶応元年

一綴
(四七通) 四九六

岩手村水元山入用割賦書并賄代・出会入用等村
方諸入用書出 (慶応元年)

繼一通
(二〇通) 一五三

去々子年江戸詰夫人給分其外割賦覚 (慶応元
年)

一通 一五三

芸州海田市其外詰夫人貸附金等割賦書綴〔佐藤
家諸村持高分〕 下小野村庄屋所外 岩手村啓助宛
慶応二年一月一五月

一綴
(二二通) 四七九

慶応二年諸村持高年貢諸懸り算用目録并夫人給
割賦書・請取書等綴 松留村外 岩手村佐藤啓助
宛 慶応二年六月一二月

一綴
(二八通) 四八〇

勤賃銀并諸品代勘定書等綴 紋右衛門外 高原佐
藤宛 慶応二年六月一二月

一綴
(二〇通) 四九三

岩手村水元山入用割賦書 寅(慶応二年)八月

一通 一六四

柿崎村村役人書状〔先日御願申上米之儀三付一札〕
竹原村佐藤宛 (慶応二年)

一通 一六五

(高田)長沢屋六左衛門代金勘定書〔泊賃・賄代〕
岩手村勇吉宛 寅(慶応二年)九月

一通 一六七

芋嶋村酒屋与次右衛門代金勘定書〔高畑岩手兩
村割酒代〕 岩手村佐藤・岩手村高原宛 寅(慶応二
年)十一月二日一三三

繼一通
(二通) 一六八

友七取替金勘定書出〔泊り賃・素師講錢〕 旦那様
宛 寅(慶応二年)十一月二六日

一通 一六九

芋嶋村酒屋与次右衛門代金勘定書〔酒代〕 岩手
村高原宛 (慶応二年)十一月二三日

一通 一七〇

高畑下宿代金勘定書〔丑十二月十九日出会雜用賄
代金〕 上宛 寅(慶応二年)一〇月

一通 一七一

郷藏入物定式覚并郷藏ふきかへニ付入用物割出
方 (慶応二年)

横長半

一冊 一八五

慶応三年諸村持高年貢諸懸り算用目録并夫人給
割賦書等綴 岩手村佐藤啓助宛 慶応三年二月一
二月

一綴
(二九通) 四九六

岩手村水元山入用割賦書 卯(慶応三年)八月

一通 一六三

芋嶋村酒屋与次右衛門代金勘定書〔夫人足酒代〕
岩手村高原宛 卯(慶応三年)二月六日

一通 一六三

酒屋代金勘定書〔酒代〕 佐藤宛 卯(慶応三年)一
一月一四日

一通 一六三

高割金割賦覚 (慶応三年)

一通 一六四

道苅銭割覚 岩手村宛 卯(慶応三年)一〇月

一通 一六五

御用金才覚金割賦書并夫人給割賦書等綴〔佐藤家諸村持高分〕 水野村外 岩手村佐藤啓助宛 慶応四年二月〜八月

一綴 四六二
(三四通)

○明治

明治元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并夫人給飯割賦書等綴 阿弥陀瀬村外 岩手村佐藤啓助宛 明治元年一月〜十二月

一綴 四九七
(九通)

年貢米駄賃勘定其外上納米金覚綴 (明治元年)

一綴 一六三
(四通)

宿々繰出人馬員数書上帳其外綴込 明治元年〜二年

一綴 一六五

大肝煎所官軍御繼立人足賃飯渡書 佐藤啓助宛 明治元年二月

一通 一六六

芋嶋村酒屋多右衛門代金勘定書〔夫人足入用酒代〕 岩手村役人宛 辰(明治元年)二月二一日

一通 一六七

諸品代金勘定書〔香之物其外〕 (明治元年)

一通 一六八

岩手村水元山入用割賦書 辰(明治元年)八月

一通 一六九

明治二年村方諸入用品代勘定書并郡中・組内諸懸割賦書等綴

一綴 一六九
(三四通)

1 高畑組岩手村米山寺村庄屋願書控〔去辰閏四月御領主様黒岩村御固メ御人数御繰込之砌リ飯繼場休泊代料弘方願〕 岩手村庄屋佐藤啓八・米山寺村庄屋左太郎代兼清十郎 民政御役所宛 明治二年一月

一通

2 長沢屋六郎代金勘定書〔賄代〕 岩手村榮藏宛 巳(明治二年)九月

一通

3 長沢屋六郎代金受取書〔賄代雑用金〕 岩手村佐藤宛 午(明治三年)二月一六日

一通

4 墨淵屋専七代金勘定書〔泊賃其外諸品代〕 岩手村佐藤宛 (明治二年)十一月二三日

一通

5 長沢屋六郎代金勘定書〔賄代其外諸品代〕 岩手村佐藤宛 巳(明治二年)九月

一通

6 泊賃割合覚 岩手御前宛 (明治二年)

一通

7 長沢屋六左衛門代金勘定書〔賄代〕 岩手村泰治郎宛 辰(明治元年)九月

一通

8 長沢屋六左衛門代金勘定書〔賄代其外諸品代〕 岩手村榮藏宛 辰(明治元年)九月

一通

9 芋嶋村与次右衛門代金勘定書〔酒代〕 高畑村庄や米吉宛 (明治二年)二月

一通

10 芋嶋村与次右衛門代金勘定書〔夫人足酒代〕 岩手村佐藤宛 巳(明治二年)十二月

一通

11 慶応三年同四年夫人足勤日数并賃金覚 (明治二年)

一通

12 用意金預り之内納付書 大肝煎所 岩手村庄屋中宛 巳(明治二年)一〇月二四日

一通

13 封金納付書并預り書 大肝煎所 岩手村庄屋中宛 巳(明治二年)一〇月二四日

一通

14 岩手村水元山入用割賦書 巳(明治二年)八月

一通

15 岩手村夫人足給金差引覚 (明治二年)

一通

* 16 去辰閏四月〇十二月迄夫人給余荷金割賦狀 立会庄屋新八外八名連印 佐藤啓助宛 明治二年

一通

17 岩手村去辰鉢崎人足其外諸掛金差引覚 庄屋中宛 巳(明治二年)一〇月二二日

一通

18 岩手村臨時并定詰人足賃永勘定覚 (明治二年)

一通

* 19 去辰閏四月 <small>が</small> 十二月迄官軍御繼立人馬賃暮 飯割引残永割賦状 割方立会庄屋三郎外七 名連印 庄屋佐藤啓八宛 明治二年九月	一通	當寅小懸り割書出帳〔下条蔵方諸入用〕 下条村多 次右衛門 小懸り割方庄屋衆中宛 寅一二月一〇日 赤沢村市兵衛亥米請取証文〔岩手村啓助徳米之内〕 赤沢村永吉宛	一冊 二九六七
* 20 当巳年諸上納郡役并組内諸掛り永割賦目録 立会庄屋弥五郎外九名連印 佐藤啓八宛 明 治二年一〇月	一通	清三郎二納金請取書 平六宛 一〇月二八日	一通 四七五七
* 21 去辰古組諸懸永割賦目録 立会庄屋七郎外六 名連印 佐藤啓八宛 明治二年一二月	一通	中山村庄屋五郎右衛門去未御上納穂蠟年延願諸 雜用金勘定書 岩手村庄屋啓助宛 申一二月	一通 四七六〇
* 22 郡中組内御検見諸雜用割賦状 大肝煎所 佐藤啓八宛 明治二年一二月	一通	米山寺村庄屋清三郎当亥年貢諸懸り算用目録 岩手村八平宛 亥一二月	一通 四七七五
23 当作毛大凶荒ニ付御救恵米割賦書 大肝煎 所 佐藤啓八宛 明治二年一二月	一通	(金錢銘々割賦覚) (手負人番人足割賦帳)	一通 四九七〇
24 金子納方一札 巳〔明治二年〕一〇月二二日	一通	(湯保倉滝蔵々諸雜用割賦帳写) 三月一五日	一通 五〇三三
郷藏入用・戸籍取調入用等組内諸懸り割賦書・ 請取書綴 米山寺郷藏・五小区立会庄屋外 岩手村 庄屋中宛 明治四年一〇月一二月	一綴 (八通)	割付・皆済	一冊 九〇六八
諸品代金・夫人足賄酒代金等勘定書綴 明治四 年九月一二月	一綴 (五通)	皆済請合証文	一通 三四九
岩手村水元山雜用金割賦書并信濃川鑿開国役金 割賦書等綴 明治四年	一綴 (三通)	元黒岩組岩手村年貢米金皆済請合証文控 兼帶 庄屋平助外組頭・百姓一三名 御代官所宛 文政五 年八月	一通 三五〇
丸山堰用具割覚并信濃川分水路国役金請取書等 綴 明治四年	一綴 (四通)	元黒岩組岩手村年貢米金皆済請合証文控 兼帶 庄屋湯本平助外組頭・百姓二名 天保七年	一通 三五〇
○		元黒岩組岩手村年貢米金皆済請合証文下書 (後 欠) 百姓庄左衛門外 天保八年	一通 三五三
↓明治五年以降は、「地租・地方税・村費」(二四頁)を見よ		黒岩組岩手村年貢米金皆済請合証文下書 (後欠) 百姓安五郎外九名・百姓代源左衛門 天保一〇年	一通 三五三
○年欠分		黒岩組岩手村年貢米金皆済請合証文控 庄屋啓 助外与頭・百姓代・百姓一〇名 御代官所・大肝煎 所宛 天保一一年	一通 三五三
喜八諸品代金差引勘定書〔墨・朱墨外〕 佐藤宛 卯一二月	一通		
米山寺佐左衛門米代金并冥加永受取差引勘定書	一通		

高畑組岩手村年貢米金皆濟請合証文控 助外与頭・百姓代・百姓一〇名 天保一三年	庄屋啓	一通	三五四
高畑組岩手村年貢米金皆濟請合証文控 助外与頭・百姓代・百姓一〇名 御代官所宛 天保一四年	庄屋啓	一通	三五五
高畑組岩手村年貢米金皆濟請合証文下書并控 庄屋啓助外与頭・百姓代・百姓一〇名 弘化二年	二通	三五五	
高畑組岩手村年貢米金皆濟請合証文控 助外与頭・百姓代・百姓一〇名 弘化三年	一通	三五七	
高畑組岩手村年貢米金皆濟請合証文控 助外与頭・百姓代・百姓一〇名 弘化四年九月	一通	三五八	
高畑組岩手村年貢米金皆濟請合証文控 助外与頭・百姓代・百姓九名 嘉永元年	一通	三五九	
御皆濟御請合一札(雛形) 高畑組何村 嘉永二年九月	美 仮一冊	五〇六	
年貢米金皆濟請合証文(後欠)	一通	三六〇	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓代・百姓一〇名 大肝煎湯本多十郎 御代官所 嘉永三年九月	美 一冊	四二〇	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓代・百姓一〇名 大肝煎湯本多十郎 御代官所 嘉永四年九月	美 一冊	四二一	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓代・百姓一〇名 大肝煎湯本多十郎 嘉永七年九月	美 一冊	四二三	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓代・百姓一〇名 大肝煎湯本多十郎 安政二年九月	美 一冊	四二三	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓代・百姓一〇名 安政四年九月	美 一冊	四二四	

御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓代・百姓一〇名 安政六年九月	美 一冊	四二五	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓一〇名 文久元年九月	美 一冊	四二六	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓一〇名 文久二年九月	美 一冊	四二七	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓一〇名 文久三年九月	美 一冊	四二八	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓一〇名 元治元年九月	美 一冊	四二九	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・ 百姓一〇名 慶応二年九月	美 一冊	四三〇	
御皆濟御請合一札 高畑組岩手村庄屋佐藤啓助外 組頭・百姓一〇名 慶応四年九月	美 一冊	四三二	
御皆濟御請合一札 高畑組十二番組岩手村庄屋佐 藤文吉外組頭・百姓代・百姓中一〇名 高田県御役 所宛 明治二年九月	美 一冊	四三三	
御皆濟御請合一札 拾貳番組岩手村庄屋佐藤文吉 外組頭・百姓代・百姓中一〇名 明治四年九月	美 一冊	四三三	
年貢割付状			
黒岩組岩手村御先代御免札書上帳(元禄一二年 寛保元年割附状等)与頭安左衛門・同友七・庄屋 松五郎 天明五年八月	半 一冊	五三	
幕府代官領			
高田領岩手村当酉之御成ヶ割付状 八(八木)仁 兵衛・岡(岡上)次郎兵衛 庄屋百姓中宛 天和元 年一二月	一通	二九六	

高田領下美守郷岩手村当戌之御成ケ割付状 設 (設懸)孫兵衛・八(八木)仁兵衛・岡(岡上)次郎兵衛 庄屋惣百姓中宛 天和二年十一月	一通 二九七
高田領下美守郷岩手村亥御成ケ割付状 岡(岡 上)次郎兵衛・設(設懸)孫兵衛・嶋与右衛門 庄屋 百姓中宛 天和三年一〇月	一通 二九八〇
高田領下美守郷岩手村子御成ケ割付状 岡(岡 上)次郎兵衛 庄屋惣百姓中宛 貞享元年十一月	一通 二九八一
高田領下美守郷岩手村丑御成ケ割付状 岡(岡 上)次郎兵衛 庄屋惣百姓中宛 貞享二年十一月	一通 二九三
寅之年頸城郡下美守郷岩手村御年貢可納割付状 伊(伊奈)兵右衛門 庄屋惣百姓中宛 貞享三年一 月二〇日	一通 二九三
卯之年下美守郷岩手村御年貢可納割付状 伊 (伊奈)兵右衛門 庄屋惣百姓中宛 貞享四年二月	一通 二九四
辰年頸城郡下美守郷岩手村御成ケ割付状 伊 (伊奈)兵右衛門 庄屋惣百姓中宛 元禄元年二月	一通 二九六五
巳年頸城郡下美守郷岩手村御成ケ割付状 土 (土屋)惣兵衛 庄や・百姓中宛 元禄二年十一月	一通 二九六六
午之年頸城郡下美守郷岩手村御成ケ割付状 土 (土屋)惣兵衛 庄屋・惣百姓宛 元禄三年十一月	一通 二九六七
未之年頸城郡下美守郷岩手村御成ケ割付状 土 (土屋)甚太郎 庄屋・惣百姓宛 元禄四年十一月	一通 二九六八
○糸魚川有馬領	
申之年頸城郡下美守郷岩手村御成ケ割付状 井 手忠太夫・馬渡九右衛門 右之村庄屋百姓中宛 元 禄五年十一月	一通 二九六九
酉之年頸城郡下美守郷岩手村御成ケ割付状 馬 渡九右衛門・井手忠太夫 右之村庄屋・百姓中宛 元禄六年十一月	一通 二九七〇

戌之年頸城郡下美守郷岩手村御成ケ割付状 馬 渡九右衛門 右之村庄屋・百姓中宛 元禄七年一〇 月	一通 二九八一
○幕府代官領	
越後国頸城郡下美守郷岩手村亥御成ケ割付状 馬(馬場)新右衛門・稻(稻葉)平右衛門 庄屋百姓中 宛 元禄八年十一月	一通 二九八三
越後国頸城郡下美守郷岩手村子御成ケ割付 長 谷(長谷川)庄兵衛 右之村庄屋百姓中宛 元禄九年 十一月	一通 二九八三
越後国頸城郡下美守郷岩手村丑御成ケ割付 長 谷(長谷川)庄兵衛 右之村庄屋百姓宛 元禄一〇年 十一月	一通 二九八四
越後国頸城郡下美守郷(岩手村)寅御成箇割付 長谷(長谷川)庄兵衛 右庄屋・百姓中宛 元禄一 一年十一月	一通 二九八五
越後国頸城郡下美守郷岩手村卯御成ケ割付 長 谷(長谷川)庄兵衛 右庄屋・百姓中宛 元禄一二年 十一月	一通 二九八六
越後国頸城郡下美守郷岩手村辰御成ケ割付 長 谷(長谷川)庄兵衛 右村庄屋・百姓中宛 元禄一三 年十一月	一通 二九八七
巳之年下札 鈴木三郎兵衛 右村庄屋・惣百姓中宛 元禄一四年十一月	一通 二九八八
午之年下札 鈴木三郎兵衛 右村庄屋・百姓中宛 元禄一五年十一月	一通 二九八九
未年下札 鈴木三郎兵衛 右村庄屋・惣百姓中宛 元禄一六年十一月	一通 二九九〇
申年下札 鈴木三郎兵衛 右村庄屋・百姓中宛 宝 永元年二月	一通 二九九一

酉年下札 永二年二月	鈴木三郎兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	宝	一通	三〇三
戌年下札 永三年二月	鈴木三郎兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	宝	一通	三〇三
亥年下札 永四年二月	鈴木三郎兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	宝	一通	三〇四
子年下札 永五年二月	鈴木三郎兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	宝	一通	三〇五
丑年下札 宝永六年一〇月	能(能勢)	権兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	一通	三〇六
寅年下札 宝永七年一〇月	能(能勢)	権兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	一通	三〇七
卯年下札 右村庄屋・惣百姓宛	能(能勢)	宇兵衛・能(能勢)	権兵衛	一通	三〇八
辰年下札 右村庄屋・惣百姓宛	能(能勢)	宇兵衛・能(能勢)	権兵衛	一通	三〇九
巳年下札 正德三年一〇月	能(能勢)	権兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	一通	三〇〇
午年下札 正德四年一〇月	能(能勢)	権兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	一通	三〇一
未年下札 正德五年一〇月	能(能勢)	権兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	一通	三〇二
申年下札 享保元年一〇月	能(能勢)	権兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	一通	三〇三
酉年下札 享保二年一〇月	能(能勢)	権兵衛	右村庄屋・惣百姓中宛	一通	三〇四
戌年下札 享保三年一〇月	能(能勢)	権兵衛	右村庄屋・惣百姓宛	一通	三〇五

亥年免定状 享保四年一〇月	長谷川庄五郎	右村庄屋・組頭・惣百姓宛	一通	三〇六
子御年貢可納免定状 享保五年一〇月	日野小左衛門	右村庄屋・百姓宛	一通	三〇七
丑御年貢可納免定状 享保六年一〇月	日野小左衛門	右村庄屋・百姓宛	一通	三〇八
寅御年貢可納免定状 享保七年一〇月	日野小左衛門	右村庄屋・百姓宛	一通	三〇九
卯御年貢可納免定状 享保八年一〇月	日野小左衛門	右村庄屋・百姓宛	一通	三〇〇
○長岡牧野預所				
辰御年貢割付状 享保九年一〇月	(牧野)駿河内雨宮新兵衛・正田水右衛門・竹垣弥左衛門	右村庄屋・組頭・惣百姓宛	一通	三〇一
巳御年貢割付状 享保一〇年一〇月	(牧野)駿河内雨宮新兵衛・正田水右衛門・竹垣弥左衛門	右村庄屋・組頭・惣百姓宛	一通	三〇二
午御年貢割付状 享保一一年一〇月	(牧野)駿河内雨宮新兵衛・正田水右衛門・竹垣弥左衛門	右村庄屋・組頭・惣百姓宛	一通	三〇三
未御年貢割付状 享保一二年一〇月	(牧野)駿河内雨宮新兵衛・正田水右衛門・竹垣弥左衛門	右村庄屋・組頭・惣百姓宛	一通	三〇四
申御年貢割付状 享保一三年一〇月	(牧野)駿河内雨宮新兵衛・正田水右衛門・竹垣弥左衛門	岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛	一通	三〇五
酉御年貢割付状 享保一四年一〇月	(牧野)駿河内雨宮新兵衛・正田水右衛門・竹垣弥左衛門	岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛	一通	三〇六

戌御年貢割付狀 牧(牧野) 駿河内兩宮新兵衛・足田水右衛門・竹垣弥左衛門 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 享保一五年一〇月	一通 三〇三七
亥御年貢割付狀 牧(牧野) 駿河内足田水右衛門・兩宮新兵衛 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 享保一六年一〇月	一通 三〇三六
子御年貢割付狀 牧(牧野) 駿河内足田水右衛門・兩宮新兵衛 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 享保一七年一〇月	一通 三〇三九
丑御年貢割付狀 牧(牧野) 駿河内足田水右衛門・兩宮新兵衛 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 享保一八年一〇月	一通 三〇四〇
寅御年貢割付狀 牧(牧野) 駿河内足田水右衛門・兩宮新兵衛 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 享保一九年一〇月	一通 三〇四一
卯御年貢割付狀 牧(牧野) 民部内足田水右衛門・兩宮新兵衛 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 享保二〇年一〇月	一通 三〇四二
辰御年貢割付狀 牧(牧野) 民部内足田水右衛門・兩宮新兵衛 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 元文元年一〇月	一通 三〇四三
巳御年貢割付狀 牧(牧野) 民部内九里孫左衛門 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 元文二年一〇月	一通 三〇四四
午御年貢割付狀 牧(牧野) 民部内九里孫左衛門 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 元文三年一〇月	一通 三〇四五
未御年貢割付狀 牧(牧野) 民部内九里孫左衛門 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 元文四年一〇月	一通 三〇四六
申御年貢割付狀 牧(牧野) 民部内九里孫左衛門 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 元文五年一〇月	一通 三〇四七

酉御年貢割付狀 牧(牧野) 民部内九里孫左衛門 岩手村庄屋・組頭・惣百姓宛 寛保元年一〇月	一通 三〇三八
○高田榊原領	
寛保成年分明治四辛未年迄高田城主榊原式部大輔様免相入袋	一枚 八二九
戌年免相狀 安田作兵衛・竹尾藤右衛門・天野百右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 寛保二年一〇月一五日	一通 三〇三九
亥年免相狀 片岡茂右衛門・安田作兵衛・天野百右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 寛保三年一〇月一五日	一通 三〇四〇
子年免相狀 片岡茂右衛門・安田作兵衛・天野百右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 延享元年一〇月一五日	一通 三〇四一
丑年免相狀 片岡茂右衛門・安田作兵衛・天野百右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 延享二年一〇月一五日	一通 三〇四二
寅年免相狀 片岡茂右衛門・安田作兵衛・天野百右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 延享三年一〇月一五日	一通 三〇四三
卯年免相狀 井上九右衛門・片岡茂右衛門・安田作兵衛・天野百右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 延享四年一〇月一五日	一通 三〇四四
辰年免相狀 井上九右衛門・片岡茂右衛門・安田作兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛延元年一〇月一五日	一通 三〇四五
巳年免相狀 井上九右衛門・安田作兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛延二年一〇月一五日	一通 三〇四六
午年免相狀 井上九右衛門・安田作兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛延三年一〇月一五日	一通 三〇四七
未年免相狀 井上九右衛門・片岡茂右衛門・安田作兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛延四年一〇月一五日	一通 三〇四八
申年免相狀 井上九右衛門・安田作兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆二年一〇月一五日	一通 三〇四九

酉年免相狀 水野清藏・井上九右衛門・安田作兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆三年一〇月一五日	一通 三〇五
戌年免相狀 水野清藏・井上九右衛門・安田作兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆四年一〇月一五日	一通 三〇五
亥年免相狀 新嶋平左衛門・水野清藏・井上九右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆五年一〇月一五日	一通 三〇五
子年免相狀 新嶋平左衛門・水野清藏・小倉治部左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆六年一〇月一五日	一通 三〇五
丑年免相狀 春山七兵衛・新嶋平左衛門・牧野仲藏 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆七年一〇月一五日	一通 三〇五
寅年免相狀 原三郎兵衛・新嶋平左衛門・牧野仲藏 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆八年一〇月一五日	一通 三〇五
卯年免相狀 安松孫右衛門・原三郎兵衛・井上九右衛門・竹尾藤右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆九年一〇月一五日	一通 三〇五
辰年免相狀 久野清兵衛・水野武兵衛・原三郎兵衛・井上九右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆一〇年一〇月一五日	一通 三〇五
巳年免相狀 村上久兵衛・原三郎兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆一一年一〇月一五日	一通 三〇五
午年免相狀 村上久兵衛・原三郎兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆一二年一〇月一五日	一通 三〇五
未年免相狀 安藤左近右衛門・村上久兵衛・原三郎兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 宝曆一三年一〇月一五日	一通 三〇五
申年免相狀 安藤左近右衛門・村上久兵衛・原三郎兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 明和元年一〇月一五日	一通 三〇五

酉年免相狀 安藤左近右衛門・村上久兵衛・原三郎兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 明和二年一〇月一五日	一通 三〇六
戌年免相狀 安藤左近右衛門・村上久兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 明和三年一〇月一五日	一通 三〇六
亥年免相狀 安藤左近右衛門・村上久兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 明和四年一〇月一五日	一通 三〇六
子年免相狀 安藤左近右衛門・村上久兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 明和五年一〇月一五日	一通 三〇六
丑年免相狀 森山五郎・安藤左近右衛門・村上久兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 明和六年一〇月一五日	一通 三〇六
寅年免相狀 森山五郎・安藤左近右衛門・村上久兵衛・新嶋平左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 明和七年一〇月一五日	一通 三〇六
卯年免相狀 鷲塚源兵衛・安田作兵衛・森山五郎・安藤左近右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 明和八年一〇月一五日	一通 三〇六
辰年免相狀 安田作兵衛・森山五郎・安藤左近右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 明和九年一〇月一五日	一通 三〇六
巳年免相狀 安田作兵衛・森山五郎・安藤左近右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 安永二年一〇月一五日	一通 三〇七
午年免相狀 森山五郎・大河内五左衛門・原三郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安永三年一〇月一五日	一通 三〇七
未年免相狀 森山五郎・大河内五左衛門・原三郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安永四年一〇月一五日	一通 三〇七

申年免相狀 森山五郎・大河内五左衛門・原三郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安永五年一〇月一五日	一通 三〇七三	末年免相狀 片岡新左衛門・遠藤友左衛門・山内藤七郎・関十右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天明七年一〇月一五日	一通 三〇八四
酉年免相狀 麦倉造酒之助・森山五郎・大河内五左衛門 原三郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安永六年一〇月一五日	一通 三〇七四	申年免相狀 片岡新左衛門・鈴木市郎左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天明八年一〇月一五日	一通 三〇七七
戌年免相狀 柴田金右衛門・安田作兵衛・森山五郎・原三郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安永七年一〇月一五日	一通 三〇七五	酉年免相狀 小倉治部左衛門・水主彦右衛門・竹田五郎右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 寛政元年一〇月一五日	一通 三〇八五
亥年免相狀 柴田金右衛門・安田作兵衛・森山五郎・原三郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安永八年一〇月一五日	一通 三〇七六	戌年免相狀 小倉治部左衛門・水主彦右衛門・竹田五郎右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 寛政二年一〇月一五日	一通 三〇八六
子年免相狀 岡縫殿右衛門・森山五郎・原三郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安永九年一〇月一五日	一通 三〇七七	亥年免相狀 鷲塚源兵衛・竹田五郎右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 寛政三年一〇月一五日	一通 三〇八七
丑年免相狀 竹田五郎右衛門・岡縫殿右衛門・森山五郎 岩手村庄屋百姓中宛 天明元年一〇月一五日	一通 三〇七八	子年免相狀 本間吉良之助・新嶋奥左衛門・鷲塚源兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛政四年一〇月一五日	一通 三〇八八
寅年免相狀 庄田角左衛門・竹田五郎右衛門・岡縫殿右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天明二年一〇月一五日	一通 三〇七九	丑年免相狀 内藤治郎左衛門・鷲塚源兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛政五年一〇月一五日	一通 三〇八九
卯年免相狀 庄田角左衛門・竹田五郎右衛門・岡縫殿右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天明三年一〇月一五日	一通 三〇八〇	寅年免相狀 井上九右衛門・内藤次郎左衛門・鷲塚源兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛政六年一〇月一五日	一通 三〇九〇
辰年免相狀 富塚久右衛門・庄田角左衛門・岡縫殿右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天明四年一〇月一五日	一通 三〇八一	卯年免相狀 井上九右衛門・内藤次郎左衛門・鷲塚源兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛政七年一〇月一五日	一通 三〇九一
巳年免相狀 山内藤七郎・富塚久右衛門・庄田角左衛門・鈴木市郎左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天明五年一〇月一五日	一通 三〇八二	辰年免相狀 井上九右衛門・内藤次郎左衛門・鷲塚源兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛政八年一〇月一五日	一通 三〇九二
午年免相狀 遠藤友左衛門・山内藤七郎・鈴木市郎左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天明六年一〇月一五日	一通 三〇八三	巳年免相狀 伊藤勘左衛門・内藤次郎左衛門・鷲塚源兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 寛政九年一〇月一五日	一通 三〇九三
		午年免相狀 井上九右衛門・村田弥左衛門・鷲塚源兵衛・大河内五左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 寛政一〇年一〇月一五日	一通 三〇九四

未年免相狀 永田治右衛門・井上九右衛門・上田十郎兵衛・岩手村庄屋百姓中宛 寛政一一年一〇月一五日	一通 三〇九五
申年免相狀 井上九右衛門・村田弥左衛門・鷺塚源兵衛・岩手村庄屋百姓中宛 寛政一二年一〇月一五日	一通 三〇九六
酉年免相狀 宮崎清左衛門・井上九右衛門・鷺塚源兵衛・岩手村庄屋百姓中宛 享和元年一〇月一五日	一通 三〇九七
戌年免相狀 岡崎権九郎・永田治右衛門・山片止兵衛・井上九右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 享和二年一〇月一五日	一通 三〇九八
亥年免相狀 村上久兵衛・岡崎権九郎・山片止兵衛・上田十郎兵衛・岩手村庄屋百姓中宛 享和三年一〇月一五日	一通 三〇九九
子年免相狀 竹尾藤右衛門・村上久兵衛・山片止兵衛・上田十郎兵衛・岩手村庄屋百姓中宛 文化元年一〇月一五日	一通 三一一〇
丑年免相狀 三浦嘉右衛門・竹尾藤右衛門・大河内又右衛門・山片止兵衛・井上九右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化二年一〇月一五日	一通 三一一一
寅年免相狀 遠藤友左衛門・関十右衛門・三浦嘉右衛門・井上九右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化三年一〇月一五日	一通 三一一二
卯年免相狀 加藤武右衛門・長谷川順平・三浦嘉右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化四年一〇月一五日	一通 三一一三
辰年免相狀 杉村武兵衛・寺沢忠左衛門・関十右衛門・三浦嘉右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化五年一〇月一五日	一通 三一一四
巳年免相狀 杉村武兵衛・寺沢忠左衛門・関十右衛門・三浦嘉右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化六年一〇月一五日	一通 三一一五

午年免相狀 杉村武兵衛・寺沢忠左衛門・関十右衛門・三浦嘉右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化七年一〇月一五日	一通 三一一六
未年免相狀 吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・関十右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化八年一〇月一五日	一通 三一一七
申年免相狀 吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・関十右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化九年一〇月一五日	一通 三一一八
酉年免相狀 吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・関十右衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化一〇年一〇月一五日	一通 三一一九
戌年免相狀 前嶋甚左衛門・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化一一年一〇月一五日	一通 三一二〇
亥年免相狀 前嶋甚左衛門・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化一二年一〇月一五日	一通 三一二一
子年免相狀 前嶋甚左衛門・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化一三年一〇月一五日	一通 三一二二
丑年免相狀 前嶋甚左衛門・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文化一四年一〇月一五日	一通 三一二三
卯年免相狀 前嶋甚左衛門・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文政二年一〇月一五日	一通 三一二四
辰年免相狀 前嶋甚左衛門・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文政三年一〇月一五日	一通 三一二五
巳年免相狀 前嶋甚左衛門・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門・岩手村庄屋百姓中宛 文政四年一〇月一五日	一通 三一二六

午年免相狀 竹村太兵衛・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 文政五年一〇月一五 日	一通 三二七	申年免相狀 新田次郎八郎・竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保七年一〇月一五 日	一通 八〇四
未年免相狀 竹村太兵衛・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 文政六年一〇月一五 日	一通 三二八	酉年免相狀 新田次郎八郎・竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保八年一〇月一五 日	一通 八〇五
申年免相狀 竹村太兵衛・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 文政七年一〇月一五 日	一通 三二九	戌年免相狀 川上源藏・新田次郎八郎・柴田金右衛門・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保九年一〇月一五 日	一通 八〇六
酉年免相狀 竹村太兵衛・吉田茂右衛門・寺沢忠左衛門 岩手村庄屋百姓中宛 文政八年一〇月一五 日	一通 三三〇	亥年免相狀 川上源藏・新田次郎八郎・柴田金右衛門・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保一〇年一〇月一五 日	一通 八〇七
戌年免相狀 竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田茂右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 文政九年一〇月一五 日	一通 三三一	子年免相狀 川上源藏・新田次郎八郎・柴田金右衛門・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保一一年一〇月一五 日	一通 八〇八
亥年免相狀 竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田茂右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 文政一〇年一〇月一五 日	一通 三三二	丑年免相狀 久野文左衛門・川上源藏・柴田金右衛門・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保一二年一〇月一五 日	一通 八〇九
子年免相狀 竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田茂右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 文政一一年一〇月一五 日	一通 三三三	寅年免相狀 久野文左衛門・川上源藏・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保一三年一〇月一五 日	一通 八一〇
丑年免相狀 竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田茂右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 文政一二年一〇月一五 日	一通 三三四	卯年免相狀 久野文左衛門・川上源藏・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保一四年一〇月一五 日	一通 八一一
寅年免相狀 竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田茂右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 文政一三年一〇月一五 日	一通 三三五	辰年免相狀 大須賀金次郎・川上源藏・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保一五年一〇月一五 日	一通 八一二
卯年免相狀 竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田茂右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保二年一〇月一五 日	一通 八一三	巳年免相狀 大須賀金次郎・川上源藏・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 弘化二年一〇月一五 日	一通 八一三
辰年免相狀 竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田茂右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保三年一〇月一五 日	一通 八一四	午年免相狀 大須賀金次郎・川上源藏・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 弘化三年一〇月一五 日	一通 八一四
巳年免相狀 竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保四年一〇月一五 日	一通 八一五	未年免相狀 杉村武兵衛・長谷川順平・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 弘化四年一〇月一五 日	一通 八一五
午年免相狀 竹村太兵衛・柴田金右衛門・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 天保五年一〇月一五 日	一通 八一六		

申年免相狀 杉村武兵衛・長谷川順平・吉田林右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永元年一〇月一五日	一通	八〇六
酉年免相狀 杉村武兵衛・吉田元弥・長谷川順平 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永二年一〇月一五日	一通	八〇七
戌年免相狀 仁木門之助・吉田元弥・杉村武兵衛・原田太郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永三年一〇月一五日	一通	八〇六
亥年免相狀 仁木門之助・吉田茂右衛門・杉村武兵衛・原田太郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永四年一〇月一五日	一通	八〇六
子年免相狀 仁木門之助・吉田茂右衛門・杉村武兵衛・原田太郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永五年一〇月一五日	一通	八〇六
丑年免相狀 仁木勘解右衛門・吉田茂右衛門・杉村武兵衛・原田太郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永六年一〇月一五日	一通	八〇六
寅年免相狀 仁木勘解右衛門・吉田茂右衛門・杉村武兵衛・原田太郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永七年一〇月一五日	一通	八〇六
卯年免相狀 柴田一郎兵衛・吉田茂右衛門・仁木勘解右衛門・原田太郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安政二年一〇月一五日	一通	八〇六
辰年免相狀 柴田一郎兵衛・吉田茂右衛門・仁木勘解右衛門・原田太郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安政三年一〇月一五日	一通	五二六
巳年免相狀 柴田一郎兵衛・吉田茂右衛門・仁木勘解右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 安政四年一〇月一五日	一通	八〇六
午年免相狀 柴田一郎兵衛・吉田茂右衛門・仁木勘解右衛門 岩手村庄屋百姓中宛 安政五年一〇月一五日	一通	八〇六

佐藤家文書目録 貢租・諸懸〔岩手村〕 割付・皆済

未年免相狀 前田助作・吉田茂右衛門・柴田一郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 安政六年一〇月一五日	一通	八〇六
申年免相狀 前田助作・吉田茂右衛門・柴田一郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 万延元年一〇月一五日	一通	八〇七
酉年免相狀 前田助作・吉田茂右衛門・柴田一郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 文久元年一〇月一五日	一通	八〇六
戌年免相狀 前田助作・吉田茂右衛門・柴田一郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 文久二年一〇月一五日	一通	八〇六
亥年免相狀 前田助作・吉田茂右衛門・柴田一郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 文久三年一〇月一五日	一通	八〇六
子年免相狀 前田助作・吉田茂右衛門・柴田一郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 元治元年一〇月一五日	一通	八〇六
丑年免相狀 前田助作・吉田茂右衛門・柴田一郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 慶応元年一〇月一五日	一通	八〇六
寅年免相狀 前田助作・吉田茂右衛門・柴田一郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 慶応二年一〇月一五日	一通	八〇六
卯年免相狀 前田助作・吉田茂右衛門・柴田一郎兵衛 岩手村庄屋百姓中宛 慶応三年一〇月一五日	一通	八〇六
午年免相狀 高田藩租稅方 岩手村庄屋百姓中宛 明治三年一〇月一五日	一通	八〇六

○柏崎県・新潟県

中貢納割付状写共 柏崎県庁 岩手村戸長・副戸長・惣百姓宛 明治五年一〇月	二通	八〇六
当西租税上納割賦帳 新潟県庁 岩手村戸長・用挂・総百姓宛 明治六年一二月	一冊	八〇七
西租税割賦帳〔正眼寺上知分〕新潟県庁 岩手村戸長・用挂・総百姓宛 明治六年一二月	一冊	八〇六

*甲戌租税上納割賦帳 新潟県庁 第七大区小八区
岩手村戸長・用挂・總百姓宛（明治七年）

一冊 二六二

年貢皆済目錄

○高田松平領

請取申西ノ御年貢米皆済狀 柳瀬吉右衛門・荒川
義左衛門・内藤与次右衛門 岩手村惣左衛門・惣百姓
中宛 明曆四年九月二五日ノ塚（塚田）助左衛門裏書

一通 三二六

西御年貢米納方皆済目錄 菅谷安左衛門下代高橋
次郎右衛門・八木才兵衛 岩手村庄や・惣百姓中宛
寛文一〇年七月一日ノ菅谷安左衛門裏書

一通 三二九

戌之御年貢米納方皆済目錄 菅谷安左衛門下代八
木才兵衛・高橋次郎右衛門 岩手村庄や・惣百姓中
宛 寛文一一年七月ノ菅谷安左衛門裏書

一通 三三〇

丑之御年貢米納方皆済目錄 千草助左衛門・町田
三右衛門 岩手村庄や・惣百姓中宛 延宝二年七月
ノ九里奎右衛門裏書

一通 三三二

寅之御年貢米納方皆済目錄 町田三右衛門・千草
助左衛門 岩手村庄や・惣百姓中宛 延宝三年七月
ノ九里奎右衛門裏書

一通 三三三

未之納御年貢米万皆済目錄 江崎儀兵衛・町田三
右衛門 庄や・惣百姓中宛 延宝八年八月ノ九里奎
右衛門裏書

一通 三三三

○幕府代官領

御年貢米金銀請取手形 岩下茂右衛門・藤田助右
衛門 岩手村庄や・惣百姓中宛 貞享元年七月

一通 三三四

御年貢米金請取手形 岩下茂右衛門・石森喜右衛
門 岩手村庄屋惣百姓中宛 貞享三年二月

一通 三三五

寅之下美守郷岩手村御年貢米浮役共ニ皆済狀
伊奈兵右衛門代伊（伊奈）兵太夫 岩手村庄や八兵衛
宛 貞享四年一〇月一日

一通 三三六

下美守郷岩手村午御年貢米金銀皆済狀 高橋助
右衛門 庄屋・百姓中宛 元禄四年六月

一通 三三七

○糸魚川有馬領

下美守郷岩手村西ノ秋御年貢上納通帳 八木平
助・黒木九太夫 岩手村庄や八兵衛宛 元禄六年一
〇月・（奥書）元禄七年二月一四日

一冊 四四六

（下美守郷岩手村戌之御年貢米上納通帳） 八木
平助・荒木庄左衛門 岩手村庄屋・百姓宛 戊（元
禄七年）一二月一七日

一冊 三四六

○幕府代官領

下美守郷岩手村亥之御年貢米納通 野上又右衛門
岩手村庄屋・百姓中宛 元禄八年一二月二八日

一冊 三四七

下美守郷岩手村子御年貢米金銀小物成皆済目錄
長谷川庄兵衛代大沢弥助 庄屋八兵衛・百姓中宛
元禄一〇年八月

一通 三三八

下美守郷岩手村丑御年貢米金銀小物成皆済目錄
長谷川庄兵衛代大沢弥助 庄屋八兵衛・百姓中宛
元禄一一年八月

一通 三三九

下美守郷岩手村寅納皆済目錄 長谷川庄兵衛手代
大塚園右衛門 右村庄や・百姓中宛 元禄一二年三
月

一通 三四〇

下美守郷岩手村卯納皆済目錄 長谷川庄兵衛手代
大塚園右衛門 右村庄や・百姓中宛 元禄一三年三
月

一通 三四一

下美守郷岩手村辰納皆済目錄 長谷川庄兵衛代大
塚園右衛門 右村庄屋・百姓中宛 元禄一四年三月

一通 三四三

岩手村巳皆済手形 鈴木三郎兵衛代水越惣五郎
右村庄屋・惣百姓中宛 元禄一四年一二月

一通 三四三

岩手村年貢皆済手形 水越惣五郎・高橋善兵衛
右村庄屋・与頭中宛 元禄一五年一二月

一冊 三四四

下美守郷馬正面附米山寺組岩手村未皆濟手形帳 高橋善兵衛 岩手村庄屋・与頭・惣百姓中宛 元禄一五年一二月	横長美	一冊	三四五
下美守郷馬正面附岩手村申年皆濟勘定帳 高橋善兵衛 岩手村庄屋・百姓中宛 宝永元年一二月	横長美	一冊	三四六
下美守郷馬正面附米山寺組岩手村西皆濟手形帳 高橋善兵衛 岩手村庄屋・百姓中宛 宝永二年一二月	横長美	一冊	三四七
下美守郷馬正面附岩手村亥御年貢皆濟手形帳 高橋善兵衛 岩手村庄屋・惣百姓中宛 宝永四年一二月	横長美	一冊	三四八
岩手村子皆濟目録 白沢段右衛門・高橋善兵衛 岩手村庄屋・惣百姓中宛 宝永五年一二月	横長美	一通	三四九
岩手村丑皆濟目録 伊藤小野右衛門・箭田又八 右村庄や・惣百姓中宛 宝永六年一二月	横長美	一通	三五〇
岩手村寅御年貢皆濟目録 伊藤小野右衛門・箭田又八 右村庄や・惣百姓中宛 宝永七年一二月	横長美	一通	三五〇
岩手村卯御年貢皆濟目録 箭田又八 右村庄屋・惣百姓中宛 正徳元年一二月	横長美	一通	三五〇
岩手村辰御年貢皆濟目録 白沢段右衛門 右村庄や・惣百姓中宛 正徳二年一二月	横長美	一通	三五〇
岩手村巳御年貢米金小物成皆濟目録 白沢段右衛門 右村庄屋・惣百姓中宛 正徳三年一二月	横長美	一通	三五〇
岩手村午御年貢米金皆濟目録 稲垣伝兵衛・高橋善太夫 右村庄屋・惣百姓中宛 正徳四年一二月	横長美	一通	三五〇
岩手村未御年貢米金皆濟目録 小林久藏 右村庄屋・惣百姓中宛 正徳五年一二月	横長美	一通	三五〇
岩手村申御年貢米金皆濟目録 小林久藏 右村庄屋・惣百姓中宛 享保元年一二月	横長美	一通	三五〇

佐藤家文書目録 貢租・諸懸〔岩手村〕 割付・皆濟

岩手村酉御年貢米小物成米金皆濟目録 小林久藏 右村庄屋・惣百姓中宛 享保二年一二月	横長美	一通	三五〇
岩手村戌御年貢米金皆濟目録 高橋善太夫・稲垣門右衛門・和田織右衛門 右村庄屋・惣百姓中宛 享保四年九月	横長美	一通	三五〇
岩手村亥御年貢米金納目録 岩手村庄屋友右衛門・組頭・百姓代 享保五年六月／長谷川庄五郎手代松井忠藏・本田伊右衛門裏書	横長美	一通	三五〇
頸城郡下美守郷岩手村子御年貢皆濟目録 三好瀬太夫 岩手村庄屋与頭百姓中宛 享保六年閏七月	横長美	一通	三五〇
享保六丑御年貢皆濟御勘定目録 頸城郡岩手村庄屋友右衛門・組頭・百姓代 池田用太夫宛 享保七年六月／日野小左衛門手代池田用太夫裏書 岩手村庄屋・組頭中宛	横長美	一通	三五〇
附 池田用太夫・三好瀬太夫請取書綴 〔去丑春御廻米江戸御藏納不足米代金、其外〕 岩手村庄屋中宛 享保六年一二月／七年七月	横長美	一通	三五〇
享保寅御年貢皆濟御勘定目録 頸城郡岩手村庄屋友右衛門・組頭・長百姓 日野小左衛門様御手代池田用太夫宛 享保八年七月／池田用太夫裏書	横長美	一通	三五〇
岩手村卯御年貢皆濟目録 岩手村庄や友右衛門・組頭・百姓代 享保九年五月／日野小左衛門手代内藤瀬左衛門・高橋幾右衛門裏書	横長美	一通	三五〇
○長岡牧野預所			
享保九辰御年貢皆濟御勘定目録 岩手村庄屋友右衛門・与頭・百姓代 享保一〇年七月／鈴木十郎左衛門・小林七郎兵衛・萩原奥左衛門・内藤六郎右衛門裏書	横長美	一通	三五〇
享保十巳御年貢皆濟御勘定目録 岩手村庄や友右衛門・組頭・長百姓 御役所宛 享保一一年四月／鈴木十郎左衛門・小林七郎兵衛・萩原奥左衛門・内藤六郎右衛門裏書	横長美	一通	三五〇

享保十一年御年貢皆濟御勘定目録 庄屋友右衛門・与頭・長百姓 瀧町御役所宛 享保一二年五月七日／小林七郎兵衛・萩原奥左衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三六
未御年貢米金皆濟御勘定目録 岩手村庄屋友右衛門・与頭・長百姓 瀧町御役所宛 享保一三年六月／小林七郎兵衛・萩原奥左衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三七〇
申御年貢米金皆濟御勘定目録 岩手村庄屋友右衛門・与頭・長百姓 瀧町御役所宛 享保一四年六月／小林七郎兵衛・屋代孫右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三七二
酉御年貢米金皆濟御勘定目録 岩手村庄屋友右衛門・与頭・長百姓 瀧町御役所宛 享保一五年六月二八日／小林七郎兵衛・屋代孫右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三七三
戌御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋友右衛門・与頭・長百姓 瀧町御役所宛 享保一六年六月／小林七郎兵衛・屋代孫右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三七三
亥御年貢米金皆濟御勘定目録 岩手村長百姓・与頭・庄屋友右衛門 瀧町御役所宛 享保一七年六月二〇日／小林七郎兵衛・屋代孫右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三七四
子御年貢米金皆濟御勘定目録 岩手村長百姓・与頭・庄屋友右衛門 瀧町御役所宛 享保一八年六月二〇日／小林七郎兵衛・屋代孫右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三七五
丑御年貢米金皆濟御勘定目録 長百姓・与頭・庄屋友右衛門 瀧町御役所宛 享保一九年六月／屋代孫右衛門・山口新右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三七六
寅御年貢米金皆濟御勘定目録 長百姓・与頭・庄屋友右衛門 瀧町御役所宛 享保二〇年一月／屋代孫右衛門・山口新右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三七七
卯御年貢米金皆濟御勘定目録 長百姓・与頭・庄屋友右衛門 瀧町御役所宛 元文元年九月／屋代孫右衛門・山口新右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三七八

辰御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋友右衛門・与頭・長百姓 瀧町御役所宛 元文二年九月／山口新右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三九
巳御年貢米金皆濟御勘定目録 長百姓・与頭・庄屋友右衛門 瀧町御役所宛 元文三年一月／山口新右衛門・坂田吟右衛門裏書	一通	三八〇
午御年貢米金皆濟御勘定目録 長百姓・与頭・庄屋友右衛門 瀧町御役所宛 元文四年／山口新右衛門・坂田吟右衛門・細井茂左衛門裏書	一通	三八一
未御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋友右衛門・与頭・長百姓 瀧町御役所宛 元文五年八月／山口新右衛門・坂田吟右衛門・細井茂左衛門裏書	一通	三八二
申御年貢米金皆濟御勘定目録 長百姓・与頭・庄屋友右衛門 瀧町御役所宛 寛保元年九月／山口新右衛門・坂田吟右衛門・細井茂左衛門裏書	一通	三八三
酉御年貢米金皆濟御勘定目録 長百姓・与頭・庄屋友右衛門 瀧町御役所宛 寛保二年四月／山口新右衛門・坂田吟右衛門・細井茂左衛門裏書	一通	三八四
○高田柳原領		
戌御年貢米金皆濟御勘定目録 与頭・庄屋八平 寛保三年七月／大肝煎佐藤八平裏書	一通	三八五
亥御年貢米金皆濟御勘定目録 組頭仁兵衛外一名 延享元年七月／大肝煎佐藤八平裏書	一通	三八六
子御年貢米金皆濟御勘定目録 組頭仁兵衛外一名 延享二年六月／大肝煎佐藤八平裏書	一通	三八七
丑御年貢米金皆濟御勘定目録 大肝煎佐藤八平 庄屋・与頭中宛 延享三年六月	一通	三八八
寅御年貢米金皆濟御勘定目録 大肝煎佐藤八平 庄屋・百姓中宛 延享四年六月	一通	三八九

卯御年貢米金皆濟御勘定目録 岩手村庄屋・組頭中宛 延享五年六月	大肝煎佐藤八平	一通	三九〇
辰御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 寛延二年六月	大肝煎佐藤八平	一通	三九一
巳御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 寛延三年六月	大肝煎佐藤八平	一通	三九二
午御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 寛延四年六月	大肝煎佐藤八平	一通	三九三
未御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 宝曆二年七月	大肝煎佐藤八平	一通	三九四
申御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 宝曆三年七月	大肝煎佐藤八平	一通	三九五
酉御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 宝曆四年七月	大肝煎佐藤八平	一通	三九六
戌御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 宝曆五年七月	大肝煎佐藤八平	一通	三九七
亥御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 宝曆六年八月	大肝煎佐藤八平	一通	三九八
子御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 宝曆七年八月	大肝煎佐藤八平	一通	三九九
丑御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋平六宛 宝曆八年六月	大肝煎佐藤八平	一通	四〇〇
寅御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 宝曆九年七月	大肝煎佐藤八平	一通	四〇一
卯御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 宝曆一〇年八月	大肝煎佐藤八平	一通	四〇三
辰御年貢米金皆濟御勘定目録 庄屋・組頭中宛 宝曆一一年一二月	大肝煎佐藤八平	一通	四〇三

巳御年貢米金皆濟御勘定目録 宝曆一二年六月	大肝煎佐藤八平	一通	四〇四
子御年貢米金御皆濟勘定目録 門 岩手村庄屋・百姓中宛 天明元年八月	大肝煎星野孫右衛	一通	四〇五
丑御年貢米金御皆濟勘定目録 孫右衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 天明二年八月	黒岩組大肝煎星野	一通	四〇六
寅御年貢米金御皆濟勘定目録 孫右衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 天明三年	黒岩組大肝煎星野	一通	四〇七
卯御年貢米金御皆濟勘定目録 門 岩手村庄屋・百姓中宛 天明四年	大肝煎星野孫右衛	一通	四〇八
辰御年貢米金御皆濟勘定目録 門 岩手村庄屋・百姓中宛 天明五年三月	大肝煎星野孫右衛	一通	四〇九
巳御年貢米金御皆濟勘定目録 門 岩手村庄屋・百姓中宛 天明六年	大肝煎星野孫右衛	一通	四一〇
午御年貢米金御皆濟勘定目録 門 岩手村組頭・百姓中宛 天明七年三月	大肝煎星野孫右衛	一通	四一一
未御年貢米金御皆濟勘定目録 孫左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 天明八年	黒岩組大肝煎星野	一通	四一二
申御年貢米金御皆濟勘定目録 門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政元年三月	大肝煎星野孫左衛	一通	四一三
酉御年貢米金御皆濟勘定目録 孫右衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政二年三月	黒岩組大肝煎星野	一通	四一四
戌御年貢米金御皆濟勘定目録 孫右衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政三年三月	黒岩組大肝煎星野	一通	四一五
亥御年貢米金御皆濟勘定目録 門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政四年三月	大肝煎星野孫右衛	一通	四一六
子御年貢米金御皆濟勘定目録 門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政五年三月	大肝煎星野孫右衛	一通	四一七

丑御年貢米金御皆済勘定目録 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政六年三月	一通 三三八	卯御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化五年三月	一通 三三三
寅御年貢米金御皆済勘定目録 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政七年三月	一通 三三九	辰御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化六年三月	一通 三三三
卯御年貢米金御皆済勘定目録 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政八年三月	一通 三三〇	巳御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化七年三月	一通 三三四
辰御年貢米金御皆済勘定目録 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政九年三月	一通 三三二	午御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化八年三月	一通 三三五
巳御年貢米金御皆済勘定目録 大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政一〇年三月	一通 三三三	未御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化九年三月	一通 三三六
午御年貢米金御皆済勘定目録 大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政一一年三月	一通 三三三	申御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化一〇年三月	一通 三三七
未御年貢米金御皆済勘定目録 大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 寛政一二年三月	一通 三三四	辰御年貢米金御皆済勘定目録 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化一二年三月	一通 三三八
申御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 享和元年三月	一通 三三五	午御年貢米金御皆済勘定目録 惣代平助 岩手村庄屋・百姓中宛 文政六年三月	一通 三三九
酉御年貢米金御皆済勘定目録 大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 享和二年三月	一通 三三六	未御年貢米金御皆済勘定目録 惣代平助 岩手村庄屋・百姓中宛 文政七年三月	一通 三四〇
戌御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 享和三年三月	一通 三三七	申御年貢米金御皆済勘定目録 惣代平助 岩手村庄屋・百姓中宛 文政八年三月	一通 三四一
亥御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化元年三月	一通 三三六	酉御年貢米金御皆済勘定目録 惣代平助 岩手村庄屋・百姓中宛 文政九年三月	一通 三四二
子御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化二年三月	一通 三三九	戌御年貢米金御皆済勘定目録 惣代平助 岩手村庄屋・百姓中宛 文政一〇年三月	一通 三四三
丑御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化三年三月	一通 三三〇	亥御年貢米金御皆済勘定目録 惣代平助 岩手村庄屋・百姓中宛 文政一一年三月	一通 三四四
寅御年貢米金御皆済勘定目録 黒岩組大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋・百姓中宛 文化四年三月	一通 三三一	子御年貢米金御皆済勘定目録 惣代平助 岩手村庄屋・百姓中宛 文政一二年三月	一通 三四五

丑御年貢米金御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋・百姓中宛 文政一三年三月	惣代平助 岩手村	一通	三四六
寅御年貢米金御皆濟勘定目錄 庄屋百姓中宛 天保二年三月	惣代平助 岩手村	一通	八〇九
辰御年貢米金御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 天保四年三月	大肝煎湯本平助	一通	八〇〇
巳御年貢米金御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 天保五年三月	大肝煎湯本平助	二通	八〇六
辰御年貢米金御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 弘化二年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇三
巳御年貢米金御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 弘化三年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇三
去午御年貢米御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 弘化四年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇四
去未御年貢米御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永元年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇五
去申御年貢米御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永二年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇六
戌御年貢米金御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永四年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇七
去亥御年貢米御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永五年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇八
去子御年貢米御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永六年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇九
去丑御年貢米御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 嘉永七年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇〇
去寅御年貢米御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 安政二年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇一

去卯御年貢米御皆濟勘定目錄 岩手村庄屋百姓中宛 安政三年三月	大肝煎湯本多十郎	一通	八〇二
去辰御年貢米御皆濟勘定目錄 小物成 岩手村庄屋百姓中宛 安政四年三月	大肝煎湯	一通	八〇三
去巳御年貢米御皆濟勘定目錄 小物成 岩手村庄屋百姓中宛 安政五年三月	大肝煎湯	一通	八〇四
去午御年貢米御皆濟勘定目錄 小物成 岩手村庄屋百姓中宛 安政六年三月	大肝煎湯	一通	八〇五
去未御年貢米御皆濟勘定目錄 小物成 岩手村庄屋百姓中宛 万延元年三月	大肝煎湯	一通	八〇六
去申御年貢米御皆濟勘定目錄 小物成 岩手村庄屋百姓中宛 文久元年三月	大肝煎湯	一通	八〇七
去酉御年貢米御皆濟勘定目錄 小物成 岩手村庄屋百姓中宛 文久二年三月	大肝煎湯	一通	八〇八
去戌御年貢米御皆濟勘定目錄 小物成 岩手村庄屋百姓中宛 文久三年三月	大肝煎湯	一通	八〇九
去亥御年貢米御皆濟勘定目錄 大豆 小物成 岩手村庄屋百姓中宛 元治元年三月	大肝煎湯	一通	八〇〇

○柏崎県

*元柏崎県貢米請取書取調書類 明治六年六月、明治七年七月

一括
八〇〇

1 佐藤七郎治書狀〔旧柏崎県御米請取書を可差出旨、伝達〕 高原宛 (明治七年)七月一七日	一通	
2 元柏崎県貢米請取書屈書雛形 明治七年七月一六日	一通	
3 岩手村旧戸長佐藤文吉屈書控〔元柏崎県貢米請取書見当リ不申ニ付、屈書〕 租税課御中宛 明治七年七月一六日	一通	
4 柏崎県申貢米請取〔岩手村分〕 柏崎県前原権少属 明治六年六月	一通	
5 柏崎県申貢米請取〔岩手村正眼寺旧除地分〕 柏崎県前原権少属 明治六年六月	一通	
○新潟県		
明治五年租税皆済帳 新潟県庁 岩手村戸長・用掛・惣百姓宛 明治六年六月	一冊	八〇二
明治六年租税皆済帳 新潟県庁 岩手村戸長・用掛・惣百姓宛 明治七年五月	一冊	八〇三
明治六年租税皆済帳〔正眼寺領上知分〕 新潟県庁 岩手村戸長・用掛・惣百姓宛 明治七年五月	一冊	八〇三
明治七年甲戌租税皆済帳 新潟県庁 岩手村戸長・用掛・惣百姓宛 明治八年五月	一冊	八〇四
郡中・組内小懸割賦目録		
小懸帳 灰庭組岩手村 安永八年一月	一冊	五〇九
(丑小懸割帳) 天明元年	一冊	一〇五
小懸書出并割賦書類 寛政八年一月	九点	二四二
1 (人足・縄・藁割賦帳)	一冊	横長半
2 (小懸割帳)	一冊	横長半
3 岩手村小掛銀差引割賦目録 割元立会并大肝煎所 岩手村庄屋中宛 寛政八年一月	一綴	四六六
4 当取立詰遣指引銀覚 大肝煎所 岩手村庄屋中宛 辰(寛政八年)一月一七日	一通	四六七
5 当辰諸役小懸銀詰遣勘定帳覚 大肝煎所 岩手村庄屋喜太郎宛 辰(寛政八年)一二月	一通	
6 諸役小懸銀差引勘定覚 辰(寛政八年)一月二〇日	一通	
7 卯年不納米其外請取勘定一札 半左衛門 喜太郎宛 寛政八年九月一四日	一通	
8 岩手村計蔵仕足諸入用銀覚 下条出会所 寛政八年二月二六日	一通	
9 郷宿賄代覚 佐次右衛門 岩手村甚左衛門宛 一一月	一通	
午小懸り配賦并書出 寛政一〇年一月	二綴	四六六
*。当午小物成大豆代・御国役・小懸銀等請取目録綴 大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政一〇年一二月	一綴	四六六
。岩手村組内小懸人足書出并小懸銀割賦目録等綴 寛政一〇年一二月	一綴	四六七
亥組内割覚帳 岩手村松五郎 文化一二年一月	一冊	八三〇
小懸割賦元帳 拾六ヶ村 文化一二年一月	二冊	二六六
。(亥人別割賦帳) (文化一二年)	一冊	二六六
。(米金差引元帳) (文化八年一二年)	一冊	二六六

子御年貢米并組内小懸割一件 岩手村 文化一三年	一冊	八三五
当已諸上納并郡中組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋与五右衛門外庄屋六名 兼帶庄屋平助宛 文政四年一月	緒一通 (二通)	二八三
当午諸上納并郡中組内小懸り割賦目録 立会庄屋新藏外六名 文政五年一月	一通	二八六
宗門帳書替入用下宿雜用割賦目録 割方立会庄屋清左衛門外三名 庄屋中宛 文政五年一月	一通	二八九
当未諸上納并郡中組内小懸り割賦目録 割方立会清左衛門外九名 庄屋平助宛 文政六年	一通	二九六
宗門帳諸入用裏印書替入用等割賦目録 立会庄屋 岩手村庄屋平助宛 文政六年一月	一通	二九七
当申諸上納并郡中組内小掛り割賦目録 清左衛門外九名 庄屋平助宛 文政七年一月	一通	三〇六
郷宿弘永覚一札 立会庄屋茂左衛門外一名 岩手村七郎右衛門宛 文政七年一月	一通	三〇七
当西諸上納郡中組内小懸り割賦目録 立会庄屋清左衛門外九名 庄屋平助宛 文政八年一月	一通	三三〇
当戌郡役并組内小懸り割賦目録 割方立会庄屋清左衛門外八名 文政九年一月	一通	三三〇
当亥年郡役并組内小掛り割賦目録 元黒岩組立会庄屋新藏外八名 岩手村庄屋中宛 文政一〇年	一通	三三九
当子年郡役并組内小掛り割賦目録 立会庄屋清左衛門外二名 湯本平助宛 文政一一年一月	一通	三四五
当丑郡役組内小掛り割賦目録 立会庄屋清左衛門外一〇名 平助宛 文政一二年一月	一通	三三七
当寅郡役并組内小掛り割賦目録 立会庄屋清左衛門外八名 文政一三年一月	一通	三七〇

佐藤家文書目録 貢租・諸懸〔岩手村〕 割付・皆済

当夏暮諸見舞金拾式ケ村割割賦状 組内庄屋 岩手庄屋中宛 寅(天保元年)一〇月	一通	一七二
当卯郡役組内小掛り割賦目録 立会庄屋清左衛門外九名 兼帶湯本平助宛 天保二年一月 附 割落金覚 一通	二通	二六六
当巳郡役組内小懸り割賦目録 立会弥三治外一六名 庄屋中宛 天保四年	一通	四六五
岩手村組内小掛り書出勘定書綴 (天保四年)	袋入 一綴 (六通)	四六六
当午郡役并組内小懸り割賦目録 立会庄屋与五右衛門外一四名 兼帶庄屋湯本平助宛 天保五年一月	一通	三〇九
当未郡役組内小懸り割賦目録 立会庄屋平八郎外一三名 庄屋中宛 天保六年一月	一通	三六一
当申郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋清左衛門外一四名 湯本平助宛 天保七年一月	一通	三三三
当西郡中組内小掛り割賦目録 立会庄屋平八郎外一二名 庄屋啓助宛 天保八年一月	一通	三三九
当戌諸上納并郡中組内諸高掛り共割賦目録 立会庄屋平八郎外一二名 啓助宛 天保九年一月	一通	四六三
当亥諸上納并郡役組内小掛り割賦目録 黒岩組立会庄屋七郎治外七名 啓助宛 天保一〇年一月	一通	四六四
当丑諸上納并郡中組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋新兵衛外七名 岩手村庄屋啓助宛 天保一二年一月	一通	二六六
当寅郡役組内小懸り割賦目録 割方立会庄屋次郎太外六名 庄屋啓助宛 天保一三年一月	一通	三七九
当卯諸上納并郡中組内小掛り割賦目録 立会庄屋新兵衛外九名 庄屋啓助宛 天保一四年閏九月	一通	三九五

当辰諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋貢三郎外四名 庄屋啓助宛 天保一五年一〇月	一通	一三五五	当子御拝借御願一件出会雜用并高田出勤諸入用割賦状 立会庄屋貢三郎外四名 庄屋啓助宛 嘉永五年一二月	一通	一三九三
当辰年義倉御藏修覆入用割賦状 割方立会庄屋貢三郎外一名 庄屋啓助宛 天保一五年一〇月	一通	一四〇一	当丑年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋新兵衛外一二名 岩手村庄屋啓助宛 嘉永六年一〇月	一通	一三五五
当巳年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋七右衛門外七名 庄屋啓助宛 弘化二年一〇月	一通	一四〇〇	当寅年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋新兵衛外六名 庄屋啓助宛 嘉永七年一〇月	一通	一四八九
当午年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋瀨左衛門外八名 庄屋啓助宛 弘化三年一〇月	一通	一四一六	去丑年越後国川々御普請国役金割賦状 大肝煎所 庄屋啓助宛 嘉永七年一〇月	一通	一四九五
当未年郡役組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋新兵衛外九名 庄屋啓助宛 (弘化四年)	一通	一四三〇	当卯諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 立会庄屋休兵衛外四名 庄屋啓助宛 安政二年一〇月	一通	一五〇四
当申年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋新兵衛外八名 庄屋啓助宛 嘉永元年一〇月	一通	一四四一	当辰諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋金兵衛外五名 庄屋啓助宛 安政三年一〇月	一通	一五三三
御出役様柿崎御出張雜用金割賦状 割方立会庄屋庄屋中宛 申(嘉永元年)一〇月	一通	一四四三	元高畑組去卯十月ゝ当辰正月迄組内諸懸り永并飯入割戻永共割賦目録 立会庄屋作兵衛外三名 庄屋啓助宛 安政三年一〇月	一通	一五四
当酉年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋与五右衛門外六名 庄屋啓助宛 嘉永二年一〇月	一通	一四五一	当巳年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋金左衛門外八名 庄屋啓助宛 (安政四年)	一通	一五三三
当戌年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 立会庄屋甚右衛門外五名 庄屋啓助宛 嘉永三年一〇月	一通	一四三三	当午諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会休藏外八名 庄屋啓助宛 安政五年一〇月	一通	一五四
当亥年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋甚右衛門外六名 庄屋啓助宛 嘉永四年七月	一通	一四六七	御公役様御通行一件諸雜用割賦状 大肝煎所 岩手村庄屋中宛 安政五年一二月	一通	一五九
当子年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立会庄屋治郎兵衛外一二名 庄屋啓助宛 嘉永五年一〇月	一通	一三九	当申年諸上納郡役并組内小懸り割賦目録 割方立会庄屋休藏外六名 庄屋啓助宛 万延元年一〇月	一通	一五九

当酉年諸上納并郡役組内小掛り割賦目録 割方 立会庄屋七郎左衛門外七名 庄屋啓助宛 文久元年 一〇月	一 通	三八〇
当亥年諸上納并郡役組内小掛り割賦目録 割方 立会庄屋逸平外六名 庄屋啓助宛 文久三年一〇月	一 通	三八三
当春御上洛御先登夫人給分余荷金郡中仮割賦状 割方立会庄屋逸平外三名 庄屋啓助宛 文久三年 一〇月	一 通	四六五
当子年諸上納并郡役組内小掛り割賦目録 割方 立会七右衛門外八名 庄屋啓助宛 元治元年一〇月	一 通	三九六
御上洛御先登夫人并佐州給分余荷諸雜用金割賦 状 大肝煎所 庄屋啓助宛 元治元年一〇月 附 夫人足其外覺書 二枚	一 通 二枚	三九七
当丑年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方 立会三上亀三右衛門外九名 庄屋啓助宛 (慶応元 年)	一 通 (三 通)	一五二
去々子年江戸詰夫人給分余荷金諸入用并大坂表 御貸附金芸州海田市へ操出夫人前後金共割賦状 大肝煎所 庄屋啓助宛 慶応二年三月 夫給仮割雜用割其外割賦目録 立会庄屋 慶応元 年一〇月	一 通 (三 通)	一五二
当寅諸上納并郡役組内小掛り割賦目録 立会庄 屋儀兵衛外八名 庄屋佐藤啓助宛 慶応二年一〇月	一 通	一〇二
古組諸懸り永割賦目録 高畑組大肝煎所 庄屋佐 藤啓助宛 慶応二年一〇月	一 通	一〇三
宿々余荷金割賦状 大肝煎所 庄屋佐藤啓助宛 慶応二年一二月	一 通 (三 通)	一〇三
江戸詰夫給金其外去三月夫人割寛 湯本 佐藤宛 (慶応二年)	一 通	一〇六
当寅御買上ヶ点蠟年延願雜用割賦状 立会庄屋 仁郎右衛門外一名 佐藤啓助宛 慶応二年一二月	一 通	一〇六

御上金御礼并宿諸雜用割賦状 大肝煎所 庄屋中 宛 慶応二年一〇月	一 通	一六三
当卯諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 割方立 会茂平治外九名 庄屋佐藤啓助宛 慶応三年一〇月	一 通	一六七
御進登御先陣ニ付去々丑四月迄操出夫人給金余 荷金并諸入用共割賦状 大肝煎所 庄屋佐藤啓助 宛 慶応三年一〇月	一 通	一六八
夫人足賄雜用金割賦状 大肝煎所 庄屋佐藤啓助 宛 慶応三年一〇月	一 通	一六九
大宮御所新規御造立御普請入用国役金割賦状 大肝煎所 右村(岩手村) 庄屋中宛 慶応三年一〇月	一 通	一六〇
諸上納并郡中諸入用割賦目録其外綴 明治元年 一〇月一二年四月	一 綴 (六 通)	一六四
1 御用金割賦状 大肝煎所 庄屋佐藤啓助宛 明治二年四月	一 通	
2 当辰年大豆代冥加米直段違并古組内小掛り 割賦目録 立会庄屋又三郎外八名 佐藤啓助宛 明治元年一二月	一 通	
3 当辰年諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 立会庄屋清右衛門外八名 庄屋佐藤啓助宛 明 治元年一二月	一 通	
4 去卯十二月殿様御上坂御往返御勅使御下向 引続官軍御通行共御繼立人馬其外郡中諸入 用割賦目録 立会庄屋佐太平外七名 庄屋佐 藤啓助宛 明治元年一二月	一 通	
5 人足賃永一条議定一札写 高畑組庄屋清右衛 門外一八名 明治元年一二月	一 通	
6 高畑村岩手村役人願書控(当年田方不作并 夫人足夫食不足ニ付、拝借米願) 高畑村組頭与 五右衛門・岩手村庄屋佐藤啓助外二名 御奉行 所宛 明治元年一〇月	一 通	

*去辰閏四月の十二月迄夫人給余荷金割賦状 立 会庄屋新八外八名連印 佐藤啓八宛 明治二年	一通	一六六
*去辰閏四月の十二月迄官軍御繼立人馬賃暮飯割 引残永割賦状 割方立会庄屋平三郎外七名連印 庄屋佐藤啓八宛 明治二年九月	一通	一六六 一九
*当巳年諸上納郡役并組内諸掛り永割賦目録 立 会庄屋弥五郎外九名連印 佐藤啓八宛 明治二年一 〇月	一通	一六六 一三〇
*去辰古組諸懸永割賦目録 立会庄屋七郎外六名連 印 佐藤啓八宛 明治二年二月	一通	一六六 一三
*郡中組内御検見諸難用割賦状 大肝煎所 佐藤啓 八宛 明治二年二月	一通	一六六 一三
当午諸上納郡役并組内小掛り割賦目録 立会庄 屋新八外六名 庄屋文吉宛 明治三年閏一〇月	一通	三九四
元高畑組諸掛り割賦目録 立会庄屋布施新八外五 名 佐藤文吉宛 明治四年三月	一通	一六五
〔当末小物成雑稅郡役并組内諸掛り割賦帳〕 室 岡喜作外七名 佐藤文吉宛 明治四年一〇月	一冊	一七〇
証文御改雜用金割賦状 立会庄屋 岩手村庄屋友 右衛門宛 戊一〇月	一通	三八八
郡中・組内小懸請取目録		
当申小懸方割賦銀請取目録 大肝煎佐藤八平 庄 屋平六宛 明和元年二月	一通	九五〇
当亥小懸金請取目録 佐藤八平 明和四年二月 小物成大豆代其外受取書 代役吉右衛門 岩手村 庄屋松五郎宛 卯〔明和八年九〕二月二五日	一通	一〇八 二〇五
午小懸方書出并大肝煎星野孫右衛門大豆代小物 成・小懸銀請取目録等綴 天明六年	一綴 二冊	一〇〇

大肝煎所の岩手村小掛諸役銀請取目録 大肝煎 星野孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政三年癸月	袋入	四通	一〇九
1 当亥小懸銀請取目録 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政三年二月	一通		
2 去戌年川々御普請国役掛金請取書 大肝煎 星野孫右衛門 庄屋喜太郎宛 寛政三年一〇月 九日	一通		
3 当亥小物成銀大豆代請取目録 大肝煎星野 孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政三年一二 月二日	一通		
4 諸役銀小懸銀差引勘定書 星野半左衛門 岩 手村佐藤喜太郎宛 亥〔寛政三年〕二月一八日	包紙入	一通	
大肝煎所の岩手村小掛諸役銀請取目録 寛政四 年二月	袋入	三点	二〇六
1 子小懸割帳 黒岩組岩手村 寛政四年一月 横長美	一冊		
2 当子小物成銀大豆代請取目録 大肝煎星野 孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政四年一二 月四日	一通		
3 当子小懸銀請取目録 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政四年二月七日	一通		
丑小役小物成目録 黒岩組岩手村 寛政五年一二 月	袋入	五通	二二五
1 当丑小懸銀請取目録 大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政五年二月三日	一通		
2 当丑小物成銀大豆代請取目録 大肝煎星野 孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛 寛政五年一二 月一三日	一通		
3 小物成小懸差引勘定下書	一通		

4・5 江戸御中屋敷御類焼ニ付御頼金請取書
大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛
寛政五年二月三日・寛政六年三月八日

寅年貢米小物成小懸銀勘定書類

包紙入

二通
三点 一二四
二二六

寅小懸銀請取目録并小懸方諸勘定書類綴
大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛
寛政六年二月

一綴
(三冊) 一二四
(五通)

* 岩手村年貢米藏納小手形綴
寛政六年十一月九日(二月一〇日)

一綴
(三冊) 一二五
(二通)

当寅小物成大豆代諸役銀請取目録
大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛
寛政六年二月
附 岩手村庄屋喜太郎小掛り過銀差引願下書
大肝煎所宛

二通 一二六

小懸大肝煎所請取并御頼金手形
寛政七年二月

袋入

三点 四七三
四七五

岩手村組内小懸方書出并小懸り割賦目録等綴
割元立会外
寛政七年十一月一六日ほか

一綴
(一冊) 四七三
(八通)

当卯年小物成銀大豆代・寅御年貢不納・小懸銀請取目録
大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛
寛政七年二月六日(二二日)

一綴
(三冊) 四七四
(二通)

江戸表若殿様御館御造立御普請入用才覚金請取書
大肝煎星野孫右衛門 岩手村庄屋喜太郎宛
寛政八年三月二〇日

一通 四七五

* 当年小物成大豆代・御国役・小懸銀等請取目録綴
大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋喜太郎宛
寛政一〇年二月

一綴
(五通) 四九六

当巳夫金・国役金・小物成大豆代・小懸銀請取目録
大肝煎星野源右衛門 岩手村庄屋平助宛
文政四年二月

一綴
(四通) 一八三

当西小掛り金請取目録
大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋啓助宛
天保八年二月
一通 一三〇

当西御上納金請取書
星野半左衛門 岩手村庄屋啓助宛
天保八年
一通 一三一

当西御備金并御国役請取書
大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋啓助宛
天保八年二月
一通 一三二

当西夫金請取書
大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋啓助宛
天保八年二月
一通 一三三

当西小物成大豆代金請取目録
大肝煎星野半左衛門 岩手村庄屋啓助宛
天保八年二月
一通 一三四

御上納金通
大肝煎所 岩手村庄屋啓助宛
天保八年
一通 一三六

御巡見仮割配符金請取書
大肝煎所 岩手村庄屋啓助宛
天保九年六月二一日
一通 一三七

御上納金通
大肝煎所 岩手村庄屋啓助宛
天保九年
一通 一三九

掛永請取書
大肝煎所 岩手村庄屋啓助宛
(天保一二年) 一月二五日
一通 一四〇

岩手村諸上納金請取通
大肝煎所 天保一三年一月
一通 一四一

岩手村上納通
大肝煎所 庄屋啓助宛
天保一四年一月
一通 一四二

岩手村上納通
大肝煎所 弘化三年一月
一通 一四三

御上納金請取通
大肝煎所 岩手村庄屋啓助宛
弘化四年二月
一通 一四四

上納金通
高畑組大肝煎所 岩手村庄屋啓助宛
嘉永二年二月
一通 一四五

上納請取通	大肝煎所	岩手村庄屋啓助宛	嘉永七年十一月	横美半	一冊	一四八二
岩手村上納通	大肝煎湯本多十郎	庄屋啓助宛	安政二年二月	横美半	一冊	一四九七
岩手村上納通	大肝煎湯本多十郎	庄屋啓助宛	安政三年二月	横美半	一冊	一五〇五
上納金通	大肝煎所	岩手村庄屋啓助宛	安政四年十一月	横美半	一冊	一五六六
御上納通	大肝煎所	岩手村庄屋啓助宛	安政五年十一月	横美半	一冊	一五六六
上納通	大肝煎所	岩手村庄屋啓助宛	安政六年一月	横美半	一冊	一五四〇
御上納請取通	大肝煎所	岩手村庄屋啓助宛	文久元年二月	横美半	一冊	四六四六
御上納通	大肝煎所	岩手村庄屋啓助宛	文久三年十一月	横美半	一冊	一五七五
御上納通	大肝煎所	岩手村庄屋啓助宛	元治元年一二月	横美半	一通	一五七八
附 上納差引覚						
御上納通	大肝煎所	岩手村庄屋佐藤啓助宛	慶応二年十一月	横美半	一冊	一五九四
御上納通	大肝煎所	岩手村庄屋佐藤啓助宛	慶応三年二月	横美半	一冊	一六三三
上納通	高畑組大肝煎所	岩手村佐藤啓助宛	明治元年二月	横美半	一冊	一六三六
上納通	高畑組大肝煎所	岩手村佐藤啓助宛	明治二年二月	横美半	一冊	一六四〇

年貢米小物成諸色入用目錄

宝曆四戌御年貢米小物成諸色入用目錄	岩手組	半	一冊	一八〇六
岩手村 組頭百姓二五名連印	宝曆五年三月			
辰御年貢米小役銀諸色入用目錄	岩手組岩手村	半	一冊	一八〇九
庄屋与頭百姓九名連印・佐藤八平連署	宝曆一一年二月			
巳御年貢米小物成諸色入用目錄	黑岩組岩手村	美	一冊	一八二〇
庄屋組頭百姓八名連印	天明六年二月			
午御年貢米諸色入用目錄	黑岩組岩手村	美	一冊	一八二一
頭百姓八名連署	天明七年二月			
未御年貢米小物成諸色入用目錄	黑岩組岩手村	美	一冊	一八二三
扣 庄屋与頭百姓一名連印	天明八年二月			
申御年貢米小物成大豆代諸色入用目錄	黑岩組	美	一冊	一八三三
岩手村控 庄屋与頭百姓一名連印	寛政元年四月			
酉御年貢米小物成大豆代諸色入用目錄	黑岩組	美	一冊	一八四四
岩手村 庄屋組頭百姓一名連署	寛政二年			
戌御年貢米小物成大豆代諸色入用目錄	黑岩組	美	二冊	一八五五
岩手村 庄屋組頭百姓一名連印	寛政三年			
亥御年貢米小物成大豆代諸色入用目錄	黑岩組	美	一冊	一八六七
岩手村 庄屋組頭百姓一名連印	寛政四年			
子御年貢米小物成大豆代諸色入用目錄	黑岩組	美	一冊	一八七八
岩手村 庄屋組頭百姓二名連印	寛政五年			
丑御年貢米小物成大豆代諸色入用目錄	黑岩組	美	一冊	一八九九
岩手村 庄屋組頭百姓一名連印	寛政六年(同七年貼札有)			
卯御年貢米小物成大豆代諸色入用目錄	黑岩組	美	一冊	一八三〇
岩手村 庄屋組頭百姓二名連印	寛政八年			
辰御年貢米小物成大豆代諸色入用目錄	黑岩組	美	一冊	一八三二
岩手村控 庄屋組頭百姓一名連印	寛政九年(同一二二年貼札有)			

已御年貢米小物成大豆代諸色入用目録 黑岩組 岩手村控 庄屋組頭百姓一二名連印 寛政一〇年 美	一冊 一八三
午御年貢米小物成大豆代諸色入用目録 黑岩組 岩手村控 庄屋組頭百姓一二名連印 寛政一一年 (享和二年貼札有) 美	一冊 一八五
未御年貢米小物成大豆代諸色入用目録 黑岩組 岩手村控 庄屋組頭百姓一二名連印 寛政一二年 美	一冊 一八三
申御年貢米小物成大豆代諸色入用目録 黑岩組 岩手村控 庄屋組頭百姓一二名連印 寛政一三年 美	一冊 一八四
酉御年貢米小物成大豆代諸色入用目録 黑岩組 岩手村控 庄屋組頭百姓一二名連印 享和二年 (同四年貼札有) 美	一冊 一八六
戌御年貢米小物成大豆代諸色入用目録 (下書共) 黑岩組岩手村控 庄屋組頭百姓一二名連印 享和三年 美	二冊 一八六 一八七
亥御年貢米小物成大豆代諸色入用目録 黑岩組 岩手村 庄屋組頭百姓一二名連印 文化元年 (同二年貼札有) 美	一冊 一八元
子御年貢米小物成大豆代諸色入用目録 黑岩組 岩手村 庄屋組頭百姓一二名連印 文化二年 (同三年四年貼札有) 美	一冊 一八三〇
寅御年貢米小物成大豆代諸色入用目録 黑岩組 岩手村 庄屋組頭百姓一二名連印 文化四年 (同五年貼札有) 美	一冊 一八三
子御年貢米小物成大豆代諸色万納目録 黑岩組 岩手村 庄屋組頭百姓一三名連署 文化一四年三月 半	一冊 一八三
未御年貢米小物成大豆代諸色万雜目録 元黑岩 組岩手村 庄屋組頭百姓一三名連印・惣代平助連署 御奉行所宛 文政七年三月 美	一冊 一八三

丑御年貢米大豆小物成諸色万納目録 元黑岩組 岩手村 庄屋組頭百姓一二名連印 文政一三年 美	一冊 一八四
去申御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 黑 岩組岩手村 庄屋百姓一二名連印 御奉行所宛 天 保八年四月 美	一冊 一八五
去酉御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 黑岩 組岩手村控 庄屋組頭百姓一二名連印 天保九年 美	一冊 一八六
去戌御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 黑岩 組岩手村控 庄屋与頭百姓一二名連印 御奉行所宛 天保一〇年 美	一冊 一八七
去亥御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 黑 岩組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓一二名連印 天保 一一年 美	一冊 一八六
去子御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 黑 岩組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓一二名連印 天保 一二年 美	一冊 一八元
去丑御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓一二名連印 天保 一三年 美	一冊 一八四〇
去寅御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓一二名連印 天保 一四年 美	一冊 一八四一
去辰御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓一二名連印 弘化 二年 美	一冊 一八四二
去申御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村扣 庄屋与頭百姓代百姓一二名連印 嘉 永二年 美	二冊 一八四三 一八四四
去酉御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村扣 庄屋与頭百姓代百姓一二名連印 嘉 永三年 美	一冊 一八四五

去戌御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓二名連印 嘉永四年	一冊 一八四六	去西御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓二名連印 文久二年四月	一冊 一八六八
去亥御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓二名連印 嘉永五年	二冊 一八四七	去戌御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓一名連印 文久三年四月	一冊 一八五九
去子御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓一名連印 嘉永六年	一冊 一八四九	去亥御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋組頭百姓一名連印 元治元年四月	一冊 一八六〇
去丑御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓一〇名連印 嘉永七年四月	二冊 一八五〇	去子御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋組頭百姓一名連印 元治二年四月	一冊 一八六一
去寅御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓一名連印 安政二年四月	一冊 一八五三	去丑御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋組頭百姓一名連印 慶応二年四月	一冊 一八六三
去卯御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓二名連印 安政三年四月	一冊 一八五三	去寅御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋組頭百姓一名連印 慶応三年四月	一冊 一八六三
去辰御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓二名連印 安政四年四月	一冊 一八五四	去卯御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋組頭百姓一名連印 慶応四年四月	一冊 一八六四
去午御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓二名連印 安政六年	一冊 一八五五	去辰御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋組頭百姓一名連印 明治二年四月	一冊 一八六五
去未御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓二名連印 萬延元年四月	一冊 一八五六	去巳御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋組頭百姓一名連印 民政御役所宛 明治三年四月	一冊 二九五五
去申御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 高 烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓二名連印 文久元年四月	一冊 一八五七	去午御年貢米小物成大豆代諸色万雜書上帳 拾貳番組 岩手村 庄屋組頭百姓代百姓一名連印 民政御役所宛 明治四年四月	一冊 一八六六
		(高烟組岩手村去丑御年貢米小物成大豆代諸色 入用目録控) 高烟組岩手村 庄屋与頭百姓代百姓 連印(年欠)	一冊 二〇四四

村内割賦

免割帳

戌之免割長	岩手村八兵衛	元禄七年一月	横長美	一冊	四四
免割壹人別帳	岩手村八兵衛	元禄一〇年一月	横長美	一冊	四五
高人別免割帳	岩手邑庄屋八兵衛	元禄一四年極月	横長美	一冊	四六
高人別免割之帳	岩手村八兵衛	元禄一五年一〇月二九日	横長美	一冊	四七
未之免割帳	岩手村八兵衛	元禄一六年一月	横長美	一冊	四六
亥年(御下札人別割方帳)	(岩手村百姓中)	宝永四年	横長美	一冊	四九
子年御下札人別割方帳	岩手村百姓中	宝永五年一月朔日下ル	横長美	一冊	四〇
丑御下札人別帳	岩手村百姓中	宝永六年一月四日	横長美	一冊	四三
寅御下札(人別帳)	岩手村	宝永七年	横長美	一冊	四三
卯免割(并庭帳)	正徳元年		横長美	一冊	四三
辰免割并庭帳	庄屋友右衛門	正徳二年極月日	横長美	一冊	四四
巳年免割帳	岩手村中	正徳三年一月	横長美	一冊	四三
未御年貢諸役御伝御普請万掛物帳	岩手村百姓	(馬廻力)	横長美	一冊	四六
御年貢米金小物成食浅草入用	申御餅米先納御願見入用御普請	本帳	横長美	一冊	四二
御伝馬小掛村入用并返り金差引	月日	享保元年極	横長美	一冊	四二
酉年中割方帳	享保(二年)		横長美	一冊	四三

戌御下札并出銀割帳 享保三年

横長美 一冊 四六五

*亥免割人別帳 岩手村中 享保四年二月附。亥御年貢米金当座帳 岩手村中 享保四年一月

横長美 合一冊 四六六

。出銀寄返銀差引帳 (享保四年) 岩手村庄屋友右衛門 享保四年二月

子免割帳 岩手村 享保五年

横長美 一冊 四七〇

丑年免割帳 岩手村惣百姓中 享保六年一月

横長美 一冊 四七五

寅免割 岩手村 享保七年極月

横長美 一冊 四七八

卯御免札割方帳 享保八年極月

横長美 一冊 四八三

巳御年貢米割賦取立帳 岩手村庄や友右衛門 享保一〇年極月日

横長美 一冊 四九〇

午御年貢割付并庭帳 享保一二年一月

横長美 一冊 四九四

未御年貢割賦并(庭帳) 享保一二年一月

横長美 一冊 四九七

申御年貢銘々割賦帳 岩手村惣百姓中 享保一三年一月

横長美 一冊 五〇一

酉御年貢銘々割賦帳 岩手村惣百姓中 享保一四年一月

横長美 一冊 五〇四

戌御年貢銘々割賦帳 岩手村百姓中 享保一五年一月

横長美 一冊 五二〇

亥御年貢銘々割賦帳 岩手村惣百姓 享保一六年

横長美 一冊 五二九

子御年貢銘々割賦帳 岩手村百姓中 庄屋友右衛門外組頭百姓四名 享保一七年一月

横長美 一冊 五三一

丑御年貢銘々割賦帳 岩手村惣百姓 源左衛門外四名 享保一八年極月

横長美 一冊 五三三

寅御年貢銘々割賦帳 岩手村 庄や友右衛門外与頭百姓三名 享保一九年極月一〇日	横長美	一冊	五二
卯御年貢銘々割賦帳 友右衛門外四名 享保二〇年極月	横長美	一冊	五二
辰御年貢銘々割賦帳 庄屋友右衛門外与頭長百姓四名 元文元年極月	横長美	一冊	五九
巳御年貢銘々割賦帳 友右衛門外四名 元文二年	横長美	一冊	五九
午御年貢銘々割賦帳 岩手村惣百姓 庄屋友右衛門外与頭長百姓四名 元文三年極月	横長美	一冊	五九
未御年貢銘々免割賦帳 岩手村惣百姓 庄屋友右衛門外与頭長百姓四名 元文四年極月	横長美	一冊	五九
申御年貢免割帳 岩手村 友右衛門外四名 元文五年極月	横長美	一冊	五九
酉御年貢銘々免割帳 岩手村惣百姓 友右衛門外四名 寛保元年極月	横長美	一冊	六〇
戌御年貢免割帳 岩手村 寛保二年一二月	横長美	一冊	六〇
亥御年貢米免割帳 寛保三年一二月	横長美	一冊	六〇
子御年貢米免割帳 岩手村惣百姓 延享元年	横長美	一冊	六三
丑ノ御年貢米免割帳 延享二年	横長美	一冊	六三
寅御年貢米免割帳 岩手村惣百姓 延享三年	横長美	一冊	六六
卯御年貢米免割帳 岩手村惣百姓 延享四年	横長美	一冊	六七
辰御年貢米免割帳 岩手村惣百姓 延享五年	横長美	一冊	六七
壬申御年貢米免割帳 岩手村惣百姓 宝曆二年一月	横長美	一冊	七三
癸酉御年貢米免割帳 岩手村中 宝曆三年一月	横長美	一冊	七三

甲戌御年貢米免割帳 岩手村中 宝曆四年一月	横長美	一冊	七三
乙亥御年貢米免割帳 宝曆五年一月	横長美	一冊	七三
丙子御年貢米免割帳 宝曆六年閏二月	横長美	一冊	八六
丁丑御年貢米免割帳 宝曆七年一月	横長美	一冊	八三
戊寅御年貢米免割帳 宝曆八年一月二七日定	横長美	一冊	八六
己卯免割并小物成大豆返金共納所元割帳 中間田割共 庄屋平六外与頭百姓八名 宝曆九年一月	横長美	一冊	八六
庚辰免割小物成大豆返金共納所元割帳 中間田割共 庄屋平六外与頭百姓九名 宝曆一〇年一月	横長美	一冊	八九
巳年々酉年迄五ヶ年定免割賦帳 岩手村庄屋平六外与頭百姓二名 宝曆一一年一月	横長美	一冊	八九
戌年御免割帳 明和三年一月	横長美	一冊	九二
亥年御免割帳 明和四年一月	横長美	一冊	九四
子ノ辰迄五ヶ年定免御免相割賦并子年御損地起返ニ付割賦帳 岩手村 庄屋松五郎外組頭百姓一名 明和六年一月	横長美	一冊	一〇三
御免相割賦并寅年御損地起返ニ付割賦帳 岩手村 庄屋松五郎外組頭百姓一名 明和七年一月	横長美	一冊	一〇七
御免相割賦并寅年御損地起返りニ付割賦帳 岩手村 庄屋松五郎外組頭百姓一名 明和八年一月	横長美	一冊	一〇八
巳御免相割賦并寅年御損地起返ニ付割賦帳 岩手村惣百姓 庄屋松五郎外組頭百姓一名 安永二年一月	横長美	一冊	一〇六
午御免相割賦并寅年御損地起返午起返見取共割賦帳 岩手村惣百姓 庄屋松五郎外組頭百姓一〇名 安永三年一二月	横長美	一冊	一〇九

未御免相割賦并寅年御損地起返見取共割賦帳 岩手村惣百姓 庄屋松五郎外組頭百姓一〇名 安永四年二月	横長美	一冊	一〇三三
申御免相割符并寅年御損地起返午申兩年起返見取申起返見取共割賦帳 岩手村惣百姓 庄屋松五郎外組頭百姓一〇名 安永五年二月	横長美	一冊	一〇三六
酉御免相割符并寅年御損地起返午申兩年起返見取申起返見取共割賦帳 岩手村惣百姓 庄屋松五郎外組頭百姓一〇名 安永六年二月	横長美	一冊	一〇四二
亥御免相割符并寅年御損地起返午申兩年起返見取戌御損地引高共割賦帳 灰庭組岩手村惣百姓 庄屋松五郎外組頭百姓一〇名 安永八年二月	横長美	一冊	一〇四五
丑御免相割符并寅御損地起返午申兩年起返見取共割賦帳 黒岩組岩手村 庄屋松五郎外組頭百姓一〇名 天明元年二月	横長美	一冊	一〇五三
寅御免相割符并寅年御損地起返午申兩年起返見取共割賦帳 黒岩組岩手村惣百姓 庄屋松五郎外組頭百姓一〇名 天明二年二月	横長美	一冊	一〇七四
辰御免相割符并寅辰兩年御損地起返午申兩年起返見取共割賦帳 黒岩組岩手村惣百姓 庄屋松五郎外組頭百姓一〇名 天明四年二月	横長美	一冊	一〇七七
午御免相割符割賦帳 黒岩組岩手村惣百姓 天明六年二月	横半	一冊	一〇七六
未御免相割賦割分帳 黒岩組岩手村 天明七年二月	横半	一冊	一〇八二
申御免相割分帳 岩手村 天明八年	横半	一冊	一〇八四
酉御免相割賦割賦帳 黒岩組岩手村惣百姓 寛政元年二月	横半	一冊	一〇八七
戌御免相割賦割賦牒 岩手村惣百姓 寛政二年一月	横半	一冊	一〇九二
亥御免相割賦割賦帳 岩手村惣百姓 寛政三年一月	横半	一冊	一〇九五
御免相割賦割賦帳 岩手村惣百姓 寛政四年一月	横半	一冊	一〇二一
御免相割賦割賦帳 岩手村惣百姓 寛政五年一月	横美	一冊	一〇二七
御免相割賦割賦帳 岩手村惣百姓中 寛政六年閏一月	横美	一冊	一〇二七
御免相割賦割賦帳 岩手村惣百姓中 寛政八年一月	横美	一冊	一〇二六
御免相割賦割賦帳(下書) 岩手村惣百姓中 寛政七年一月	横半	一冊	一〇二九
辰御免相割賦割賦帳 岩手村惣百姓中 寛政八年一月	横美	一冊	一〇三四
巳御免相割賦割賦帳 黒岩組岩手村惣百姓中 寛政九年一月	横美	一冊	一〇四三
午御免相割分割賦帳(賦) 黒岩組岩手村惣百姓 寛政一〇年二月	横美	一冊	一〇五七
未御免相割賦割賦帳 黒岩組岩手村惣百姓 寛政一一年二月	横美	一冊	一〇六三
申御免相割賦割賦帳 黒岩組岩手村惣百姓 寛政一二年二月	横美	一冊	一〇六六
戌御免相割賦割賦帳 黒岩組岩手村 享和二年一月	横半	一冊	一〇八三
辛巳御免相割賦割賦帳 御損地 割賦帳 岩手村惣百姓 文政四年一月	横半	一冊	一二七五

壬午御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 文政 五年二月	横半	一冊	二八四	子御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 天保一 年二月	横長美	一冊	八五〇
癸未御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 文政 六年二月	横半	一冊	二九〇	卯御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 天保一四 年二月	横長美	一冊	二八八
御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 文政七年一 月	横半	一冊	三〇〇	申御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 嘉永元年 二月	横長美	一冊	一四三
御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 文政八年一 月	横半	一冊	三三三	*亥御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 巖手村惣百姓 嘉永四年 二月	横長美	一冊	三六四
御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 文政九年一 月	横半	一冊	三三四	*巳御免相御引捨米 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 明治二年二月	横長美 横長半	三冊	八三九〇
御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 文政一〇年 一月	横半	一冊	三三三	午御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓中 明治三 年二月	横長美	一冊	八四五
御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 文政一一年 一月	横半	一冊	二四六	戌御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓中 明治七 年二月	横長美	一冊	八三九
御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 文政一二年 一月	横半	一冊	二五二	田米金納銘々割賦仕出帳 明治七年二月	横長半	一冊	一六九
寅御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 文政一 三年二月	横半	一冊	二六三	畑方 米銘々割賦仕出帳 明治七年二月	横長半	一冊	一六九
卯御免相 御損地 仲ヶ間田 割賦帳 岩手村惣百姓 天保二 年二月	横半	一冊	二七九	山漆高 米銘々割賦仕出帳 明治七年二月	横長半	一冊	一六九
				正納米蔵入銘々倭数割 明治七年二月	横長半	一冊	一六九
				正納米刺米諸掛り割賦帳 明治七年二月六日	横長半	一冊	二九六
				甲戌田米買入畑石代割賦帳 岩手村 明治八年四 月	横長美	一冊	四六三
				戊畑石代上納金割賦帳(下書) 明治八年一月二六 日	横長美	飯一冊	四六四

(戊田米買入上納金割賦帳下書) (明治八年) 横長半 一冊 四六五

甲戌田米買入畑石代割賦取立帳 岩手村 明治八年四月 横長美 一冊 四六六

(甲戌田米買入畑石代割賦取立帳下書) (明治八年) 横長半 一冊 四六七

金納割賦取立帳 明治八年一月二七日 横長半 一冊 四六八

貢租石代仮取立帳 岩手村 明治九年八月四日 横長美 一冊 四六九

地租金二納仮取立帳 明治九年二月七日 横長半 一冊 四七〇

(貢租石代割賦帳并取立帳下書) (明治八〇九年) 横長半 一冊 四八一

*亥御免相御損地 割賦帳 (甲二十八号証) 岩手村 横長美 一冊 二六三
惣百姓中 明治八年二月

○中間田・損地・糶納割賦帳

(卯中間田割賦帳) 卯(延享四年力) 横長半 一冊 六九三

未中間田割 岩手村 宝曆元年十一月 横長半 一冊 七六六

申中間田割 宝曆二年二月 横長半 一冊 七七七

酉中間田割 (宝曆三年力) 十一月 横長半 一冊 八七五

戌中間田割 (宝曆四年) 十一月 横長半 一冊 七七五

丑中間田割 宝曆七年 横長半 一冊 八七四

御檢見御免ニ付冥加米并糶納亥暮御拝借米返納割賦帳 亥ノ不作ニ付夫喰拝借米仲間田共ニ 岩手村 横長半 一冊 二〇五
惣百姓 寛政四年十一月

仲間田并御損地起返割賦帳 岩手村 寛政五年一月 横長美 一冊 二〇六

仲間田并御損地割分帳 岩手村惣百姓中 寛政六年閏十一月 横長美 一冊 二二七

仲間田并御損地割分帳 岩手村惣百姓中 寛政七年十一月 横長美 一冊 二二〇

辰夏難船米御拝借返納 割分帳 岩手村 横長美 一冊 二三五

仲間田并御損地方 上納糶割賦 寛政八年二月 横長美 一冊 二四四

仲ヶ間田并 御損地方 上納糶割賦 割分帳 岩手村 寛政九年十一月 横長美 一冊 二四四

仲間田并 御損地方 上納糶割賦 割賦帳 岩手村 寛政一〇年一月 横長美 一冊 二五五

仲間田并 御損地方 上納糶割賦 割賦帳 岩手村 寛政一一年一月 横長美 一冊 二六三

仲間田并 御損地方 上納糶割賦 割賦帳 岩手村 寛政一二年一月 横長美 一冊 二六九

七品米 糶納 仲間田御損地見取米 割賦帳 岩手村 享和二年一月 横長半 一冊 八三三

明治八亥年翌九子年仲間田割(下帳) 横長美 一冊 二六六

小物成諸役并小懸割賦帳

亥之小役銀并荏胡麻代銀割方帳 岩手村庄屋八兵衛 元禄八年十一月 横長美 一冊 四七

亥之大伝馬瀉町長三年小掛り割	岩手村	元禄八年極月	横長美	合 一冊 (二冊通)	四六
諸帳面割方下り銀寛					
辰ノ年諸帳面代銀ノ寛	(元禄一三年力)				
辰之遣割方帳	(元禄一三年力)				
子之年庄屋与頭給造用〔庄屋与頭給米割賦帳〕	下		横長半	一冊	二九七
美守郷岩手村	元禄九年二月二十四日		横長美	一冊	四三
辰之小掛割方帳	(元禄一三年)		横長美	一冊	四三
辰之夫食小役出銀帳	元禄一三年		横長美	一冊	四三
巳人足割帳	元禄一四年四月		横長美	一冊	四六
小役大豆在胡摩人別	岩手村庄屋八兵衛	元禄一四年極月	横長美	一冊	四四〇
子年所々御普請方代銀小掛村方入用	岩手村		横長美	一冊	四四
欠代銀足役郷触黒井獄屋村雜用共ニ	宝永五年				
小役在胡麻口銀大豆代并ニ	(以下破損)		横長美	一冊	四四二
丑年小掛黒井こくや村方入用足役	(宝永六年)				
山里うるしは雜用御検見一卷					
小役在胡摩大豆代并子欠代	(破損)		横長美	一冊	四四三
寅松木入札中通御普請馬正面小掛	岩手村中				
村方郷伝馬諸係雜用差引	(宝永七年)		横長美	一冊	四四七
庄屋与頭給割賦牒	岩手村中	宝永七年極月吉日	横長美	一冊	四四七
卯年万書留	岩手村中	宝永八年	横長美	一冊	四四四
万当座書留	岩手村中	正徳二年	横長美	一冊	四四五
已御年貢米金附			横長美	一冊	四四六
已諸役出銀并返金	差引帳	岩手村中	正徳三年		
午諸上納方一切差引帳	下美守郷岩手村中	正徳四年極月	横長美	一冊	四四七

*亥年出銀割賦帳 (享保四年)	附。亥免割人別帳 岩手村中 享保四年一二月	亥御年貢米金当座帳 岩手村中 享保四年一月	。出銀寄返銀差引帳 岩手村庄屋友右衛門 享保四年一二月	子小物成并村方諸出銀割賦帳 岩手村中 享保五年極月	丑年諸出銀并返銀割賦帳 岩手村惣百姓中 享保六年極月	寅出銀割賦帳 享保七年一二月	卯年出銀割帳 享保八年九月	*辰年銘々庭帳 (辰年出銀割帳) 岩手村惣百姓中 享保九年極月	(午年諸役銀割賦帳) (享保一二年)	酉諸役銀割賦帳 岩手村 享保一四年	戌年諸役諸懸り取立帳 (享保一五年)	御検見入用	亥瀉町馬正面小掛 諸掛物割賦帳 岩手村惣百姓 萬返り金 享保一六年	郷村余荷普請	長岡御預所岩手村小役在胡麻大豆浅草銘々割賦書分帳 享保一六年一二月	小役馬正面瀉町米山寺当村小掛万返金本割 岩手村百姓中 享保一七年	丑金取立割賦元割帳 岩手村惣百姓 享保一八年極月	寅諸上納金并返り金元割帳 享保一十九年極月															
横長美	合 一冊 (四冊)	四六六	享	横長美	一冊	四七一	横長美	一冊	四八七 (二冊)	横長美	一冊	四八五	横長美	一冊	五〇五	横長美	一冊	五二一	横長美	一冊	五三〇	横長美	一冊	五三三	横長美	一冊	五三三	横長美	一冊	五三三	横長美	一冊	五三三

辰諸懸銀元割帳	元文元年極月	橫長美	一冊	五〇
巳諸懸金元割帳	元文二年	橫長美	一冊	五七
午金納小役諸掛元割帳	岩手村庄屋友右衛門 元文三年	橫長美	一冊	五五
未金納小役諸入用元割帳	元文四年	橫長平	一冊	五〇
巳瀧町馬正面小懸取立不足并卯納刺米返り割帳	元文四年極月	橫長平	一冊	五二
申金納小役并諸懸元割帳	岩手村	橫長美	一冊	五七
午未申三ヶ年瀧町馬正面小懸	元文五年	橫長美	一冊	五七
辰巳午三ヶ年刺米返割		橫長平	一冊	六二
午納大豆直段違并納割		橫長平	一冊	六三
酉小役大豆金納其外諸懸元割帳	寛保元年	橫長美	一冊	六五
戌小役大豆并小懸返り金元割帳	寛保二年	橫長平	一冊	六二
(亥小役大豆并小懸返り金元割帳)	寛保三年	橫長平	一冊	六三
子小役大豆并小懸金返金共元割帳	延享元年	橫長美	一冊	六六
丑小役大豆并小懸金返金共元割帳	岩手村	橫長平	一冊	六四
寅小役大豆并小懸金返金共元割帳	岩手村	橫長平	一冊	六五
卯小役大豆并小懸金返金共元割帳	岩手村	橫長美	一冊	六五
辰小役大豆并小懸金返金共元割帳	岩手村	橫長美	一冊	六八
申小役大豆并小懸金返金共元割帳	岩手村中	橫長美	一冊	七六
酉小役大豆并小懸金返金共元割帳	宝曆三年一二月	橫長美	一冊	七五

鉞代米割賦帳	宝曆三年一二月	橫長平	一冊	七五
戌小役大豆并小懸金返金共元割帳	岩手村中	橫長美	一冊	七三
亥小役大豆并小懸金返金共元割帳	岩手村	橫長美	一冊	七三
丙子小役大豆小懸金返金共元割帳	宝曆六年一二月	橫長美	一冊	八〇
丁丑小役大豆并小懸銀返金共元割帳	宝曆七年一二月	橫長美	一冊	八四
戊寅小物成銀万高懸銀并返銀元割帳	宝曆八年一二月	橫長美	一冊	八四
辛巳小物成大豆代并(出金取金)仲間田割共元牒	宝曆二年一二月	橫長美	一冊	八六
壬午小物成大豆代出金取金仲間田割共元割牒	宝曆二年一二月	橫長美	一冊	八七
癸未小物成大豆出金入金仲間田割共元割牒	宝曆二年一二月	橫長美	一冊	九三
甲申小物成大豆出金入金仲間田割共元割帳	明和元年一二月	橫長美	一冊	九三
乙酉小物成大豆出金入金仲間田割帳	明和二年一二月	橫長美	一冊	九六
丙戌小物成大豆出金入金仲間田元割帳并西戌先納金割	明和三年一二月	橫長美	一冊	九七
丁亥小物成大豆并仲間田割	明和四年一二月	橫長美	一冊	九六
戊子小物成大豆并仲間田割	明和五年一二月	橫長美	一冊	九〇

己丑 小物成大豆并 仲間田割 出金入金元割帳 明和六年十一月	橫長美	一冊	一〇〇三	寅 小物成大豆代下条郷藏拝借金 共ニ割符元帳 黒岩組岩手村惣百姓 天明二年十二月	橫長美	一冊	一〇七五
寅 先納金内小物成大豆代指次御返済并同暮御借り足納方指引元帳 岩手村 明和七年十二月	橫長美	一冊	一〇〇六	申 小物成大豆代棟役 小懸割差米返仲間田割 共割賦元帳 黒岩組岩手村惣百姓 天明八年十二月	橫長美	一冊	一〇八五
卯 先納金内小物成大豆代差次御返済并同暮御借り足納方指引元帳 岩手村 明和八年十一月	橫長美	一冊	一〇〇九	酉 小物成大豆代棟役 小懸丑頼母子金元割返 共割賦元帳 岩手村惣百姓 寛政元年十二月	橫長美	一冊	一〇八六
辰 先納金内小物成大豆代差引御返済并同暮御借り足納方指引小懸割 岩手村 安永元年十二月	橫長美	一冊	一〇一三	戌 小物成大豆代小懸 足米割仲間田 共割賦帳 岩手村惣百姓 寛政二年十一月	橫長美	一冊	一〇九三
巳 御用小懸金先納金御利分指米返り仲間田割 共割符元帳 岩手村惣百姓 安永二年十二月	橫長美	一冊	一〇一七	亥 小物成大豆代組内居村小掛 御国役棟役西暮御拝借米完徳 諸役銀并仲間田割賦元帳 岩手村惣百姓 寛政三年十二月	橫長美	一冊	一〇九六
午 小物成大豆代御類焼御用金 小懸割已差米返り金割仲ケ間田割 共割符元帳 安永三年十二月	橫長美	一冊	一〇二〇	子 小物成大豆代組内居村小掛 御国役棟役諸役銀 割賦元帳 寛政四年十二月	橫長美	一冊	一一〇三
未 小物成大豆代日光御用金 小懸割午指米返り金仲ケ間田割 共割符元帳 岩手村惣百姓 安永四年十二月	橫長美	一冊	一〇三三	丑 小物成大豆代組内居村小掛 御国役棟役諸役銀 割賦元帳 寛政五年十二月	橫長美	一冊	一一〇九
申 小物成大豆代御国役日光御用金 小懸割未差米返金仲間田割 共ニ割符元帳 岩手村惣百姓 安永五年十二月	橫長美	一冊	一〇三七	寅 小役小物成小懸 并雜用割賦帳 (下書共) 岩手村大代御国役 惣百姓中 寛政六年十二月	橫長美	二冊	一一二六
酉 小物成大豆代小懸割寅ノ日光御用金 五年賦御返済申差米返金仲間田割 共ニ割賦元帳 岩手村惣百姓 安永六年十二月	橫長美	一冊	一〇四二	卯 小役小物成小掛 并雜用割賦帳 岩手村惣百姓中 御頼金 大代御国役 寛政七年十一月	橫長美	一冊	一一三三
戌 小物成大豆代小懸割卯ノ日光御用金 五ヶ年賦御返済戌ノ差米返金仲間田割 共ニ割賦元帳 灰庭組岩手村惣百姓 安永八年十二月	橫長美	一冊	一〇四六	辰 御上納役銀并刺米餅米諸割賦元帳 岩手村惣百姓中 寛政八年十一月	橫長美	一冊	一一三六
丑 小物成大豆代戌亥兩年御用金 小懸割古丑去子差米返り金仲間田割 共ニ割符元帳 黒岩組岩手村惣百姓 天明元年十二月	橫長美	一冊	一〇五三	巳 御上納役銀并刺米餅米諸割賦元帳 (下書共) 岩手村惣百姓中 寛政九年十二月	橫長美	二冊	一一四四

午御上納役銀并刺米餅米諸割賦元帳	岩手村惣	横長美	一冊	二五
百姓中 寛政一〇年十一月				
未御上納役銀并刺米餅米諸割賦元帳	岩手村惣	横長美	一冊	二六
百姓中 寛政一一年十一月				
申御上納役銀并刺米餅米諸割賦元帳	岩手村惣	横長美	一冊	二七
百姓中 寛政一二年十一月				
已小物成大豆代夫金御国役并諸色割賦元牒	黒	横長半	一冊	二七
岩組岩手村庄屋平助	文政四年二月			
↓以下、文政五年以降「上納諸役銀小懸 差引取立帳」(二〇一頁)につづく				

取立・納入

先納金

亥年先納金取立帳	岩手村	寛保三年	横長美	一冊	六三
寅先納金取立帳	明和七年六月		横長美	一冊	一〇〇
藏納小手形帳・小手形・廻し米手形					
寅之御年貢庭帳	岩手村庄や八兵衛	元禄一一年一月日	横長美	一冊	四九
巳之年御年貢計主覚帳	岩手村惣百姓中	元禄一四年十一月	横長美	一冊	四四
*亥御年貢米金当座帳 岩手村中 享保四年一月一日 附。亥免割人別帳 岩手村中 享保四年一月一日 。出銀寄返銀差引帳 岩手村庄屋友右衛門 享保四年二月					
			横長美	合一冊 (四冊)	四六

子御年貢小手形扣帳	米山寺組岩手村	享保五年一月	横長美	一冊	四七
寅御上納方一切書留帳	岩手村中	享保七年九月	横長美	一冊	四八
卯御年貢米金納帳	享保八年二月二日		横長半	一冊	一六七
辰御年貢小手形帳	岩手村惣百姓中	享保九年一〇月吉日	横長美	一冊	四八
巳年米金納銘々当座帳	享保一〇年一〇月吉日		横長美	一冊	四九
午御年貢米金并諸上納金請取帳	享保一一年一月		横長美	一冊	四九
未年諸上納米金当座帳	岩手村中	享保一二年霜月	横長美	一冊	四九
戌御年貢小手形覚帳	岩手村庄や	享保一五年一〇月一七日	横長美	一通	五三
附 覚 一通					
亥御年貢米金書留帳	岩手村庄や友右衛門	享保一六年二月朔日	横長美	一冊	五二
子小手形書留帳	岩手村庄屋	享保一七年	横長美	一冊	五三
丑岩手村米金上納小手形書留	享保一八年一〇月一五日		横長美	一冊	五四
寅岩手村小手形帳	享保一九年(紙背)享保一六年亥九月甲州巨摩郡大下條村当流小前帳		横長半	一冊	五四
岩手村御年貢米小手形銘々附分帳	享保二〇年一〇月二〇日		横長美	一冊	五三
辰小手形帳	元文元年一月朔日		横長半	一冊	五三
巳御年貢米小手形帳	岩手村	元文二年	横長半	一冊	五二

午岩手村上納小手形帳 附。畑請作証文 岩手村友右衛門外三名 高畑 村太右衛門宛 元文二年二月 。重左衛門・八郎右衛門野畑寛 元文四年	横長半 二冊 五七	岩手村米金納通留帳 元文五年一〇月 二七日	横長美 一冊 六〇〇	申上納米小手形書留帳 岩手村 元文五年一〇月 二七日	横長半 一冊 六〇七	岩手村御年貢米納小手形帳 寛保元年一〇月二六 日	横長半 一冊 六〇七	丑年小手形留帳 延享二年二月 附 藏納小手形 二〇通	横長半 一冊 六〇六	藏納小手形并廻し米手形綴 寅(延享三年カ)	二〇通 一綴 六七八	未御年貢米下条御藏納小手形帳 岩手村 寛延 四年九月二五日	横長半 一冊 七七七	酉御年貢米下条御藏納小手形帳 岩手村中 宝 曆三年一〇月二九日	横長半 一冊 四七三	未上納米下条郷藏納小手形扣帳 宝曆一三年一 〇月上旬	横長半 一冊 九三三	申上納米下条郷藏納小手形扣帳 明和元年一〇 月一〇日	一綴 (二冊) 九四五	付。藏納小手形 一三通 申一二月三日 一二 月五日	。下条御藏書出其外覚 一冊	手形替米ニ付高畑三太右衛門書狀并下条郷藏替 米覚綴 三太右衛門外 平六外宛 (明和元年カ)	一綴 (五通) 九四六	下条郷藏納小手形帳 岩手村 明和六年一〇月朔 日	横長美 一冊 一〇〇五	下條郷藏納小手形帳 岩手村 明和七年九月一六 日	横長美 一冊 一〇二三
廻し米仮目銀其外綴 岩野村伝左衛門外 庄屋松 五郎外宛 寅(明和七年) 一〇月二二日 一二月一九 日	一綴 (三通) 一〇四	藏納米差引覚 (明和七年カ)	一通 一〇六	吉右衛門書狀〔佐藤善右衛門方遺候書付伝達〕 松五郎宛 (明和七年カ) 一二月一四日	一通 一〇七	廻し米手形其外綴 上小野村勘右衛門外 岩手村 庄屋所外宛 丑(天明元年) 一二月 一二月	一綴 (四通) 一〇六	廻し米手形綴 米山寺村茂八外 岩手村庄屋所宛 丑(天明元年) 一〇月 一二月	一綴 (六通) 一〇七	岩手村藏納小手形綴 丑(天明元年) 一〇月二六日 一二月一七日	一綴 (八通) 一〇六	落合与一左衛門書狀〔下条御藏場詰之節切出米ニ 附〕 岩手村佐藤松五郎宛 (天明元年カ) 一二月八日	一通 一〇五	丑廻し米目録 八郎兵衛(岩せゑ) 岩手村松五郎 宛 丑(天明元年) 一二月二日	一通 一〇六	柳ヶ崎郷藏へ入置米覚 高畑太郎左衛門 岩手村 松五郎宛 天明元年一二月	一通 一〇七	廻し米手形其外綴 天明八年	一綴 (飯一冊) (七通) 四八三	下条御藏場詰切取米留牒 黒岩組岩手邑 寛政五 年一二月	横長半 一冊 二二三	丑御年貢米小手形帳 岩手村 寛政五年一二月	横長美 一冊 二二四	御稅貢米小手形帳 岩手村 寛政六年一〇月	横長美 一冊 二二三	*岩手村年貢米藏納小手形綴 寛政六年一二月一九 日 一二月一〇日	一綴 (三通) 二二五

廻し米手形其外綴	寛政六年	一綴 (二七通)	四九三
下條郷藏小手形帳	岩手村庄屋喜太郎 寛政八年一月	横長美 一冊	二四〇
下条小手形袋	寛政八年二月	袋入 六點	二四二
1 飛脚定賃覚帳	寛政六年閏一月五日	横長半 一冊	
2 下条場詰切取米覚	岩手村庄屋喜太郎 寛政八年二月	横長半 一冊	
* 3 (岩手村御年貢米郷藏場詰差引帳)	(寛政八年)	横長半 一冊	
4 藏納小手形綴	(寛政八年) 一〇月一七日	包紙入 一綴 (二〇通)	
5 廻し米手形其外綴	高畑半右衛門外 岩手村喜太郎外宛 寛政八年一〇月一二月	一綴 (三五通)	
6 辰巳藏納米差引覚	岩手村喜太郎 黒岩村半左衛門宛 寛政九年一〇月	一通	
下条御藏小札覚帳	黒岩組岩手村 寛政九年一〇月	横長半 一冊	二五〇
巳小手形袋	巳(寛政九年)	袋入 四點	二五
1 廻し米手形其外綴	巳(寛政九年) 九月一二月	包紙入 一綴 (二四通)	
2 藏納小手形綴	巳(寛政九年) 一〇月一六日	包紙入 一綴 (七通)	
3 郷藏場詰切取米覚	寛政九年一月一六日	繼一通	
4 当辰小物成金・小懸り方指引覚并当辰御年貢米指引勘定覚	赤沢村庄屋伊左衛門・吉郎左衛門 岩手村喜多郎宛 寛政八年二月	繼一通 (二通)	

午小手形袋	寛政一〇年	袋入 三點	四七三
。下条藏納小手形綴	(寛政一〇年)	包紙入 一綴 (九通)	四七〇
。落合村外六ヶ村藏納米覚	午(寛政一〇年)	一通	四七三
。廻し米手形其外綴	岩手村庄屋喜太郎外宛 寛政一〇年	一綴 (二六通)	四七三
藏納米場詰勘定書等綴	(寛政一一年)	一綴 (五通)	二六七
下条郷藏小札帳	寛政一二年一〇月	横長美 一冊	二七三
小手形袋	(寛政一二年)	袋入 四點	二七四
1 藏納小手形綴	申(寛政一二年) 一二月六日	包紙入 一綴 (八通)	
2 廻し米手形其外綴	寛政一二年	包紙入 一綴 (三七通)	
3 郷藏場詰切取米勘定覚	(寛政一二年)	横長半 一通	
4 郷藏場詰差引帳	(寛政一二年)	横長半 一冊	二八一
巳御年貢米小手形帳	岩手村 文政四年一月	横長半 一冊	二八七
岩手村小手形帳	文政五年一〇月	横長半 一冊	二九四
岩手村小手形帳	文政六年一〇月	横長半 一冊	二九四
岩手村小手形帳	文政七年一〇月	横長半 一冊	二九四
岩手村小手形帳	文政八年	横長半 一冊	四七四
岩手村小手形帳	文政九年一月	横長半 一冊	二三八
岩手村小手形帳	文政一〇年一〇月	横長半 一冊	二三四
岩手村小手形帳	文政一一年一〇月	横長半 一冊	二四三

岩手村小手形帳	文政二年一〇月	横長半	一冊	一五四
岩手村小手形帳	文政三年一〇月	横長半	一冊	二六九
附 御藏米請取手形	米山寺村酒屋瀬左衛門		二通	
岩手村庄屋所宛	一二月六日・八日			
岩手村小手形帳	天保二年	横長半	一冊	二六三
(岩手村小手形帳下書)	(天保二年)	横長半	一冊	二六七
岩手村小手形帳	天保三年一二月	横長半	一冊	二九四
岩手村小手形帳	天保四年	横長美	一冊	二九
岩手村小手形帳	天保五年一二月	横長半	一冊	三〇五
岩手村小手形帳	天保六年一二月	横長半	一冊	三三
岩手村小手形帳	米山寺郷藏所	横長半	一冊	三九
岩手村小手形帳	天保七年一二月	横長半	一冊	三七
岩手村小手形帳	天保八年一二月	横長半	一冊	三七
岩手村小手形帳	天保一一年一二月	横長半	一冊	三五
丑岩手村小手形帳	天保一二年一二月	横長半	一冊	三六
寅岩手村小手形帳	天保一三年一二月	横長半	一冊	三七
岩手村小手形帳	天保一四年一〇月	横長半	一冊	三九
辰岩手村小手形帳	天保一五年一二月	横長半	一冊	三九
岩手村小手形帳	弘化二年一二月	横長半	一冊	四〇
岩手村小手形帳	弘化三年一二月	横長半	一冊	四四
岩手村小手形帳	弘化四年一〇月	横長半	一冊	四六
岩手村小手形帳	嘉永元年一〇月二九日	横長半	一冊	四八
岩手村小手形帳	米山寺郷藏所	横長半	一冊	五〇
岩手村小手形帳	安政五年一二月			

岩手村小手形帳	安政六年一〇月	横長半	一冊	一五四
岩手村小手形帳	米山寺郷藏所	横長半	一冊	一五三
岩手村小手形帳	文久二年一〇月	横長半	一冊	一五七
岩手村小手形帳	米山寺郷藏組	横長半	一冊	一五六
岩手村小手形帳	文久三年一二月	横長半	一冊	一五二
岩手村小手形帳	元治元年一二月	横長半	一冊	一五八
岩手村小手形帳	慶応元年一二月	横長半	一冊	一五八
岩手村小手形帳	米山寺郷藏組	横長半	一冊	一五八
岩手村小手形帳	慶応二年一二月	横長半	一冊	一六四
岩手村小手形帳	明治二年一二月	横長半	一冊	一六四
岩手村小手形帳	明治四年一二月	横長半	一冊	一六二
岩手村小手形帳	明治五年	横長半	一冊	一六七
岩手村古手形帳	米山寺郷藏所	横長半	一冊	一六〇
岩手村貢米正納所帳	明治八年一月	横長半	一冊	一六四

○年欠分

廻し米手形綴	岩手村喜太郎外宛	包紙入	一綴	四六七
廻し米目録			二〇通	
納米勘定覚并廻し米手形等綴	佐藤八平外宛		四通	四七八
月、酉二月、戌三月			一綴	四四五
藏納小手形綴	立会下条村弥五兵衛外		一綴	四九五
子一〇月二四日、一二月一六日	岩手村宛		二六通	
米俵書立覚	(明治)		一通	二六
岩手村貢米覚控	米山寺郷藏組岩手村戸長佐藤文		一通	八五三
吉外戸副二名	(明治)			

上納諸役銀小懸差引取立帳

小役大豆請取銀之覺帳 岩手村八兵衛 元禄一四年極月 横長美 一冊 四三

*出銀寄返銀差引帳 岩手村庄屋友右衛門 享保四年一月 横長美 一冊 四二

附。亥免割人別帳 岩手村中 享保四年一月 横長美 一冊 四一

。亥御年貢米金当座帳 岩手村中 享保四年一月 横長美 一冊 四〇

。亥年出銀割賦帳 (享保四年) 子暮諸出銀亥未進方并返銀差引帳 (享保五年) 横長美 一冊 三九

寅諸出銀銘々差引帳 岩手村惣百姓中 享保七年極月 横長美 一冊 三八

辰年割方差引帳 岩手村惣百姓中 享保九年二月 横長美 一冊 三七

巳年割方差引帳 下美守郷岩手村(庄屋)友右衛門 享保一〇年極月 横長美 一冊 三六

午諸上納金差引割賦帳 享保一一年極月 横長美 一冊 三五

未金割賦并庭帳 下美守郷岩手村佐藤友右衛門 享保一二年二月 横長美 一冊 三四

(申年諸上納小懸銀取立差引帳) (享保一三年) 横長美 一冊 三三

寅年々辰年迄小懸取立并返り金元割場帳 岩手村庄屋友右衛門 元文三年極月 横長美 一冊 三二

当申小役大豆御廻米欠代并諸懸取立指引帳 岩手村 元文五年極月 横長美 一冊 三一

(諸上納小懸銀取立差引帳断簡) (宝曆五年九) 横長美 一丁 七六

亥諸役銀小掛銀高持無田指引取立帳 岩手村庄屋喜太郎 寛政三年二月 横長美 一冊 二〇九

子諸役銀小掛銀高持無田指引取立帳 岩手村庄屋喜太郎 寛政四年二月 横長美 一冊 二〇四

丑諸役銀小掛高持無田指引取立帳 寛政五年一月 横長美 一冊 二三

寅諸役銀小掛高持無田差引取立帳 岩手村惣百姓中 寛政六年閏一月 横長美 一冊 二三

卯諸役銀小掛高持無田差引取立帳 岩手村惣百姓中 寛政七年一月 横長美 一冊 二三

辰諸役銀小掛高持無田指引取立帳 岩手村百姓中 寛政八年一月 横長美 一冊 二六

巳諸役銀小掛高持無田差引取立帳 岩手村百姓中 寛政九年一月 横長美 一冊 二六

午諸役銀小掛高持無田指引取立帳 岩手村百姓中 寛政一〇年一月 横長美 一冊 二六

未諸役銀小掛高持無田指引取立帳 岩手村惣百姓中 寛政一二年一月 横長美 一冊 二六

申諸役銀小掛高持無田指引取立帳 岩手村惣百姓中 寛政一二年一月 横長美 一冊 二六

○

巳御上納金諸役銀小懸勘定指引取立帳 岩手村庄屋平助 文政四年二月 横長美 一冊 二九

午御上納金諸役銀小掛勘定指引取立帳 岩手村庄屋平助 文政五年二月 横長美 一冊 二六

未御上納金諸役銀小掛勘定指引取立帳 岩手村庄屋平助 文政六年二月 横長美 一冊 二九

御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳 岩手村庄屋平助 文政七年二月 横長美 一冊 二〇三

御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳 岩手村庄屋平助 文政八年二月 横長美 一冊 二一六

御上納諸役金小掛勘定差引寄帳	(文政八年)	橫長半	一冊	二三九
御上納諸役金小掛勘定指引取立帳	岩手村庄屋 平助 文政九年二月	橫長美	一冊	二三七
御上納諸役金小掛勘定差引取立帳	岩手村 文 政一〇年二月	橫長美	一冊	二三六
御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳	岩手村兼帶 分庄屋平助 文政一一年一月	橫長美	一冊	二三四
御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳	岩手村兼帶庄 屋平助 文政一二年一月	橫長美	一冊	二三五
御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳	岩手村兼帶平 助 文政一三年一月	橫長美	一冊	二六六
御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳下書	(文 政一三年)	橫長半	一冊	二六四
御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳	岩手村兼帶名 主湯本平助 天保二年一月	橫長美	一冊	二六〇
御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳下書	(天 保二年)	橫長半	一冊	二六四
御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳	岩手村兼帶庄 屋湯本平助 天保三年二月	橫長美	一冊	二五三
御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳	岩手村兼帶庄 屋湯本平助 天保四年二月	橫長美	一冊	二五八
御上納諸役銀小掛勘定差引取立帳	岩手村兼帶庄 屋湯本平助 天保五年二月	橫長美	一冊	二五三
御上納諸役銀配府割賦差引取立帳	岩手村兼帶庄 屋湯本平助 天保六年二月二九日	橫長美	一冊	二五四
御上納諸役銀配府割賦差引取立帳	岩手村兼帶庄 屋湯本平助 天保七年二月	橫長美	一冊	二三八
御上納諸役銀配府差引取立割賦帳	岩手村庄屋啓 助 天保八年二月	橫長美	一冊	二三六
御上納諸役銀配府差引取立割賦帳	岩手村庄屋啓 助 天保九年二月	橫長美	一冊	二三四
御上納諸役銀配府差引取立割賦帳	岩手村庄屋啓 助 天保一〇年二月	橫長美	一冊	一三四七
御上納諸役銀配府差引取立割賦帳	岩手村庄屋啓 助 天保一一年二月	橫長美	一冊	一三五三
御上納諸役銀配府差引取立割賦帳	岩手村庄屋啓 助 天保一二年二月	橫長美	一冊	一三六一
御上納諸役銀配府差引取立割賦帳	岩手村庄屋啓 助 天保一三年二月	橫長美	一冊	一三七六
御上納諸役銀配府差引取立割賦帳	岩手村庄屋所 天保一四年二月	橫長美	一冊	一三六六
御上納諸役銀配府割賦差引取立帳	岩手村庄屋所 天保一五年二月	橫長美	一冊	一三六六
御上納諸役銀配府割賦差引取立帳	岩手村庄屋所 (役脱力) 弘化二年二月	橫長美	一冊	一四〇四
御上納諸役銀配府割賦差引取立帳	岩手村庄屋所 弘化三年二月	橫長美	一冊	一四二二
御上納諸役銀配府割賦差引取立帳	岩手村庄屋所 弘化四年二月	橫長美	一冊	一四二六
御上納諸役銀配府割賦差引取立帳	岩手村庄屋所 嘉永元年二月	橫長美	一冊	一四三四
御上納諸役銀配府割賦差引取立帳	岩手村惣百姓 嘉永二年二月	橫長美	一冊	一四四七
御上納諸役銀配府割賦差引取立帳	岩手村惣百姓 嘉永三年二月	橫長美	一冊	一四六三

○江堀入用小田年貢差引

当村江堀人足亥集米小田年貢指引帳 享保一六年
附 とうふ代・借米勘定覚 二通 横長美 一冊 五五

子江堀川餘修覆集米小田年貢指引帳 岩手村百
姓 享保一七年二月 横長美 一冊 五五

丑江堀庄屋組頭給并小田年貢取立差引 岩手村
百姓 享保一八年二月 横長美 一冊 五七

江堀まさ切小田年貢指引 享保一九年 横長美 一冊 六九

卯江堀まさ切小田年貢指引 享保二〇年二月一
四日 横長美 一冊 六五

○下西田年貢

下西田年貢取立割賦帳 元文五年 横長美 一冊 六三

酉下西割年貢指引帳 明和二年一〇月七日 横長美 一冊 六三

○その他

〔戌上納米駄賃銀割合差引帳〕〔享保一六年〕 横長平 一冊 五七

戌棟役并人別入用錢取立帳 銘々賃錢割渡 寛政
二年二月 横長平 一冊 一〇九四

年貢米金場帳

巳之御年貢計主〔銘々〕覚帳 岩手村惣百姓中 元
禄一四年極月 横長美 一冊 四三

丑ノ年庭〔帳〕 宝永六年 横長美 一冊 四三

寅御年貢米金庭帳 岩手村中 宝永七年 横長美 一冊 四三

申年庭帳 〔享保元年〕 横長美 一冊 四六

戌庭帳 享保三年 横長美 一冊 四四

子庭帳 岩手村中 享保五年 横長美 一冊 四三

丑年庭帳 岩手村惣百姓中 享保六年極月 横長美 一冊 四七

寅年御年貢米庭帳 岩手村惣百姓中 享保七年極
月 横長美 一冊 四八

*辰年銘々庭帳 岩手村惣百姓中
〔辰年出銀割帳〕 享保九年極月日 横長美 合一冊 四七

巳御年貢米惣百姓庭帳 下美守郷岩手村庄屋丈右
衛門 享保一〇年極月日 横長美 一冊 四九

未御年貢米金庭帳 享保一二一年二月 横長美 一冊 五〇

申〔御年貢米金庭帳〕〔享保一三年〕二月 横長美 一冊 五三

酉米金銘々庭帳 岩手村庄屋 享保一四年極月 横長美 一冊 五六

戌御年貢米金庭帳 岩手村百姓中 享保一五年極
月 横長美 一冊 五三

亥御年貢米納金納諸割賦場帳 岩手村惣百姓 享
保一六年 横長美 一冊 五八

子御年貢米納金納場帳 岩手村百姓中 享保一七
年 横長美 一冊 五〇

丑御年貢米金場帳 岩手村惣百姓 享保一八年極
月 横長美 一冊 五四

寅御年貢米納金納場帳 岩手村 享保一九年極月 横長美 一冊 五三

卯御年貢米銘々割賦并米金場帳 〔享保二〇年〕 横長美 一冊 五三

辰御年貢米納金納場帳 元文元年 横長美 一冊 五二

巳御年貢米金場帳 元文二年 横長美 一冊 五九

午御年貢米金小掛場帳 岩手村庄屋友右衛門 元
文三年 横長美 一冊 五三

未御年貢米金場帳	元文四年	橫長半	一冊	五九三
申御年貢米金場帳	岩手村 元文五年	橫長美	一冊	五九六
酉御年貢米金場帳	寛保元年	橫長美	一冊	六〇六
戌之御年貢米金場帳	寛保二年	橫長美	一冊	六二三
亥御年貢米金場帳	岩手村 寛保三年一二月	橫長美	一冊	六三二
子御年貢米金場帳	岩手村惣百姓 延享元年	橫長美	一冊	六三九
丑御年貢米金場帳	岩手村惣百姓 延享二年	橫長美	一冊	六四二
寅御年貢米金場帳	岩手村惣百姓 延享三年	橫長美	一冊	六六〇
卯御年貢米金場帳	岩手村惣百姓 延享四年	橫長美	一冊	六六六
辰御年貢米金場帳	岩手村惣百姓 延享五年一二月	橫長美	一冊	六六九
壬申御年貢米金場帳	岩手村中 宝曆二年一二月	橫長美	一冊	七三三
癸酉御年貢米金場帳	宝曆三年一二月	橫長美	一冊	七五四
甲戌御年貢米金場帳	岩手村中 宝曆四年一二月	橫長美	一冊	七五四
乙亥御年貢米金場帳	岩手村 宝曆五年一二月	橫長美	一冊	七九四
丙子御年貢米金場帳	岩手村 宝曆六年一二月	橫長美	一冊	八二〇
丁丑御年貢米金場帳	宝曆七年一二月	橫長美	一冊	八三五
戊寅御年貢米金銘々場帳	宝曆八年一二月	橫長美	一冊	八五〇
己卯御年貢米金場帳	宝曆九年一二月二〇日	橫長美	一冊	八六五
庚辰御年貢米金場帳	岩手村中 (宝曆一〇年)	橫長美	一冊	八八〇
辛巳御年貢米金指引場牒	宝曆一一年一二月	橫長美	一冊	九〇〇
壬午御年貢米金指引場牒	岩手村中 宝曆一二年一二月	橫長美	一冊	九一八

癸未御年貢米金指引場牒	岩手村中 宝曆一三年一二月	橫長美	一冊	九三〇
甲申御年貢米金指引場帳	岩手村中 明和元年一月晦日	橫長美	一冊	九四四
乙酉御年貢米(金指引場帳)	明和二年一月	橫長美	一冊	九六二
丙戌御年貢米金指引場帳	明和三年一二月二日	橫長美	一冊	九七三
丁亥御年貢米金差引場帳	岩手村惣百姓 明和四年一二月二十九日	橫長美	一冊	九八六
戊子御年貢米金指引場帳	岩手村惣百姓 明和五年一二月	橫長美	一冊	九九一
己丑御年貢米金指引場帳	岩手村惣百姓 明和六年一二月	橫長美	一冊	一〇〇四
庚寅御年貢米金指引場帳	岩手村惣百姓 明和七年一二月	橫長美	一冊	一〇〇九
辛卯御年貢米金差引場帳	岩手村惣百姓 明和八年一二月	橫長美	一冊	一〇二〇
辰御年貢米金差引場帳	岩手村惣百姓 安永元年一二月	橫長美	一冊	一〇二四
巳御年貢米金差引場帳	岩手村惣百姓 安永二年一二月	橫長美	一冊	一〇二六
午御年貢米金差引場帳	岩手村惣百姓 安永三年一二月	橫長美	一冊	一〇三一
未御年貢米金差引場帳	岩手村惣百姓 安永四年一二月	橫長美	一冊	一〇三四
申御年貢米金差引場帳	岩手村惣百姓 安永五年一二月	橫長美	一冊	一〇三六
酉御年貢米金差引場帳	岩手村惣百姓 安永六年一二月	橫長美	一冊	一〇四三

亥御年貢米金差引場帳 永八年十二月	灰庭組岩手村惣百姓	安	横長美	一冊	二〇四七
丑御年貢米金差引場帳 明元年二月	黒岩組岩手村惣百姓	天	横長美	一冊	二〇五一
寅御年貢米金差引場帳 明二年二月	黒岩組岩手村惣百姓	天	横長美	一冊	二〇七六
御年貢米金指引場帳 午并小物成小掛大豆代其外割符	諸共合帳	黒岩組岩手村惣百姓	横長美	一冊	二〇七九
未御年貢米金指引并諸役諸掛元割帳 村惣百姓	天明七年十二月	黒岩組岩手村惣百姓	横長美	一冊	二〇八三
申御年貢米金指引帳 八年十二月	黒岩組岩手村惣百姓	天明	横長美	一冊	二〇八六
酉御年貢米金差引帳 岩手村	寛政元年一月	横長美	一冊	二〇八九	
戌御年貢米下條郷藏納銘々米金指引場詰帳 手村惣百姓	寛政二年十二月	横長美	一冊	二〇九三	
亥御年貢米下條郷藏納銘々米金指引場詰帳 手村惣百姓	寛政三年十二月	横長美	一冊	二〇九七	
子御年貢米下條郷藏銘々米金指引場詰帳 村惣百姓	寛政四年十二月	横長美	一冊	二一〇三	
丑御年貢米場牒 岩手邑惣百姓	寛政五年一月	横長美	一冊	二一一一	
御年貢米場牒 巖手邑	寛政六年一月	横長美	一冊	二一三〇	
御年貢米場帳 岩手村惣百姓	寛政七年一月	横長美	一冊	二一三三	
○					
辰御年貢米場帳 岩手村百姓中	寛政八年一月	横長美	一冊	二一三七	
巳御年貢米場帳 岩手村百姓中	寛政九年一月	横長美	一冊	二一四七	
午御年貢米場帳 岩手村百姓中	寛政一〇年一月	横長美	一冊	二一六〇	
未御年貢米場帳 岩手村惣百姓中	寛政一一年	横長美	一冊	二一六五	
申御年貢米場帳 岩手村惣百姓中	寛政一二年一月	横長美	一冊	二一七二	
巳御年貢米場帳 岩手村庄屋平助	文政四年二月	横長美	一冊	二一七六	
酉御年貢米小前詰遣庭帳 岩手村惣百姓	文政八年	横長美	一冊	二一八五	
子御年貢米小前切遣庭帳 御年貢米小前切遣庭帳	文政一一年一月	横長半	一冊	二二四一	
(御年貢米小前切遣庭帳)	(文政)	横長美	一冊	二二四四	
(御年貢米小前切遣庭帳)	(文政)	横長美	一冊	二二六五	
(御年貢米小前切遣庭帳)	(文政又ハ天保)	横長半	一冊	二二九三	
(御年貢米小前切遣庭帳)	(文政又ハ天保)	横長半	一冊	二二九三	
卯御年貢米小前切遣庭帳 岩手村惣百姓	天保二年	横長半	一冊	二二八一	
辰御年貢米小前切遣庭帳 岩手村惣百姓	天保三年	横長半	一冊	二二九三	
午御年貢米小前詰遣庭帳 岩手村惣百姓	天保五年	横長半	一冊	二二九三	
未御年貢米小前詰遣庭帳 岩手村惣百姓	天保六年	横長半	一冊	二二九三	
西御年貢米小前詰遣庭帳 岩手村惣百姓	天保八年	横長半	一冊	二三三五	

戊御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	天保九年	横長半	一冊	一四三	子御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	嘉永五年	横長半	一冊	一四七三
亥御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	天保一〇	横長半	一冊	一四六	丑御年貢米切遺場詰帳 一二月	岩手村惣百姓	嘉永六年	横長半	一冊	一四八一
御年貢小前詰遺帳 一月	岩手村庄屋所	天保一一年一	横長半	一冊	一三五	寅御年貢米切遺場詰帳 一二月	岩手村惣百姓	安政元年	横長半	一冊	一四九六
御年貢小前詰遺帳 一月	岩手村庄屋所	天保一二年一	横長半	一冊	一六〇	卯御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	安政二年	横長半	一冊	一五〇三
寅御年貢米小前詰遺庭帳 三年一二月	岩手村惣百姓	天保一	横長半	一冊	一三四	辰御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	安政三年	横長半	一冊	一五二三
卯御年貢米小前詰遺庭帳 四年一二月	岩手村惣百姓	天保一	横長半	一冊	一三五	巳御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	安政四年	横長半	一冊	一五三二
辰御年貢米小前詰遺庭帳 五年一二月	岩手村惣百姓	天保一	横長半	一冊	一五七	午御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	安政五年	横長半	一冊	一五三三
巳御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	弘化二年	横長半	一冊	一四二	未御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	安政六年	横長半	一冊	一五四
午御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	弘化三年	横長半	一冊	一四一	申御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	万延元年	横長半	一冊	一五五
未御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	弘化四年	横長半	一冊	一四七	酉御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	文久元年	横長半	一冊	一五六
申御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	嘉永元年	横長半	一冊	一四七	戌御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	文久二年	横長半	一冊	一五七
酉御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	嘉永二年	横長半	一冊	一四〇	亥御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	文久三年	横長半	一冊	一四三
戌御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	嘉永三年	横長半	一冊	一四三	子御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓中	元治元	横長半	一冊	一五四
亥御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓	嘉永四年	横長半	一冊	一四〇	辰御年貢米小前詰遺帳 一二月	岩手村惣百姓中	明治元	横長半	一冊	一六三〇

慶応四辰九月改明治元小前切遣帳(下帳)	横長半	一冊	二六六
巳御年貢米小前詰遣帳 岩手村惣百姓中 年一二月	横長半	一冊	二六四
巳御年貢米小前詰遣帳 岩手村庄屋所 一二月	横長美	一冊	二六六
明治四未年小前切遣帳下帳 明治四年	横長美	一冊	二六二
明治五申年切遣帳(下帳) 明治五年	横長美	一冊	二六三
子御年貢米小前詰遣帳 岩手村惣百姓中	横長美	一冊	二七六
子御年貢米小前詰遣帳 岩手村惣百姓中 ○年一月場詰	横長半	一冊	二七九
丑御年貢米小前詰遣帳 岩手村惣百姓中 ○年一二月	横長半	一冊	二七〇
寅御年貢米小前詰遣帳 岩手村惣百姓中 一年一二月	横長半	一冊	二七二
卯御年貢米小前詰遣帳 岩手村惣百姓中 二年一二月	横長美	一冊	一七三
○取立勘定差引帳			
――『佐藤家「地主経営」』『地主帳簿』(二二頁)を見よ			
郷藏場詰帳			
(岩手村郷藏場詰差引帳) (明和七年)	横長美	一冊	一〇三
(岩手村郷藏場詰差引帳) (天明元年)	横長半	一冊	一〇〇
(岩手村御年貢米郷藏場詰差引帳) (寛政八年)	横長半	一冊	二四二
辛巳藏方諸書留帳 岩手村 文政四年一月	横半	一冊	二七六

午郷藏御年貢米場詰帳 文政五年一二月	横半	一冊	二八五
未郷藏場詰差引写 岩手村 文政六年一月	横半	一冊	二九一
郷藏場詰并差引諸書留 岩手村 文政七年一月	横半	一冊	三〇一
酉御年貢米場詰帳 岩手村 文政八年一月	横半	一冊	三二七
戌郷藏指引場詰写留帳 岩手村 文政九年一月	横半	一冊	一三五
郷藏場詰帳 (文政九年)	横長美	一冊	一三六
御年貢米場詰帳 岩手村 文政一〇年一月	横半	一冊	一三三
子郷藏場詰并差引写 岩手村 文政一一年一月	横半	一冊	一四七
丑郷藏場詰并差引帳 岩手村 文政一二年一月	横半	一冊	一五三
寅郷藏場詰并差引留帳 岩手村 文政一三年一月	横半	一冊	一六三
岩手村辰御年貢米場詰帳 天保三年一月	横半	一冊	二九二
巳ノ御年貢米場詰帳 岩手村扣 天保四年一二月	横半	一冊	二九七
午郷藏場詰帳 岩手村 天保五年一月	横半	一冊	三〇六
岩手村場詰帳(下書共) 天保七年一二月	横半	二冊	一三七
御年貢米場詰帳 岩手村 天保八年一二月	横半	一冊	一三三
岩手村場詰帳 天保一二年一月	横半	一冊	一五六
岩手場詰帳 天保一三年一月一九日	横半	一冊	一三七
岩手村場詰帳 弘化二年一月	横半	一冊	一四三
岩手村場詰帳 弘化三年一月	横半	一冊	一四九
岩手村場詰帳 嘉永元年一月	横半	一冊	一四三
附 水元山雜用式拾五ヶ村割覚 嘉永元年七月	横半	一通	一四五

岩手村場詰帳	嘉永二年二月	横半	一冊	一四四五	明治三千年場詰帳(下帳)	横長美	一冊	二六六〇		
岩手場詰帳	嘉永三年一月	横半	一冊	一四五九	米山寺郷藏場詰帳	明治四年一月	横半	一冊	一六五九	
岩手村場詰帳	嘉永六年二月一日九日	横半	一冊	一四七六	場詰帳	米山寺郷藏岩手村	明治七年一月二五日	横半	一冊	一六六六
岩手村場詰帳	嘉永七年	横半	一冊	一四八三	明治六西年場詰帳(下帳)		横長美	一冊	二六六三	
岩手村場詰帳	安政二年二月二日	横半	一冊	一四九六	岩手村場詰帳	明治八年一月二日	横半	一冊	一六七	
岩手村場詰帳	(下書共) 米山寺郷藏所	横半	二冊	一五〇六	明治七戌年場詰帳翌八亥年一月場詰帳(下帳)		横長美	一冊	二六六四	
岩手村場詰帳	安政三年一月	横半	一冊	一五〇七	明治八亥年翌九子年一月場詰帳(下帳)		横長美	一冊	二六六五	
岩手村場詰帳	安政六年二月	横半	一冊	一五〇一	郷藏入費夏暮割帳					
岩手村場詰帳	米山寺郷藏所	横半	一冊	一五三	米山寺郷藏夏割差引 (高畑村)	天保五年五月	横長半	一冊	一三〇四	
岩手村御年貢場詰帳	文久元年二月	横半	一冊	一四三六	○					
岩手村御年貢場詰帳	文久二年二月	横半	一冊	一五〇	未郷藏夏割差引	岩手村	天保六年七月一七日	横半	一冊	一三〇〇
岩手村場詰覚帳	米山寺郷藏組	横半	一冊	一四四五	申郷藏夏割差引 (後欠)	岩手村	天保七年七月朔日	横半	一冊	一四七〇
岩手御年貢米場詰帳	元治元年二月	横半	一冊	一五七九	酉夏割差引帳	岩手村	天保八年五月	横半	一冊	一三四
御年貢米場詰帳	米山寺郷藏組岩手村	横半	一冊	一五八五	亥夏割差引帳	岩手村	天保一〇年七月	横半	一冊	一三八
	慶応元年一月				附 藏納米差引覚并某書状	二通		横半	二冊	一三五七
岩手村場詰帳	米山寺郷藏組	横半	一冊	一五五	子夏割帳	岩手村	天保一一年八月七日	横半	一冊	一三五九
慶応二寅年場詰帳 (下帳)		横長美	一冊	二六六	丑夏割帳	岩手村	天保一二年七月	横半	一冊	一三七三
岩手村場詰帳	慶応三年二月	横半	一冊	八六一	寅夏割	岩手村	天保一三年七月	横半	一冊	一三七三
慶応三卯年場詰帳 (下帳)		横長美	一冊	二六五	巳夏割帳	岩手村	弘化二年八月	横半	一冊	一四〇二
岩手村場詰帳	米山寺郷藏組	横半	一冊	一六三七	附 人足賃錢勘定帳断簡			横半	一枚	一四〇二
岩手村場詰帳	明治元年二月	横半	一冊	一六四二	岩手村夏割帳	弘化三年八月		横半	一冊	一四〇〇
岩手村場詰帳	明治二年二月	横半	一冊	一六四二	未郷藏場詰夏割暮割帳	岩手村	弘化四年二月	横半	一冊	一四〇四

申郷藏夏わり暮わり立込帳 岩手村分 嘉永元年	横半	一冊	一四六
岩手村夏暮諸色割帳 嘉永二年一月	横半	一冊	一四六
戌夏暮諸色割帳 岩手村 嘉永三年一月	横半	一冊	一四六
岩手村夏暮諸色割帳 嘉永六年八月	横半	一冊	一四七
岩手村寅夏暮諸色割帳 嘉永七年七月	横半	一冊	一四六
岩手村卯夏割帳 安政二年七月	横半	一冊	一五三
辰夏暮諸色割帳 岩手村 米山寺郷藏所 安政三年一月	横美	一冊	一五八
巳郷藏夏暮諸色割帳 米山寺郷藏所 安政四年七月	横半	一冊	一五七
万延元申夏暮諸色割帳 岩手村 万延元年七月	横半	一冊	一五四
西夏割帳 岩手村分 文久元年五月	横美	一冊	一五九
岩手村夏割諸色帳 米山寺郷藏所 文久二年六月	横半	一冊	一五七
岩手村夏暮諸色割帳 文久三年八月			
附。笹之あめ代覚 (年欠)			
。賄代御出役雜用勘定覚 高畑下宿 上宛	横半	一冊	四六七
亥十月			
。干いか代泊賃其外勘定覚 友七 高原宛			
十一月十五日			
。弘米余米差引勘定覚 (年欠)			
岩手村夏割帳 元治元年八月	横半	一冊	一五〇
米山寺郷藏夏暮諸色割帳 岩手村 慶応元年六月	横半	一冊	一五六
米山寺郷藏夏割帳 岩手村 慶応二年七月	横美	一冊	一五六
岩手村夏割帳 慶応三年七月	横長半	一冊	一六四
辰夏暮諸色割帳 岩手村 慶応三年一月	横半	一冊	一六六
郷藏夏暮諸色割帳 米山寺郷藏岩手村 明治二年一月	横美	一冊	一六三

午夏割帳 明治三年一月	横半	一冊	四七二
岩手村夏割帳 明治四年八月	横長半	一冊	一六〇
岩手村夏割帳 米山寺郷藏組 明治五年六月	袋入	一冊	一六〇
米山寺郷藏刺米口米三合刺代永帳 岩手村 明治八年一〇月五日	横長半	一冊	一六五
米山寺郷藏夏入費割帳 岩手村 明治八年一〇月五日	横半	一冊	四六七
戌暮亥夏米山寺郷藏入費割帳 岩手村 明治八年一〇月	横半	一冊	四六八
西貢租戌郷藏入費刺米過米割賦帳 岩手村 明治九年一月三二日	横長半	一冊	一七〇
戌貢租亥郷藏入費刺米過米割賦差引帳 岩手村 明治九年一月三二日	横長半	一冊	一七七
置 初			
戌御年貢米之内初上納御改帳扣帳 岩手村 享保一六年四月	横長美	一冊	五三
戌御置初米納金納人別仕分帳 享保一七年四月下旬	横長美	一冊	五三
(亥納年貢米之内御預ヶ初改帳) 岩手村庄屋友右衛門外与頭二名 子(享保一七年)六月	横長美	一冊	五元
亥子御預初米上納銘々差引帳 御手代佐藤善兵衛殿(享保一八年)四月	横長美	一冊	五元
未 進			
(御年貢未進米金書出帳) (享保一六年)	横長美	一冊	五元

廻米

津出帳

卯御藏弘毅米上納津出し帳 享保二〇年閏六月二一日

岩手村津出帳	文政四年	横長美	一冊	二六六
岩手村津出帳	文政六年五月	横長半	一冊	二八〇
岩手村津出帳	文政七年六月	横長半	一冊	二九五
岩手村津出帳	文政八年三月	横長半	一冊	二〇五
岩手村津出帳	文政九年五月	横長半	一冊	二二六
附 惣代所年始入用酒茶代其外立替金覚		横長半	一通	二三九
岩手村津出帳	文政一〇年	横長半	一冊	二三五
岩手村津出帳	文政一一年五月	横長半	一冊	二四四
岩手村津出帳	文政一二年五月	横長半	一冊	二五三
岩手村津出帳	文政一三年五月	横長半	一冊	二六八
岩手村津出帳	天保二年四月	横長半	一冊	二八二
岩手村津出帳	天保三年五月	横長半	一冊	二九五
岩手村津出帳	天保四年五月	横長美	一冊	二〇〇
岩手村津出帳	天保五年	横長半	一通	二〇七
附 当夏割岩手村分差引覚 米山寺村清左衛門宛 岩手村佐藤友右衛門宛 午一一月一六日		横長半	一冊	二二一
岩手村津出帳	天保六年五月	横長半	一冊	二二二
岩手村津出帳	天保八年	横長半	一冊	二六六

岩手村津出帳	天保一〇年五月	横長半	一冊	一四九
岩手村津出帳	天保一一年五月	横長半	一冊	一五八
岩手村津出帳	天保一二年五月	横長半	一冊	一四七
岩手村津出帳	天保一三年四月	横長半	一冊	一三七
岩手村津出帳	天保一四年六月二五日	横長半	一冊	一三〇
岩手村津出帳	米山寺郷藏所 弘化二年四月	横長半	一冊	一四七
岩手村津出帳	弘化三年五月	横長半	一冊	一四三
岩手村津出帳	弘化四年	横長半	一冊	一四三
岩手村津出帳	嘉永元年五月	横長半	一冊	一四三
岩手村津出帳	嘉永二年閏四月	横長半	一冊	一四八
岩手村津出帳	嘉永三年四月	横長半	一冊	一四六
岩手村津出帳	嘉永六年	横長半	一冊	一四八
岩手村津出帳	嘉永七年	横長半	一冊	一四八
岩手村津出帳	安政二年	横長半	一冊	一四九
岩手村津出帳	安政三年六月	横長半	一冊	一五〇
岩手村津出帳	米山寺郷藏所 安政四年五月	横長半	一冊	一五八
岩手村津出帳	米山寺郷藏所 安政五年四月	横長半	一冊	一五九
岩手村津出帳	安政六年六月	横長半	一冊	一五二
岩手村津出帳	米山寺郷藏所 万延元年四月	横長半	一冊	一五五
岩手村津出帳	文久元年四月	横長半	一冊	一五〇
岩手村津出帳	米山寺郷藏所 文久二年五月	横長半	一冊	一五七

灘川下蔵出会入用其外割賦書〔米山寺蔵差引分〕
丑（慶応元年カ）五月

一通 八四四九

（宿諸入用勘定書）（今町）越前屋嘉十郎 米山寺
御蔵元所宛 巳（安政四年）六月

横長美

一冊 八四六三

灘廻り米賃錢受取書 伊藤甚四郎 米山寺郷蔵所
丑（慶応元年カ）六月一四日

一通 八四四七

○書狀

御米灘廻り運賃米受取証文（今町）兩船肝煎 米
山寺蔵庄屋衆中宛 丑（慶応元年カ）六月一四日

一通 八四三七

直江津横町古川屋書狀〔羽織等七品受取可被下旨〕
岩手村高原宛 七月四日

一通 八四四四

（米山寺蔵組今町廻米寛）
○品代勘定書

一通 八四七三

かな屋新兵衛品代勘定書 上宛

二一通 八四四二

直江津横町古河屋長兵衛品代勘定并請取書 米
山寺御蔵所宛 丑（慶応元年カ）六月一八日

一通 八四四三

直江津新町井田仁左衛門蔵敷勘定并請取書 米
山寺蔵宛 丑（慶応元年カ）七月一五日

一通 八四四五

丸惣品代勘定書 上宛 子（元治元年カ）八月二日
・九月一五日

二一通 八四四六

湯元与之助品代勘定書〔まひたけ・かんひやう等〕
御客様宛 八月二日

一通 八四四八

左右衛門品代勘定書〔酒代其外〕 佐藤文吉宛 丑
（慶応元年カ）一二月

一通 八四四四

葛屋嘉平代金請取書〔後漢書六十冊〕 中村宛
七月二二日

一通 八四四〇

海老屋品代勘定書〔愛染其外〕 上宛 九月

一通 八四四二

清水屋品代勘定書〔酒茶餅代〕 上宛

一通 八四四三

ししはまや代金勘定書 上宛 四月九日

一通 八四四四

酒屋品代勘定書 佐藤文吉宛 寅一二月

一通 八四四五

春作借用金差引勘定書 佐藤文吉宛 七月二二日

一通 八四六六

三上書狀〔仏へ供餅差上候旨其外挨拶〕 佐藤宛
九月二二日

一通 八四五二

湯本宗十郎書狀〔信州へ執行人至來いたし候旨〕
佐藤文吉・泰助宛 四月一日

一通 八四五三

* 芋嶋村與右衛門書狀〔蠟年延願書調印方ニ付依頼〕
岩手村佐藤御主人宛 一二月一一日

一通 八四五五

木村左右衛門書狀〔しの咲身受一件ニ付、貴君心
得方返書依頼〕 今町詰佐藤文吉宛 丑（慶応元年カ）
六月

一通 八四五六

啓助書狀〔柏餅進上、其外挨拶〕 文吉宛 五月一
五日

一通 八四五七

儀右衛門書狀〔くし貝味噌見舞ニ進上申候旨〕 文
吉宛 五月三日

一通 八四五八

岩手村佐藤文吉書狀〔家中稲垣様へ参候様早々御
仕度可被成旨〕 鉢崎近藤良助宛 一〇月八日

一通 八五九

門前栄蔵書狀〔失物一件ニ付申上〕 高原文吉宛
六月二六日

一通 八四六一

春作書狀〔写カ〕〔晋書売払代金ニ付〕 高原文吉宛
四月一四日

一通 八四六九

しの書狀〔菓子進上其外ニ付挨拶〕 御あに様宛

包紙入

一通 八四七一

某書狀下書斷簡〔勇吉家内引上ケ小子分家へ遺事
ニ取極候旨ニ付〕

一通 八四七五

○その他

寄合出勤人并米改人足賃勘定書 庄屋左右衛門
佐藤文吉宛 二月一七日

一通 八四三三

人足・板・大株等割当覚〔芋島水普請岩手村当り
分〕

一通 八四六七

*〔岩手村カ〕願書下書〔田方作毛損毛并人足多分ニ
付、夫食拜借願〕

一通 八四六八

*某村田地名所歩附覚 慶応四年三月九日外年欠一
通

二通 八四七〇

墓地并田畑絵図下書 (年欠)

25.5 X
32.0 横

一枚 八四七六

*〔高畑組当寅御年貢米大豆代皆済一札并積預証
文写〕高畑組大肝煎湯本宗十郎 手塚定之助・小野
大助宛 慶応二年一二月

半

一冊 八四八一

江戸廻米

浅草藤谷太郎右衛門等相對覚書并郷中請書写
〔越後国江戶浅草御蔵納廻米請負方仕法〕越後国
御預地惣名主中宛 享保一九年一〇月二七日/高田
御預地納名主石黒清四郎外五名奥書 新発田外三ヶ
所御預地御年番中宛 霜月/郷中請書 享保一九
年一二月

一通 五〇七六

上乘証文(案詞)〔越後国頸城郡御年貢米江戶御積
廻しニ付、冲上乘被仰付、御請一札〕(年欠)

半

一冊 四六五三

地租・地方税・村費

普請修繕入費

―『普請』『岩手村』(二三〇頁)を見よ

大区小区制期

○願書

百木村外二ヶ村惣代願書并新潟県令永山盛輝達
書綴〔田畑作物損毛ニ付、新田税額差引決算過納金
下ケ渡方願〕新潟県令永山盛輝宛 明治一一年一月
二〇日/達書 明治一一年二月一日

美

一冊 八九三六

○課賦書・受領書・諸勘定書

書出シ〔泊賃其外諸品入用勘定通帳〕天屋貞助 岩
手村佐藤宛 明治五年

横半

一冊 一六六一

管内割・郡中割・諸入費請取書綴 出納方・区
長所・立会戸長 岩手村宛 明治五年六月二日/六
年二月三日

一綴 (六通) 一六六二

(人足勤日数并賃銭割帳) (明治五年)

横長半

一冊 一六六三

管内割・区費・諸入費課賦書・請取書并品代勘
定書等綴 岩手村戸長・佐藤宛 明治五年/六年

一綴 (三冊) 一六六四

区費・戸籍入費・諸入費課賦書其外公用書類綴
岩手村戸長中外宛 明治五年/六年

一綴 (四冊) 一六六五

管内割課賦書并受取書綴 二番組用挂 岩手村宛
明治七年三月/一〇月

一綴 (三通) 一六九六

二番組学校資本金割合覚等綴 戊(明治七年)

一綴 (五通) 一七〇〇

管内割受取書并品代勘定書等綴 岩手村佐藤宛 (明治七年)二月(亥)(明治八年)一月	一綴 (八通)	一七〇二
去癸酉年租稅皆済金受取書其外公用書類綴 明治六年(八年)	一綴 (七通)	一七〇九
大小区費・諸入費課賦書并受取書等綴 副区長三上喜三・用挂新部與八郎外 岩手村佐藤文吉外宛 明治七年(一〇年)	一綴 (三通)	一七二七
石代金請取証并上納督促書其外 戸長三上喜三・新潟県租稅課 二番組岩手村用挂中宛 明治七年(八年)	七通	四六三三
大小区内戸籍書換入費・組合入費割賦書并受取書綴 第七大区小八区二番組用挂新部與八郎 岩手村佐藤文吉外宛 明治八年六月	一綴 (三通)	一七二一
三月ヨリ六月迄大小区内割并組合諸入費課賦書 武番組戸長所 明治八年(一〇月)	一通	一七二五
管内割諸入費課賦書并受取書綴 戸長新部與八郎・副大区長外 岩手村佐藤文吉外宛 明治八年(二月)九年九月	一綴 (九通)	一七二六
岩手村田畑貢租石代金覚 (明治八年力)	一通	四六三三
*亥金稅帳 岩手村 明治八年(一二月)	二点	二六元
1 貢金受取書 小区長三上喜三 岩手村宛 明治八年(二月七日)明治九年三月一九日	一綴 (三通)	一七二六
2 (地租徵收金其外割賦取纏帳) (明治八年)	一冊	四六三三
*貢租石代取立帳并受取書 明治九年八月三日	四点	二六元
1 貢金受取書 小八区受持 副大区長 明治九年八月	一通	一七二六
2 貢金受取書 副大区長三上喜三 岩手村戸長区中宛 明治九年(二月)八月日	一通	一七二六

3 地租受取証 新潟県令永山盛輝 岩手村宛 明治一〇年三月一日	一通	一七二六
4 地租徵收割賦取纏帳 新潟県第七大区小七区 岩手村 明治一〇年三月	一冊	四六三三
大小区内并新管内地券入費其外課賦書綴 (第七大区長)・七大区小七区戸長外 岩手村宛 明治九年九月(一〇月)	一綴 (三通)	一七二五
明治九年管内割・区内割等課賦書 小七区武番組戸長新部與八郎 岩手村佐藤文吉宛 明治一〇年二月一三日	一冊	一七二六
管内割・大区費課賦書并受取書等綴 副大区長所外 岩手村惣代中外宛 明治一〇年	一綴 (五通)	一七三〇
管内割・区費割・諸入費課賦書并受取書等綴 第七大区小七区副大区長渡辺貞治・二番組戸長新部與八郎外 岩手村佐藤文吉・惣代中外宛 明治一〇年(一一年)	一綴 (二通)	一七三四
地租・区費・諸入費課賦書其外公用書類綴 明治一〇年(一一年)	一綴 (九通)	一七三五
地租・地方稅其外取立依頼書 米山寺村戸長役場・高嶋清十郎 岩手村佐藤文吉・佐藤與吉宛 明治一〇年七月二七日ほか	四通	四六三三
地租石代金受領書 副大区長所 岩手村佐藤文吉宛 明治一〇年八月(一一年)四月	三通	四六三三
地租受領証 新潟県令永山盛輝 第七大区小七区岩手村宛 明治一〇年(一二年)二月(一二年)四月	五通	四六三三
高田下小町かこや与七郎代金勘定書 (宿泊賄賈) 岩手村佐藤宛 明治一〇年(一二年)二月三日	一通	四七三三
病院資本金・区費・諸入費課賦書等綴 武番組戸長所外 岩手村惣代外宛 明治一一年	一綴 (五通)	一七三七

地租受取書并地方税地価割帳等綴 式番組戸長所外 岩手村惣代御中外宛 明治一一年一三年	一綴 (飯一冊) (八通)	一七五
明治八・九兩年新旧税額差引書控并田租課賦書等綴 明治一一年一二年	一綴 (七通)	一七五
管内費・大小区費・學費其外課賦書 二番組戸長所 岩手村惣代御中宛 明治一二年二月明治一二年一月	飯四冊 一通	四六四 美
岩手村納金取立書 岩手村惣代 明治一二年一月二五日	一通	二八七
高田下小町かこや与七郎代金勘定書〔宿泊賄賂〕 岩手村佐藤様外宛 明治一二年九月一四日	一通	二八六
地租・管内割・大小区費受領書 式番組戸長所 岩手村惣代御中宛 明治一二年一月七月	五通	四六七
明治十二年後季旧区費請取書 上小野村請合世話掛佐藤七郎治 佐藤文吉宛 明治一三年一月一三日	一通	四七二
岩手村地租二期取立覚 (年欠)	一通	四七〇
地租金各期納付覚 (年欠)	一通	四七二
管内割・諸入費受領書用紙	一綴	一七七
○管内費区費等村内課賦帳		
(明治五年 管内割并諸掛り永口々納帳取調ノ高書上雛形) 柏崎泉宛 明治六年五月	半 一冊	二〇七
新潟県管内割課賦下帳 第七大区小八区二番組岩手村 明治七年六月一三日	横長半 一冊	一六五
新潟県管内割課賦 岩手村 明治七年一〇月	横長美 一冊	一六六
(新潟県管内割課賦帳下書) (明治七年)	横長半 一冊	一七四
新潟県管内課賦割 岩手村 明治七年	横長美 一冊	一六七

新潟県御管内割 第七大区小八区二番組岩手村 明治七年一〇月六日	横長美 一冊	一六九
(新潟県管内割課賦帳下書) (明治七年)	横長半 一冊	一七三
新潟県管内課賦帳 岩手村 明治八年六月一三日	横長美 一冊	一七〇
国役・大小区・組合課賦簿(下書共) 第七大区小八区二番組岩手村 明治九年一月	横長美 三冊	一七三 一七四
管内・大小区内・提防課賦簿 第七大区小八区二番組岩手村 明治九年	横長美 一冊	一七三
管内・大小区内・提防課賦簿 第七大区小八区二番組岩手村 明治一〇年二月	横長美 一冊	一七四
明治十年前季管内定額大区費 同九年後季小区組合并日当簿課賦帳(下書共) 第七同地価 大区小七区二番組岩手村 明治一〇年七月一七日	横長美 二冊	一七六 一七九
明治十年課賦十年後季管内費課賦帳 小区學校費 明治一一年一月二九日	横長半 一冊	一七三
定額小区費并本年學校費石割 岩手村 明治一一年一月一七日	横長半 一冊	一七三
明治十年後季 學校費 明治十一年前季 管内割 病院資本金 區費割 岩手村 明治一一年七月一六日	横長半 一冊	一七三
明治十一年後期同十二年前期管内費 明治十一北陸道修繕入費同十二大区費 割賦帳 岩手村 明治一二年七月三日	横長半 一冊	一七五
○地租取立帳		
明治十丁丑年田租四期納取立帳 岩手村惣代佐藤文吉 明治一一年一月一八日	横長美 一冊	一六九

明治十丁丑年田租 ^(租) 五期納取立帳 岩手村 明治 一一年三月二日	橫長美	一冊	四九二
明治十年田畑宅地山野地租 ^(租) 取立帳 新瀉縣第七 大区小七区岩手惣百姓中 明治一一年四月七日	袋入 橫長半	一冊	一七四七
明治八・九兩年石代上納返納割返 ^(下帳共) 岩手 村 明治一二年一月九日	橫長美 橫長半	合一冊 (二冊)	一七四六
明治十一年三期納六期納取立帳 岩手村 明治一 二年四月二五日	橫長美	合一冊 (三冊)	一七四九
明治十一年戊寅年田租四期納取立帳 岩手村佐藤 文吉 明治一二年一月二日	橫長美	一冊	四九三
明治十一年戊寅年田租五期納取立帳 岩手村 明 治一二年三月一日	橫長半	一冊	二六〇五
明治一二年田租四期取立帳 新瀉縣中頸城郡岩手 村 明治一三年一月二三日	橫長半	一冊	二六〇六
(岩手村地租并戸数割其外出金帳) (年欠)	橫長半	一冊	二六〇六
(岩手村納金納入帳) (年欠)	橫長半	一冊	二六〇六

三新法制期

地租・地方稅其外受領書 米山寺村戸長高島清十 郎 岩手村佐藤文吉・佐藤与吉宛 明治一三年七月 一〇月	美	一冊	八九三
(米山寺村岩手村 岩野村連合戸長役場 決算書并 議案) (年欠)	美	一冊	八九三
十七年度地方稅前季 課賦取立帳 岩手村 明治一七 年一〇月八日	橫半	一冊	八九九
十七年度畑方地租二期 課賦取立帳 岩手村 明治一七 年備荒公儲金 課賦取立帳 岩手村 明治一七 年一〇月二九日	橫半	一冊	八九〇

上小野校 戸長役場 衛生 費課賦取立簿 岩手村 明治一七年二月 郡 內 附 各自課賦額下書覽	橫半	一冊	八九二
合計反別地価并銘々地価取調帳 ^(下書) 〔米山寺 ・岩手・岩野三ヶ村分〕 米山寺村旧戸長役場 明治 一七年八月	橫長美	一冊	八九三
旧組合費學校費共課賦帳 明治一八年一月二八日	橫長半	一冊	八九三
旧組合費學校費課賦取立帳 明治一八年一月二八 日 附 各自課賦額覽	橫長半	一冊	八九四
十七年度自家用料酒製造免許鑑札料受領証 上 小野村外一七ヶ村戸長役場 岩手村總代中宛 明治 一七年九月二三日	橫長半	一冊	八九五
十七年度前期地方稅戸長役場費受領証 戸長役 場 岩手村總代佐藤文吉宛 明治一七年一〇月一〇 日	橫長半	一冊	八九六
当期地方稅戸長役場修繕費納入書 岩手村惣代 佐藤文吉 上小野村外一七ヶ村戸長役場 渡辺貞治宛 明治一七年一〇月一〇日	橫長半	一冊	八九七
地租第二期其外受領証 戸長役場 岩手村總代中 宛 明治一七年一〇月三一日	橫長半	一冊	八九八
岩手村學費・役場費納入書控并戸長役場受取 書 明治一七年一二月	包紙入	三通	八九九
十七年度旧組合費及學校費割賦書 議員惣代麻 場保藏外一名 岩手村宛 明治一八年一月九日	橫長半	一通	九〇〇
旧組合協議費之内議員弁当料還付書 米山寺村 高嶋清十郎 佐藤文吉宛 明治一八年一月三〇日	橫長半	一通	九〇一

高田下寺町平井定太郎書状 〔岩手村佐藤文吉方
へ明和三年中預米返還の件につき、掛合方依頼〕 上
小野村三上喜三宛 子八月一日
附 岩手組大肝煎佐藤惣左衛門米積預り手形
写 高田平井庄左衛門宛 明和三年二月

袋入 二通 八九三

○ 村 費

明治十九年・同廿年度村費予算議決書 中頸城
郡岩手村 議員大場儀助外四名 上小野村外一七ヶ
村戸長渡辺貞治宛 明治二十一年三月三十一日

半 一冊 八五三

明治十九年度・同貳拾年度村費課賦帳 中頸城
郡岩手村 惣代佐藤文吉・立合人佐藤与吉外三名
上小野村外一七ヶ村戸長渡辺貞治宛 明治二十二年三
月三十一日

横長美 一冊 八五三

地押異動地・畦畔取調費并衛生組長手当課賦帳
中頸城郡岩手村 惣代佐藤文吉・立合人佐藤与吉
外三名 明治二十一年

横長美 一冊 八五四

〔明治十九年度・同貳拾年度村費課賦帳下帳〕
〔明治二十一年〕

横長半 仮一冊 八五五

明治十八年ヨリ同廿年マテ村費并ニ諸費銘々差
引ノ記

横長半 一冊 一七三

市町村制期

○ 願 書

地租軽減請願書 中頸城郡黒川村小林佐五平外四九
名連印 内閣総理大臣侯爵桂太郎・貴族院・衆議院
議長宛 明治四三年二月

美 三冊 二九〇七

○ 村 費

明治廿一年・同廿二年村費予算議案下帳 大字
岩手 明治二十三年

半 一冊 八七三

明治廿一年・全廿二年度村費収支予算議決書
中頸城郡黒川村大字岩手 議員大場儀助外四名 明
治二十三年一月

半 一冊 八五四

明治廿一年・全廿貳村費課賦帳 中頸城郡黒川
村大字岩手 大場儀助外四名 明治二十三年一月

横長美 一冊 八五五

明治廿一年・廿二年両年銘々差引勘定〔下帳〕 〔明
治二十三年〕

横長半 仮一冊 八五七

〔明治廿一年・廿二年度村費課賦帳下帳〕 〔明治
二十三年〕

横長半 仮二冊 八五八

明治廿一年度中頸城郡岩手村々費支出予算議案
下書

二枚 八五九

〔明治廿一年・廿二年度村費繰込費用内訳〕

一通 八六〇

さかゐや友二品代勘定書 佐藤宛 明治二十三年一
月二十八日

一通 八六一

明治廿三年度村費議決書 中頸城郡黒川村大字岩
手 吉村泰治外三名 明治二十四年一月

半 一冊 八六六

明治廿三年度村費各自差引帳 中頸城郡黒川村大
字岩手 明治二十四年一月

横長半 一冊 八六七

明治廿参年村費課賦帳 中頸城郡黒川村大字岩手
吉村泰治外三名 明治二十四年一月

横長美 一冊 八六八

明治廿三年度中頸城郡黒川村大字岩手村費支出
予算議案下書

半 仮一冊 八五〇
〔二枚〕

明治二三年度村費受領書 佐藤繁吉・佐藤与吉
大字岩手佐藤文吉外宛 明治二十四年一月

五通 八五二

米山寺かゝや代金請取書 〔土樋作り賃・洋釘代〕
岩手中野宛 寅〔明治二十三年カ〕八月一三日

一通 八五四

〔明治二三年度村費計算下書類〕

四枚 八五五

○大字協議費

明治廿五年度大字協議費決議案 大字岩手 明治二六年一月	中頸城郡黒川村	半	一冊	一七〇
明治廿五年度大字協議費課賦帳 大字岩手 明治二六年一月	中頸城郡黒川村	横長美	一冊	一六二
明治廿五年度大字費各自差引帳 大字岩手 明治二六年一月	中頸城郡黒川村	横長半	一冊	一七三
字費受取書其外大字諸入費関係書綴 (明治二五年 二六年)			一綴	一七五
明治廿六・廿七兩年度大字協議費決議案 城郡黒川村大字岩手 明治二八年	中頸	半	一冊	一七六
明治廿六・廿七兩年度大字協議費課賦帳 城郡黒川村大字岩手 明治二八年	中頸	横長美	一冊	一七七
明治廿六・廿七兩年度大字協議費各自差引帳 頸城郡黒川村大字岩手 明治二八年	中	横長半	一冊	一六四
明治廿五・廿六・廿七兩年度大字協議費差引下帳 明治三〇年四月		横長半	一冊	一九七
明治廿八・廿九兩年度大字費課賦下帳 (明治三 〇年)		横長美	一冊	一九七
明治廿八・廿九兩年度大字協議費決議案 城郡黒川村大字岩手 明治三〇年四月	中頸	半	一冊	二六五
明治廿八・廿九兩年度大字協議費各自差引帳 中頸城郡黒川村大字岩手 明治三〇年四月		横長半	一冊	二六六
明治廿八・廿九兩年度大字協議費課賦帳 城郡黒川村大字岩手 明治三〇年四月	中頸	横長美	一冊	二六七
明治廿六・廿七・廿八・廿九四ケ年大字協議費各自差引 帳 中頸城郡黒川村大字岩手 明治三〇年四月		横長半	一冊	八五六

普 請

組 合 村

国 役 普 請

国役御願書之写 (已正月一八日松平日向守願書・ 戊九月五日榊原式部大輔願書外) 明和三年	美	一冊	一九九
関川筋御普請国役御願ニ付御出方 (年欠)	横長半	一冊	一九九
(国役普請ニ付宝曆八年十二月被仰出候書付覚 并国役普請御願書写) 松平日向守・榊原式部大輔 已正月一八日、戊九月五日	美	一冊	一七〇
榊原領一五ヶ村惣代并同領中惣代連署願書下書 并控 (関川通川除国役御普請願) 一五ヶ村惣代榎 場新田村庄屋喜十郎・領中惣代二名 明和三年六月		二通	四三六
○			
御普請御入用諸色直段書上帳 越後国頸城郡高田 領芋嶋村与左衛門外二名・証人馬正面村幾右衛門外 一名 門奈惣助外一名宛 明和三年十一月	美半	二冊	一九六
御普請御入用諸色直段附帳 高田御役所宛 明和 四年三月二〇日	半	一冊	一九八
郡中割・郷割普請			
○ 仕 法			
頸城郡普請所郡中并郷切場所定帳 年番佐五兵 衛外四名連印 森田五藏外二名宛 享保一三年六月	美	一冊	一八六

木田組外五組惣代庄屋願書下書〔郡中諸普請所諸入用難儀ニ付、組限普請願〕木田組惣代富岡村庄屋外一二ヶ村庄屋連印 寛延三年十一月 一通 四二四

岩手組一五ヶ村庄役人惣百姓願書控〔郡中諸普請余荷普請金難儀之旨〕下条村外一四ヶ村庄屋組頭百姓二九六名連印 寛延三年 一通 四二五

額城郡中割諸普請所究帳 岩手組〔控〕新田郷組大肝煎代役助右衛門外〔大肝煎〕一五名連印 明和五年八月 美 一冊 一九二〇

宝曆七丑、明和三戌迄十ヶ年郡中普請平均〔明和五年カ〕 横長半 一冊 八四三

〔大肝煎カ〕願書下書〔郡中余荷普請被仰付候内、三ヶ所不得心ニ付、割直シ願〕〔年欠〕 一通 四三三

大肝煎連判申上書下書〔郡中用水方普請之儀ニ付点検被仰付、申上書〕郡御奉行所宛〔年欠〕 一通 四六三

○

在々御普請定法書付 享保一十七年六月 美 一冊 一八九

○下条堰・岩堰

〔下美守郷岩手組・長岡御預り所七ヶ村用水堰御普請入用帳〕落合村外三ヶ村庄屋頭 寛保三年 横長美 一冊 六六

西野嶋組岩手組村々願書下書〔郡中割御普請所并不時御普請所余荷金難儀ニ付、下条堰・岩堰等組限引請仰付願〕 寛延二年 一通 四〇三

片田村外三ヶ村庄屋願書写〔西嶋組岩手組兩組立会岩堰普請所之儀ニ付、水取堰水下役御免之上、大堰ヲ水下役ニ被仰付候様願書〕 寛延二年 一通 四三五

大堰江筋岩切請負金并夫食米六月十六日十七日満水ニ付普請人足棟用木賃銀下条堰岩堰雇人足賃銀割 宝曆七年二月 横長美 一冊 八四四

丑年下条堰岩堰賃金請取帳 岩手組 割方庄屋落合村甚蔵外四名連印 宝曆七年 横長美 一冊 八三九

寅年下条堰賃金請取帳 岩手組 割方庄屋落合村甚蔵外四名連印 宝曆八年二月 横長美 一冊 一九〇五

西ノ嶋組上直海村 下条堰普請積帳 西ノ嶋組上直海村水庄屋左左衛門外一名・岩手組竹直村庄屋嘉左衛門・外立会七ヶ村庄屋連印 岩手大肝煎所宛 宝曆一一年三月 半 一冊 二九三

下条堰水下上直海村并竹直村庄役人願書控〔下条堰御普請金代米拜借願〕兩村庄屋組頭百姓代九名連印 岩手組大肝煎所宛 明和四年一〇月 一通 四三〇

〔岩手組カ〕請書下書〔岩堰下条堰郡中余荷金之儀、其外組限普請之儀ニ付、被仰聞候趣委細承知〕 明和五年八月五日 一通 四〇三

○他組普請所

荒川橋御普請爲人足 割賦帳 割方庄屋佐五右衛門外関川石垣築立人足 二名連印 寛保二年二月 横長美 一冊 六六

中村組蜘蛛ヶ池村役人并大肝煎連署一札写〔此度西嶋組岩手組へ蜘蛛ヶ池村地内用水普請御雇人足被仰付候儀ニ付、此後は兩組人足御頼申間敷旨一札〕 西嶋組村々庄屋中・惣百姓中宛 延享二年五月 一通 四三九

岩手組一四ヶ村庄屋願書控〔水吉組久保村水料村御普請所人足勤方遅々之儀御吟味ニ付、兩村ニ而取替願〕狸平外一三ヶ村庄屋連印、大肝煎佐藤八平奥印 郡御奉行所宛 寛延二年六月 一通 四〇二

とみ川立会庄屋雜用銀并薦・人足賃覚（宝曆年中カ）

一通 二五

領奉行達書写〔富川小堰子安上堰落堰普請之儀、向後ハ役人見分之上相極可申旨〕組々大肝煎宛 寅二月

一通 四五

領奉行達書写〔大崎郷割願之儀、当年之儀は組限ニ而仮普請可致旨〕脇野田組大肝煎宛 寅二月

一通 四五

領奉行達書写〔向橋組青田村普請所水下村々之儀、以來は立会普請可致旨〕向橋組大肝煎宛 寅二月

一通 四五

斎京三太右衛門外一〇名連署詫状写〔御役所へ遅参之儀、申分ケ無御座旨〕 寅二月三〇日

一通 四五

大漢郷・下美守郷郷割普請所書立覚（年欠）

一通 四六

子安台堰請負金辰ノ丑年迄拾ケ年内五ヶ年普請入札金平均一ヶ年分覚（年欠）

一通 四六

触元役所人足割付状〔荒浜村并細ヶ池村御普請余荷人足組々割賦書〕上野唯右衛門・河野彦惣・八木彦四郎・佐藤八平宛 寅三月五日

一通 四五

○縄菓人足入用

所々御普請所勤縄菓御年貢米小揚ケ目録帳 稲田町曾野右衛門 延享三年一〇月

横長美

一冊 六七

岩手組辰納縄菓所々御普請人足入用代銀附帳 稲田町曾野右衛門 佐藤八平宛 寛延元年一二月

横長美

一冊 七〇

稲田町曾野右衛門振銀請取証文 岩手組佐藤八平宛 寛延元年一二月

一通 三四

未之年納縄菓并当申人足入用目録 稲田町七郎左衛門 佐藤八平宛 申一二月

横長美

一冊 一九

岩手組諸村普請所

○用水川除普請

*〔岩手組用水江堰普請方御札ニ付連判証文下書〕 佐藤八平 郡御奉行所宛〔延享二年カ〕 附 某答書下書〔大庄屋私欲御札ニ付〕

半

一通 二〇

芋嶋村村役人注進書控〔芋嶋村用水御入用懸樋破損〕惣百姓代庄屋与左衛門外七名連印 延享三年一二月

一通 四七

下条村村役人願書控〔下条村馬正面村兩村立合懸樋流失ニ付、材木代金拝借願〕庄屋組頭四名連印 延享四年二月

一通 四三

芋嶋村中山村村役人人口上書〔芋嶋村田地用水懸樋破損ニ付、中山村地内ニ江筋切付申度旨、兩村懇談〕兩村庄屋与頭連印 大肝煎所宛 延享四年正月二日

一通 四三

芋嶋村村役人願書控〔田地用水懸樋破損ニ付、岩石欠堀御普請願〕庄屋与頭惣百姓代九名并大肝煎佐藤八平連印 郡御奉行所宛 延享四年三月

一通 四三〇

芋嶋村庄屋与左衛門請書控〔芋嶋村本田懸樋場所御普請、金五拾兩ニテ相仕立可申旨被仰付、承知〕〔大肝煎〕佐藤八平加判 郡御奉行所宛 延享四年八月一〇日

一通 四三

芋嶋村あまわらひ図〔懸樋図面〕 延享四年

60X 60

一枚 四六

普請所ニ付郡御奉行所へ御答口上 佐藤扣 延享四年一〇月

横長半

一冊 四六

桜町新田村村役人願書控〔用水掛樋朽腐候ニ付、御普請願〕庄屋又右衛門外一名連印 寛延元年一〇月

一通 四三

岩手組上金原村外四ヶ村庄屋連印注進書控〔四月廿五日大地震ニ而、下条川米山寺川赤川通田畑居屋敷樹木崩込候ニ付、川さらへ仕度旨〕 寛延四年五月

二通 四三

下条村役人願書下書〔下条村馬正面村立会懸樋、大地震^二而大破^二付、御普請願〕庄屋与頭四名并〔大肝煎〕佐藤八平連署 郡御奉行所宛 寛延四年五月

頸城郡岩手村川除土手仕様人足入用積目録 下美守郷岩手村庄屋八兵衛外与頭百姓代三名 宝永二年五月 美 一冊 一八二

岩手組桜町新田村川欠之場所書上帳 岩手組桜町新田村庄屋又右衛門外一名 宝曆七年六月

横長美

一冊 四九〇

岩手村 立会川除帳 岩手庄屋組頭長百姓・高畑同断 正徳三年六月 美 一冊 一八二

○橋普請

岩手組一四ヶ村庄屋願書控〔字下条橋板橋老ヶ所御入用懸替普請願〕狸平村外一三ヶ村庄屋連印 延享二年

横長平

一通 四二八

新川橋御積り替目論見写 明和四年四月

半

一冊 四六五

橋方一件書類綴 明和五年、六年

横長平

一綴 四七九

1 大橋入用 明和五年

横長平

一冊

2 橋方一件 明和六年六月

横長平

一冊

3 橋方取かへ物書出覚

一通

4 橋入用差引勘定覚

一通

○その他・不明分

（普請人足入用割帳）（享保一九年）

横長美

一冊 五五

木・鹿柴代并大工賃書上下書〔御入用普請御見分ニ付〕 辰八月二三日

一通 四九

岩手村

川除普請

岩手村川除土手仕様人足入用積目録 下美守郷岩手村庄屋八兵衛外二名 元禄二年三月

美

二冊 一八〇

川除入用覚 岩手・高畑 子（享保一七年）六月三日 附 人足割賦覚 横長美 一通 五五

*岩手村川除御普請目論見帳 岩手村庄屋友右衛門外与頭長百姓三名 御役所宛 享保一四年七月／加茂田軍兵衛奥印 茂田軍兵衛奥印／明治一六年高田治安裁判所・同一七年新潟始審裁判所高田支庁閲覧印

美

一冊 八五三

岩手村高畑村立会川除御普請目論見帳 岩手村庄屋友右衛門外二名・高畑村庄屋太喜右衛門外一名 御役所宛 享保一四年七月／加茂田軍兵衛奥印

美

一冊 一八〇

御入用御普請人足用具請取日帳 上ヶ帳扣 岩手村・高畑村立会 岩手村庄屋友右衛門外二名・高畑村庄屋太喜右衛門外一名 加茂田軍兵衛宛 享保一四年六月

横長美

一冊 一九三

岩手村川除御普請人足用具日帳 上ヶ帳扣 享保一四年六月

横長美

一冊 一九〇

越後国頸城郡岩手村川除御普請御入用目論見帳〔岩手高畑両村立会普請所共〕 岩手村庄屋友右衛門外二名・高畑村庄屋太喜右衛門外一名 享保一四年五月

美

一冊 一八七

越後国頸城郡下美守郷 岩手村高畑村立会川除御普請目論見帳 岩手村庄屋友右衛門外二名・高畑村庄屋太喜右衛門外二名 享保一二年六月

美

一冊 一八五

川除目論見帳 頸城郡岩手村庄屋友右衛門外与頭百姓代三名 享保五年六月

美

一冊 一八三

岩手高畑立会川除御普請所積り帳 高畑村庄屋 太喜右衛門外二名・岩手村庄屋友右衛門外三名 湯 町御役所宛 享保一九年六月	美	一冊	一八九三
岩手村川除御普請所積帳 岩手村庄屋友右衛門外 三名 湯町御役所宛 享保一九年	美	一冊	一八九三
越後国頸城郡岩手村高畑村立会川除御普請目論 見帳(下書) 享保一九年四月	美	一冊	一八九四
牧野駿河守御預所越後国頸城郡川除御普請帳 〔岩手高畑両村立会分共〕 御普請役齋藤万右衛門・ 若林庄藏 御勘定所宛 享保一九年七月	美	一冊	一八九五
寅御入用御普請被下金割賦帳 享保一九年一〇月 八日より	横長半	一冊	五五五
岩手村庄屋友右衛門外二名連印願書控 〔御普請 所破損ニ付、見分之上御普請願〕 御役所宛 元文二 年三月		一通	四二五
岩手村庄屋友右衛門外二名連印願書控 〔御普請 所破損ニ付、見分之上御普請願〕 御役所宛 元文二 年四月		一通	四六〇
岩手村御普請所古来仕来書上帳扣 〔高畑村立会 橋共〕 岩手村庄屋友右衛門外三名・高畑村橋立会庄 屋太喜右衛門外二名 元文三年三月	美	一冊	一八九七
岩手村川除御普請目論見帳 岩手村庄屋友右衛門 外四名 御役所宛 元文四年五月	美	一通	一九〇一
附 川除御普請願書下書			
岩手村御普請所仕来書上帳 岩手村庄屋友右衛門 外四名 御役所宛 元文四年五月	美	一冊	一九〇三
越後国頸城郡岩手村川除御普請目論見帳 岩手 村庄屋友右衛門外三名 元文五年六月	美	一冊	一九〇三
川除御普請御入用被下金仕様仕分帳 岩手村惣 百姓 庄屋友右衛門外四名 元文五年一二月	横長美	一冊	一九〇四

岩手村庄屋友右衛門外三名連印書上控 〔岩手村 御普請所、元禄元辰巳元文二已迄御普請仕来訳〕 御 役所宛 元文六年		一通	四六二
米山川通川除御普請御願帳 黒岩組岩手村庄屋松 五郎外三名 明和六年	美	一冊	一九二一
米山川通川除御普請目論帳 越後国頸城郡高畑村 ・岩手村立会 岩手村庄屋松五郎外二名 天明元年 六月〔寛政元年貼札有〕	美	一冊	一九二三
川除御普請目論見帳 越後国頸城郡黒岩組岩手村 庄屋松五郎外三名 天明二年十一月	美	一冊	一九四四
米山川通川除御普請御願帳 岩手村庄屋喜太郎外 三名 寛政元年六月	美	一冊	一九六六
米山川通川除御普請目論見帳 越後国頸城郡高畑 村・岩手村立会 岩手村庄屋喜太郎外三名・大肝煎 星野孫右衛門連印 御奉行所宛 寛政元年閏六月	美	三冊 (一巻)	一九七 二
越後国頸城郡岩手村御普請所目論見帳(下書・控 帳共) 庄屋喜太郎外三名 寛政三年	半美	五冊 (一巻)	一九九 三
高畑村岩手村立会御普請川除出来形帳 岩手村 庄屋喜太郎外三名・大肝煎星野孫右衛門連印 御奉 行所宛 寛政三年三月/榊原式部大輔内小川源兵衛 外三名奥書証判 右村庄屋組頭百姓代宛	美	一冊	一九四四
米山川通御普請所絵図下書 岩手村庄屋喜太郎外 二名 寛政三年	280X 1115mm	一枚	四六七
立会水除土手御入用御普請出来形帳 高畑村・岩 手村 岩手村庄屋組頭百姓代四名・大肝煎星野孫右 衛門連印 寛政四年三月/榊原式部大輔内荒村佐右 衛門外三名奥判 右村庄屋与頭長百姓宛 寅一二月	美	一冊	一八九九
黒岩組岩手村御普請願場所絵図面扣 寛政五年八 月	半	一冊	一九二五
長とろ水除土手御入用金貸方割賦帳 岩手村惣 百姓中 寛政六年閏一二月	横長美	一冊	二二三

○国役普請

越後国頸城郡黒岩組岩手村国役御普請御積帳
岩手村 黒岩組大肝煎星野孫右衛門 天明三年七月
速水清太夫外二名奥書

美袋入

附 御普請所絵図面 岩手村庄屋松五郎外三名
連印 天明三年七月

一冊 四二五〇

御役人名前附 (天明九)

横長半

飯一冊 四二五

御国役普請人足用具留帳 岩手村 天明四年六月

横長半

一冊 二〇七

大肝煎所廻状〔国役御普請願ニ付、変地場所絵図
仕立方之儀、触元役所ニ達ニ付、伝達〕さるけ村外
四ヶ村庄屋中宛 丑二月二三日

一通 四八六

○年欠分

岩手村庄屋友右衛門外二名連署書上下書〔下
名橋向水除築土手御普請願ニ付、敷地書上〕御役所
宛 未一二月

一通 四八五

大肝煎星野半左衛門用状〔岩手村御普請場所ケ所
付案内帳写〕 岩手村庄屋中宛 四月一七日

一通 四八三

岩手村御普請追願場所覚

一通 四八三

岩手村米山川通御普請願場所絵図下書

二枚 四八六

用水堰普請

岩手村高畑村立会用水堰見分目論見帳 岩手村
村庄屋友右衛門・高畑村庄屋太喜右衛門 享保五年

美

一冊 一八四

高畑村岩手村役人願書控〔岩手高畑兩村立合堰
并江丸、洗流欠込申候ニ付、御見分願〕 兩村庄屋与
頭五名連印 馬正面御役所宛 享保一二年九月

一通 四七五

岩手村自普請所明細書上帳 岩手村庄屋友右衛門
外三名 御役所宛 元文三年六月

美

一冊 一八六

岩手村井堰用水江御尋ニ付書上帳 岩手村庄屋友
右衛門外三名 御役所宛 元文四年正月
附 下書覚

美 一冊 一八九
二通 一八九

(元文三年岩手村井堰用水江書上帳其外写帳)

美 一冊 一九〇

橋 普 請

岩手村高畑村役人願書控〔兩村立合橋御普請願〕
兩村庄屋与頭五名連印 御奉行宛 元禄一五年三
月

一通 四六九

頸城郡岩手村高畑村立合刎橋目論見帳 岩手村
村庄屋友右衛門外二名・高畑村庄屋太喜右衛門外一名
享保九年(後筆)宝永七年

美 一冊 一九五

頸城郡岩手村高畑村立合刎橋修覆帳 岩手村庄
屋友右衛門外二名・高畑村庄屋太喜右衛門外一名
宝永七年三月

美 一冊 一九七

三橋入用銀割帳 正徳元年二月

横長美

一冊 四九

頸城郡岩手村高畑村立合刎橋目論見帳 岩手村
村庄屋友右衛門外二名・高畑村庄屋太喜右衛門外一名
享保七年四月

美 一冊 一九五

岩手村高畑村役人願書并再願継添書控〔兩村
立合橋御普請願〕 兩村庄屋与頭五名連印 馬正面御
役所宛 享保九年四月(継添書)辰(享保九年)八月
御役所宛

一通 四二七

岩手高畑立合御普請中諸事懸り物本割賦帳 享
保一二年三月

横長美

一冊 二〇五

岩手村高畑村役人願書下書并控〔兩村立合橋
御普請願〕 兩村庄屋与頭五名連印 御役所宛 享保
一七年二月、三月

四通 四二七

頸城郡岩手村高畑村立合刎橋目論見帳 岩手村
村庄屋友右衛門外二名・高畑村庄屋太喜右衛門外一名
享保一七年三月

美

一冊 一九五

岩手高畑立会橋御普請所積牒 高畑村庄屋太喜右衛門外二名・岩手村庄屋友右衛門外三名 瀧町御役所宛 享保一九年六月	美	一冊	一九六〇	埋杵・台杵・三角袖杵図面ほか 明和四年閏九月九日	二枚	四二五
岩手村高畑村村役人願書下書 「兩村立合橋御普請願」 兩村庄屋与頭五名連署 享保二〇年七月	横長半	一通	四七三	岩手村大肝煎佐藤八平願書控 「岩手村高畑村立合橋、前々之通御入用を以懸替御普請願」 郡御奉行所宛 明和四年一〇月	一通	四七六
(岩手・高畑立合橋仕様寛) (享保二〇年)	横長半	一冊	五五六	大肝煎佐藤八平書付覚 「寛保三年焼炭公訴一件江戸府雜用金并宝曆二年高畑岩手立合橋用木入用金ニ付、返納御免許之旨書置」 岩手村庄屋中宛 明和四年一二月	一通	四七七
岩手村高畑村村役人願書下書 「当六月満水ニ而兩村立会御入用橋流失ニ付、川通村々へ流寄材木ニ而仮橋普請願」 兩村庄屋与頭五名連印 御役所宛 元文元年七月	美	一通	四七三	残物品々請払帳 伊藤武左衛門外三名 明和四年九月	一冊	九八六
岩手高畑立会橋御入用御普請目論見帳 岩手村庄屋友右衛門外三名・高畑村庄屋太喜右衛門外二名 元文元年一〇月	美	一冊	一八六六	岩手村庄屋松五郎外三名連署願書控 「岩手村立合橋御見分并行桁代金拝領願」 郡御奉行所宛 明和七年	一通	四七六
寅辰兩年橋かけ御入用金割賦帳 元文二年 (紙背)御普請所御見分ニ付、役人附覽帳并村方人馬割附覽書 百木村新部六右衛門・岩手村佐藤八郎兵衛 享保一七年七月	横長美	一冊	五七八	立会橋取替物割賦帳 明和八年一二月	一冊	一〇三三
岩手村与頭・長百姓願書控 「岩手村高畑村立合橋用木買請御入用金下賜願」 大肝煎佐藤八平加判 寛延二年六月	美	一通	四七四	岩手村庄屋松五郎願書控 「岩手村高畑村立合橋御普請出来ニ付、帳面拝借願」 大肝煎代役二名加判 郡御奉行所宛 安永二年三月	一通	四八〇
高畑村岩手村立合橋懸替仕様目論見帳 (下書) 寛延二年七月	美	一冊	一九六四	高畑村岩手村立合土橋御入用懸替目論見帳 灰庭組岩手村庄屋松五郎外三名 天明元年	一冊	一九六二
高畑村庄屋三太右衛門外一名連印書上控 「岩手村高畑村立会橋御入用掛替証拠書物書上」 御役所宛 寛延三年正月	美	一通	四七五	御入用高畑岩手立会橋普請取替物書留帳 岩手村 天明三年五月	一冊	二〇五
越後国頸城郡高畑村岩手村立会土橋掛替御普請目論見帳 明和四年閏九月	半	合一冊 (三冊)	二六二 一六六	立会土橋御入用御普請出来形帳 高畑村・岩手村 岩手村庄屋松五郎外三名 郡御奉行所宛 天明三年七月 右村庄屋中宛 卯九月	一冊	一九七一
某書狀下書 「岩手村立合橋之儀ニ付、御入用普請ニ而御引起出来仕候様、御領奉行所へ願出依頼」 (明和四年九) 閏九月二九日	美	一通	四六四	高畑村岩手村立会土橋御入用掛替目論見帳 黒岩組岩手村庄屋喜太郎外三名・大肝煎星野孫右衛門連印 郡御奉行所宛 寛政元年閏六月	一冊	一九六三
	横長半	一冊	一九六	岩手村高畑村立会橋諸色点検仮積帳 寛政二年	一冊	一九六

立会土橋御入用御普請出来形帳 高畑村・岩手村 岩手村庄屋松五郎外四名・大肝煎星野孫右衛門連 印 寛政四年三月／榊原式部大輔内荒村佐右衛門外 三名奥書証判 右村庄屋組頭惣百姓宛 子四月	美	一冊	一九七二
岩手村高畑村立会橋内目論見諸品附留帳 文化 六年三月	横長美	一冊	二〇五三
御入用橋掛替諸色割賦帳 立会高畑村・岩手村 文化一三年一月	横長美	一冊	二〇五四
往還板橋掛替御普請出来形帳 岩手村・高畑村立 会 岩手村庄屋啓助外二名・高畑村庄屋多十郎外二 名・大肝煎星野半左衛門連印 郡御奉行所宛 天保 一〇年五月／荒井加平外四名奥判	美	一冊	一九七三
往還板橋掛替御普請目論見帳 高畑村組頭佐五右 衛門外一名・岩手村庄屋啓助外二名 弘化五年	半	一冊	一九六五
岩手高畑両村立会橋御普請所差上鹿絵図控 高畑組岩手村庄屋啓助外二名・高畑村組頭佐五右衛 門外一名 郡御行所宛 嘉永元年五月／大肝煎湯本 宗十郎奥印	包紙入	三枚	四一九
橋一件割賦帳并諸目録 (嘉永元年) 明治二年	袋入	二五点	三〇六四 三〇八八
。橋普請人足用具覚帳 岩手村庄屋所 嘉永元年 五月二六日	横長半	一冊	二〇六四
。芋嶋村五郎助橋普請請負一札并橋代金受取一 札 岩手村組頭友七宛 嘉永元年六月		四通	二〇八三
。米山寺村酒屋瀬左衛門酒代勘定覚 岩手村高 原宛 嘉永元年二月		一通	二〇六六
。御見分御入用雜用割賦帳 岩手村・中山村・黒 岩村 嘉永二年閏四月 附 三ヶ村雜用割差引覚	横長半	一通	二〇七〇

。高畑組村々板橋御普請御入用金請取一札写 高畑組右村々惣代 鈴木佐次右衛門外一名宛 (嘉 永二年閏四月)		二通	二〇八四
。御入用御普請願村々諸入用取調割賦帳 岩手 村 安政五年五月	横半	一冊	二〇六六
。 (岩手高畑立会橋御普請大工木挽諸品懸り物 割賦帳下書) (安政五年)	横長半	一冊	二〇六七
。橋・樋普請賄代覚并御入用金受取写其外綴 安政五年五月一〇月	一綴 (六通)	一冊	二〇八三
。岩手高畑立会橋入用人足日記 慶応四年	横長半	一冊	二〇六六
。御入用御普請願村々諸入用取調割賦帳 岩手 村・高畑村・泉谷村・土尻村 慶応四年七月	横長美	一冊	二〇七三
。岩手村高畑村橋御普請材木積方控 芋嶋村木 挽和三郎 慶応四年三月	横長半	一冊	二〇七四
。岩手村高畑村御入用板橋御普請財木積り方扣 大工紋右衛門・伝吉、木挽礼蔵 慶応四年	横長半	一冊	二〇七五
。米山寺村与三郎杉木代金受取一札 岩手村七 郎治宛 慶応四年四月三日・四月二三日		二通	二〇六六
。中山村新兵衛生酒代金勘定并受取一札 岩手 村御役人衆中宛 辰(慶応四年)四月朔日・四月二 九日		三通	二〇七七
。岩手村高畑村御入用御橋掛替諸雜用割帳 岩 手村庄屋所 明治二年二月	横長美	一冊	二〇七三
。 (岩手村高畑村橋普請入用差引割賦帳) (年 欠)	横長半	一冊	二〇六五
。 (橋普請一件入用取替覚) (年欠)	横長半	一冊	二〇六九
。 (普請入用差引勘定覚) (年欠)	横長半	一冊	二〇七一

。米山寺酒屋酒代勘定覚 高畑村・岩手村役人衆中宛 (明治二年) 一月九日	一通 二〇七
。鍛冶屋松右衛門釘代其外入用勘定覚 高原宛 (申) 〇月二二日・巳八月九月二日	三通 二〇九
。高田長沢屋文吉書状 (御役人へ出来形帳渡方願上之件三付) 岩手村高原宛 七月四日	一通 二〇〇
。三太右衛門書状 (大橋一件書状) 八平・惣左衛門宛 一〇月六日・一〇月八日	四通 二〇一
。高田長沢屋六左衛門賄代諸色入用勘定并受取一札 岩手村佐藤勇助宛 辰(明治元年)九月	一通 二〇五
。(岩手) 松治郎釘打賃勘定覚 高原宛 巳一月一二日	一通 二〇七
。橋かけ代金覚其外綴	一綴 二〇八
御入用橋掛替ニ付木品用具人足覚張 岩手村庄屋所 安政五年三月	一通 二〇九
附 人足覚	一通 二〇九
往還板橋掛替御普請目論見帳 高畑組岩手村・高畑村 高畑村組頭与五右衛門外一名・岩手村庄屋啓助外一名 安政五年	一冊 一九六
岩手村高畑村役人願書控 (立合橋懸替御普請願) 兩村庄屋組頭百姓代五名連印 郡御奉行所宛 慶応四年二月 / 大肝煎湯本宗十郎奥書	一通 四八二
高畑組高畑村岩手村庄役人願書控 (兩村立合橋御入用掛替願) 高畑村庄屋湯本宗十郎外組頭百姓代二名・岩手村庄屋佐藤啓助外組頭一名連印 御奉行所・郡御奉行所・触元役所・大肝煎所宛 慶応四年二月	一通 五二五

高畑組岩手村高畑村役人願書下書 (兩村立合橋懸替御普請願) 岩手村庄屋佐藤啓助外一名・高畑村庄屋湯本宗十郎外二名 触元役所宛一通、御奉行所・郡御奉行所・触元役所・大肝煎所宛一通 慶応四年二月	二通 八三六
高畑組高畑村岩手村庄役人願書控 (兩村立合橋懸替御普請願) 高畑村庄屋湯本宗十郎外二名・岩手村庄屋佐藤啓助外一名連印 大肝煎所・触元役所・郡御奉行所・御奉行所宛各一通 慶応四年二月 / 大肝煎湯本宗十郎奥書	四通 八三七
往還板橋掛替御普請目論見帳 高畑組岩手村・高畑村 高畑村庄屋湯本宗十郎外二名・岩手村庄屋佐藤啓助 慶応四年三月	一冊 一九七
往還板橋掛替御普請出来形帳 高畑組岩手村・高畑村立合 高畑村庄屋湯本宗十郎外二名・岩手村庄屋佐藤啓助外一名・大肝煎湯本宗十郎連印 慶応四年七月 / 榊原式部大輔内稻垣直次郎外六名奥書証判	一冊 一九四
橋財木書上御直段ノ覚 慶応四年	一冊 四六五
(御入用橋掛替材木諸品買入其外諸雜費岩手村高畑村立合割帳) (明治二年)	一冊 一六九
○年欠分	一冊 一九〇
越後国頸城郡高畑村岩手村立合土橋懸替御普請目論見帳	一冊 一九〇
岩手村茂三左衛門材木代金請取証文 (岩手高畑兩村立合橋御入用材木) 岩手村庄屋所・高畑村庄屋所宛 子九月一日	一通 四八三
榊原式部大輔内山口与三郎書付下書 (高畑村岩手村立合橋御普請所御見分三付、例書差出) 子八月	一通 四八三
岩手村願書下書 (高畑村岩手村立合橋御入用普請願) 郡御奉行所宛	一通 四八四

山内与三郎用状〔江戸表御普請御役人谷吉十郎様 高田御着ニ付、寛延二年立会橋御普請書物持参之上 可被罷出旨〕 岩手村佐藤八平宛 九月一八日 附 高畑岩手兩村一札下書〔立会橋御普請御見 分ニ而、仕直被仰付、承知一札〕	包紙入 二通 四八五
触元役所用状〔山内与三郎様急御用ニ付、添人足御 出可之旨〕 御領分村々庄屋中宛 子九月一八日	包紙入 一通 四八六
風祭甚三郎手代久杉善左衛門用状〔寛延二年立 会橋懸替御普請書物持参之上、高田中小町中嶋清兵 衛方迄可罷出旨〕 高畑村庄屋三太右衛門宛 九月一 八日	包紙入 一通 四八七
岩手村願書下書〔高畑岩手兩村立会橋懸替ニ付、 行桁代金拝領願〕	一通 五二四
普請人足用具留帳	
子屋敷懸普請并高懸普請用木留帳 明和五年正月	横長半 一冊 九九四
丑屋敷懸普請并高懸普請用木留帳 明和六年正月	横長美 一冊 一〇九六
屋敷懸普請并高懸普請用木留帳 明和七年正月	横長半 一冊 一九二二
屋敷懸普請并高懸普請用木留帳 岩手村 明和九 年正月	横長半 一冊 一〇三三
居屋敷普請并高懸普請用木留帳 岩手村 安永四 年正月	横長半 一冊 一〇三五
村中人懸普請勤方留帳 安永八年三月	横長美 一冊 一〇四九
村中家懸普請人足用具割符帳 岩手村 安永九年 五月	横長美 一冊 一〇九三
(紙背)安永四年御損地書上帳 岩手組同村	横長半 一冊 二〇四四
戊辰居村普請并人足用具留帳 岩手村惣百姓中 文化五年正月	横長半 一冊 二〇四四
居村普請人足并用具留帳 岩手村惣百姓中 文化 六年正月	横長半 一冊 二〇四五

普請人足用具帳 岩手村庄屋所 文化二年正月	横長半 一冊 二〇四三
普請人足用具帳 岩手村庄屋所 文化二年正月	横長半 一冊 一九三三
普請人足用具帳 岩手村庄屋所 文政二年正月	横長半 一冊 二〇五六
普請人足并用具留帳 岩手村 嘉永三年	横長半 一冊 一九三四
普請人足用具取調割賦帳 岩手村庄屋所 嘉永六 年二月	横長半 一冊 四六八四
普請人足用具書留帳 岩手村庄屋所 嘉永七年正 月	横長半 一冊 二〇四七
高掛屋敷掛普請人足前割帳 岩手村庄屋所 嘉永 七年二月	横長半 一冊 二〇四六
普請人足用具覺帳 岩手村庄屋所 安政二年二 月	横長半 一冊 一九三五
普請人足用具前割帳 岩手村庄屋所 安政二年一 二月	横長半 一冊 一九三三
普請人足用具覺帳 岩手村庄屋所 安政三年三月	横長半 一冊 一九三七
助合普請人足覺帳 岩手村 安政三年五月	横長半 一冊 一九三六
普請人足用具前割帳 岩手村庄屋所 安政三年一 二月	横長半 一冊 一九三六
用水・川除・道造普請人足用具書留帳 岩手村 庄屋所 安政四年正月	横長半 一冊 一九三九
普請人足用具前割帳 岩手村庄屋所 安政四年一 二月	横長半 一冊 一九四〇
用水・川除・道造普請人足用具書留帳 岩手村 庄屋所 安政五年正月	横長半 一通 一九四二
附 人足覺	横長半 一冊 一九四三
普請人足用具書留帳 岩手村庄屋所 安政六年正 月	横長半 一冊 一九四三

普請人足用具書留帳	岩手村庄屋所	安政七年正月	橫長半	一冊	一九四四
普請人足用具書留帳	岩手村庄屋所	萬延二年正月	橫長半	一冊	一九四五
普請人足用具書留帳	岩手村庄屋所	文久二年正月	橫長半	一冊	一九四六
普請人足用具附留帳	岩手村惣百姓	文久三年正月	橫長半	一冊	一九四七
普請人足用具書留帳	岩手村庄屋所	文久四年正月	橫長半	一冊	一九四八
普請人足用具記帳	岩手村庄屋所	元治二年正月	橫長半	一冊	一九四九
普請人足用具覺帳	岩手村庄屋所	慶応二年正月	橫長半	一冊	一九五〇
普請用具人足書留帳	岩手村	慶応三年	橫長半	一冊	二六八
(普請人足用具覺帳) (年欠)			橫長半	一冊	三〇四九
普請用具人足附留帳	岩手村惣百姓	明治三年	橫長半	一冊	二六九
普請人足用具覺帳	岩手村庄屋所	明治四年三月五日始	橫長半	二冊	一六三
附 (四月十日大堰江堀水上用具其外覺)			片木	三枚	一六七
大堰・丸山堰普請人足用具覺小札	(明治四年九)		橫長半	一冊	一九五
普請人足用具記帳	岩手村庄屋所	明治五年正月	橫長半	一冊	四六六
普請人足用具記帳	岩手村戸長所	明治六年四月	橫長半	一冊	一九五三
普請人足用具帳		明治七年四月	橫長半	一冊	一九五三
普請人足記帳	岩手村	明治八年四月	橫長半	一冊	一九五三
附 人足用具覺	八通		橫長半	一冊	一九五三
普請用具人足附帳	岩手邑	明治九年四月	橫長半	一冊	八九五
附 普請用具人足覺	三通		橫長半	三通	八九五

普請人足附留帳	岩手村	明治一〇年	橫長半	一冊	一九五四
附 人足用具覺	八通		橫長半	八通	一九五四
普請帳并小札	明治一二年		袋入	三點	八七一 八七三
諸普請人足用具記帳	岩手村	明治一一年四月四日始	橫長半	一冊	八七二
普請人足用具覺小札	(明治一一年) 四月四日 九月二日		片木	一四枚	八七三
普請人足用具覺	(明治一二年) 四月八日 月八日		橫長半	一四通	八七三
普請人足用具附留帳	岩手村	明治一二年四月	橫長半	一冊	一九五五
普請人足川除堰用具日記	(甲二十五号証) 新潟縣 中頸城郡岩手村 村重立鈴木源吉外五名 明治一四年一月ヨリ		橫長半	一冊	二六〇
自普請人足用具扣	明治一五年四月一二日		橫長半	二冊	八二六
自普請人足用具附立帳	岩手村扣 重立鈴木源吉 外五名連印 明治一五年四月一三日		橫長半	二冊	八二六
地方普請人足用具帳	(明治一八年一二年)		袋入	六點	八七四 八七九
地方普請用具帳記	岩手村	明治一八年五月	橫長半	二冊	八七四
地方普請用具人足記	岩手村	明治一八年	橫長半	一冊	八七五
川除ヶ普請帳	岩手村大場儀助	明治一八年九月	橫長半	一冊	八七五
村人足之記	明治二〇年三月		橫長半	一冊	八七六
明治廿壹年川除人足用具之記			橫長半	一冊	八七七
人足之記	岩手村	明治二一年四月	橫長半	一冊	八七八
用具人足記	大場用	明治二二年	橫長半	一冊	八七九
明治廿一廿二兩年度人足用具取調記	(下帳)		橫長半	一冊	八七九
(明治二三年)			橫長半	一冊	八七九

(明治廿三年度人足用具銘々取調下帳) (明治二十四年)	橫長半	飯一冊	八五九
諸普請人足附留帳 中頸城郡黒川村大字岩手 明治二三年四月	橫長半	一冊	八五五
諸普請用具人足其他書留ノ帳面 吉村氏所持 明治二五年一月	橫半半	一冊	一七四
川除堰普請人足用具書留帳 黒川村大字岩手 明治二六年	橫長半	一冊	一七六
諸普請用具人足其他附留帳 中頸城郡黒川村大字岩手 明治二七年一月	橫半半	一冊	一七九
明治三十式年度堤防普請用具人足留帳〔白紙帳面〕	橫長半	一冊	八七〇
明治期普請修繕入費			
御普請所書上帳 岩手高畑兩村立会 岩手村庄屋佐藤文吉・高畑村庄屋湯本宗十郎 高田県御役所宛 明治四年一月	美	一冊	一八八
普請ケ所書上帳并入費取調帳等書類 (明治五年〔八年〕)	袋入	二五点	八六六 八七〇
普請ケ所書上帳 芋嶋村・岩手村・高畑村 三村戸長副戸長一名連印 明治五年五月	美	一冊	八六六
普請ケ所書上帳 芋嶋村・岩手村 兩村戸長副戸長九名連印 明治五年五月	美	一冊	八六七
官御普請ケ所書上帳 岩手村・高畑村 兩村戸長副戸長五名連印 明治五年五月	美	一冊	八六七
官普請所所繪図〔面控〕 岩手村戸長佐藤文吉外副戸長三名 明治五年五月	29.5 X 22.0 美	一枚	八六六
官普請所書上帳 越後国頸城郡第五四区岩手村戸長佐藤文吉外副戸長二名連印 明治五年六月	美	一冊	八六九

普請ケ所書上帳 岩手村 戸長佐藤文吉外副戸長二名 柏崎県御庁宛 明治五年六月	美	一冊	八六〇
官普請所書上帳 岩手村・高畑村 兩村戸長副戸長五名連印 明治五年六月	美	一冊	八六一
第七大区副三上喜三達書〔出頭指令〕 高畑村・岩手村役人中宛 癸酉(明治六年)七月一日	包紙入	一通	八六七
明治元戊辰年同三庚午年迄堤防官費修繕入用取調書(雛形) 明治六年八月 附 雛形断簡 二枚	半	一冊 一枚	八六三 八六三
(明治元戊辰年官費修繕入用取調書控) 岩手村・高畑村惣代、小八区戸長 新潟県令楠本正隆宛 明治六年八月	美	一冊	八六四
(明治元戊辰年同三庚午年迄民費修繕入用取調書控) 芋嶋村・岩手村・高畑村旧戸長、小七区小八区戸長 新潟県令楠本正隆宛 明治六年九月	美	二冊	八六三
(明治元戊辰年同三庚午年迄民費修繕入用取調書控) 岩手村惣代佐藤文吉・小八区戸長三上謙三 新潟県令楠本正隆宛 明治六年九月	美	一冊	八六五
(明治元戊辰年同三庚午年迄民費修繕入用取調書控) 岩手村惣代佐藤文吉・小八区戸長三上謙三 新潟県令楠本正隆宛 明治六年九月	美	一冊	八六六
元柏崎県貢米請取書取調書類 明治六年〔七年〕	一括 (五通)	八七〇	
明治二己巳年同六癸酉年迄組用水堰修繕費取調書控 用掛小山與一郎外一名・戸長三上喜三 新潟県権参事楠部信近宛 明治七年六月	二通	八六八	
(普請人足用具取調書下書并控) 岩手村重立代佐藤文吉 明治七年一〇月	二冊	八六四	

。芋嶋・岩手・高畑三ヶ村組合用水堰人足用具入費取調書控 芋嶋村横田健藏外四名 新潟県令楠本正隆宛 明治八年三月	美	一冊	八六九
。芋嶋・岩手二ヶ村組合用水堰人足用具入費取調書控 芋嶋村横田健三外四名 新潟県令楠本正隆宛 明治八年三月九	美	一冊	八六九〇
。高畑村川除用水堰人足用具入費取調書下書 明治八年三月九	美	一冊	八六一
。岩手村川除普請人足用具代金取調書下書 岩手村 用掛御中宛 明治八年三月七日・八日	半美	一冊	八六三
。芋嶋・岩手二ヶ村組合用水堰并芋嶋・岩手・高畑三ヶ村組合用水堰人足用具代金取調書下書 明治八年三月九	美	一冊	八六三
。普請人足用具取調書下書 明治八年三月九	半	一冊	八六五
。河川・往還・堰等絵図面雛形 普請所絵図カ	半	一枚	八六九
。丸山堰・大堰人足用具代取調書下書 辰・巳年分 明治元・二年	半	一通	八六九
明治元戊辰年官費修繕取調書下書 岩手村惣代佐藤文吉・高畑村惣代湯本宗十郎・小八区戸長三上謙三 新潟県令楠本正隆宛 明治六年八月	半	一冊	二八二五
明治元戊辰年民費修繕取調帳下書 岩手村惣代佐藤文吉・小八区戸長三上謙三 新潟県令楠本正隆宛 明治六年八月	半	一冊	二八二六
明治元戊辰年同三庚午年迄民費修繕取調書 岩手村惣代佐藤文吉・小八区戸長三上謙三 新潟県令楠本正隆宛 明治六年八月	半	一冊	二八二五

明治元戊辰年同三庚午年迄民費修繕入用取調書下書 岩手・芋嶋三ヶ村組合并岩手・芋嶋・高畑三ヶ村組合分 各村旧戸長・小八区戸長三上謙三・小七区戸長小山與一郎 新潟県令楠本正隆宛 明治六年九月	半	合一冊	二八二七
道路掃除丁場調 七大区小八区二番組岩手村 明治七年三月三十一日始	横美半	一冊	八六一
道路橋梁入費関係書類 明治一〇年一三三年	貸入	五點	一七四〇 一七四〇
。高畑村上小野橋梁建築造営費 新潟県第七大区小七区岩手村 明治一〇年二月二二日	横長半	一冊	一七四〇
。小萱村道路普請 明治一〇年九月九日 附 岩手村分普請割賦金記 八月一八日	横長半	一通	一七四一
。米山村村橋寄附金書記帳 明治一二年七月五日	横長半	一冊	一七四二
。米山川川除・里道・用悪水路修繕費書上 岩手村 明治一三年一月二五日	半	一冊	一七四三
。道路橋梁修繕諸入費関係書状并寄附金受取書其外綴 明治一〇年一三三年	一綴	一冊	一七四四
下条落合兩村橋有志金受取書 元落合原野市太郎元岩手吉村泰治宛 明治二四年二月一日	一通	一通	八五九三

戸口

組合村

宗門改帳

下美守郷仲組下條村宗門御改帳 庄屋幾右衛門・同佐次右衛門外・年番平次郎 寛保二年八月	美	一冊	二六三
中組下灰庭新田村宗門御改帳 庄屋太喜平外・年番八平 寛保二年八月	美	一冊	二六四
下美守郷中組下金原村宗門御改帳 庄屋市郎左衛門外・年番平治郎 寛保二年八月	美	一冊	二六五
下美守郷仲組竹直村宗門御改帳 庄屋嘉左衛門外・年番平治郎 寛保二年八月	美	一冊	二六六
下美守郷中組黒岩村宗門御改帳 黒岩村庄屋佐五右衛門・同権右衛門外・年番甚五左衛門 寛保二年八月	美	一冊	二六七
下美守郷中組中山村宗門御改帳 (中欠) 寛保二年八月	美	一冊	二六八
下美守郷仲組上金原村宗門御改帳扣 (後欠) 寛保二年	美	一冊	二六九
頸城郡下美守郷岩手組南黒岩村宗門御改帳 庄屋権右衛門・同佐五右衛門外・大肝煎佐藤八平 寛延二年三月	美	一冊	二七〇
頸城郡下美守郷岩手組中山村宗門御改帳 庄屋六右衛門外・大肝煎佐藤八平 寛延二年三月	美	一冊	二七一

(宗門御改帳控) (前後欠) (村名不詳)

美 一冊 八四三

○

下美守郷中組寺社人別宗門御改帳 寛保二年八月

美 一冊 二七〇

寺判鑑帳控 大肝煎佐藤八平 寛延二年三月

美 一冊 二七一

中村組外四組大肝煎連署願書下書 (大地震ニ付、当年宗門御改当分延期願) 加藤源蔵・御奉行所宛 寛延四年閏七月

一通 四三九

人数書上

岩手組村々人数書上帳 大肝煎佐藤八平 寛延四年

横長半 一冊 二七八

岩手組村々人数書上帳 大肝煎佐藤八平 高木権大夫様宛 明和元年

横長半 一冊 九五九

(岩手組惣人数内訳寛下書) (年欠)

一通 四三九

○

年番八平・同平治郎連署書上下書 (組下村々九拾歳ニ相成候もの書上被仰付候ニ付、一名書上) 御奉行所宛 戊(寛保二年)一二月

一通 四九三

人別増減書上

末年村々人別宗門御改増減書上帳 岩手組大肝煎佐藤八平 宗門御奉行所宛 寛延四年

半 一冊 三七五

(岩手組村々御領分中縁組男女入代り書上帳控) 大肝煎佐藤八平 香西十之丞宛 宝曆六年一〇月

横長美 一冊 四六三

○各村分

南黒岩村宗門人別増減書上 黒岩村庄屋佐五右衛門 宝曆五年九月

半 一冊 四〇八

江嶋新田村亥人別増減帳 江嶋新田村与頭助四右衛門・庄や佐五右衛門 宝曆五年九月

半

新家・禿家・棟役増減

竹直村善左衛門口上願書控〔居宅破損身上不能成候^ニ付、禿家願〕 庄屋嘉左衛門外与頭二名加判 延享元年一〇月

猿毛村助左衛門後家口上願書控〔居宅破損身上不能成候^ニ付、禿家^ニ仕、当村從弟甚左衛門方江相家願〕 与頭二名・庄屋二名加判 延享三年一〇月

岩手組猿毛村市郎左衛門後家口上願書控〔居宅破損^ニ付、禿家^ニ仕、伯父新右衛門方江相家願〕 庄屋与頭四名加判 延享三年一〇月

岩手組猿毛村安兵衛後家口上願書控〔居宅破損^ニ付、禿家^ニ仕、甥又次右衛門方江相家願〕 庄屋与頭四名加判 延享三年

中山村与左衛門願書控〔持田地質入^ニ付、名子棟役銀上納願〕 与頭二名・庄屋六右衛門加判 寛延四年一〇月

宝曆三年岩手組新家願書控

繼一通
(三通) 四七三

1 竹直村嘉左衛門願書控〔弟利平、家持^ニ仕候^ニ付、新家造立本棟役銀上納願〕 与頭二名加判 宝曆三年九月

一通

2 中山村次郎左衛門願書控〔弟米右衛門、別家仕候^ニ付、新家造立名子棟役上納願〕 庄屋与頭三名加判 宝曆三年一〇月

一通

3 中山村云右衛門願書控〔弟彦三郎、別家仕候^ニ付、新家造立名子棟役上納願〕 庄屋与頭三名加判 宝曆三年一〇月

一通

岩手組中山村善兵衛願書控〔親類中山村さの、米山寺村伊之助方へ縁付^ニ付、禿家願〕 庄屋六右衛門外与頭二名加判 宝曆三年一〇月

一通 四二三

岩手組下灰庭新田村平市願書控〔高畑村三太右衛門弟平市儀、分家仕下灰庭新田村江引越^ニ付、新家造立本棟役上納願〕 庄屋太喜平外与頭一名加判 宝曆三年

一通 四二三

宝曆三年岩手組名子棟役願書控

繼一通
(三通) 四二〇

1 岩手組中山村伝右衛門願書控〔弟彦三郎、別家仕候^ニ付、名子棟役上納願〕 庄屋六右衛門・与頭二名加判 宝曆三年一〇月

一通

2 下灰庭新田村五右衛門願書控〔持高質入^ニ付、名子棟役^ニ棟役減方願〕 庄屋太喜平・大肝煎佐藤八平加判 宝曆三年一〇月

一通

3 江嶋新田村浅右衛門願書控〔持高質入^ニ付、名子棟役^ニ棟役減方願〕 庄屋佐五右衛門外与頭一名・佐藤八平加判 宝曆三年一〇月

一通

岩手組落合村杳右衛門外一名願書控〔田地質入^ニ付、名子棟役^ニ棟役減方願〕 庄屋五右衛門・組頭喜左衛門加判 宝曆四年一〇月

一通 四四六

岩手組黒岩村佐五右衛門願書〔賀養子林右衛門儀、別家百姓^ニ仕度、芋嶋村^ニ新家造立願〕 芋嶋村庄屋与左衛門外組頭二名加判 大肝煎所宛 宝曆五年四月

一通 四三九

宝曆七年岩手組棟役増減願書控

繼一通
(八通) 四二七

1 下条村惣左衛門願書控〔賀喜右衛門新家造立名子棟役上納願〕 庄屋与頭四名加判 宝曆七年一〇月

一通

2 下条村淨専寺願書控〔第三右衛門 新家造立名子棟役上納願〕 庄屋与頭四名加判 宝曆七年一〇月	一通	
3 下金原村彦次郎願書控〔兵左衛門家禿シ家願〕 庄屋与頭二名加判 宝曆七年一〇月	一通	
4 下金原村村役人願書控〔清左衛門家禿シ家願〕 宝曆七年一〇月	一通	
5 竹直村直右衛門外二名願書控〔高質入ニ付、名子棟ニ罷成度願〕 庄屋与頭三名加判 宝曆七年一〇月	一通	
6 中山村德兵衛願書控〔高質入ニ付、名子棟ニ罷成度願〕 庄屋与頭三名加判 宝曆七年一〇月	一通	
7 黒岩村五郎兵衛願書控〔高質入ニ付名子棟ニ罷成度願〕 庄屋組頭六名加判 宝曆七年一〇月	一通	
8 狸平村安右衛門外四名願書控〔高質入ニ付、名子棟ニ罷成度願〕 庄屋組頭三名加判 宝曆七年一〇月	一通	
中山村数右衛門願書控〔高質取候ニ付、本棟役ニ棟役銀増方願〕 庄屋六右衛門外与頭二名加判 宝曆八年	一通	四四八
岩手組黒岩村長左衛門口上願書控〔伯父市兵衛儀別家仕、名子棟彦軒新家造立願〕 庄屋権右衛門・佐五右衛門外与頭四名加判 宝曆八年	一通	四四九
岩手組宝曆八年名子棟役願書控	繼一通 (三通)	四七七
1 落合村佐五左衛門願書控〔持高不殘質入ニ付名子棟役上納願〕 庄屋甚蔵・与頭喜左衛門加判 宝曆八年一〇月	一通	
2 中山村只右衛門外三名願書控〔持田地質入ニ付名子棟役上納願〕 庄屋六右衛門外与頭二名加判 宝曆八年一〇月	一通	

3 黒岩村源左衛門外一名願書控〔持田地質入ニ付、名子棟役上納願〕 庄屋権右衛門・佐五右衛門外与頭四名加判 大肝煎佐藤八平連署 御奉行所宛 宝曆八年一〇月	一通	
宝曆九年岩手組名子棟役願書控	繼一通 (三通)	四四五
1 岩手組狸平村善太夫外一名願書控〔高質入ニ付、名子棟役ニ棟役減方願〕 庄屋七右衛門外組頭三名加判 宝曆九年	一通	
2 岩手組岩手村仁左衛門外二名願書控〔高質入ニ付、名子棟役ニ棟役減方願〕 庄屋平六・与頭二名并 大肝煎佐藤八平加判 宝曆九年九月	一通	
宝曆九年岩手組禿家願書控	繼一通 (四通)	四五六
1 下条村十右衛門後家甥権藏願書控〔重右衛門後家并娘兩人病死ニ付、禿家棟役銀御免願〕 庄屋佐次右衛門外組頭二名加判 宝曆九年	一通	
2 桜町新田村勘次郎親類彦左衛門後家願書控〔勘次郎儀米山寺村甚左衛門方江養子ニ付、禿家名子棟役銀御免願〕 庄屋又右衛門外組頭一名加判 宝曆九年九月	一通	
3 黒岩村本家長左衛門願書控〔黒岩村又助子又左衛門共ニ死去ニ付、禿家棟役銀御免願〕 庄屋二名・与頭三名加判 宝曆九年	一通	
4 黒岩村本家長左衛門願書控〔黒岩村さく死去ニ付、禿家棟役銀御免願〕 庄屋二名・与頭三名加判 宝曆九年	一通	
宝曆一〇年岩手組禿家願書控	繼一通 (三通)	四四三
1 岩手組猿毛村六兵衛後家親類久兵衛外一名願書控〔六兵衛後家外宅野、病死ニ付、禿家願〕 庄屋弥次兵衛・作左衛門外与頭二名加判 宝曆一〇年一〇月	一通	

2 岩手組中山村甚兵衛後家親類次郎左衛門外
一名願書控(甚兵衛後家并子三次郎 黒岩村次
郎左衛門厄介ニ仕呉候ニ付、禿ノ家願) 庄屋六
右衛門・与頭二名・大肝煎佐藤八平加判 宝曆
一〇年一〇月

岩手組竹直村只右衛門願書控(別家ニ罷成候ニ付
棟役上納願) 庄屋嘉左衛門外与頭二名加判 宝曆一
二年一〇月

宝曆一二年岩手組名子棟役願書控

1 黒岩村吉郎右衛門願書控(持田地質入ニ付、
名子棟役銀上納願) 庄屋二名・組頭四名加判
宝曆一二年

2 中山村又七願書控(持田地質入ニ付、名子棟役
銀上納願) 庄屋六右衛門外与頭二名加判 宝曆
一二年一〇月

明和二年岩手組棟役増減願書控

1 下条村惣右衛門外三名願書控(持高不 残實物
ニ入、無高ニ罷成候ニ付、名子棟役願) 庄屋組
頭四名加判 明和二年九月

2 竹直村長左衛門外三名願書控(由兵衛後家病
死ニ付、親類四名より禿家願) 庄屋嘉左衛門外
与頭二名加判 明和二年九月

3 桜町新田村庄屋又右衛門外一名願書控(又
七并姉つよ兩人、養子引越ニ付、禿家願) 明和
二年九月

4 猿毛村七右衛門願書控(名子棟ニ罷成度願)
庄屋与頭三名加判 明和二年九月

岩手組桜町新田村安右衛門願書控(兄与右衛門、
別家仕候ニ付、新家造立名子棟役銀上納願) 庄屋又
右衛門・組頭八郎右衛門加判 大肝煎所宛 明和二
年九月

下灰庭新田村吉三郎願書控(分家仕候ニ付、名子
棟役銀上納願) 庄屋瀧平・与頭又三郎加判 明和二
年

他国出・出奔・帰村

岩手組狸平村吉郎左衛門願書控(子吉三郎儀、上
州厩橋御城下にて奉公稼仕候處、当村へ歸住願) 庄
屋組頭四名加判 寛延四年三月

岩手組黒岩村杳右衛門注進書控(甥関右衛門、風
与出行方不知) 庄屋組頭六名加判 宝曆三年三月

岩手組黒岩村治左衛門願書控(子次助儀、去申四
月出奔、伊勢参宮之後善光寺岩右町にて奉公稼仕候
處、帰村願) 庄屋組頭五名加判 宝曆三年九月

岩手組黒岩村次左衛門再願書控(同前一件再願書)
庄屋組頭五名加判 宝曆三年一〇月

岩手組黒岩村角右衛門願書控(娘いち儀、去申三
月風与宿を罷出候處、帰村願) 庄屋組頭六名加判
宝曆三年九月

岩手組下灰庭新田村役人願書控(下灰庭新田村
座当八代一儀、江戸米山檢校方へ罷越度ニ付、添状
願) 大肝煎佐藤八平加判 御奉行所宛 宝曆四年四
月

岩手組幸嶋村杳右衛門願書控(杳右衛門子盲人清
竹儀、江戸米山檢校方へ罷越度ニ付、添状願) 庄屋
与頭四名・大肝煎佐藤八平加判 御奉行所宛 宝曆
四年四月

岩手組幸嶋村与四兵衛後家注進書控(子又左衛門
風与出行方不知) 庄屋与左衛門・与頭三名加判 宝
曆四年五月二四日

継一通 四三九

継一通 四六三

一通 四六二

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通 四四三

一通 四四三

一通 四六六

一通 四七四

一通 四七三

二通 四三九

一通 四七五

一通 四七六

一通 四七七

一通 四七九

岩手組幸嶋村弥五左衛門注進書控〔弟半兵衛、風と出行方不知〕 庄屋与左衛門・与頭三名加判 宝曆四年一二月	一通 四六〇	岩手組狸平村源左衛門願書控〔子三太郎儀、風与出行方不知〕 庄屋七右衛門・組頭長百姓四名加判 宝曆一一年七月	一通 四六六
岩手組幸嶋村伝右衛門後家注進書控〔子只右衛門、風と出行方不知〕 庄屋与左衛門・与頭三名加判 宝曆四年一二月	一通 四六一	岩手組大肝煎佐藤八平屈書下書〔江戸表へ罷出候ニ付宗門改印形不仕者書上〕 宗門御奉行所宛 巳〔宝曆一一年九〕九月	一通 四六九
岩手組下金原村村役人注進書控〔兵左衛門、風与出行方不知〕 庄屋市郎左衛門外与頭一名連印 大肝煎所宛 宝曆五年五月	一通 四六四	狸平村源左衛門女房注進書控〔源左衛門、風与出行方不知〕 庄屋七右衛門外親類組頭四名加判 宝曆一四年四月	一通 四五六
岩手組黒岩村太兵衛女房屈書控〔太兵衛儀、当四月風与宿を罷出行方不知ニ付、注進書〕 庄屋組頭六名加判 宝曆六年五月	一通 四三五	狸平村源左衛門妻願書控〔源左衛門、宗門帳指除願〕 庄屋七右衛門外親類長百姓組頭六名加判 明和元年一二月	一通 四五六
岩手組黒岩村太兵衛親類角右衛門願書控〔太兵衛儀、宗門帳指除、所根限願〕 庄屋組頭五名加判 宝曆八年三月	一通 四三六	幸嶋村村役人惣代百姓願書〔幸嶋村元右衛門外四名、旅出候ニ付御詮儀之處 家内困窮ニ付、届出日延願〕 庄屋与左衛門外一七名連印 御大肝煎所宛 明和五年二月	一通 四三九
岩手組黒岩村太兵衛女房請書控〔太兵衛所根限ニ付、請書一札〕 証人親類角右衛門加判 宝曆八年三月	一通 四三七	岩手組同村惣左衛門願書控〔村松与右衛門様江戸参府ニ付御供相勤罷出願〕 庄屋・組頭三名連署 御奉行所・御代官所・代役所宛 丑五月	一通 八三一
幸嶋村作左衛門注進書控〔子四郎、風と出行方不知〕 庄屋与左衛門外五人組・与頭四名加判 宝曆八年二月	一通 四六九	幸嶋村庄屋与左衛門願書控〔黒岩村佐五右衛門病氣ニ付、為名代、江戸表出府願〕 大肝煎佐藤八平通署 御奉行所宛 午七月	一通 四〇二
上金原村村役人注進書控〔簾門淨心并妻子合六人、風与出行方不知〕 庄屋平次郎外与頭百姓代三名連印 宝曆八年五月	一通 四六五	大肝煎佐藤八平屈書控〔岩手組中山村利兵衛外三名、江戸表より帰村届〕 巳七月	一通 四六五
狸平村七郎左衛門願書控〔狸平村与兵衛、丑十二月風与出仕 前橋城下へ罷越候処、帰村願〕 庄屋七右衛門外組頭三名加判 宝曆九年	一通 四六八	大肝煎佐藤八平屈書控〔岩手組竹直村真照寺江戸表より帰村届〕 宗門御奉行所宛 巳七月	一通 四六六
岩手組狸平村甚五右衛門願書控〔子甚七儀、風与出仕、上州前橋ニて奉公稼仕候処、帰村願〕 庄屋七右衛門・組頭三名加判 宝曆一〇年八月	一通 四六六		

改寺改宗

（岩手組村々他国出者取調帳）（年欠）

横長半

一冊 四六五

竹直村久右衛門口上書〔拙者女房ヲ上下浜村了連寺旦那致候儀御尋ニ付 口上〕 同村庄屋・与頭所宛 延享三年四月

一通 四四三

竹直村真照寺屈書〔竹直村佐次右衛門女房旦那印之儀、拙寺借置候處、直印形ニ致印形引分申候ニ付、斷一札〕 大肝煎所宛 未〔寛延四年〕三月日

一通 四六三

岩手組竹直村佐二右衛門願書控〔佐二右衛門女房、竹直村真照寺請判ニ而宗門御改相済申候處、今年より旦那寺馬正面村西念寺本印ニ仕度旨願書〕 庄屋嘉左衛門外与頭二名加判 寛延四年三月

一通 四九〇

西野嶋組長峯新田村市次郎・新三郎連署願書写〔御講之儀、旦那寺西本願寺末寺竹直村真照寺直講ニ可仕様願書〕 庄屋角右衛門外組頭二名加判 宝曆四年一〇月

一通 四三〇

大肝煎佐藤八平請合一札控〔狸平村伊右衛門娘外組内五名、改寺改宗願之通被仰付候ニ付、身元請合一札〕 宝曆四年

一通 四六八

岩手組村々改寺改宗願帳 宝曆五年三月

半

一冊 二〇三

岩手組村々改寺改宗願書綴 大肝煎所宛 宝曆五年三月九月

一綴 二〇三
(一九連)

岩手組黒岩村市郎兵衛願書控〔黒岩村仁助娘ふき儀、市郎兵衛子八右衛門後妻ニ縁付參候ニ付、旦那寺改寺願〕 庄屋組頭六名加判 宝曆五年三月

一通 四六二

岩手組芋嶋村金左衛門願書控〔家内不殘川田村浄土真宗源正寺直判ニ罷成申度旨願〕 庄屋与左衛門外与頭三名加判 宝曆八年四月

一通 四六五

角取村弥兵衛願書并雲門寺切手形案文〔後欠〕〔私家内之内貴寺旦那之者離旦願〕 雲門寺御役寮宛 明和六年

一通 八五五

(大肝煎)請合一札下書〔猿毛村幸左衛門女房外組内村々二名、改寺改宗願御聞濟ニ付、請合一札〕 戊三月

一通 四四七

梶村性徳寺依頼狀〔米山寺村医師玄水寺印形之儀、平沢村光照寺願借印依頼〕 岩手村友右衛門宛 寛保二年九月

一通 八三〇

引越

岩手組猿毛村半右衛門後家願書控〔米山寺村甚八并女房、私方江引取當村居住願〕 庄屋与頭四名加判 宝曆二年

一通 四七〇

岩手組猿毛村半右衛門後家請合一札控〔甚八并女房儀、當村江引越、改寺改宗願之通被仰付候ニ付、身元請合〕 庄屋与頭四名加判 宝曆二年七月

一通 四七二

岩手組下灰庭新田村役人願書控〔高畑村三太右衛門弟平市并女房、分家仕候ニ付、下灰庭新田村江引越願〕 庄屋太喜平外組頭百姓三名連印 宝曆三年

一通 四三二

竹直村平右衛門願書控〔身上不如意ニ付、家内不殘北代石新田村へ引越願〕 庄屋嘉左衛門・組頭二名并大肝煎佐藤八平加判 御奉行所・山上郷右衛門宛 明和元年八月

一通 四七一

竹直村平右衛門并村役人連印請合一札控〔平右衛門家内不殘北代石新田村へ引越ニ付、借金銀其外出入ケ間敷儀無之旨請合〕 明和元年八月

一通 四七〇

岩手組桜町新田村清左衛門願書控〔身上不如意ニ付、母女房共 上直海村へ引越願〕 組頭八郎右衛門・庄屋又右衛門加判 明和元年九月

一通 四九七

桜町新田村清左衛門并村役人連印請合一札控〔上直海村へ引越ニ付、借金銀并出入ケ間敷儀無御座旨請合一札〕 明和元年九月

一通 四九八

落合村村役人百姓願書控〔百木村藤十郎分家与市左衛門家内六人、落合村へ引越願〕 百姓・長百姓・組頭七名連印 明和二年

二通 四九三
四六五

百木村与市左衛門本家藤十郎・庄屋三郎左衛門并落合村役人百姓連印請合一札控〔与市左衛門家内六名・落合村へ引越ニ付・身元請合〕明和二年一〇月

二通 四三九四
四五七三

他領縁組

岩手組大肝煎佐藤八平願書控〔岩手組黒岩村三右衛門娘かつ外組内村々一名、他領縁組願〕御奉行所・水主弥一兵衛宛 宝曆四年三月

一通 四三三〇

岩手組大肝煎佐藤八平願書控〔下条村次右衛門娘はつ外組内村々三二名、他領縁付願〕御奉行所外宛 寛延四年三月

一通 四三六七

諸職・渡世

中山村惣七願書控〔石切細工渡世願〕 庄屋六右衛門・与頭二名加判 宝曆三年八月

一通 四四七九

岩手組中山村大工仲右衛門願書控〔中山村大工太七相果候ニ付、跡相統願〕 庄屋六右衛門・与頭二名加判 宝曆六年

一通 四四八四

岩手組中山村たの屈書控〔中山村大工太七儀、御用被仰付候処、病氣ニ付、屈〕 庄屋・与頭并大肝煎佐藤八平連署 御奉行所宛 西五月

三通 四四八〇
四四八三

附。本大工町吟十郎書上覚〔岩手組芋嶋村左七勤工数〕六月二日
。大工勤方勘定覚〔太七・左七・善太夫〕

剃 髪

岩手組竹直村長右衛門願書控〔病身ニ付、剃髪願〕 庄屋嘉左衛門・組頭二名加判 宝曆四年八月

一通 四三七六

上金原村権右衛門願書控〔病身ニ付、法鉢仕度願書〕 庄屋平次郎外一名加判 宝曆四年

一通 四三七〇

狸平村文右衛門願書控〔文右衛門 弟平右衛門、田中組赤沢村禪宗雲門寺弟子入剃髪願〕 庄屋七右衛門・組頭三名加判 宝曆六年五月

一通 四六九

岩手組桜町新田村市右衛門願書控〔為菩提剃髪願〕 庄屋又右衛門加判 宝曆六年七月

一通 四六三

岩手組黒岩村太兵衛女房願書控〔子勘太郎、病身者ニ付、信州善光寺新田町裁松院へ弟子入剃髪願〕 庄屋二名・組頭三名加判 宝曆八年二月

一通 四六〇一

岩手組下条村幾右衛門願書控〔倅平次郎、病身ニ付剃髪願〕 庄屋佐次右衛門・与頭二名加判 宝曆八年二月

一通 四六〇三

岩手組黒岩村伝左衛門願書控〔弟曾右衛門、病身者ニ付、越中国立野村長久寺へ弟子入剃髪願〕 庄屋二名・組頭三名加判 宝曆八年

一通 四六〇四

岩手組黒岩村伝左衛門願書控〔弟勘左衛門、病身者ニ付、越前国福井孝願寺へ弟子入剃髪願〕 庄屋二名・組頭三名加判 宝曆八年二月

一通 四六〇五

岩手組黒岩村与三右衛門願書控〔親喜助、病身者ニ付、越前福井孝願寺へ弟子入剃髪願〕 庄屋二名・組頭三名加判 宝曆八年二月

一通 四六〇六

黒岩村甚右衛門願書控〔甚右衛門 弟六右衛門儀、病身者ニ付、三嶋郡野田村称名寺弟子入剃髪願〕 庄屋二名・組頭四名加判、大肝煎佐藤八平連署 宝曆九年三月

一通 四六三

岩手組黒岩村六兵衛願書控〔弟七左衛門、病身者ニ付、三嶋郡野田村称名寺へ弟子入剃髪願〕 庄屋二名・組頭四名加判 宝曆一二年

一通 四六七

岩 手 村

家数・人馬数

黒岩組岩手村村役人屈書控〔御触ニ付、女馬疋数相調書上〕 庄屋喜太郎外与頭二名連印 寛政七年六月

一通 四六六

(黒岩組岩手村当年拾五歳以上六拾歳以下人別書上帳控) 兼帶庄屋平助外組頭百姓二七名連印
文政五年

横長半

一冊 二九元

(民政役所布達写)(八拾八才以上之者養老典之儀其外三付)(明治二年) 一一・一二月

半

一冊 二〇〇〇

岩手村家数調届書 一二番組岩手村庄屋佐藤文吉
高田県御役所宛 明治四年十一月

横長半

一通 二〇六

(当亥人別改書訳差引) (年欠)

横長半

一冊 二〇五

宗門改帳

宗門御改帳 岩手組同村 明和五年三月(安永五年迄加筆貼札有)

美

一通 二四

附 下町光明寺手形(其元家内妙国寺直判ニ相改可被申旨承知一札) 岩手村惣左衛門宛 明和六年七月(包紙入)

美

浄土真宗宗門御改帳 岩手組岩手村 安永六年三月(天明四年迄加筆貼札有)

美

四冊 三五

法花宗門御改帳 黒岩組岩手村 天明六年三月(寛政七年迄加筆貼札有)

美

三冊 三六

浄土真宗宗門御改帳 黒岩組岩手村 寛政七年三月(文化二年迄加筆貼札有)

美

四冊 三七

浄土真宗宗門御改帳 黒岩組岩手村 文化一二年三月(文政五年迄加筆貼札改印形有)

美

四冊 三八

浄土真宗宗門御改帳 元黒岩組岩手村 御代官所宛 文政五年八月

美

五冊 三九

浄土真宗宗門御改帳 元黒岩組岩手村 御代官所宛 文政六年八月

美

五冊 三〇

浄土真宗宗門御改帳 元黒岩組岩手村 御代官所宛 文政七年八月

美

合一冊 三三

浄土真宗宗門御改帳 元黒岩組岩手村 御代官所宛 文政八年八月

美

五冊 三三

浄土真宗宗門御改帳 元黒岩組岩手村 御代官所宛 文政九年八月

美

五冊 三三

浄土真宗宗門御改帳 元黒岩組岩手村 御代官所宛 文政一〇年八月

美

五冊 三四

浄土真宗宗門御改帳 元黒岩組岩手村 御代官所宛 文政一三年四月

美

五冊 三五

法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 穢多宗門御改帳 黒岩組岩手村宗門人別寄帳	元黒岩組岩手村御 代官所宛 天保八年 四月	美	合一冊	三六	法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 高畑組岩手村 嘉永三年四 月	美	合一冊	三三
法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 穢多宗門御改帳 黒岩組岩手村宗門人別寄帳	黒岩組岩手村 御代 官所宛 天保九年四 月	美	合一冊	三七	法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 高畑組岩手村 弘化三年四 月	美	合一冊	三五
(宗門御改帳)(前欠) 黒岩組岩手村 御代官所宛 天保一〇年四月		美	一冊	三六	法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 高畑組岩手村 弘化三年四 月	美	合一冊	三五
浄土真宗門御改帳(前欠) 浄土真宗門御改帳 黒岩組岩手村宗門人別寄帳	黒岩組岩手村 御代 官所宛 天保一一年	美	合一冊	三九	高畑組岩手村宗門人別御改帳 高畑組岩手村 弘 化四年	美	一冊	三六
法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 黒岩組岩手村宗門人別寄帳	黒岩組岩手村 御代 官所宛 天保一二年 四月	美	合一冊	三〇	高畑組岩手村宗門人別御改帳 高畑組岩手村 御 代官所宛 嘉永元年	美	一冊	三七
法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 黒岩組岩手村宗門人別寄帳	高畑組岩手村 御代官所 宛 天保一三年四月	美	合一冊	三一	法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 高畑組岩手村 嘉永二年四 月	美	合一冊	三三
法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 黒岩組岩手村宗門人別寄帳	高畑組岩手村 御代官所 宛 天保一四年四月	美	合一冊	三三	法花宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 禪宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 高畑組岩手村 嘉永三年四 月	美	合一冊	三三
浄土真宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 浄土真宗門御改帳 高畑組何村宗門人別寄帳(雛形)	美	美	一冊	四六二		美	一冊	四六二

—四—

[illegible]

巳五人組書上帳 二名 寛政九年	黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外与頭	半	一冊	二六三	黒岩組岩手村五人組帳 天保一〇年四月	半	一冊	二六九
午五人組書上帳 二名 寛政一〇年(同一一年貼札有)	黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外与頭	半	一冊	二六四	黒岩組岩手村五人組帳 天保一二年四月	半	一冊	二九七
未五人組書上帳 二名 寛政一二年(同一二年貼札有)	黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外与頭	半	一冊	二六五	黒岩組岩手村五人組帳 天保一三年(黒岩組岩手村五人組帳)	半	一冊	二九八
申五人組書上帳 二名 寛政一二年(享和元年貼札有)	黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭	半	一冊	二六六	高畑組岩手村五人組帳 天保一四年四月	半	一冊	三〇〇
酉五人組帳 享和元年(同二年・文化二年貼札有)	黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名	半	一冊	三三九	高畑組岩手村五人組帳 弘化二年	半	一冊	三〇二
丑五人組帳 文化二年(同三年貼札有)	黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外組頭二名	半	一冊	二六七	高畑組岩手村五人組帳 弘化三年	半	一冊	三〇三
卯五人組帳 文化四年五月	黒岩組岩手村 庄屋喜太郎外与頭二名	半	一冊	二六八	高畑組岩手村五人組帳 弘化五年	半	一冊	三〇五
亥五人組帳 頭一名 文化一二年四月	黒岩組岩手村 庄屋松五郎・八平外与	半	一冊	二六九	高畑組岩手村五人組帳 嘉永二年	半	一冊	三〇六
子五人組書上帳 外与頭百姓代二名 文化一三年五月	黒岩組岩手村 庄屋松五郎・八平	半	一冊	二七〇	高畑組岩手村五人組帳 嘉永三年	半	一冊	三〇七
丑五人組書上帳 外与頭百姓代二名 文化一四年五月(文政二年貼札有)	黒岩組岩手村 庄屋松五郎・八平	半	一冊	二七一	高畑組岩手村五人組帳 嘉永五年	半	一冊	三〇九
辰五人組書上帳 外百姓代一名 文政三年五月	黒岩組岩手村 庄屋松五郎・八平	半	一冊	二七二	高畑組岩手村五人組帳 嘉永六年	半	一冊	三一〇
巳五人組書上帳 外組頭百姓代二名 文政四年五月	黒岩組岩手村 庄屋松五郎・八平	半	一冊	二七三	高畑組岩手村五人組帳 安政二年二月	半	一冊	三三一
岩手村五人組差出帳 煎所宛 文政五年五月	岩手村兼帶庄屋平助 大肝	半	一冊	二九四	高畑組岩手村五人組帳 安政三年二月	半	一冊	三三三
黒岩組岩手村五人組帳	天保九年四月	半	一冊	二九五	高畑組岩手村五人組帳 安政四年二月	半	一冊	三三四
					高畑組岩手村五人組帳 安政五年二月	半	一冊	三三五
					高畑組岩手村五人組帳 安政六年四月	半	一冊	三三六

高畑組岩手村五人組帳	万延元年四月	半	一冊	三七
高畑組岩手村五人組帳	文久元年四月	半	一冊	三八
高畑組岩手村五人組帳	文久二年二月	半	一冊	三九
高畑組岩手村五人組帳	文久三年四月	半	一冊	三〇
高畑組岩手村五人組帳	元治元年四月	半	一冊	三一
高畑組岩手村五人組帳	慶応二年四月	半	一冊	三二
高畑組岩手村五人組帳	慶応三年二月	半	一冊	三三
高畑組岩手村五人組帳	慶応四年二月	半	一冊	三四
高畑組岩手村五人組帳	明治二年二月	半	一冊	三五
高畑組岩手村五人組帳	明治三年四月	半	一冊	三六
十二番組岩手村五人組帳	明治四年四月	半	一冊	三七

人別増減帳

已御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋松五郎外	半	一冊	三九
与頭二名	天明五年				
未御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	三〇
与頭二名	天明七年七月				
申御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	三一
与頭二名	天明八年七月				
酉人別増減帳	黒岩組岩手村扣	庄屋喜太郎外	半	一冊	三二
二名	寛政元年八月				
戌御改人別増減帳	黒岩組岩手村扣	庄屋喜太郎外	半	一冊	三三
与頭二名	寛政二年八月				
亥御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	三四
与頭二名	寛政三年五月				

子御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	三五
組頭二名	寛政四年五月				
丑御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	三六
与頭二名	寛政五年				
辰御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	三七
与頭二名	寛政八年				
巳御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	三八
与頭二名	寛政九年				
午御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	二冊	三九
与頭二名	寛政一〇年				
未御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	四〇
与頭二名	寛政一一年				
申御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	四一
与頭二名	寛政一二年				
酉御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	四二
与頭二名	享和元年				
戌御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	四三
与頭二名	享和二年				
子宗門御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	四四
与頭二名	文化元年五月				
寅宗門御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	四五
与頭二名	文化三年五月				
卯宗門御改人別増減帳	黒岩組岩手村	庄屋喜太郎外	半	一冊	四六
与頭二名	文化四年五月				
寅人別増減帳	黒岩組岩手村控	庄屋八平・松五郎外	半	一冊	四七
与頭二名	文化一五年五月				

○出生・死亡人調（明治期）

岩手村人員出生調帳 明治五年六月

(岩手村人員出生調帳) (明治五年六月)
附 佐藤才治外三名出生其外調屆書 佐藤文美
吉 戸長宛 明治七年八月三十一日

(岩手村出生人・死亡人其外屆書寫) (明治六年)

(岩手村明治六年出生及死亡人屆書控) 明治六年一月二十八日

(新潟県布達寫) (天保四年正月、安政二年一二月迄出生之者取調其外二付) 新潟県令楠本正隆 明治六年七月八日

(佐藤源藏出生年屆書其外綴) 明治七年

埋葬人員取調書雛形 明治七年

人員生死出入取調書請取寫 (年欠)

新家・禿家・棟役増減・引越

岩手村庄屋友右衛門外二名口上答書控 (岩手村出生元右衛門儀、北代石新田村へ引越之誤御尋二付) 御役所宛 享保一三年五月

岩手村医師玄水願書控 (玄水、蒲原郡弥彦庄船越村江引越願) 与頭二名并大肝煎佐藤八平加判 御奉行所・加藤源藏宛 寛延四年三月

岩手村与頭太左衛門・仁兵衛連署願書控 (医師玄水船越村江引越候二付、跡家禿家願) 大肝煎佐藤八平加判 御代官所・御奉行所宛 寛延四年一〇月

岩手組岩手村仁兵衛願書控 (仁兵衛子茂郎左衛門、新家造立、名子棟役銀上納願) 与頭太左衛門・大肝煎佐藤八平加判 宝曆三年一〇月

岩手村しま親類左左衛門願書控 (しま縁付、跡相統仕候者無御座二付、禿家願) 庄屋与頭并大肝煎佐藤八平加判 宝曆九年九月

一冊 二〇六

一通 二〇七

一冊 二〇五

一冊 二〇六

一冊 二〇三

一枚 二七三

一通 八六五

一通 四六〇

一通 四六〇

一通 四六六

一通 四四二

一通 四三七

岩手村しま願書 (名子棟老軒取立願) 庄屋平六外三名加判 大肝煎所宛 宝曆一三年一〇月

岩手村庄屋喜太郎外二名願書控 (岩手村桶屋久米五郎儀、米山寺市太郎方へ縁付候二付、御役銀御免願) 大肝煎星野孫右衛門加判 御奉行所・御代官所・大肝煎所宛 寛政三年五月二七日

改寺改宗

黑岩組岩手村由右衛門外一名願書控 (甚左衛門外一名、縁付二付、改寺改宗願) 庄屋喜太郎・組頭二名連署 宗門御奉行所宛 天明八年五月

黑岩組岩手村八左衛門外二名願書控 (悴女房并跡名貴請度願) 庄屋喜太郎・与頭二名連署 御代官所宛 天明八年七月

黑岩組岩手村勘太郎願書控 (勘太郎女房りの、縁付參候二付、改寺改宗願) 庄屋喜太郎・与頭二名連署 寛政五年

黑岩組岩手村藤助願書控 (悴庄治郎女房なつ、夫且那寺北代石新田村浄土真宗善長寺且那二改寺願) 庄屋喜太郎外二名加判 寛政六年

黑岩組岩手村万右衛門外三名願書控 (喜太郎娘とゐ外三人、改寺改宗願) 庄屋喜太郎・組頭二名加判 文化二年

黑岩組岩手村庄左衛門願書控 (女房そわ、夫菩提寺川田村浄土真宗源正寺且那二改寺願) 庄屋組頭百姓代四名加判 文化一五年

他国出稼・出奔・帰村

岩手村彦右衛門五ヶ年所限証文控 (子徳兵衛儀、関東上州江商奉公二罷出候二付) 親類安左衛門外五人組組頭庄屋六名加判 御役所宛 享保一九年三月ノ番檢井美右衛門奥書

一通 四三〇

一通 四三六

一通 四三九

一通 四三九

一通 四三九

一通 四三九

一通 四三九

一通 四三九

一通 四三九

一通 四三九

一通 四三九

一通 四三九

一通 四三九

岩手村門左衛門五ヶ年所根限証文控〔子淺右衛門儀、江戸表奉公稼ニ罷出候ニ付〕親類儀右衛門外五人組組頭庄屋五名加判 御役所宛 享保一九年三月／年番美右衛門奥書	一通	四三四	黒岩組岩手村藤助願書控〔藤助倅庄次郎、風与出仕候處、婦村願〕庄屋喜太郎・与頭二名連署 宗門御奉行所宛 天明八年七月	一通	四三九
岩手村門左衛門五ヶ年所根限証文控〔子淺右衛門儀、江戸表奉公稼ニ罷出候ニ付〕親類儀右衛門外五人組組頭庄屋五名加判 御役所宛 享保一九年三月／檢井美右衛門奥書	一通	四三六	黒岩組岩手村善兵衛願書案詞〔岩手村冬藏、江戸藤田屋市郎右衛門方にて旅奉公願〕庄屋喜太郎・与頭安左衛門連署 天明八年七月	一通	四三九
岩手村彦右衛門五ヶ年所根限証文控〔子徳兵衛儀、江戸表奉行稼ニ罷出候ニ付〕親類安左衛門外五人組与頭庄屋六名加判 御役所宛 享保一九年三月／年番美右衛門奥印	一通	四三六	黒岩組岩手村庄屋喜太郎外二名届書控〔穢多亡利兵衛女房并同人娘、風与出 行方不知ニ付届〕大肝煎所宛 天明八年七月	一通	四四〇
岩手村門左衛門後家五ヶ年所根限証文下書〔門左衛門子淺右衛門、身上不罷成江戸表へ奉公ニ罷出候ニ付〕親類辰右衛門外五人組与頭庄屋五名加判 御役所宛 元文四年三月／年番檢井美右衛門奥印	二通	四三五	黒岩組岩手村庄屋喜太郎外二名届書控〔助右衛門甥留右衛門、風与出行方方不知届〕寛政元年八月	一通	四四〇
岩手村彦右衛門五ヶ年所根限証文下書〔子徳兵衛、関東上州へ奉公ニ罷出候ニ付〕親類安左衛門外六名加判 御役所宛 元文四年三月／年番檢井美右衛門奥印	一通	四三五	黒岩組岩手村助右衛門願書控〔弟留右衛門儀、行方不知ニ付、宗門改帳除方願〕庄屋喜太郎外二名加判 寛政七年	一通	四三九
岩手村辰右衛門五ヶ年所根限証文控〔岩手村曾兵衛儀、江戸表奉公稼ニ罷出候ニ付〕五人組与頭庄屋七名加判 湯町御役所宛 寛保二年二月／檢井美右衛門奥書	一通	四三六	岩手村儀右衛門外三名并組合連印請合一札写〔儀右衛門子五兵衛外三名、当秋関東稼願御聞濟ニ付、来未二月限帰国請合一札〕御村役人中宛 文政五年七月	一通	四三五
岩手村清左衛門・庄吉連印口上書〔清左衛門・庄吉儀、稼ニ罷出候ニ付、岩手村庄屋与頭連署所証文控并簡条取決書〕助右衛門外一名証判〔庄屋〕平六外二名宛 寛延二年二月	一通	四三三	岩手村半兵衛差出一札〔私儀風与出仕上州厩橋ニ罷居候ニ付、以来他国ニ而越年候ハ、人別帳御除被下候旨一札〕天保一二年三月	一通	四三三
岩手組岩手村為右衛門届書控〔弟善助儀、風与出仕、江戸奉公稼仕居候處、水野村ニ而病死仕候旨断書〕与頭二名并大肝煎佐藤八平連署 御奉行所・加藤源蔵宛 寛延四年三月	一通	四三八	岩手村清左衛門子甚左衛門外二四名連印一札〔甚左衛門外六名、関東稼ニ付、来卯二月限り帰国可仕旨請合一札〕村役中宛 天保一三年一〇月一〇日	一通	四三六
岩手村宅右衛門兄長助外二名願書〔宅右衛門儀、旅出仕日料稼致度、好身・親分連印一札〕岩手村庄屋・与頭・五人組頭中宛 明和元年閏一二月	一通	四三二	黒岩組岩手村藤助願書控〔次男六歳、出奔行方不知ニ付、宗門帳除方願〕庄屋喜太郎・与頭二名加判〔年不詳〕	一通	四三七
			高畑組岩手村御追放他出留取調書上帳 高畑組岩手村組頭友七・庄屋佐藤啓助 慶応三年五月	一冊	二九二

関東稼帳外者住所書上帳 岩手村庄屋所 庄屋佐藤啓助外二名連印 明治二年七月二十五日 横長美 一通 二〇三六

(御布告ニ付、帳外者・他国稼其外住所可書上旨触書写) 領奉行所 已(明治二年七月二二日) 半 一通 二〇三六

(農間酒造出稼鑑札下附願書写其外綴) 明治四年八月九月 半 一通 二〇三六

縁組

芋嶋村六兵衛名跡証文(貴殿弟甚兵衛、拙者名跡ニ貫請候ニ付、一札) 請人吉郎左衛門外一名加判 岩手村重兵衛宛 元文元年極月 一通 四四二

岩手村仁兵衛願書控(仁兵衛子善兵衛、湯町新田村六郎左衛門方江駕名跡ニ指遣申度旨) 組頭安左衛門并大肝煎佐藤八平加判 延享三年三月 一通 四六四

岩手村源左衛門差出一札(国田村惣兵衛方江持參金証文相渡候ニ付、加判人江写差出一札) (庄屋佐藤八平・(組頭) 太左衛門・(仲人) 友七宛 宝曆四年六月 一通 八三三

岸海村熊五郎持參金証文下書(貴殿弟与右衛門ヲ熊五郎養父ニ取請候ニ付、持參金請取一札) 親類・与頭・庄屋五名連署 岩手村八左衛門宛 安永五年十二月/岩手村八左衛門得心奥書 熊五郎外五名宛 一通 八七九

灰庭組岩手村しま外一名連印願書控(養子并女房他領縁組願) 庄屋松五郎外一名加判 安永七年 一通 四六七

黒岩組岩手村八左衛門願書控(娘とみ、米山寺村茂八妻ニ縁付願) 庄屋喜太郎外二名連署 寛政三年 一通 四九三

黒岩組岩手村庄屋喜太郎外二名願書控(岩手村八左衛門娘とみ外三名、縁付願) 寛政七年 一通 四九〇

岩手村冬蔵・善兵衛連印一札(冬蔵仲医門儀、貴様養子ニ御貴請被成候間、縁切一札) 医門叔父黒川与四郎宛 寛政一〇年二月 一通 四〇三

黒岩組岩手村清左衛門願書控(清左衛門女房さの、他領より縁付願) 庄屋喜太郎・組頭二名加判 文化二年 一通 四四〇

某口上願書下書(米山寺村次兵衛名跡ニ差遣申候拙者娘すめ儀、次兵衛方ニ住兼、当方へ預り置申候ニ付、次兵衛召出願) (年久) 一通 四四六

人別送状・送籍・寄留

上直海村庄屋太左衛門外一名人別送り証文(上直海村孫次右衛門) 岩手村庄屋友右衛門宛 享保一八年三月 一通 四三三

新羽郡長崎村庄屋仁右衛門外一名人別送り一札(穢多金兵衛子四郎兵衛、其御村利兵衛方養子ニ引越) 岩手村庄屋組頭衆中宛 延享二年二月 一通 四三二

岩手村穢多利兵衛願書控(利兵衛子藤左衛門儀行方不知ニ付、刈羽郡長崎村四郎兵衛養子願) 組頭二名并大肝煎佐藤八平加判 延享三年三月 一通 四三三

刈羽郡市野新田村庄屋新十郎人別送り一札(孫右衛門娘きせ、岩手村善兵衛方へ縁付ニ付) 岩手村庄屋宛 文政六年九月 一通 四五五

頭法寺村武藤孫左衛門并庄屋飯川忠右衛門連印人別送り一札(孫左衛門妹のり、岩手村へ縁付ニ付) 岩手村役人宛 文政一〇年 一通 四六七

花ヶ崎村庄屋清水勘左衛門人別送り一札(花ヶ崎村穢多甚左衛門娘りと、岩手村穢多利平方へ縁付ニ付) 岩手村役人衆中宛 安政三年一〇月 一通 四四六

赤沢村庄屋勘四郎人別送り一札(百姓平次郎妹きせ、岩手村勘左衛門方へ縁付ニ付) 岩手村役人中宛 文久二年三月 一通 四五五

大賀村庄屋源吉人別送り一札(私娘まち、岩手村五十嵐山和方へ縁付ニ付) 岩手村役人衆中宛 元治元年四月 一通 四五五

天林寺村庄屋喜文治人別送り一札〔吉三郎弟佐平治并五平(娘)めの、岩手村友七方へ養子ニ付〕岩手村御役人中宛 明治三年六月	一通	四五五
柏崎県小泉村定治郎并庄屋幸右衛門連印人別送り一札〔定治郎妹とめ、岩手村安左衛門方へ縁付ニ付〕岩手村庄屋中宛 明治四年六月	一通	四五七
高田県長沢新田庄屋高野安平人別送り一札〔藤藏娘さい、岩手村佐吉妻ニ縁付ニ付〕岩手村御村役人中宛 明治四年六月	一通	四五九
上小野村庄屋三上喜三人別送り一札〔平治弟藤藏、岩手村重兵衛方へ縁付ニ付〕岩手村庄屋中宛 明治四年七月	一通	四六〇
下条村庄屋楡井儀平願書〔文平妹とせ、岩手村重平妻ニ縁付ニ付、送籍証御渡し方願〕副長御中宛 辛未(明治四年)七月二八日	一通	四六一
角取村角張吉五郎届書并高田県管轄第拾六区戸長副戸長兼三上喜三送籍一札〔角張吉五郎二男熊藏、岩手村佐藤七郎治へ養子ニ付〕岩野村副戸長御中宛 明治四年八月	一通	四六二
荻羽郡板畑ケ村組頭惣兵衛覚書〔板畑ケ村百姓中村治左衛門娘きよ、身上覚書〕明治四年	一通	四六四
送籍証控〔岩手村佐平治〕第七大区八小区惣代・戸長・副戸長 五小区天林寺村惣代・戸長・副戸長宛 明治六年一月一九日	一通	二〇四
送籍証控〔岩手村佐藤権平二女もと〕戸長新部与八郎 拾壹番組高本村戸長宛 明治一一年三月二四日	一通	二七三
送籍証控〔岩手村佐藤權平二女もと〕大區四番組戸長朝比奈茂平次 武番組戸長宛 (明治一一年カ)	一通	二七四
送籍証控〔第七大区小七区二番組岩手村農吉村泰治妹吉村とき〕岩手村戸長新部与八郎 同大区小五区九番組後生寺村戸長宛 明治一一年一月二二日	一通	二六五
岩手村戸長高島清十郎送籍受領証〔百木村新部与八郎二男貴治、岩手村佐藤文吉方養長男ニ送籍ニ付〕百木村戸長湯本宗十郎宛 明治一五年三月一八日	一通	四六三
○寄留		
第七大区八小区内ヨリ他管轄江寄留御届〔岩手村分〕(明治五年)	一冊	二〇三
寄留証控〔岩手村佐藤忠太三男佐藤又平〕二番組戸長新部与八郎 群馬県下上野国那波郡樋越村正副戸長宛 明治一二年五月一九日	一通	二七五
寄留証控〔岩手村佐藤忠太三男佐藤又平妻キミ〕二番組戸長新部与八郎 群馬県下上野国那波郡玉村駅正副戸長宛 (明治一二年五月カ)	一通	二七六
改判・改名		
某覚書下書〔源左衛門外、宗門改之節借判之儀、当年相改ニ付覚〕享保七年	一通	四三七
黒岩組岩手村庄屋喜太郎届書下書〔当酉之春改名仕候者六名届書〕大肝煎所宛 享和元年	一通	四三〇
渡世・奉公		
黒岩組岩手村与次右衛門願書控〔与次右衛門弟弥七、与次右衛門方にて鍼医渡世願〕庄屋喜太郎与頭二名加判 寛政七年	一通	四三九
黒岩組岩手村与頭二名・庄屋喜太郎連印願書控〔金七外一名、耕作之間・大工・木挽渡世願〕寛政一二年	一通	四四七
黒岩組岩手村市五郎願書控〔妹よの儀、下小野村三右衛門・食盛奉公ニ被充候ニ付、よの相返候様三右衛門へ仰付願〕庄屋組頭百姓代四名加判 文化一四年一二月	一通	四三七

剃 髪

岩手村与八願書控〔与八子岩次郎病身者ニ付、百木村延慶寺へ弟子入願〕 庄屋喜太郎外組頭二名加判
寛政七年

一通 四〇六

そ の 他

諸願書案文 黒岩組岩手村 寛政八年三月

美 一冊 六

村 政〔組合村〕

村 況

村明細帳

頸城郡岩手組上金原村鑑牒 庄屋平次郎外組頭一名
延享三年正月

美 一冊 二〇元

岩手組下条村鑑帳 延享三年

美 一冊 三〇

○

黒岩組村鑑帳 黒岩組大肝煎星野半左衛門
五年三月

美 二冊 三二

黒岩組村々明細帳 文化八年三月

半 二冊 三三

新田・道橋

下灰庭新田村外二ヶ村庄屋答書下書〔下灰庭新田・上灰庭新田・狸平三ヶ村地内荒戸沢新田并狸平・黒岩立会新田之儀御尋ニ付、答書〕 高田御役所宛
延享元年十二月

一通 四五〇

岩手組大肝煎佐藤八平書上控〔岩手組中村々々羽羽郡魚沼郡江往還通橋之書上〕 御奉行所宛 丑〔延享二年〕閏一二月

一通 四三六

村役人

死亡・退役・跡役

下灰庭新田村六右衛門外五名一札写〔下灰庭新田村庄屋跡役之儀、又三郎若年二付、六右衛門相動可申旨取決〕又三郎宛 元文五年二月
一通 四九六
岩手組狸平村庄屋七右衛門外三名願書控〔組頭四郎右衛門病死二付、跡役祐右衛門へ仰付願〕 宝曆四年四月
一通 四五一
岩手組江嶋新田村庄屋佐五右衛門外三名願書控〔与頭甚兵衛病死二付、跡役助次右衛門へ仰付願〕 大肝煎佐藤八平連署 御奉行所宛 宝曆四年四月一八日
一通 四五四
芋嶋村庄屋与左衛門外四名願書控〔与頭源五右衛門病死二付、俸平右衛門二跡役仰付願〕 宝曆五年八月
一通 四三二
岩手組岩手村与頭太郎左衛門外一名願書控〔与頭仁兵衛死去三付、跡役仁兵衛俸友七へ仰付願〕 大肝煎佐藤八平連署 高木権太夫宛 宝曆八年二月
一通 四五六
岩手組下灰庭新田村庄屋太喜平外一名願書控〔与頭五右衛門病死二付、役御免願〕 宝曆八年二月
一通 四五〇九
岩手組黒岩村庄屋組頭五名願書控〔組頭治左衛門死去二付、俸治五右衛門へ跡役仰付願〕 宝曆八年二月
一通 四六三
岩手組黒岩村庄屋組頭五名注進書控〔組頭与五左衛門死去二付〕 宝曆九年八月
一通 四六四
猿毛村庄屋組頭三名屆書〔与頭伝左衛門病死届〕 大肝煎所宛 明和元年二月
一通 四六七
落合村組頭喜左衛門外一名屆書控〔庄屋甚藏病死届〕 西〔明和二年〕三月
一通 四五四

落合村惣百姓屆書写〔庄屋役候補者四名持高名前書上〕 大肝煎所宛 明和二年六月
一通 四三九

岩手組落合村長百姓次右衛門外五名願書控〔庄屋甚藏病死二付、跡役与市左衛門外二名之内江仰付願〕 明和二年一〇月
一通 四五二〇

狸平村庄屋七右衛門外二名屆書控〔与頭四右衛門病死届〕 大肝煎所宛 明和二年
一通 四五七四

狸平村庄屋七右衛門願書控〔老衰病身二付、庄屋役御免願〕 与頭二名加判・大肝煎佐藤八平連署 御奉行所宛 明和二年
一通 四六一

狸平村与頭百姓代四名願書控〔庄屋七右衛門退役二付、孫養子七左衛門へ跡役仰付願〕 明和三年二月
一通 四五二

岩手組黒岩村庄屋権右衛門外四名願書控〔庄屋佐五右衛門死去三付、跡役俸孫右衛門へ仰付願〕 高木権太夫宛 明和三年九月
一通 四五四

落合村清兵衛外四名口上一札下書〔落合村懸持庄屋百木村五右衛門跡役之儀、御内意を以弟甚藏へ相統被仰付候様願出二付、御上へ御答之節申披請合一札〕〔年欠〕
一通 四六三〇

改判・改名

岩手組竹直村組頭半兵衛願書控〔印判紛失二付、改判願〕 与頭曾五右衛門・庄屋嘉左衛門加判 宝曆四年閏二月
一通 四五〇〇

岩手組狸平村庄屋七右衛門願書控〔庄屋七右衛門改判願〕 与頭三名加判 宝曆一二年八月
一通 四五二一

上金原村庄屋平次郎屆書控〔印形破損二付、改判届〕 大肝煎佐藤八平連署 山上郷右衛門宛 明和三年二月
一通 四五七六

大肝煎佐藤八平屆書控〔岩手組落合村庄屋五右衛門改名届〕 御奉行所宛 子五月
一通 四五五

その他

岩手組芋嶋村上灰庭新田庄屋与左衛門外四名願書控〔与頭役増員願并別紙候補者書上〕 延享元年附 別紙覚書控〔候補者名〕

二通 四七

〔岩手組大肝煎〕答書控〔岩手組落合村庄屋百木村の懸持庄屋相勤候訳并上金原村庄屋馬正面村の懸持庄屋相勤候訳御尋ニ付、答書〕 高木権太夫宛 丑〔宝曆七年〕十一月

一通 四六

岩手組下金原村庄屋市郎左衛門答書下書并控〔下金原村庄屋川浦附下小野村の懸持庄屋仕候訳御尋ニ付、答書〕 佐藤八平奥書 宝曆七年十一月

二通 四七

諸伺・届書

岩手組一四ヶ村村役人答書控〔家々ニ所持候日本之記録日記類之書籍外題并冊数御尋ニ付、無御座旨答書〕 狸平村外一三ヶ村庄屋組頭・大肝煎佐藤八平連印 御奉行所宛 延享二年七月

一通 四六

上金原村庄屋平次郎外二名願書控〔氏神稲荷大明神修復并作場道橋普請ノ為メ、笠受芝居仕度願書〕 延享二年

一通 四四

岩手組大肝煎佐藤八平伺書控〔岩手組下条御蔵御年貢之儀、越前屋十三郎方江御質入ニ被遊柿崎村江蔵移被仰付候ニ付、諸事伺書〕 御奉行所宛 寛延二年一〇月

一通 四五

岩手組大肝煎佐藤八平伺書下書〔田中組森下新田・五十嵐新田両村儀、大肝煎代役赤沢村茂右衛門方へ遠方ニ付、百問町組大肝煎と御用向引分致度旨願出候趣伺書〕 御奉行所・尾崎文蔵宛 明和二年六月

一通 四二

田中組森下新田村庄屋八郎左衛門并五十嵐新田村庄屋瀬治右衛門連印一札〔同前一件、御上へ御伺願ニ付、公納物・諸割合物は組合一同ニ相懸リ可申旨請合一札〕 岩手組大肝煎佐藤八平宛 明和二年六月

一通 四三

大肝煎佐藤八平口上覚書下書〔美右衛門・弥五兵衛儀、御米方等実味相働申候旨申上〕 御山奉行所宛 一〇月

一通 四五

岩手組大肝煎佐藤八平伺書控〔指紙宛先不明ニ付伺、并宗門人別其外御改ニ付印形之件、日限御指延伺〕 郡御奉行所宛 子一〇月二〇日

一通 四六

災害・救恤

地震損所

岩手組村々地震ニ付田畑痛所書上帳 大肝煎佐藤八平 御奉行所宛 寛延四年五月

横長美

一冊 七三

四月廿五日夜地震ニ付村々破損書上帳 岩手組大肝煎佐藤八平 御奉行所宛 寛延四年五月

横長平

四冊 七三

岩手組村々地震破損所書上帳控綴 寛延四年五月

一綴 二五五
(二巻) 二五五

。地震ニ付万痛書上帳 岩手組落合村庄屋・組頭 御奉行所宛 寛延四年五月

横長美

一冊 二五五

。岩手組下条村充家書上ヶ帳 庄屋・組頭 寛延四年五月

横長美

一冊 二五五

。岩手組下金原村大地震ニ而大破仕改書上帳 庄屋・与頭 寛延四年五月

横長美

一冊 二五五

。御田地砂入痛当村家つふれや書上帳 岩手組江嶋新田村庄屋・与頭 寛延四年五月

横長美

一冊 二五五

。岩手組上金原村地震ニ付破損書上帳 庄屋・与頭 御奉行所宛 寛延四年五月

横長美

一冊 二五五

。岩手組桜町新田村痛所御改ニ付書上帳 庄屋・組頭 御奉行所宛 寛延四年五月

横長美

一冊 二五六

。上下浜新田村大地震ニ付破損所書上 上下浜
新田村庄屋・与頭 大肝煎所宛 未(寛延四年)五
月五日 一通 二五六一

。岩手組辛嶋村上灰庭新田四月廿五日夜大地震
ニ付痛所書上帳 庄屋・与頭 寛延四年五月 横長美 一冊 二五六二

。中山村地震ニ付破損所書上 岩手組中山村庄屋
・与頭 寛延四年五月 一通 二五六三

。黒岩村地震ニ付破損所書上 岩手組黒岩村庄屋
・与頭 寛延四年五月 一通 二五六四

。狸平村地震ニ付破損所書上 岩手組狸平村庄屋
・与頭 寛延四年五月 一通 二五六五

竹直村地震ニ付破損所書上帳 庄屋・与頭 御奉行
所宛 寛延四年五月 美 一冊 二五六六

山崩・火事

横山村山崩之場絵図下書 延享五年三月一四日 28.0 X 28.0 一枚 四三〇五

岩手組大肝煎佐藤八平注進書控〔下条村六軒焼失
并下条御蔵所無事之旨注進〕御奉行所・御代官所・
郡御奉行所・山御奉行所・佐藤喜兵衛宛 巳二月一
六日丑刻 一通 四六八

水旱損・虫付

桜町新田村庄屋又右衛門外一名注進書控〔永照
ニ付旱損仕候田地反別〕大肝煎佐藤八平加判 宝曆
二年六月 一通 四三七

岩手組落合村外六ヶ村村役人注進書控〔干損ニ
付迷惑至極之旨訴〕大肝煎佐藤八平奥書 宝曆四年
七月 一通 四四三二

岩手組江嶋新田村外二ヶ村村役人注進書控
〔虫付損毛ニ付、迷惑至極之旨訴〕大肝煎佐藤八平
奥書 宝曆四年七月 一通 四四三三

岩手組上金原村田畑水押大痛書上帳 庄屋平次
郎外与頭・長百姓二名 宝曆七年六月 横長美 一冊 八四〇

満水ニ付田畑川欠砂入水堀痛所高反別書上帳
岩手組落合村 庄屋甚蔵外一名 宝曆七年六月 横長美 一冊 八四一

大肝煎佐藤八平届書控〔急満水ニ付岩手組村々田畑
砂入水押場所并橋用水堰流失場所注進〕御奉行所・
郡御奉行・御代官所宛 明和二年六月 一通 四四三七

上下浜新田村庄屋恵助外一名注進書控〔田高之内、
水満虫付ニ而悪作仕候町歩〕明和二年八月 一通 四四六〇

拝借米金

岩手組一四ヶ村庄屋願書控〔去丑悪作ニ付、作夫
食米拝借願〕狸平村外一三ヶ村庄屋・大肝煎佐藤八
平連印 延享元年三月 一通 四四四三

岩手組一四ヶ村庄屋願書控〔去子悪作ニ付、作夫
食米拝借願〕狸平村外一三ヶ村庄屋連印 延享二年
一通 四四四五

岩手組一五ヶ村村役人作夫食米拝借証文控
狸平村外一四ヶ村庄屋組頭・(大肝煎)佐藤八平連印
一番御蔵宛 延享二年四月 一通 四四四六

岩手組一五ヶ村村役人作夫食米拝借証文控
狸平村外一四ヶ村庄屋組頭・大肝煎佐藤八平連印
壹番御蔵宛 延享三年三月 一通 四四四九

岩手組大肝煎佐藤八平借延米証文控〔岩手組狸
平村兵左衛門火難ニ付拝借米借延〕延享四年一月
一通 三三七

下条村外五ヶ村村役人作夫食米拝借証文控
庄屋与頭連印 寛延四年閏六月 一通 四五六

落合村外二ヶ村村役人願書控〔不作并大地震ニ而
困窮ニ付、拝借米願〕庄屋組頭長百姓連印 御奉行
所宛 宝曆元年一月 一通 四四三〇

拝借金年賦上納請合証文 宝曆元年一二月 袋入 三通 四二八

。岩手組芋嶋村外六ヶ村村役人拝借金年賦上納 請合証文〔当四月中大地震ニ付、從江戸表御拝借金〕 大肝煎所宛 宝曆元年二月	一通 四二八	横長半
。岩手組下条村外六ヶ村村役人拝借金年賦上納 請合証文 大肝煎所宛 宝曆元年二月	一通 四二九	
。岩手組落合村外二ヶ村村役人拝借金年賦上納 請合証文 大肝煎所宛 宝曆元年二月	一通 四三〇	
宝曆元未年拝借金拾年賦返上納請取元帳 宝曆二年一〇月	一冊 七五三	横長美
岩手組上金原村外七ヶ村村役人願書控〔去戌悪作ニ付、作夫食拝借願〕 大肝煎佐藤八平連署 宝曆五年三月	一通 四四三	
岩手組上金原村外七ヶ村村役人作夫食拝借証文控 大肝煎佐藤八平加判 宝曆五年	一通 四四五	
大肝煎佐藤八平米請取証文控〔岩手組村々飢人扶持米〕 老番御藏宛 宝曆六年二月	一通 四四四	
大肝煎佐藤八平願書控〔岩手組村々無高百姓飢候ニ付、人数書上御救米拝借願〕 御奉行所・水主弥一兵衛宛 宝曆六年三月	一通 四四五	
岩手組一四ヶ村村役人願書控〔去亥悪作ニ付、作夫食拝借願〕 落合村外一三ヶ村庄屋組頭連印、大肝煎佐藤八平連署 宝曆六年	一通 四四一	
岩手組一四ヶ村村役人作夫食米拝借証文控 落合村外一三ヶ村庄屋組頭連印、大肝煎佐藤八平連署 宝曆六年	一通 四四三	
子作夫喰米飢人御救米渡方覚 岩手組 宝曆六年	一冊 二五六	横長半
岩手組村々飢人夫食御願帳控綴 宝曆七年正月	一綴 二五六 （九冊）二五七 二五五	
。岩手組桜町新田村飢人夫食御願帳 庄屋・組頭 宝曆七年正月	一冊 二五六	横長半

。岩手組江嶋新田村飢人夫食御願帳 庄や・与頭・長百姓 宝曆七年正月	一冊 二五六	横長半
。岩手組竹直村飢人夫食御願帳 庄屋・与頭・長百姓 宝曆七年	一冊 二五六	横長美
。芋嶋村飢人夫食御願帳 庄屋・与頭・長百姓 宝曆七年	一冊 二五七〇	横長半
。岩手組下灰庭新田村飢人扶持御願帳 庄屋・与頭・長百姓 宝曆七年	一冊 二五七二	横長半
。岩手組猿毛村飢人夫食御願帳 庄屋・与頭・長百姓 宝曆七年正月	一冊 二五七三	横長美
。岩手組黒岩村飢人夫食御願帳 庄屋・組頭・長百姓 宝曆七年	一冊 二五七四	横長美
。岩手組狸平村飢人夫食御願帳 庄屋・与頭・長百姓 宝曆七年	一冊 二五七五	横長美
。落合村飢人夫食御願帳 庄屋・組頭・長百姓 宝曆七年二月	一冊 二五七五	横長美
岩手組一四ヶ村村役人作夫食米拝借証文控 落合村外一三ヶ村庄屋組頭連印、大肝煎佐藤八平連署 宝曆七年	一通 四四三	
岩手組一四ヶ村村役人願書控〔去子悪作ニ付、作夫食拝借願〕 落合村外一三ヶ村庄屋組頭連印、大肝煎佐藤八平連署 宝曆七年	一通 四四四	
岩手組村々作夫食米拝借証文案詞 大肝煎佐藤八平連署 御奉行所宛 宝曆八年二月二十四日	一通 四四六	
岩手組一四ヶ村村役人願書控〔去丑悪作ニ付、作夫食米拝借願〕 落合村外一三ヶ村庄屋組頭連印、大肝煎佐藤八平連署 宝曆八年二月	一通 四四〇	

治安・吟味

狸平村友右衛門口上書〔横山村善利より預り候伝并道具雜物ニ付、不審之儀御吟味ニ付、口書〕吉右衛門外一四名奥書加判 庄屋所宛 寛延元年十二月	一通	四四九
岩手組猿毛村村役人威鉄砲借用証文〔後欠〕庄屋作左衛門・四郎左衛門外二名連印 寛延二年六月	一通	四四九
黒岩村三左衛門稻盜取一件 寛延四年七月	三点	
。黒岩村峠三左衛門口上書控〔私儀、城腰村惣兵衛作稻等盜刈候次第、御吟味ニ付口上〕峠百姓彦兵衛外六名奥印 黒岩村庄屋所・与頭所宛 寛延四年七月一八日	二通	四四三
。黒岩村峠百姓彦兵衛外六名并長百姓・与頭・庄屋八名連印願書控〔黒岩村三左衛門儀、我儘ニ付、宗門帳御所根限願〕 寛延四年七月	一通	四六八
。〔右手組大肝煎〕佐藤八平口上覚書控〔岩手組黒岩村三左衛門所根限相願候訳〕御手代中宛 未〔寛延四年〕七月二十四日	一通	四五一
頸城郡狸平村治三郎一札証文写〔拾申候尺八御取上ニ付、以後ふかせ申間敷旨一札〕庄屋七右衛門・与頭甚右衛門加判 蒲原郡下田中ノ村明あん寺林正宛 宝曆三年四月	一通	四四四
猿毛村首縊一件 宝曆四年七月	五点	四〇九
。猿毛村友右衛門首縊一件諸書物 宝曆四年七月二十六日	一冊	四〇九
。猿毛村村役人五人組連印一札〔猿毛村友右衛門、同村孫左衛門と及口論、疵付候ニ付、村中へ預リ一札〕大肝煎所宛 宝曆四年七月一日ノ佐藤八平添書写 御奉行所宛	一通	四〇九
。猿毛村孫左衛門倅幸左衛門願書控〔友右衛門吟味願〕庄屋組頭四名・大肝煎佐藤八平奥印 御奉行所宛 宝曆四年七月一日	一通	四九三
。猿毛村友右衛門口上書控〔孫左衛門疵付申候処相違無御座旨〕庄屋与頭三名・大肝煎佐藤八平奥印 御奉行所宛 戊〔宝曆四年〕七月一日	一通	四九三
。野呂理左衛門外三名用状〔友右衛門首縊一件申渡之儀ニ付〕岩手組大肝煎佐藤八平宛 七月二十八日	一通	四九四
。芋嶋村欠落人持田地小作米一件 宝曆四年一二月	四点	三九三
。芋嶋村庄屋与左衛門外三名注進書〔芋嶋村只右衛門欠落ニ付、泉村小作人作右衛門小作米上納方吟味之件〕大肝煎所宛 宝曆四年一二月	一通	三九三
。八木瀬助書状 佐藤八平宛 宝曆四年一二月一日	一通	三九四
。八木瀬助書状〔前欠〕佐藤八平宛 宝曆四年一二月二日	一通	三九五
。田中組泉村小作人作右衛門請書写〔芋嶋村只右衛門持田地小作米御蔵御上納請書〕庄屋貞平連署 御大肝煎所宛 宝曆四年一二月二〇日	一通	三九六
川井村庄屋次郎兵衛・組頭兵藏連署一札写〔下条橋落失行桁老本、当村百姓取揚之儀不屈之旨御吟味ニ付、御答一札〕柿崎御年番所宛 宝曆五年四月二八日	一通	四四六
竹直村仲右衛門并仲右衛門主人久兵衛詫一札〔久兵衛家来仲右衛門儀、当秋検見之節人足札請取不申候ニ付、詫一札〕庄屋嘉左衛門・組頭二名加判 大肝煎所宛 宝曆六年一一月	一通	四四七

芋嶋村上灰庭新田平右衛門外四名并村役人惣百
姓願書〔他領御家中奉公ニ付御吟味之趣、御咎懸相
成候様〕願人平右衛門外四名并親類・五人組・惣百
姓・与頭庄屋四五名連印 御大肝煎所宛 明和四年
正月 一通 四四四

下条村源右衛門并村役人惣百姓請書控〔源右衛門
儀、佐内古新田村与違変一件内済後諸方徘徊致候ニ
付、御咎被仰渡、御請一礼〕源右衛門并親類・五人
組・惣百姓・与頭・庄屋三三名連印 御奉行所宛
明和五年三月 一通 四四五

下条村庄屋与頭四名口上届書〔あぶれ者二人惡口
難言致候ニ付、村中相集打擲仕候処、兩人共逃申候
旨届〕大肝煎所宛 卯四月二四日 一通 四六三

諸 稼

相 場

鉢崎宿御宿八郎兵衛所相場書上写〔米・大豆・大
麦・金相場〕大久保江七兵衛様御内宛 延享三年五
月一八日 一通 四六六

酒 造

○柿崎村彦右衛門
柿崎村彦右衛門願書控〔頸城郡大町村治兵衛方江酒
株分ケ譲リ願〕庄屋孫八外与頭百姓代連署 川浦御
役所宛 寛保三年五月 一通 四六七

柿崎村彦右衛門酒造株高讓渡証文控 名立大町村
治兵衛宛 寛保四年九月 一通 四六八

大町村治兵衛願書控〔酒造役永之儀、荒井役所直納
願〕荒井御役所宛 延享元年九月 一通 四六九

〔柿崎村彦右衛門〕再願書控〔酒株三石大町村治兵
衛方江分ケ譲候ニ付、御役永三石分引分ケ願〕子
〔延享元年九一〇月二三日〕 一通 四七〇

柿崎村彦右衛門願書控〔頸城郡能生町次郎兵衛方
江酒株分ケ譲リ願〕庄屋孫八外与頭百姓代加判 川
浦御役所宛 延享二年一月 一通 四七七

柿崎村彦右衛門造酒株高讓渡証文控 能生町次郎
兵衛宛 延享二年閏二月 一通 四七八

柿崎村彦右衛門願書控〔頸城郡池舟村作左衛門方江
酒株分ケ譲リ願〕庄屋孫八外与頭百姓代連署 近藤
万五郎様御役所宛 延享二年閏二月 一通 四七三

柿崎村彦右衛門造酒株高讓渡証文写〔池舟村作右
衛門宛 延享三年二月 一通 四七七

○その他

岩手組竹直村曾左衛門願書控〔酒造相止申度ニ付、
運上御免願〕組頭二名・庄屋嘉左衛門加判、大肝煎
佐藤八平連署 宝曆二年五月 一通 四六三

岩手組竹直村曾左衛門願書控〔中山組戸野目村次
右衛門方江酒株讓渡願〕組頭二名・庄屋嘉左衛門加
判 宝曆三年 一通 四六三

八幡村善右衛門願書外二通案詞〔中山村五郎右衛
門へ酒株分ケ譲願、其外関係文書案詞〕高田御役所
其外宛〔宝曆二三年〕 一通 四六六

八幡村善右衛門酒株分ケ讓証文下書 庄屋七三
郎連署 中山村庄屋六右衛門・同村五郎右衛門宛
宝曆一三年八月 一通 四四七

蠟

代官日野小左衛門願書写〔越後国御買上蠟実穂之
儀、江戸町人等より請負願有之候ニ付、村毎ニ上納
方相考、書付可差出旨〕享保八年四月 一通 四四三

年番五人連署答書写〔頸城郡村々定納余蠟之儀ニ付
運上請負買取願一件、村方可否御尋ニ付、迷惑之趣
申上〕寛保元年 一通 四四四

(年番力)答書写〔頸城郡村々定納余蠟之分、売買直 段御尋三付、申上〕(寛保元年力)	一通	四四六五
下美守郷中組年番八平点蠟上納請負証文控 近 藤佐平治宛 寛保二年二月	一通	四四四三
岩手組大肝煎佐藤八平山里蠟実穂代金請取証文 控 吉田瀬左衛門外二名宛 延享二年	一通	四四四四
佐久間七兵衛外一名点蠟請取証文(岩手組村々当 酉年御買上蠟実穂) 岩手組大肝煎佐藤八平宛 宝曆 三年	一通	四四四〇
佐久間七兵衛外一名点蠟請取証文(岩手組村々 年御買上蠟実穂分) 岩手組大肝煎佐藤八平宛 戊 (宝曆四年力)十一月一〇日	一通	四四四六
小野浅右衛門点蠟請取証文 岩手組大肝煎佐藤八 平宛 宝曆六年閏十一月二四日	一通	三三七
山奉行所点蠟請取証文 岩手組大肝煎宛 戊(明和 三年)二月七日	一通	九一
岩手組中山村外二ヶ村村役人注進書控(蠟実穂相 成り不申候三付、上納蠟無之旨御届) 大肝煎佐藤八 平加判 御奉行所・山御奉行所宛 宝曆六年七月	三通	四四四一
中山村・猿毛村村役人願書控(山里蠟実穂、不熟 三付、上納指延願) 庄屋与頭連印 宝曆六年九月	一通	四四四九
中山村・猿毛村村役人請合一札控(当年納点蠟不 足分、来年上納可仕旨一札) 庄屋与頭連印 宝曆六 年閏一〇月(十一月)	一通	四四五〇
岩手組猿毛村・中山村村役人願書控(定納穂蠟不 熟三付 延納願) 庄屋組頭長百姓連印 宝曆一一年 一〇月	一通	四四五一
岩手組猿毛村・中山村村役人請合一札控(当年納 点蠟不足分、来年上納可仕旨一札) 庄屋組頭長百姓 連印、大肝煎佐藤八平連署 山御奉行所宛 宝曆一 一年一〇月	一通	四四五二

* 芋嶋村與右衛門書状(蠟年延願書調印方三付依頼)
岩手村佐藤御主人宛

○吉木蠟点所

(御買上蠟実穂点立請負一件御用留)(前欠)(佐
藤半治) 明和七年八月

半

一通 五〇三

河浦付・出雲崎付村々蠟納分 但里蠟共二 岩邑
長佐藤氏

袋入

三册 二五七

1 竹垣庄藏御代官所越後国頸城郡村々山里蠟
実穂納訳帳 竹垣庄藏川浦役所 寅正月

半

一册

2 越後国頸城郡定式臨時吉木点所納山里蠟実
穂村別帳

半

一册

3 (出雲崎附御代官所分村々山里蠟実穂納訳
帳) 佐藤半次 卯二月

半

一册

吉木御点所日記

半

一册 二六七

寺 社

寺 社 書 上

(岩手組村々寺社書上帳控) 岩手組大肝煎佐藤八
平 延享三年七月

美

一册 五

楞 嚴 寺

芋嶋村禪宗大仏山楞嚴寺住職名札 寛延元年
明和二年

五枚 四六〇元
(貼色)

芋嶋村庄屋与左衛門外三名届書控(芋嶋村楞嚴寺
弟子香林病死届) 延享二年

一通 四四七九

岩手組芋嶋村楞嚴寺願書控(印判紛失三付、改判
願) 庄屋与左衛門外与頭四名并大肝煎佐藤八平加判
宝曆四年六月一二日

一通 四四四九

芋嶋村楞嚴寺願書控〔江湖興行願〕庄屋与左衛門外与頭三名并大肝煎佐藤八平加判 御奉行所・御代官所・宗門御奉行所宛 宝曆六年二月

一通 四五二

芋嶋村楞嚴寺願書控〔楞嚴寺先住弟子育芳外一名、金毛和尚ニ附添、越前国福井孝願寺へ移転願〕与頭三名并庄屋与左衛門加判 宝曆八年三月

一通 四五六

〔楞嚴寺江湖送庵ニ付寺中騒立一件口上覚書下書〕大肝煎佐藤八平 辰七月

横長半

附 定右衛門書狀〔頭取刈羽郡原村福光寺内利通外一名申上〕大肝煎宛 七月一五日

一通 八七三

その他

岩手組竹直村真照寺願書控〔信州高井郡小山村普願寺より罷帰候ニ付御断〕庄屋嘉左衛門・組頭二名并大肝煎佐藤八平加判 御奉行所宛 延享元年六月

一通 四三六

岩手組芋嶋村庄屋与左衛門外三名届書控〔芋嶋村大日堂守心海病死届〕延享元年二月

一通 四〇七

岩手組下条村栄蓮寺願書控〔栄蓮寺堂大破ニ付、造立願〕庄屋組頭四名加判 延享二年

一通 四四七

竹直村真照寺願書控〔弟子智伝儀、馬正面村西念寺弟子ニ指遺願〕庄屋嘉左衛門外組頭二名并大肝煎佐藤八平加判 御奉行所宛 延享四年八月

一通 四四八

竹直村真照寺願書控〔西嶋組原町村忍西寺弟子左京ヲ後住養子ニ引取度旨願書〕与頭二名并庄屋嘉左衛門加判、大肝煎佐藤八平連署 宗門御奉行所宛 延享五年二月

一通 四九六

竹直村真照寺并村役人連印請合証文控〔原町村忍西寺弟子左京ヲ後住養子ニ引取候ニ付、身元請合一札〕大肝煎佐藤八平連署 宗門御奉行所宛 延享五年二月

一通 四〇〇

本誓寺役僧長樂寺届書一札写〔三嶋郡野田村願龍寺岩手組黒岩村旦那共当已宗門改印形之儀、本誓寺通印を以相済候旨〕加藤源蔵宛 寛延二年八月

一通 四六九

岩手組猿毛村浄土宗法仏寺願書控〔先住弟子恵心、米山寺村浄土宗兼王寺看主ニ遣シ申度願書〕庄屋与頭四名加判 宝曆七年四月

一通 四三二

芋嶋村浄土真宗西恩寺願書控〔西恩寺住持弟伯仙、砂場村善勝寺地中安樂寺後任ニ縁付願〕与頭三名并庄屋与左衛門加判 宝曆八年三月

一通 四三五

岩手組竹直村西本願寺下真照寺届書〔公儀御用ニ付、江戸築地御坊へ出立之旨届書〕庄屋嘉左衛門外与頭二名加判 大肝煎所宛 宝曆一〇年二月

一通 四三三

岩手組下条村浄土真宗浄専寺外四ヶ寺連印願書控〔本願寺法事并誓詞御用ニ付、京都へ罷越度旨願書〕下条村外三ヶ村庄屋与頭并大肝煎佐藤八平奥判 御奉行所・宗門御奉行所・御代官所宛 宝曆十一年三月

一通 四三四

岩手組下条村浄土真宗浄専寺願書控〔印形紛失ニ付、改印願〕庄屋組頭四名并大肝煎佐藤八平加判 宝曆十一年三月

一通 四三六

岩手組一四ヶ村村役人請合一札控〔当秋組中寺社方本寺改メニ付、指上候通相違無御座旨〕狸平村外一三ヶ村庄屋与頭并大肝煎佐藤八平連印 宝曆十一年九月

一通 四三五

岩手組桜町新田村真常寺願書〔本寺西本願寺江用事ニ付、上洛願〕庄屋又右衛門加判 大肝煎所宛 宝曆十三年五月

一通 四六九

岩手組大肝煎佐藤八平届書控〔竹直村真照寺外四名、御召ニ付、江戸参府届〕午七月

一通 四五〇

村 政〔岩手村〕

村 況

村明細帳

越後国頸城郡下美守郷之内岩手村差出帳(写)
岩手村庄屋八兵衛外与頭二名 御代官所宛 元禄九
年八月 美 一冊 二七

下美守郷岩手村鏡書上帳(下書) 庄や・与頭 享
保一〇年三月 美 一冊 三〇

越後国頸城郡岩手村巨細書上帳 高畑組岩手村庄
屋文吉外組頭二名 民政御役所宛 明治三年五月 美 一冊 二三

(村明細書上雛形) 民政御役所宛 明治三年六月 半 一冊 二九

道 路

水野村石工平次右衛門外三名連印一札〔貴殿所
持山江石付牛馬通行道新造二付、冥加米差出証文〕
請合世話人米山寺村清九郎加判 岩手村彦左衛門宛
慶応元年七月 包紙入 一通 四八

芋嶋村外九ヶ村惣代連印一札〔岩手村地内道筋取
繕二付、山方一〇ヶ村引請証文〕 芋嶋村庄屋小山與
右衛門外二名連印、証拠人高畑村湯本多十郎加判
岩手村村役人中宛 慶応三年二月 一通 四三

上灰庭村政古外四名爪印詔狀〔岩手村江無伺、同
村地内道普請致候二付〕 請人宮野入徳治加判 岩手
村戸長中宛 明治六年七月 一通 四二

村 繪 図

―『土地』『明治期土地制度』二九頁 も見よ

*元禄九子年岩手村絵図面写 (明治七年写カ) 一枚 八七五

村役人・村議定

村 役 人

馬正面附岩手村庄屋惣百姓仲間証文〔庄屋方へ
余荷高相定証文〕 庄屋友右衛門外与頭・百姓五名連
印 正徳四年六月 一通 八二〇

高畑組岩手村村中連印願書下書〔岩手村庄屋啓
助病身二付、跡役勇吉へ被仰付度願〕 天保一三年 一通 四四九

大肝煎所差紙〔御談申度候二付〕 岩手村庄屋中宛
(明治三年カ) 閏一〇月一八日 一通 八六六

村 議 定

岩手村伴助外二一名連判証文〔堰江はり道作普請
段々ゆるかせ罷成候二付、惣百姓打寄取極証文〕
享保五年二月二日 一通 八〇九

岩手村松兵衛外一八名連判証文〔千稻盜難取締・
村普請出精等二付、村中連判議定一札〕 庄屋所宛
宝暦元年二月 一通 四三三

諸願・届・詔書

秤御改ニ付所持主名前書上帳 黒岩組岩手村庄屋
佐藤喜太郎 大肝煎所宛 文化七年四月 一冊 五九

美

黒岩組岩手村庄屋喜太郎届書控〔御鷹御尋ニ付、
当村地内見当リ不申旨届〕 大肝煎所宛 寛政九年九
月

一通 四三三

黒岩組岩手村庄屋喜太郎外二名願書控〔高札二
枚、御文義見江兼候ニ付、書改願〕 寛政四年閏二月

一通 四五五

○詫書

岩手村冬蔵詫一札〔女召連関所通行之儀、御法度
御糺明ニ付、在所江立歸リ詫一札〕 同所庄屋所宛
明和九年七月／友七外一九名奥書加判

一通 四三七

岩手村十兵衛請合一札〔十兵衛身持井上納方等不
埒ニ付、親類兄弟五人組頭引受請合申候段、已後堅
相守可申旨〕 岩手村庄屋喜太郎宛 文化四年正月二
九日

一通 四三六

百姓安五郎詫一札〔大和正殿借用金証文ニ不埒之
加判致候ニ付〕 村役人中宛 天保九年二月／半兵衛
外三名奥書加判

包紙人

一通 八二四

岩手村安五郎外三名連印差出一札〔米山參詣之
者ニ對シ、茶屋ニなそらへ酒肴を調置候事、其外御
差当を請儀書一札〕 弥八外九名奥書加判 村役人中
宛 天保一一年四月

一通 八二五

岩手村物左衛門・左兵衛詫一札〔親類米山寺村茂
左衛門開作致候米ヲ密ニ商人江売渡候儀ニ付〕 組合安
左衛門外三名加判 御村役人中宛 弘化三年一二月

一通 四六〇

災害・救恤

戊戌岩手村飢人書上帳 庄屋友右衛門外与頭・長百
姓三名 享保一五年二月

横長美

一冊 五二四

岩手村百姓喜太郎口上答書控〔当年諸方困窮ニテ
極難之百姓へ手当方等御尋ニ付〕〔差出人貼紙〕 庄屋
松五郎 御大肝煎所宛 天明四年三月一二日
附 岩手村与頭兩人書上下書断簡〔極難之者
点檢書上〕

二通 四三九

辰開作夫食拝借御願帳扣 黒岩組岩手村庄屋松五
郎外与頭・百姓四名 天明四年三月

美

一冊 二五七

高畑組芋嶋村外一ヶ村村役人願書控〔違作・水
損ニ付、作夫食米拝借願〕 大肝煎湯本多十郎奥書
御奉行所・大肝煎所宛 嘉永五年一〇月

一通 四四六

義倉叔人別江御救御下知
郡中組々村々割賦一件書類〔控共〕 高畑組米
山寺蔵組 慶応二年八月

横長半

二冊 八六六
九六七

* 村方十五軒高畑村老軒焼失一件帳 岩手村庄屋
所 慶応四年七月八日

横長半

一冊 八三七

* (岩手村カ)願書下書〔田方作毛損毛井人足多分ニ
付、夫食拝借願〕 (年欠)

一通 八四六

安兵衛組借用手形〔家内一同難病ニ付〕 村御役所
宛 明治二年四月
喜兵衛米借用手形〔当辰為救売〕 村御役所宛 明
治元年七月

一綴 二九三
(二通)

御拝借米雜用割帳 岩手村・米山寺村 明治二年
三月

横長半

一冊 一六五

御用金才覚金并御拝金差引割賦帳 岩手村庄屋所
明治二年五月

横長半

一冊 一六八

高畑組岩手村貧民書上 庄屋佐藤啓助外 組頭二名
大肝煎所宛 明治二年九月

美

一冊 二五七

御救恵米割分請書〔民政役所触書并 請書難形享〕 高
畑組岩手村 明治二年一月

半

一冊 二九三

(当村)高持并窮民御手当米割賦請書一札 高畑
組岩手村庄屋佐藤啓八外組頭三名 明治二年一月

横長美

一冊 一六五

御救恵米 高割 貧民 割賦帳 岩手村庄屋所 明治二年二月	横長美 一冊 一六五五	明治二四年九月三十日大暴風雨ニテ水害地反別明細取調書下書 (黒川村大字岩手)	美 一冊 八九五
*御救恵米 高割 貧民 割賦帳 (下帳共) 岩手村庄屋所 明治二年二月	横長美 二冊 八三九	治安	
(御拝借金割賦帳下書) (明治二年)	横長半 一冊 一六五六	岩手村火札一件 (明和五年八月)	三通 九四八
(岩手村人名并極難渋人改帳) (明治二年)	横長半 一冊 一六五〇	1 領奉行所触書写 (川筋村々下男給米減少之儀ニ付大肝煎佐藤八平居宅ニ放火すべき趣立札有之、手跡改申付) 岩手組黒岩村外二ヶ村庄屋中宛 (明和五年) 八月一二日	一通
拝借金割賦書類 明治四年	袋入 三点 一六七一 一六七四	2・3 立札文言写 (佐藤家に対する火札) (明和五年八月八日)	二通
。高拝借返納割 岩手村庄屋所 明治四年八月	横長半 一冊 一六七三	手負人御吟味書留帳 (米山祭祀市之節、米山寺村ニ而打擲ニ逢ヒ打倒候者介抱一件) 岩手村 安永八年四月八日	一冊 四六三
辰之拝借米 岩手村庄屋所 明治四年八月三日	横長半 一冊 一六七三	○行倒人	
。同拝借米		奥州館田村甚之丞夫婦行倒一件 宝曆二年〜三年	八點 四〇九 四〇六
。拝借米返納金関係書付綴 明治四年	一綴 一六七四 (三通)	。旅人甚之丞并女房病氣書付覚 宝曆二年九月半	一冊 四〇九
1 高拝借其外返納金受取一札 十式番組郷長役場 岩手村庄屋中宛 未(明治四年)八月七日	一通	。正光寺往来手形 (奥州津輕平賀庄大光寺組館田村甚之丞夫婦) 諸國御役人衆中宛 宝曆二年四月一日	一通 四〇〇
2 岩手村拝借米年賦返納金勘定一札 辛未(明治四年)七月	一通	。京都旅宿燈屋引札 代庄兵衛	板一枚 四〇一
3 高拝借取立割賦一札 拾貳番組郷長役場 屋佐藤文吉宛 明治四年七月	一通	。赤沢村雲門寺一札 (奥州館田村亡甚之丞妻まつ病死ニ付、土葬致置候旨) 宝曆二年一〇月	一通 四〇二
岩手村備荒貯穀高届書控 第七大区八小区岩手村戸長佐藤文吉外二名 總代中宛 壬申(明治五年)一〇月	一通 二五四	。奥州平賀庄館田村庄屋庄左衛門外一名書状 (甚之丞并女房、病中御介抱并死骸埋葬之儀、御札) 岩手村庄屋平六外二名宛 (宝曆二年) 一二月二七日	一通 四〇三 包紙入
岩手村百姓惣代佐藤文吉口証書控 (自村川下丸山堰組五ヶ村早魃ニ付、水下ケノ件) 第五号御出張所宛 明治九年八月二四日	一冊 八九元 美	附 御状箱封印并合符(包紙入)	二枚 四〇三

館田村庄屋庄左衛門書狀〔金子式兩同封之旨〕 岩手村庄屋平六宛（宝曆二年）二月二七日	包紙入	一通	四〇四
岩手村庄屋平六書狀控〔金式兩之儀、甚之丞夫 婦追善料并墓碑建立料等ニ致候旨通知〕館田村庄 屋庄左衛門宛（宝曆三年）二月（二〇日）	包紙入	二通	四〇五
附 赤沢村雲門寺役僧金子請取証文写 宝 曆三年二月			
館田村庄屋庄左衛門書狀〔二月廿日付岩手村庄 屋平六書狀御札〕岩手村庄屋平六宛（宝曆三年） 五月二〇日	包紙入	一通	四〇六
（但馬国城崎郡戸島村嘉一郎女房すま行倒一件 書類下書）天保九年八月	横半	一冊	五〇三
岩手村安太郎行倒書上一件写 嘉永五年（一月）	美	一冊	四六〇
○捨子			
芋嶋村太次右衛門一札〔岩手村地内八幡宮前之捨 子、娘りや子ニ付、引取方取極一札〕芋嶋村庄屋与 左衛門・与頭三名奥印 岩手村庄屋平六外与頭二名 宛 宝曆一〇年九月一六日		一通	四八七
諸 稼			
酒 造			
御請書〔無株酒造稼取締被仰渡ニ付請書控并大肝煎 申上書写〕高畑組岩手村庄屋啓助外与頭・百姓代 大肝煎所宛 安政六年二月	美	一冊	二五八
（酒造高十分一役米ニ付触書写）大肝煎所 中山 村・岩手村・上輪村右村々庄屋中宛 亥正月一八日	美	一冊	二〇二
黒岩組岩手村善兵衛差上一札〔中条村造酒屋清左 衛門方々請酒商売仕候ニ付、隠造等仕間敷旨其外請 合一札〕同組同村喜太郎外二名宛 寛政五年八月		一通	八二六

黒岩組岩手村善兵衛差上一札控〔酒造御改ニ付、 休株中之旨申上〕八左衛門外二名連署 小川喜蔵・ 藤村長吉宛 享和二年二月		一通	八二七
自飲醸造調（下書共）第七大区小七区岩手村（明 治一一年九）	蠟	二通	一七九
中山点所文左衛門職請取覚 岩手村庄屋松五郎宛 丑（天明元年）一〇月二五日		一通	一〇四
鮭 鮎 魚			
○米山川通川役永上納願一件			
中山村外七ヶ村村役人願書〔米山川通鮭鮎築冥加 川役定上納願〕高田御預地御役所宛 明和元年九月		一通	三七五
中山村外一〇ヶ村村役人願書下書〔同前〕御奉 行所宛 明和元年九月		一通	三七五
中山村外一〇ヶ村村役人願書控〔同前〕御預地御 役所宛 明和元年一〇月		一通	三七六
中山村外一〇ヶ村村役人願書控〔同前〕楡井美右 衛門奥印 高田御預地御役所宛 明和元年一〇月		一通	三七六
芋嶋村庄屋与左衛門外一名申上書下書并控〔川 役永村当割合方御尋ニ付、申上〕御預地御役所宛 明和元年一〇月		三通	三七三
川役永割合一ヶ村川路庵絵図下書并控 明和 元年二月（一〇月）		三枚	三七三
田中組松留村村役人願書控〔米山川通川役永上納 願〕御預地御役所宛 明和元年一〇月		一通	三七四
下条村外六ヶ村村役人申上書控〔米山川通鮭鮎仕 候者有無御尋ニ付、無御座旨申上〕明和元年一〇月		一通	三七五
柿崎川通鮭築御運上覚帳 明和元年七月五日	横長美	一冊	三七六

米山川前々御運上十ヶ年分書上帳控 中山村六右衛門外一〇ヶ村庄屋 高田御預地御役所宛 明和元年 横長半 一冊 三七六

米山寺川通御役永拾ヶ年上納願村々川路間數付分帳 中山村外一〇ヶ村 明和元年二月 横長美 一冊 三七六

米山寺川通川岸間數御改ニ付、村々書上書類綴籠嶋伝右衛門宛・御預所御役所宛 明和元年一〇月 二〇通 一綴 三七六

初田村外一〇ヶ村川役永割合覚 一枚 三七〇

米山寺村庄屋清三郎廻文案文〔川役之儀御相談ニ付、出会依頼〕（明和元年）九月 一通 三七二

岩手村外三ヶ村庄屋申上書下書〔御預地村々離候ても、御本領村々計ニ而川役銀請負可申旨〕 一通 三七二

米山寺村外一ヶ村庄屋追願書下書〔川役上納願書ヲ風祭甚三郎様御役所へ御引渡之旨〕 高田御預地御役所宛 明和二年三月 一通 三七三

その他

取調書上帳〔小間物商物諸品点検書上帳〕 高畑組岩手村 小間物商古兵衛外親類・組合頭・村役人連印 大肝煎所宛 天保一五年 横長美 一冊 二六五

岩手村友七願書控〔水油賣点相止申度候ニ付、油点役御免願〕 与頭二名加判 御奉行所・御代官所・代役宛 明和七年 一通 四二九

寺社

寺社書上

黒岩組岩手村寺社御除地書上帳控 庄屋啓助外二名 大肝煎所宛 天保九年四月 横長美 一冊 一三五

〔寺院神社明細書上雛形〕 宗門御奉行所宛 嘉永七年閏七月 半 一冊 二〇七

寺社書上帳 高畑組岩手村庄屋啓助外 与頭百姓代二名 宗門御奉行所宛 嘉永七年閏七月 美 一冊 二五

高畑組岩手村社地書上帳村控 庄屋佐藤啓助外組頭二名 明治二年四月 横長半 一冊 三

社寺宮地人別書上帳 岩手村庄屋佐藤啓八外組頭二名 明治三年正月 横長美 一冊 八九九

太神宮

太神宮御初穂 七大区小八区二番組岩手村 明治七年三月 横長美 一冊 八五〇

村社八幡宮

灰庭組岩手村社人大和請書一札控〔自身葬祭願ニ付、京都吉田の書付取可被参旨被仰付、承知〕 庄屋松五郎外一名加判、大肝煎湯本吉右衛門 奥印 宗門御奉行所宛 安永七年八月 一通 四八八

岩手村鈴木滝太郎外一名願書〔村社祭礼ニ付、若者共手踊許可願〕 戸長佐藤文吉外 戸副二名加判 柏崎県御庁宛 明治五年八月七日 柏崎県許可朱書 美 一冊 八六六

〔村社八幡神社本社并ニ拜殿・祠殿葺替修覆入用目論見帳下書〕 祠掌籠嶋憲章 明治一〇年六月 半 一冊 二七五

村社年中祭式入費定 祠掌籠嶋憲章 五十嵐寿司・佐藤文吉宛 明治一一年三月 横長美 一冊 二七五

附 籠嶋老人口上書 佐藤文吉宛 三月三〇日 袋入 一通 二七五

村社八幡宮修繕入費書類 明治一一年五月 袋入 二点 一七六

1 村社八幡神社神殿修繕簿記 岩手 明治一一年一月二九日 横長半 一冊

2 村社八幡神社修繕諸入費并区費・学校費等書類綴 一綴

岩手村氏子惣代大場義助佐藤文吉願書下書并控
〔五十嵐大倭長男五十嵐壽司を当村村社八幡神社祠掌
に任ぜられたき旨願〕 新潟県令永山盛輝宛 明治一
二年六月二日

岩手村旧神官五十嵐大倭願書控〔八幡社立木枝木
伐払願〕 中頸城郡長渡辺健藏宛 明治一四年三月二
八日

〔八幡社境内榎木損木伐採願ニ付、中頸城郡役
所告達書并米山寺村木村左一郎外願書等〕 明治
一四年三月五日〔一五年〕一月二二日

村社八幡宮秋神事覚 (明治)

正眼院

正眼院本宅誓言状写〔病氣ニ付、代僧を以宗門御改
判形仕候旨〕 寺社御奉行所宛 享保一一年五月二七
日

高畑組岩手村正眼院無住ニ付請合証文写 田中
組赤沢村禪宗雲門寺・高畑組岩手村役人・大肝煎
湯本多十郎 宗門御奉行所宛 天保一四年三月

禪宗寺宗門人別指上証文寄帳〔禪宗赤沢組赤沢村
雲門寺末寺正眼院無住差上〔紙証文控〕 元黒岩組若
手村無住正眼院 御代官所宛 文政六年八月／元黒
岩組惣代平助奥書

通減禄一時御下渡願控 岩手村正眼院檀中惣代佐
藤文吉 新潟県令永山盛輝宛 明治一二年二月／
赤沢村本寺雲門寺住職小池竜玄奥印

岩手村正眼寺檀中惣代佐藤文吉届書控〔社寺通
減禄受取方、赤沢村佐藤伊八郎へ委任届〕 新潟県令
永山盛輝宛 明治一二年二月／赤沢村本寺雲門寺
住職小池竜玄奥印

岩手村正眼寺檀中惣代佐藤文吉委任状控〔通減
禄受取方、赤沢村佐藤伊八郎へ委任〕 明治一二年一
二月

二通 八六六

一通 二七六〇

一通 二六二

一通 八六三

一通 八〇二

一通 二〇九四

一通 四六三

一通 八〇二

一通 八〇三

一通 八〇四

中頸城郡役所告達書写〔岩手村正眼寺通減禄金受
領書提出申入〕 米山寺戸長中宛 明治一四年三月一
八日

佐藤文吉并正眼寺墓所地券下與願書控〔佐藤文
吉并正眼寺分各二通〕 村惣代・戸長連印 新潟県
令永山盛輝宛 明治一七年七月

地券証印稅仕訳書控〔佐藤文吉并正眼寺分各二通〕
戸長高島清十郎連印 中頸城郡長渡部健藏宛 明
治一七年七月

佐藤文吉墓所地券下與願書控并下書 檀家惣代
・村惣代・雲門寺住職連印 新潟県令永山盛輝宛
明治一七年一二月四日

寺籍財産明細帳 正眼寺鑑寺雲門寺住職小池龍玄・
信徒総代岩手村佐藤文吉外三名 明治一九年五月

開墾廢止届控 黒川村大字岩手佐藤文吉 新潟県知
事籠手田安定宛 明治二八年四月一二日

附 野取図并地形図控 五月六日

開墾廢止届下書 黒川村大字岩手佐藤文吉 新潟県
知事籠手田安定宛 明治二八年四月一二日

開墾廢止地丈量図下書并覚書 (明治二八年)

黒川村役場通達書〔開墾年季明地出張検査ニ付〕 岩
手佐藤文吉宛 明治二八年五月二二日

黒川村役場通達書〔開墾廢止地取調、至急差出スベ
キ旨〕 佐藤文吉宛 (明治二八年)

正眼寺ニ関スル書付入包紙〔明治二七年三月九日
付新潟新聞〕

密 藏 院

幕刺代金請取書 密藏院受納所 岩手村御中宛 七月二四日

明治期寺社明細帳・
上知弘下關係書類

八幡神社正眼寺諸書物入

正眼寺ニ関スル書付入

明治三庚午々之書類社寺書

――以上三袋の内訳は次の通り

○年次目録

(寺院明細書上帳雛形) 明治三年閏一〇月

(岩手村正眼寺明細書上帳下書并控) 高畑組岩手村正眼寺・庄屋文吉外組頭百姓代三名 民政御役所宛 明治三年閏一〇月

(神社詳細取調書上帳雛形) 明治三年一二月

神社詳細取調書上帳〔雛形并高畑組岩手村円田神社書上控二冊〕円田神社神主五十嵐大倭・庄屋佐藤文吉外組頭百姓代 民政御役所宛 明治三年一二月
附 高畑組大肝煎湯本宗十郎奥印
円田神社境内反別籠絵図面一札控 神主五十嵐大倭外村役人四名 高田藩民政御役所宛 明治四年七月

神社詳細取調書上帳〔下書并控〕〔円田神社書上控〕円田神社神主五十嵐大倭・庄屋佐藤文吉外組頭百姓代 民政御役所宛 明治三年一二月／高畑組大肝煎湯本宗十郎奥印

袋入	袋入	袋入	袋入	美	美	半	美	美	美	美	美
六九点	二七〇九	二七〇七	一四二点	八六〇〇	八六〇三	四二点	八六四	一冊	二冊	一冊	一綴
二七〇九	二七〇七	八六〇〇	八六〇三	八六四	八六五	一冊	二冊	一冊	一綴	一冊	一綴
二七〇九	二七〇七	八六〇〇	八六〇三	八六四	八六五	一冊	二冊	一冊	一綴	一冊	一綴

(御朱印除地現収納書上帳雛形) 明治四年正月

御朱印除地現収納書上帳 高畑組岩手村 正眼寺・庄屋佐藤文吉外組頭百姓代 民政御役所宛 明治四年正月

社寺御朱印御除地現収納取調書上帳 高畑組岩手村 正眼寺・庄屋佐藤文吉外組頭百姓代 民政御役所宛 明治四年正月

御朱印除地現収納書上帳 高畑組岩手村 正眼寺・庄屋佐藤文吉外組頭百姓代 明治四年正月
附 小野三上謙藏書狀 岩手村佐藤御主人宛 一二月二九日

(太政官布告并御請書案文等)〔社寺領一般上地ニ付〕十二番組郷長所 米山寺村外八ヶ村庄屋中宛 (明治四年三月)

御請書〔社寺領一般上地之儀太政官布告ニ付〕十二番組岩手村 禪宗正眼寺・百姓代組頭四名 民政御役所宛 明治四年三月五日

神社之改革〔明治四年五月太政官布告等(神社社格令)〕岩手村庄屋所 明治四年八月

(岩手村外一五ヶ村神社境内書上帳控) 十二番組下小野村始・岩手村庄屋佐藤文吉外組頭二名 明治四年八月

除地現収納取調書上帳 岩手村正眼寺無住 明治四年一二月

(除地社寺境内絵図雛形并正眼寺籠絵図控等綴) 明治四年

頸城郡四ヶ所郷村社 岩手村戸長所 明治五年七月

(岩手村正眼寺書上控) 正眼寺・戸長佐藤文吉外戸副二名 柏崎県御序宛 明治五年九月

半	半	半	半	美	美	美	美	美	美	美	美
一冊	一冊	一冊	一通	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
八六九	八六〇	二七二	二七三	八六三	八六三	八六四	八六五	八六六	八六七	八六八	八六九
八六九	八六〇	二七二	二七三	八六三	八六三	八六四	八六五	八六六	八六七	八六八	八六九

〔正眼寺境内外上地山林取調帳下書〕 岩手村正眼寺旦家惣代佐藤文吉・用掛新部与八郎 新瀧県令楠本正隆宛 明治七年五月	美 仮一冊 二七三
正眼寺現今境内外田方上地小前一筆限帳 第七大区小八区岩手村 無住正眼寺・旦家惣代佐藤文吉・用掛新部与八郎 明治七年五月	美 一冊 二七三
正眼寺領田方小前一筆限帳 正眼寺現今境内外田方上地小前一筆限帳 第七大区小八区岩手村 旦家惣代佐藤文吉・用掛新部与八郎 明治七年五月	美 仮一冊 二七三
正眼寺領田方小前一筆限帳 明治七年五月	美 仮一冊 二七三
正眼寺領上地御払下ヶ書類 明治七年〃明治九年	袋入 一三點 八六〇
1 袋并包紙	二枚
2 正眼寺領上地払下願書并魚絵図控 旦家惣代佐藤文吉・用掛新部与八郎 新瀧県樵參事南部信近宛 明治七年五月	美 合二冊 各二冊
正眼寺現今境内外田方上地小前一筆限帳控 明治七年五月	二通
3 新瀧県地租改正掛達書并写〔正眼寺領上地払下受人富田永作より仮請取証書可差出旨〕 岩手村戸長宛 明治八年一〇月三〇日	二通
4 新発田住富田永作委任状写〔正眼寺領上地払下ヶ付、長岡住佐藤信八を代理人として委任〕 明治八年一二月二三日	二通
5 富田永作代理佐藤信八地所受取証書写〔正眼寺領上地払下ヶ地〕 岩手村戸長宛 明治八年一二月二三日	二通
6 富田永作・佐藤文吉願書控并写〔正眼寺領上地払下ヶ地、富田永作より旦家惣代佐藤文吉に売渡願〕 明治八年 明治九年	二通
7 富田永作地所譲渡証書〔正眼寺領上地払下ヶ地〕 証人二名加印 岩手村正眼寺宛 明治八年	美 一冊

8 岩手村正眼寺負債証書并写〔正眼寺領御払下ヶ代金〕 請人二名加判 岩手村佐藤文吉宛 明治九年五月一日	二通
9 正眼寺領払下ヶ代金受取書 小区長三上喜三 岩手村正眼寺旦那惣代佐藤文吉宛 明治九年五月一日	一通
10 正眼寺領上地払下代金請取書 新瀧県第三課地租改正掛 岩手村正眼寺宛 明治九年五月一日	一通
11 社寺除地一件出張入費届書 代理新沢多三治 岩手邸正眼寺宛 明治九年五月二七日	一通
12 富田永作・佐藤文吉願書并新瀧県令永山盛輝許可書〔正眼寺領上地払下ヶ地売買二付〕 戸長新部与八郎・三宅達外二名奥印 新瀧県令永山盛輝宛 明治九年七月七日〔新瀧県令許可書〕 明治九年一〇月七日付	一冊
13 岩手村戸長新部与八郎 届書控〔正眼寺領上地払下ヶ引渡申候旨届〕 新瀧県地租改正掛宛 明治九年七月一二日	一通
〔正眼寺境内外田開上地御払下願書控共〕 正眼寺監守平野徳明・旦家惣代佐藤文吉・用掛新部与八郎 新瀧県令楠本正隆宛 明治七年五月	美 仮二冊 二七三
正眼寺現今境内外上地魚絵図面	美 仮一冊 二七三
正眼寺田方土地魚絵図面	美 七枚 二七三
正眼寺領林山上地魚絵図面	美 一枚 二七三
村社八幡宮現今境内上地魚絵図面	美 七枚 二七三
三王社現今境内上地魚絵図面	美 七枚 二七三
岩手村無住正眼寺・旦家惣代佐藤文吉・旧社人五十嵐大倭・氏子惣代佐藤文吉・用掛新部与八郎 明治七年五月	美 七枚 二七三
社寺除地実地取調絵図面雛形 明治七年六月	美 一枚 二七三
岩手村社寺除地実地取調絵図面 第七大区小八区 岩手村用掛新部与八郎 明治七年六月	美 七枚 二七三

(正眼寺境内外田開上地御松下願書控) 岩手村無住正眼寺・旦家惣代佐藤文吉・用挂新部與八郎 新潟県令楠本正隆宛 明治七年八月	美	一冊	二七七
(正眼寺境内外旧除地田方山林上地御松下願書下書并控(繪図共) 岩手村無住正眼寺・旦家惣代佐藤文吉・用挂新部與八郎 新潟県令楠本正隆宛 明治七年八月	美	四冊	二七八 二七九 二八〇 二八一
(正眼寺領山林御松下願書控) 旦家惣代佐藤文吉・用挂新部與八郎 戸長三上喜三奥印 新潟県令楠本正隆宛 明治七年八月	美	飯一冊	二七四三
小八区戸長所用狀 (社寺明細帳書上ニ付、正眼寺本堂庫裏行間梁間敷取調申入) 岩手村佐藤文吉宛 (明治八年)三月五日	美	三通	八六五
附 正眼寺行間梁間敷取調控并覽 岩手村佐藤文吉 戸長所宛 明治八年三月五日	美	飯一冊	二七四
(正眼寺領并旧境内上地收入六ヶ年平均書上帳控) 旦家惣代佐藤文吉・用挂新部與八郎 新潟県令楠本正隆宛 明治八年七月	美	飯一冊	二七四四
社寺境内立木取調書上帳 岩手村 岩手村佐藤文吉 戸長新部與八郎宛 明治八年二月三〇日	半	一通冊	八六二
附 立木間敷取調覽	美	一冊	二七五
社寺收入六ヶ年平均并上知御松下願其外明細書上帳 第七大区小八区岩手村 氏子惣代旦家惣代佐藤文吉・新部與八郎・三上喜三 新潟県令楠本正隆宛 明治八年一月二月	美	一冊	二七五
(社寺收入六ヶ年平均并上知御松下願其外明細書上帳下書) (明治七年又ハ八年力)	美	飯一冊	二七五
八幡社・三王社・正眼寺点検帳 岩手村 明治八年一月二日	横半半	一冊	二七六
(三王社・正眼寺境外山林書上帳控) 改正用掛佐藤文吉・戸長新部與八郎・小區長三上喜三 新潟県令楠本正隆宛 明治八年一月二日	美	一冊	二七六

社寺境内区別飯杭打立ニ付請書控 岩手村改正用掛佐藤文吉 新潟県除地掛宛 明治八年一月二日五日	美	二通	二七九
神社明細書上帳 第七大区小八区二番組岩手村 戸長新部與八郎 明治九年二月八日	美	一冊	二七五〇
第七大区小八区神社表 祠掌龍嶋憲章宛 明治九年二月	美	一枚	二七五
(社寺領上地松下ニ付令達書写 貢税調并御受書難形写共) 新潟県第三課地租改正掛・新潟県令永山盛輝代理新潟県參事南部信近 第七大区小八区小區長三上喜三宛 明治九年四月一八日	半	二冊	二七五
(正眼寺領上地地下渡御受書并貢税調下書并控) 地主正眼寺・戸長新部與八郎・改正用掛佐藤文吉・小區長三上喜三 新潟県令永山盛輝宛 明治九年五月	美半	二冊	二七五
(正眼寺領上地地下貢税調控) 地主正眼寺旦家惣代兼改正用掛佐藤文吉・戸長新部與八郎 新潟県令永山盛輝宛 明治九年五月九日/小區長三上喜三奥書	美	二冊	八六三
正眼寺領上地地下渡御受書控 地主正眼寺旦家惣代佐藤文吉・戸長新部與八郎・小區長三上喜三 新潟県令永山盛輝宛 (明治九年五月)	美	二通	八六三
(正眼寺領上地地下貢税調并下渡御受書控) 地主正眼寺旦家惣代佐藤文吉・戸長新部與八郎・小區長三上喜三 新潟県令永山盛輝宛 明治九年五月	美	一綴 (二通)	八六四
(八幡社・山王社・正眼寺境内立木書上帳下書并控) 岩手村改正用掛佐藤文吉・戸長新部與八郎 新潟県令永山盛輝宛 明治九年七月三十一日	美	飯一冊	二七五
(境内墳墓地等字名反別書上控) 岩手村佐藤文吉 明治九年九月一八日	美	飯一冊	八六五
社寺境内明細簿 岩手村 戸長高嶋清十郎 明治三年四月八日	美	二冊	八六七

〔岩手村神社寺院明細帳下書并控〕 氏子惣代佐藤文吉外・祠掌五十嵐壽司・信徒惣代佐藤文吉外・權訓導小池龍玄 新潟県令永山盛輝宛 明治一六年八月一〇日

飯二冊 二七六三

〔神社明細帳之内村社呼称其外御札ニ付、御引直願書控〕 岩手村氏子惣代佐藤文吉外四名・祠掌五十嵐壽司 新潟県令永山盛輝代理大書記官木梨精一郎宛 明治一六年一月二八日

飯一冊 二七六四

〔岩手村神社除地書立覚〕 (明治)

一通 八六五

近代村政

町村編制

数村連合会規則并議案綴 (明治)

一冊 八六三

最寄七ヶ組連合会規則并議案綴 岩手村議員中宛 (明治)

一綴 八九七

〔町村編製法施行ニ付、米山寺村岩手村兩村組合議決届書控〕 右村々惣代麻場保蔵外三名・戸長高嶋清十郎・同新部興八郎 新潟県令永山盛輝宛 明治一二年七月三日

一冊 二七七

中頸城郡告達書回達亨〔第十中学高田校十三年度經費及農會員設置之件ニ付郡内惣聯合会開設〕 米山寺村戸長高嶋 議員御中宛 明治一三年一月一〇日

一通 二六三

学 校

学校資本金利子其外受領証 世話掛戸長三上喜三外 岩手村佐藤文吉宛 明治七年一月一六八年八月

一九通 四六二

学校資本金証文之控 第七大区小八区式番組岩手邑 明治八年六月

一冊 二七八

学校仕本金利子 明治八年九月八日

横長半 一冊 二六〇〇

明治九年七月ヨリ十二月迄公立学校資本金子取立帳 新潟県第七大区小七区岩手村 明治一〇年四月二日

横長半 一冊 四六五五

学校資本金褒賞并領新潟県庁往返入費岩手村割当覚 (明治一〇年七月)

一通 四六七一

公立学校資本金利子取立 明治一〇年八月一日

横長美 一冊 二六〇一

明治十年後季学費并学資本金利子殘金課賦書 式番組戸長所 岩手村惣代中宛 明治一二年二月九日

一通 四六七三

明治十一年上小野学校資本金利子取纏 岩手村 明治一一年七月二五日

横長半 一冊 二六〇三

公立小学校資本金利子取立帳 岩手村寄附人中 明治一二年一月二三日

横長美 一冊 二六〇三

明治十一年後季学校金利子受領証 詰合世話掛佐藤七郎治 佐藤宛 明治一二年一月二八日 附 半円紙幣 二枚

一通 四六六三

明治十二年正月ヨリ六月迄公立学校資本金利子取立帳 明治一二年八月一八日

横長半 一冊 四六六六

明治十二年後季上小野学校資本金利子取立帳 明治一三年一月一日・一二日

横長半 一冊 四六五七

明治十二年後季学校費并旧区元雜用割 岩手村 明治一三年一月一日

横長半 一冊 四六五九

明治十二年上小野出張米山寺郷藏学校費割 岩手村 明治一三年一月二七日

横長半 一冊 四六六六

米山寺村高橋清十郎用状〔前期学校費課賦金取立依頼〕 岩手村佐藤宛 明治一三年八月六日

一通 四六六三

明治十三年春季私校費生徒人数割課賦書 米山寺村高島清十郎 岩手村御中宛 明治一三年八月

一通 四六六四

学校資本金利子其外取立覧 明治一三年一六六年
戸長高島清十郎用状〔地租第二期其外并ニ学校資本金利子其外等取立依頼〕 岩手村佐藤文吉宛 明治一四年九月二六日

○年欠分

(学校資本金穀取扱規則并書式)

新瀉学校規則

地所書入学校金借用之証下書

飯学校入費生徒割分受領書 米山寺村高嶋清十郎 岩手村佐藤長八宛

米山寺村戸長役場出会依頼書〔組合入費課賦協議仕度〕 岩手村総代御中宛

小八区戸長三上喜三用状〔学校資本金書上之儀、二二日迄ニ可差出旨被仰渡候ニ付、取計依頼〕 岩手村佐藤文吉宛 九月二〇日

学校入費生徒人数割村々課賦高勘定書

三上内草間惣五郎金錢受領書 佐藤宛 七月三日

講金・資金

協力講懸金之通 講元田中留六・三上喜三 佐藤文吉宛 明治一二年二月一六日

肥料申込并受渡明細簿 資金管理者佐藤耕策 大 横長半 一冊 二五二

岩手肥料買入資金元簿 資金管理者佐藤耕策 大 横長半 一冊 二五二

肥料代金支払并取立簿 資金管理者佐藤耕策 大 横長半 一冊 二五二

肥料代金支払并取立簿 第貳号 資金管理者佐藤耕策 大正一三年一〇月 横長半 一冊 二五四

肥料代金支払并取立簿 第叁号 資金管理者佐藤耕策 昭和六年二月 横長半 一冊 二五五

岩手蓄積金覽帳 管理者佐藤耕策 大正一三年六月 横長半 一冊 二五六

第二回岩手馬頼母子講帳簿 講元吉村三次郎・鈴木松三郎 昭和一〇年一月一日起 横長半 一冊 二五七

物産・營業

(府県物産取調ニ付、大蔵省布達并雛形写) 壬申明治五年三月 半 一冊 二七九

(岩手村去壬申迄ケ年米麦諸産物大積り書上下書并控) 戸長佐藤文吉・戸副佐藤七郎次 明治六年四月 美 一冊 二八〇

收穫米取調帳 明治八年一〇月一九日 横長半 一冊 二八三

本年大小豆粟蕎麥植附并收穫高昨年ト比較増減調(雛形) 明治一二年一二月 附 高田事務扱所達書通知書 小七区受持副大区惣代 半 一冊 二八六

本年大小豆粟蕎麥植付并ニ收穫高昨年ト比較増減調 第七大区小七区岩手村地主惣代佐藤七郎治外一名・戸長新部与八郎 新瀉県令永山盛輝宛 (明治一一年一二月) 美 一冊 二八七

中頸城郡役所告達書写〔營業稅雜種稅收入金高等取調ニ付、營業人出頭令〕 旧二番組戸長 明治一二年三月八日 半 一通 二七六

(營業稅取調并營業等級仕訳書雛形) 明治一三年 半 一冊 二八四

用 状

高田呉服町長沢屋より吉村泰治書状〔地租改正変革ニ付村々帳記御下之件報知〕 岩手村佐藤宛 (明治七年) 一月二十七日 封紙入 一通 一七〇三

小山宋四郎書状写〔瀧町柏崎国道転線之件ニ付〕長峯新田外一〇ヶ村戸長中・村惣代中宛 (明治一一年か) 二通 一七六

附 正夫人足数覚

高嶋清十郎用状〔明治六・七兩年岩手村貢米津出帳尋方之件ニ付、相見へ不申旨返書〕 佐藤文吉宛 一月一七日 一通 四六〇

耕地整理事業

新潟県中頸城郡下黒川村大字川田阿弥陀瀬耕地整理規約 明治四一年一月一七日 美 一冊 八九〇

創業總會招集状 発起人下黒川村大字下條村岡多三郎外二六名 黒川村大字岩手佐藤耕策宛 明治四二年三月一二日 半 膳写版 一冊 八七三

創業總會招集状(第二回) 発起人下黒川村大字下條村岡多三郎外二六名 明治四二年三月 半 膳写版 一冊 八七六

自初年度至明治四十四年度下黒川村大字下條外七ヶ大字耕地整理地区経費収支決算書并大正元・式年度収支予算按 (大正元年) 半 膳写版 一冊 八三五

集会通知書〔当地区内ニ於ケル紛擾事件ニ付、願末報告等ノ為〕 勸解委員柿崎村長竹越虎雄外六名 黒川村大字岩手佐藤耕策宛 大正二年九月九日 膳写版 一通 八三六

その他

日記 岩手村 明治一〇年 横美半 一冊 八七五

帳簿御証印願御届雛形 総代長井準平宛 明治六年七月 一通 八六四

虎烈刺類似症日記 岩手村佐藤与八郎・同彦吉 横長半 飯一冊 二六〇一
明治二二年七月二八日

株券授方心得 第四十四国立銀行直江津出張所副支配人石塚六三郎 (明治一四年) 美 飯一冊 二七九七

柏崎県御役所入用・営繕入用・牢屋修覆入用・御用状持賃錢御書下ヶ写 柏崎県出納方 旧幕外四ヶ所惣代宛 明治三年七月 半 一冊 八九六

加藤嘉助ヨリ取立託金其外差引割賦覚〔岩手村取分〕三ヶ村立会 明治一二年六月一八日 一通 四六九

(吉川村大字赤沢旧八幡社々木調帳写) 明治四三年三月一三日 横長半 一冊 八七三

(地引絵図間数書出シ覚) 明治二七年七月二七日 美 一冊 八九七

(岩手村細川清吉徴兵御免除願書下書) 岩手村願人細川作次外四名 新潟県令楠本正隆宛 明治七年 半 一冊 二〇三三

争論・訴訟

組合村

用水争論

○下条堰普請場出入

享保一九年下条堰普請場出入文書写 午(寛延三年)四月

。上直海村竹直村村役人訴状写〔原町村相手、下条堰普請之節馬入差障之儀并築土手鍬入之儀迷惑ニ付差留願〕享保一九年四月/午(寛延三年)四月原町村庄屋与頭写取添書

。原町村村役人願書写〔上直海村・竹直兩村願書ハ無筋願ニ付返答書之通リ被仰付度旨〕庄屋組頭百姓五名連署 湯町御役所宛 享保一九年五月

。上直海村村役人再願書写 庄屋組頭百姓六名連署 湯町御役所宛 享保一九年六月/午(寛延三年)四月 原町村庄屋与頭写取添書

。原町村村役人再返答書写 庄屋組頭百姓六名連署 享保一九年七月一日/午(寛延三年)四月 庄屋与頭写取添書

西嶋組原町村村役人訴状写〔水上下直海・竹直兩村相手、下条堰普請小屋掛ケ場畑年貢滞訴訟〕庄屋組頭百姓六名連署 寛延二年三月

西嶋組上直海村・岩手組竹直村村役人返答書控〔下条堰普請小屋掛ケ場、古米見捨地ニ付 兩村堰所入用地と被成度旨〕 兩村庄屋組頭百姓一〇名連印 寛延二年五月

四通 四〇三六

一通 四〇三三

一通 四〇三四

一通 四〇三五

一通 四〇三六

一通 四〇三七

一通 四〇三六

上直海村・竹直村村役人願書控〔返答書之通リ被仰付度旨〕 兩村庄屋与頭七名連印 寛延二年一〇月 一通 四〇三九

原町村村役人願書写〔享保一九年下条堰一件書類写添付之上、再願書〕庄屋組頭三名連印 寛延三年四月(下四〇三三、四〇三六参照) 一通 四〇四〇

上直海村・竹直村村役人再三返答書控 兩村庄屋組頭七名連印 寛延三年六月 一通 四〇四一

上直海村・竹直村村役人願書控〔内濟被仰付候ニ付、再願書〕 兩村庄屋組頭七名連印 郡御奉行所宛 宝曆二年七月 一通 四〇四二

上直海村・竹直村村役人願書〔下条堰普請場所之儀、年貢地ニ可仕段内濟被仰付候ニ付再願〕 兩村庄屋組頭七名連印 岩手大肝煎所宛 宝曆二年九月 一通 四〇四三

上直海村・竹直村村役人請書控〔此度下条堰破損ニ付、普請場所入用米之儀内分御取計被仰聞御請一札〕 兩村庄屋組頭七名連署 岩手組・西野嶋組兩大肝煎所宛 宝曆四年四月 一通 四〇四四

原ノ町村村役人請書控〔同前〕 庄屋組頭三名連署 御大肝煎所宛 宝曆四年四月 一通 四〇四五

西嶋組大乘寺村庄屋佐五左衛門外一名届書〔此度普請中、論所借シ渡シニ付立会届〕 宝曆四年四月 一通 四〇四六

西嶋組片田村外一ヶ村并岩手組下金原村外二ヶ村庄屋申上書写〔下条堰用具置場一件、内分取計方水下兩村不得心ニ付御断〕 大肝煎所宛 宝曆四年四月/西嶋組大肝煎八木文左衛門・岩手組大肝煎佐藤八平連署添書 郡御奉行所宛 一通 四〇三九

原ノ町村・上直海村・竹直村村役人為取替証文控〔原ノ町村地内論所と上直海村地所、地替取極内濟〕三村庄屋組頭一〇名并取扱人手嶋村庄屋惣右衛門外三名連印 宝曆四年一月 一通 四〇四七

原ノ町村・上直海村・竹直村役人為取替証文
控〔去戌十一月取替証文之外、此度新規地替取極〕
三村庄屋組頭九名并扱庄屋二名連印 宝曆五年四月

一通 四〇六

水吉組外四組惣代庄屋五名申上書写〔下条堰普請
仕上々見分二付、郡中立会之儀、其外々々願書〕 触
元御役所宛 (年欠)

一綴 四〇九
(二枚)

下条堰普請小屋懸場并用具置所出入一件内済証
文下書 (年欠)

一通 四〇五〇

原町村役人口上書写〔下条堰御普請小屋場并用具
置所畑年貢滞三付、委細申上〕 庄屋組頭百姓六名連
署 (年欠)

一通 四〇五二

桜町庄屋又右衛門書狀〔下条用具置場、水下兩村
へ相渡候三付、一札差上之件〕 岩手村佐藤八平宛
(宝曆四年之) 五月一日

一通 四〇五三

〔竹直村〕庄屋嘉左衛門書狀〔下条堰替地之儀、首
尾能相済申候旨其外御届〕 佐藤八平宛 四月一八日

一通 四〇五三

○岩堰出入

西嶋組原野町村外二ヶ村役人申上書〔鳥越下町
兩村へ申懸候岩堰用水水論一件、御尋三付申上〕 兩
村庄屋組頭九名連印 御大肝煎所宛 宝曆五年七月

一通 四二七

岩堰出入済口証文写〔鳥越村・片田村用水出入済口
証文并下町村・片田村用水出入済口証文〕 宝曆五年
一月

一冊 二九三

○吉尾村堰出入

上輪新田村訴狀下書〔上輪村相手、吉尾村堰用水分
水停止訴訟〕 高田御役所宛 明和四年七月

一通 四〇七

上輪新田村役人百姓訴狀写 百姓与頭庄屋一五
名連署 御領奉行所・郡御奉行所・鉢崎大肝煎所宛
明和四年八月

一冊 四〇六

岩手村〔佐藤〕惣左衛門書狀控〔上輪新田村願之儀、
御評議宜シク御願〕 山田与三郎宛 亥〔明和四年〕閏
九月

一通 四〇五九

某書狀〔上輪新田村庄屋諸役動方三付委細申上〕

一通 四〇六〇

上輪新田村・吉尾村役人内済為取替証文控〔上
輪新田村・吉尾村江相掛、用水堰仕立故障出入一件〕
兩村庄屋組頭百姓代八名并取堰人三名連印 安永
七年四月

一通 四〇六一

吉尾村堰用水絵図面

28.0 x 19.2 cm
一枚 四〇六二

○坂田新田・上下浜新田用水堤出入

坂田新田村・上下浜新田村役人為取替内済証
文控〔坂田新田・上下浜新田江相掛、用水堰溜池堤土
手普請故障出入〕 兩村庄役人六名并取扱人七名連印
明和八年六月

一通 四〇五四

取扱内済証文下書并下札

一通 四〇五五

幾右衛門外三名連署内済案并取堰離レ届書下書
相沢彦右衛門宛 (明和八年九) 二月四日

一通 四〇五六

○保倉川願聖寺堰出入

松橋村・青野新田・宮本新田・北方新田・舟津
村四ヶ村江相掛用水一件書類

四通 四〇四

1 頸城郡松橋村庄屋四郎左衛門外一名訴狀写
〔青野新田村外三ヶ村相手、願聖寺用水堰高堰
幅并番水取極訴訟〕 明和九年八月 / 評定所
一座一〇名裏書 辰〔明和九年〕二月七日

一通 四〇四

2 青野新田外三ヶ村惣代庄屋返答書写 御奉
行所宛 安永二年二月

一通 四〇四

3 松橋村外三ヶ村役人内済取極証文写〔松
橋村・青野新田外二ヶ村江相掛用水出入〕 暖人
福嶋新田村外五ヶ村庄屋連署 御奉行所宛 宝
曆五年一〇月

一通 四〇四

4 松橋村外四ヶ村村役人内済取極証文写〔松橋村舟津村江相掛用水出入〕 暖人福嶋新田外五ヶ村庄屋連署 御奉行所宛 宝曆五年一〇月

一通

四〇二

松橋村外四ヶ村庄屋一札〔取扱人諸人用ニ付、訴訟方相手方双方引請証文〕〔取扱人〕岩手村松五郎・馬正面村幾右衛門宛 安永二年六月

一通

四〇五

取扱人馬正面村幾右衛門并岩手村松五郎同書下書〔四ヶ村水割日数内済案ニ付〕 鈴木千藏・吉岡佐四郎宛 已〔安永二年〕六月

一通

四〇六

取扱人岩手村松五郎并馬正面村幾右衛門屈書控〔内熟不相調ニ付、取扱人辞任届〕 鈴木仙藏・吉岡佐四郎宛 安永二年七月

二通

四〇七

双方五ヶ村庄屋一札控〔熟談内済ニ付、用水掛引覚〕 四郎左衛門外五名連印 鈴木千藏・吉岡佐四郎宛 已〔安永二年〕七月一四日

一通

四〇八

吉岡佐四郎・鈴木千藏連署達書写〔為取扱証文差出方相帶候ニ付、申達〕 取扱人・双方村々宛 安永二年七月一七日

一通

四〇九

岩手村松五郎并馬正面村幾右衛門願書下書并控〔再応取扱人仰付願〕 鈴木千藏・吉岡佐四郎宛 安永二年七月

二通

四一〇

松橋村外四ヶ村村役人為取扱替済口証文 訴訟方松橋村・相手方北方新田外三ヶ村村役人一四名并取暖人馬正面村幾右衛門外二名連印 安永二年七月

一通

四一一

松橋村外四ヶ村村役人為取扱替済口証文控 取暖人三名連印 安永二年七月

繼一通

四一三

附 取扱人継添一札 鈴木千藏・吉岡佐四郎宛 松橋村外四ヶ村村役人為取扱替証文控〔双方内済ニ付、用水掛引日割定〕 取扱人三名連印 安永二年七月

一通

四一三

取扱人馬正面村幾右衛門外二名申上書控〔取扱人双方式分五厘宛貫水之誤ニ付申上〕 藤本基助様御手代鈴木千藏・平岡彦兵衛様御手代吉岡佐四郎宛 安永二年一〇月

一通

四一四

為取扱替済口証文下書

附 御検使両名前書

三通

四一五

松橋村某實書写〔用水日割ニ付、取扱願〕 御暖人衆中宛

一通

四一六

取扱人書状下書并控〔上三ヶ村へ引取候日限等ニ付双方〔御理解仰聞願〕 鈴木仙藏外一名宛 一〇月一〇日

二通

四一七

吉岡佐四郎・鈴木仙藏連署廻状写〔用水出入和談督促状〕 松橋外四ヶ村宛 已〔安永二年〕七月一四日

一通

四一八

小出市四郎書状〔松橋村用水出入之儀ニ付当御役所召出之旨、伝達〕 佐藤松五郎宛 七月七日

一通

四一九

梅屋加右衛門書状〔松橋村一件双方并取扱人江戸出府被仰付候ニ付、伝達〕 佐藤松五郎・相沢彦右衛門宛 十月九日

一通

四二〇

宿賄代諸品代金勘定覚 柿崎起兵衛 松五郎・幾右衛門宛 已〔安永二年〕七月二〇日

一通

四二一

差紙持人足飛脚賃其外勘定覚 〔柿崎〕会所市四郎 松五郎・幾右衛門宛 已〔安永二年〕七月二〇日

一通

四二三

○その他

初田村并上小野村外七ヶ村内済為取扱替証文写〔初田村より水下八ヶ村江相掛〕 初田堰用水出入訴訟方初田村伝右衛門外一名・相手方初田堰水下上小野村外七ヶ村一八名 馬正面村楡井美右衛門・柿崎村相澤彦右衛門・高畑村湯本三太右衛門宛 宝曆一〇年五月

一通

四二三

黒岩組大肝煎星野半左衛門并手嶋組大肝煎布施宗十郎願書下書〔原ノ町村新留池ニ付大乘寺村竹直村庄屋両名指障申立候段 御慈悲願〕 郡御奉行所宛

一通 四三三

土地・貸借争論

○長峯新田・竹直村貸金出入

西嶋組長嶺新田村磯右衛門訴狀并〔若手組竹直村紺屋庄左衛門相手、貸金返済滞訴訟〕 庄屋角右衛門加判 高田御役所宛 延享三年十二月

一通 三九六

岩手組竹直村庄左衛門返答書控 大肝煎所宛 延享四年一〇月／竹直村庄屋組頭三名并（大肝煎）佐藤八平奥判 御奉行所宛

一通 三九六

長峯新田村庄屋角右衛門外二名金子請取証文控并并 竹直村庄左衛門宛 延享四年九月四日

二通 三九六

八木彦四郎書狀〔竹直村庄左衛門へ返答書申付ノ依頼〕 佐藤八平宛 （延享四年）一〇月二六日

一通 三九五

八木彦四郎書狀〔竹直村庄左衛門返答書取急之件〕 佐藤八平宛 （延享四年）一〇月二八日

一通 三九五

八木彦四郎書狀〔竹直村庄左衛門返答書并同村庄や中印形之件〕 佐藤八平宛 （延享四年）一〇月二九日

一通 三九五

八木彦四郎書狀〔竹直村庄左衛門返答書并長峯村久右衛門・同村庄屋組頭答書奥印之件〕 佐藤八平宛 （延享四年）一二月二日

一通 三五四

長峯村磯右衛門口上書写〔取替金返済催促〕 竹直村庄左衛門宛

一通 三五四

○楞嚴寺・芋嶋村飲水汚濁出入

芋嶋村楞嚴寺愁訴狀并〔芋嶋村庄屋百姓相手、新田開発ニヨリ飲水汚濁・諸上納皆濟手形滞、其外訴願〕 御奉行所宛 宝曆五年一〇月／取次執達願添書 佐藤八平宛

三通 四〇三

芋嶋村庄屋与左衛門外一二名連印一札控并写〔楞嚴寺願出候飲水汚濁之儀、御尋ニ付申上〕 宝曆五年一二月一六日

二通 四〇六

芋嶋村庄屋与左衛門一札控并写〔楞嚴寺願出候皆濟手形滞之儀、御尋ニ付申上〕 百姓与頭一二名奥書 宝曆五年一二月一六日

二通 四〇六

芋嶋村庄屋与左衛門外五名請書控并写〔御取扱被仰聞、承知御請一札〕 宝曆五年十一月

二通 四〇六

芋嶋村庄屋与左衛門外三二名返答書控（年欠）

一通 四〇六

芋嶋村庄屋与左衛門外三二名返答口上書控 宝曆六年八月

一通 四〇六

芋嶋村庄屋与左衛門外一名請書〔楞嚴寺飲水上へ糞水流れ込不申様可仕旨被仰聞候ニ付、御請一札〕 大肝煎宛 宝曆六年十一月

一通 四〇六

佐藤八平届書控〔横山村豊兵衛儀取暖方不承知之旨届、并私儀指添御免願〕 郡奉行所宛 子（宝曆六年）閏一二月二日

一通 四〇七

楞嚴寺并芋嶋村和談暖証文下書 高畑村庄や三太右衛門外一名奥書 宝曆六年

一通 四〇七

芋嶋村庄屋与左衛門外六名注進書控〔苗代水取請度奉存候ニ付、楞嚴寺の指障リ無之様願出〕 大肝煎佐藤八平奥判 御奉行所宛 宝曆七年三月

一通 四〇七

芋嶋村差上一札下書〔去々亥一二月大肝煎所江指出一札書面訂正之件、其外御吟味ニ付申上〕（宝曆七年カ）

一通 四〇七

岩手組大肝煎佐藤八平用狀控并下書〔論所田地、御取上地又ハ大肝煎御預地ニ可被遊儀内々御尋ニ付申上〕 御手代中宛 三月二五日 某（佐藤八平カ）書狀控〔同前〕

一通 四〇七

楞嚴寺書狀〔御領御奉行所ヨリ御召狀之趣承知〕 佐藤八平宛 九月一五日 包紙入 一通 四〇七六

松太郎書狀〔楞嚴寺門前切落用水江水下ケ不申候得ハ、諏訪平御田地立返不申旨、其外内々申上〕 佐藤平六宛 三月二〇日 一通 四〇七七

某書狀〔芋嶋村相手吞水一件并頼母子講米滯一件ニ付〕 一通 四〇七八

絵図面下書 35.0 X 56.0 一枚 四〇七九

〔楞嚴寺飲水一件口上覚書下書并控〕 大肝煎 佐藤八平 御手代中宛 亥〔宝曆五年〕一〇月二四日 横長美 二冊 四〇八〇

〔楞嚴寺飲水一件口上覚書下書并控〕 佐藤平六 佐藤八平宛 二二月一四日 横長美 三冊 四〇八一

〔郡奉行所ニ而楞嚴寺一件御尋ニ付、御答之趣覚書〕 佐藤八平 仁平豊兵衛宛 子〔宝曆六年〕五月 横長美 一冊 四〇八二

口上書奥書下書〔芋嶋村〕与頭彦次右衛門・庄屋与左衛門・〔大肝煎〕佐藤八平 一枚 四〇八三

楞嚴寺書狀〔願書願下之儀其外取計方御任申上候旨〕 佐藤八平宛 一二月二一日 包紙入 一通 四〇九五

〔高畑村庄屋〕三太右衛門書狀〔出入引下之儀ニ付世話方願〕 八平宛 一二月二一日 楞嚴寺 三通 四〇九六

附。芋嶋村村中連判一札下書〔和談内済〕 芋嶋村村役人願書下書〔和談ニ付、返答書引下願〕 一通 四〇九七

楞嚴寺内済請合一札下書 又右衛門・佐藤八平奥書 一通 四〇九七

芋嶋村村役人内済請合一札下書 一通 四〇九八

○楞嚴寺・彦右衛門頼母子講出入

芋嶋村楞嚴寺訴狀〔山直海村彦右衛門相手、頼母子講懸米差滯一件〕 田中村御役所八木瀬助宛 宝曆六年正月 二六日 繼一通 三九七四

田中組山直海村彦右衛門返答書〔同前一件ニ付、楞嚴寺儀、寺中修理作料金未払之旨申立〕 庄屋与四右衛門取次奥判 田中組大肝煎所宛 宝曆六年二月 一通 三九七五

田中組山直海村彦右衛門願書 庄屋与四右衛門取次奥判 岩手組御大肝煎所宛 宝曆六年二月 一通 三九七六

八木瀬助書狀〔山直海村彦右衛門儀、楞嚴寺作料金未払之旨返答ニ付、通知〕 佐藤八平宛〔宝曆六年〕二月一七日 一通 三九八五

田中組大肝煎八木瀬助書狀〔作料金濟方ニ付、請合人中吟味願〕 岩手組大肝煎佐藤八平宛〔宝曆六年〕二月晦日 包紙入 一通 三九八三

佐藤八平書狀控〔彦右衛門願筋内済談方ニ付、依頼〕 八木瀬助宛〔宝曆六年〕四月八日 一通 三九八一

田中村〔大肝煎〕八木瀬助書狀〔四月八日付佐藤八平書狀への返書〕 佐藤八平宛〔宝曆六年〕四月一四日 包紙入 一通 三九八二

芋嶋村組頭・百姓四名連印返答書〔山直海村彦右衛門の楞嚴寺へ貸金之儀ニ付〕 宝曆六年一二月 二通 三九七三

附 楞嚴寺借シ金且中立会割賦帳面連名衆覚 田中組山直海村彦右衛門口上願書〔楞嚴寺へ作料金濟方催促之儀願書〕 いわて御大肝煎所宛 宝曆六年一二月 一通 三九七六

八木瀬助書狀〔吉右衛門へ頼母子米濟方被仰付儀ニ付、楞嚴寺へ通達依頼〕 佐藤八平宛〔宝曆六年〕一二月八日 一通 三九八四

佐藤八平書狀下書〔八日付書狀之趣承知、并吉右衛門へ出訴差留申聞之件〕 八木瀬助宛 (宝曆六年) 一月二十五日	一通	三九六
(山直海村庄屋)金井与四右衛門書狀〔彦右衛門儀、楞嚴寺作料金濟方催促願書差出ニ付、挨拶〕 佐藤八平郎宛 (宝曆六年) 一月三日	一通	三九八
八木瀬助楞嚴寺作料金請取証文 佐藤八平宛 宝曆七年九月三日	一通	三九七
楞嚴寺書狀〔勢い籠出来ニ付代物指越之件〕 佐藤八平宛 一〇月七日	一通	四〇四
楞嚴寺書狀〔願書ニ田中之添書被成下、御礼〕 佐藤八平宛 正月二五日	一通 包紙入 二枚	四〇五
大肝煎佐藤八平書狀下書〔内濟相整不申ニ付、今日私宅へ御出可被下旨口上〕 楞嚴寺御役寮独雄宛 二月六日	一通	四〇六
佐藤八平書狀下書〔御対談申度候間、御出可被下旨〕 独雄宛 五月二七日	一通	四〇七
佐藤八平書狀下書〔御対談申度候間、御出可被下旨〕 楞嚴寺御役僧中宛 丑(宝曆七年) 三月三日	一通	四〇八
楞嚴寺典座独雄書狀〔明日五つ過ニ可罷出旨承知〕 岩手大肝煎所佐藤八平宛 二月二〇日	二通	四〇九
附 (佐藤八平) 書狀控〔山直海村彦右衛門頼母子講米之儀ニ付、明廿一日五つ過時御出可被成旨〕 包紙入	二通	四〇九
○竹直村・中条村小作地出入		
高田領竹直村嘉左衛門訴狀控〔中条村庄屋伝次右衛門相手、懸持高勝手書替并小作米滞一件〕 与頭曾五右衛門外一名加判 川浦御役所宛 宝曆八年六月	一通	三九七

竹直村庄屋嘉左衛門并中条村庄屋伝次右衛門請狀写〔同前一件裁許済口請書〕 中条村与頭喜右衛門奥書 久保平三郎様御役所宛 宝曆八年七月	一通	三九六
中条村庄屋伝次右衛門外三名申上書写〔竹直村庄屋左衛門掛持高御年貢諸役金等割合方ニ付〕 川浦御役所宛 宝曆八年一月	一通	三九八
竹直村庄屋嘉左衛門願書写〔中条村掛持高御年貢并万高掛り物割賦ニ付願書ノ件、引下願〕 組頭半兵衛外一名連署 川浦御役所宛 宝曆八年二月	一通	三九三
竹直村庄屋嘉左衛門訴狀案詞并添書願控〔中条村庄屋伝次右衛門小作役支配取放願之儀ニ付〕 与頭曾五右衛門外一名加判 (大肝煎宛九) 宝曆九年二月	一通	三九三
○能生村・西野嶋村小作米出入		
能生村五右衛門代兵作訴狀写〔西野嶋村庄屋文左衛門外一名相手、小作米滞訴訟〕 高田御役所宛 宝曆九年八月	一通	三九四
西野嶋村文左衛門代永助返答書写 (宝曆九年)	一通	三九五
西野嶋村文左衛門實地証文写 同村請人永助外四名加判 能生町五右衛門宛 宝曆六年二月	一通	三九六
西野嶋村文左衛門外二名連署小作証文写 請人三名加判 能生町五右衛門宛 宝曆六年二月	一通	三九七
○上下浜村・竹直村田地出入		
上下浜村八郎右衛門訴狀控〔竹直村庄兵衛相手、竹直村懸持田地讓渡差障一件吟味願〕 御奉行所宛 明和三年正月/上下浜村・同新田庄屋二名奥判	一通	三九五
竹直村庄兵衛請書〔八郎右衛門田地へ差障申聞數旨被仰渡ニ付、請書〕 竹直村庄屋・組頭三名奥判 大肝煎所宛 明和三年二月	一通	三九六
○青地左仲・岩野村田地并金子出入		

榎原主計家中青地左仲并岩野村庄屋頼嶋直右衛門熟談濟口証文下書并写〔左仲祖父岩野村亡八郎兵衛の左仲母つな江讓置候田地并金子ニ付、籠嶋直右衛門儀、徳米利分ヲ差滞一件訴訟〕青地左仲代兼岩手村善兵衛・女房つな・差添人庄屋与頭三名、籠嶋直右衛門煩ニ付代上金原村庄屋七郎治外二名、郷宿三名連印 御奉行所宛 文政三年正月

二通 四四四
飯一冊 四四七

○薬王寺除地出入

――米山寺村勘定出入（二七八）も見よ

米山寺村薬王寺除地絵図面下書 米山寺村庄屋瀬左衛門外組頭・百姓代二名 安政二年八月

一枚 九〇六

米山寺村薬王寺除地田畑絵図面控 米山寺村薬王寺・庄屋瀬左衛門外二名、立入川田村庄屋外一名 郡御奉行所宛 安政三年七月

一枚 九〇元

*（米山寺村薬王寺除地一件書類） 安政三年

四冊 二七六

○平沢村質地出入

岩野組平沢村亡定八跡相続人佐次郎訴状下書〔同村与助相手、亡定八質入田地年季切替故障出入〕（年欠）

一通 四四〇

岩野組平沢村佐次郎訴状下書（年欠）

三通 四四二

○その他

水野村又兵衛并同村役人内済為取替証文写〔又兵衛居屋敷之中作場道取潰シニ付惣村中故障一件、寛延二年十月内済絵図証文之旨再確認〕池田政之丞様川浦御役所宛 宝曆四年九月／扱人米山寺村与頭重右衛門外二名奥書

一通 四五六

木田組岩木村豊次郎訴状写〔新田町熊田六右衛門相手、質地証文返済方并作徳米滞訴訟〕庄屋与頭并大肝煎塚田源次右衛門加判 郡御奉行所宛 宝曆七年一〇月

一通 四三七

岩手組芋嶋村庄屋与左衛門願書控〔黒岩村佐五右衛門芋嶋村懸持田地一件ニ付、佐五右衛門と対談仕度江戸出府願〕与頭三名連印、大肝煎佐藤八平連署 御奉行所・高木権大夫宛 宝曆一二年二月

一通 四四三

岩手組猿毛村勘右衛門願書〔当村甚八相手、質地証文請返願〕大肝煎所宛 宝曆一四年五月

一通 四三〇

赤沢組赤沢村庄兵衛并黒岩組狸平村七右衛門内済済口証文写〔庄兵衛と七右衛門江掛り、借金返済滞出入〕両村庄屋并取喰人小苗代村吉九郎外一名連署 黒岩組・赤沢組大肝煎所宛 寛政三年四月二八日

一通 四三二

鴈海村鬪替出入内済熟談証文写〔鴈海村訴訟人金右衛門・相手多三右衛門外四人・取喰人郷宿四名脇野町御役所宛 文化二年三月（天保四年二月写）附 鴈海村地引帳写外

横長平

二冊 四一九

青海川村村方一統熟談内済証文〔荒地高地所亡失一件〕元黒岩組青海川村百姓安右衛門外四三名・百姓代・与頭・庄屋連印、立入人水野村庄屋吉左衛門外二名奥印 文政一二年八月

一通 三七六

岩野組上小野村庄屋儀左衛門訴状案詞并添書願書〔中山村源四郎相手、年賦金并作徳米代金滞出入〕百姓代組頭役二名加判 御奉行所宛 天保一五年五月／（添書願書）大肝煎所宛 天保一五年五月

一通 八三六

村役人・村方勘定争論

○箱訴一件

箱訴一件書類〔高田御領惣町人惣百姓名目にて御家中諸士役人并大肝煎庄屋共私欲之儀、公儀目安箱へ箱訴一件〕

三冊 六一

1 御箱訴之義御尋ニ付御答書 岩手組 延享二年二月	半	一冊
2 (御箱訴之儀御尋ニ付岩手組十五ヶ村村役人惣百姓連判帳控) 延享二年二月	半	一冊
3 御箱訴文言 佐藤扣	半	一冊
* (岩手組用水江堰普請方御札ニ付連判証文下書) 佐藤八平 郡御奉行所宛 (延享二年九月)	半	一冊
附 某答書下書 (大庄屋私欲御札ニ付)	半	一通

○上輪新田村庄屋跡役出入

上輪新田村庄役人百姓愁訴狀下書 (上輪村之者共、上輪不埒之儀并元庄屋平七庄屋役被召放迷惑之儀、其外愁訴) 庄屋組頭百姓一四名連署 御奉行所宛 明和四年 半 一冊 四四六

(上輪新田村) 平七書狀下書 (上輪村之者共、上輪新田村庄屋跡役被仰付度旨并水帳相改申度旨 願出ニ付、御指図頼一札) 大旦那様・若旦那様宛 四月一日 一通 四四九

○米山寺村村勘定出入

米山寺村村勘定帳不明廉々有之出入一件諸書物 岩手村高原 安政四年二月 袋入 一二点 八四二

1 高畑組米山寺村百姓惣代忠之助外七名訴狀 写 (庄屋瀨左衛門等村役人相手、村諸勘定不正取込取調願) 大肝煎所宛 安政四年二月 一通

2 米山寺村掛持惣代岩手村勇吉外一名訴狀控 (同前) 大肝煎所宛 安政四年三月 横長美 一冊 一冊

3 米山寺村村役人并立入芋嶋村庄屋外一名願 書写 (村諸勘定出入一件、大肝煎へ御下ケ願) 大肝煎所宛 安政四年七月 一通

4 米山寺村村役人并立会村右衛門詫書写 (村勘定不正取込露頭ニ付、弁償方取込一札) 安政四年七月 一通

5 米山寺村懸持百姓惣代・村役人并相手方村役人熟談内済証文 立入人芋嶋村庄屋外一名連署 大肝煎所宛 安政四年七月 一通

6 米山寺村卯辰兩年割方帳写 安政四年二月 横長美 一冊

7 (米山寺村卯辰兩年割方帳写并不審之廉々寛帳) (安政四年) 横長美 一綴 (三冊)

8 (申諸懸り割賦帳并辰切開割賦帳写) 米山寺村立会・村役人五名 弘化四年十一月 横長美 一冊

9 葉王寺除地出入一件難用割帳 (写) 立会人懸持百姓惣代・米山寺村百姓惣代・同村役人計七名連署 安政四年七月 横長美 一冊

10 葉王寺除地一件絵図面写 (葉王寺江戸柳原様御屋敷へ出訴之節絵図面) 安政二年七月 25.0 X 22.0 X 一枚

11 葉王寺除地一件絵図面写 米山寺村庄屋瀨左衛門外二名 郡御奉行所宛 安政二年八月 23.0 X 22.0 X 一枚

12 (米山寺村庄屋敷歩数并畑籠り飛地共改帳写) 立会人庄屋幸左衛門外組頭百姓代長百姓六名 寛政九年十一月 横長美 一冊

米山寺村瀨左衛門庄屋勤役中村勘定ニ付出入一件取極連印一札下書 大肝煎所宛 (安政) 一通 四六三

(米山寺村カ) 村方議定書下書 (年貢諸掛物并村方諸入用割賦等ニ付、取極定書) (安政) 一通 四六三

勇吉書狀 (米山寺村村勘定出入一条熟談ニ付通知并辰暮米山寺村金方目録渡方依頼) 岩手村佐藤啓助宛 (安政) 七月一日 一通 四六四

○官軍通行人馬賃等疑惑一件

四ヶ組村々願書等〔官軍御通行繼立人馬賃并夫人給等官符御下ヶ金種々疑念有之ニ付、諸帳面類披見願〕
触元御役所宛 明治二年八月
某願書下書〔同前一件ニ付、触元役人中江帳面類御下ヶ仰付願〕 明治二年

○その他

馬正面御蔵付百木落合村百姓六郎左衛門外五名訴狀下書〔百木村庄屋八郎左衛門相手、伝馬人足入用役引一件其外我儘迷惑ニ付、庄屋役・庄屋給取上願〕 御奉行宛 正徳六年

高畑組柳崎村庄屋甚左衛門外二名連印添一札〔水野村山手米出入一件内済仕候所、別紙買戻シ米代御勘弁御聞済被下、御礼一札〕 岩手村啓助宛 安政五年六月

その他

○猿毛村久右衛門養子縁切一件

猿毛村久右衛門願書控〔養子清七不届者ニ候間、家内人別指除申度旨〕 庄屋組頭四名加判 御役所宛 延享二年二月

岩手組大肝煎佐藤八平伺書控〔猿毛村久右衛門願出ニ付、内吟味之趣記候上、御下知伺〕 山川十郎左衛門宛 延享二年

猿毛村次八・悴吉郎右衛門口上書〔清七私方ニ指置申候段御吟味ニ付、一札〕 庄屋四郎左衛門・作左衛門奥判 延享二年三月

猿毛村久右衛門請書〔此度清七離縁ニ付、持参金返済被仰付、御請一札〕 大肝煎所宛 延享二年五月

猿毛村次八口上書〔清七拙者家内へ加入之儀、御請一札〕 庄屋作左衛門・四郎左衛門加判 大肝煎所宛 延享二年八月

一通 八三四

一通 八三五

一通 四三五

一通 四六三

一通 四三五

一通 四三六

一通 四三七

一通 四二六

一通 四二六

久右衛門済口証文〔清七離別并持参金返済〕 庄屋組頭四名奥判 大肝煎所宛 延享二年八月一六日
清七并人主次八済口証文〔舅次八人主ニ被仰付、久右衛門ニ持参金受取〕 庄屋・組頭四名奥判 大肝煎所宛 延享二年八月一六日

○上輪村次郎兵衛妻宗旨出入

鉢崎組上輪村次郎兵衛・金左衛門口上書控〔次郎兵衛妻さの儀、法花宗改宗願ニ付、笠嶋村多聞寺ニ故障一件、御尋ニ付申上〕 庄屋組頭二名加判 佐藤八平・近藤喜八郎宛 寛延二年四月二日

上輪新田村平右衛門口上書控〔同前一件ニ付、次郎兵衛兄平右衛門申上〕 佐藤八平・近藤喜八郎宛 寛延二年四月二日

上輪村法花宗妙泉寺請書〔次郎兵衛妻儀、一代限り拙寺旦那ニ可致旨内済被仰聞、承知〕 鉢崎大肝煎近藤喜八郎宛 寛延二年一〇月

領奉行達書〔次郎兵衛妻一件内済承知、并向後縁組之御宗旨相定方ニ付申渡〕 鉢崎組大肝煎宛〔寛延二年〕一二月

大肝煎近藤喜八郎外二名済口写繼立差上証文控〔同前一件内済ニ付、双方済口証文写ニ通繼立差上〕 宗門御奉行所宛 寛延二年一〇月〔繼立証文〕 上輪村治郎兵衛外一名一札写 多門寺宛、笠嶋村多門寺済口一札写 佐藤八平・八木瀬助宛

岩手組大肝煎佐藤八平并多聞寺往復書狀写〔上輪村次郎兵衛妻宗旨違論一件取暖之儀ニ付〕 四月一八日

○大乘寺村竹直村秣刈取出入

大乘寺村庄屋佐五左衛門外四名注進書〔原町村地内大乘寺村定請秣場江竹直村之者罷越、秣刈取狼藉一件、吟味願〕 宝曆一二年六月

一通 四三〇

一通 四三三

一通 四三三

一通 四三三

一通 四三三

一通 四三四

繼一通 四四六

一通 四三三

一通 四二七

竹直村孫八外村役人三名口上書并下書〔同前一件 子細御尋ニ付、口上〕 宝曆一年六月	二通 四二六
大乗寺村・竹直村村役人内済証文控同前一件内 済ニ付、大乗寺村注進書引下、兩村村役人八名并取 扱庄屋五名連印 宝曆一年六月	一通 四二九
〔西嶋組大肝煎〕八木文左衛門書狀〔大乗寺村願書 御目ニ掛候旨〕 佐藤八平宛（宝曆一年）六月六日	一通 四二〇
〔大肝煎佐藤八平〕用狀〔爭論ケ間敷儀致不申様〕 竹直村庄屋与頭中宛（宝曆一年）六月八日	二通 四二二
大肝煎所用狀〔竹直村孫八并庄屋組頭中出頭申付〕 竹直村庄屋中宛（宝曆一年）六月一日	一通 四二三
八木文左衛門書狀〔大乗寺村之者、高田表へ御注進 申度段申立候旨、其外〕 佐藤八平宛（宝曆一年） 六月一三日	一通 四二三
八木文左衛門書狀〔内済之為、兩組庄屋中二、三人 差出、相談致度旨申入〕 佐藤八平宛（宝曆一年） 六月一五日	一通 四二四
八木文左衛門書狀〔内済相濟候ニ付、大乗寺村願書 返付願其外〕 佐藤八平宛（宝曆一年）六月二二日	一通 四二五
八木文左衛門書狀〔桜町御寺へ寄合入用取立之儀、 其外ニ付〕（宝曆一年）六月二六日	一通 四二六
論所絵図面下書	一枚 四二七
140x36cm	
○芋嶋村文左衛門苗違申懸出入	
岩手組芋嶋村上灰庭新田惣百姓願書并繼証文 〔当村組頭文左衛門、苗違之儀ニ付惣百姓へ理不尽申 懸一件吟味願〕 惣百姓六〇名連印 御大肝煎所宛 延享元年八月（繼証文）〔件内済ニ付申合書〕 惣 百姓六三名連印 延享元年九月	繼一通 四四四
岩手組芋嶋村上灰庭新田惣百姓願書控〔同前〕 六〇名連印 延享元年八月	一通 四四六

芋嶋村文左衛門梓直右衛門弟孫次右衛門連印一 札〔村中指図ニ違背申間敷候間、御公儀へ出訴取止 願〕 大肝煎所宛 延享元年八月	一通 四四五
芋嶋村上灰庭新田村役人惣百姓連判一札〔文左 衛門一件落着ニ付申合〕 庄屋与左衛門外六四名連印 延享元年八月	一通 四四六
〔芋嶋村文左衛門〕口上書下書〔後欠〕〔当村庄屋与 頭中并大小百姓ニ対シ惡事申懸一件、詫証文〕〔延享 元年八月〕	一通 四四七
○黒岩村弥五左衛門娘離縁一件	
岩手組黒岩村弥五左衛門後家口上願書〔娘たへ 儀、猿毛村惣七より暇を被出候ニ付、衣類諸道具田 畑当作毛并四ヶ年入立米返却願〕 組頭庄屋五名加判 御大肝煎所宛 宝曆一年六月	一通 四四五
黒岩村弥五左衛門後家請書〔同前一件、調停方被 申渡候ニ付、御請一札〕 庄屋権右衛門奥判 大肝煎 所宛 宝曆一年八月	一通 四四三
猿毛村権兵衛・惣七連印請書〔同前一件ニ付、御 請一札〕 猿毛村与頭字右衛門奥判 大肝煎所宛 宝 曆一年八月	一通 四四三
○米山寺村清三郎娘縁組故障一件	
岩野村八郎兵衛書狀〔米山寺村清三郎娘岩手村冬蔵 方へ縁組ニ付、岩手村太左衛門娘より指障一件、理 由尋書〕 岩手村佐藤松五郎宛（明和九年）三月二三 日	一通 四四五
岩野村八郎兵衛書狀〔同前一件、太左衛門方ニ而何 等指障無之由、承知〕 佐藤松五郎宛（明和九年）三 月二四日	一通 四四六
岩手村太左衛門一札〔同前一件、娘きよ心得違ニ付 詫一札〕 松五郎宛 明和九年三月二四日	一通 四四七

(岩手村)冬蔵申上書(同前一件ニ付、太左衛門娘きよとの間柄釈明之上、迷惑之旨申上) 松五郎宛 辰(明和九年)三月二五日

○その他

岩手組狸平村喜三郎口上請書(当村三郎兵衛相手、柿木・漆木支配出入一件熟談御請口上書) 大肝煎所宛 延享二年一〇月

上輪村井上輪新田村役人内済御請一札写(浦方之儀ニ付、出入内済証文) 宝曆八年四月

(高田田端町)返答書写(前欠(田端町ニ而肴荷物差押一件、勘六ヶ出訴ニ付返答書) 御奉行所宛 宝曆九年一二月

(中山村宿願寺出火ニ付村内百姓富五郎江相掛り彼は混雜一件御尋ニ付、申上候書付控) 高畑組中山村宿願寺・庄屋組頭百姓代連印、高畑組大肝煎代柳崎村庄屋甚左衛門奥印 菱川孫八郎・高嶋助左衛門宛 安政三年九月

岩手村

用水争論

○初田堰下川原地境出入 一件文書

1 (岩手村庄屋)友右衛門外三名訴状控(九年以前初田堰新江丸普請以来、江丸下ニ川原出来ニ付、初田村と境目出入) 御役所宛 享保一九年八月/明治一六年五月高田治安裁判所判事補 関寛印、明治一七年二月新潟始審裁判所高田支庁判事関寛印 (二四九頁八六六〇参照)

袋入

六点 八五三

一通

2 初田村云左衛門口上書 御年番所宛 享保一九年八月/明治一六・一七年裁判所関寛印同前

3 岩手村并初田村役人差出証文(初田堰江丸下附寄川原地境取極一札) 御年番所宛 元文四年八月二三日/明治一六・一七年裁判所関寛印同前

* 4 岩手村川除御普請目論見帳 岩手村庄屋友右衛門外与頭長百姓三名 御役所宛 享保一四年七月/加茂田軍兵衛奥印/明治一六・一七年裁判所関寛印同前

5 初田村・岩手村八ヶ村江丸下附寄川原出入書付留

6 堰所測絵図下書

初田堰江丸下川原出入一件文書

1 初田堰論所川形絵図(享保一一年川形并一九年川形重ね絵図)

2 年番所用状(岩手初田両村立会せ境相極可申候間、其迄歟入延引可有旨) 岩手村庄屋中宛 享保二〇年五月二三日

3 清三郎書状(今日川原田堰いたし候ニ付、堰少々上ケ申度旨内談) 佐藤八平宛 四月一七日

4 岩手初田地境極証文包紙

○米山寺村川原田地境出入

米山寺村庄屋与頭取替セ証文(川原田地境目取極) 享保一九年四月二五日

米山寺村出入論所川形絵図

袋入

四点 八五三

袋入

合一枚 (二枚重ね)

袋入

一通

袋入

一通

袋入

一枚

袋入

一通

包紙入

一通

袋入

合一枚 (二枚重ね)

八五三

猿毛御林流米山寺川通普請所絵図 上小野村庄屋
喜惣右衛門外二名 安永六年九月

820×820× 一枚 八五三

○ 芋嶋村用水堰田地引替一件

大堰引上ニ付芋嶋岩手高畑取代セ証文 延享四年一〇月

包紙入 二通 八五七

1 高畑村岩手村役人差出証文控并高畑村村役人添書一札〔高畑岩手兩村用水として、新規江筋築立ニ付、代地相渡一札〕 芋嶋村庄屋組頭百姓中宛 延享四年一〇月〔添書〕〔岩手村代地半分入立米取極一札〕 岩手村庄屋八平外宛

一通

2 芋嶋村村役人長百姓差出証文 岩手村・高畑村庄屋組頭惣百姓中宛 延享四年一〇月

一通

八反田堰江筋掘穴 請負金并賄方諸雜用割帳 宝曆八年一二月

横長半 一冊 八五八

芋嶋与地所替帳 安永八年・九年

横長半 一冊 八五九

芋嶋与地所替帳 天明元年閏五月二六日

横長半 一冊 八五〇

岩手高畑兩村用水江代地を芋嶋へ相渡一件書類 明治六年一二年

袋入 八点 八五五

1 芋嶋村柳沢与平次外五名一札〔四月、九月迄用水取受之内、水車相用ひ申間敷旨〕 岩手村戸長副御中宛 明治六年七月

一通

2 岩手村戸長佐藤〔文吉外二名一札控、芋嶋村地内字八反田川除普請ニ付、故障無御座様頼入一札〕 芋嶋村役人中宛 明治六年七月二二日

美 一冊

3 芋嶋村戸長戸副長百姓八名一札〔芋嶋村地内字八反田川除普請ニ付、故障無御座様請合一札〕 岩手村役人中宛 明治六年七月二二日

美 一冊

4・5 芋嶋・岩手高畑三ヶ村役人熟談証文〔字八反田石取堰代地并堰所普請ニ付、取決一札〕 戸長戸副長百姓并立入小萱村戸長西巻武八郎外一名連印 第七大区副御中宛 明治六年七月二二日

美 二冊

6・7 芋嶋・岩手・高畑三ヶ村重立地替為取替証書〔昨明治六年取決替地ニ付、再替地取決一札〕 芋嶋・岩手・高畑村重立并証人小萱村西巻武八郎外一名・用挂二名連印 明治七年一〇月

美 二冊

8 岩手・高畑・芋嶋三ヶ村地主惣代用水江筋替代地面約証書 立入人灰庭村湯本又三郎連印 明治一二年二月一七日

美 一冊

○ 楞嚴寺・八左衛門用水溜堤出入

芋嶋村楞嚴寺と岩手村八左衛門用水溜堤出入一件文書

袋入 二二点 八四三

1 岩手村・楞嚴寺用水山林出入一件留〔楞嚴寺の岩手村八左衛門へ相掛り、新規堤築立故障出入〕 明和九年、安永三年

半 一冊

2 芋嶋楞嚴寺願書写 岩手組代役所宛 明和九年九月二三日

一通

3 岩手村八左衛門返答書下書〔代役所宛〕〔安永二年二月二二日〕

一通

4 岩手村八左衛門届書控〔論所堤切破ニ付、普請届〕 庄屋松五郎外与頭二名加判 代役所宛 安永二年〔二月一四日〕

包紙入 一通

5 芋嶋村楞嚴寺願書写 庄屋与市郎外組頭三名連署 郡御奉行所宛 安永二年三月

一通

6 岩手村八左衛門届書控〔八左衛門病氣ニ付、今日罷出候旨〕 庄屋松五郎加判 郡御奉行所宛 安永二年閏二月〔閏三月の誤り〕四日

一通

- 7 岩手村八左衛門返答書控 庄屋松五郎加判
郡御奉行所宛 安永二年閏三月 一通
- 8 岩手村八左衛門返答書下書 一通
- 9 岩手村八左衛門返答書下書 一通
- 10 岩手村八左衛門差上一札控(苗代立掃候ニ付、
植付可仕旨) 庄屋松五郎外与頭二名加判 山内
与三郎・大井六右衛門宛 安永二年閏三月(閏三
月六日出) 岩手組代役与市郎奥書 包紙入 一通
- 11 岩手村八左衛門願書控(論所打崩場所修復許
可願) 庄屋松五郎加判 郡御奉行所宛 安永
二年閏三月(閏三月四日出) 包紙入 一通
- 12 岩手村八左衛門注進書控(楞嚴寺出家二三人
論所堤ヲ切破候ニ付、苗代泥水押込申候旨) 庄
屋松五郎外与頭二名加判 郡御奉行所宛 安永
二年閏三月一〇日 包紙入 一通
- 13 岩手村八左衛門請書控(論所御見分之上、高
田御役所ニ而評議可致旨被仰渡承知一札) 庄屋
松五郎外与頭二名加判 山内与三郎・大井六右
衛門宛 安永二年閏三月 岩手組代役与市郎奥
書 一通
- 14 岩手村八左衛門口書控(濟口之儀存寄無御座
旨并扱入中立会繩引之通承知仕候旨) 郡御奉行
所宛 午(安永三年)八月 岩手組代役代中山村
庄屋茂左衛門奥印 一通
- 15 (岩手村庄屋松五郎)指上一札下書(内濟証文
連判御免願之儀御承知被成、難有一札) (郡御
奉行所宛) (安永三年)一〇月二四日 一通
- 16・17 楞嚴寺并八左衛門為取替内濟証文控
大肝煎代役代芋嶋村庄屋彦右衛門・取唆人赤沢
村星野浅右衛門外一名連印 安永三年一〇月 二通

- 18 楞嚴寺并八左衛門為取替繪圖面証文控(楞嚴
寺より岩手村へ、八左衛門新規用水溜場所とし
て除地借地繪圖) 芋嶋村庄屋彦右衛門・唆人星
野浅右衛門外一名連印 安永三年一〇月 一通
 - 19 岩手村八左衛門借地証文控(新規溜堤築立ニ
付除地借用) 芋嶋村楞嚴寺宛 安永三年一〇月 一通
 - 20 借地繪圖面并内濟証文写 安永三年一〇月 一通
 - 21 相沢彦右衛門書狀(塩野迄御出被下度旨) 佐
藤松五郎宛 閏月(安永二年閏三月九)六日 一通
 - 22 (用水溜堤築立測量繪圖) (安永三年九) 包紙入 一枚
- 芋嶋村用水横取出入
- 芋嶋村と用水横取出入一件文書 天保四年一月 袋入 三通
 - 1・2 岩手村組頭百姓代三名訴狀控(芋嶋村弥
兵衛外三名相手取、岩手村地内字一ツ山溜下用
水芋嶋村ニ而新江筋堀割用水横取出入) 大肝煎
所宛 天保四年一月 二通
 - 3 芋嶋村庄屋作兵衛書狀(当村水車仲間之者共
江分水江筋可相濟旨申付候ニ付、岩手村役人中
へ申入依頼) 高畑村湯本原吉宛 巳(天保四
年)二月二〇日 包紙入 一通
- 初田堰・丸山堰出入
- 初田堰并丸山堰水下村々々水上七ヶ村江相掛り
用水出入一件文書 袋入 九点
 - 1 初田堰八ヶ村・丸山堰七ヶ村の水上七ヶ村
江相掛り諸難用割賦帳 高畑組岩手村 水上
七ヶ村割方立会猿毛村庄屋孫右衛門外七ヶ村庄
屋連印 嘉永六年七月 横長半 一冊
 - 2 (下灰庭新田村庄屋)貢三郎書狀(角取村にて
御出役様御吟味之趣ニ付通知) 湯本・佐藤宛
(嘉永六年)七月七日 一通

3 (下灰庭新田村庄屋)貢三郎書狀(高田表にて
檜垣様外役人衆仰之趣ニ付通知) 湯本宛 (嘉
永六年)七月一〇日

一通

4 与右衛門書狀(丸山堰が初田堰ハケ村へ対談請
之儀ニ付通知) 御高様宛

一通

5 初田堰水下ハケ村水論和熟内濟趣向案

四通

9 初田堰水下ハケ村村高井堰所書立覚

一通

高畑湯本多十郎書狀(明日岩野村川筋見分ニ付、御
越し願) 岩手佐藤勇吉宛 七月一九日

一通 八五〇

湯本書狀(ハケ村之者今日高田表へ願出ニ付、御出
張願) 佐藤宛 八月一日

一通 八五四

○中江用水余荷金出入

東中江再出入熟談一件書(吉岡村外ハ八ヶ村より
町田村庄屋休右衛門外一人江相掛り、余荷金難決
出入) 岩手村佐藤氏 嘉永六年七月一九日写

半 一冊 一九七五

中江用水掛り高一村限帳 (年欠)

美 二冊 一九七六

中江用水組村々
高田御領分村々 惣代十五ヶ村庄屋連印為取替議
定書控(中江用水路諸普請受負金余荷之儀ニ付、取
決議定) 安政四年五月

一通 四四〇

○十王堂堰灌漑訴訟

十王堂堰灌漑争論事件関係書類綴 明治二五年
二七年

一綴 二六三

1 下黒川村大字馬正面区長橋立樋四郎外一名
書狀写(出頭通知書) 大字三ッ屋浜龍沢文吉外
一名宛 明治二七年三月一四日

一通

2 (訴訟出願規約書写) 下黒川村大字馬正面地
主榎井久八郎外四五名

美 一冊

3 訴訟代理委任状并規約書其外(写) 明治二
五年七月

半 一冊

4 訴訟代理委任之証(写) 下黒川村大字下條被
告人山賀竹次郎外九八名 明治二五年八月四日

半 一冊

5 十王堂灌漑争論之訴状(控) 原告人加茂川小
太郎外二六名・訴訟代理人小木曾庄吉外四名
新潟地方裁判所高田支部長判事石原虎雄宛 明
治二五年七月一八日

美 板一冊

6 訴訟告知書(控) 原告代理人小木曾庄吉外四
名 新潟地方裁判所高田支部長判事石原虎雄宛
明治二五年九月一四日

美 一冊

7 判決正本(写) 新潟地方裁判所高田支部裁判
長判事石原虎雄外 陪席判事二名 明治二五年一
〇月一九日

半 一冊

8 十王堂堰灌漑争論事件ノ控訴状(写) 控訴
々訟代理人磯部四郎外二名・控訴人榎井藤太郎
外一名 東京控訴院長判事南部甕男宛 明治二
五年一月一〇日

美 刊一冊

9 附屬書類(控訴状証拠書類) 控訴々訟代理人
磯部四郎外二名・控訴人榎井藤太郎外一名 東
京控訴院長判事南部甕男宛 明治二五年一月

美 刊一冊

山林争論

○米山薬師山林出入

米山薬師山林出入一件文書 持主岩邑長

袋入 三点 八四三

1 評定所裁許状并目安裏書写(越後国頸城郡薬
師堂領牧村与同郡水野村米山寺村平沢村三方山
境評論裁許之条々) 稻伊賀外六名 水野村外三
ヶ村村役人宛 元禄三年八月二日、二年四月
二一日

一通

2 薬師別当米山寺村密藏院成山并水野村外四ヶ村裁許請取替証文写(山林伐荒出入一件)御評定所宛 享保六年四月一三日(天保一一年六月号)水野村外四ヶ村庄屋添書連印控(本紙証文可差上旨承知) 天保一一年六月

3 薬師別当米山寺村密藏院成山并水野村外四ヶ村裁許請取替証文写 享保六年四月一三日

○米山寺村馬草刈出入

米山寺村と馬草刈故障出入一件文書 寛保元年

袋入

一通 八四〇

1 袋

2 岩手村友右衛門口上願書控(米山寺村持山馬草刈被差留候ニ付、吟味願) 御役所宛 寛保元年六月

一通

3 岩手村安左衛門口上願書控(米山寺村持山馬草刈被差留候ニ付、吟味願) 御役所宛 寛保元年六月

一通

4 米山寺村庄屋清三郎外六名返答書写 寛保元年七月

一通

5 岩手村友右衛門并安左衛門再返答書控 片町御役所宛 寛保元年八月

一通

6 岩手村友右衛門并安左衛門書上控(米山寺村懸持高) 寛保元年八月

一通

年番所指紙(兩人願之儀ニ付御用) 岩手村庄屋友右衛門宛 七月一日

一通 八五三

瀧町御役所指紙(其村米山寺村出入ニ付御用) 岩手村庄屋宛 八月一日

一通 八五六

年番所指紙(米山寺村出入一件ニ付御用) 岩手村友右衛門・安左衛門宛 酉一二月二四日

包紙入

一通 八五七

年番所用状(於御役所、小懸割并内割等之入荷帳一覽被成度由ニ付、差出可申旨) 岩手村庄屋中宛 (寛保元年九月) 六月一二日

○猿毛御林炭焼差留願一件

猿毛御林書附 岩手村所持 (寛保三年) 文化一四年

袋入

一七点 八三三

1 猿毛御林出入書留(猿毛村御立林ニ而御用炭被仰付候ニ付、水下一四ヶ村御差止願一件) 岩手村松五郎 寛保三年延享元年

半

一通 八四三

2 領奉行所達書并岩手組一四ヶ村請印控(猿毛村炭焼小屋懸ヶ并右入用ニ付申付) 岩手組大肝煎代竹直村庄屋宛 亥(寛保三年)四月ノ岩手組一四ヶ村庄屋奥書請印

一通

3 領奉行所達書并岩手組一四ヶ村請印写(同前) 亥(寛保三年)四月

一通

4 猿毛村役人申上書下書(降雪ニ付、御用炭山下ヶ難儀之旨御断申上) (寛保三年)

一通

5 村々願書下書 (寛保三年)

一通

6 下条村外四ヶ村役人惣百姓口上願書控(大肝煎佐藤八平奥書 御奉行所・山御奉行所・郡御奉行所宛 寛保三年閏四月)

一通

7 岩手組大肝煎佐藤八平金子請取証文控(岩手村与頭仁兵衛道中駄賃路用金) 御奉行所宛 寛保三年一〇月三日

一通

8 岩手組猿毛村役人人口上書控(御用御炭滞不足御吟味ニ付、積雪ニ而山下ヶ難儀之旨申上) 庄屋四郎左衛門外三名連印 御奉行所宛 寛保三年一〇月

一通

9 岩手組猿毛村役人願書控(積雪ニ而御用炭山下ヶ難儀之旨願書) 庄屋四郎左衛門外三名連印 御奉行所宛 寛保三年十一月

一通

10 佐藤八平願書下書〔岩手村与頭仁兵衛妻并悖大病ニ付、仁兵衛江戸へ帰村願〕亥(寛保三年)十一月	一通	
11 新谷武右衛門・山上半之丞用状写〔牧野民部少輔御預地百姓共、炭焼差止願出ニ付、取計方一札〕(牧野民部少輔家中)山口新右衛門・近藤峯右衛門宛 (寛保三年)六月二日	一通	
12 岩手村仁兵衛書状〔御公儀様御吟味未埒明不申候ニ付、代リ人參府依頼〕八平・友七宛 (寛保三年)一〇月二十四日	一通 二枚	
13 八木瀬助書状〔猿毛炭出し人足之儀ニ付伺〕佐藤八平宛 (寛保三年)一月三日	一通	
14 猿毛村御立林絵図下書 元禄五年六月	一枚	袋入 159.0 X 109.0 X
○ (以下別件カ)		
15 岩手組猿毛村村役人差出一札写〔当村御林腰百姓地新江筋ニ付故障御申立ニ付、右江筋相潰シ可申旨一札〕水下一四ヶ村村役人宛 安永五年四月	一通	
16 米山川通水下二四ヶ村并中山村新開故障出入熟談内済証文写 黒岩組外五組大肝煎連署 文化一四年六月 / 岩手村庄屋八平・松五郎控	一通	
17 宅地・用水絵図下書	一枚	袋入 159.0 X 109.0 X
○二五ヶ村水元炭山出入		
天明年中廿五邑水元炭山出入諸書留〔水野村より二五ヶ村江相掛り炭焼故障出入〕 岩邑長	三冊	袋入 八四六
1 炭山出入一件書留覚 岩手村松五郎 天明五年三月	一冊	半

2 水野村炭焼出入願書返答書留帳 天明五年九月	一冊	半
3 (水野村炭焼出入願書返答書写) (天明五年八月)	一冊	半
天明年中廿五村炭焼出入書上扣	二通	袋入 八四六
1 水野村并猿毛村外二四ヶ村村役人熟談内済為取替証文 取喚人土尻村外三ヶ村庄屋連印 天明六年四月	一通	
2 下小野村外二四ヶ村并水野村村役人惣代裁許請書控〔水野村儀、内済相破立木採伐一件〕訴訟方下小野村外二四ヶ村村役人惣代三名・相手方水野村役人惣代二名連印 御評定所宛 天明八年七月二日	一通	
天明年中水元山林絵図面其外 岩邑長	四点	袋入 八四三〇
1 炭焼出入内済為取替絵図面 訴訟方水野村・相手方米山寺村外二四ヶ村村役人并取喚人土尻村外三ヶ村庄屋裏書連印 天明六年四月	一鋪	袋入 109.0 X 159.0 X
2 下小野村外二四ヶ村并水野村村役人惣代裁許請書写 訴訟方下小野村外二四ヶ村村役人惣代三名・相手方水野村村役人惣代二名連印 御評定所宛 天明八年七月二日 / 百木村庄屋外二名連印添書〔本紙証文百木村庄屋方ニ預リ候ニ付、二五ヶ村江写一通宛相渡申候〕	一通	
3 二五ヶ村連印取極書案文〔今般公儀仰出により、水元山出入裁許請証文大肝煎所江相納候ニ付、取極〕	一通	
4 岩手村啓助覚書〔二五ヶ村連印取極書案文預リ置ニ付〕 天保一一年六月七日	一通	

水元林出入諸雜用割合ニ付式拾五ヶ村高書出帳
出入雜用已年分書記ス 上小野村扣 天明五年一月
横半 一冊 八三五

水野村并猿毛村外二四ヶ村村役人傘型連判内濟
繪図面写〔水野村ヨリ猿毛村外二四ヶ村江相掛リ、
炭焼出入〕 取喰人士尻村庄屋源吉外三名連印 天明
六年四月 二通 四三四

○城山境界争論

岩手村古城一件書 岩手村佐藤文吉 明治七年三月一日
附。高田下小町加賀屋与七郎品代勘定書并請
取書〔酒代泊賃外〕 岩手村佐藤宛 明治七年五月 三通
横美半 一冊 八六二

。高田呉服町橋本喜久平品代勘定書并請取
〔泊リ賃・賄代外〕 岩手佐藤文吉宛 明治七年五月 二通
美 二冊 八六三

高畑村惣代小林与五平外一名訴状写〔字城山入会
地境界論〕 地租改正掛御役所宛 明治七年三月 半美 四冊 八六三

岩手村佐藤文吉外一名返答書下書并控 地租改
正御課宛 明治七年三月一七日 美 四冊 八六三

字城山・とうちう論所龜絵図面下書并控 岩手
村三十戸惣代佐藤文吉 明治七年三月二八日 横美半 四冊 八六四

岩手村惣代佐藤文吉届書控〔論所芝山ニ付、天和
三亥年御検地御水帳名請記載届書〕 高田取締所庁掌
御課宛 明治七年四月七日 一通 八六五

岩手村惣代佐藤文吉届書控〔論所芝山ニ付、名所
旧跡大山古城跡点検書上帳記載届書〕 高田取締所庁
掌御課宛 明治七年四月七日 一通 八六六

証拠書物差上目録控〔御水帳・絵図面等四点〕 第
七次区小八区二番組岩手村佐藤文吉 高田取締所庁
掌御課宛 明治七年四月一五日 包紙入 一通 八六七

証拠書物差上目録控〔同前〕 高田取締所庁掌御課
宛 明治七年四月一五日 三通 八六八

岩手村被告総代人佐藤文吉願書下書并控〔実地
見分願〕 新潟県令楠本正隆宛 明治七年四月二五日 美 三冊 八六九

城山御見分実地調へ 岩手村 明治七年四月二七日 横長半 一冊 八六七

*城山実地取調帳 明治七年四月二七日 横長半 一冊 八六七

岩手村惣代佐藤文吉届書控〔実地取調反別届書〕
高田取締所庁掌御課宛 明治七年四月二七日 一通 八六七

高畑村岩手村為取替熟談証文并龜絵図控 高畑
村長百姓小林与五平外一名、岩手村長百姓吉村泰治
外三名、用掛新部與八郎、戸長三上喜三 新潟県令楠
本正隆宛 明治七年四月二九日 美 一冊 八六七

岩手村高畑村差上一札控〔岩手村持山ニ而高畑村
馬草刈取容認之旨、熟議行届一札〕 岩手村長百姓
吉村泰治外三名、高畑村長百姓小林与五平外一名用
掛新部與八郎・戸長三上喜三宛 明治七年四月二九日 美 一冊 八七三

高畑村小林作太郎託書〔岩手村地内にて不心付疎
蒔候ニ付〕 兄小林寅九郎外一名加印 岩手村御中宛
明治九年八月 一通 八七四

*元禄九子年岩手村絵図面写 (明治七年写力) 横美半 一枚 八七五

土地・賃借争論

○儀右衛門・善兵衛替地一件

屋敷畑地替絵図面 岩手村文左衛門 享和四年二月
月改 包紙入 四通 四六〇

1 岩手村善兵衛取入道絵図面一札 立会人文
左衛門・与頭安左衛加判 岩手村庄屋所宛 寛
政四年二月 一通 八六七

2 岩手村安左衛門并善兵衛連印振替畑絵図面
一札 立会人文左衛門加判 同村庄屋喜太郎宛
寛政六年二月 一通

3 岩手村儀右衛門并善兵衛連印振替畑絵図面
一札〔儀右衛門の善兵衛方へ振替地絵図面〕立
会人文左衛門・与頭安左衛門加判 同村庄屋喜
太郎宛 寛政一〇年二月 一通

4 岩手村儀右衛門并善兵衛連印振替畑絵図面
一札〔善兵衛の儀右衛門方へ振替地絵図面〕立
会人文左衛門・与頭安左衛門加判 同村庄屋喜
太郎宛 寛政一〇年二月 一通

岩手村儀右衛門并善兵衛連印振替畑絵図面一札
〔善兵衛の儀右衛門方へ振替地絵図面〕立会人文左
衛門・与頭安左衛門加判 同村庄屋喜太郎宛 寛政
一〇年二月 一通 八二五

○その他

馬正面御蔵附岩手村弥右衛門願書控〔去未年二月
三日堀田御役所江上置候安右衛門相手田地出入訴状
ニ付、吟味促進願〕御奉行所宛 正徳六年四月 一通 四四八

岩手村喜右衛門・芋嶋村市郎右衛門并噺人等連
印噺証文〔芋嶋村市郎右衛門支配岩手村田地ニ付、
出入一件、内済噺証文〕岩手村証人二名・庄屋、芋
嶋村証人・庄屋、噺人角取村新兵衛外三名連印 享
保四年三月 一通 八二〇

岩手村鈴木源吉并五十嵐大倭為取替熟談飯証書
写〔大倭より源吉方へ金子引宛トシテ渡置候大倭所持
山ニ付、地券請出入一件〕 明治七年五月九日 半 一冊 四六五

村方勘定争論

○御救米種粳代渡方出入

岩手村長八外二名并相手啓八濟口差上証文控
〔長八等小前拾老人の庄屋啓八江相掛、御救米并種粳
代金割賦渡方出入〕 民政御役所宛 明治三年五月
差出人四名奥書 一通 五〇四

学校局中村春作願書写〔岩手村出入ニ付、拙者腰
押致候由無実之儀被申候ニ付、糾明願〕 民政局御
役人中宛 明治三年四月 一通 五〇五

藤蔵外一名託書〔御救米并種粳代割賦渡方ニ付、非
義之申立申訳無之旨〕 文吉宛 明治三年一〇月 一通 五〇六

義八外三名託書取次一札〔同前一件ニ付、私共組
合之者共非義之申立申訳無之旨〕 文吉宛 明治三年
一〇月 一通 五〇七

佐藤家〔地主経営〕

家産

所持地

○全体

田畑名所帳 岩手村佐藤八兵衛 享保四年二月 美 一冊 二六五
質田地年季貸帳 米山腰岩手村 佐藤八兵衛 (年欠) 美 一冊 二六六

(質田地年季貸帳) (年欠)

田畑入立名所書留牒 宝曆十一年 美 一冊 五二七
附 友右衛門田地讓渡証文・懸持田畑覚等 168 一四通 九〇四
元禄二卯 宝曆十一巳迄田地証文高亨 岩手村 包紙入 一通 六〇五
平六 宝曆十一年七月一二日

村々江懸持高調帳 佐藤所持 弘化二年 横半 一冊 八三四

他町村所有地調并村内所有地調 柳沢新太郎 半 一冊 八三三
佐藤興吉宛 大正五年七月七日・一〇日

(大平下灰庭新田等買受地覚) (大正) 半 一冊 八七五

○岩手村

*岩手村田地入立元帳 延享三年寅ノ秋地割ヨリ 横長美 一冊 八〇三
延享三年
明和二年迄十年ニ付鬪替岩手村田地自分前 (明和 横長美 一冊 二五五
九)

岩手村田地割替取鬪 亥年

常楽寺山之図 惣左衛門・松五郎改 明和五年三月六日

*田地割鬪引帳 天明元年一〇月

西反別割賦帳 佐藤氏 天保八年一〇月

反別割賦夫々預置此度改帳

天保八四年嘉七嘉右衛門藤兵衛三人支配取離
安政四巳年一二月前割致改預ケ
安政四年一二月(慶応四年正月加筆)

(岩手村田地反別覚并安政六未年芋嶋村ノ入米田地入立書改) (年欠)

* (清左衛門畑地割反別入立米覚) (年欠)

* (岩手村田地割鬪引帳) (年欠)

田反別総計帳 明治八年九月
畑反別総計帳 明治八年九月
屋敷反別総計帳 明治八年八月
山地曳帳 明治八年
字城山・同所・一山地曳帳
畑萱野成地曳帳

○他村

――「諸村支配地」〔小作地経営〕(二三四頁)を見よ

地券

○岩手村

新潟県地券 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年一二月二〇日 五三九通 八九四
新潟県地券 岩手村佐藤文吉宛 明治一九年一月一日 一通 八九四

新潟県地券 岩手村鈴木初太郎宛 明治一三年二月二〇日 一通 八九五

新潟県地券 岩手村佐藤丹二郎宛 明治一三年二月二〇日 一通 八九六

新潟県地券 岩手村佐藤泰助宛 明治一三年二月二〇日（所有権移転裏書省略以下同） 一通 八九七

新潟県地券 岩手村大場儀助宛 明治一三年二月二〇日 一通 八九八

新潟県地券 岩手村吉村泰治宛 明治一三年二月二〇日 一通 八九九

新潟県地券 岩手村正眼寺宛 明治一三年二月二〇日 四通 八九〇

新潟県地券 岩手村佐藤長八宛 明治一三年二月二〇日 七通 八九一

新潟県地券 岩手村籠島徳四郎宛 明治一三年二月二〇日 四通 八九二

新潟県地券 岩野村籠島省吾宛 明治一三年二月二〇日 三二通 八九三

新潟県地券 岩手村大場儀助 明治一三年二月二〇日 一通 八九四

○芋嶋村

新潟県地券 包紙（高田新聞）入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日 六七通 八九五

新潟県地券 包紙（高田新聞）入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日 三五通 八九六

新潟県地券 包紙（高田新聞）入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日 一五通 八九七

新潟県地券 包紙（高田新聞）入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日 一三通 八九八

新潟県地券 包紙（高田新聞）入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日 四通 八九九

新潟県地券 芋島村市原吉太郎宛 明治一二年一〇月二五日 一通 九〇〇

○下灰庭新田村

新潟県地券 包紙（高田新聞）入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日 五八通 九〇一

新潟県地券 下灰庭新田村湯本又三郎宛 明治一三年二月二〇日 一通 九〇二

下灰庭新田宮之入九右衛門分地券包紙

新潟県地券 下灰庭新田村宮ノ入市藏宛 明治一三年四月一五日 七八通 九〇三

新潟県地券 岩手村渡辺利平宛 明治一三年二月二〇日 一通 九〇四

新潟県地券 高畑村湯本宗十郎宛 明治一三年二月二〇日 二通 九〇五

○米山寺村

大字米山寺分地券包紙 〔東京朝日新聞〕 一枚 九〇六

新潟県地券 包紙（高田新聞）入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日 一五通 九〇七

新潟県地券 包紙（高田新聞）入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日 四通 九〇八

新潟県地券 包紙（高田新聞）入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日 一五通 九〇九

新潟県地券〔包紙入 岩手村佐藤文吉宛 明治一七年二月二〇日〕(三二通)・明治二〇年九月六日(七通)	三九通	八九六
新潟県地券〔包紙入 水野村薩美ちか宛 明治一七年二月二〇日〕	七通	八九九
新潟県地券〔包紙入(九〇〇一とも) 岩手村佐藤文吉宛 明治一七年二月二〇日〕(二二通)・明治二〇年九月六日(一通)	二三通	九〇〇
新潟県地券〔包紙入 水野村箕輪吉太郎宛 明治一七年二月二〇日〕	三通	九〇三
○その他		
新潟県地券〔城ノ腰村〕 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日	三通	九〇二
新潟県地券〔雁海村〕 包紙入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日	一五通	九〇三
新潟県地券〔百木村〕 包紙(迅雷新報)入 百木村平田重八宛 明治一三年二月二〇日	一二通	九〇四
新潟県地券〔阿弥陀瀬村〕 包紙(迅雷新報)入 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日	一〇通	九〇五
新潟県地券〔東横山村〕 包紙(郵便広告)入(九〇〇七とも) 東横山村仁平友吉宛 明治一三年一月一八日	二通	九〇六
新潟県地券〔東横山村〕 伯母ヶ沢村阿部與惣平宛 明治一三年二月二〇日	一通	九〇七
新潟県地券〔上中山村〕 包紙入(九〇〇九・九〇一〇とも) 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日	一六通	九〇八
新潟県地券〔猿毛村〕 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日	四通	九〇九

新潟県地券〔猿毛村〕 猿毛村新井萬吉宛 明治一三年二月二〇日	二通	九〇〇
新潟県地券〔馬正面新田〕 馬正面村小池長八郎宛 明治一三年二月二〇日	九七通	九〇二
新潟県地券〔馬正面村〕 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年二月二〇日	七通	九〇三
貸金・所得		
一、八平江取替金仕訳帳 昌栄 文化一〇年九月二〇日	合一冊	二五二
二、去申作徳米代金并西五月祝元入用書留 昌栄 文化一〇年九月二〇日	三冊	二五二
三、宿願寺頼母子ニ付取替金印書 さるゐん居 文化一〇年九月二〇日		
金圓取替帳 頸城郡岩手村佐藤文吉 明治六年八月	一冊	三五〇
所得金高届・所得内訳明細書等下書并控綴 佐藤文吉・佐藤耕策後見人佐藤與吉・佐藤耕策 中頸城郡長外宛 明治二〇年・明治三二年	一綴	八九五
(新屋貸金覚帳) (明治三六年・大正六年)	一冊	八七元
吉川村大字赤沢雲門寺へ取替覚帳 明治四四年八月八日より	一冊	八七五
覚帳〔貸金・預金・公債株金覚〕(佐藤)耕策 大正二年七月	一冊	八五九

土地金融証文

→一件証文については「諸村支配地」「争論・一件」(二四〇頁、『佐藤家「家政」』『家政「相統・縁組」(二五一頁も見よ

土地証文(佐藤家宛)

○岩手村

岩手村与右衛門實地証文 岩手村与頭・百姓六名加判 同村八兵衛宛 元禄七年二月	一通 三四五
岩手村与次右衛門外二名連印實地証文 岩手村請人百姓・組頭一〇名加判 同村八兵衛宛 元禄八年二月	一通 三四六
岩手村与次右衛門外二名連印實地証文 岩手村請人百姓・組頭一〇名加判 同村八兵衛宛 元禄八年二月／八木平助裏書	一通 三四七
岩手村与次右衛門外二名連印實地証文 岩手村請人百姓・組頭一〇名加判 同村八兵衛宛 元禄八年二月／(岩手村)八兵衛請合奥書	二通 三四六
岩手村角兵衛實地証文 岩手村請人百姓・与頭九名加判 同村八兵衛宛 元禄八年二月／八木平介裏書	一通 三四元
岩手村角兵衛實地証文 岩手村請人百姓・組頭一〇名加判 同村八兵衛宛 元禄八年二月	一通 三四〇
岩手村角兵衛實地証文 岩手村請人百姓・組頭一〇名加判 同村八兵衛宛 元禄八年二月／(岩手村)八兵衛請合奥書	二通 三四三
岩手村七郎右衛門實地証文 岩手村請人百姓・組頭九名加判 同村八兵衛宛 元禄八年二月／八木平介裏書	一通 三四三
岩手村七郎右衛門實地証文 岩手村請人百姓・組頭九名加判 同村八兵衛宛 元禄八年二月／(岩手村)八兵衛請合奥書	一通 三四三
岩手村八右衛門外二名連印實地証文 同村請人百姓・与頭九名加判 同村八兵衛宛 元禄九年二月	一通 三四六
岩手村八右衛門外二名連印實地証文 岩手村請人百姓・与頭九名加判 同村八兵衛宛 元禄九年二月／(岩手村)八兵衛請合奥書	一通 三四七
岩手村七郎右衛門外二名連印實地証文 岩手村請人百姓・与頭六名加判 同村八兵衛宛 元禄一〇年二月	一通 三四八

岩手村与右衛門實地証文 請人七名加判 同村八兵衛宛 元禄一二年二月	一通 三四九
岩手村六郎右衛門實地証文 請人百姓・与頭七名加判 八兵衛宛 元禄一二年二月	一通 三四〇
岩手村仁左衛門實地証文 請人二名加判 同村八兵衛宛 元禄一二年二月	一通 三四一
岩手村七郎右衛門外三名連印實地証文 請人百姓・与頭七名加判 同村八兵衛宛 元禄一三年二月	一通 三四三
岩手村七兵衛實地証文 請人百姓・与頭六名加判 同村八兵衛宛 元禄一四年二月	一通 三四三
岩手村角右衛門實地証文 請人百姓・与頭五名加判 同村八兵衛宛 元禄一五年二月	一通 三四四
岩手村与次右衛門實地証文 同村証人百姓・与頭五名加判 同村八兵衛宛 宝永四年二月	一通 三四〇
岩手村角右衛門實地証文 同村証人百姓・与頭五名加判 同村八兵衛宛 宝永四年二月	一通 三八九
岩手村大和讓地証文 証人角内外六名加判 同村八兵衛宛 宝永四年二月二十五日	一通 八〇九七
岩手村与次右衛門實地証文 証人百姓・与頭四名加判 同村八兵衛宛 宝永五年二月	一通 三九一
岩手村市郎右衛門實地証文 請人庄や一名加判 岩手村友右衛門宛 享保四年極月	一通 三九九
岩手村伝右衛門實地証文 同村証人百姓・与頭五名加判 同村友右衛門宛 享保五年極月	一通 三九三
芋嶋村權内實地証文 吉左衛門連印、岩手村証人百姓・与頭三名加判 岩手村友右衛門宛 享保七年二月	一通 三九〇

岩手村伝右衛門質地証文 証人百姓・与頭五名加判 同村友右衛門宛 享保八年極月	一通	三三九四	岩手村六平質地証文 百姓証人・与頭五名加判 同村友右衛門宛 享保二〇年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三四〇三
岩手村六平質地証文 岩手村請人・与頭四名加判 同村友右衛門宛 享保一二年極月	一通	三四〇一	岩手村安左衛門質地証文 百姓証人・与頭五名加判 同村友右衛門宛 享保二〇年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三四五三
岩手村喜右衛門質地証文 岩手村請人・与頭四名加判 同村友右衛門宛 享保一二年極月	一通	三四〇五	岩手村伝右衛門質地証文 百姓証人・与頭五名加判 同村友右衛門宛 元文元年二月／楡井美右衛門裏書	一通	三三九七
芋嶋村次郎右衛門質地証文 請人芋嶋村庄屋久左衛門連印、岩手村百姓与頭・三名加判 岩手村友右衛門宛 享保一一年四月	一通	三四〇〇	岩手村半右衛門質地証文 百姓証人・与頭五名加判 同村友右衛門宛 元文二年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三四一〇
芋嶋村次郎右衛門質地証文 同村請人庄屋久左衛門連印、岩手村百姓・与頭四名加判 岩手村安左衛門宛 享保一一年四月	一通	三四〇五	岩手村安左衛門質地証文 百姓証人・与頭五名加判 同村友右衛門宛 元文二年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三四五三
岩手村安左衛門質地証文 百姓証人・与頭五名加判 同村友右衛門宛 元文二年極月	一通	三四五四	岩手村六平質地証文 百姓証人・組頭七名加判 同村友右衛門宛 元文三年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三四〇三
岩手村伝右衛門 新田年季壳渡証文 請人二名加判 同村友右衛門宛 享保二二年極月	一通	三三九二	岩手村万次郎質地証文 百姓証人・与頭五名加判 友右衛門宛 元文三年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三四〇六
岩手村伝右衛門質地証文 百姓証人・与頭三名加判 同村友右衛門宛 享保一三年二月／楡井美右衛門裏書	一通	三三九五	岩手村万次郎質地上借証文 証人一名加判 同村友右衛門宛 元文四年極月	一通	三四〇七
岩手村九右衛門質地証文 百姓証人・組頭五名加判 同村友右衛門宛 享保一七年二月／楡井美右衛門裏書	一通	三四〇八	岩手村金五郎質地証文 百姓証人・与頭五名加判 同村友右衛門宛 元文三年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三四一三
岩手村門左衛門并儀右衛門連印一札〔此度質入田地三付、我等持来候田地二面御座候旨請合一札〕 同村友右衛門宛 享保一七年極月	一通	八二三八	岩手村仁左衛門質地証文 百姓証人・組頭六名加判 同村友右衛門宛 元文三年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三四四五
岩手村半右衛門質地証文 証人百姓・与頭五名加判 同村友右衛門宛 享保一八年二月／楡井美右衛門裏書	一通	三四〇九	岩手村助右衛門質地証文 百姓証人・与頭六名加判 同村友右衛門宛 元文三年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三四七五
岩手村伝右衛門質地証文 百姓証人・与頭五名加判 同村友右衛門宛 享保一十九年極月／楡井美右衛門裏書	一通	三三六六	岩手村助右衛門質地証文 百姓証人・組頭七名加判 同村友右衛門宛 元文三年極月	一通	三四七六

岩手村六平質地証文 百姓証人・組頭五名加判 同村友右衛門宛 元文五年極月	一通 三四〇四
岩手村安兵衛質地証文 百姓証人・与頭五名加判 同村友右衛門宛 元文五年二月／楡井美右衛門裏書	一通 三四三
岩手村平右衛門質地証文 百姓証人・組頭五名加判 同村友右衛門宛 延享二年二月	一通 三四二
岩手村庄助質地証文 百姓証人・組頭七名加判 同村友右衛門宛 延享二年閏二月	一通 三四四
岩手村藤助質地証文 百姓証人・組頭六名加判 同村友右衛門宛 宝暦元年二月	一通 三四九
岩手村助右衛門質地証文 百姓証人・組頭五名加判 同村友右衛門宛 宝暦元年二月	一通 三四七
岩手村庄助後家質地証文 百姓証人・組頭六名加判 岩手村友右衛門宛 宝暦四年二月	一通 三四五
岩手村仁左衛門質地証文 百姓証人・組頭六名加判 岩手村友右衛門宛 宝暦四年二月	一通 三四六
岩手村太左衛門質地証文 百姓証人・組頭六名加判 同村友右衛門宛 宝暦九年二月	一通 三四五
岩手村与吉質地証文 百姓証人・与頭八名加判 同村平六宛 宝暦一〇年二月	一通 三四六
岩手村係八質地証文 百姓証人・与頭八名加判 同村平六宛 宝暦一〇年二月	一通 三四三〇
岩手村助右衛門質地証文 百姓証人・与頭八名加判 同村平六宛 宝暦一〇年二月	一通 三四七
岩手村文助質地証文 長百姓・組頭三名加判 岩手村平六宛 明和二年二月一三日	一通 三四七
岩手村太左衛門質地証文 百姓・長百姓・組頭八名加判 同村平六宛 明和二年二月	一通 三四六

岩手村平右衛門質地証文 百姓頭・百姓・組頭八名加判 同村平六宛 明和二年二月	一通 三四七九
岩手村仁左衛門質地証文 百姓・長百姓・組頭六名加判 同村惣左衛門宛 明和三年七月	一通 三四七
岩手村仁左衛門家馬質入証文 百姓・組頭三名加判 同村惣左衛門宛 明和三年七月	一通 三四八
岩手村惣左衛門讓一札 (仁左衛門署名跡) 長兵衛宛 明和三年七月	一通 三四九
岩手村太左衛門質地証文 百姓・組頭六名加判 同村惣左衛門宛 明和四年二月／大肝煎佐藤八平裏書	一通 三四五七
岩手村平右衛門質地証文 百姓・組頭六名加判 同村惣左衛門宛 明和四年二月／大肝煎佐藤八平裏書	一通 三四八〇
岩手村友七田地讓渡証文 庄屋松五郎外組頭・百姓四名加判 同村惣左衛門宛 明和五年二月	一通 八二七
岩手村太左衛門質地証文 百姓証人・長百姓・組頭・庄屋加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月／大肝煎代役与一郎裏書	一通 三四六
岩手村平右衛門質地証文 百姓・長百姓・組頭・庄屋七名加判 同村惣左衛門宛 明和五年二月／大肝煎代役与一郎裏書	一通 三四八
岩手村安左衛門質地証文 百姓証人・組頭・庄屋七名加判 同村八平宛 明和七年二月／大肝煎代役与一郎・吉右衛門裏書	一通 三四五
岩手村安左衛門質地証文 百姓証人・与頭・庄屋七名加判 同村八平宛 明和八年二月／大肝煎代役吉右衛門裏書	一通 三四六
岩手村太左衛門・安左衛門連署一札 (隠居免トシテ作徳米被下置、忝奉存候旨) 親類・与頭・庄屋四名奥印 同村(八平宛カ) 明和九年五月	一通 三四六

岩手村平右衛門質地証文 百姓証人・組頭・百姓七名加判 同村八平宛 明和八年二月／大肝煎代役吉右衛門裏書	一通	三六八
岩手村勘治郎質地証文 百姓証人・組頭・庄屋加判 同村喜太郎宛 安永二年二月／代役吉右衛門裏書	一通	三六八
岩手村善兵衛山野杉山讓渡証文 立会半右衛門連署 岩手村喜太郎宛 寛政三年	一通	八〇六
岩手村善兵衛御用捨金御札一札〔借用金御用捨三付、御用方等相勤可申旨一札〕 喜太郎宛 寛政三年	一通	八二三
岩手村善兵衛質地証文 請人百姓・与頭三名加判 岩手村喜太郎宛 享和三年二月／大肝煎星野半左衛門裏書	一通	八〇二
岩手村善兵衛質地証文 請人百姓・百姓代・組頭三名加判 岩手村喜太郎宛 文化三年二月／大肝煎星野半左衛門裏書	一通	八〇三
岩手村善兵衛賃入田地上借証文 百姓代・組頭二名加判 同村喜太郎宛 文化三年二月	一通	八〇三
岩手村七郎右衛門質地証文 岩手村請人・組頭・庄屋三名加判 同村八平宛 文化一二年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書	一通	三六〇
岩手村金七外三名連印畑借地証文 同村善兵衛外二名加判 同村八平宛 文政三年八月	一通	八三五
包紙入		
黒岩村星野孫右衛門田地讓渡証文 岩手村百姓代・組頭・庄屋四名加判 岩手村友右衛門宛 文政一二年三月／惣代平助裏書	一通	三六四
岩手村友七質地証文 請人・庄屋四名加判 岩手村友右衛門宛 天保八年二月／大肝煎星野半左衛門裏書	一通	八〇五
岩手村友七上借金証文 同村百姓・百姓代四名加判 同村啓助宛 安政三年二月	一通	八〇六

岩手村友七借高証文 親類・加判人三名加判 友右衛門宛 天保八年二月〔八一〇五參照〕	一通	八二三
岩手村友七差出一札〔質地証文借用仕候処、返済方不明相見不申候三付、以後可為反故違判一札〕 源左衛門外一名加判 友右衛門宛 天保八年二月〔八一〇五參照〕	一通	八二八
岩手村友七借高返済一札下書 同村啓助宛 (年欠)	一通	八二九
岩手村友七質地証文(後欠) 同村勇吉宛 弘化五年正月	一通	八二六
○赤沢村		
赤沢村喜兵衛質地証文 赤沢村証人百姓・与頭・庄屋一〇名加判 岩手村友右衛門宛 享保六年五月	一通	三六三
赤沢村長左衛門水入支配証文 庄屋仁左衛門加判 岩手村友右衛門宛 享保六年五月	一通	三六四
赤沢村新左衛門水入支配証文 請人・庄屋二名加判 岩手村友右衛門宛 享保六年二月	一通	三六四
赤沢村吉左衛門質地証文 赤沢村請人百姓・組頭・庄屋八名加判 岩手村友右衛門宛 享保六年一月	一通	三六三
赤沢村長左衛門水入支配証文 庄屋仁左衛門加判 岩手村友右衛門宛 享保七年三月	一通	三六七
赤沢村武兵衛質地証文 赤沢村請人・組頭・庄屋八名加判 岩手村友右衛門宛 享保一〇年二月／年番楡井美右衛門裏書	一通	三六九
赤沢村勘兵衛外四名連署請田水入証文下書 享保一一年三月	一通	三六五
赤沢村増右衛門請作水入証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保一一年三月	一通	八四六
赤沢村増右衛門請田水入証文 岩手村友右衛門宛 享保一五年二月	一通	三六三

赤沢村清七質地証文 百姓証人・組頭・庄屋七名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆元年二月／大肝煎八木瀬助裏書

一通 三三六

赤沢村猪之助質地証文 赤沢村請人・組頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆元年二月／大肝煎八木瀬助裏書

一通 三三四

赤沢村清七質地証文 赤沢村証人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆六年二月／大肝煎八木瀬助裏書

一通 三三七

赤沢村新左衛門質地証文 百姓証人・与頭・庄屋七名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆七年二月／大肝煎八木瀬助裏書

一通 三三四

上小野村喜惣右衛門質地証文・反別証文并岩手村八平又質添証文 赤沢村百姓・与頭・庄屋六名加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月／添証文 上小野村元地主喜惣右衛門・赤沢村百姓与頭庄屋六名加判 赤沢村市郎右衛門宛 明和七年一月

一通 三三四

上小野村喜惣右衛門質地証文 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月／添証文 上小野村元地主喜惣右衛門・赤沢村百姓与頭庄屋六名加判 赤沢村市郎右衛門宛 明和七年一月

一通 三三五

赤沢村田地証文袋

一枚 三三七

○阿弥陀瀬村

阿弥陀瀬村五郎左衛門質地証文 証拠人百姓・与頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 享保二年二月

一通 三三六

阿弥陀瀬村次郎左衛門田地烟居屋敷讓渡証文 阿弥陀瀬村百姓・組頭・親類九名加判 岩手村友右衛門宛 享保一〇年四月

一通 三三九

阿弥陀瀬村次郎左衛門持高分散銘々高附帳 岩手村友右衛門扣 享保一〇年四月 附 午年入山之寛外

二冊 三六三

阿弥陀瀬村三郎右衛門請田水入証文 岩手村庄屋友右衛門宛 享保一〇年四月 当御田地惣入立帳 阿弥陀瀬村支配三郎右衛門 佐藤友右衛門宛 享保一二年二月 附。庄や安左衛門年貢過銀・未進金差引寛 其外 三通

一通 三九二

上小野村喜惣右衛門田地讓渡証文 阿弥陀瀬村百姓・百姓代・組頭・庄屋五名加判 岩手村惣左衛門宛 明和四年二月

一通 三六八

阿弥陀瀬村片桐喜三郎小作水入証書 受人一名加判 岩手村佐藤文吉宛 明治二年一月

一冊 三九〇

阿弥陀瀬村片桐喜三郎小作水入証書 黒川村大字岩手佐藤文吉宛 明治二年二月二八日

一冊 三九〇

○芋嶋村・上灰庭新田

芋嶋村甚左衛門質地証文 芋嶋村証人長百姓・組頭・庄屋一名加判 岩手村八兵衛宛 宝永五年三月 湯本三右衛門・年番新部八郎左衛門裏書

一通 三六八

芋嶋村伊左衛門質地証文 芋嶋村証人百姓・与頭庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保五年極月 芋嶋村伊左衛門田地支配水入証文 請合二名加判 岩手村友右衛門宛 享保六年五月

一通 四三〇

伊左衛門支配田畑山歩寄寛 芋嶋村地主伊左衛門佐藤友右衛門宛 享保六年五月

一通 四五一

芋嶋村甚左衛門質地証文 芋嶋村証人五名加判 岩手村八兵衛宛 享保七年三月

一通 四四三

芋嶋村六郎左衛門質地証文 芋嶋村請人百姓・与頭・庄屋八名加判 岩手村友右衛門宛 享保一〇年二月／年番榆井美右衛門裏書

一通 三八一

芋嶋村甚左衛門質地証文 芋嶋村請人百姓・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一二年二月／榆井美右衛門裏書

一通 三六五

芋嶋村文左衛門質地証文 芋嶋村請人百姓・与頭・庄屋八名加判 岩手村友右衛門宛 享保一二年一月	一通	三六九
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村唯右衛門質地証文 芋嶋村請人百姓・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一三年一月二日	一通	三六八
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村六郎左衛門質地証文 芋嶋村請人百姓・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一四年一月	一通	三六三
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村彦左衛門質地証文 芋嶋村百姓・組頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一六年一月	一通	三六九
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村左左衛門質地証文 証人百姓・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一六年一月	一通	三五三
二月／榆井美右衛門裏書		
上灰庭新田半石反別改帳 芋嶋村田地主左衛門・庄屋・与頭三名連印 岩手村友右衛門宛 享保一六年一月	一冊	二〇五
二月		
芋嶋村六郎左衛門質地証文 芋嶋村百姓・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一六年一月	一通	三六四
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村六郎左衛門水入証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保一七年三月	一通	三六五
芋嶋村四郎左衛門水入証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保一七年三月	一通	三六七
芋嶋村与三兵衛質地証文 百姓証人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一七年一月	一通	三五二
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村与三兵衛水入証文 証人庄屋源助加判 岩手村友右衛門宛 享保一九年三月	一通	三五〇
芋嶋村七郎右衛門質地証文 芋嶋村百姓・組頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一七年一月	一通	三六七

芋嶋村孫左衛門質地証文 証人百姓・与頭・庄屋七名加判 岩手村友右衛門宛 享保一八年一月	一通	三五三
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村孫左衛門水入証文 証人庄屋源助加判 岩手村友右衛門宛 享保一九年三月	一通	三五〇
芋嶋村彦左衛門水入証文 同村証人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保一九年三月	一通	四二四
芋嶋村七郎右衛門水入証文 同村証人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保一九年三月	一通	三六四
芋嶋村金左衛門質地証文 百姓証人・組頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 享保一九年一月	一通	三六六
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村七郎右衛門質地証文 芋嶋村百姓証人・組頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一九年一月	一通	三六三
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村六郎左衛門質地証文 百姓証人・組頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一九年一月	一通	三六三
二月／榆井美右衛門裏書		
芋嶋村沖右衛門質地証文 百姓証人・与頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 元文二年極月／榆井美右衛門裏書	一通	三六九
芋嶋村孫兵衛質地証文 百姓証人・与頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 元文二年極月／榆井美右衛門裏書	一通	三六九
上灰庭新田村七郎右衛門質地証文 百姓証人・組頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 寬保元年極月	一通	三六五
芋嶋村利左衛門質地証文 芋嶋村百姓証人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 寬保三年一月	一通	三四六
上灰庭新田利左衛門質地証文 百姓証人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 寬保三年二月	一通	三四四

芋嶋村四郎右衛門質地証文 芋嶋村百姓請人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 延享元年二月

一通 三六九

上灰庭新田平三郎質地証文 上灰庭新田百姓請人・与頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 延享元年十二月

一通 三六九

芋嶋村与一右衛門質地証文 同村百姓請人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 延享二年二月

一通 三六九

芋嶋村六兵衛質地証文 同村百姓請人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 延享二年二月

一通 三五四

芋嶋村与一右衛門質地証文 百姓請人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 延享二年二月

一通 三五五

芋嶋村仁左衛門質地証文 上灰庭新田百姓請人・与頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 延享三年二月

一通 三五六

芋嶋村甚兵衛質地証文 請人・与頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 寬延二年二月

一通 三五五

上灰庭新田彦七質地証文 請人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 寬延二年二月／大肝煎佐藤八平裏書

一通 三六九

芋嶋村孫兵衛質地証文 百姓証人・与頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆六年二月／大肝煎佐藤八平裏書

一通 三六九

芋嶋村浅右衛門後家米金借用証文 証人・庄屋二名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆九年二月

二通 三五五

附 浅右衛門借用米金元利勘定寬
芋嶋村浅右衛門後家質地証文 百姓証人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆九年二月／大肝煎佐藤八平裏書

一通 三五六

芋嶋村孫八質地証文 請人・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆七年二月／大肝煎佐藤八平裏書

一通 三四三

芋嶋村彦次右衛門質地証文 証人百姓・組頭・庄屋四名加判 岩手村平六宛 宝曆二年二月

一通 三五七

芋嶋村太右衛門質地証文 証人百姓・組頭・庄屋六名加判 岩手村平六宛 宝曆二年二月

一通 三五八

芋嶋村太右衛門質地借証文 証人二名加判・与頭・庄屋四名奥印 岩手村平六宛 宝曆二年二月二十九日

一通 三五九

芋嶋村甚兵衛質地証文 証人百姓・与頭・庄屋五名加判 岩手村惣左衛門宛 明和三年二月／(岩手村)惣左衛門請合奥書、大肝煎佐藤八平裏書

一通 三五六

芋嶋村六兵衛質地証文 証人・組頭五名加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月／大肝煎代役与一郎裏書

一通 三五七

上灰庭新田彦次右衛門質地証文 証人・組頭三名加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月／大肝煎代役与一郎裏書

一通 三五八

芋嶋村彦次右衛門質地証文 証人・組頭三名加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月／大肝煎代役与一郎裏書

一通 三五九

芋嶋村六兵衛質地証文 親類・長百姓・与頭六名加判 (宛名欠) 明和六年二月／大肝煎代役与一郎裏書

一通 三六〇

芋嶋村六兵衛質地証文 親類百姓・長百姓・与頭六名加判 岩手村喜太郎宛 安永元年二月／代役吉右衛門裏書

一通 三六三

芋嶋村佐次右衛門田畑支配証文 請人・与頭三名加判 岩手村喜太郎宛 安永二年三月

一通 三六三

芋嶋村佐次右衛門田畑支配証文 親類一名連印、与頭・庄屋三名加判 岩手村喜太郎宛 安永四年二月	一通 三五三
芋嶋村六兵衛質地証文 親類百姓・長百姓・組頭六名加判 岩手村喜太郎宛 安永四年二月／大肝煎代役彦右衛門・吉右衛門裏書	一通 三五三
芋嶋村三右衛門質地証文 親類百姓・証人百姓・与頭七名加判 岩手村喜太郎宛 安永五年二月／大肝煎代役吉右衛門裏書	一通 四五四
竹直村定右衛門田地讓返一札控 芋嶋村庄屋所宛 安永九年二月／岩手村喜太郎請取奥書	一通 四五四
芋嶋村三右衛門質地証文 芋嶋村親類・請人・与頭・庄屋五名加判 岩手村喜太郎宛 天明四年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書	一通 四五四
芋嶋村三右衛門田地上借証文 岩手村喜太郎宛 辰〔天明四年〕二月	一通 四五四
芋嶋村林右衛門質地証文 請人・与頭・庄屋四名加判 岩手村喜太郎宛 寛政五年正月／大肝煎星野孫右衛門裏書	一通 三四九
芋嶋村半右衛門質地証文 親類・百姓代・組頭・庄屋五名加判 岩手村佐藤喜太郎宛 文化五年二月／大肝煎星野半左衛門裏書	一通 三四九
芋嶋村松五郎質地証文 加判証拠人助左衛門外庄屋組頭百姓代三名加判 岩手村八平宛 文化一三年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書	一通 四三六
芋嶋村幾右衛門・黒岩村星野孫右衛門連印質地証文 加判人・百姓代・組頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 天保二年二月／惣代平助裏書	一通 三四九
芋嶋村助治郎田地支配小作証文 請人・庄屋三名加判 岩手村友右衛門宛 天保九年二月	一通 三七五

芋嶋村林右衛門田地支配証文 加判人・百姓代・組頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 天保一三年二月	一通 三四八
芋嶋村勘助外一名支配預り証文 請人二名加判 岩手村啓助宛 嘉永四年三月	一通 三七四
岩手村啓助田地金預返り証文 受人一名加判 芋嶋村勘助宛 嘉永七年正月	一通 三八一
芋嶋村上灰庭新田反別水入帳 芋嶋村田地質入人勘助 黒岩村啓助宛 文久三年二月	一冊 三八三
芋嶋村横田文吉田地小作請証書 岩手村佐藤文吉宛 明治二〇年一月一日	一通 三九一
芋嶋村佐藤弥三郎田地小作請証書 岩手村佐藤文吉宛 明治二〇年一月一日	一冊 三九二
芋嶋村柳沢幾次郎田地小作請証書 岩手村佐藤文吉宛 明治二〇年一月一日	一通 三九三
芋嶋村市原多三郎田地小作請証書 岩手村佐藤文吉宛 明治二〇年一月一日	一冊 三九四
芋嶋村市原吉太郎田地小作請証書 岩手村佐藤文吉宛 明治二〇年一月一日	一通 三九五
黒川村大字芋嶋權田文平土地壳渡ノ証 黒川村大字岩手佐藤耕策宛 大正五年二月二十九日	一冊 八七五
○大平村	
大平村九兵衛外一五名連印質地証文 証人・与頭・百姓四名加判 岩手村八兵衛・岩野村伝右衛門宛 正徳四年一月	一通 三二〇
大平村九兵衛外一五名連印田地支配証文 証人四名加判 岩野村伝右衛門・岩手村八兵衛宛 正徳四年一月	一通 三二一
大平村善七質地証文 請人庄屋一名加判 岩手村友右衛門宛 享保五年極月	一通 三二三

○上輪村・同新田村

上輪新田三助實地証文 証人・与頭・庄屋四名加判 岩手村友右衛門宛 享保一二年二月

上輪新田村九左衛門實地証文 請人・与頭・庄屋四名加判 岩手村友右衛門宛 享保一二年二月

上輪新田村九左衛門米金上借証文 岩手村友右衛門宛 享保一二年二月

上輪新田村九左衛門田地支配証文 岩手村友右衛門宛 享保一二年二月

上輪新田村九左衛門實地証文 証人・組頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 寬保元年二月

上輪新田村九左衛門實地証文 証人・組頭・庄屋三名加判 岩手村佐藤八平宛 寶曆八年二月

○岸海(鴈海)村

岸海村平右衛門實地証文并坂本喜左衛門田地壳渡繼添証文 証人・組頭・庄屋六名加判 坂本五郎右衛門宛 元禄一四年二月(繼添証文) 瀧町村平右衛門宛 享保一二年正月

瀧町村平右衛門田地書入金子借用証文 瀧町村請人一名・岸海村請人庄屋加判 岩手村友右衛門宛 享保一二年正月

岸海村佐五左衛門實地証文并柳崎惣七又質繼添証文 請人・与頭・庄屋三名加判 大黒屋惣七宛 享保七年極月(繼添証文) 請人一名連印 岸海村佐五左衛門外一名加判 岩手村友右衛門宛 享保一〇年二月

岸海村金左衛門請作支配証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保七年二月

附 岸海村佐五左衛門田畑山付立覚 岩手村友右衛門宛

岸海村金左衛門小作水入証文 請人二名加判 岩手村友右衛門宛 享保一二年二月

岸海村金左衛門實地証文 証人・組頭・庄屋三名加判 岩手村友右衛門宛 享保一二年二月

岸海村金左衛門實地証文 証人・組頭・庄屋三名加判 岩手村友右衛門宛 享保一二年二月

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

繼一通 六三三

一通 六三三

繼一通 六三三

一通 六三三

二通 六三三

一通 六三三

一通 六三三

岸海村仁郎右衛門田地 田畑山林 居所附帳 岸海村田地預ケ主仁郎右衛門 証人・組頭・庄屋三名加判 岩手村友右衛門宛 寶曆元年二月

岸海村忠左衛門支配証文 組頭・庄屋二名加判 岩手村友右衛門宛 寶曆二年三月

岸海村忠左衛門田地支配証文 証人一名加判 岩手村平六宛 明和元年二月

岸海村權右衛門實地借証文 組頭・庄屋二名加判 岩手村平六宛 明和元年二月

岸海村金右(左)衛門田地支配証文 鴈海村田地預ケ主權右衛門・支配人金右(左)衛門連印(宛名欠) 明和元年二月

岸海村庄屋金右衛門・組頭九左衛門連印田地支配証文(宛名欠) 明和元年二月

岸海村金右衛門田地支配証文(宛名欠) 明和元年二月

岸海村仁郎右衛門田地借証文 組頭・庄屋二名加判 岩手村平六宛 明和元年二月

岸海村治右衛門實地証文 庄屋・組頭二名加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月

岸海村金左衛門田地支配証文(當村吉兵衛實入地立米滞三付・佐配人交代) 証人・与頭三名加判 岩手村松五郎宛 安永五年二月

岸海村權右衛門實地証文 証人百姓・長百姓・組頭・庄屋五名加判 岩手村喜太郎宛 安永六年二月

岸海村吉兵衛後家實地証文 証人・百姓代・与頭庄屋四名加判 岩手村喜太郎宛 寬政八年二月

岸海村吉兵衛後家實地添証文 庄屋金左衛門奧印 岩手村喜太郎宛 寬政八年二月

美

一冊 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

一通 六三六

鴈海村熊太郎質地証文 請人・百姓代・与頭・庄屋四名加判 岩手村喜太郎宛 寛政二年二月田方反別居屋敷并山畑附帳 鴈海村熊太郎外百姓代・与頭・庄屋三名連印 岩手村喜太郎宛 寛政二年二月

横長美

二通 三六五

一冊 三六五

鴈海村与右衛門外三名連印請作水入証文 請人三名加判 岩手村友右衛門宛 (年欠)

一通 三六六

○岸海村 (質地請取請合一札)

岩手村平六質地請取請合一札案文控 柳崎組御割元所宛 宝曆一三年四月

一通 三六三

岩手村平六質地請取請合一札控 柳崎御割元所宛 宝曆一四年

一通 三六三

岩手村平六質地請取請合一札案文控 柳崎御年番所宛 明和二年四月

一通 三六三

○猿毛村

猿毛村平右衛門・助次右衛門連印質入小作証文 岩手村八兵衛宛 宝永六年三月

一通 三六七

猿毛村安兵衛水入支配証文 庄屋一名加判 岩手村八兵衛宛 享保元年極月

一通 三六七

猿毛村孫次右衛門質地証文并米山寺村勘左衛門添書 請人百姓・組頭七名加判 米山寺村勘左衛門宛 享保一二年二月 (添書) 岩手村友右衛門宛 未(享保一二年)二月一日

一通 三六九

猿毛村孫次右衛門質地証文 請人百姓・組頭七名加判 岩手村友右衛門宛 享保一二年二月

一通 三六〇

猿毛村奥右衛門質地証文 請人百姓・与頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 延享四年二月
猿毛村浅右衛門分質地金渡方勘定寛 (年欠)

一通 三六一
一通 三六三

○下小野村

下小野村茂左衛門質地反別証文 百姓代・与頭・庄屋四名連印 岩手村喜太郎宛 天明八年二月
下小野村六右衛門後家質地証文 請人・百姓代・与頭・庄屋六名(五名)加判 岩手村喜太郎宛 文化元年二月・文化三年二月

包紙入

一通 三六九

二通 三六三
三六六

下小野村六衛門支配高分ケ渡証文 請人三名加判 祖母殿宛 弘化三年四月

一通 三六七

○下条村

下灰庭新田村吉右衛門質地証文 下条村百姓・与頭・庄屋八名加判 岩手村松五郎宛 天明二年二月
大肝煎星野孫右衛門裏書

一通 三六六

下条村貞平質地証文 下条村百姓請人・与頭・庄屋七名加判 岩手村喜太郎宛 寛政一二年二月
大肝煎星野半左衛門裏書

一通 三六六

下条村太次右衛門質地証文 請人百姓・組頭・庄屋六名加判 岩手村喜太郎宛 享和三年二月
大肝煎星野半左衛門裏書
附 下条村太次右衛門当亥御年貢米指引勘定 寛 岩手村喜太郎宛 享和三年二月

二通 三七一

下条村源吉質地証文 下条村百姓代・与頭・庄屋八名加判 岩手村喜太郎宛 午(文化七年)二月
大肝煎新部三郎右衛門裏書

一通 三六三

○下灰庭新田村

下灰庭新田村与右衛門質地証文 請人庄屋・組頭八名加判 岩手村八兵衛宛 元禄二年二月
平助裏書

一通 三六五

下灰庭新田村九左衛門質地証文 請人庄屋外一名加判 高畑村理左衛門宛 元禄四年極月
平助裏書

一通 三六六

高畑村利左衛門又質添証文 灰庭村請人庄や・与頭二名加判 岩手村八兵衛宛 元禄一〇年二月二三日

一通 三六〇

高畑村理左衛門實地証文并同人添書証文 請人
下灰庭村庄屋・与頭・百姓三名加判 岩手村八兵衛
宛 元禄七年二月 一通 三五六七

高畑村理左衛門實地証文 下灰庭新田村請人庄屋
・与頭・百姓八名加判 岩手村八兵衛宛 元禄一〇
年極月 一通 三五六九

下灰庭村喜右衛門實地証文 請人庄屋・与頭・百
姓三名加判 岩手村八兵衛宛 元禄一三年二月 一通 三五九三

高畑村理左衛門實地証文 下灰庭請人・庄屋五名
加判 岩手村八兵衛宛 元禄一三年二月 一通 三五九一

下灰庭新田村全兵衛實地証文 請人庄屋・組頭・
百姓四名加判 岩手村八兵衛宛 元禄一五年二月 一通 三五九三

下灰庭新田村喜右衛門實地証文 請人庄屋・与頭
二名加判 岩手村八兵衛宛 元禄一六年二月 一通 三五九五

(高畑村)利左衛門實地証文 下灰庭新田村請人与
頭・百姓・庄屋九名加判 岩手村八兵衛宛 宝永二
年極月 一通 三五九六

下灰庭新田村又三郎實地証文 長百姓・組頭・庄
屋三名加判 岩手村友右衛門宛 寛延元年二月 一通 三五九七

湯本市郎左衛門口上書 〔灰庭又三郎借用質田地代
金直段積リ之件〕 佐藤八平宛 (寛延元年九) 閏一
〇月二三日 一通 三六〇一

米山寺村惣吉實地証文 百姓証人・与頭・庄屋四
名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆元年二月／大肝
煎佐藤八平裏書 一通 三六九六

米山寺村甚五右衛門實地証文 百姓証人・組頭・
庄屋四名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆元年二月
／大肝煎佐藤八平裏書 一通 三六九六

下灰庭新田村湯本又三郎地所壳渡証書 岩手村
佐藤文吉宛 明治一八年一月二六日／戸長渡辺貞
治証印 (三九〇八まで開通) 一冊 三六九六

佐藤家文書目録 佐藤家〔地主経営〕 土地金融証文 美

下灰庭新田村宮ノ入九右衛門小作証書 保証人一
名加判 岩手村佐藤文吉宛 明治一十九年二月 一通 三六九七

下灰庭新田村字向屋敷繪圖面証文 灰庭新田
村宮ノ入徳治 岩手村佐藤文吉宛 明治七年一二日
黒川村大字下灰庭新田宮ノ入寿作地所壳渡証写
大字岩手佐藤耕策宛 大正二年 一通 八七九九

○鉢崎村

鉢崎村門兵衛水入証文 請人安右衛門外一名加判
岩手村友右衛門宛 享保六年二月 一通 五九三三

鉢崎村甚十郎并彦右衛門水入証文 請人安右衛門
外一名加判 岩手村友右衛門宛 享保六年二月 一通 五九四四

鉢崎村清左衛門水入証文 請人安右衛門外一名加判
岩手村友右衛門宛 元文四年極月 一通 五九五五

鉢崎村八助金子借用証文 請合一名加判 岩手村
友右衛門宛 延享元年一月二八日 一通 五九六六

鉢崎村清兵衛金子借用証文 岩手村友右衛門宛
寛延三年七月 一通 五九七七

鉢崎村六郎左衛門水入証文 請人安右衛門外一名
加判 岩手村友右衛門宛 享保六年二月 一通 五九八八

岩野村八郎兵衛金子延納手形〔鉢崎村六郎左衛門
實地代金返金分力〕 岩手村八平宛 明和八年六月
二五日 一通 五九九九

岩手村八平願書下書〔鉢崎村六郎左衛門相手、質
田地地所渡方願〕 与頭友七外一名・庄屋松五郎連
署 明和八年 一通 六〇〇〇

鉢崎村六郎左衛門差出一札〔二六年前以前岩手村八
平方江質入田地、此度田地并代金共二貫受候二付、
為後日一札〕 親類弥市右衛門外三名加判 岩野村
八郎兵衛・岩手村八平宛 明和九年一月 一通 六〇〇一

鉢崎村武右衛門實地証文 鉢崎村証人・組頭・庄
屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保五年二月 一通 六〇〇三

鉢崎村符中屋田地地名所立米寛帳 鉢崎村武右衛
門・請人二名 岩手村友右衛門宛 享保五年極月 一冊 六〇〇三

鉢崎村吉兵衛外三名連印一作水入証文 (宛名
欠) 元文二年三月 (次頁五一〇七まで開通) 一通 六〇〇四

未進米并高懸り小懸り金勘定書 辰極月二八日
鉢崎村吉兵衛米借用証文 請人三十郎・近藤喜八郎加判 佐藤八平宛 亥十一月二八日
近藤喜八郎書狀〔當村武右衛門水入証文添書御礼并吉兵衛小作米不足之由承知之旨〕 佐藤惣左衛門宛 八月二十五日

○原町村

保倉谷虫川村負右衛門質地証文 百姓・与頭・庄屋八名加判 下町村五左衛門宛 享保一〇年一月二日
下美守郷原野町村田畑居屋鋪反別帳 虫川村田地預々主負右衛門・原町村庄屋与一右衛門 下町村五左衛門宛〔享保一〇年一月二日〕 横長美
下町村五左衛門又質添証文 証拠人原野町村喜三郎外一名加判 岩手村友右衛門宛 享保一一年三月

岩手村平六添狀控〔質物ニ相渡候原町村懸持田地之儀、貴殿元田地ニ付、永御所持可被成旨 質地証文ニ添一札〕 国田村惣兵衛宛 明和二年六月

○百木村

百木村七郎右衛門田地支配証文 請人親類一名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆八年二月

百木村六右衛門質地証文 百木村百姓・与頭・庄屋九名加判 岩手村喜太郎宛 寛政七年二月
百木村六右衛門小作水入証文 請人・組頭・庄屋八名加判 岩手村喜太郎宛 寛政七年二月
百木村六右衛門山畑役請負証文 請人親類一名加判 岩手村喜太郎宛 寛政七年二月

百木村新部重太郎支配水入証文 受人一名加判 岩手村佐藤文吉宛 明治九年一月三日

百木村平田軍治小作受水入証書 証人平田彦藏加印 岩手村佐藤文吉宛 明治一八年九月二八日

○下町村

原町村市郎左衛門質地証文 下町村証人百姓・与頭・庄屋二〇名加判 岩手村友右衛門宛 享保一三年二月八日
原町村市郎左衛門田地支配水入証文 下町村与頭・庄屋四名加判 岩手村友右衛門宛 享保一三年二月

○馬正面村

馬正面村六郎右衛門質地証文 証拠人・百姓代・組頭・庄屋六名加判 岩手村八平宛 文政二年二月
馬正面村六郎右衛門支配役方極証文 証拠人・百姓代・組頭・庄屋六名加判 岩手村八平宛 文政二年二月
馬正面村六郎右衛門田地上借証文 証拠人・百姓代・組頭・庄屋六名加判 岩手村八平宛 文政二年二月

馬正面村平治郎田地上借証文 親類・村役人六名加判 岩手村啓助宛 文久元年一〇月

馬正面村小林禄平金員借用証文 岩手村佐藤文吉宛 明治一四年二月九日
馬正面村小林儀平小作受水入証文 岩手村佐藤文吉宛 明治一四年一月二日

小林庄兵衛書狀〔借金質地証文之件其外〕 佐藤八平・佐藤松五郎宛 一二月二八日

馬正面村惣高式拾五前割老步高反別入立指引 庄兵衛 佐藤宛 申一二月
高反別入付米書立覚 馬正面村小林六平・直六 明治一四年二月九日

米金書付覚〔明治〕

○米山寺村

米山寺村權右衛門質地証文 米山寺村庄屋・与頭・百姓一〇名加判 岩手村八兵衛宛 元禄六年一二月

米山寺村九兵衛居屋敷借地証文 證拠人武右衛門
外二名加判 岩手村八兵衛宛 元禄一二年三月 一通 四〇六

*米山寺村儀兵衛質地証文 証拠人庄屋・与頭・百
姓九名加判 岩手村八兵衛宛 元禄一一年極月 一通 八四九五

*米山寺村儀兵衛質地証文 同村証人百姓・組頭・
庄屋八名加判 岩手村八兵衛宛 宝永四年一二月 一通 八四九六

*米山寺村儀兵衛差出一札〔質地請返之儀、当九月
中御裁許被仰付候得共、代物持不申候ニ付、以来
構無御座旨〕 米山寺村与頭・庄屋四名加判 岩手
村友右衛門宛 享保三年極月 一通 八四九七

米山寺村久四郎質地証文 米山寺村証拠人百姓・
組頭・庄屋七名加判 岩手村助左衛門宛 宝永元
年極月 一通 三三三

岩手村助左衛門又質添証文 米山寺村証拠人庄屋
清左衛門加判 岩手村八兵衛宛 宝永二年一二月 一通 三三三

米山寺村文右衛門質地証文 請人百姓・組頭一〇
名加判 岩手村八兵衛宛 享保五年五月 一通 三七六

米山寺村惣左衛門質地証文 米山寺村請人百姓・
与頭・庄や九名加判 岩手村友右衛門宛 享保八
年極月 一通 三五九

米山寺村勘左衛門小作水入証文 岩手村友右衛門
宛 享保八年 一通 三四八

米山寺村与喜左衛門質地証文 米山寺村百姓請人
・組頭・庄屋六名加判 同村金右衛門宛 享保一
〇年一二月／年番檢井美右衛門裏書 一通 三三六

米山寺村金右衛門又質添証文 米山寺村請人・組
頭・庄屋四名加判 岩手村友右衛門宛 享保一三
年極月 一通 三五七

米山寺村金右衛門質地証文 米山寺村百姓請人・
組頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 享保一
三年極月／檢井美右衛門裏書 一通 三五六

米山寺村市右衛門質地証文 米山寺村百姓請人・
組頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 享保一
四年一二月／檢井美右衛門裏書 一通 三五五

米山寺村市右衛門上借証文 証人一名加判 岩手
村友右衛門宛 享保一五年三月 一通 三五五

米山寺村勘左衛門質地証文 百姓証人・組頭・庄
屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一六年一
月／檢井美右衛門裏書 一通 三五五

米山寺村勘左衛門田地坪附証文 証拠人組頭庄屋
六名加判 岩手村友右衛門宛 享保一六年一二月 一通 三五五

米山寺村角兵衛質地証文 百姓請人・組頭・庄屋
七名加判 岩手村友右衛門宛 享保一六年極月／檢
井美右衛門裏書 一通 三七〇

米山寺村孫七質地証文 百姓請人・組頭・庄屋五
名加判 岩手村友右衛門宛 享保一八年一二月／檢
井美右衛門裏書 一通 三六九

米山寺村多次兵衛質地証文 米山寺村百姓請人・
組頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 元文二年
一二月／檢井美右衛門裏書 一通 三五五

米山寺村角兵衛質地証文 米山寺村百姓請人・組
頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 元文二年一
二月／檢井美右衛門裏書 一通 三七〇

米山寺村甚五左衛門居屋敷壳渡証文并鹿絵図
請人喜左衛門・庄屋組頭三名加判 岩手村友右衛門
宛 元文五年二月 一通 四四〇

米山寺村太次兵衛質地証文 米山寺村百姓請人・
組頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 延享四
年一二月／檢井美右衛門裏書 一通 三五七

米山寺村太次兵衛上借証文 証人一名加判 岩手
村友右衛門宛 延享四年一二月 一通 三五六

岩手村太左衛門質地証文 米山寺村百姓証人・組
頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 寛延三年一
二月／檢井美右衛門裏書 一通 三五五

米山寺村与五右衛門質地証文 米山寺村百姓請人・組頭・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 寛延三年二月／檢井美右衛門裏書	一通	三七〇
米山寺村平左衛門質地証文 百姓証人・組頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆四年二月	一通	三五五
米山寺村平次右衛門質地証文 百姓証人・組頭・庄屋五名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆八年二月	一通	三五五
米山寺村清助質地証文 米山寺好身・百姓代・与頭・庄屋六名加判 岩手村平六宛 宝曆一三年二月	一通	三六〇
米山寺村平八田地水入支配証文 請人組頭一名加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月	一通	三七三
米山寺村六兵衛質地証文 証人百姓・組頭・庄屋八名加判 岩手村喜太郎宛 安永二年二月	一通	三六三
米山寺村八郎右衛門質地証文 米山寺村請人・百姓代・組頭・庄屋六名加判 岩手村喜太郎宛 寛政元年三月	一通	三六一
米山寺村庄屋幸左衛門田地上借証文 親類二名加判 岩手村喜太郎宛 文化元年二月	一通	三六五
米山寺村庄屋幸左衛門田地支配水入証文 請人・百姓代・組頭六名加判 岩手村喜太郎宛 文化元年二月	一通	三七七
米山寺村庄屋清左衛門質地証文 米山寺村請人・百姓代・組頭六名加判 岩手村八平宛 文政六年二月／惣代平助裏書	一通	三七六
米山寺村清左衛門田地上借証文 親類一名加判 岩手村八平宛 文政六年二月	一通	三六六
米山寺村茂左衛門田地支配証文 請人二名加判 岩手村勇吉・啓助宛 嘉永三年二月	一通	三九〇
山田畑歩附入立帳 米山寺村支配預り人茂左衛門 岩手村勇吉・啓助宛 嘉永三年二月（一三九〇五と関連）	一冊	三九四

横長半

田山畑歩敷附 米山寺村長作 同村請人二名加判 岩手村啓助宛 万延元年二月	一冊	三九〇
米山寺村万兵衛山讓渡証文写 請人一名加判 岩手村勇吉宛 安政四年	一通	八三三
米山寺村藤兵衛田地支配水入証文 請人百姓代与頭庄屋四名加判 岩手村啓助宛 安政五年二月	一通	三五三
米山寺村忠次郎請作証文 請人一名加判 岩手村佐藤啓助宛 慶応四年二月	一通	三五六
米山寺村湯本藤八烟火水入証文 請人一名加判 岩手村佐藤啓助宛 明治戊辰（七年）	一通	三五三
米山寺村中村藤重郎烟火水入証文 同村請人一名加判 岩手村佐藤慶助宛 明治七年七月	一通	三五四
米山寺村湯本藤八・中村藤十郎連印烟火水入証文 岩手村佐藤啓助宛 明治一三年二月	一通	三五五
○水野村		
水野村仁左衛門質地証文 水野村証人百姓・与頭・庄屋七名加判 岩手村八兵衛宛 宝永七年極月／年番新部八郎左衛門・湯本三右衛門裏書	一通	三六三
水野村仁左衛門田地名所証文 水野村田地預ケ主仁左衛門 証人・与頭・庄屋七名加判 岩手村八兵衛宛 宝永七年極月	一冊	三六三
(水野村田地名所付覚帳)		
水野村又左衛門質地証文 水野村請人・庄屋四名加判 岩手村八兵衛宛 正徳三年二月	一通	三五七
水野村又左衛門小作水入証文 岩手八兵衛宛 正徳三年二月二十九日	一通	三五六
水野村助左衛門質地証文 水野村証人百姓・庄屋七名加判 岩手村八兵衛宛 正徳三年二月	一通	三六三
水野門左衛門田地名所証文 水野村田地合名助左衛門 証人・庄屋六名加判 正徳四年三月（一三八九七まで関連）	一冊	三六四

美

水野村助左衛門田地支配証文 請合・庄屋二名加判 岩手村友右衛門宛 正徳五年三月	一通	三六五
水野村助左衛門田地支配証文 請人・庄屋二名加判 岩手村友右衛門宛 正徳六年三月	一通	三六六
水野村助左衛門請作田地支配証文 同村請人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保六年四月	一通	三六七
水野助左衛門田地名所証文 當時支配人利助・助右衛門・正徳四年三月(明治享)	一冊	三六九
附 請作証文 水野村仁左衛門・助左衛門 岩手村八兵衛宛 正徳四年三月(明治享)	一通	三六〇
水野村市郎左衛門金子借用証文 岩手村啓助宛 安政五年七月(明治享)	一通	三六〇
水野村仁左衛門・助左衛門連印請作証文 岩手村八兵衛宛 正徳四年三月	一通	三六五
水野村仁左衛門田地支配証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 正徳四年五月	一通	三六六
水野村仁左衛門田地支配証文 請人・庄屋二名加判 岩手村友右衛門宛 正徳六年三月	一通	三六七
水野村三右衛門田地請作支配証文 請人・庄や二名加判 岩手村八兵衛宛 正徳六年三月	一通	三六三
水野村三右衛門質地証文 証人百姓・与頭・年番之内・庄や一〇名加判 岩手村友右衛門宛 享保八年二月	一通	三六三
水野村三右衛門田地名所付証文帳 田地預ヶ主三右衛門 証人・庄屋六名加判 岩手村友右衛門宛 享保八年極月	一冊	三六三
水野村吉太郎質地証文 水野村証人・与頭・庄屋一〇名加判 岩手村八平宛 宝曆八年二月	一通	三六〇
田畑名所附目錄 水野村吉太郎 請人・与頭二名加判 宝曆八年二月	一冊	三六二
水野村彦三郎支配証文 請人・与頭二名加判 岩手村八平宛 宝曆八年二月	一通	三六三

水野村仁右衛門質地証文 証拠人・与頭・庄屋九名加判 岩手村喜太郎宛 安永四年二月	一通	三六三
名所小目録帳 水野村目録主仁右衛門 証拠人・与頭・庄屋九名加判 岩手村喜太郎宛 安永四年二月	一冊	三六四
水野村仁右衛門田地支配証文 証拠人・与頭・庄屋九名加判 岩手村喜太郎宛 安永四年二月	一通	三六五
水野村仁右衛門質地証文 請人・長百姓・与頭・庄屋八名加判 岩手村喜太郎宛 寛政六年二月	一通	三六六
水野村仁右衛門上借証文 請人・庄屋二名加判 岩手村喜太郎宛 寛政六年二月	一通	三六七
水野村庄屋吉左衛門質地証文 証拠人・百姓代・組頭六名加判 岩手村八平宛 文化一〇年二月	一通	三六八
大肝煎星野孫右衛門裏書 水野村田地質入人吉左衛門 文化一〇年二月	一冊	三六九
水野村仁兵衛質地証文 請人・百姓代・組頭・庄屋八名加判 岩手村友右衛門宛 天保八年二月	一通	三六六
田畑山林名所附帳 水野村田地質主仁兵衛 岩手村友右衛門宛 天保八年二月	一冊	三六七
水野村三右衛門質地証文 水野村請人・百姓代・組頭・庄屋八名加判 岩手村啓助宛 嘉永六年二月	一通	三六三
小目録田別附 水野村下支配人三右衛門 親類請人・立会請人・村役人計九名加判 岩手村啓助宛 嘉永六年二月	一冊	三六四
水野村松次郎上借金証文 請人一名加判 岩手村啓助宛 元治二年四月	一通	三六五
水野村薩美仁三郎小作飯水入証書 岩手村佐藤文吉宛 明治一六年一月九日	一通	三七七
水野村箕輪万治郎小作飯水入証書 岩手村佐藤文吉宛 明治一六年一月九日	一通	四〇〇

水野村箕輪吉太郎質地証書 受人一名加判 岩手村佐藤文吉宛 明治一六年二月三〇日／戸長薩見忠三郎証印 一冊 三九七

水野村箕輪吉太郎地所売渡証書 同村証人一名加判 岩手村佐藤文吉宛 明治二〇年一月／戸長渡辺貞治証印 一冊 三九八

黒川村大字岩手佐藤文吉説諭願書〔薩美仁左衛門へ拙者所有地ニ關係不致様〕 高田警察署柿崎分署長警部補小倉知照宛 明治二二年五月一九日 二冊 三九九

黒川村大字水野薩美仁左衛門地所売渡証 同村大字岩手佐藤文吉宛 明治二三年一月一〇日 一通 三九〇

小作地田直シ賃金受取証并立米証書 絵図面一枚共 黒川村大字水野小作人薩美憲一、証人一名加判 黒川村大字岩手佐藤文吉宛 明治二七年五月一〇日 一通 三九二

大字水野薩美仁左衛門書状〔田直シ賃錢渡方願〕 大字岩手佐藤文吉宛 〔明治二七年五月一〇日 封筒入 一通 三九三〕

○横山村

横山村豊兵衛後家質田地上借証文写 親類・百姓・長百姓・与頭一三名連署 宝曆一三年六月 一通 八五〇

○吉尾村

吉尾村助右衛門外一八名連印質地証文 岩手村友右衛門宛 正徳四年一月 一通 三六三

○その他

上直海村庄屋田中三郎治外二名連印高書入金子借用証文 岩手村佐藤松兵衛宛 文化六年一〇月 一通 八八五

竹直村藤左衛門高書入金子借用証文 親類証人二名加判 岩手村喜太郎宛 寛政九年二月 一通 八八七

某質地証文断簡〔質取人岩手村喜太郎請合奥書部分〕〔年欠〕 一通 八三三

米金借用証文〔佐藤家宛〕

○岩手村

岩手村八右衛門米借用証文并岩手村角兵衛金子借用証文 証拠人二名加判 八兵衛宛 元禄一四年二月二九日 一通 八〇六

岩手村庄吉作夫食米借用証文 証人八左衛門・与頭友七・同太左衛門加判 八平宛 明和八年二月 一通 三五四

岩手村冬蔵頼母子金引当金子借用証文〔酒造高仕入金〕 請人一名加判 岩手村喜太郎宛 天明四年二月 一通 八二四

岩手村善兵衛金子借用証文〔当寅之指引勘定不足金〕 同村喜太郎宛 文化三年二月 一通 八二四

岩手村八左衛門高書入金子借用証文 請人・組頭三名加判 同村喜太郎宛 文化四年二月 一通 八二三

岩手村与頭友七高書入金子借用証文 請人・百姓代・兼帶庄屋三名加判 同村友右衛門 天保七年正月 一通 八二九

岩手村半兵衛金子借用証文 親類・請人二名加判 友右衛門宛 天保一一年 一通 八二〇

岩手村友七田地書入金子借用証文并下書 請人一名加判 啓助宛 文久元年一月 二通 八二二

岩手村権右衛門米借用証文 請人一名加判 惣左衛門宛 子二月二三日 一通 三八八

○赤沢村

赤沢村与四左衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保四年七月 一通 三三六

赤沢村九郎右衛門米借用証文 請人二名・庄屋加判 岩手村友右衛門宛 享保一〇年一二月 一通 三三七
赤沢村平三郎金子借用証文 岩手村友右衛門宛 延享三年極月 一通 八四七

赤沢村吉右衛門金子借用証文 請人・庄屋二名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆八年一二月 一通 八四五

赤沢村安右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村喜太郎宛 寛政七年一二月 一通 八三三

赤沢村伊右衛門田德米利米借用証文 岩手村啓助宛 慶応元年一二月 一通 八四九

○阿弥陀瀬村

阿弥陀瀬村惣右衛門金子借用証文 岩手村喜太郎宛 享和元年一二月 一通 三六三

阿弥陀瀬村喜惣次金子借用証文 岩手村喜太郎宛 享和二年八月 一通 三六四

○芋嶋村

(芋嶋村)小山八右衛門金子借用証文 佐藤八兵衛宛 元禄一六年一二月二八月 一通 四三三

芋嶋村市郎右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保五年四月一五 一通 四三二

芋嶋村又右衛門金子借用証文 請人一名加判 竹(高)原友右衛門宛 享保五年六月 一通 四三六

芋嶋村権内米金借用証文 請人庄屋一名加判 岩手村友右衛門宛 享保六年極月二九日 一通 四三七

芋嶋村甚左衛門米借用証文 庄屋吉左衛門加判 岩手村友右衛門宛 享保六年極月二九日 一通 四三二

芋嶋村権内米借用証文 請人庄屋一名加判 岩手村友右衛門宛 享保七年三月一二日 一通 四三〇

芋嶋村与左衛門金子借用証文 岩手村友右衛門宛 元文二年一二月 一通 四三五

芋嶋村六郎右衛門米金借用証文 証拠人一名加判 岩手村友右衛門宛 元文四年極月 一通 三六六

芋嶋村六郎右衛門米借用証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 寛保元年極月 一通 三六七

芋嶋村七郎右衛門金子借用証文 請人・庄屋二名加判 岩手村友右衛門宛 延享三年五月二五日 一通 三六七

芋嶋村久七金子借用証文 請人二名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆三年三月二九日 一通 四四八

芋嶋村新左衛門米借用証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 宝曆四年一二月 一通 四三六

芋嶋村甚兵衛金子借用証文 証人・庄屋・与頭四名加判 岩手村惣左衛門宛 明和三年一二月 一通 三三〇

芋嶋村金左衛門米金借用証文〔馬代金取替〕請人一名加判 岩手村惣左衛門宛 明和四年一二月一日 一通 四四四

芋嶋村彦次右衛門米金借用証文 与頭二名加判 岩手村八平宛 明和七年一二月 一通 四四五

芋嶋村三右衛門金子借用証文 喜太郎宛 安永二年一二月 一通 四三七

芋嶋村三右衛門金子借用証文 請人九郎右衛門加判 岩手村喜太郎宛 安永三年一二月 一通 四三八

芋嶋村佐次右衛門金子借用証文 受人一名加判 岩手村喜太郎宛 安永三年一二月 一通 三三〇

芋嶋村次右衛門金子借用証文 岩手村喜太郎宛 安永三年一二月 一通 四四六

芋嶋村佐次右衛門米借用証文 請合人一名加判 岩手村喜太郎宛 安永七年一二月 一通 三五一

芋嶋村与一右衛門米金借用証文 岩手村喜太郎宛 安永九年十二月	一通 四四九	大平村伝四郎金子借用証文 岩手村友右衛門宛 享保五年二月二十五日	一通 三三九
芋嶋村津右衛門金子借用証文 同村親類・請人二名加判 岩手村喜太郎宛 文化四年二月	一通 三六三	大平村庄屋源兵衛作徳入上米借用証文 岩手村友右衛門宛 享保五年極月三〇日	一通 三三九
芋嶋村弥兵衛金子借用証文 親類請人・庄屋三名加判 岩手村八平宛 文化一三年一〇月	一通 三六三	大平村市郎右衛門金子借用証文并算用覚 岩手村友右衛門宛 享保六年二月二日	一通 三四〇
芋嶋村庄左衛門金子借用証文 同村請人一名加判 岩手村佐藤八平宛 文化一四年正月	一通 三六五	○上輪新田村	
芋嶋村又右衛門金子借用証文 岩手村高原松兵衛宛 文政六年二月	一通 三六五	上輪新田村九左衛門金子借用証文 岩手村友右衛門宛 宝曆二年十二月	一通 三六三
芋嶋村熊治郎金子借用証文 岩手村佐藤八平宛 文政六年二月	一通 三六五	上輪新田村与頭太兵衛金子借用証文 岩手村友右衛門宛 宝曆八年十二月二十六日	一通 三六六
芋嶋村孫次右衛門金子借用証文 岩手村佐藤八平宛 文政六年二月	一通 三六六	上輪新田村与頭太兵衛米借用証文 岩手村友右衛門宛 寅(宝曆八年九月)十二月	一通 三六六
芋嶋村津右衛門金子借用証文 加判人三名加判 岩手村友右衛門宛 文政一一年四月	一通 三六四	上輪新田村九左衛門金子借用証文 岩手村友右衛門宛 宝曆九年十二月	一通 三六四
芋嶋村助左衛門金子借用証文 庄屋彦右衛門加判 岩手村佐藤啓助宛 明治元年二月	一通 三六五	上輪新田村九左衛門米借用証文 岩手村八平宛 宝曆一〇年十二月	一通 三六四
○大平村		上輪新田村九左衛門金子借用証文 岩手村八平宛 宝曆一〇年十二月	一通 三六三
大平村善七金子借用証文 請人一名加判 岩手村八兵衛宛 正徳六年閏二月	一通 三六三	○岸海(鴈海)村	
大平村源兵衛金子借用証文 岩手村友右衛門宛 享保元年極月七日	一通 三三七	岸海村金左衛門米金借用証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 享保一一年正月二三日	一通 三六五
大平村庄屋善兵衛金子借用証文并米借用証文 岩手村友右衛門宛 享保三年二月二日	一綴 三三〇 (二通)	鴈海村喜太郎金子借用証文写 百姓代・与頭・庄屋連署 岩手村喜太郎宛 天明二年二月	一通 八八六
大平村庄屋源兵衛米借用証文 岩手村友右衛門宛 享保四年極月廿七日	一通 三三六		

鴈海村吉兵衛米借用証文 与頭・庄屋二名加判 岩手村喜太郎宛 天明四年二月	一通	四六四
鴈海村後家はる金子借用証文 証人一名加判 岩手村喜太郎宛 寛政五年三月	一通	四六五
鴈海村兼次郎米借用証文 請人一名加判 岩手村佐藤八平宛 文化一三年二月	一通	三六九
鴈海村平次郎米金借用証文 請人一名加判 岩手村佐藤八平宛 文化一三年二月	一通	三七〇
鴈海村佐三右衛門米金借用証文 請人一名加判 岩手村佐藤八平宛 文化一三年二月	一通	三七二
鴈海村仙左衛門金子借用証文 庄屋加判 岩手村友右衛門宛 天保六年二月	一通	三七三
鴈海村権右衛門差上一札〔亡六左衛門借用金引繼勘定〕親類忠右衛門加判 岩手村啓助宛 安政五年一〇月	一通	三七三
鴈海村山沢権次郎金子借用証文 同郡岩手村佐藤文吉宛 明治一五年一月二四日	一通	三七四
鴈海村山沢権次郎金子借用証 同郡岩手村佐藤文吉宛 明治一五年一月二四日	一通	三七五
○猿毛村		
猿毛村与三兵衛米金借用証文 岩手村友右衛門宛 丑春	一通	三五三
猿毛村与三兵衛金子借用証文 岩手村友右衛門宛 庚子極月二八日	一通	三五四
○下小野村		
下小野村六右衛門金子借用証文〔田地代金〕 岩手村八平宛 文化一四年二月	一通	三六五

下小野村文六金子借用証文 証人一名加判 岩手村宛 文政三年二月	一通	三六七
下小野村六右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 弘化三年二月一日	一通	三六六
〔下小野村〕六右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村啓助宛 弘化四年二月	一通	三六六
下小野村新吉金子借用証文 岩手村啓治郎宛 嘉永五年二月	一通	三六七
○下条村		
下条村庄屋組頭四名連印金子借用証文〔馬正面村下条村立会懸繩普請材木代取替金〕 佐藤八平宛 延享四年二月	一通	四三八
下条村村役人米借用証文 上金原村世話人庄屋平治郎・下金原村同伝左衛門加判 岩手村喜太郎宛 文化六年四月	一通	四三七
下条村源吉高書入金子借用証文 庄屋二名加判 岩手村喜太郎宛 寛政二年二月	一通	四七〇
下条村佐太平金子借用証文〔利足改証文〕 証人二名加判 岩手村啓助宛 安政四年四月	一通	四七四
○下灰庭新田村		
下灰庭新田村九右衛門米借用証文 岩手村友右衛門宛 元文元年極月	一通	四三〇
灰庭孫左衛門米借用証文 岩手村友右衛門宛 元文二年極月	一通	四三一
下灰庭孫次右衛門米借用証文 岩手村友右衛門宛 元文三年二月	一通	四三二
下灰庭村孫次右衛門米借用証文 岩手村友右衛門宛 元文五年極月	一通	四三三

灰庭吉三郎米金借用証文 請人一名加判 岩手村
惣左衛門宛 明和五年六月 一通 四三四

下灰庭新田吉三郎米金借用証文 与頭・庄屋二名加
判 岩手村松五郎宛 明和八年十一月 一通 四三五

下灰庭新田村又三郎金子借用証文 請人一名加判
岩手村喜太郎宛 天明五年七月 一通 三六〇

下灰庭新田村儀左衛門金子借用証文 請人一名
加判 岩手村喜太郎宛 享和元年十二月 一通 四三六

下灰庭新田村役人年賦金年延証文并下書 百
姓代儀三郎・組頭源五右衛門 岩手村啓助宛 嘉永
二年一〇月 二通 三八〇

○高田町

高田杉森猪俣宮内金子借用証文 口入一名加判
岩手村八兵衛宛 正徳四年七月一三日 一通 三三二

高田中小町河野や平八郎金子借用証文 証人一
名加判 岩手佐藤平六宛 宝暦二年八月 一通 三三三

高田中小町河野や平八郎・同幾之助金子借用証
文 証人一名加判 岩野村伝右衛門宛 宝暦二年
八月 一通 三三四

高田中小町河野や平八郎・同幾之助金子借用証
文 証人一名加判 黒岩村佐五右衛門宛 宝暦一
年八月 一通 三三五

佐藤善左衛門金子借用証文〔為仕入金、金三拾兩〕
佐藤喜太郎宛 安永九年三月七日 一通 九〇五

柳原家家中鈴木市右衛門金子借用証文 佐藤喜
太郎宛 卯四月二五日 一通 八二九

○角取村

角取村原新兵衛外三名金子借用証文 角取村原
新兵衛・馬正面村楡井美右衛門・竹直村平右衛門
佐藤友右衛門宛 正徳四年九月六日 一通 三三〇

角取村源兵衛金子借用証文 岩手友右衛門宛 正
徳四年一〇月 一通 三三一

○中山村

中山村又右衛門米金借用証文 岩手村八兵衛宛
正徳三年三月朔日 一通 三三七

中山村惣兵衛米借用証文 岩手村友右衛門宛 丙
午〔享保一一年九〕二月六日 一通 三三八

中山村清兵衛金子借用証文 岩手村友右衛門宛
元文三年六月一〇日 一通 三三九

○原町村

原町村伊右衛門金子借用証文 請人二名加判 岩
手村惣左衛門宛 明和五年五月一〇日 一通 三三五

原町村市兵衛金子借用証文 請人二名加判 岩手
村惣左衛門宛 明和五年五月一〇日 一通 三三五

○馬正面村

〔馬正面村〕甚助金子借用証文 請人二名加判 岩
手村友右衛門宛 正徳四年極月 一通 三三八

馬正面村楡井美右衛門金子借用証文 佐藤友右
衛門宛 享保元年一二月二六日 一通 三三九

馬正面村甚助金子借用証文 請人一名加判 岩手
村八兵衛宛 享保二年一二月一三日 一通 三三〇

馬正面村勝右衛門金子借用証文 請人一名加判
岩手村友右衛門宛 享保二年一二月二七日 一通 三三二

馬正面村勝右衛門金子借用証文 岩手村友右衛門
宛 享保六年一二月二九日 一通 三三三

馬正面村平治郎金子借用証文 請人一名加判 岩
手村啓助宛 嘉永五年一二月 一通 三六一

○米山寺村

米山寺村權右衛門金子借用証文 請人二名加判 岩手村八兵衛宛 宝永三年七月七日	一通 三九六
米山寺村清右衛門金子借用証文 岩手村八兵衛宛 宝永五年極月二十九日	一通 三〇一
米山寺村市郎左衛門米借用証文 岩手村友右衛門 宛 正徳三年極月二七日	一通 三〇三
米山寺村鍛冶彦兵衛金子借用証文 岩手村友右衛 門宛 正徳五年五月二四日	一通 三〇三
米山寺村文右衛門金子借用証文 請人二名加判 岩手村友右衛門宛 享保六年四月二日	一通 三〇四
米山寺村文右衛門米借用証文 請合二名加判 岩 手村友右衛門宛 享保一〇年	一通 四六一
米山寺村文右衛門米借用証文 岩手村友右衛門宛 享保一二年極月一九日	一通 三七三
米山寺村平右衛門金子借用証文 岩手村友右衛門 宛 元文二年極月	一通 三七三
米山寺村喜三郎金子借用証文 岩手村友右衛門宛 元文三年極月	一通 三〇六
米山寺村喜三郎米借用証文 岩手村友右衛門宛 宝曆五年二月	一通 三三七
米山寺村清三郎金子借用証文 岩手村平六宛 宝 曆一三年二月	一通 三七四
米山寺村平次右衛門米金借用証文 岩手村喜太郎 宛 安永九年二月	一通 三五九
米山寺村重三郎米金借用証文 岩手村喜太郎宛 安永一〇年極月	一通 三七五

米山寺村忠藏米金借用証文 岩手村喜太郎宛 天
明七年二月

米山寺村伝兵衛金子借用証文 請人一名加判 岩 手村喜太郎宛 寛政七年二月	一通 三五六
米山寺村武左衛門米借用証文 同村請人一名加判 岩手村喜太郎宛 寛政九年五月	一通 三七〇六
米山寺村庄屋清三郎金子借用証文 証人・与頭二 名加判 岩手村八平宛 文化一二年二月	一通 三七〇七
米山寺村美右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村松五郎宛 文政五年二月	一通 三五六〇
米山寺村与右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村松五郎宛 文政五年二月	一通 三七〇〇
米山寺村勘兵衛金子借用証文 請人一名加判 岩 手村松五郎宛 文政五年二月	一通 三七〇六
米山寺村喜左衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村松五郎宛 文政五年二月	一通 三七〇九
米山寺村藤右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村松五郎宛 文政五年二月	一通 三七二〇
米山寺村安古金子借用証文 請人同村一名加判 岩手村啓助宛 天保一二年二月	一通 三七二
米山寺村兼松金子借用証文〔亡安右衛門借付松山 詫金〕米山寺村親類組合四名加判 岩手村友右衛門 宛 天保一〇年二月	一通 三七六
米山寺村六郎左衛門外二名徳米借用証文 請人 一名加判 岩手村啓助宛 天保一〇年二月	一通 三七七
米山寺村支配人六郎左衛門外二名徳米借用証 文 岩手村佐藤勇吉・同啓助宛 弘化四年一〇月	一通 三七六
米山寺村茂左衛門米借用証文 請人一名加判 岩 手村勇吉宛 嘉永三年二月	一通 三七四

米山寺村小池長作借用金証文 同村請人一名加判
岩手村佐藤文吉宛 明治一三年一月三〇日

一通 三七五

○水野村

水野村仁左衛門米借用証文 岩手村八兵衛宛 正
德三年四月二七日

一通 三八元

水野村仁左衛門金子借用証文 岩手村八兵衛宛
正德三年二月二四日

一通 三八元

水野村仁左衛門米借用証文 請合一名加判 岩手
村友右衛門宛 正德四年極月

一通 三八元

水野村三郎右衛門金子借用証文 岩手村八兵衛宛
正德六年二月一日

一通 三五元

水野村三郎右衛門金子借用証文 請人一名加判
岩手村八兵衛宛 正德六年六月二三日

一通 三五元

水野村清左衛門金子借用証文 請人一名加判 岩
手村友右衛門宛 享保五年二月一七日

一通 三四元

水野村仁右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩
手村喜太郎宛 享和二年二月

一通 三八元

庄五郎(水野村仁右衛門)金子借用証文 証拠人
一名加判 岩手村喜多郎宛 文化元年二月

一通 三六元

水野村市郎左衛門米借用証文 請人一名加判 岩
手村啓助宛 安政四年一月

一通 三六元

水野村三右衛門米借用証文 受人二名加判 岩手
村啓助宛 安政四年一月

一通 三六元

水野村市郎左衛門金子借用証文 請人一名加判
岩手村啓助宛 安政五年七月

一通 三八元

水野村平七德米積預り証文 請人一名加判 岩手
村啓助宛 文久二年十一月

一通 三八元

水野村松太郎金子借用証文 請人一名加判 岩手
村啓助宛 元治元年二月

一通 三四元

○横山村

横山村仁平豊兵衛金子借用証文 岩手村佐藤八平
宛 宝曆三年二月

一通 三四元

横山村仁平豊兵衛金子借用証文 佐藤八平宛 宝
曆六年八月

一通 三三元

○吉尾村

吉尾村庄屋吉十郎米借用証文 岩手村友右衛門宛
享保三年極月二日

一通 三三元

吉尾村庄屋吉十郎米借用証文 岩手友右衛門宛
享保四年極月二七日

一通 三三元

吉尾村吉十郎金子借用証文 岩手村友右衛門宛
享保五年極月二九日

一通 三三元

吉尾村吉十郎米借用証文 岩手村友右衛門宛 享
保五年極月二九日

一通 三三元

吉尾村吉十郎・次郎左衛門金子借用証文 岩手
村友右衛門宛 享保六年極月二七日

一通 三三元

吉尾村吉十郎・次郎左衛門米借用証文并下書
岩手村友右衛門宛 享保六年極月二七日

二通 三三元

○その他・不明

八木平吉金子借用証文 岩手村八兵衛宛 宝永三
年十一月八日

一通 三三元

小杉村全右衛門金子借用証文 岩手村八兵衛宛
宝永五年五月二八日

一通 三三元

百木村十右衛門米借用証文 請人一名加判 岩手
村友右衛門宛 正德三年二月一〇日

一通 四〇元

八幡屋万右衛門金子借用証文 請人一名加判 佐藤友右衛門宛 正徳五年三月二十九日	一通	三〇五
八幡屋万右衛門金子借用証文 請人一名加判 榎井美右衛門宛 正徳五年三月二十九日	一通	三〇六
嶋岡金八米借用証文 岩手村佐藤友右衛門宛 享保一〇年極月一四日	一通	三〇三
川田村源左衛門・岸海村金左衛門連印金子借用証文〔質入田地請返金〕 岩手村友右衛門宛 享保一八年極月	一通	三〇七
上金原村庄屋平次郎米借用証文 岩手村佐藤八平宛 延享三年一二月	一通	四四五
入沢又右衛門外三名連署金子借用証文〔御預地御用ノ為〕 榎井美右衛門・佐藤八平宛 宝曆一年一月	一通	三四九
西丸徒士小室久藏金子借用証文 証人江戸日本橋四丁目横町須原屋安兵衛加判 佐藤平治宛 明和八年三月	一通	三三五
河野平八郎金子借用証文 佐藤松五郎宛 天明三年正月	一通	三二六
高寺村井右衛門金子借用証文 岩手村喜太郎宛 天明五年五月	一通	三三六
片田村次左衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村喜多郎宛 寛政五年六月	一通	三五七
片町宿吉平金子借用証文 請人一名加判 岩手村喜太郎宛 寛政七年一二月	一通	三五九
善長寺金子借用証文 請人岩手村善兵衛加判 岩手村喜太郎宛 寛政七年一〇月一四日	一通	八二〇
刈羽郡横山村内山和助金子借用証文 岩手村佐藤喜太郎宛 寛政一一年正月一二日	一通	八八六

竹直村峯吉金子借用証文 岩手村喜太郎宛 寛政一二年七月八日	一通	三六〇
柿崎金藏金子借用証文 岩手村佐藤喜太郎宛 享和元年二月	一通	三六三
大和正田地書入金子借用証文 請人・村役人五名加判 友右衛門宛 天保八年六月	一通	八二二
金子請取証文〔佐藤家宛〕		
横山村豊兵衛壳渡米代金請取証文 佐藤八平宛 宝曆七年一〇月	一通	三三六
高田中屋敷町土肥六郎治并同人代長沢利左衛門外二名金子請取証文〔質田地一件ニ付、六郎治合力金〕 岩手村佐藤喜太郎宛 享和元年八月	一通	五二〇
黒岩組江嶋新田村佐藤治金子請取証文〔下条村源吉〔取替金返済〕〔立入人〕黒岩組落合村庄屋善兵衛・岩手村庄屋喜太郎宛 文化四年二月	一通	三六七
米山寺村治左衛門金子請取証文 岩手村八平宛 戊二二月日	一通	八九〇
頼母子証文		
米山寺村勘左衛門金子借用証文〔頼母子講金〕 岩手村友右衛門宛 享保一八年九月二六日	一通	三五七
岩手村冬藏頼母子金借用証文〔貴殿御名前ニ而、頼母子講囑引当リ候ニ付、借用証文〕 同村請人喜太郎外一名連印 岩野村八郎兵衛宛 天明五年九月	一通	四二七
岩手村喜太郎實金勘定書控〔庄八頼母子懸返金等〕 岩手村喜太郎 同村冬藏宛 寛政七年五月一三日	一通	三六一
芋嶋村与左衛門貸高預り証文〔貴殿が松五郎江貸高之分〕 証人松五郎・請合孫左衛門加判 岩手村喜太郎宛 文化四年九月〔次頁八八一と関連〕	一通	四三九

松五郎高書入頼母子金請取証文下書 親類請合 二名・庄屋小山彦右衛門連署 親類兵衛頼母子御 連中衆中宛 文化四年九月 (二五三頁八四三七二と関連)	一通 八八
岩手村松兵衛高書入頼母子金請取証文下書 庄 屋喜太郎外与頭・百姓代三名連署 善兵衛平助抱講 御連中宛 文化四年一〇月	一通 八八
抱講頼母子証文 善兵衛・松兵衛 文化四年一〇月 二六日	二通 八七
1 岩手村善兵衛高書入頼母子金請取証文 請 人・与頭・庄屋三名加判 連講惣連中衆中宛 寛政一一年三月	一通 八七
2 岩手村善兵衛高書入頼母子金請取証文 請 人・百姓代・与頭・庄屋四名加判 同村松兵衛 宛 文化四年一〇月	一通 八七
岩手村喜太郎頼母子金借用証文控 請人・与頭二 名連署 米山寺村利平親庄三郎宛 文化五年五月 二六日	一通 八六
米山寺村庄三郎高書入頼母子金請取証文控 岩 手村請人喜太郎・芋嶋村百姓代・与頭・庄屋連署 親類兵衛頼母子御連中衆中宛 文化五年五月	一通 八六
岩手村喜太郎頼母子金借用証文控 請人文左衛門 連署 鴈海村金左衛門宛 文化五年一月	一通 八六
岩手村喜太郎高書入頼母子金請取証文 百姓代 ・与頭・庄屋四名加判 川田村源正寺頼母子御連中 衆中宛 文化八年五月	一通 八六
岩手村佐藤喜太郎頼母子借用証文 請人善兵衛加 判 米山寺村文治郎宛 文化八年一月	一通 八六
米山寺村伊助頼母子引請証文〔質地代金を以、八 平名前にて懸返可申旨取極〕請人・庄屋二名加判 岩手村八平宛 文化一二年一二月 (一四一九八まで関連)	一通 四九五
米山寺村喜平次頼母子引請証文〔同前〕請人・与 頭・庄屋二名加判 岩手村八平宛 文化一二年一 二月	一通 四六
米山寺村仙左衛門頼母子引請証文〔同前〕請人 与頭・庄屋二名加判 岩手村八平宛 文化一二年 一二月	一通 四六
米山寺村美右衛門頼母子引請証文 請人・庄屋加 判 岩手村八平宛 文化一二年一二月	一通 四六
以上四通、〔佐藤家差出証文〕のうち、 三五六五、三五六八、二一八頁に对应	
頼母子講懸返金子証文案詞〔貴殿懸返難儀ニ付、 質地証文取極 拙者〆懸返取決一札〕岩手村八平 宛 文化一二年一二月	一通 八四三
岩手村八平米渡方証文下書〔頼母子講懸返金難儀 ニ付、徳米渡方取決一札〕川井村弥三次宛 文化 一二年一二月	一通 八四
芋嶋村幾左衛門頼母子引請証文〔芋嶋村質地代 金調達致兼候ニ付、頼母子懸返金引請証文〕証人・ 与頭・庄屋三名加判 岩手村佐藤八平宛 文化一三 年五月	一通 五二三
岩手村八平頼母子掛金引請依頼証文 請人善兵 衛加判 中山村久蔵宛 文化一三年六月二十九日	一通 八八四
米山寺村庄右衛門為取替証文〔岩手村八平儀、米 山寺村庄右衛門より借用仕候頼母子講懸金返済難儀 ニ付、田地入立米其外渡方取極一札〕立入人佐三右 衛門・同庄屋清三郎加判 岩手村八平宛 文化一四 年正月	一通 四四七
岩手村佐藤啓介頼母子講積金借用証文 御連中 宛 安政二年四月二三日	一通 八七
岩手村半左衛門高書入頼母子金請取証文〔頼 母子講懸金ニ付、金子預り証文〕連子請合赤沢村佐 左衛門外七名連署 頼母子講惣親市野新田仁左衛門 ・御連衆中宛〔年久〕	一通 四六五

行法村吉井佐一郎頼母子譲り受証文 岩手村佐藤文吉宛 明治一三年六月一七日

一通 八六八

佐藤家差出証文

○土地証文

上輪村・同新田村田地一件証文 明和二年、五年 一括

六通 八二〇

1 岩手村平六質地証文控 上輪新田村百姓証人九左衛門外上輪村与頭・庄屋三名奥書 上輪村佐治兵衛宛 明和二年正月

一通

2 岩手村平六質地証文控(前欠) 上輪新田村百姓証人九左衛門外上輪村与頭・庄屋三名奥書 上輪村佐次右衛門宛 明和二年正月

一通

3・4 岩手村惣左衛門田地讓証文下書 上輪村庄屋・組頭二名奥書 上輪新田村平七・九左衛門、上輪村仲右衛門宛 明和五年一月

二通

5 平七方々九左衛門方へ渡方刈附覚

一通

6 上輪新田村儀右衛門前ほか田地刈附覚

一通

岩手村平六田地讓証文控 阿弥陀瀬村善兵衛宛 明和二年二月

一通 三六七

岩手村惣左衛門質地讓渡添書一札下書 同村好身証人組頭友七・庄屋松五郎連署 神田町村惣左衛門宛 明和五年一月

一通 三三四

岩手村惣左衛門田地讓証文下書 百姓一名加判阿弥陀瀬村善兵衛宛 明和五年一月一八日

一通 三六九

岩手村惣左衛門田地讓渡証文控 庄屋二名加判水野村万右衛門宛 明和六年正月一八日

一通 四九九

岩野村籠嶋宛証文

。岩手村文左衛門田地差配水入請合証文 庄屋喜太郎外組頭・百姓代三名加判 岩野村孫作宛 文化三年十一月

一通 八五三

。田畑山反別名所入立附帳 岩手村文左衛門百姓代・組頭・庄屋四名連印 文化三年十一月

一冊 八六三

。岩手村松五郎質地証文 親類佐三右衛門連印、岩手村百姓代・組頭・兼帶庄屋三名加判 岩野村籠嶋八郎兵衛宛 文政五年二月、惣代平助奥書

一通 八五三

。岩手村松五郎田地支配証文 親類・百姓代・組頭・兼帶庄屋四名加判 岩野村籠嶋八郎兵衛宛 文化五年十二月

一通 八五四

。武前岩手村田畑居屋敷山歩附帳 岩手村亡八平代松五郎 親類・百姓代・組頭・兼帶庄屋連署 岩野村籠嶋八郎兵衛宛 文政五年十二月

一冊 八五五

。田畑山反別名所入立附帳 文化一〇年十一月

横長半

一冊 八五五

。田畑山反別帳 岩手村差配人友右衛門 文政二年三月

横長半

一冊 八五六

。岩手村喜太郎質地証文 鷹海村庄屋・与頭・百姓代三名加判 角取村竹治郎宛 文化七年二月、上小野組大肝煎三上甚助奥書

一通 八六七

。岩手村松兵衛質地証文控 芋嶋村百姓代・組頭・庄屋四名奥書 黒岩村星野半左衛門宛 文化八年二月

一通 八三三

。国田村善徳寺宛証文

。岩手村八平田地下差配水入請合証文控 百姓代・組頭・庄屋四名連署 国田村善徳寺宛 文化一〇年二月

一通 八五五

。岩手村小作人某田地下差配諸役出作水入証文下書 下差配人八平・加判村役人某連署 国田村善徳寺宛 (文化一〇年二月九)

一通 八五七

・岩手村八平質地証文二通写 芋嶋村庄左衛門宛
井国田村善徳寺宛 文化一〇年二月／（芋嶋村庄
左衛門宛分）同村与頭・庄屋三名奥書

・国田村善徳寺金子受取証文〔年季明田地代金〕
岩手村松五郎宛 文政五年二月十九日

岩手村八平質地証文 米山寺村請人・百姓代・与
頭・庄屋五名加判 米山寺村門右衛門宛 文化一〇
年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書／惣代平助文政
六年消印裏書

岩手村八平質地証文 米山寺村請人・百姓代・与
頭・庄屋五名奥書加判 米山寺村佐左衛門宛 文化
一〇年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書／惣代平助
文政六年消印裏書

岩手村八平質地証文 米山寺村請人・百姓代・与
頭・庄屋五名加判 米山寺村次右衛門宛 文化一〇
年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書／惣代平助文政
六年消印裏書

岩手村八平質地証文 米山寺村加判請人・百姓代
・組頭・庄屋四名加判 米山寺村伊助宛 文化一
二年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書／惣代平助
文政八年二月消印裏書

岩手村八平質地証文 米山寺村加判請人・百姓代
・組頭・庄屋四名加判 米山寺村喜平次宛 文化
一二年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書／惣代平
助文政八年二月消印裏書

岩手村八平質地証文 米山寺村加判請人・百姓代
・組頭・庄屋四名加判 米山寺村仙左衛門宛 文
化一二年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書／惣代
平助文政八年二月消印裏書

岩手村八平質地証文 米山寺村加判請人・百姓代
・組頭・庄屋四名加判 米山寺美右衛門宛 文化
一二年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書／惣代平
助文政六年二月消印裏書

→以上四通、〔頼母子証文〕四一九五、
四一九八（二六頁）と対応

岩手村八平質地証文下書 鴈海村加判証拠人・百
姓代・与頭五名奥書 鴈海村金左衛門宛 文化一
二年二月／質取人金左衛門請合奥書 大肝煎所宛

岩手村八平質地証文 米山寺村請人・百姓代・与
頭・庄屋八名加判 米山寺村庄右衛門宛 文化一
四年正月／大肝煎星野孫右衛門裏書／惣代平助文政
九年消印裏書

岩手村八平質地証文（後欠） 米山寺村平八宛 文
政六年二月／惣代平助裏書

岩手村八平質地証文 米山寺村請人・百姓代・与
頭・庄屋六名加判 米山寺村文右衛門宛 文政六
年二月／惣代平助裏書

岩手村松五郎質地証文 米山寺村証人・百姓代・
与頭・庄屋七名加判 米山寺村伊助宛 文政八年一
二月／惣代平助裏書

岩手村松五郎質地証文 米山寺村証人七名加判
米山寺村佐太左衛門宛 文政八年二月／惣代平助
裏判

岩手村友右衛門質地証文 米山寺村加判人・組頭
・庄屋五名加判 米山寺村庄右衛門宛 文政九年一
二月／惣代平助裏判

岩手村友右衛門田地下差配請合証文 請合人二
名加判 馬正面村定四郎宛 文政一二年三月

岩手村友右衛門一札（米山寺村庄右衛門質地請返
之際、質地証文紛失ノ為、仮一札）請人・与頭二
名加判 米山寺村庄右衛門宛 天保二年二月

岩手村啓助田地讓渡証文下書（後欠） 水野村徳右
衛門宛 弘化二年二月

○金子借用証文

一通 八三三

一通 八七一

一通 八七三

一通 八七三

一通 八七四

一通 八七五

一通 八〇四

一通 八四二

一通 三六三

一通 八六四

岩手村惣左衛門田地書入金子借用証文控 与頭・長百姓三名加判 岩野村伝左衛門宛 明和四年四月一二日	一通	八五五
岩手村佐藤喜太郎金子借用証文 正眼院按院長老宛 天明四年正月	一通	三六一
岩手村松五郎高書入金子借用証文 下小野村市右衛門宛 天明四年一二月	一通	八九七
岩手村佐藤喜太郎金子借用証文 竹直村小田庄藏宛 天明五年八月五日	一通	八九三
岩手村佐藤喜太郎金子借用証文 正眼院梅浜和尚宛 寛政三年八月一九日	一通	五三二
岩手村喜太郎田地請返金預り証文 証人文左衛門加判 下小野村庄右衛門宛 文化元年一二月	一通	八三四
岩手村文左衛門高書入金子借用証文 下条村村役人五名加判 同組江嶋新田村佐藤治宛 文化四年一二月	一通	八三六
附 請人下条村兼帯庄屋外一名連署返濟年延 繼証文 江嶋新田村庄屋佐藤治宛 文化七年一二月		
岩手村喜太郎金子借用証文并同人添書証文 應海村金左衛門宛 文化五年九月五日／(添書) 鉢崎宿半兵衛宛 文化六年三月	一通	八三三
岩手村喜太郎金子借用証文 請人一名加判 米山寺村次郎右衛門宛 文化六年一〇月二一日	一通	八二七
岩手村高原金子借用証文 行塚金七宛 文化六年一二月	一通	八〇九
岩手村松兵衛金子借用証文下書 請人・庄屋二名連署 下条村弥五兵衛宛 文化八年九月	一通	八二九
岩手村松兵衛金子借用証文 証人二名加判 柿崎村久右衛門宛 文化九年一二月	一通	八三三

岩手村八平高書入金子借用証文 請合人高畑村平助外岩手村組頭・庄屋二名加判 荻羽郡横山村内山喜八郎宛 文化一〇年一二月	一通	八三二
岩手村八平金子借用証文 請合人二名加判 芋嶋村喜兵衛宛 文化一一年二月二四日	一通	八六一
岩手村八平高書入金子借用証文 請合人中山村久藏・同村庄屋茂右衛門加判 松留村德兵衛宛 文化一二年三月二七日	一通	八三〇
岩手村友右衛門金子借用証文 芋嶋村津右衛門宛 文政八年一二月	一通	三五三
岩手村友右衛門金子借用証文 竈嶋伝右衛門宛 天保一一年正月	一通	三五四
岩手村某(文吉力)金子借用証文 下灰庭新田市右衛門宛 慶応元年一二月八日	一通	四六三
岩手村佐藤文吉金子借用証文 柿崎駅小出与惣治宛 明治一一年一二月一日	一通	八五五
○金子請取証文		
(岩手村)喜太郎金子請取証文控(赤沢村雲門寺御引請ニ而御取替申候金子、赤沢村市郎兵衛ニ請取) 村岡村禪長院宛 天明元年八月	一通	八四九
村岡村禪長院差出一札(赤沢村雲門寺預リ手形を以借用仕候金子、返濟相濟候ニ付、手形請取一札) 岩手村喜太郎宛 天明三年三月二九日	一通	八四四
岩手村喜太郎金子預リ証文并控 組頭・請人三名加判 同村与治右衛門宛 寛政一二年正月一五日	一通	八三三
岩手村喜太郎添証文控并裏書(江戸文昌殿ニ与治右衛門親嘉七殿扶持米金預リ候ニ付、利米渡方取決) 組頭・請人三名連署 同村与治右衛門宛 寛政一二年正月一五日／(裏書) 嘉七殿病死ニ付、金子預リ一札 与治右衛門宛 寛政一二年二月一十九日	一通	八三三
岩手村喜太郎金子預リ証文并控 請人文左衛門加判 同村文昌・与次右衛門宛 寛政一二年二月一十九日	一通	八四〇

岩手村喜太郎金子受取証文 鴈海村金左衛門宛
文化五年六月一九日

一通 八九六

岩手村喜太郎金子請取証文〔後欠〕 〔取替金返金〕
〔文化一一年〕

一通 八九五

岩手村八平金子請取証文 鴈海村金左衛門宛
文政三年二月一日

一通 八九六

岩手村啓助金子請取証文〔田地代金〕 川田村市
左衛門宛 天保一二年二月

一通 八九四

他家宛証文・その他

○土地証文

下灰庭新田村儀兵衛質地証文 証拠人庄屋・与頭
・百姓一〇名加判 米山寺村与三右衛門宛 元禄八
年極月／八木平吉裏書

一通 三六八

下灰庭新田村源左衛門・甚右衛門連印小作水入
証文 米山寺村与三右衛門宛 元禄一五年三月

一通 三九四

鉢崎村彦七又質添証文〔当所勘右衛門質取田
地〕請人・与頭二名連署 岩野村直右衛門宛 元文
二年九月

一通 八六三

高田廻り大肝煎新田町熊田六右衛門質地証文
証拠人二名加判 陀羅尼町豊治郎宛 宝暦六年一
月

一通 三六六

上小野村喜惣右衛門質地反別証文并角取村弥兵
衛寄附添書 角取村弥兵衛宛 明和五年二月／
〔添書〕雲門寺御役寮宛 明和六年正月

一通 三四八

米山寺又右衛門質地証文 米山寺村加判請人百
姓代・組頭・庄屋奥書 同村利平宛 文化一二年一
二月

一通 三六三

質地証文案詞

一通 四六六

米山寺村彦左衛門質地証文 親類・組合二名加判
庄屋・与頭・百姓代奥印 更級左門宛 文化一三
年正月

一通 三五九

米山寺村清左衛門小作証文 請人二名加判、右村
頭立・庄屋・与頭・百姓代奥印 更級左門宛 文
化一三年正月

一通 三五〇

米山寺村名主清三郎并彦左衛門・清左衛門連印
一紙覚書〔年季中年貢夫銀請取書清三郎預リノ件、
并年々返済金取決書〕 更級左門宛 丙子〔文化一
三年〕正月

一通 三五四

上小野組上小野村彦次郎田地讓渡証文并斷簡
百姓・百姓代・庄屋三名奥書 北代石村三郎右衛門
宛 文政一三年二月／田地讓請人三郎右衛門請合
奥書 大肝煎所宛

三枚 八七六
〔二通分〕

○金子借用証文

横山村伝右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩
手村次郎右衛門宛 享保元年極月二三日

一通 三三三

芋嶋村兵右衛門金子借用証文 請人一名加判 岩
手村仁左衛門宛 明和四年正月

一通 三四五

赤沢村藤左衛門金子借用証文 岩手村甚兵衛宛
文化八年二月二三日

一通 三六三

芋嶋村六郎右衛門金子借用証文〔宛名欠〕 文政
七年

一通 三六八

本芝袋町佐藤六四郎金子借用証文 高田下小町中
村九郎兵衛宛 子一二月

一通 三六七

芋嶋村八右衛門金子借用証文案詞〔年欠〕

一通 三六六

芋嶋村嘉七金子借用証文案詞〔年欠〕

一通 三六六

芋嶋村久左衛門金子借用証文案詞〔年欠〕

一通 三六六

地主帳簿

田地入立米金元帳

指引留覺帳	岩手村佐藤八兵衛	元禄一四年正月	半	一冊	五〇五
午之年入立(覺)帳	佐藤八兵衛	元禄一五年三月五日	橫長美	一冊	五〇六
子年田畑入立覺帳	佐藤八兵衛	享保五年二月	橫長美	一冊	三三三
巳年米替書込帳	享保一〇年一月	橫長美	一冊	三三四	
未年田地入立水帳	岩手村佐藤友右衛門	享保一二年二月	橫長美	一冊	三三五
借方覺帳	享保一二年二月	橫長美	一冊	三三六	
申暮田地入立万覺帳	岩手村佐藤友右衛門	享保一三年極月	橫長美	一冊	三三六
酉田地入立万書留帳	岩手村佐藤氏	享保一四年	橫長美	一冊	三三七
戌田地入立并米替万書留帳	享保一五年一〇月	橫長美	一冊	三三八	
寅田地入立帳	佐藤友右衛門	享保一九年	橫長美	一冊	三三九
午田地入立并(諸方米金借元帳)	元文三年	橫長美	一冊	三三〇	
(未田地入立并諸方米金借元帳)	元文四年	橫長美	一冊	三三一	
申田地入立并(諸)方米金借元帳	佐藤友右衛門	元文五年	橫長美	一冊	三三二
酉田地入立并諸方米金貸帳	寬保元年	橫長美	一冊	三三三	
戌田地入立諸(方)米金貸帳	寬保二年	橫長美	一冊	三三四	
亥田地入立諸(方)米金貸本帳	寬保三年	橫長美	一冊	三三五	
子田地入(立并諸方米金貸元帳)	寬保四年	橫長美	一冊	三三六	

貸元帳

丑田地入立并 ^(諸方米金貸元帳)	延享二年	橫長美	一冊	三三七
寅田地入立并 ^(諸方米金貸元帳)	延享三年	橫長美	一冊	三三八
卯田地入立并 ^(諸方米金貸元帳)	延享四年	橫長美	一冊	三三九
辰田地入立并 ^(諸方米金貸元帳)	延享五年	橫長美	一冊	三三〇
巳田地入立 ^(并諸方米金貸元帳)	寬延二年	橫長美	一冊	三三一
庚午田地入立并 ^(諸方米金貸元帳)	寬延三年	橫長美	一冊	三三二
辛未田地入立并 ^(諸方米金貸元帳)	寬延四年	橫長美	一冊	三三三
壬申田地入立并 ^(諸方米金貸元帳)	宝曆二年	橫長美	一冊	三三四
癸酉田地入 ^(立并諸方米金貸元金)	宝曆三年	橫長美	一冊	三三五
甲戌田地入立并 ^(諸方米金貸帳)	宝曆四年	橫長美	一冊	三三六
乙亥田地入立并 ^(諸方米金貸元帳)	宝曆五年	橫長美	一冊	三三七
丙子田地入立 ^(諸方米金貸元帳)	宝曆六年	橫長美	一冊	三三八
丁丑田地入立 ^(諸方米金貸帳)	宝曆七年正月	橫長美	一冊	三三九
戊寅田地入立并 ^(諸方米金貸元帳)	宝曆八年正月	橫長美	一冊	三三〇
己卯田地入 ^(立米金元牒)	宝曆九年正月	橫長美	一冊	三三一
庚辰田地入立 ^(米金元牒)	宝曆一〇年正月	橫長美	一冊	三三二
辛巳田地入 ^(立米金元牒)	宝曆一一年正月	橫長美	一冊	三三三
巳暮貸元牒	宝曆一二年午春改	橫美半	一冊	二〇九五
午暮貸元牒	宝曆一三年未春改	橫美半	一冊	二〇九六
癸未暮貸元牒	宝曆一四年申春改	橫美半	一冊	二〇九七
申暮貸元牒	明和二年酉春改	橫美半	一冊	二〇九八

西暮貸元牒	佐藤平六	明和三年丙戌春改	横美半	一冊	三〇九	戊申元帳	佐藤喜太郎	天明八年正月改	横美半	一冊	三三三
丙戌暮貸元牒	亥本帳也	平六事佐藤宗左衛門	明	横美半	一冊	三〇〇	己酉元帳	天明九年正月改	横美半	一冊	三二五
和四年亥春改							庚戌元帳	寛政二年	横美半	一冊	三二三
丁亥暮貸元牒	但子元帳也	佐藤惣左衛門	明和五年戊子春改	横美半	一冊	三〇一	辛亥元牒	寛政三年正月改	横美半	一冊	三二三
己丑元牒	明和六年正月改		横美半	一冊	三〇三	壬子元帳	寛政四年正月改	横美半	一冊	三二四	
庚寅元牒	明和七年正月		横美半	一冊	三〇三	癸丑元帳	寛政五年正月改	横美半	一冊	三二五	
卯元帳	明和八年正月改		横美半	一冊	三〇四	甲寅元帳	藤昌栄	寛政六年正月改	横美半	一冊	三二六
壬辰元帳	明和九年正月改		横美半	一冊	三〇五	乙卯元帳	寛政七年正月改	横美半	一冊	三二七	
癸巳元帳	安永二年正月改		横美半	一冊	三〇六	丙辰元牒	藤昌栄	寛政八年正月改	横美半	一冊	三二八
甲午元帳	安永(三年正月)		横美半	一冊	三〇七	丁巳元牒	藤氏	寛政九年正月改	横美半	一冊	三二九
乙未元帳	安永四年正月		横美半	一冊	三〇八	戊午元牒	寛政一〇年正月改	横美半	一冊	三三〇	
丙申元帳	安永五年正月		横美半	一冊	三〇九	己未元牒	寛政一一年正月改	横美半	一冊	三三一	
丁酉元帳	安永六年正月		横美半	一冊	三一〇	庚申元牒	寛政一二年正月改	横美半	一冊	三三二	
戊戌元帳	安永七年正月		横美半	一冊	三一一	辛酉元牒	寛政一三年正月二日改	横美半	一冊	三三三	
己亥元帳	佐藤喜太郎	安永八年正月	横美半	一冊	三一二	壬戌元牒	岩手村佐藤喜太郎	享和二年正月改	横美半	一冊	三三四
庚子元帳	安永九年正月		横美半	一冊	三二三	癸亥元牒	享和三年正月改	横美半	一冊	三三五	
辛丑元帳	喜太郎	安永一〇年正月改	横美半	一冊	三二四	甲子元牒	享和四年正月改	横美半	一冊	三三六	
壬寅元帳	天明二年正月		横美半	一冊	三二六	乙酉元帳	佐藤	文政八年正月	横美半	一冊	三三七
甲辰元帳	天明四年正月改		横美半	一冊	三二七	丙戌元帳	佐藤友右衛門	文政九年正月	横美半	一冊	三二八
乙巳元帳	岩手邑佐藤喜太郎	天明五年正月改	横美半	一冊	三二八	丁亥元帳	佐藤	文政一〇年正月	横美半	一冊	三二九
丙午元帳	岩手村佐藤喜太郎	天明六年正月改	横美半	一冊	三二九	辛卯元帳	佐藤氏	天保二年正月	横美半	一冊	三四〇
丁未元帳	佐藤喜太郎	天明七年正月改	横美半	一冊	三三〇	壬辰元帳	佐藤	天保三年正月	横美半	一冊	三四一

癸巳元帳	佐藤	天保四年正月	橫美半	一冊	二四二
甲午元帳	佐藤氏	天保五年正月	橫美半	一冊	二四三
乙未元帳	佐藤	天保六年正月	橫美半	一冊	二四四
元帳	佐藤氏	天保七年正月	橫美半	一冊	二四五
戊戌元帳	佐藤氏	天保九年正月	橫美半	一冊	二四六
庚子元帳	佐藤氏	天保一一年正月	橫美半	一冊	二四七
癸卯元帳	佐藤氏	天保一四年正月	橫美半	一冊	二四八
甲辰元帳	天保一五年正月	橫美半	一冊	二四九	
乙巳元帳	佐藤氏	弘化二年正月	橫美半	一冊	二五〇
作物取揚收納米留帳					
壬午作物取揚并來米留牒	寶曆一二年七月二〇日	橫長美	一冊	三九六	
甲申作物取揚并來米留牒	明和元年八月四日	橫長美	一冊	三九九	
乙酉作物取揚并來米留帳	明和二年七月二二日	橫長美	一冊	三四〇〇	
丙戌作物取揚并來米留帳	佐藤惣左衛門	明和三年八月朔日	橫長美	一冊	三四〇一
(丁亥作物取揚并來米留帳) (明和四年)					
己丑作物取揚收納米留帳	明和六年七月二九日	橫長美	一冊	三四〇二	
庚寅作物取揚收納米留帳	明和七年七月一〇日	橫長美	一冊	三四〇三	
辛卯作物取揚收納米留帳	明和八年七月二〇日	橫長半	一冊	三四〇四	
壬辰作物取揚收納米留帳	明和九年八月一日	橫長半	一冊	三四〇五	
甲午作物取揚來米留帳	安永三年七月	橫長半	一冊	三四〇六	
乙未作物取揚來米留帳	安永四年八月	橫長半	一冊	三四〇七	

丙申作物取揚來米留帳	安永五年七月	橫長美	一冊	二四〇八
丁酉作物取揚來米留帳	安永六年八月	橫長美	一冊	二四〇九
戊戌作物取揚來米留帳	安永七年閏七月	橫長美	一冊	二四一〇
己亥作物取揚來米留帳	佐藤喜太郎 安永八年七月	橫長半	一冊	二四一一
庚子作物取揚來米留帳	安永九年八月	橫長半	一冊	二四一二
辛丑作物取揚來米留帳	天明元年七月	橫長半	一冊	二四一三
壬寅作物取揚來米留帳	佐藤喜太郎 天明二年八月	橫長半	一冊	二四一四
癸卯作物取揚并來米留帳	佐藤喜太郎 天明三年八月改	橫長半	一冊	二四一五
甲辰作物取揚并來米留帳	佐藤喜太郎 天明四年七月改	橫長半	一冊	二四一六
乙巳作物取揚收來米留帳	岩手村佐藤喜太郎 天明五年八月改	橫長半	一冊	二四一七
取立勘定差引帳				
子年勘定差引帳	佐藤氏 (享保一七年)	橫長美	一冊	五八
丑取立勘定差引帳	享保一八年極月	橫長美	一冊	五四六
寅取立金差引帳	佐藤友右衛門 享保一十九年極月 (紙背) 享保一八年九月 (甲州) 巨摩郡上今諏訪村 丑年立毛内見帳	橫長美	一冊	二七三
卯米金取立指引	享保二〇月	橫長美	一冊	五八四
辰取立指引	(元文元年)	橫長半	一冊	五七三
巳取立指引帳	(元文二年)	橫長半	一冊	五八三

諸勘定差引書留帳

午暮諸差引(勘定書留帳)	佐藤(友右衛門)	元文三年	横長美	一冊	三七四
未暮諸差引(勘定書留帳)	佐藤友右衛門	元文四年	横長美	一冊	三七五
申諸差引(勘定書留帳)	佐藤友右衛門	元文五年	横長美	一冊	三七六
酉諸差引勘定書留帳	寛保元年	横長美	一冊	三七七	
戌諸勘定差引書留帳	寛保二年	横長美	一冊	三七八	
亥諸勘定差引書留帳	寛保三年	横長美	一冊	三七八	
子諸勘定指引書留帳	寛保四年	横長美	一冊	三七九	
(丑諸勘定指引書留帳)	延享二年	横長美	一冊	三八〇	
寅諸勘定指引書留帳	延享三年	横長美	一冊	三八一	
卯諸勘定(指引書留帳)	延享四年	横長美	一冊	三八二	
辰諸勘定(指引書留帳)	佐藤氏	延享五年	横長美	一冊	三八三
巳諸勘定(指引書留帳)	寛延二年	横長美	一冊	三八四	
庚午諸勘定(指引)書留帳	(寛延三年)	横長美	一冊	三八五	
辛未諸勘定差引書留帳	寛延四年	横長美	一冊	三八六	
壬申諸勘定(差)引書留帳	宝曆二年	横長美	一冊	三八七	
癸酉諸勘定(差)引書留帳	宝曆三年	横長美	一冊	三八八	
(甲戌諸勘定差引書留帳)	宝曆四年	横長美	一冊	三八九	
乙亥諸勘定(差)引書留帳	宝曆五年	横長美	一冊	三九〇	
丙子諸勘定指引書留帳	宝曆六年	横長美	一冊	三九一	
丁丑諸勘定(指引書留帳)	宝曆七年	横長美	一冊	三九二	

戊寅諸払(勘定)指引帳	宝曆八年	横長美	一冊	三九四	
己卯諸勘(定指引帳)	宝曆九年	横長美	一冊	三九五	
庚辰諸勘(定指引帳)	宝曆一〇年	横長美	一冊	三九六	
辛巳諸勘定指引帳	宝曆一一年	横長美	一冊	三九七	
立会勘定帳					
壬午立会勘定牒	宝曆一二年	横美半	一冊	三九八	
癸未立会勘定牒	宝曆一三年正月	横美半	一冊	三九五	
申立会勘定牒	宝曆一四年	横美半	一冊	三九六	
請 払 帳					
丙戌米金請払留牒	佐藤平六	明和三年正月	横美半	一冊	三九五
丁亥米金請払留牒	佐藤宗左衛門	明和四年正月二日	横美半	一冊	三九三
戊子米金請払牒	佐藤惣左衛門	明和五年正月	横美半	一冊	三九四
己丑請払牒 明和六年正月					
附 当丑田地入立并利米目録帳 雁海村庄屋金					
右衛門 岩手村松五郎宛 明和六年一二月					
庚寅請払帳	明和七年正月	横美半	一冊	三九五	
卯請払牒	明和八年正月	横美半	一冊	三九六	
壬辰請払帳	明和九年正月	横美半	一冊	三九七	
癸巳請払帳	安永二年正月	横美半	一冊	三九八	
甲午請払帳	安永三年正月	横美半	一冊	三九九	
巳金方請払帳	安永三年正月改	横美半	一冊	四〇〇	
安永三年請払帳	未(安永四年)正月改	横美半	一冊	四〇一	

乙未請払帳	安永四年正月	横美半	一冊	二六三
丙申請払帳	安永五年(正月)	横美半	一冊	二六三
丁酉請払帳	安永六年正月	横美半	一冊	二六四
戊戌請払帳	安永七年正月	横美半	一冊	二六五
己亥請払帳	安永八年正月	横美半	一冊	二六六
庚子請払帳	安永九年正月	横美半	一冊	二六七
辛丑請払帳	安永一〇年正月	横美半	一冊	二六八
壬寅請払帳	天明二年正月	横美半	一冊	二六九
癸卯請払帳	天明三年正月改	横美半	一冊	二七〇
甲辰請払帳	天明四年正月改	横美半	一冊	二七一
乙巳請払帳	天明五年正月改	横美半	一冊	二七二
丙午請払帳	天明六年正月改	横美半	一冊	二七三
丁未請払帳	天明七年正月改	横美半	一冊	二七四
戊申請払帳	天明八年正月改	横美半	一冊	二七五
己酉請払帳	天明九年正月改	横美半	一冊	二七六
(庚戌請払帳)(寛政二年正月改)				
辛亥請払牒	寛政三年正月改	横美半	一冊	二七六
壬子請払帳	寛政四年正月改	横美半	一冊	二七九
癸丑請払帳	寛政五年正月改	横美半	一冊	二八〇
甲寅請払帳	寛政六年正月改	横美半	一冊	二八一
乙卯請払帳	寛政七年正月改	横美半	一冊	二八二
丙辰請払帳	寛政八年正月改	横美半	一冊	二八三

丁巳請払牒	佐藤氏 寛政九年正月改	横美半	一冊	二八四
戊午請払牒	寛政一〇年正月改	横美半	一冊	二八五
己未請払牒	寛政一一年正月改	横美半	一冊	二八六
庚申請払牒	寛政一二年正月改	横美半	一冊	二八七
辛酉請払牒	寛政一三年正月改	横美半	一冊	二八八
壬戌請払牒	岩手村佐藤喜太郎 享和二年正月改	横美半	一冊	二八九
癸亥請払牒	享和三年正月改	横美半	一冊	二九〇
甲子請払牒	享和四年正月改	横美半	一冊	二九一

田地入立元差引帳

亥田地入立元年中諸入用附込差引元帳	岩手村	横美半	一冊	二九四
松五郎 安永八年正月				
寅田地入立元年中諸入用附込差引元帳	岩手村	横美半	一冊	二九二
松五郎 天明二年正月				
卯田地入立元年中諸入用附込差引元帳	岩手村	横美半	一冊	二九〇
松五郎 天明三年正月				
未田地入立元差引帳	岩手村文左衛門 文化八年正月	横美半	一冊	二九八
*申酉田地入立元差引帳 岩手村佐藤松五郎 文化九年正月(一〇年)				
		横美半	一冊	二九二〇
*戌亥田地入立元差引帳 佐藤松五郎 文化一一年正月(一二一年)				
		横美半	一冊	二九二一
*子田地入立元指引帳 佐藤松五郎 文化一三年正月				
		横美半	一冊	二九二三
*戌寅田地入立元指引帳 岩手村佐藤松五郎 文政元年正月				
		横美半	一冊	二九七六

米金差引元帳

壬午指引勘定帳 文政五年

橫長半 一冊 二五三〇

米金差引元帳 岩手村佐藤氏 弘化三年正月（嘉永四年）

橫長美 一冊 二五三六

米金差引元帳 （岩手村佐藤啓助） 嘉永五年（安政四年）

橫長美 一冊 二五三七

米金差引元帳 岩手村佐藤啓助 安政五年（元治元年）

橫長美 一冊 二五三六

米金差引元帳 岩手村佐藤啓助 慶応元年

橫長美 一冊 二五三九

米納得米元仕出帳

居村懸持米納得米元仕出帳 嘉永元年一二月

橫長美 一冊 二五五〇

居村懸持米納得米元仕出帳 岩手村佐藤氏 嘉永六年一〇月（明治二年）

橫長美 一冊 二五四九

預米貸米代積り立勘定仕上仮帳

（去戌年預米貸米代積り立勘定仕上仮帳） 文久三年

橫長美 一冊 二五三六

（去亥年預米貸米代積り立勘定仕上仮帳） 元治元年

橫長美 一冊 二五三七

（去子年預米貸米代積り立勘定仕上仮帳） 慶応元年

橫長美 一冊 二五三六

（去丑年預米貸米代積り立勘定仕上仮帳） 慶応二年

橫長美 一冊 二五三九

（去寅年預米貸米代積り立勘定仕上仮帳） 慶応三年

橫長美 一冊 二五三〇

（去卯辰年預米貸米代積り立勘定仕上仮帳） 慶応四年・明治二年

橫長美 一冊 二五三三

（去巳午年預米貸米代積り立勘定仕上仮帳） 明治三年・四年 橫長美 一冊 二五三三

田畑山林入付米取立帳

丑田方米取立帳 岩手村佐藤文吉 明治一〇年（一月）一五日始 橫長半 一冊 二五九四

居村抱持田畑入立米取立帳 第七大区小七区岩手村佐藤文吉 明治一一年一二月二日 橫長半 一冊 二四九七

居村抱持田畑山入附取立日記 中頸城郡岩手村佐藤文吉 明治一三年一月 橫長半 一冊 二四九六

居村抱持田畑山入附米取立日記 中頸城郡岩手村佐藤文吉 明治一五年一月 橫長美 一冊 二四九六

居村抱持田畑山入附米取立日記 中頸城郡岩手村佐藤文吉 明治一六年一月 橫長美 一冊 二五〇〇

居村抱持田畑山入附米取立日記 中頸城郡岩手村佐藤文吉 明治一七年一月 橫長美 一冊 二五〇一

居村抱持田畑山入附米取立日記 中頸城郡岩手村佐藤文吉 明治一八年一月 橫長美 一冊 二五〇三

居村抱持田畑山入附米取立日記 中頸城郡岩手村佐藤文吉 明治一九年一月 橫長美 一冊 二五〇三

居村抱持田畑山入附米取立日記 中頸城郡岩手村佐藤文吉 明治二〇年一月 橫長美 一冊 二五〇四

居村抱持田畑山野入附米取立日記 中頸城郡岩手村佐藤文吉 明治二一年一月 橫長美 一冊 二五〇五

居村抱持田畑山野入附米取立日記 中頸城郡黒川村大字岩手佐藤文吉 明治二二年二月 橫長美 一冊 二五〇六

居村抱持田畑山野入附米取立日記 中頸城郡黒川村大字岩手佐藤文吉 明治二四年一月 橫長美 一冊 二五〇七

居村抱持田畑山野入附米取立帳 大字岩手佐藤文吉 明治三五年一月	中頸城郡黒川村 横長美	一冊	二五八
居村抱持田畑山野入附米取立日記 村大字岩手佐藤文吉 明治三六年一月	中頸城郡黒川 横長美	一冊	三五〇元
居村抱持田畑山野入附米取立日記 村大字岩手佐藤文吉 明治三七年一〇月	中頸城郡黒川 横長美	一冊	三五〇
明治廿八年度小作米取立帳 附 米竹ワラ代割寛 代佐藤與吉 明治 二八年一月一五日	横長半	二冊 二五九六	
明治廿九年度田畑山林入付米取立帳 後見人佐藤與吉 明治二九年一月一日ヨリ	佐藤耕策 横長半	一冊	二四五〇
明治廿九年度田畑山林入立米取立帳 郡黒川村大字岩手佐藤與吉 明治二九年一月一六 日ヨリ	中頸城 横長半	一冊	二四五二
明治三十年度田畑山野入付米取立帳 年一月一五日	明治三〇 横長半	一冊	二四五三
明治三十一年度田畑入付米取立帳 一月一日	明治三一年一 横長半	一冊	二四五三
明治三拾貳年度田畑山林入付米取立帳 字岩手佐藤氏 明治三二年一月二日	黒川村大 横長半	一冊	二四五四
明治三拾参年度田畑山林入附米取立簿 明治三三年一月	佐藤氏 横長半	一冊	二四五五
明治三拾四年度田畑山林入附米取立帳 明治三四年一月	佐藤氏 横長半	一冊	二四五六
明治三拾五年度田畑山林入附米取立帳 明治三五年一月	佐藤氏 横長半	一冊	二四五七
明治三拾六年度田畑山林入附米取立帳 明治三六年一月	佐藤氏 横長半	一冊	二四五六
明治三拾七年度田畑山林入附米取立帳 明治三七年一〇月	佐藤氏 横長半	一冊	二四五九

明治参拾八年度田畑山林入附米取立帳 吉 明治三八年	佐藤與 横長半	一冊	二四六〇
明治参拾八年度田畑山林入附米取立帳 明治三八年一月	佐藤氏 横長半	一冊	二四六一
明治参拾九年度田畑山林入附米取立帳 大字岩手佐藤與吉 明治三九年一月	黒川村 横長半	一冊	二四六三
明治参拾九年度田畑山林入附米取立帳 郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治三九年一月	中頸城 横長半	一冊	二四六三
明治四拾年度田畑山林入附米取立帳 黒川村大字岩手佐藤氏 明治四〇年一月	中頸城郡 横長半	一冊	二四六四
明治四拾壹年度田畑山林入附米取立帳 郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治四一年一月	中頸城 横長半	一冊	二四六五
明治四拾貳年度田畑山林入附米取立帳 郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治四二年一〇月	中頸城 横長半	一冊	二四六六
大正元年度田畑山林入附取立帳 大字岩手佐藤氏 大正元年一月	中頸城郡黒川村 横長半	一冊	八七四
大正貳年度田畑山林入附取立帳 大字岩手佐藤氏 大正二年一月	中頸城郡黒川村 横長半	一冊	八七五
大正参年度田畑山林入附取立帳 大字岩手佐藤氏 大正三年一月	中頸城郡黒川村 横長半	一冊	八七六
大正四年度田畑山林入附取立帳 大字岩手佐藤氏 大正四年一〇月	中頸城郡黒川村 横長半	一冊	八七七
大正五年度田畑山林入附米取立帳 村大字岩手佐藤氏 大正五年一月	中頸城郡黒川 横長半	一冊	八七六
大正六年度田畑山林入附米取立帳 大正六年一月	佐藤耕策 大 横長半	一冊	二四七
大正七年度田畑山林入附米取立帳 正七年一月	佐藤耕策 大 横長半	一冊	二四六

大正八年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	大正八年一月	横長半	一冊	二四六六	昭和八年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和八年一月三日	横長半	一冊	二四六三
大正九年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	大正九年一月	横長半	一冊	二四七〇	昭和九年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和九年二月	横長半	一冊	二四六四
大正十年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	大正一〇年一月	横長半	一冊	二四七二	昭和十年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和十一年一月一日	横長半	一冊	二四六五
大正十一年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	大正一一年一月	横長半	一冊	二四七三	昭和十一年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和一二年一月	横長半	一冊	二四六六
大正十二年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	大正一二年一月	横長半	一冊	二四七四	昭和十二年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和一三年一月	横長半	一冊	二四六七
大正十三年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	大正一三年一月	横長半	一冊	二四七五	昭和十三年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和一四年一月	横長半	一冊	二四六八
大正十四年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	大正一四年一月	横長半	一冊	二四七六	昭和十四年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和一五年一月	横長半	一冊	二四六九
大正十五年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	大正一五年一月	横長半	一冊	二四七七	昭和十五年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和一六年一月	横長半	一冊	二四七〇
昭和二年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和二年一月	横長半	一冊	二四七八	昭和十六年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和一七年一月	横長半	一冊	二四七一
昭和三年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和三年一月	横長半	一冊	二四七九	昭和十七年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和一八年一月	横長半	一冊	二四七二
昭和四年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和四年一月	横長半	一冊	二四八〇	昭和十八年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和一九年一月	横長半	一冊	二四七三
昭和五年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和五年一月	横長半	一冊	二四八一	昭和十九年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和二〇年一月	横長半	一冊	二四七四
昭和六年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和六年一月	横長半	一冊	二四八二	昭和二十年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和二一年一月	横長半	一冊	二四七五
昭和七年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和七年一月	横長半	一冊	二四八三	昭和二十一年度田畑山林入附米取立帳	佐藤耕策	昭和二二年一月	横長半	一冊	二四七六

万書留帳

万書留 (享保四年) 正月	横長美	一冊	三三三	乙酉万書留帳 明和二年正月	横長半	一冊	三〇九
万書留 佐藤八兵衛 享保一三年正月	横長美	一冊	二九六	丙戌万書留帳 明和三年正月	横長半	一冊	三三四
万書留 佐藤友右衛門 (享保一八年九)	横長美	一冊	三三三	丁亥万書留牒 明和四年正月	横長半	一冊	三三〇
万書留帳 佐藤氏 延享二年正月	横長半	一冊	二九六	戊子万書留帳 佐藤平六 明和五年正月	横長半	一冊	三三一
万書留帳 延享四年正月	横長半	一冊	三九六	(己丑万書留帳) 明和六年正月	横長半	一冊	三二八
万書留帳 佐藤友右衛門 (延享五年)	横長半	一冊	三〇二	庚寅万書留牒 明和七年正月	横長半	一冊	三三三
万書留帳 (寛延二年)	横長半	一冊	三〇一	辛卯万書留牒 明和八年正月	横長半	一冊	三三三
万書留帳 寛延四年正月二日	横長半	一冊	三三三	万書留帳 明和九年正月	横長半	一冊	三三四
万書留帳 佐藤氏 午年(年不詳)	横長半	一冊	三〇四	癸巳万書留帳 安永二年正月	横長半	一冊	三三五
(万書留帳) 末年(年不詳)	横長半	一冊	三〇五	甲午万書留帳 安永三年正月	横長半	一冊	三三六
万書留帳 宝曆三年	横長半	一冊	三〇〇	乙未万書留帳 安永四年正月	横長半	一冊	三三七
甲戌万書留帳 宝曆四年	横長半	一冊	三〇一	丙申万書留帳 安永五年正月	横長半	一冊	三三八
乙亥万書留帳 宝曆五年正月	横長半	一冊	三〇三	丁酉万書留帳 安永六年正月	横長半	一冊	三三九
丙子万書留帳 宝曆六年正月朔日	横長半	一冊	三〇四	戊戌万書留帳 安永七年正月	横長美	一冊	三三〇
(万) 書留帳 宝曆七年	横長半	一冊	三九六	己亥万書留帳 安永八年正月	横長半	一冊	三三一
万書留帳 宝曆八年正月	横長半	一冊	三〇五	庚子万書留帳 佐藤喜太郎 安永九年正月	横長半	一冊	三三三
己卯万書留帳 (宝曆九年) 正月	横長半	一冊	三〇〇	辛丑万書留帳 喜太郎 安永一〇年正月	横長半	一冊	三三三
庚辰万書留帳 宝曆一〇年正月朔日	横長半	一冊	三〇六	壬寅万書留帳 天明二年正月	横長半	一冊	三三五
辛巳万書留牒 宝曆一一年正月朔日	横長半	一冊	三〇七	癸卯万書留帳 佐藤喜太郎 天明三年正月改	横長半	一冊	三三六
壬午万(書留帳) 宝曆一二年正月	横長半	一冊	三〇三	(万書留帳) (天明四年) 正月改	横長半	一冊	三三三
(甲申万書留帳) (宝曆一四年)	横長半	一冊	三〇八	乙巳万書留帳 天明五年正月改	横長半	一冊	三三七
				丙午万書留覺帳 天明六年正月改	横長半	一冊	三三八

万書留帳	天明七年正月改	横長半	一冊	三九七	甲申万書留帳	高原	文政七年正月	横長半	一冊	三五五
万書留帳	天明八年正月改	横長半	一冊	三三九	乙酉万書留帳	文政八年正月	横長半	一冊	三五五	
己酉万書留帳	天明九年正月改	横長半	一冊	三三〇	丙戌万書留帳	文政八年(九年)正月	横長半	一冊	三五四	
庚戌万書留帳	寛政二年正月改	横長半	一冊	三三三	丁亥万書留帳	文政一〇年正月	横長半	一冊	三五八	
辛亥万書留牒	寛政三年正月	横長半	一冊	三三四	己丑万書留帳	文政一二年正月	横長半	一冊	三五七	
壬子万書留帳	佐藤喜太郎 寛政四年正月改	横長半	一冊	三三五	庚寅万書留帳	文政一三年正月	横長半	一冊	三五八	
万書留帳	寛政五年正月	横長半	一冊	三三六	辛卯万書留帳	岩手村佐藤氏 文政一四年正月	横長半	一冊	三五九	
甲寅万書留牒	寛政六年正月改	横長半	一冊	三三七	壬辰万書留帳	岩手村藤氏 天保三年正月	横長半	一冊	三六〇	
乙卯万書留帳	寛政七年正月改	横長半	一冊	三三八	癸巳万書留帳	佐藤 天保四年正月	横長半	一冊	三六一	
丙辰万書留帳	寛政八年正月改	横長半	一冊	三三九	甲午万書留帳	岩手村佐藤氏 天保五年正月	横長半	一冊	三六二	
丁巳万書留帳	寛政九年正月改	横長半	一冊	三四〇	乙未万書留帳	佐藤氏 天保六年正月	横長半	一冊	三六三	
戊午万書留帳	寛政一〇年正月改	横長半	一冊	三四一	丙申万書留帳	佐藤氏 天保七年正月	横長半	合一冊	三六四	
庚申万書留帳	寛政一二年正月改	横長半	一冊	三四三	丁酉万書留帳	佐藤氏 天保八年正月朔日	横長半	一冊	三六五	
辛酉万書留帳	寛政一三年正月二日改	横長半	一冊	三四四	戊戌万書留帳	佐藤氏 天保九年正月	横長半	一冊	三六六	
壬戌万書留帳	享和二年正月二日改	横長半	一冊	三四五	乙亥万書留帳	佐藤氏 天保一〇年正月	横長半	一冊	三六七	
癸亥万書留帳	享和三年正月改	横長半	一冊	三四六	庚子万書留帳	佐藤氏 天保一一年正月	横長半	一冊	三六八	
甲子万書留帳	岩手村佐藤 享和四年正月改	横長半	一冊	三四七	辛丑万書留帳	佐藤氏 天保一二年正月	横長半	一冊	三六九	
丙寅万書留帳	文化三年	横長半	一冊	三五〇	万書留帳	佐藤氏 天保一三年正月	横長半	一冊	三七〇	
丁卯万書留帳	文化四年正月改	横長半	一冊	三四八	癸卯万書留帳	佐藤氏 天保一四年正月	横長半	一冊	三七二	
戊辰万書留帳	文化五年正月改	横長半	一冊	三四九	甲辰万書留帳	岩手村佐藤氏 天保一五年正月	横長半	一冊	三七三	
壬午万書留帳	文政五年正月	横長半	一冊	三五二	乙巳万書留帳	佐藤氏 弘化二年正月	横長半	一冊	三七三	
未万書留帳	文政六年正月	横長半	一冊	三五三	丙午万書留帳	岩手村佐藤啓助 弘化三年	横長半	一冊	三七四	

丁未万書留帳	巖手邑佐藤氏	弘化四年正月	横長半	一冊	三七五
万書留帳	巖手邑村佐藤氏	弘化五年正月	横長半	一冊	三七六
万書留帳	巖手村佐藤氏	嘉永二年正月	横長半	一冊	三七七
万書留帳	巖手村佐藤氏	嘉永三年正月	横長半	一冊	三七八
万書留帳	岩手村佐藤啓助	嘉永四年正月	横長半	一冊	三七九
壬子万書留帳	巖手村佐藤啓助	嘉永五年正月	横長半	一冊	三八〇
癸丑万書留帳	嘉永六年正月		横長半	一冊	三八一
甲寅万書留帳	佐藤啓助	嘉永七年正月	横長半	一冊	三八二
乙卯万書留帳	佐藤氏	安政二年正月	横長半	一冊	三八三
丙辰万書留帳	佐藤氏	安政三年正月	横長半	一冊	三八四
丁巳万書留帳	佐藤氏	安政四年正月	横長半	一冊	三八五
癸午万書留帳	佐藤氏	安政五年正月	横長半	一冊	三八六
己未万書留帳	岩手村佐藤氏	安政六年正月	横長半	一冊	三八七
庚申万書留帳	岩手村佐藤氏	安政七年正月	横長半	一冊	三八八
辛酉万書留帳	岩手村佐藤氏	万延二年正月	横長半	一冊	三八九
壬戌万書留帳	文久二年正月		横長半	一冊	三九〇
癸亥万書留帳	文久三年正月		横長半	一冊	三九一
甲子万書留帳	文久四年正月		横長半	一冊	三九二
万書留帳	元治二年正月		横長半	一冊	三九三
万書留帳	慶応二年一〇月 ⁶ 改		横長半	一冊	三九四
丁卯万書留帳	佐藤氏	慶応三年正月	横長半	一冊	三九五
戊辰万書留帳	佐藤氏	慶応四年正月	横長半	一冊	三九六

己巳万書留帳	佐藤氏	明治二年正月	横長半	一冊	二二〇六
庚午万書留帳	佐藤氏	明治三年正月	横長半	一冊	二二〇七
辛未万書留帳	佐藤氏	明治四年正月	横長半	一冊	二二〇八
万書留帳	佐藤氏	明治五年正月	横長半	一冊	二二〇九
癸酉万書留帳	佐藤氏	明治六年一月	横長半	一冊	二二一〇
甲戌万書留帳	佐藤氏	明治七年一月	横長半	一冊	二二一一
乙亥万書留帳	佐藤氏	明治八年正月	横長半	一冊	二二一二
丙子万書留帳	佐藤氏	明治九年正月	横長半	一冊	二二一三
万書留帳	佐藤氏	明治一〇年正月	横長半	一冊	二二一四
万書留帳	中頸城郡岩手村二番地佐藤文吉	明治一八年一月一日	横長美	一冊	二二一五
万書留帳	岩手村佐藤文吉	明治二二年一月一日	横長美	一冊	二二一六
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤文吉	明治二三年一月一日	横長美	一冊	二二一七
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤文吉	明治二五年一月一日	横長美	一冊	二二一八
万書留帖	明治二六年一月一日		横長美	一冊	二二一九
万書留簿	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏	明治二七年一月	横長半	一冊	二二二〇
万書留簿	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏	明治二八年一月	横長半	一冊	二二二一
万書留帳	明治二九年一月一日		横長半	一冊	二二二二
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤耕策	明治二九年九月	横長半	一冊	二二二三
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤耕策	明治三〇年一月	横長半	一冊	二二三四

万書留帳（一部欠）	明治三〇年一月一日	横長半	一冊	三三五
（万書留帳）（部分）（明治三〇年）		横長半	一冊	八七五
万書留帳	明治三二年一月一日	横長半	一冊	三三六
万書留帳	明治三二年一月一日	横長半	一冊	八七二
附 下覚帳		横長半	一冊	八七二
万書留帳（後欠）	佐藤氏 明治三三年一月	横長半	一冊	三三七
（万書留帳）（部分）（明治三三年）		横長半	一冊	八七五
万書留帳	佐藤氏 明治三四年一月	横長半	一冊	三三八
万書留帳	佐藤氏 明治三五年一月	横長半	一冊	三三九
万書留帳（一部欠）	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治三六年一月	横長半	一冊	三三〇
（万書留帳）（部分）（明治三六年）		横長半	一冊	八七五
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治三七年一月	横長半	一冊	三三一
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治三八年一月	横長半	一冊	三三二
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治三九年一月	横長半	一冊	三三三
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治四〇年一月	横長半	一冊	八七三
万書留帳	明治四一年一月	横長半	一冊	三三四
万書留帳	明治四二年一月	横長半	一冊	三三五
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治四三年一月	横長半	一冊	三三六
万書留帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治四四年一月	横長半	一冊	三三七

万書留簿	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治四五年一月	横長半	一冊	三三八
（万書留帳）（前後欠）（明治）		横長美	一冊	八九七
万書留簿	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 大正二年一月	横長半	一冊	三三九
をぼる帳	佐藤内扣 大正三年一月	横長半	一冊	三四〇
おほる帳	黒川村岩手佐藤内 大正四年一月	横長半	一冊	三四一
万おほる帳	中頸城郡黒川村大字岩手佐藤内 大正六年一月	横長半	一冊	三四三
諸支払明細簿				
諸支払明細簿	佐藤耕策 大正六年一〇月七日起	横長半	一冊	三四〇
諸支払明細簿	佐藤耕策 大正七年一月	横長半	一冊	三四二
諸支払明細簿	佐藤耕策 大正八年一月一日	横長半	一冊	三四三
諸支払明細簿	佐藤耕策 大正九年一月	横長半	一冊	三四三
諸支払明細簿（後欠）	佐藤耕策 大正一〇年一月	横長半	一冊	三四六
諸支払明細簿	佐藤耕策 大正一一年一月	横長半	一冊	三四四
諸支払明細簿	佐藤耕策 大正一二年一月	横長半	一冊	三四五
諸支払明細簿	佐藤耕策 大正一四年一月	横長半	一冊	三四六
諸支払明細簿	佐藤耕策 大正一五年一月	横長半	一冊	三四七
諸支払明細簿	佐藤耕策 昭和二年一月	横長半	一冊	三四六
諸支払明細簿	佐藤耕策 昭和三年一月	横長半	一冊	三四九
諸支払明細簿	佐藤耕策 昭和四年一月	横長半	一冊	三四〇
諸支払明細簿	佐藤耕策 昭和五年一月	横長半	一冊	三四三

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和六年一月 横長半 一冊 二四三

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和七年一月 横長半 一冊 二四三

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和八年一月 横長半 一冊 二四四

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和九年一月 横長半 一冊 二四五

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一〇年一月 横長半 一冊 二四六

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一一月 横長半 一冊 二四七

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四八

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

諸支弘明細簿 佐藤耕策 昭和一二月 横長半 一冊 二四九

(大正三年・同四年産米飯米搗キ覚)(帳面残欠) 二枚 八五〇

○柿崎等津出米

柿崎村平野孫八・八木重左衛門蔵米積預り証文 岩手村佐藤八平宛 宝曆七年二月五日

今町管屋彌兵衛蔵米売払代金差引勘定書 佐藤慶助宛 天保一二年一月

片町善太郎外蔵米受取書綴 岩手高原佐藤宛 已(安政四年)二月二十四日(閏五月二十六日)

直海浜村杉田幸左衛門外蔵米受取預書綴 岩手村高原宛 文久二年五月二十五日(七月二十九日)

直海浜村佐三右衛門外蔵米受取并積預書綴 岩手村啓助(高原)宛 元治元年五月十九日(八月三日)

雁子浜村佐左衛門外内蔵米受取積預書綴 岩手村高原宛 丑(慶応元年)五月二十四日(閏五月二二日)

柿崎於田屋外蔵米受取証其外綴 岩手村高原宛 明治八年

内蔵出米覚 明治九年八月二三日

津出帳并請取 岩手村佐藤 明治一二年五月

。内蔵津出日記帳 新潟県第七大区小七区岩手村 明治一二年五月六日始

。柿崎多屋与左衛門外蔵米請取書綴 岩手村高原外宛(明治一二年)五月

柿崎出米請取 明治一二年

。内蔵米津出帳 岩手村佐藤氏 明治一二年四月

一通 四八〇

一通 八六五

一綴 四八三〇

一綴 四八三六

一綴 四八四四

一綴 四八六八

一綴 四七三九

一綴 二九七五

二点 一七四五

一冊 一七四五

一綴 一七四六

一綴 一七五三

一冊 一七五三

一冊 一七五三

一冊 一七五三

。柿崎滝沢彦三郎内蔵米請取書綴 岩手村佐藤文吉宛 (明治二年) 四月一八日～二三日	一綴 (二通)	一七五四
。柿崎油屋市郎右衛門米請取書綴 岩手村佐藤文吉宛 卯 (明治二年) 六月一五日～一九日	一綴 (二八通)	一七五五
。柿崎油屋市郎右衛門米請取書綴 岩手村佐藤文吉宛 卯 (明治二年) 八月二〇日～二二日	一綴 (九通)	一七五六
。柿崎四ツ目屋伊十郎米請取書綴 岩手村高原宛 卯 (明治二年) 七月二五日～二八日	一綴 (五通)	一七五七
。柿崎鈴木屋内蔵米請取書 岩手村佐藤宛 明治二年七月一八日・八月四日	二通	一七五八
。柿崎油屋市郎右衛門書狀〔出米之儀御願并代金支払付〕 岩手村佐藤文吉宛 (明治二年) 六月一四日～八月二〇日	四通	一七五九
柿崎四ツ目屋米請取書綴 岩手村佐藤宛 明治四年五月一六日～一月一三日	一綴 (五〇通)	一八九三
柿崎親松甚兵衛内蔵米請取書 佐藤平六宛 寅六月六日	一通	四七五九
潟町内藤徳右衛門蔵米請取書 岩手佐藤宛 申四月二八日	一通	四七六一
柿崎四ツ目屋伊十郎蔵敷并浜下ヶ賃受取書 岩手高原佐藤宛 亥一〇月一六日	一通	四七六二
いかに屋吉蔵蔵米受取書 上宛 三月二四日	一通	四七六四
柿崎おたや四右衛門蔵米受取書綴 岩手高原宛 卯六月朔日～八月四日	一綴 (四通)	四八三七
柿崎おたや与左衛門外蔵米受取書綴 岩手村高原宛 辰五月二〇日～八月二日	一綴 (六通)	四八三六
柿崎大田屋与左衛門外蔵米受取書綴 岩手村高原宛 巳四月二五日～七月一四日	一綴 (四通)	四八三九

直海浜村幸左衛門外蔵米受取并積預書綴 岩手村高原宛 午五月二五日～七月二〇日 一綴 (三三通) 四八三二

直海浜村杉田幸左衛門蔵米受取書綴 岩手村高原宛 酉七月三日～八月四日 一綴 (三三通) 四八三三

柿崎四右衛門蔵米受取書綴 岩手村高原宛 亥五月一四日～六月二七日 一綴 (八通) 四八四五

片町善太郎外米受取書綴 岩手村竹原 (高原) 宛 亥四月二五日～七月一日 一綴 (二通) 四八四七

柿崎忠兵衛蔵米受取書 岩手村喜太郎・太喜右衛門・茂右衛門宛 卯五月六日・七日 一綴 (三三通) 四八六〇

米倉村惣右衛門外内蔵米受取積預書綴 岩手佐藤宛 寅五月一〇月～七月二二日 一綴 (九通) 四八六九

○夏米売払

亥ノ夏米売払方留帳 安永八年四月 横長半 一冊 一〇四八

丑夏米払帳 松五郎 (天明元年) 五月二八日 横長半 一冊 一〇五五

卯夏米請払帳 天明三年五月 横長半 一冊 五〇〇〇

諸村支配地

小作地經營

——貢租・諸懸〔岩手村〕〔村方諸入用・佐藤家貢租〕 (四八頁も見よ)

○全体・不明

辰暮懷中日記 佐藤氏 享保九年 横長半 一冊 二六四七

岩手村佐藤八平殿田地入立帳 寛延二年 横長半 一冊 三五五五

岩手村八平差出一札下書〔質物ニ預リ置申質地入立米并年貢諸役等ニ付取極一札〕 証入金左衛門加判 多三右衛門宛 文化二年二月 一通 八一九六

悪作引方記〔米山寺外一ヵ村分〕天保七年二月
一冊 一三〇
入立米悪作引方銘々覚其外綴 嘉永三年ほか
一綴 四七四

村々悪作引〔下帳〕 慶応四年
横長半 飯一冊 二六九

戊年得米請取簿 岩手村佐藤泰助 明治七年二月
横美半 一冊 二六四

明治十年八月廿二日暴風
横美半 一冊 二六四
蔵窓電雷作物大損毛 悪作引方帳
横長半 一冊 二九五
岩手村佐藤文吉 明治一〇年一〇月

〔本田新田米高并米納得米勘定覚〕 明治一二年
一枚 二六七

猿毛

抱持 水野 早稲検見帳 明治三〇年九月二七日
横長半 合一冊 二五九
水野 灰庭

明治参拾八年検見簿 中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治三八年一〇月
横長半 一冊 八五七
附 大字水野中晚稲検見野帳

〔入立米引方帳〕 (明治)
横長半 飯一冊 三九四
〔某村所有地地価名寄亨〕 持主佐藤文吉 (明治)

啓八前田地書立覚
半 一冊 八四二
一通 四八五

○岩手村

田地入立帳 文政五年
横長半 一冊 八五三

居村田方入立覚帳 佐藤友右衛門 文政一二年二月
横長半 一冊 八五二

申ノ悪作引方覚 友七 天保七年八月
横長半 一冊 一三二

明治二十八年度大字岩手小作人各自場詰帳 明
横長美 一冊 二六七
治二年一月五日

明治廿九年度大字岩手小作人各自場詰帳 明治
横長美 一冊 二六六
二年二月二五日

明治三十一年度大字岩手小作人各自場詰帳 明
横長美 一冊 二六九
治三二年

明治三拾貳年度大字岩手小作人各自場詰帳 明
横長美 一冊 二七〇
治三三年

明治参拾参年度大字岩手小作人各自場詰帳 明
横長美 一冊 二七一
治三三年十二月

明治参拾四年度大字岩手小作人各自場詰帳 明
横長美 一冊 二七三
治三四年二月

○阿弥陀瀬村

阿弥陀瀬村田畑山高附立覚 阿ミたせ村庄や安左衛門 懸持岩手村友右衛門宛 享保一二年十二月
一通 三六六

下黒川村大字阿弥陀瀬所有地地価入付米報告書 大字阿弥陀瀬片桐半二郎 大字岩手佐藤耕築宛 明治三一年十二月
一通 八四八

○芋嶋村

芋嶋村彦左衛門上納金并小作米其外払目録写 芋嶋村弘人彦左衛門・組頭・庄屋連署 享保一六年十二月
一通 三七三

〔芋嶋村米納一前分・小役小懸リ村入用出銀・村人足用具一前分書出帳〕 (宝曆八年) 明和四年
横長半 一冊 二〇〇

芋嶋村村中百姓連判証文〔芋嶋村・上灰庭新田實地三付・代金・作徳米等取極一札〕百姓佐右衛門外四名連印 岩手村惣左衛門・黒岩村孫右衛門宛 明和五年十二月
一通 三五六

芋嶋村村中百姓連判証文下書〔同前〕 庄屋与市郎外宛 (明和五年十二月)
一通 三七六

芋嶋村上灰庭新田田畑山居屋敷反別附 芋嶋村・上灰庭新田庄屋与左衛門外三名連印 岩手村平六宛 明和元年七月
横長美 一冊 二六二

芋嶋村彦右衛門先納金才覚願(半右衛門支配之分私(才覚下され度旨) 岩手村喜太郎宛 安永六年三月二八日	一通	三五五
田地鬪引字名場所反別附帳 芋嶋村支配人彦左衛門・与一右衛門 岩手村佐藤友右衛門宛 天保一二年一〇月	一冊	八六七
田地鬪引字名場所反別附帳 芋嶋村支配人吉郎左衛門 岩手村佐藤友右衛門宛 天保一二年一〇月	一冊	八六六
田地鬪引字名場所反別場所附帳 芋嶋村支配人林右衛門 岩手村佐藤友右衛門宛 天保一二年一二月	一冊	八六九
本田式前四ヶ一 鬪引帳	一冊	二五四
新田式前四ヶ一二十四ヶ一 鬪引帳	一冊	二五四
支配人孫左衛門外四名 高原宛 嘉永三年十一月	一冊	八七〇
芋嶋村鬪替田畑引直覚 安政六年	一冊	八七〇
(芋嶋村所有地地価取調帳写)(小作佐藤孫三郎分)(明治)	一冊	八七五
星野半左衛門覚書(芋嶋村懸持地支配方勘定ニ付申入書) 佐藤喜太郎宛 申四月	一通	四九三
芋嶋村江掛持田地支配分書立覚(作兵衛并星野氏支配分) 文政一〇年極月	二通	四九三
田地反別名所書立覚	二通	四九四
芋嶋本田新田并上灰庭新田高反別覚	一通	四九五
○上輪村・同新田村		
午年上輪九左衛門さん用覚帳 享保一一年一二月二三日	一冊	三五五
丑上輪指引帳 享保一八年	一冊	三六七
卯上輪新田指引目録 上輪新田九左衛門 享保二〇年一二月二四日	一冊	三六八

辰上輪新田指引帳 上輪新田九左衛門 元文元年一二月二二日	一冊	三六九
(上輪新田本田作徳米撰上并作徳不足金点検覚帳)(寛延二年(宝曆一三年)	一冊	三六五
作徳不足金点検覚(上輪新田本田) (宝曆四年(宝曆一三年)	一冊	三六六
上輪新田村平七願書(当村九左衛門田地相渡不申候三付 吟味願) 岩手村佐藤八平郎様宛 明和六年一〇月	一通	三六四
上輪新田・本田懸持高書立覚 惣左衛門 平七・九左衛門宛 一〇月三〇日	一通	三六五
○岸海村		
岸海村亥丑迄指引勘定帳 宝曆七年	一冊	八四三
寅岸海村指引目録 岸海村金左衛門・九左衛門 岩手村友右衛門宛 宝曆九年二月六日	一冊	八六六
岸海出米元書 佐藤友右衛門 相沢彦右衛門宛 宝曆九年一〇月	一冊	八六七
卯岸海村指引帳 岸海村金左衛門 岩手村友右衛門宛 宝曆一〇年二月	一冊	八六二
辰岸海村勘定目録 岸海村金左衛門 岩手村友右衛門宛 宝曆一〇年二月	一冊	八六一
辰年鷹海出米御扣目録 佐藤友右衛門 相沢彦右衛門宛 宝曆一〇年	一冊	三五四
巳年岸海村貴殿懸持田地算用目録 岸海村金左衛門 岩手村友右衛門宛 宝曆一二年二月	一冊	三五五
午年鷹海村貴殿懸持田地算用目録 岸海村金左衛門 岩手村平六宛 宝曆一二年一二月	一冊	九一九

末年 鴈海村貴殿掛持田地算用目録 岩手村平六宛 宝曆二三年二月	鴈海村金右 横長美	一冊	九三
中年 鴈海村貴殿懸持田地算用目録帳 岩手村平六宛 明和元年二月	横長美	一冊	九六
岸海村忠右衛門外一〇名連印一札〔八平懸持地小 作入立米并田地平均割二付〕 岩手村八平宛 明和二 年十一月一〇日	一冊	通	三七三
酉年請払算用帳 鴈海村金左衛門 岩手村平六宛 明和三年二月	横長美	一冊	九四
戌年請払算用帳 鴈海村金左衛門 明和四年二月八 日	横長美	一冊	九七
亥年請払算用帳 鴈海村金左衛門 明和五年	横長美	一冊	九九
鴈海村吉兵衛一札〔高役米金取替願御納得被下候ニ 付、已後不作法等不仕、農業大切ニ相勤可申旨〕 立 合人・庄屋二名加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年 二月	一通	通	四六二
田方反別 色高附立 居屋敷覚帖 鴈海村質主吉左衛門・組頭太喜右衛門・庄や金右衛 門連印 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月	横長美	一冊	二五三
当子田地入立并ニ利米目録帳 鴈海村庄屋太喜右 衛門・金右〔左〕衛門 岩手村惣左衛門宛 明和五年 一二月	横長美	一冊	二四二
借用金目録身上附立目録覚帖 鴈海村金右衛門 明和六年正月	横長美	一冊	二四二
*当丑田地入立并利米目録帳 鴈海村庄屋金右衛門 岩手村松五郎宛 明和六年二月	横長美 横美平	合一冊 二冊	三五四
附 己丑請払牒 明和六年正月	横長美	一冊	二二
卯惡作引方帳 鴈海村金左衛門 岩手村松五郎宛 明和八年八月	横長美	一冊	二二

田地入立米金 鴈海村金左衛門 岩手村松五郎宛 卯借用目録帳 明和八年二月	横長美	一冊	二四〇
田方反別山畑附渡覚帖 鴈海村吉兵衛・与頭太喜 右衛門・庄屋金左衛門 岩手村松五郎宛 明和八年 一二月	横長美	一冊	二五三
貴殿引方目録帳 茂左衛門 松五郎・喜太郎宛 安永二年八月	横長美	一冊	四六八
田方水損場所銘々小前帳 鴈海村金左衛門 岩手 村喜太郎宛 安永六年二月	横長美	一冊	二四四
小作米并前々預り候米金目録帳 鴈海村 天明 六年二月	横長美	一冊	二七四
鴈海村庄屋金左衛門外一名連署一札写〔大満 水ニ而損地ニ罷成候ニ付、来春中地平均可申旨、納得 百姓連判一札〕 天明七年二月	一通	通	四九四
当酉年水損引方帳 鴈海村金左衛門 岩手村喜太 郎宛〔年欠〕	横長美	一冊	四三五
田地売買ニ付御裏書願控 岩手村佐藤文吉・雁海 村室岡久作 中頸城郡長渡部健藏宛 明治一九年五 月一五日	一冊	一冊	八五四
○猿毛村 猿毛村懸持高田畑山場所付目録帳 田地支配人 浅右衛門 岩手村平六宛 宝曆二一年一月	横長美	一冊	三六五
猿毛村清太郎支配前步附 文政一三年八月	横長美	一冊	三六五
小作入立米引方願 猿毛村橋爪慈平太 岩手村佐 藤文吉宛〔明治〕八年二月二八日	一通	通	四七三
○下条村 差配小作水入帳 下条村〔差配人〕清五郎 岩手 村啓助宛 安政六年二月	横長美	一冊	三五八

入立米差引勘定書 下条長吉 佐藤宛 子二月

一通 四八三

○下灰庭新田村

〔下灰庭新田田畑步附取調覽書類〕 明和五年ほか

一綴 三六五

下灰庭新田村高田畑反別并山林步附入立覽帳

二冊 八七三

下灰庭新田村庄屋定吉外組頭百姓代二名 懸持岩手村八平宛 文政八年一二月

二冊 八七三

附 下灰庭新田步附

下灰庭新田高反別山林步附帳 〔弘化三年力〕

一冊 三六五

〔下灰庭新田地所讓渡步附帳控書〕 啓助代・庄屋貢三郎 九右衛門・孫右衛門宛 弘化三年四月

一冊 三六五

下灰庭新田村貢三郎差出一札〔当村江貴殿掛持高之村用人足壹人八分之内、人足式分之勘方引請取決一札〕 請合人九右衛門連印 岩手村友右衛門宛 弘化三年四月

一通 四三七

下灰庭新田村孫右衛門居屋敷畑替地一札并下書 請人九右衛門外一名加判 岩手村友右衛門 弘化三年四月

二通 四三五

〔灰庭村所有地地価取調帳亨〕 灰庭村宮ノ入市蔵 佐藤文吉宛 〔明治〕

半 飯二冊 八七四〇

下灰庭新田子悪作檢見手帳 〔年欠〕

半 飯二冊 八七四〇

〔下灰庭新田山字步附覽〕

半 飯二冊 八七四〇

地価名寄帳〔佐藤家所有地分〕 頸城郡上中山村抱持岩手村佐藤文吉 明治一三年三月

美 一冊 八七三

地引地価帳〔亨〕 大字上中山 明治三〇年亨

半 一冊 八七三

○馬正面村・同新田村

半 一冊 八七三

馬正面村庄屋五右衛門外一名取極証文亨〔地平均二付、居屋敷并四壁取扱方取極〕 寛延二年一二月

馬正面新田悪作引記 明治一九年九月三〇日

一冊 八三五九

馬正面村同新田村田畑入付米取集帳 岩手村佐藤文吉 明治二〇年一二月

一冊 八六〇

〔馬正面所有地新旧反別報告書〕 新潟県中頸城郡柿崎村大字馬正面耕地整理事務所 佐藤耕策宛 明治四三年四月二五日

半 飯一冊 八七四

柿崎村大字馬正面本新田所有地旧反別入附米取調帳 地主佐藤耕策 明治四三年二月

半 一冊 八七三

柿崎村大字馬正面本新田毛見帳 代人宮ノ入寿作 大正元年一〇月九日

一冊 四六六

○百木村

一冊 四六六

百木村五右衛門并藤内作徳米請合一札〔六右衛門作徳米〕 岩手村八平宛 文化一二年二月

一通 三六六

丸山新田五分前反別帳 百木村支配人利右衛門 岩手村啓助宛 文久二年一二月

一通 三六六

附 實地高代金覚

一通 三六六

〔百木村入立米覚〕 〔年欠〕

一通 三六六

○米山寺村

一通 三六六

米山寺村忠蔵・庄三郎連印一札〔忠蔵弟庄三郎儀家作二付、米山寺村掛持地借用一札〕 親類平次右衛門外一名加判 岩手村喜太郎宛 安永五年三月

一通 四四三

田畑屋敷敷帳 米山寺村藤左衛門 寛政九年九月

一通 四四三

米山寺村支配人惣代村役人連署一札亨〔悪作引方割合三付、猥リケ間敷取計無之縁可仕旨〕 支配人惣代春作外一名并庄屋組頭百姓代 掛持惣代寛嶋伝右衛門・啓助宛 嘉永三年一二月

一通 三三七

米山寺村磯吉御恩一札〔磯吉居屋敷之儀、地券二附差上可申候処、被下置、御札〕同村請人藤十郎加判 岩手村佐藤啓助宛 明治六年二月 一通 四三九

米山寺村麻場保蔵外一名約定為取替証〔摺元二器械車設置三付 小作替地之件〕 米山寺村麻場保蔵・岩手村佐藤文吉・右元小作人米山寺村吉田仙之助証人一名加判 明治一五年五月一日／戸長高島清十郎調印 一通 三六六

〔米山寺村三左衛門組合宅名分名所歩附帳〕 (年久) 附 〔米山寺村宅名分割地寛井井納方勘定目錄 横長美 飯一冊 八六二 下書〕

米山寺村方關係文書

米山寺村山割帳 正徳二年三月 袋入 一四點 八四一 八五四 一冊 八三一

米山寺村享保五子年居屋鋪割帳写 佐藤所持 横長美 一冊 八四三 (大明七年二月二日写)

居屋敷割帳(写) 米山寺村湯本平八扣 享保五年三月(文政三年写) 横半半 一冊 八四三

戊年御割附之写 米山寺村庄屋清三郎 岩手村懸持惣左衛門宛 明和五年五月 横長美 一冊 八四四

頸城郡米山寺村指出明細帳(写) 安永二年五月 半 一冊 八四九

米山寺水野兩村高附帳 安永九年 横美半 一冊 八四六

切開入立并損地余荷米帳 米山寺村庄屋幸左衛門 寛政六年閏一月 横長半 一冊 八四七

申御年貢米銘々庭帳 米山寺村庄屋幸左衛門 文化九年二月 横長半 一冊 八四八

申無高切継米庭帳 米山寺村庄屋幸左衛門 文 化九年二月 横長半 一冊 八四九

米山寺村御免相仲間余荷 割賦帳 立会瀬左衛門外四名 天保八年一月 横長美 一冊 八五〇

米山寺村田畑歩附并入立米寛其外綴 米山寺村百姓軒前寛其外 三 八五二 八五三 八五三

米山寺村家並圖下書 明治一一年一月一四日 22.0 X 32.0 一枚 八五三

米山川絵圖下書 22.0 X 32.0 一枚 八五四

○水野村

当卯御年貢書替庭帳之覚 岩手村佐藤友右衛門 正徳元年極月 横長美 一冊 四六〇

水野村江掛高反別改帳 佐藤友右衛門 文政七年六月 横長半 一冊 二六〇

御年貢米仕出元割帳〔水野村免納諸納米寛〕 岩手村佐藤控 天保一一年 横長半 一冊 一五〇

水野村懸持地所改帳 天保一二年 横長半 一冊 八四七

三右衛門名宅前高下稲蒔数入立米名所附 水野村同名松太郎外三名 文久三年二月 横長半 一冊 八六三

水野村四郎右衛門書状〔三右衛門下支配御取離之儀二付口上〕 岩手村高原旦那宛 一二月一八日 一通 四三五

水野村懸持仁右衛門名入立反別名所附取調帳 水野村仁右衛門 佐藤啓助宛 慶応二年 横長半 一冊 八四八

小作検見覚帳 明治三年正月一四日 横長半 一冊 八四九

水野村戸副二名并戸長曾田新十郎連印一札〔当村貴殿抱持高、従前之通徳米等為計入可申旨一札〕 岩手村佐藤文吉宛 明治六年四月 一通 四六九

黒川村大字水野悪作検見帳 同字岩手佐藤文吉 明治二四年一〇月一八日 横長半 飯一冊 八四四

黒川村大字水野悪作引帳 明治二八年九月	横長半	一冊	八三三
明治廿九年度大字水野風害虫害毛見帳 下灰庭新田代人宮ノ入九右衛門 明治二九年九月二二日	横長半	一冊	二五九
明治三拾五年大字水野検見帳 明治三五年一〇月一〇日	横長半	一冊	八四六
(大字水野小作入附米取立帳) (明治)	横長半	一冊	八五五
(水野村入立米取立覚)	横長半	一通	八七二
○横山村			
横山作徳成ノ寅迄平均算用帳 (年欠)	横長半	一冊	二五四
田畑屋鋪山高名所附帳 横山村支配人五助 岩手村惣左衛門宛 (年欠)	横長半	一冊	二六四
○その他			
吉尾村吉十郎請合証文〔吉尾村半助借金ニ付、御奉公請合一札〕 岩手村友右衛門宛 庚子〔享保五年〕極月		一通	三三二
原ノ町村伊右衛門請合証文〔實地古証文無代金ニ而被下置候ニ付、何方へも實地等に相渡申間數旨〕 同村請合一名加判 岩手村喜太郎宛 天明六年二月		一通	三六三
中条村庄屋伝次右衛門請書写〔小作米滞分濟方日限被仰付ニ付〕 川浦御役所宛 寅七月三日ノ高田領竹直村庄屋嘉左衛門并中条村与頭喜右衛門 添書		一通	三七六
争論・一件			
○中山村惣右衛門御抔地取得一件			
猿毛中山村百姓惣右衛門持高反別帳 庄屋六右衛門外組頭百姓代四名 正徳六年四月	横長半	一冊	四三六
(中山村惣右衛門田地付訳帳并入立覚帳并坪付野帳写) 正徳六年五月八日	横長半	一冊	四四〇

高畑村某書状〔中山村歩帳・荊帳等享差遣〕 (享保元年) 五月一三日		一通	四三三
高畑村三右衛門田地仕訳証文〔中山村御追放百姓惣右衛門田地御抔地落札ニ付、上小野村儀左衛門・岩手村八兵衛と三分仕訳〕 岩手村八兵衛宛 申〔享保元年〕二月一十五日		一通	四三三
中山村惣右衛門持高御抔代金勘定覚書写 小林久藏〔能〕〔能勢〕權兵衛宛 申〔享保元年〕二月一能權兵衛請取裏書写 小林久藏宛 申二月一五日		一通	四三三
中山村磨井与一右衛門書状〔木代老阿拜借願〕 岩手村佐藤八平宛 (元文四年) 八月二三日		二通	四三六
附 中山村与一右衛門木代借用証文 岩手村八平宛 元文四年八月二三日			
中下高反別歩附名所田數書附帳 中山村支配人六右衛門 岩手村平六宛 宝曆二年八月	横長美	一冊	四三六
(中山村) 中下高反別歩附名所田數書附覚下書 〔高畑村三太右衛門名前之内岩手村平六宛〕 (小作役支配人) 与一右衛門外一名 平六宛		一通	四三七
迄 (中下田畑屋敷歩附改帳) 酉二月二六日ノ二九日	横長半	一冊	四四一
中山村茂左衛門書状〔去春中遣候田地証文反別付差上申候旨、其外〕 岩手村佐藤八平宛 一〇月二六日 附 中山村茂左衛門入立米差引勘定覚 岩手村八平宛 子二月		二通	四三五
中下田地歩附改覚		二通	四四三
佐藤文吉中下田地歩附覚		一枚	四四三
○吉尾大平両村小作米貸金滞出入 岩手村庄屋友右衛門訴状控〔吉尾村庄屋百姓相手、入上米滞一件〕 享保八年一月ノ享保九年二月再願添書		一通	三九六

裁許申渡書写〔頸城郡下美守郷岩手村庄屋友右衛門
与同郷大平村庄屋善兵衛吉尾村庄屋与左衛門兩村百
姓借金出入之儀訴出候ニ付、遂吟味双方江申渡覺〕
享保一〇年九月二五日

大平村 岩手村友右衛門方江年々米金年々割賦帳

裁許申渡請書写共 大平村金子借人惣代庄屋善兵
衛外二名・吉尾村金子借人惣代庄屋与左衛門外二名
・岩手村庄屋友右衛門 享保一〇年九月二九日

岩手村友右衛門年賦米金請取証文控〔五年賦之
内、当已年分〕 吉尾村庄屋・与頭中宛 享保一〇年
一二月

岩手村庄屋友右衛門訴狀控〔大平村五年賦米金之
内、去年分滞ニ付、仰付願〕 御役所宛 申〔享保
一三年〕二月

岩手村友右衛門訴狀控〔大平村五年賦米金之内、申
酉兩年分滞ニ付、仰付願〕 御役所宛 酉〔享保一四
年〕一二月

岩手村庄屋友右衛門訴狀控〔大平村吉尾村五年賦
米金之内、申酉兩年分滞ニ付、仰付願〕 御役所宛
享保一四年一二月

岩手村友右衛門訴狀下書并控〔同前一件〕 御役所
宛 享保一七年一〇月

〔大平村庄屋百姓へ貸金元利改覚帳〕〔年欠〕

大平村吉原源兵衛書狀〔当地云四郎入上米年貢納
方ニ付、尋〕 岩手村佐藤友右衛門宛 一二月一三日

亥利米代金借用証文写 丑七月朔日

米代金濟方勘定覚〔年欠〕

〔大平村百姓作徳米書立覚〕〔年欠〕

一通 三六三

一冊 三九三

一通 三六四

二通 三六五
五二三

一通 三六六

一通 三六七

二通 三六八
八三六

横長半

一冊 三六九

一通 三七〇

一通 三七一

一通 三七二

一枚 三七三

○岩手村穢多次左衛門・利兵衛身代一件

岩手村次左衛門實地証文 証人利兵衛連印、百姓
証人・組頭一〇名加判 同村友右衛門宛 享保二〇
年一二月／檢井美右衛門裏書

一通 三七八三

岩手村次左衛門實地証文 請人利兵衛外百姓証人
・組頭八名加判 同村友右衛門宛 元文五年一二月

一通 三七八四

岩手村利兵衛金子借用証文 請人次左衛門加判
同村友右衛門宛 元文五年一二月

一通 三七八六

岩手村利兵衛金子借用証文〔次左衛門へ質物取ニ
付、代金借用〕 請人仁兵衛加判〔宛名欠〕 元文五年
一二月

一通 三七八七

岩手村質入主次左衛門一札〔五節句御札・非人乞
食等之仕置、年季中利兵衛方ニ而相勸可申旨〕 請人
一名加判 岩手村利兵衛宛 元文五年一二月

一通 三七八〇

岩手村利兵衛常念仏仮料金借用証文写 受人二
名加判 善導寺惣御且中宛 寛保元年極月

一通 三七八一

穢多次四郎兵衛事利兵衛四月風与出ニ付且那田畑
点検帳 宝曆一〇年

横長美

一冊 三七八四

岩手村大肝煎佐藤八平届書控〔穢多次四郎兵衛事利
兵衛風と出御断〕 辰〔宝曆一〇年〕五月二五日

一通 三七八五

柿崎村善導寺年賦米請取証文〔岩手村利兵衛欠落
ニ付、各取計を以、五ヶ年賦蔵米にて返済分〕 岩手
村庄屋・組頭中宛 宝曆一一年一二月／明和元年一
一月

五通 三七八七

岩手村穢多次左衛門田地上借り証文 請人組頭
二名加判 同村喜太郎宛 寛政九年六月

一通 三七八八

穢多次治左衛門 寛政九巳年々文化七午年迄拾四
午同利兵衛 年分差引帳 文化七年一二月

横長美

一冊 三七九一

午治左衛門差引帳 文化七年一二月

横長半

一冊 三七六

岩手村友右衛門田地讓返証文下書 治左衛門宛
天保七年正月

一通 三七六

○原町村小作地出入

原町村寛延元年貢諸役并郡中諸入用勘定
覚写 市兵衛外四七名 寛延二年

一通 四二三

下町村定右衛門指上証文〔原町村懸持高流賃三付、
岩手村八平懸持高と高帳書直之旨一札〕西嶋大肝煎
所宛 宝曆二年六月／岩手村佐藤八平請合奥書
附 坂口定右衛門書狀〔原町村喜三郎外、証文
印形埒明不申旨、其外三付〕佐藤八平宛 七
月二日

二通 四三六

原町村与一右衛門願書写〔原町村三而下町村定右
衛門懸持田地之儀、私先祖元持高三付、引渡方願〕
庄屋喜三郎・作左衛門連署 宝曆二年九月

二通 三九六

原町村田地願一件書留覚〔宝曆二年一〇月二日岩
手村大肝煎佐藤八平願書下書其外〕 宝曆二年

半

一冊 三九六

岩手村大肝煎佐藤八平願書控〔西嶋組原町村懸持
高小作人与一右衛門作徳入上米差滞三付 地所引渡
願〕御奉行所宛 宝曆二年一〇月、郡御奉行所宛
宝曆三年一二月二日

一通 四〇一

原町村与市右衛門口上返答書写〔岩手村八平願出
三付御尋之趣〕 宝曆二年一〇月

一通 三九六

下町村定右衛門願書案詞并添狀願写 宝曆二年
一〇月

一通 四〇〇

原町村庄屋喜三郎口上返答書写〔与一右衛門願書
取次印形之件御尋三付〕 宝曆二年一〇月

一通 三九六

下町村五左衛門田地証文添証文写 請人原町村
与一右衛門外一名連署 岩手村八兵衛宛 享保一
年三月〔宝曆二年一〇月写〕

一通 三九七

岩手組大肝煎佐藤八平届書下書〔原町村下小作人
与市右衛門、当申作徳米指滞之件〕御奉行所宛 申
〔宝曆二年一二月〕

一通 四〇三

下町村定右衛門・浮嶋新田庄屋藤助口上書写
〔岩手村八平方、願上申候、原町村小作人与一右衛門
小作米滞一件、御尋三付申上〕高田御役所宛 西〔宝
曆三年〕四月

二通 三九三

下条村又右衛門外一名連印作徳米納証文〔原町
村与一右衛門、岩手村貴殿場へ廻り米分〕佐藤八平
宛 西〔宝曆三年〕五月

継一通 四〇三
(二通)

附 岩手村佐藤八平右衛門小作米代請取証文
原町村吉田与一右衛門宛 午二月二五日
原町村与一右衛門返答書写〔作徳米差滞無之旨、
其外〕 宝曆三年五月

一通 四〇四

原町村与一右衛門口上書写〔作徳米指滞無之旨申
上〕郡御奉行所宛 宝曆三年五月

一通 四〇五

岩手組大肝煎佐藤八平書上控〔原町村与一右衛門
滞米〕郡御奉行所宛 西〔宝曆三年〕五月一二日
附 佐藤八平口上書〔滞米書上認直三付、御断〕
神木庄藏外一名宛 西五月一五日

継一通 四〇九
(二通)

佐藤八平書上控〔原町与一右衛門滞米書上〕 西〔宝
曆三年〕五月

一通 四〇〇

〔岩手村佐藤八平再返答書外一通下帳〕郡御奉
行所宛 宝曆三年六月二六日

半

一冊 三九三

岩手村大肝煎佐藤八平再返答書控〔与一右衛門滞
米之年数之儀三付〕郡御奉行所宛 宝曆三年六月

一通 四〇六

岩手組大肝煎佐藤八平届書控〔病氣未本復不仕旨〕
郡御奉行所宛 西〔宝曆三年〕六月

一通 四〇一

岩手組大肝煎佐藤八平願書控〔与一右衛門差構不
申、田地私名前二相直候様仰付願書〕郡御奉行所宛
宝曆三年一〇月

一通 四〇七

岩手村八平願書控〔定右衛門召出、質地渡方并高帳名前書替仰付願〕与頭二名加判 川浦御役所宛 宝曆三年十一月一〇日	一通	四〇八
下町村定右衛門口書写〔原町村懸持高、岩手村八平名前二書替之件、異儀無キ旨申上〕川浦御役所宛 西(宝曆三年)十一月四日/浮嶋新田藤助奥判	二通	三九五
(岩手村大肝煎佐藤八平申上書下帳)〔与一右衛門願書取次庄屋喜三郎吟味願〕御奉行所宛 宝曆三年一月	一冊	三九四
岩手村大肝煎佐藤八平申上書控〔原町村懸持高地所反別引渡之儀二付〕地割帳面類引渡方取計願書〕郡御奉行所宛 戌(宝曆四年)正月	一通	三九七
原町村百姓・村役人一二名連署返答書写〔下町村定右衛門懸持田地、今度岩手村八平名前二書替二付、証文加判之件答書〕御大肝煎所宛 宝曆四年二月/大肝煎八木文左衛門添書 郡御奉行所宛	二通	三九三
八木梅三郎書狀〔原町一件二付被仰聞趣承知〕佐藤八平宛 (宝曆四年)二月一七日	一通	三九四
(大肝煎)八木文左衛門書狀〔原町村之者へ高直シ差出申渡之件、其外通知〕佐藤八平宛 (宝曆四年)二月九日	一通	三九三
(原町村質地一件吟味中屈書并書狀留帳) (佐藤八平) 宝曆四年二月/五年二月	一冊	三九三
原ノ町村庄屋作左衛門・喜三郎米預り証文写〔原町村定右衛門懸持田地申酉年分德米〕御大肝煎所宛 宝曆四年八月	一通	三九八
佐藤八平願書控〔申酉兩年作德米取立方御裁許二付、与一右衛門へ仰付願〕西嶋組御大肝煎所宛 戌(宝曆四年)九月二三日	一通	三九七
佐藤八平願書控〔原町村田地一件御裁許二付、當時之地割帳を以、地所引渡方願書〕郡御奉行所宛 宝曆四年一〇月	一通	三九〇

佐藤家文書目録 佐藤家〔地主経営〕 諸村支配地

原ノ町村庄屋作左衛門・喜三郎申上書写〔八平へ反別渡方之儀立会被仰渡候二付、八平文通之趣委細申上〕御大肝煎所宛 宝曆四年一〇月/八木文左衛門添書 郡御奉行所宛	一通	三九三
岩手村佐藤八平願書控〔原町村懸持高申酉戌年小作入立米引渡方願書〕郡御奉行所宛 宝曆五年一月廿二日	一通	三九一
佐藤八平願書下書〔原町村地所引渡一件内熱濟口之儀届書〕郡御奉行所宛 亥(宝曆五年)正月三〇日	一通	五〇九
佐藤八平願書下書〔原町村懸持高地所之儀、當時地割帳面を以引合、引渡方願書〕亥(宝曆五年)二月二日	一通	三九三
原町村伊右衛門米積預り証文〔当村与一右衛門可出古々米〕岩手村八平宛 宝曆五年二月	一通	三九三
岩手村佐藤八平一札下書〔原町村懸持高地所反別請取方相濟候二付、一札〕原町村庄屋喜三郎・作左衛門宛 宝曆五年四月一六日	一通	三九四
岩手組大肝煎佐藤八平届書下書〔同前二付〕郡御奉行所并御奉行所宛 宝曆五年四月	一通	三九四
上野作左衛門・平田喜三郎覚書〔申酉兩年分与一右衛門作德米指送二付〕佐藤八平宛 亥(宝曆五年)二月一九日	一通	三九四
佐藤八平口上書扣〔申酉兩年分与一右衛門作德米請取二付〕平田喜三郎・上野作左衛門宛 (宝曆五年)二月一九日	一通	三九三
岩手組大肝煎佐藤八平伺書控〔川浦御役所へ御添翰月日付書改之儀二付〕郡御奉行所宛 一〇月二九日	一通	四〇三
定右衛門亡父多惣右衛門書狀写〔原町田地一件二付申上〕友右衛門宛 二五日	一通	四八〇

○米山寺村惣吉身代一件

*米山寺村儀兵衛質地証文并差出一札 庄屋・与頭百姓加判 岩手村八兵衛・友右衛門宛 元禄一一年・宝永四年・享保三年

三通 八四九五
八四九七

米山寺久右衛門後家名跡証文〔貴殿子分惣吉を貰受三付、持參金証文〕 親類・庄屋・与頭五名加判 岩手村友右衛門宛 元文二年五月

一通 八四九六

米山寺村惣吉金子借用証文 請人一名加判 岩手村友右衛門宛 元文二年極月

一通 八四九〇

米山寺村惣吉金子借用証文 請人・庄屋二名加判 岩手村友右衛門宛・元文四年極月

一通 八四九一

米山寺村惣吉金子借用証文 岩手村友右衛門宛 延享元年一月

一通 八四九二

米山寺村惣吉金子借用証文 岩手村友右衛門宛 延享四年二月

一通 八四九三

米山寺村惣吉差上一札写〔家内相統不仕ニ付、身代分家得心一札〕 親類二名連署 村御役人中宛 宝曆五年二月

一通 八四九四

米山寺村惣吉田地水入証文 請人一名加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年二月

一通 八五〇〇

米山寺村佐太左衛門金子借用証文 請人一名加判 岩手村松五郎宛 文政五年二月

一通 八四九四

○国田村惣兵衛と質地取替一件

百木村藤十郎伴曾根松質地証文 百木村請人百姓・与頭・庄屋九名加判 国田村惣兵衛宛 宝曆一三年二月

一通 三六六

百木村藤十郎伴曾根松質地証文 落合村請人百姓・与頭・庄屋六名加判 国田村惣兵衛宛 宝曆一三年二月

一通 三六六

百木村三郎左衛門質地証文 落合村請人百姓・与頭・庄屋六名加判 国田村惣兵衛宛 宝曆一三年二月

一通 三六三

百木村落合村 藤十郎 質地高反別入立米附帳 百木村藤十郎伴曾根松・百木村三郎左衛門 国田村惣兵衛宛 宝曆一四年三月

横長半

一冊 三六四

国田村惣兵衛又質添証文 国田村・百木村・落合村庄屋 元地主藤十郎・三郎左衛門加判 岩手村惣左衛門宛 明和五年七月

一通 三六五

岩手村惣左衛門質地請取請合一札控 百木村庄屋所宛 明和五年七月二六日

一通 三六六

岩手村惣左衛門又質添証文案文控 岩手村証人庄屋二名、原町村証人元地主一名、天林寺村証人元地主・組頭・庄屋三名加判 国田村惣兵衛宛 明和五年一月／岩手村庄屋松五郎添書案文

一通 三六七

当亥年掛持田地諸上納物并諸掛銀皆濟請取一札 天林寺村庄屋清八 岩手村惣左衛門宛 明和四年二月一五日

一通 三六八

当亥年掛持田地納方指引藏米預り一札 天林寺村清八 岩手村惣左衛門宛 亥〔明和四年〕一二月

一通 三六九

佐藤惣左衛門書狀控〔天林寺村質地証文裏判願其外〕 八木文左衛門宛〔明和三年カ〕

一通 三七〇

八木文左衛門書狀〔天林寺村質地証文裏判之件其外〕 佐藤惣左衛門宛〔明和三年カ〕七月二八日

一通 三七一

〔天林寺村〕源右衛門書狀写〔岩手村惣左衛門天林寺村掛持高国田村惣兵衛へ質入ニ付〕 梅之助宛〔明和五年〕

一通 三七二

天林寺村金子清八書狀〔天林寺村田地質取ニ付、大肝煎〔証文控遺候件其外〕 岩手村佐藤惣左衛門宛〔明和三年カ〕六月二日

一通 三七三

岩手村惣左衛門高辻預り証文控 (国田村) 惣兵衛宛 子(明和五年)七月二十四日

(上金原村田地又質添証文下書)

(百木村本田・仲川新田地割入立米寛)

(質地反別歩附寛)

(寛政七年六右衛門質地高入立米寛)

○米山寺村持山進退一件

米山寺掛持山改帳 松五郎外四名立会 文政五年一〇月一四日

横長半

米山寺村中村茂七願書〔貴殿持山從前之通私ニ進退為致置被下度旨〕岩手村佐藤文吉 明治七年一月二五日/佐藤文吉承知奥印

米山寺村宮島忠三郎書狀〔中村茂七山畑進退之件ニ付〕佐藤老大人宛 (明治七年九)一月一〇日(二〇日)

米山寺山取調絵図并歩附寛 明治二八年七月(八月)

米山寺宮嶋忠三郎書狀〔大門城山一件取調中ニ付、通知〕佐藤宛 (明治二八年九)七月三日

小池長太郎書狀〔御借用之帳面返済之旨〕湯本勢一郎宛 (明治二八年九)九月一七日

埼玉県入間郡豊岡町中村芳五郎書狀〔米山寺山間違一件ニ付帰国之件、釀造繁雜ニ付延期願〕黒川村大字岩手佐藤文吉宛 明治二八年十一月一七日

封筒入

大字米山寺中村芳五郎氏支配之山取調寛 大正五年

一通 三六四

一通 三六五

一通 三六六

一枚 三六七

一枚 三六八

一冊 八五〇

一通 八五一

三通 八五二

六枚 八五七

一通 八五五

一通 八五六

一通 八五三

一通 八五四

米山寺山歩附持主等改寛 (年欠)

米山寺村田歩附入立帳 (年欠)

○樋場村田地一件

横長半

岩手村佐藤喜太郎金子請取証文〔質田地請返金之内〕樋場村加藤与惣左衛門宛 寛政三年二月二七日
(樋場村加藤与惣左衛門)書狀〔岩手村喜太郎・松五郎借用金 半金御勘弁願之儀取次依頼〕午(寛政一〇年)二月

岩手村喜太郎代竹直村久右衛門差出一札〔田地請戻不殘相済候得共、証文取落候ニ付、為念一札〕樋場村与惣左衛門宛 寛政一〇年一二月

岩手村甚左衛門金子請取手形〔樋場田地代金〕竹直村久右衛門宛 午(寛政一〇年)一二月二四日

六郎治与惣左衛門願方ニ付御差紙を請久右衛門御役所之訳〔六郎治願出樋場村田地小作米滯出入一件〕岩手村喜太郎 享和元年八月一四日

横長美

○赤沢村質地証文加判滯出入

岩手村庄屋八平訴狀〔赤沢村庄屋市郎兵衛外五名相手、質地証文加判差滯一件〕岩手村庄屋松五郎外三名加判 赤沢組大肝煎所宛 文化一二年三月

岩手村八平外二名・赤沢村孫兵衛外一名熟談内済証文〔同前一件〕扱人上直海村庄屋細田甚四郎外一名連判 文化一二年六月

岩手村八平質地証文 赤沢村増兵衛外三名宛 文化一二年二月

赤沢村孫兵衛外四名連印一札〔質地代金渡方ニ付念書〕岩手村八平宛 文化一二年六月

一括 (飯一冊六枚) 八五八

一冊 八五〇

一通 五二六

一通 五二七

一通 五二八

一通 五二九

一冊 八三八

一通 三六六

一通 三六九

一通 三六〇

一通 三六三

○岸海村讓地代金作德米滯出入

上小野組鴈海村金左衛門返答書外一通写〔黒岩組
岩手村八平々相掛、讓地代金并作德米滯一件〕 大肝 半
煎所宛 文政四年二月

一冊 三九五

岩手村八平代松五郎并鴈海村金左衛門内濟取替
証文 兩村組頭并取扱人二名連印 文政五年一月二月

一通 三九七

讓地代金并作德米濟方勘定覚 (文政五年力)

一枚 三九六

○芋嶋村久兵衛名一件

芋嶋村久兵衛米金借用証文 請合人三名加判 芋
嶋村幾左衛門宛 文政七年一月

一通 三六七

芋嶋村久兵衛金子借用証文 請人二名加判 芋嶋
村幾左衛門宛 文政九年

一通 三六八

芋嶋村久兵衛金子借用証文 請人二名加判 柿崎
善三郎宛 天保五年五月

一通 三六九

芋嶋村久兵衛高書入金子借用証文 加判人三名加
判 柿崎善三郎宛 天保八年五月

一通 三九〇

芋嶋村久兵衛金子借用証文 受人二名加判 同村
太左衛門宛 天保八年二月

一通 三九一

芋嶋村久兵衛并弁金人二名連印弁金借用証文
当村作兵衛宛 天保一三年二月

一通 三九二

芋嶋村久兵衛外二名連印返済金日限書付証文
当村作兵衛宛 天保一三年二月

一通 三九三

芋嶋村林右衛門一札〔貴殿当村江掛持高之内、久
兵衛名下差配仕候ニ付〕 加判人二名加判 岩手村友
右衛門宛 天保一三年二月

四通 三七六

附。安政二卯年久兵衛名直支配ニ付本新田
畑入立歩附字銘々調立覚

。岩手名支配入立米覚
。安政二卯年芋嶋村へ直支配外支配人共ニ
場詰覚

芋嶋村久兵衛金子借用証文 請人一名加判 同村
藤兵衛宛 弘化元年二月

一通 三九四

芋嶋村休兵衛金子借用証文 請人一名加判 同村
小兵衛宛 弘化三年二月

一通 三九五

芋嶋村山田畑切割帳 芋嶋村支配人勘助・和市外
加判人二名 岩手村啓助宛 嘉永四年三月

一冊 三七七

芋嶋村本新田田畑方入立覚帳 芋嶋村吉郎左衛
門 岩手村高原様宛 安政二年一月四日

一冊 三七六

芋嶋村本新田田畑小作連名帳

一冊 三七九

柿崎村久兵衛金子借用証文 請人一名加判 同村
津右衛門宛 弘化二年二月

一通 三六〇

○芋嶋村幾左衛門質地出入

芋嶋村幾左衛門相手質地出入一件文書

五點 八五二

1 岩手村友右衛門訴狀控〔芋嶋村幾左衛門相手、
質物田地年季明請返不承知ニ付、吟味願〕 庄屋
平助外組頭百姓代三名加判 惣代所宛 文政九
年三月

一通

2 岩手村友右衛門訴狀下書 (文政九年三月)

一通

3 岩手村友右衛門再訴狀并惣代平助添書下書
〔質物田地内濟和融破談ニ付再出入〕

二通

4 岩手村友右衛門并芋嶋村幾左衛門出入濟口
証文 村役人并立入人四名連署 御奉行所宛
文政一〇年三月／友右衛門・幾左衛門外四名奥
書証判

一通

5 芋嶋村幾左衛門与出入一件始終 文政一〇
年三月

一冊

芋嶋村幾左衛門相手質地出入一件文書

包紙入 四通 八二五

1 岩手村友右衛門并芋嶋村幾左衛門質地出入
熟談内済為替証文 岩手村・芋嶋村役人加
判 惣代所宛 文政九年七月／水野村庄屋吉左
衛門・横山村庄屋与五左衛門奥書加判

一通

百木村布施八郎治差出一札写〔北代石村定右衛門
質地請返勘定日限三付請合一札〕 佐藤文吉宛（明
治一年）

一通 八二三

2 岩手村八平質地証文 芋嶋村請人・百姓代・
与頭・庄屋加判 芋嶋村幾左衛門宛 文化一二
年二月／大肝煎星野孫右衛門裏書

一通

代石村森口佐平差出一札〔質地代金并引負金返済
三付約定〕立入人下条村山賀久兵衛加判 佐藤啓吉
宛 明治一年七月二日

包紙入

一通 八五三

3 横山村庄屋与五左衛門并水野村庄屋吉左衛
門連印取暖中諸雜用金勘定書 岩手村友右
衛門宛 戊（文政九年）七月

一通

下条村立入人山賀久兵衛請印証書下書〔代石森口
佐平負債勘定約定三付〕 明治一年七月二日

一通 八五四

4 岩手村友右衛門田地讓渡証文 芋嶋村証拠
人・百姓代・組頭五名加判 芋嶋村甚兵衛宛
文政二年二月／惣代平助裏書／大肝煎星野
佐五右衛門 天保一二年閏正月消印裏書

一通

代石佐平書狀〔負債勘定之儀三付〕 岩手村佐藤啓
八宛 二月六日／六月一日

四通 八五二

○北代石村定右衛門・佐平負債一件

北代石村定右衛門質地反別証文写 組頭・庄屋
二名連署 岩手村佐藤啓助宛 慶応二年二月

一通 八三三

泉村三郎左衛門地所書入金子借用証文写 岩手
村啓助宛 慶応二年極月

一通 八五五

北代石村年貢諸懸り米金算用目録其外綴 北代
石村庄屋三郎右衛門 岩手村佐藤啓助宛 慶応三年
明治二年

一綴 八五三
（七通）

北代石村定右衛門德米積預り証文 岩手村佐藤
啓助宛 慶応三年一〇月

一通 八五四

北代石村定右衛門書狀〔金子借用願〕 岩手村佐藤
啓助宛 卯（慶応三年九）二月二三日

包紙入

一通 八五七

慶応三年北代石村定右衛門場詰覚其外綴

一綴 八五元
（三通）

北代石村定右衛門金子借用假証文 岩手村佐藤
啓助宛 明治元年二月二八日
附 定右衛門貸金受取覚

二通 八五四

○所有地毀損復修訴訟

初審 所有地毀損復修條件下書類（原被告口供書写共）
終審 所有地毀損復修條件下書類（原被告口供書写共）
中頭城郡岩手村佐藤文吉 自明治一五年九月三〇
日至明治一七年五月九日

袋入 七綴 一〇枚 二六〇

所有地毀損復修ノ控訴狀（写）
証拠書類之写乙第壹号乃至第拾七号

共 合一冊 二六〇元

初審訴狀并答書之写
初審原被并三戸長口書之写
明治一六年一〇月一〇日

半 合一冊 二六〇元

所有地毀損復修控訴審原告被告対審記録写 明
治一七年二月九日／一四日

半 一冊 二六〇

証拠之写 丙第壹号乃至第五号 新潟県中頭城郡上
小野村外七ヶ村用水組（惣代）同県同郡柳ヶ崎村平民
農扣訴引合人渡辺貞治 明治一七年三月一七日

美 一冊 二六二

初審所有地毀損復修之訴訟書類 中頭城郡岩手
村佐藤文吉 自明治一五年九月三〇日至同一年八
月一日

美 一冊 二六三

終審所有地毀損復修訴訟之書類 新潟県越後國中頸城郡岩手村佐藤文吉 自明治一六年一月五日至明治一七年五月九日 美 一冊 二六四

所有地毀損復修訴訟証拠書類ノ袋 岩手村佐藤文吉 明治一七年五月 (内容四点は無関係力) 袋入 四点 二六五

1 3 県道黒岩線達成請願 控共 美 三冊

4 県道開鑿請願 中頸城郡下黒川村長角張友三郎外四名 新潟県會議員宛 明治四〇年一月一四日 板一通

所有地毀損復修訴訟取調帳 鈴木幸藏 明治一五年一月二月 横美半 一冊 二六三

証拠書類之写并ニ適用説明書 新潟県中頸城郡高田川原町土族控訴被告代人鈴木幸藏 御掛リ志村殿 明治一六年一月一日 半 一冊 二六三

所有地毀損復修訴訟証拠書類 岩手村佐藤文吉 明治一七年五月 袋入 一四点 二六六

地券写 (甲二・三・四・十四・十五号証、附証) 明治一三年一月二二〇日 半 一冊 二六六

。実地及ヒ券面比較表 (甲十三号証) 中頸城郡岩手村佐藤文吉代人同郡高田川原町原告鈴木幸藏 高田治安裁判所長判事補渡辺永頼宛 明治一六年五月一日 半 一冊 二六七

*。普請用具人足書留帳 (甲二十三号証) 岩手村慶応三年 横長半 一冊 二六八

*。普請用具人足附留帳 (甲二十四号証) 岩手村惣百姓 明治三年 横長半 一冊 二六九

*。普請人足川除堰用具日記 (甲二十五号証) 新潟県中頸城郡岩手村 村重立鈴木源吉外五名 明治一四年一月ヨリ 横長半 一冊 二七〇

*。甲戌租税上納割賦帳 (甲二十七号証) 新潟県庁第七大区小八区岩手村戸長・用挂・総百姓宛 (明治七年) 美 一冊 二六二

*。亥御免相 御損地 割賦帳 (甲二十八号証) 岩手村惣百姓中 明治八年一月二月 横長美 一冊 二六三

*。拾式番組岩手村小前高附帳 (甲二十九号証) 明治四年四月 美 一冊 二六三

*。亥御免相 御損地 割賦帳 巖手村惣百姓 嘉永四年一月二月 横長美 一冊 二六四

。歩積帳 美 一冊 二六五

。歩積絵図 測量方住谷直忠・丸山之忠 美 三枚 二六六

。地引地価取調帳 (写) 第七大区小七区越後国頸城郡岩手村 明治九年六月 半 一冊 二六七

*。貢租石代取立帳并受取書 明治九年八月三日 袋入 四点 二六八

1 貢金受取書 小八区受持副大区長 明治九年八月 一通

2 貢金受取書 副大区長三上喜三 岩手村戸長区中宛 明治九年一月二月八日 一通

3 地租受取証 新潟県令永山盛輝 岩手村宛 明治一〇年三月一日 一通

4 地租徴収割賦取纏帳 新潟県第七大区小七区岩手村 明治一〇年三月 横長美 一冊

*。亥金税帳 岩手村 明治八年一月二月 袋入 二点 二六九

1 貢金受取書 小八区長三上喜三 岩手村宛 明治八年二月七日・明治九年三月一九日 三通 (二枚)

2 (地租徴収金其外割賦取纏帳) (明治八年) 横長美 一冊

(所有地毀損復修控訴審原告被告對審記錄亨)
明治一十七年二月九日(四月一八日)

實地券狀比較表(改正甲第十三号証) 控訴被告代人鈴木幸藏 新潟始審裁判所高田支庁長判事鈴木政五郎宛 明治一十七年三月六日

岩手村岩野村双方立会測量繪圖

1 毀損地測量繪圖面(甲第十八号証) 高田川原町原告代人鈴木幸藏 明治一十六年七月二八日

2 岩野岩手兩村地内實地測量繪圖面 測量方住谷直忠・丸山之忠・控訴原告代人香西鱒郎・控訴被告代人鈴木幸藏 新潟始審裁判所高田支庁長判事鈴木政五郎宛 明治一十七年一月一九日

3 岩手岩野兩村地内實地測量繪圖面下書 測量方丸山之忠・住谷直忠・控訴被告代人鈴木幸藏 明治一十七年一月

4 岩手岩野兩村耕地實地測量繪圖面(甲第十九号証) 測量方高田南會所町丸山之忠・高田川原町控訴被告代人鈴木幸藏 明治一十七年二月一四日

5 岩手岩野兩村耕地實地測量繪圖面(甲第二十号証) 測量方高田南會所町丸山之忠・高田川原町控訴被告代人鈴木幸藏 明治一十七年二月一四日

6・7 欠損地實地測量繪圖面 測量者岡庭八百造 明治一十七年二月一〇日

初審 所有地毀損復修控訴裁判言渡書 岩手村佐藤終審 文吉

1 高田治安裁判所裁判言渡書(十五年第五百七拾四号) 岩手村佐藤文吉代人高田河原町土族原告鈴木幸藏・岩野村籠島省吾代人高田中殿町土族被告永田喜重宛 明治一十六年八月一日

美 一冊 八六五

半 一冊 八六五

包紙入 七枚 八六五

27.0 X 36.0 X 一枚

27.0 X 36.0 X 一枚

27.0 X 36.0 X 一枚

27.0 X 36.0 X 一枚

27.0 X 36.0 X 一枚

27.0 X 36.0 X 一枚

包紙入 二冊 八六五

美 一冊

2 新潟始審裁判所高田支庁裁判言渡書(明治十六年控訴第四拾八号) 岩野村籠島省吾代人高田上職人町土族原告香西鱒郎・岩手村佐藤文吉代人高田川原町土族被告鈴木幸藏宛 明治一十七年五月九日

參考証拠書類(明治十七年所有地毀損復修控訴審裁判言渡書同年初田堰普請所爭論書類亨) 黒川村大字岩手佐藤与吉 第四区土木工營派遣所宛 明治一十七年一〇月二〇日

附 參考証拠書類卷冊下ヶ渡シ請取書控 佐藤与吉 新潟第四区土木工營派遣所宛 明治一十七年一二月二四日

大字岩手初田堰對岸私有地堤場毀壞ニ関スル日記 佐藤博士 明治一十七年

大字岩野堤防取払及初田堰諸件ニ付出高費買物代ノ日記 佐藤与吉 明治一十七年九月一日

佐藤与吉代理委任狀控(登記請求事件ニ付、岩手佐藤仁太郎(代理人委任) 明治一三〇年一月一日

佐藤与吉地所壳渡証亨(明治三十年一月十一日付・大字水野三牧寅吉宛) 佐藤与吉・三牧寅吉 柿崎出張所宛 明治一三〇年

○貸金返済訴訟

土地書入貸金請求一件答弁狀下書 岩手村佐藤文吉代人同村被告佐藤与吉 新潟始審裁判所高田支庁判事南熊雄宛 明治一十二年二月一五日

小出喜三八・小出由太郎互換副証亨(小出与三次跡式相統差縫ニ付、熟談書) 親類・立入人五名連署 明治一十八年一月二六日

土地書入貸金請求之控訴狀(亨) 扣訴人中頸城郡柿崎村小出由太郎 東京扣訴院長西成度宛 明治一十七年七月二日

美 一冊

半 一通 八六〇

横美半 一冊 二六〇八

横半半 一冊 二七〇三

一通 八九三

美 一冊 八九三

美 一冊 八二〇

美 一冊 八九三

美 一冊 八九三

土地書入貸金請求之控訴答弁状控 佐藤文吉代
人被控訴人佐藤与吉 東京控訴院民事第三局長心得
評定官北村泰一宛 明治二十一年八月六日 美 一冊 八九三

土地書入貸金請求一件ノ控訴ニ対スル答弁状写
被控訴人小出喜三八代人池田泰吉 東京控訴院第
三局長心得評定官北村泰一宛 明治二十一年八月 美 一冊 八九四

○小萱村田地一件

中頸城郡小萱村西卷武八郎田地書類 包紙入 二七点 八九六

1 包紙 一枚

2 小萱村西卷武八郎差入一札〔地所売渡ニ付、
地租増額年賦金納方取決〕 岩手村佐藤文吉宛
明治二〇年一月一三日 一通

3 小萱村西卷武八郎地所売渡証書 岩手村佐
藤文吉宛 明治二〇年一月一四日／戸長長井準
平証印 半 一冊

4 小萱村西卷武八郎小作受証書写 岩手村佐
藤文吉宛 明治二〇年一月一四日 一通

5 地券裏書願手数料納書控 岩手村佐藤文吉
戸長長井準宛 明治二〇年二月 一通

6 小萱村西卷武八郎差出証書〔小作滯米并濟井
小作地返却之件〕 岩手村佐藤文吉宛 明治二
一年二月一三日 一通

7 小萱村西卷武八郎差入一札写〔同前〕 岩手
村佐藤文吉宛 明治二十一年二月 一通

8 岩手村佐藤文吉并小萱村西卷武八郎交換書
〔同前〕 明治二十二年二月二四日 半 一冊

9 小萱村西卷武八郎差入証書〔同前〕 岩手村
佐藤文吉宛 明治二十二年三月一日 一通

10 小萱村西卷武八郎小作受証書 岩手村佐藤
文吉宛 明治二十二年五月三日 一通

11 地所登記済証下付願 岩手村佐藤文吉 柿崎
登記所宛 明治二十二年七月一六日 一通

12 西卷武八郎書狀〔本年小作米上納ニ付、引米願
其外之件〕 佐藤且那宛 明治二十四年十一月一
八日 一通

13 佐藤文吉委任状控〔地所売渡登記代理出頭人
委任〕 明治二十六年二月二〇日 一通

14 黒川村岩手佐藤文吉地所売渡証書控 鉢崎
村大字小萱西卷武八郎宛 明治二十六年二月二
〇日 半 二冊

15 人夫日当・飯料受領証〔畔崩修繕〕小萱西卷
武八郎 佐藤様宛 明治二十六年八月二七日 一通

16 廿六年度地租金受取書 小萱西卷武八郎 岩
手佐藤文吉宛 明治二十六年二月二〇日 一通

17 小萱大字費仮預リ証書 西卷武八郎 佐藤文
吉宛 明治二十六年二月二〇日 一通

18 地租金覚 明治二十六年 一枚

19 小萱西卷武八郎葉書〔柿崎出頭ノ為、高家へ
昇上日延願之件〕 岩手佐藤文吉宛 明治二五
年四月二五日 一通

20 小萱西卷武八郎葉書〔代理人へ田地券狀御渡
願之件〕 岩手佐藤文吉宛 明治二十六年一二月
一七日 一通

21 西卷武八郎書狀〔質入田地地券証差上其外之
件〕 佐藤様宛 西一月三一日 一通

22 地所売買ニ付登記願下書 (年欠) 一通

23 柿崎登記所代理出頭人委任状下書 (年欠) 一通

24 芋之嶋村横田健蔵約定書写〔頸城郡湯町三嶋郡長岡迄馬車道開通志願ニ付〕（年欠）

25 某書状〔御注文ノ物品ニ付御猶予願〕 高原佐藤旦那宛（年欠）

26 地所絵図面下書（年欠）

27 封筒 新潟県受付挂 中頸城郡水野村戸長役場行

○その他

（岩手村勇吉）口上書下書〔米山寺村懸持畑出入〕（年欠）

一通

一通

四枚

一枚

一通
九〇六

佐藤家〔家政〕

家政

家系

佐藤家系図

佐藤家過去帳

佐藤八兵衛草稿 執筆八平 享保一五年春

祖父八平分家ニ付孫喜太郎へ遺言書 安永五年七月下旬

父喜太郎子松兵衛へ遺言書 文化二年四月

妻不了簡ニ付聞合書 文化二年九月

佐藤一門先祖累代過去帳取調明細（明治）

佐藤家先祖書（明治）

先祖代々年忌

相続・縁組

○理助（高田土肥家）

高田町徳長次郎兵衛一札〔八兵衛次男理助を土肥八兵衛方署名跡ニ貴受一札〕 佐藤八兵衛・同友右衛門宛 享保六年二月一五日

○平六（惣左衛門）

平六（惣左衛門）家禄譲渡関係文書

横半 一冊 九〇五

横半 一冊 九〇六

美 一冊 九〇七

美 一冊 九〇八

美 一冊 九〇九

美 一冊 九一〇

二枚 九一一

半 飯一冊 九一四

横長半 飯二冊 九一三

一通 九四九

包紙入 七通 九〇六

1 佐藤平六家祿讓証文并宗左衛門繼添書 同家親類八左衛門外二名加判 佐藤喜太郎宛 寶曆一三年二月／平六與書 おくわ宛 明和二年四月／（繼添書）喜太郎宛 明和四年三月二三日

繼一通

2 佐藤宗左衛門添狀「喜太郎早逝之節、弟共之内此書付所持可致旨」（明和四年三月二三日）

一通

3 佐藤友右衛門身代三ヶ老讓証文并裏書 土肥六右衛門宛 享保七年四月／六右衛門裏書 佐藤八平宛 明和二年八月／佐藤八平裏添書 佐藤平六宛 明和三年三月／佐藤平六事宗左衛門裏添書 佐藤喜太郎宛 明和四年三月二三日

一通

4 佐藤友右衛門身代三ヶ老讓証文享 土肥六右衛門宛 享保七年四月

一通

5 7 惣左衛門身代片付金取調書 安永五年

三通

佐藤八平書狀「自分留守中旅出之儀、出奔同前之仕方ニ付、近内罷歸申訳可仕旨」 佐藤平六宛（寶曆四年）七月二三日

包紙入

一通

九〇六

（土肥）六右衛門書狀「御隠居并祖母様御心痛ニ付、一刻も早く罷歸可申旨」 佐藤平六宛 寶曆四年八月一日

包紙入

一通

九〇六

佐藤八平書狀「早速歸郷可致旨、再督促狀」 佐藤平六宛（寶曆四年）八月四日

一通

九〇三

平六身の上の書上「此度再出奔決心致候ニ付、跡式相統等之儀口上覚書」 明和二年

横長半包紙入

一綴

九〇四

惣左衛門病中、死後迄江戸表国元兩所入用金覚 明和六年九月

横長美

一冊

八七三

佐藤八平差出一札控「惣左衛門小兒共末々身代片付金覚書」 明和八年二月

包紙入

一通

九〇五

○柳助（竹直小田家）

柳助縁組覚書并諸入用留帳 寶曆六年

横長美

一冊

二五五

八平・松五郎・伝左衛門連署田地讓渡証文控 明和七年三月／柳助・伝左衛門與書連印「証文體」受取申候旨」 寅三月二〇日

一通

八四三

（柳助竹直村小田家婿入之節口上之覚書）（安永五年）

横長半

一冊

四四九

○半治

（柳助書狀）「半治儀、跡式相統ニ付、覚悟可致教訓」 七月

一通

九〇五

○松五郎（友右衛門）

松五郎相統一件文書「新屋松五郎身上内山和助立入相調其上之書物入」立会人湯本平助・木村彦次郎右承知人佐藤松兵衛所持

袋入

三包

八四三

。松五郎（初世）分家一件諸証文

包紙入

一三点

八四三

1 包紙「岩手村佐藤松五郎殿る預リ書物 天明六年七月九日 預人和左衛門」

一枚

2 包紙「松五郎配分証文」

一枚

3 城腰村平右衛門實地証文「米山寺村懸持高」 米山寺村証人百姓・与頭・庄屋一〇名加判 岩手村友右衛門宛 享保一〇年四月

一通

4 米山寺村又治右衛門居屋敷代地証文 百姓・組頭・庄屋八名加判 岩手村友右衛門宛 寶曆四年二月

一通

5 米山寺村又治右衛門居屋敷代地絵図面証文 証人喜左衛門・庄屋清三郎加判 岩手村友右衛門宛 寶曆四年二月

一通

6 岩手村惣左衛門田地配分讓証文「米山寺村懸持高老軒前」 米山寺村好身・百姓・組頭・庄屋七名加判 松五郎宛 明和五年十一月一三日／父佐藤八平與書

一通

7 兄惣左衛門田地配分讓証文〔岩手村持高式軒前〕好身高畑村三太右衛門外一名・岩手村組頭百姓代加判 松五郎宛 明和五年十一月一三日
佐藤八平奥判并裏書

8 佐藤八平田地讓証文〔岩手村持高五分前〕八左衛門外組頭二名加判 松五郎宛 明和七年二月

9 祖父八平書附一札〔松五郎宛田地讓証文相見不申候ニ付、為後証一札〕友太郎宛 天明七年二月

10 〔高畑村〕三太右衛門書狀〔松五郎殿宛讓証文に加判之義承知〕惣左衛門宛 〔明和五年〕一月二十六日

11 和左衛門添書〔書付預リ置ニ付添書〕 天明七年一〇月

12 屋敷分付覚

13 本家佐藤喜太郎并松兵衛勘定用捨金証文〔身上方難渋ニ付、取替金用捨〕同村分家佐藤松五郎宛 文化八年九月／横山村内山和助外二名立会奥書

。新屋松五郎身上一件諸証文

1 仮包紙

2 岩手村喜太郎貸高渡証文〔弥兵衛頼母子懸返し請合証文書入高として拙者懸持高貴殿へ貸渡〕 芋嶋村松五郎宛 文化五年三月
〔一二五頁〔頼母子証文〕四二五九・八一八〕と八一八三と関連

3 分家佐藤松五郎田地渡方内極証文 親類湯本平助外二名加判 本家佐藤喜太郎・松兵衛宛 文化八年九月

包紙入 八点 八四三

4 本家佐藤喜太郎并松兵衛勘定用捨金証文控〔身上方難渋ニ付、取替金用捨〕同村分家佐藤松五郎宛 文化八年九月／横山村内山和助外二名立会奥書

5 勘定用捨金証文下書 〔文化八年九月九〕

6 上小野組川田村佐配人源左衛門差出一札〔入立増米被仰付、承知一札〕 岩手村松五郎宛 文化九年二月

7 川田村源左衛門佐配役方極証文 請人・組頭・庄屋五名加判 岩手村松五郎宛 文化一〇年二月

8 岩手村松五郎田地讓証文 芋嶋村百姓代・与頭・庄屋四名加判 おすえ宛 文政七年八月
惣代平助裏書

。新屋松五郎家所持諸証文 〔含、勇吉関係〕

1 仮包紙

2 仮包紙

3 北代石村与七質地証文 北代石村証拠人百姓・与頭・庄屋二〇名加判 同村佐五右衛門 明和六年二月

4 岩手村松五郎金子借用証文 赤沢村六右衛門宛 安永六年四月

5 北代石村平左衛門高書入金子借用証文 請人組頭孫右衛門加判 岩手村松五郎宛 安永九年二月

6 北代石村惣右衛門門田畑入立反別付書立覚〔北代石村六ヶ一高〕 庄屋多郎右衛門外組頭百姓代二名加判 同村平左衛門宛 安永九年三月

包紙入 一九点 八四三

- 7 北代石村長兵衛金子借用仮手形 請人二名
連署 岩手村松五郎宛 安永九年二月
附 定右衛門取分金寛
- 8 柿崎村平藏金子借用証文 同村請人一名連署
岩手村松五郎宛 天明四年十一月
- 9 赤沢村平治郎金子請取証文〔貸金利足分〕
岩手村親類安左衛門加判 岩手村友太郎宛 天明七年五月
- 10 岩手村文左衛門金子借用証文 請人一名加判
岩野村孫作宛 寛政一一年四月
- 11 岩手村文左衛門金子請取証文〔取替金之内八両返済金〕 川田村惣左衛門宛 享和二年二月二十八日
- 12 黒岩村星野半左衛門米代請取勘定書〔上小野村勘右衛門天明五年米代勘定殘金〕 岩手村文左衛門宛 文化元年一月二二日
- 13 星野半左衛門金子借用証文 佐藤松五郎宛 文化一〇年十一月二五日
- 14 上小野村三上甚助金子借用証文 岩手村佐藤松五郎宛 文化一二年二月二二五日
- 15 芋嶋村金右衛門田地支配証文 親類・請人二名加判 岩手村松五郎宛 文政八年二月
- 16 黒岩村星野半左衛門質地証文 岩手村加判人・百姓代・与頭・庄屋四名加判 岩手村勇吉宛 天保一二年二月
- 17 岩手村啓助田地讓渡証文 岩手村・組頭・百姓代二名加判 同村勇吉宛 弘化五年二月／大肝煎湯本多十郎裏書
- 18 岩手村文左衛門金子請取証文控〔取替金返済金〕 上下浜村新田惣助宛 二月六日

二通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通 一通

- 19 金錢勘定覚下書
三上喜惣右衛門口上覚〔佐藤松五郎殿と娘かんの婚礼ニ付、貴殿御演舌書之趣承知〕 湯本太郎左衛門宛〔安永二年カ〕一〇月 横長美

〇くめ・のえ〔高田浦野家〕

- 浦野織之進・同織弥諸証文 包紙入 九通 八二七

- 1 浦野織之進金子請取証文〔おくめ養育料〕 佐藤八平宛 安永六年二月
- 2 浦野織之進金子借用証文 佐藤喜太郎宛 安永九年二月
- 3 浦野織之進金子借用証文 佐藤喜太郎宛 明元年二月
- 4 浦野織之進金子借用証文 佐藤喜太郎宛 明二年二月
- 5 浦野織弥母くめ金子借用証文 岩手村佐藤喜太郎宛 寛政一〇年二月
- 6 浦野織弥金子請取証文〔おのえ私方江縁付婚禮入用〕 佐藤松兵衛宛 文化九年一〇月
- 7 倉石甚左衛門品々代金請取書〔浦野へ御遣ひ物〕 佐藤松兵衛宛 申一〇月二九日
- 8 浦野織之進書状〔景山へ合力金等ニ付、念書一札〕 佐藤喜太郎宛 寛政三年
- 9 某差出一札下書〔貴殿当家跡式ニ相極候ニ付、諸事取決一札〕
- 下田端町浦野織弥用状〔岩手村松兵衛妹のへ、浦野織弥方へ縁付候ニ付、岩手村庄屋人別送り一札案文〕 高原宛 文化一〇年四月

〇勇吉・文吉

一通 一冊 五三三 一通 四三二

啓跡相統関係文書 慶応元年

包紙入 六通 九〇五

1 勇吉差出一札控〔拙者并忝泰助共、本家相統の意志無き旨一札〕 佐藤啓助外四名宛 慶応元年九月二十七日

2 文吉差出一札〔拙者身上評議ニ付、養子ニ罷越決心申上一札〕 佐藤啓助外四名宛 慶応元年九月二十七日

3 啓助書遣一札〔拙者病死之後、文吉相統不相成旨〕 きた外二名并親類中宛 慶応元年一〇月

4 文吉詫状〔兄啓助夫婦之衆江対し不敬之始未申訳無之旨〕 啓助殿親類中宛 慶応元年一二月

5 岩手村啓助外五名相統方取極一札下書〔分家勇吉妻子引揚相統為致、弟文吉儀勇吉跡相統いたす事、其外〕 弟鉢崎宿良介・親類上小野村三上喜三右衛門外二名宛

6 三上喜三書状〔委細承知之旨〕 岩手佐藤文吉宛 六月二日

柏崎町下町西巻源右衛門氏妹おもち貫請一件書類〔文吉妻〕 明治二〇年四月五日

袋入 一六点 九〇七

1 (日記并祝儀物控) 四月四日より

横長半 飯一冊

2 御婚儀料理献立控 柿崎鱗屋忠平 岩手村佐藤旦那宛 明治二〇年四月五日

横長半

一冊

3 魚類干物并ニ諸品目録 柿崎鱗屋忠平 岩手村佐藤旦那宛 明治二〇年四月四日・九日

横長半

一冊

4 諸品代金勘定書〔真綿・布・紙・脚夫ちん・菓子代等〕

横長半

一冊

5 長井栄吉外諸品代金受取書綴〔竈代外〕宇ろこ屋外宛 三月二十八日・四月一三日

一綴 (六通)

6 内山慎二書状〔先方への進物既定ニ付、報知〕 佐藤文吉宛 三月二日

一通

7 内山慎二書状〔結納之為御出柏之節、凡七八拾円御所持相成度旨〕 佐藤与吉宛 三月二日

一通

8 進上物控

一通

9 御肴料・御樽料控

一通

10 親類書控

一通

11 野俣作左衛門諸品代金勘定書〔白七々子紬外〕 佐藤宛 三月四日

一通

12 諸品代金勘定書〔帶地料酒肴料外〕

一通

13・14 祝儀物控

二通

15 手伝人控

一通

16 柿崎鱗屋忠平諸品代金受取勘定書 岩手村佐藤旦那宛 (明治二〇年一〇月)

一通

○耕策

刈羽郡柏崎町西巻順九郎様娘おなり養女ニ貫請候送籍外書状書類 (明治二三年)

袋入 四点 九〇五

1 西巻源右衛門書状 佐藤文吉宛 明治二三年四月二十五日

封筒入

二通

附 西巻ナル送籍届写 柏崎町長宮川柁樹宛

封筒入

二通

2 湯本宗一書状 佐藤宛 四月二十八日 附 佐藤文吉戸籍謄本

封筒入

二通

3 黒川村役場通知書〔入籍届可差出旨〕 佐藤文吉宛 四月二三日 附 入籍届下書

封筒入

二通

4 西巻家葉書 佐藤文吉宛 明治二三年四月一 九日

一通

明治廿五年佐藤與吉長男耕策廢嫡願書并ニ本家養嗣子トナルマデノ一切之寫書類 中頸城郡黒川村大字岩手佐藤氏 明治二十五年一月二日 美入

婚儀諸事書留帳 明治三十六年七月 横長半

諸事日誌〔耕策婚儀〕(明治三十六年七月) 横長半

婚姻届下書〔夫佐藤耕策・妻佐藤ナル〕 半

葬儀・法事

喜太郎親惣左衛門様三拾三年九月四日献立客附 享和元年九月 横長美

御吊御香典帳〔隨信院妙義日相信女・俗名べん〕 高原佐藤氏 文政七年二月一六日 横長半

〔諸方告人足并調物覚帳〕〔同前〕(文政七年二月) 横長半

御吊御香典御見舞留帳〔深知院妙相信女・俗名すへ〕 佐藤松五郎 文政八年四月二六日 横長半

〔諸方告人足并調物覚帳〕〔同前〕(文政八年四月) 横長半

御香奠御見舞留帳〔俗名さき〕 文政九年一二月朔日 横長半

諸方告人足并調物覚 天保五年七月二日 横長半

大空壽仙禅士喪入用并百箇日迄諸向書留帳〔大肝煎湯本平助倅原吉〕 湯本重太郎代 天保七年一月一六日 横長美

御吊香典帳〔本境院智達・俗名半藏〕 巖手村佐藤氏 嘉永二年九月二一日 横長美

〔御吊香典帳〕〔一円院正等日受清信士・俗名友右衛門〕 安政元年一〇月二〇日 横長美

御香典帳〔山晴院妙涼日秋信女・俗名もゆ〕 明治四年三月二五日 横長半

諸方へ告人足并調物〔同前〕 明治四年三月二五日 横長半

御香奠御見舞留帳〔本覺院妙智日境信女・俗名さた〕 明治一〇年八月三日 横長半

諸方告人足記〔同前〕 明治一〇年八月三日 横長半

御香奠御見舞留帳〔浩妙院天真日聰居士・俗名啓助〕 明治一四年九月二一日 横長半

諸方告人足記〔同前〕 明治一四年九月二一日 横長半

御香奠御見舞留帳〔繫珠院妙覺日光信女・俗名はつ〕 明治一九年一二月四日 横長半

諸方告人足帳〔同前〕 明治一九年一二月四日 横長半

買物借物記〔同前〕 明治一九年一二月四日 横長半

〔御香典御見舞・諸方告人足・買物借物留帳〕〔同前〕(明治一九年一二月) 横長美

法事帳簿 明治二〇年九月一九日 横長半

法事日記帳 明治二一年九月 横長半

浩妙院 法事 明治二二年九月二一日 横長半

山晴院妙涼日秋信女二十三回忌 法事附留簿 本覺院妙智日境靈士十七回忌 浩妙院天真日聰居士十三回忌 繫珠院妙覺日光信女七回忌 明治二六年九月二一日 横長半

御香典御見舞帳〔円応院春嶽日了信士・俗名文吉〕 明治二九年二月五日 横長半

諸方告人足記〔同前〕 明治二九年二月五日 横長半

買物并借物覚〔同前〕 明治二九年二月五日 横長半

諸事書留帳〔同前〕 明治二九年二月五日

橫長半 一冊 八三〇

四拾九日法事〔同前〕 明治二九年三月二日、二三日

橫長半 一冊 八三三

山晴院妙涼日秋二十七回忌

法事附留帳

一冊 八〇四

浩妙院天真日聰十七回忌

明治三二年四月四日、五日

橫長半

（妙国寺法事費用附留帳） 明治三三年八月一日、二日、三日、四日、五日

橫長半 一冊 八三六

道覺院妙賀日誓二百遠忌

法事附留帳

一冊 八〇五

一門院正等日受五十回忌取越

明治三五年七月二日

橫長半

山晴院妙涼日秋三十三回忌取越

明治三五年七月二日

橫長半

本覺院妙智日境二十回忌取越

法事附留帳

一冊 八〇六

浩妙院天真日聰二十回忌取越

明治四〇年一〇月二四日、二五日

橫長半

釋了誓二百遠忌取越

明治四〇年一〇月二四日、二五日

橫長半

本覺院妙智日境三十回忌

明治四二年七月二〇日

橫長半

釋尼妙誓二百遠忌取越

明治四二年七月二〇日

橫長半

繫珠院妙覺日光二十七回忌

法事附留帳

一冊 八三六

以信院教觀百遠忌

明治四五年七月二四日、二五日

橫長半

深理院門妙日悅百五十遠忌取越

明治四五年七月二四日、二五日

橫長半

浩妙院天真日聰三十三回忌取越

明治四五年七月二四日、二五日

橫長半

妙量孩女百五十遠忌取越

明治四五年七月二四日、二五日

橫長半

香典見舞帳〔門融院妙諦日觀信女・俗名トク〕 当主

佐藤耕策 大正六年七月二八日

橫長半

不幸中諸事附留帳〔同前〕 当主佐藤耕策 大正六年七月二八日

橫長半 一冊 八三〇

不幸中諸目六〔同前〕 佐藤 大正六年七月

袋入 四點 八三九

1 買物帳 佐藤 大正六年七月

袋入 一冊 八三九

2 諸品買物代勘定書并役割表下書等綴

一綴 一綴 八四〇

3 村方人夫附留帳

一綴 一綴 八四〇

4 図面

一枚 一枚 八四〇

葬儀役割表〔門融院妙諦日觀信女・俗名トク〕 大正六年七月三十一日

一枚 一枚 八四〇

門融院妙諦日觀信女七七忌日法事附留帳 佐藤 大正六年九月一四日、一五日

橫長半 一冊 八三一

聰達院明道日遺信士百五十遠忌

法事附留帳

一冊 八三二

繫珠院妙覺日光信女三十三回忌

法事附留帳

一冊 八三三

門融院春嶽日了信士二十三年忌

法事附留帳

一冊 八三三

門融院妙諦日觀信女一周年忌

法事附留帳

一冊 八三三

門融院春嶽日了信士二十七回忌

法事附留帳

一冊 八三三

隨信院妙義日相信女百回忌取越

法事附留帳

一冊 八三三

門融院妙諦日觀信女七回忌取越

法事附留帳

一冊 八三三

佐藤耕策 大正一一年五月四日、五日

法事附留帳

一冊 八三三

門應院春嶽日了信士三十三回忌

法事附留帳

一冊 八三三

浩妙院天真日聰信士五十回忌取越

法事附留帳

一冊 八三三

門融院妙諦日觀信女十三回忌取越

法事附留帳

一冊 八三三

(法事附留帳) (明治力)	橫長半	一冊	八三五	魚沼郡栃尾股湯治日記 岩手村佐藤文吉 明治一三年九月三日	橫長半	一冊	八七六
(法事附留帳) (年欠)	橫長美	一冊	八三六	(母上京見物出立ニ付餞別并留守見舞受納帳) 明治四〇年五月一日	橫長半	一冊	八三八
(法事附留帳) (明治力)	橫長半	一冊	八三八	(奉賀金帳) (年欠)	橫長美	一冊	二五三
雨具下足番号姓名記 (年欠)	橫長半	一冊	八三〇	木曾大和迄道中記 岩手村佐藤正三郎 (年欠)	橫長半	一冊	二六四
病氣・出産				御通 栃保湯守 中頸城郡岩手村佐藤文吉宛 (明治)	橫長半	一冊	八五八
病中見舞付留帳 明治二四年二月六日	橫長半	一冊	八三三	交 際 三上・湯本・佐藤・籠嶋四家連印起請文〔四家交際方并相互扶助等ニ付、取極一札〕三上義左衛門・湯本原吉・佐藤友右衛門・籠嶋利吉・(以下後參)湯本多十郎・佐藤啓助・籠嶋長左衛門・三上喜三右衛門 天保三年七月 附 添書一札〔亭主早世之節、扶助取極其外〕 三上・湯本・佐藤・籠嶋四家連印起請文下書〔同前〕(天保三年七月) 渡部源八妻くめ一札控〔吳服町勘助病死仕候ニ付、勘助姪老人儀、勘助家屋敷共養子讓渡証文〕佐藤友右衛門加判 享保一一年七月 ○岩手村鍛冶助右衛門家一件 柿崎孫兵衛妻おすへ若不縁之節一件書物 1 柿崎町孫兵衛持參金証文〔岩手村助右衛門妹おすへ女房ニ取迎ニ付、持參金相定証文〕兄孫次郎・仲人一名加判 岩手村助右衛門宛 元文三年二月 2 岩手村助右衛門相定一札下書〔此度貴殿孫兵衛方へ縁付ニ付、持參金相定証文〕親請人安左衛門連署 おすへ宛 (元文三年)ノ与頭・庄屋奥書	橫長半	一冊	八七三
病中諸事付留帳〔佐藤文吉〕 明治二八年十一月二日ヨリ	橫長半	一冊	八七二		橫長半	一冊	八七三
病中出高中日誌 明治三三年一月拾日	橫長半	一冊	八七三		橫長半	一冊	八七三
病中見舞記〔佐藤ナル〕 明治三五年	橫長半	一冊	八三四		橫長半	一冊	八三五
病中見舞之分 (年欠)	橫長半	一冊	八三五		橫長半	一冊	八三七
出產見舞附留帳〔耕策長男信〕 明治三七年四月二〇日	橫長半	一冊	八三三		橫長半	一冊	八三七
(出產入用附留帳)〔同前〕 明治三七年四月二〇日	橫長半	一冊	八三七		橫長半	一冊	八三七
產養見舞附留帳〔耕策長女かづ子〕 明治三九年九月一四日	橫長半	一冊	八三三		橫長半	一冊	八三七
旅行・湯治					橫長半	一冊	八三七
奉參宮御贐(孝金帳) 岩手村佐藤(八兵衛) 正德三年五月	橫長美	一冊	二五二		橫長半	一冊	八三七
平市・平六道中諸入用勘定帳 寛延三年七月二四日	橫長半	一冊	八二五		橫長半	一冊	八三七
記簿〔新潟旅行中諸入費帳〕 湯本泰胤(宗十郎)・嶋義讓(寛平) 文癸亥(文久三年力)五月	橫長半	一冊	八三九		橫長半	一冊	八三七
湯治日誌 明治一一年八月一七日	橫長半	一冊	八三七		橫長半	一冊	八三七

3 岩手村庄屋友右衛門・与頭仁兵衛差出一札
下書「おすへ柿崎町孫兵衛妻ニ縁付ニ付、若不
縁之節、助右衛門引請可申旨請合一札」 米山寺
村清左衛門宛 (元文五年)

4 岩手村助右衛門差出一札「先勘右衛門妹おす
へ、若不縁之節、私引請可申旨請合証文」 助右
衛門親安左衛門加判 同村友右衛門・仁兵衛宛
元文五年七月

5 岩手村助右衛門差出一札控「同前」 助右衛
門親安左衛門加判 同村友右衛門・仁兵衛宛
(元文五年七月)

岩手村助右衛門屋敷歩借用証文「拙者家作仕候ニ
付、其元茂郎右衛門屋敷迄借家作り申候」 請人一名
加判 米山寺村佐惣右衛門宛 寛延四年四月

岩手村松右衛門(助右衛門)慎書并喜太郎添書
下書共「勘次郎と不和ニ相成棟分申出一件、心得違ニ
付口論慎書」 同村喜太郎宛 天明四年一月／(添
書)庄屋松五郎・与頭・村中惣百姓衆中宛

岩手村勘次郎慎書并喜太郎添書「同前一件」 同村
喜太郎宛 天明四年一月／(添書)庄屋松五郎・与
頭二名宛

岩手村鍛冶松右衛門・勘次郎御大恩ニ付御礼一
札「仕入金・夫食拝借大恩ニ付、子孫末々ニ至まで細
工代物御用捨指上申旨」 親類安左衛門加判 同村喜
太郎宛 天明四年十一月

大和讓地証文并絵図「常楽寺屋敷」 黒岩組岩手村
庄屋喜太郎外与頭・百姓代三名加判 助右衛門宛
享和元年五月／(絵図)大和・助右衛門・加判人四名
連印

黒岩組岩手村助右衛門・千歳新家造立願書控
「助右衛門儀、甥千歳ニ分家願」 庄屋喜太郎外与頭
百姓代三名加判 享和元年五月

包紙入

一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九

黒岩組岩手村鍛冶助右衛門差上一札(控九)「新家
造立仕候ニ付、以後御作法村定之趣急度可相守旨」
庄屋喜太郎外与頭二名加判 大肝煎所宛 享和元年
五月

岩手村助右衛門居屋敷書入金子借用証文 親類
・与頭二名加判 同村喜太郎宛 享和元年二月

奉 公 人

某奉公人請狀写「下稲田村市兵衛娘はる」 浦野次
郎三郎宛 享保一六年三月

万吉手印託書并係八請合一札「万吉儀、御奉公不
埒ニ付、今後御暇被指出候ハバ、小右衛門人代ニ指
出可申旨」 取扱人嘉七・五人組長兵衛加判 松五郎
宛 明和八年六月九日

芋嶋村文藏・久次郎手印口書并与次右衛門外三
名請合一札「文藏并同人弟久次郎兩人儀、奉公中密
通致御暇被下候処、再奉公願ニ付口書一札」 (岩手
村)喜太郎宛 寛政六年二月六日

岩手村藤左衛門手印託書并中山村弥七外四名請
合一札「藤左衛門儀、尊家御奉公不調法ニ付、親類好
身立入、引受請合一札」 岩手村庄屋喜太郎宛 文化
四年正月晦日

岩手村仁兵衛託一札「身持不埒ニ付」 由右衛門外
三名連署 高原宛 文政八年三月

寄 進

米山別当密藏院護摩堂建立御施入金受取証文
岩手村佐藤喜太郎宛 寛政二二年九月一三日 同一
二月

密藏院代人木村左一郎作花代金寄附受納書
「米山薬師開帳ニ付」 佐藤宛 明治八年六月九日

神 道

一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九
一通 八〇九

人物保証書控〔佐藤文吉終身教義ニ從事ニ付〕佐藤文吉親族岩手村平民佐藤泰助・佐藤文吉授業師米山寺村平民中村春作 本県神道事務分局宛 明治九年一月四日

二通 二七〇

人物保証書雛形并下書〔同右ニ付〕親籍佐藤泰助・皇漢學遊宮嶋忠 第三部御引受大教正稻葉正邦宛 (明治九年カ)

二通 二七一

火 事

焼失見舞留帳 高原 文政五年三月六日

横長半 一冊 八三六

*村方十五軒高畑村沓軒焼失一件帳 岩手村庄屋所 慶応四年七月八日

横長半 一冊 八三七

火事御見舞并受納簿 明治二五年四月一七日

横長半 一冊 八三六

字内失火ニ付諸方御見舞附留帳 佐藤耕策 大正一四年八月四日

横長半 一冊 八三元

〔近火見舞人名控〕〔当字中島吉十郎方失方焼失ニ付〕大正一一年六月一〇日

横長半 一冊 八三五

家 作 普 請

家作普請日記 岩手村佐藤八兵衛 正徳二年正月

横長美 一冊 二五三

土蔵一卷諸入用書留帳 岩手村佐藤昌栄 享保一六年七月ヨリ

横長半 一冊 八三七

〔長屋門普請人足付立帳〕〔文久三年二月〕

横長美 一冊 五三三

岩手村勇吉差出一札并絵図面控〔米山寺村所持地内土蔵造立ニ付、替地之件〕組頭友七・庄屋啓助加判 米山寺村役人中宛 元治元年五月

二通 九〇七

岩手村勇吉差出一札控〔土蔵作事小屋建置残り材木、取払ニ付約定一札〕組頭友七・庄屋啓助加判 米山寺村役人中宛 元治元年五月

一通 九〇五

普請ニ付諸事書留帳 佐藤耕策 大正七年五月

横長半 一冊 八三三

普請ニ付諸事書留帳 佐藤耕策 大正一四年一〇月

横長半 一冊 八三三

裏二階建普請ニ付諸事控 佐藤耕策 大正一五年五月

横長半 一冊 八三三

〔諸事入用金并職人作料払帳〕〔年欠〕

横長半 一冊 八三四

〇

屋敷絵図面

10 x 5 1/2 一舗 八六四

屋敷位相図 文政九年五月

11 x 2 1/2 一舗 九〇三

日 記

日誌 明治四年

横長半 一冊 五〇七

日誌 明治六年

横長半 一冊 八三八

日誌 明治八年 岩手村佐藤文吉

横長半 一冊 八三九

日記簿 佐藤氏 明治三一年一月ヨリ

横長半 一冊 二五八

日記簿 佐藤氏 明治三二年一月

横長半 一綴 二五九

暑中休暇中雜記 佐藤性〔耕策カ〕 明治三一年七月ヨリ八月

半 三冊 五〇四

書 状

*川浦竹垣庄蔵手代佐藤半次書状包紙 岩手村佐藤八平宛 (紙背) 明和七年竹垣庄蔵年貢割付状下書〔前欠〕

二枚 四六三

柿崎鈴木屋龍太郎書状〔仕入金差送り之件ニ付、其外〕岩手村高原佐藤宛 一〇月二二日ほか

六通 四七五

与右衛門書状〔天氣惡敷苗代水等無之三付、下籠普請致度旨〕 高原宛 四月一七日

一通 四八六

片町善太郎書狀〔米方世話料受納御札并油払出之件〕 高原佐藤宛 六月二一日	一通	四九三
片町善太郎書狀〔青粉拝納御札并今町表大下直之旨其外〕 岩手佐藤氏宛 戊七月四日	一通	四四〇
門前七郎治書狀〔明日幸嶋村へ川欠普請一件咄合三御遣し可被遊旨口上〕 高原宛 四月二三日	一通	四四一
片町善太郎書狀〔鯉節干いかその他御入帳被下度旨〕 高原佐藤宛 閏八月一日	一通	四四三
平野勘兵衛書狀〔為御年玉御目録熨斗餅等被下置御札狀〕 高原旦那宛 正月朔日	一通	四六八
〔某書狀断簡カ〕〔才領衆が江戸表之当節様子承候旨其外〕	二枚	四六六
坂井屋書狀〔去已入足式分増之分差引之件并塩四俵違之分取計之件等ニ付〕 佐藤宛 一二月二八日	一通	四七五
内山和助書狀〔年始祝詞〕 佐藤米松宛 正月吉日	一通	四九七
内山和助書狀〔姉様御出產御祝并金子拝借願其外〕 大兄君宛 九月一八日	一通	四九三
佐藤六四郎書狀〔江戸より帰国相決候所、伯父穀山老御指止ニ付、不得止事指止リ申候旨其外〕 佐藤喜太郎宛 五月二五日	一通	四九三
岩手高原書狀〔大鮎式枚受納御札其外〕 上直海村専左衛門宛 一〇月七日	一通	四九七
某書狀〔米代金拾兩御才覚願其外〕 佐藤八平・同平六宛 子八月一三日	一通	四九五
江戸糺町紀州裏門前小田定右衛門〔穀山〕書狀〔糺町ニ長屋ヲ借り候旨、并金子入用ニ付立替金返済願〕 岩手村佐藤松五郎宛 九月一二日	一通	四九六
〔小田〕〔定右衛門〕〔穀山〕書狀〔江戸ノ住居難儀ニ付、村方江御託言申上届村致度旨、取計願其外〕 松様〔佐藤松五郎〕宛 一〇月二〇日	一通	四九七

佐藤六四郎書狀〔年始祝詞〕 佐藤喜太郎宛 正月元日	一通	四九七
佐藤米松外二名連署書狀〔わた入進上之事并客人用米之事其外ニ付報知〕 佐藤尊大人宛 八月二二日	一通	四六一
楡井美右衛門書狀〔高田へ納金日限并先日指上候拾両金之義共委細承知之旨其外〕 佐藤八平宛 七月五日	一通	四六三

家計・事業

〔大福万留帳〕〔文化十三年年中諸品附留帳・文化十五年ノ文政四年大福万留帳その他〕〔寛政ノ文政〕	横美半	一冊	二九三
万日記 岩手邑佐藤氏 明治七年七月	横美半	一冊	八七八
金錢出引記帳 佐藤泰助 明治一一年一二月ヨリ	横長半	一冊	二五九
日記証簿 佐藤文吉 明治一二年ノ一三年	15.8 × 7.5 横長半	一冊	八二〇
日記 岩手村〔佐藤〕 明治一四年五月ノ明治一五年九月	15.0 × 7.5 横長半	一冊	八三三
留主中支払簿 明治一三年九月三日ヨリ	横長半	一冊	八三三
留主中金錢出入簿 明治一四年八月二七日ヨリ	横長半	一冊	八三〇
金穀出入提要 明治二〇年四月起	横美半	一冊	二六四
万小使帳 佐藤〔なる〕 明治二六年	横半半	一冊	八六六
小使控 佐藤なる 明治二七年九月	横半半	一冊	八六七
中頸城尋常中学校ニ在学中之金錢出入控簿 中頸城郡黒川村大字岩手第式番地佐藤耕策 明治二八年一二月	横長半	一冊	二五九

諸経費及諸事払簿	佐藤耕策	明治二八年九月九日起	横美半	一冊	八五九
諸経費及諸事払簿	佐藤耕策	明治二九年一月起	横美半	一冊	八五九
金銭出入之事	明治二九年一月ヨリ七月迄		横長半	一冊	三五三
(諸出銀留帳) (卯年)			横半半	一冊	二九七

通帳

○岩手

御買物之通	〔筆・染物・水引其外〕	岩手村三左衛門 高原宛	文政一〇年正月	横半半	一冊	五〇四
豆腐通	大字岩手太田吉造	大字岩手佐藤文吉宛	明治二六年二月九日	横半半	一冊	八二一
豆腐之通	大字岩手太田吉造	同村佐藤宛	明治三一年二月	横半半	一冊	八二三
豆腐之通	大字岩手太田吉造	字岩手佐藤宛	明治三二年一月	横半半	一冊	八八三
豆腐之通	大字岩手太田玉吉	佐藤宛	明治三四年一月	横半半	一冊	八八四
豆腐之通	大字岩手太田玉吉	大字岩手佐藤宛	明治三八年一月	横半半	一冊	八八五
豆腐之通	大字岩手太田玉吉	佐藤宛	明治三九年一月一日	横半半	一冊	八八六
豆腐之通	大字岩手太田玉吉	佐藤宛	明治四〇年一月	横半半	一冊	八八七
御通	大字岩手太田玉吉	佐藤宛	明治四一年一月	横半半	一冊	八八八
豆腐之通	大字岩手太田玉吉	佐藤宛	明治四二年一月	横半半	一冊	八八九

御通	大字岩手太田玉吉	佐藤宛	明治四三年一月	横半半	一冊	八三〇
御通	大字岩手太田玉吉	字岩手佐藤宛	明治四四年一月	横半半	一冊	八三二
御通	大字岩手太田玉吉	大字岩手佐藤宛	明治四五年一月	横半半	一冊	八三三
御通	大字岩手太田玉吉	大字岩手佐藤宛	大正二年一月	横半半	一冊	八三三
御通	大字岩手太田玉吉	大字岩手佐藤宛	大正三年一月	横半半	一冊	八三四
御通帳	〔食料品・雜貨類〕	岩手佐藤寅吉 岩手高原宛	明治四五年	横半半	一冊	八七三
御通	岩手佐藤寅吉	高原宛	大正二年正月	横半半	一冊	八七三
御通	岩手佐藤寅吉	本佐藤宛	大正三年二月	横半半	一冊	八七四
御通	岩手佐藤寅吉	新屋宛	大正三年二月	横半半	一冊	八七五
御通	〔酒・ろうそく・油あげ其外〕	岩手佐藤商店 佐藤宛	大正三年八月	横美半	一冊	八六七

○辛嶋

酒之通	芋嶋村酒屋喜太郎	岩手村高原宛	明治一五年一月一〇日	横半半	一冊	三〇
菓子記帳	芋ノ嶋市原常吉	大字岩手高原宛	明治二六年二月	横半半	一冊	八七六
菓子記帳	芋ノ嶋市原常吉	岩手高原宛	明治二七年二月	横半半	一冊	八七七
御通	〔蠟燭〕	芋ノ嶋吉原弥作	高原宛	明治三〇年一月四日	横半半	一通
附	吉原弥作種油代飯受取書	上様宛	九月二三日	横半半	一通	八五三

酒類之通 辛嶋酒造吉原久作 大字岩手佐藤宛 明治三三年二月	横半半	一冊	八七七
酒之通 (辛嶋)吉原酒店 高原佐藤宛 明治三八年九月	横半半	一冊	八七六
○柿崎			
酒之通 森田屋 岩手佐藤宛 明治二七年	横美半	一冊	八六三
酒之通 森田屋 岩手佐藤宛 明治三一年	横美半	一冊	八六四
御通 小松酒舖 高原宛 明治四〇年	横美半	一冊	八六五
御通 小松酒舖 高原宛 明治四一年	横美半	一冊	八六六
御通 小松酒舖 高原宛 明治四二年	横美半	一冊	八六七
御通 小松酒舖 高原宛 明治四三年	横美半	一冊	八六八
御通 小松酒舖 高原宛 明治四四年	横美半	一冊	八六九
御通 小松酒舖 高原宛 大正二年	横美半	一冊	八七〇
御通 小松酒舖 高原宛 大正三年	横美半	一冊	八七一
御買物之通〔食品・雜貨〕 四ツ目屋伊十郎 岩手村高原宛 明治九年一月	横美半	一冊	八七二
万御通 四ツ目屋伊十郎 岩手村高原且那宛 明治一一年一月	横美半	一冊	八七三
御魚通 柿崎大門屋 岩出村佐藤文吉宛 明治二六年	横半半	一冊	八七六
御通 大門屋 字岩出佐藤文吉宛 明治二七年	横半半	一冊	八七七
御通 柿崎大門屋 岩手佐藤宛 明治三〇年一月	横半半	一冊	八七八
御通 柿崎大門屋 岩手佐藤宛 明治三一年二月	横半半	一冊	八七九
御通 大門屋 岩手高原宛 明治三二年二月	横半半	一冊	八八〇

肴御通 大門屋 岩手高原宛 明治三四年二月	横半半	一冊	八八一
御通 柿崎大門屋 岩手高原宛 明治三八年	横半半	一冊	八八二
御通帳 柿崎大門屋 高原宛 明治三九年	横半半	一冊	八八三
御通帳 (柿崎大門屋) 高原宛 明治四〇年 附 大門屋品代書 高原宛	横半半	一通	八八四
御通帳 柿崎大門屋 高原宛 明治四一年一月	横半半	一冊	八八五
御通 柿崎大門屋 岩手高原宛 明治四二年	横半半	一冊	八八六
御通 大門屋 高原宛 明治四三年二月	横半半	一冊	八八七
御通帳 柿崎大門屋 岩手高原宛 明治四四年一月	横美半	一冊	八八八
御通 柿崎大門屋 高原宛 大正二年一月	横美半	一冊	八八九
御通 柿崎大門屋 高原宛 大正三年一月 附 魚買置願 大門屋 岩手高原宛 一二月二八日	横美半	一通	八九〇
御通 (砂糖・ビスケット・大福餅其外) 柿崎町小浜屋 高原宛 明治四五年	横美半	一冊	八九四
御通 柿崎村小浜屋 岩手村高原宛 大正二年	横美半	一冊	八九五
御通 柿崎村小浜屋佐藤清太郎 岩手高原宛 大正三年	横美半	一冊	八九六
御通 (呉服・太物・和洋編物・内外雜貨・学校用品) 柿崎町百足屋又右衛門 岩出高原且那宛 明治四五年	横美半	一冊	八九五
菓子之通 柿崎仲町長井又兵衛 岩手村佐藤御且那宛 明治三一年一月	横美半	一冊	八七八
御菓子之通 柿崎村長井又兵衛 岩手佐藤御且那宛 明治三二年	横美半	一冊	八七九
御菓子之通 柿崎長井又兵衛 岩手佐藤御且那宛 明治三四年二月	横美半	一冊	八八〇

御菓子之通 柿崎砂山町本風月堂久三郎 岩手佐藤宛 明治三年一〇月	横半半	一冊	八八二
御菓子之通 柿崎上町風月堂 高原宛 明治三二年	横半半	一冊	八八二
御菓子之通 柿崎砂山本風月堂久三郎 大字岩手佐藤宛 明治三四年	横半半	一冊	八八三
御菓子之通 柿崎上町佐藤き井 岩手村旦那宛 明治三一年一月	横半半	一冊	八八四
御菓子之通 柿崎相沢寅造 岩手村高原宛 明治一七年二月	横半半	一冊	八八五
○柏崎			
佐藤様御目録〔布糸諸品代金差引勘定通帳〕 野俣庄左衛門 佐藤宛 文政一〇年一二月	横長半	一冊	三三三
御買物之通〔針・糸・油其外〕 の又屋庄左衛門 佐藤宛 天保二年正月	横半半	一冊	五〇三
御通帳〔黄八丈・麻布其外〕 (柏崎)野俣屋庄右衛門 佐藤宛 明治三年	横半半	一冊	八八二
当座帳写〔砂糖・野菜・干物其外食料品〕 (柏崎)矢口 佐藤旦那宛 明治二六年	横半半	一冊	八八五
当座帳写 (柏崎矢口) 佐藤旦那宛 明治二七年	横半半	一冊	八八六
当座帳写 矢口 佐藤旦那宛 明治三一年	横半半	一冊	八八七
御通 柏崎町矢口久右衛門 佐藤旦那宛 明治三三年一月	横半半	一冊	八八八
御通 柏崎町矢口久右衛門 佐藤旦那宛 明治三七年	横美半	一冊	八八九
御通 柏崎町矢口久右衛門 佐藤旦那宛 明治三八年	横美半	一冊	八八〇
御通 柏崎町矢口久右衛門 佐藤旦那宛 明治三九年一月	横半半	一冊	八八三

御通 柏崎町矢口久右衛門 佐藤旦那宛 明治四〇年	横半半	一冊	八八三
志賀恵 矢口 明治四一年一二月	横半半	一冊	八八三
御通 柏崎町矢口久右衛門 高原旦那宛 明治四二年	横半半	一冊	八八四
御通 柏崎町矢口久右衛門 高原旦那宛 明治四三年	横美半	一冊	八八五
御通 柏崎矢口久右衛門 佐藤旦那宛 明治四四年	横美半	一冊	八八六
御通 柏崎矢口久右衛門 高原佐藤旦那宛 明治四五年	横美半	一冊	八八七
御通帳 市川呉服店 高原佐藤耕作(策)宛 明治四四年	横美半	一冊	八八〇
御通帳 市川呉服店 佐藤耕作(策)宛 明治四五年	横美半	一冊	八八一
御通帳〔太物〕 大掛喜作 佐藤宛 明治二六年	横半半	一冊	八八二
御通帳 大掛喜作 佐藤宛 明治二七年一月	横半半	一冊	八八三
御通帳 大掛喜作 高原宛 明治三〇年二月	横半半	一冊	八八四
御通帳 大掛喜作 佐藤宛 明治三一年	横半半	一冊	八八五
御通帳 柏崎柳橋大掛商舖 高原宛 明治三二年	横半半	一冊	八八六
太物御通帳 大掛喜作 岩手高原宛 明治三三年二月	横半半	一冊	八八六
御通帳 大掛喜作 高原宛 明治三四年二月	横半半	一冊	八八六
御通 柏崎大掛商店 佐藤宛 明治三八年	横半半	一冊	八八三
御通〔太物・紵〕 柏崎町中村精兵衛商店 佐藤耕作宛 明治四五年一月	横美半	一冊	八八九

○後生寺

麴通帳 吉川村字後生寺佐藤金太良 黒川村 大字 岩手佐藤宛 明治三四年一月七日	横半半	一冊	八六四
麴の通 吉川村後生寺佐藤金太郎 佐藤宛 明治三八年	横半半	一冊	八六五
麴之通 吉川村後生寺麴屋(佐藤) 佐藤宛 明治四四年一月	横半半	一冊	八六六
御通帳 吉川村後生寺麴屋(佐藤) 佐藤宛 大正元年一月	横半半	一冊	八六七
御通 吉川村後生寺佐藤周治 佐藤宛 大正二年	横半半	一冊	八六八
○高田			
呉服物御通 高田中小町能登屋金作 岩手村高原宛 文政一〇年正月	横美半	一冊	五〇七
御通 (呉服物・仕立賃其外) 高田中小町池田屋金作 岩手村佐藤宛 天保六年正月	横美半	一冊	五〇六
呉服物御通 (高田下小町) ほしのや宗左衛門・外吉 佐藤宛 明治四年	横美半	一冊	五〇七
現金呉服之御通 高田中小町香川屋外吉 高原佐藤宛 明治八年	横美半	一冊	八七九
現金呉服物御通 高田中小町かがわや外吉 高原佐藤宛 明治二七年	横美半	一冊	八七五
現金呉服物御通 高田中小町かがわや外吉 高原佐藤宛 明治三二年	横美半	一冊	八七六
現金呉服物御通 高田中小町かがわや外吉 高原佐藤宛 明治三三年	横美半	一冊	八七七
現金呉服物御通 高田中小町かがわや外吉 高原佐藤宛 明治三三年	横美半	一冊	八七八
現金呉服物御通 高田中小町香川屋外吉 高原佐藤宛 明治三九年	横美半	一冊	八七〇

現金呉服物御通 高田中小町香川屋商店 高原佐藤宛 明治四〇年	横美半	一冊	八七一
現金呉服物御通 高田中小町香川屋外吉 高原佐藤宛 明治四一年	横美半	一冊	八七二
呉服(通帳) 高田丸山呉服店 佐藤宛 明治三二年一月	横美半	一冊	八七三
呉服御通 丸山呉服店 岩手佐藤宛 明治四一年一月	横美半	一冊	八七四
現金呉服通 高陽丸山呉服店 佐藤宛 明治四三年	横美半	一冊	八七五
現金呉服通 高陽丸山呉服店 佐藤宛 明治四五年 附 丸山呉服洋服店品代勘定書 佐藤宛 明治四四年一〇月二七日	横美半	一通	八七六
御着通 (高田田端町) 紀ノ国屋 佐藤宛 明治三三年一月	横美半	一冊	八九五
雜貨御通帳 横区神林洋物店 佐藤俊策宛 明治三二年六月	横美半	一冊	八八六
○高寺			
蠟燭控(通帳) 下黒川村大字高寺草間平太郎 黒川村大字岩手佐藤旦那宛 明治二六年一月	横半半	一冊	八八四
蠟燭控(通帳) 大字高寺草間平太郎 大字岩手佐藤旦那宛 明治二七年一月	横半半	一冊	八八五
○東横山			
牛乳代価受取証(通帳) 水原村大字東横山牛乳売捌人中村芳郎 岩手佐藤宛 明治三二年	横半半	一冊	八八六
牛乳配達ノ扣 水原村大字東横山牛乳売捌人中村芳郎 高原宛 明治三三年四月	横半半	一冊	八八七
牛乳乃通 黒岩村大字東横山中村牧場 岩手佐藤宛 明治三五年七月	横半半	一冊	八八八

○米山寺

佐藤松五郎様酒之通 米山寺村木村佐左衛門 文政八年正月	横美半	一冊	八三三
(諸品通帳)〔砂糖・くすこ・線香其外〕 米山寺村佐太左衛門 高原宛 文政九年正月	横美半	一冊	五〇五
御酒之通 米山寺村酒や 岩手村佐藤啓助宛 安政六年正月	横美半	一冊	二六四〇
染物之御通 米山寺村紺屋林右衛門 岩手村佐藤宛 明治五年正月	横美半	一冊	五三六
御酒之通 大字米山寺吉田屋 黒川村大字岩手高原宛 明治二年	横美半	一冊	八八二
御酒之通 大字米山寺吉田屋 大字岩手高原宛 明治二七年	横美半	一冊	八八三
御通〔酒〕 米山寺橋本屋 岩手佐藤宛 明治四二年	横美半	一冊	八八六
御通 米山寺橋本屋 岩手佐藤宛 明治四三年	横美半	一冊	八八三
御通 橋本屋 岩手佐藤宛 明治四四年	横美半	一冊	八四〇
御通 橋本屋 佐藤宛 明治四五年	横美半	一冊	八四一
御通 橋本屋 佐藤宛 大正二年二月	横美半	一冊	八四二
御通 米山寺橋本屋 高原佐藤宛 大正三年二月	横美半	一冊	八四三
御通〔呉服・太物〕 松屋商店 岩手佐藤宛 明治四五年二月	横美半	一冊	八四七
御通 米山寺松屋商店 岩手佐藤宛 大正二年二月	横美半	一冊	八四八
御通 米山寺松屋商店 岩手佐藤宛 大正三年二月	横美半	一冊	八四九
酒之通 黒川村大字米山寺加藤豊作 大字岩手竹原宛 明治三九年五月	横美半	一冊	八九四

○その他・不明

佐藤喜太郎様御通ひ〔上・不端・筑前半切・紙其外〕 佐藤善左衛門 安永四年閏一二月	横美半	一冊	五〇九
御銭通 小兵衛 佐藤宛 天保九年正月	横美半	一冊	五〇四
諸品買物代金通帳〔水引・なし其外〕〔天保九年〕	横美半	一冊	五〇五
呉服物御通〔三上様別口〕 明治三年	横美半	一冊	八六四
油之通 角取村油屋 岩手村佐藤宛 明治三年六月	横美半	一冊	八五四
呉服物通 直江津酢や八十吉 岩手村佐藤宛 明治二年	横美半	一冊	八八八
現金御通〔菓子箱・掛素細・酢其外〕下黒川村大字上小野箕輪甚一 岩手佐藤宛 明治三一年一月	横美半	一冊	八九五
酒之通 黒川酒造株式会社 大字岩手佐藤宛 明治三四年二月	横美半	一冊	八七九
御通 黒川酒造株式会社 佐藤耕作〔策〕宛 明治三九年	横美半	一冊	八七〇
酒類之通 黒川酒造株式会社支配人小池伊衛藏 黒川村大字岩手佐藤與吉宛 明治四二年二月	横美半	一冊	八七三
御通帳 二宮呉服店 佐藤宛 明治四〇年	横美半	一冊	八七七
御通帳 二宮呉服店 佐藤宛 明治四一年	横美半	一冊	八七五
御通帳 二宮呉服店 佐藤耕作〔策〕宛 明治四二年	横美半	一冊	八七五
御通帳 二宮呉服店 佐藤宛 明治四三年	横美半	一冊	八七六
御通帳 二宮呉服店 佐藤耕作〔策〕宛 明治四四年	横美半	一冊	八七六
御通帳 二宮呉服店 佐藤宛 大正二年	横美半	一冊	八七六
御通帳 二宮呉服店 佐藤宛 大正三年	横美半	一冊	八七六
御通帳 西巻醬油店 高原佐藤宛 明治四四年	横美半	一冊	八八九

御通 長岡與板屋呉服店 佐藤宛 大正二年 横美平 一冊 八六九
佐藤惣左衛門様御通ひ〔紙・扇子・密柑其外〕佐 横長美 一冊 五〇六
藤久左衛門 戌正月

代金勘定書・請取書

高田佐藤善左衛門金子請取証文〔京都詠物代金〕 一通 三三七
佐藤喜太郎宛 辰三月六日
白川与七御詠物代金受取勘定覚〔大小極上とき代 一通 四四五
・小刀とき代外〕 佐藤喜太郎宛 一月七日
平野為四郎代金勘定書并受取書〔魚代〕 高原宛 二通 四七三
六月三〇日・一〇月二三日
柿崎鈴木屋龍太郎品物送状并代金請取書〔金銭 三通 四七四
・数ノこ・蠟其外〕 岩手村高原宛 明治八年五月一
三日・二月二三日
芋嶋村仙田礼蔵勘定書〔材木代并木切板挽人足賃〕 二通 四七四
岩手村佐藤高原宛 酉八月一八日ほか
高田星野屋外吉代金勘定書〔着物織物代〕 岩手村 二通 四七七
高原佐藤宛 亥七月
柳崎松蔭屋代金勘定書〔松蔭代〕 岩手高原宛 亥 一通 四七八
一〇月二日
矢口代金勘定書〔あみ代〕 高わら旦那宛 一通 四七九
米山寺村館屋久三郎代金勘定書〔館代〕 岩手村高 一通 四七五
原宛 子一〇月
はし本屋仁兵衛代金勘定書〔魚代〕 岩手村三右衛 一通 四七五
門宛 酉正月二九日
梶村のたや代金受取書〔茶代〕 岩手佐藤宛 亥二 一通 四七五
月二三日
芋嶋村五郎七代金勘定書〔菓子代〕 岩手村宛 亥 一通 四七五
四月一五日

贈物目録 高嶋 佐藤宛 一通 四七六

今町登湯屋代金差引勘定書〔若狭茶・くじら其外 一通 四七五
諸品代〕 岩手村高原宛 一〇月二〇日

柿崎鱗屋忠兵衛代金勘定書〔魚代〕 高原旦那宛 一通 四七六
戌一〇月二三日

(直江津)保坂喜右衛門仕切証 古川長八郎宛 亥 一通 四七七
六月二三日

源吉代金差引勘定書〔釣瓶其外細工代〕 高原宛 一通 四七八
戌一〇月一八日

柿崎畳屋瀬平代金勘定書〔畳糸代〕 岩野村旦那宛 一通 四八九
九月七日

平野勘兵衛代金差引勘定書〔魚代其外品代〕 高原 一通 四七〇
旦那宛 子正月一八日

大工紋右衛門賃銭勘定書 高原宛 子一月二〇日 一通 四七一
(高田)計量売捌所代金請取書〔鉄製研代〕 岩手村 一通 四七三
才治郎宛 一二月三日

(高田)寿家満勇吉代金受取書并勘定書〔急須其外 三通 四七三
諸品代〕 佐藤宛 一二月三日、一二月三日

代金差引覚〔油あげ代〕 一通 四七四
岩手村友七外諸品代金勘定書等綴 高原外宛 一綴 四八四
(三四通)

かた町善兵衛代金受取勘定書〔まくら代力〕 岩手 一通 四八七
村竹原宛 戌正月一七日

米山寺村勇治郎外諸品代金勘定書并受取書其外 一綴 四八六
諸書付綴 岩手村佐藤宛 亥 (一九通)

平野勘兵衛代金請取書〔魚代〕 高原・岩手新屋宛 三通 四八九
正月朔日

大石屋代金勘定書〔豆腐代ほか〕 高原宛 亥極月 一通 四八〇

松右衛門代金勘定書〔銀・鎌其外〕 高原宛 亥一 一月二七日	一通 四八五	勘兵衛代金勘定書〔紅蓮等〕 高原宛 一〇月一三日	一通 四八六
いわの村酒屋代金勘定書〔酒代〕 岩手村佐藤宛 亥一二月二七日	一通 四八五	上小野紺屋文六郎代金勘定書〔上こんかせ代〕 岩 手村高原宛 丑一二月	一通 四八七
彦左衛門代金勘定書〔とうふ代〕 高原宛 一二月	一通 四八五	忠藏代金勘定書〔葉代〕 高原宛 丑二月四日	一通 四八七
辰砂等代金寛	一通 四八五	中小野七又店代金受取書〔箒代〕 上宛 (明治) 卯 二月六日	一通 四八七
米山寺村利右衛門代金勘定書〔布代〕 岩手村佐藤 宛 子一二月	一通 四八五	とうふ等代金勘定寛	一通 四八六
芋嶋村熊吉代金勘定書〔酒代〕 岩手村高原宛 子 一二月二八日	一通 四八五	金藏代金勘定書〔かつふし・鱒其外諸品代〕 佐藤 喜太郎宛 巳九月一五日	一通 四八七
芋嶋村ぬりや文吉代金勘定書〔御せん塗直代〕 高 原御旦那宛 子一二月	一通 四八六	(金藏)代金勘定書〔大豆・塩其外諸品代〕 甚左衛 門宛 巳九月一七日	一通 四八六
米山寺村勇治郎代金勘定書〔作料・御ふしん代〕 岩手村高原佐藤宛 子極月	一通 四八六	岩手村喜太郎代金勘定書〔米代〕 柿崎金藏宛 六 月二〇日	一通 四八六
勘兵衛代金勘定受取書〔紅蓮等〕 高原旦那宛 正 月朔日	一通 四八六	竹直徳右衛門外諸品代金勘定書其外綴 岩手村 竹原(高原)宛 丑三月一七月	一通 四八六
松右衛門代金勘定書〔つかみ四丁其外諸品〕 佐藤 宛 子一二月八日	一通 四八六	柿崎中茶屋諸品代勘定書并受取書等綴 高原外 宛 卯一二月一二月	一通 四八六
芋嶋村仙藏代金勘定書〔切元・かんさし・はし立 其外〕 岩手村高原宛 子一二月	一通 四八六	星野屋宗四郎外諸品代金勘定書其外綴 佐藤宛 巳一二月一二月	一通 四八六
(直江津今町)筑後屋代金勘定書〔茶代・傘代〕 上 宛 一二月二〇日	一通 四八六	柿崎宿野本屋龍太郎代金差引勘定書〔立替金・油 ・唐糸等〕 岩手村高原宛 明治一二年八月一七日	一通 四八六
手間賃・板代寛 佐藤宛	一通 四八六	木 材	横長美 飯一冊 八三〇
(上下浜)紙屋多三八石灰送状 岩手村酒屋三太郎 宛 六月五日	一通 四八六	米山寺村太次兵衛櫓木売渡証文 岩手村友右衛門 宛 寛保元年極月	一通 四八六
柿サキ四つ目や伊助品物送状 岩手村高原旦那宛 七月二〇日	一通 四八六	(松杉調帳) 明治三四年六月二一日	横半半 一冊 八六六
		松杉板削扣帳 宮口新治郎 明治三七年七月	横長半 一冊 八七二

杉板・松板直段覚〔佐州・柿崎へ着直段〕（年欠）

酒 株

山部組久々野村九郎左衛門願書控〔岩手組岩手村惣左衛門方へ酒札譲渡願〕組頭・庄屋・代役連署
御奉行所宛并御奉行所・御代官所宛 明和三年一〇月

岩手村大肝煎佐藤八平願書控〔伴惣左衛門、久々野村九郎左衛門へ酒札譲渡願〕御奉行所・御代官所宛 明和三年一〇月

久々野村九郎左衛門造酒札譲渡証文下書 庄屋長左衛門・与頭丈右衛門連署 岩手村佐藤惣左衛門并庄屋・組頭宛 明和三年一〇月

石 油

石油坑書入 明治一年七月二七日

1 石油坑日誌 岩手村佐藤文吉 明治二年五月

2 石油入費通 下稼人水野村薩美新三郎 佐藤文吉宛 明治二年一二月

3 石油入費預通 薩美嘉三治 岩手村佐藤文吉宛 明治二年

4 発起人内議定書 第七大区小七区水野村薩美嘉三治外八名 明治一年七月一九日

5 黒岩村重原甚太郎書状〔石油書類五品返還之件其他〕 岩手村佐藤宛 八月五日

代官手代文書

幕府法制・地方書

（京都所司代板倉防州政要外幕府触書等写）

佐藤家文書目録 佐藤家〔家政〕 代官手代文書

宿場一件御法書〔宿場御定書写〕 宝曆十三年三月写

御関所改書

長州於小串浦厚嶋沖難船吟味書物一件 松平加賀守内毛利縫殿左衛門・木崎半四郎 岩邑長佐藤氏（所持） 寛延元年七月

詮議方覚書〔關所地・質地・船法等三付諸法度先例之覚〕 岩手村松五郎

質地御掟法（宝曆二年三月）

（徳川家代々御忌日・前々御仕置大概其外写）

地方一様記 元禄二年

鳳地記上・下〔公事訴訟・罪科之者取捌之大概〕

諸御條目留〔質地之儀三付御触書之事、其外〕 享保三年（享保）六年

地方万留書〔享保十一年新田検地條目外検地・質地法令等写〕 土肥致栄（寛文三年（享保）一年）

御觸書〔代官宛勘定所触書留〕 享保一五年九月（元文四年九月）

諸家御滅方・長岡新規村附書写 明治元年

地方覚書 土肥致栄

（地方覚書）〔二〇八九と同内容〕

諸事書留〔甲州代官奥野忠兵衛伺書外〕 土肥致栄

公事方覚書 元文二年初夏日写之

御触書・公事方書留 土肥致栄

廻船方覚書 土肥致栄

裁断記書拔〔評定所法式其外〕 高原佐藤所持

袋入

一冊 二九三

諸国幕領史料

○信濃国

(但馬国出石城下曹洞宗座位諍論書付之覚并信州水内郡薪伐取出入裁許請書等) 正徳五年(享保二年)

半

一冊 元

信州高井水内郡村々御直訴仕候ニ付申上候書付〔水損并借其外箱訴ニ付〕 野呂猪右衛門 亥(寛保三年)二月

美

一冊 四〇

(信州中野代官野呂猪右衛門申上書等)〔水損凶年ニ付兼而御届申上候書付・百姓御箱訴仕候ニ付御尋上申上候書付・大小百姓分限ニ応シ夫食貯置候義仕方御尋ニ付申上候書付・酒造之義石高限リ之訴訟申出候ニ付聞合書付〕 御勘定所宛 寛保三年三月

美

一冊 四九三

信州中野村小百姓代酒造之儀ニ付訴状差上候ニ付申上候書付 野呂猪右衛門 寛保三年三月

半

一冊 二九〇

信州水内郡御料村百姓斧右衛門 同村伝右衛門 殺害吟味口書 (川浦代官竹垣庄蔵手代佐藤半二・小嶋林助) 卯年

女房れん

半

一冊 三六

信州水内郡御料村百姓斧右衛門義女房れん・同村伝右衛門・原村さん殺害欠落仕候ニ付吟味仕候趣申上候書付

半

一冊 三七

殺害人一件懸り合申口留〔同前一件〕

半

一冊 三六

○越後国

*川浦代官竹垣庄蔵年貢割付状下書(前欠) (宛先村名不明) 明和七年二月

(紙背) 川浦竹垣庄蔵手代佐藤半次書状包紙 岩手村佐藤八平宛

二通 四六三

御裁断御請証文之写〔越後国川々御普請所見分之節、役人・村役人不届ニ付、処罰〕 竹垣庄蔵御代官所越後国頸城郡飯田村名主源左衛門外 一四ヶ村名主 明和七年二月六日

半

一冊 一七

竹垣庄蔵并風祭甚三郎伺書等〔佐州百姓騒動取鎮被仰付候ニ付、当頸城郡中御料私領一統ニ取鎮方蒙仰度旨伺書〕

一通 四六

○越後国頸城郡吉木蠟点所

―『村政〔組合村〕』『諸稼〕(二五六頁)を見よ

○上野国

上州山中領御林売木伐出之儀ニ付伺書 石原半右衛門 御勘定所宛 元文二年閏二月

半

一冊 二九六

碓氷御関所近所ニ而御仕置者之義ニ付覚書 元文四年

半

一冊 三

○その他

雑集留〔破船見分吟味大義・作州代官岩出彦兵衛諸伺書類、其外等〕 正徳四年(享保一四年)

半

一冊 二九二

常陸国河内郡阿波崎村満願寺并名主与頭と伊佐部村長慶寺并名主与頭山林出入地改書付 増田太兵衛手代齋藤台右衛門・石原半右衛門手代仲田藤兵衛 元文三年六月

半

一冊 二九〇

飛驒国百姓騒動御吟味之上御仕置并御褒美被下置候名前附 片桐喜三郎 安永三年

横長美

一冊 二五四

去酉年御代官勤方書付〔駿河国〕大井伊勢守支配、当時大橋近江守支配大屋奎之助 宝曆四年九月

美

一冊 三七

行倒者検使并出火見分一件〔甲斐国山梨郡等々力村外〕 佐藤半二 明和五年九月

美

一冊 三

武州埼玉郡羽生領岡古井以樋出入吟味書 江川太郎左衛門手代佐藤半治 明和六年

半

一冊 三六

(伊豆国君沢郡御成箇郷帳写)

美 一冊 三六

(代官交替名前書写)

半 一冊 一九六

記録・学芸

風聞・諸記録

植村仙古手疵負即死之一件

横半半 一冊 二

前橋城渡方帳面

横美半 一冊 五

大御所様薨御ニ付覚書 寛延四年六月

横半半 一冊 六

(上知請取渡方并花岡勘助伺書写)

横美半 一冊 七

(唐船沙汰)

半半 一冊 八

日光御社参御行列書 安永五年四月

9.3 x 19.7 cm 一冊 一〇

日本六拾八箇国惣高田別田畝歩国郡 越後国頸城郡下美守合下小野村片桐平三郎書留写之 天保一二年一月

8.2 x 15.8 cm 一冊 一一

公私乱集書

半 一冊 一二

(田沼主殿頭伝其外写)

半 一冊 一三

慶長之頃駿府江戶御文写

半 一冊 一四

考義状 文化四年五月

半 板一冊 一五

誌記録 佐藤氏 弘化二年(安政六年)

横半 一冊 一六

万誌帳 佐藤氏 (弘化明治)

横美 一冊 一七

松前一乱注進書写之 兼五郎写之 文化四年六月二五日

半 一冊 一八

竹姫若様御入與献上物 享保一四年七月

横美半 一冊 一九

仙石騒動決評書

半 一冊 二〇

(仙石騒動一件一月寺役僧願書写) 天保六年

半 二冊 二一

(大坂大火并騒動一件)(前欠) 岩手村佐藤所持写之 天保八年

半 一冊 二二

しりやう口説(北陸戊辰戦争) 戊

横美半 一冊 二三

正法山善福寺順了一代聞書写 天保四年写

美 一冊 二四

東照宮御遺訓

美 一冊 二五

新聞日本論説欄掲載教育時言抄一・二・三 黙堂筆 佐藤性写 明治三一年五月(七月)

半 三冊 二六

水府公告志篇 天保五年之夏岩野村庵嶋喜八郎ヨリ騰写受之 中村氏藏

半 一冊 二七

御碑銘(播州姫路城主拾遺源朝臣碑銘) 弘文院学士林恕撰 寛文五年乙巳孟秋神原氏政房立/高原藏書朱印

美 一冊 二八

勸懲記(松平左近將監御咎之趣酒井雅楽頭委細説渡候七ヶ条之頭号并此外不埒条々) 佐藤宗左衛門

半 一冊 二九

英夷入寇風聲書(天保十一年唐土風説書外) 籠嶋所持

半 一冊 三〇

薩摩諸役人附 天保一二年二月十五日

横美半 一冊 三一

仙台・薩摩分限大略記 天保一二年仲春写

横美半 一冊 三二

蔵書目録

唐和軍書貸渡帳 佐藤氏 (寛政元年(二年))

横半半 一冊 三三

傳書目録 中頸城郡黒川村大字岩手高原蔵 明治二九年七月二八日

横美半 一冊 三四

文芸

卷之一	卷之二	卷之三	卷之四	卷之十一	卷之十二	卷之十五	卷之十六	卷之二十五	卷之二十六	卷之二十九	卷之三十	卷之十九	卷之二十	卷之二十一	卷之二十二
太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇	太閤真蹟記初篇
半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半
六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊	六冊
五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五	五〇三五
俳諧江湖	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰	新瀉此柱撰
15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5	15.5 x 12.5
甲斐国名所和歌集	黒駒郷桂野亭藏	文政九年文	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写	文中旬写
赤城義臣傳卷之一	卷之二	卷之三	卷之四	卷之五	卷之六	卷之七	卷之八	卷之九	卷之十	卷之十一	卷之十二	卷之十三	卷之十四	卷之十五	卷之十六
金城大槻傳記卷一	卷二	卷三	卷四	卷五	卷六	卷七	卷八	卷九	卷十	卷十一	卷十二	卷十三	卷十四	卷十五	卷十六
松林夜話上下	寛月事跡録卷之二	寛永一五年	正保元年	御法儀歌	おかと持	天保一四年	一月写之	北越学藝士林體裁書	井蛙軒藏書	明治甲午	二七年	一月	一月	一月	一月
半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半	半
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七	五〇四七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本	御手本
一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊
九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七	九〇二七
御手本	御手本	御手本	御手本	御手本</											

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録(その一) 解題

文書の伝来と目録の刊行

岩手村と組合村

佐藤家について

文書の特色と整理方針

文書の配列と概要

附図一 佐藤家略系図

附図二 関係地域略地図

文書の伝来と目録の刊行

本文書は、越後国頸城郡岩手村(現新潟県中頸城郡柿崎町大字岩手)佐藤家の原蔵にかかり、一九五三(昭和二八)年と一九八二(昭和五七)年の二次にわたって当館の所蔵に帰したものである。一九五三(昭和二八)年の第一次収蔵分(文書記号28A)は、当館が東京の古書店から購入したものであるが、佐藤家御当主佐藤友之氏ならびに御尊父佐藤八平氏(共に現在は東京都港区虎ノ門四ノ三ノ二に御在住)のお話によれば、同じ一九五三(昭和二八)年頃に蔵をひとつ潰した際、漢籍と共に古文書類を東京の古書店へ売却された由であり、これが時を経ずしてそのまま当館に入ったものと考えられる。一九八二(昭和五七)年の第二次収蔵分(文書記号57A)は、第一次収蔵分の目録刊行のた

め同年九月に当館が行った現地参考調査の際、旧佐藤家屋敷（現在太田健一氏所有）の蔵の中から新たに発見された文書を、佐藤太田御両家の御好意により、佐藤友之氏から同年一月二五日付をもって当館に御寄贈いただいたものである。その詳しい経緯については、『史料館報』第38号（昭和五八年三月発行）の「新収史料紹介」に記しておいたので参照されたい。

佐藤家文書は、第一次第二次収蔵分を合わせれば優に一万点を越すと予想される膨大な文書群である。その概要については後述するが、大別して、(一)一七四二（寛保二）年から一七六八（明和五）年までの二七年間、岩手組一五ヶ村の大肝煎役を勤めたことによって作成され伝来した大肝煎文書、(二)近世前期から明治期まで、代々岩手村庄屋・戸長の地位にあったことによって作成され伝来した庄屋・戸長文書、(三)佐藤家の家政・経営に関して私的に作成され伝来した「家」文書、の三つの文書群から構成されていると言ってよい。本来ならば、その全点の整理を終えたのちに目録を編成・刊行すべきなのであるが、第一次収蔵分（28A）の目録刊行準備作業の終盤になって新発見文書（57A）の受け入れという予期せぬ事態が発生したため、現在までにすべての文書の整理を終了することができず、目録の編成・刊行は、変則的であるが止むを得ず二度に分けて行うことにした。

本目録は、その内、28AⅡ五一三三点（整理番号一〇五一三三）、57AⅡ一〇七五点（整理番号八〇〇一〇九〇七五）の合計六二〇八点を、（その一）として刊行するものである。これに収録したのは、28Aにおいては冊子型文書の全部と、書状・請取書等を除く書付型文書の大半、57Aにおいては28A収蔵分と関連性の高い文書やその他の基本的と考えられる文書である。従って、以上のほか書状・請取書などの書付類や明治期以降の土地関係文書等々、なお数千点にのぼる文書が未整理のまま残されることになったが、これについては早い機会に（その二）としてまとめることにしたい。検索は不便にならないが、前記の事情を了解せられ、（その二）刊行の暁には本目録と併せ利用されるよう、あらかじめお願いしておきたい。

岩手村と組合村

岩手村の支配關係

一五九八（慶長三）年一月、豊臣秀吉は上杉景勝を会津に移封したあと、四月に越前北庄から堀秀治を越後に移した。それ以降の岩手村の支配關係は第1表の通りである。この内、長く高田にあって藩体制を確立せしめたのは越後中将松平光長であると言つてよいが、光長は一六八一（延宝九）天和元）年、「越後騒動」の責により改易となる。その後、光長遺領二六万石は幕領となるが、一六八五（貞享二）年までは高田城に勤番大名が交代で入る一方、幕府代官が高田にあって領内支配を司るという二重体制がとられた。次いで一六八五（貞享二）年には稲葉正通が一〇万石余で高田に入部するが、他の約一五万石はそのまま幕領として新たに設置された代官所の支配下に置かれることになった。頸城郡内の代官所の所在地については新井・吉木・高野・黒井・馬正面・川浦などがあげられるが、変動が多く必ずしもはっきりしない。岩手村の場合は、ほぼ馬正面代官所附であつたようである。

途中三年間の糸魚川藩有馬領時代をはさむ前後四〇年間の幕府代官支配のうち、一七二四（享保九）年には長岡藩牧野氏の預所となる。これは有名な頸城質地騒動への対処として行われたものである。岩手村の属する下美守郷は騒動に直接關係していないが、幕府は騒動の鎮庄と事後処理を容易にするため、同年閏四月、越後のすべての幕領を高田藩・長岡藩など越後の五大名に預けたのである。長岡藩の場合、頸城郡の預所支配は潟町に置かれた代官所がこれを司っている。

一七四二（寛保二）年、榊原政永が姫路から高田へ一五万石で入封すると、岩手村は再び高田領となる。榊原氏の頸城郡内の領知高は当初六万七千石余に過ぎず（その他の八万四千石余は陸奥国白川ほか三郡に領した）、頸城郡では糸魚川藩領も加わって幕領・私領が複雑に入り組んで存在することになった。また、相互の村替も頻繁に行われた。その中で、岩手村は明治まで一貫して高田藩領に属し、一三〇年間異動することがなかったのである。

第1表 近世岩手村の領主・代官の変遷

年 代	城 地	領 主 ま た は 代 官
慶長3 (1598)——	春日山→福島	堀 秀 治 忠 俊
慶長15 (1610)——	福 島→高 田	松 平 忠 輝
元和2 (1616)——	高 田	酒 井 家 次 忠 勝
元和5 (1619)——	高 田	松 平 忠 昌
寛永元 (1624)——	高 田	松 平 光 長
天和元 (1681)—— 天和2 (1682)—— 天和3 (1683)—— 貞享元 (1684)—— 貞享3 (1686)—— 元禄2 (1689)—— 元禄4 (1691)——	幕 領	八木仁兵衛・岡上次郎兵衛 八木仁兵衛・岡上次郎兵衛・設楽孫兵衛 岡上次郎兵衛・設楽孫兵衛・嶋与右衛門 岡上次郎兵衛 伊奈兵右衛門 土屋 惣兵衛 土屋 甚太郎
元禄5 (1692)——	糸 魚 川	有 馬 清 純
元禄8 (1695)—— 元禄9 (1696)—— 元禄14 (1701)—— 宝永6 (1709)—— 正徳元 (1711)—— 正徳3 (1713)—— 享保4 (1719)—— 享保5 (1720)——	幕 領	馬場新右衛門・稲葉平右衛門 長谷川 庄兵衛 鈴木 三郎兵衛 能 勢 権兵衛 能勢 権兵衛・能勢 宇兵衛 能 勢 権兵衛 長谷川 庄五郎 日野 小左衛門
享保9 (1724)——	幕領(長岡預所)	牧 野 忠 壽 忠 周
寛保2 (1742)—— ——明治4 (1871)	高 田	榊 原 政 永 政 敦 政 令 政 養 政 愛 政 敬

注) 幕領代官名は、年貢割付状(整理番号 2978~3020)による。

郷と組

頸城郡の郷の編成は、松平光長時代に小栗美作の改革によって、八谷一〇郷から八谷一五郷に再編されたと言われている。八谷一五郷とは、西浜七谷（川西谷・根知谷・西海谷・早川谷・能生谷・名立谷・桑取谷）、上郡八ヶ郷（大崎郷・上板倉郷・下板倉郷・保倉谷・武士郷・里五十公郷・山五十公郷・松ノ山郷）、下郡八ヶ郷（下ノ郷・新田郷・大導郷・高津郷・津有郷・上美守郷・下美守郷・大瀧郷）である。岩手村は下郡八ヶ郷の内の下美守郷ひだまりに属すがこの郷はもと上美守郷と一郷を成し、一五九八（慶長三）年の岩手村検地帳（整理番号八〇〇一）に、「越後国頸城郡夷守郷、岩手村」とあるように、古くは「夷守郷」と記した。

各郷はさらにいくつかの組に分けられたが、古い時代については詳しいことがわからない。下美守郷の場合、『柿崎町史』によれば、慶長年代（松平忠輝時代）には国田村八木平右衛門・杉之袋村鹿嶋丹助の両名が美守郷総肝煎に任ぜられていたが、寛永期以降松平光長の時代には、国田村八木家が下美守郷大肝煎として郷中一四七ヶ村を管轄し、これはさらに一六組の村組に分けられて、その長を杖突と称したようである。天和の幕領期になると下美守郷大肝煎の数は増える。同じく『柿崎町史』によれば、一六八三（天和三）年の頸城検地高附帳には、国田村八木平助（一四〇ヶ村支配）・福田村柳沢作左衛門井中村上野亦右衛門（九ヶ村）・木田村塚田彦内（一〇ヶ村）の四名が見え、天和検地鑑では、八木平助（一四〇ヶ村）・塚田彦内（一〇ヶ村）・上原新三郎（一二ヶ村）・平石曾左衛門（一二ヶ村）の四名が大肝煎としてあがっている。当時もその下には一六組の村組があり、その長はやはり杖突と呼ばれていたようである。岩手村の所属村組は不明だが、大肝煎八木平助の支配下一四〇ヶ村に含まれていたことは確かである（「天和三年岩手村御検地水帳」整理番号八〇〇三）。

一六八五（貞享二）年に稲葉氏一〇万石が高田に入部すると、他の幕領村々は数ヶ所に設置された代官所の分割支配を受けるようになるが、大肝煎は各代官所ごとに一名ないし数名ずつ置かれたようである。大肝煎八木平助は引き続き下美守郷の内岩手村を含む一〇二ヶ村を管轄し、これは馬正面組（馬正面付）と呼ばれている。馬正面代官所付の村々であったからであろう。この中はさらにいくつかの村組に分かれていたが、詳細はわかっていない。

以上の段階までの大肝煎の機能は、後世の大肝煎と異なっているかに強大であり、その管轄区域も八木家に見られるごとく相当に広い。しかし、このような大肝煎は、一七一三（正徳三）年の幕領大庄屋廃止令によって廃されることになる。かわって置かれたのが年番である。年

第2表 頸城郡榊原領組分け編成（入部時）

寛保2年 (1742)		→	寛保3年 (1743)	
石高			石高	
下美守郷上組	5427.028	→	西嶋組	(5)427.029
下美守郷中組	4577.394	→	岩手組	4577.394
下美守郷北組	839.336	→	鉢崎組	(8)39.336
水吉組	4710.549	→	水吉組	4710.549
山部組	1505.169	→	山部組	1505.169
五日市組	1780.813	→	五日市組	(1)780.813
大崎西組	5009.381	→	雪森組	5009.381
大崎東組	6601.080	→	脇野田組	(6)301.080
高田廻	1884.150	→	高田廻	1884.150
木田組	8029.647	→	木田組	8029.647
桑取谷	2475.257	→	吉尾組	2475.257
名立谷	1900.553	→	田ノ上組	1900.553
能生谷	3133.379	→	横村組	3133.379
今町	79.591	→	今町	79.591
大瀬組	6379.375	→	中村組	7279.334
新田郷	6887.632		百間町組	5397.771
大道郷	6262.874		新町組	6850.105
合計	6,7483.208		合計	6,7483.208

- 注1) 出典；「寛保二年十一月 惣高割郡中御用寄合雑用銀割帳」（整理番号615），「寛保三年 亥御用留」（整理番号63）
- 2) 寛保3年の石高で数字に（ ）を付したのは、史料破損のため推定であることを示す。寛保3年は石高合計がやや合わないが、原史料のままとした。

番は触元惣代とも称し、岩手村の属した馬正面組年番は、一七一三（正徳三）年から一七四二（寛保二）年まで、馬正面村楡井美右衛門が一貫してこれを勤めている。その権限・管轄区域は大肝煎時代に比べるとかなり縮小されている。一七二四（享保九）年に長岡藩預所となった時点の馬正面組村数は四九ヶ村である。

さて次に、一七四二（寛保二）年、榊原氏が高田に入部すると、直ちに頸城郡領知六万七千石余の村組編成が実施される。その結果できたのが第2表の左側に示した一七組である。馬正面組幕領から分かれて高田領に編入された岩手村は、下美守郷中組に属している。この組は一六ヶ村から成り（一部の史料は、一六ヶ村のほか松留・伯母沢・後生寺・泉・赤沢の五ヶ村を含む二ヶ村を下美守郷中組としている）、年

第3表 岩手組の構成

			石 合
	狸	平 村	139.841
{	南	黒 岩 村	205.010
	北	黒 岩 村	222.372
	猿	毛 村	206.208
	中	山 村	206.164
{	芋	嶋 村	494.029
	上	灰庭新田	
	下	灰庭新田村	119.352
	落	合 村	393.008
	下	条 村	567.552
	下	金 原 村	228.633
	上	金 原 村	362.190
	桜	町新田村	98.860
	竹	直 村	761.560
	江	嶋新田村	188.116
	上	下浜村新田	140.958
	岩	手 村	243.541
	惣	高 合	4,577.394

出典；「明和三年戊十一月岩手組
高附帳」（整理番号8227）

岩 手 村

岩手村（現中頸城郡柿崎町大字
岩手）は、附図二に示したよう

に、北国街道柿崎宿から分かれて米山南麓を東
に向かう道を一里半程山手に入った所に位置し
ている。この道は小村峠を経て刈羽郡に抜ける
古くからの重要な街道で、黒岩越あるいは米山
寺街道と呼ばれ、上杉氏が一五九七（慶長二）
年に作成した頸城郡絵図（東京大学史料編纂所
編『越後国郡絵図一・頸城郡』東大出版会一九

番として、岩手村佐藤八平（佐藤家四代）のほか、上金原村小林平次郎（寛保三年一月退役）と松留村甚五左衛門（寛保二年中就役）の名前が見えている（整理番号六三・六一六・六二四）。翌一七四三（寛保三）年には年番は再び大肝煎と改称され、一組一名に定められると共に、組の名称には大肝煎の居住村名が冠されることとなる。こうして改めて整えられたのが第2表右側に示した一七組である。

下美守郷中組は佐藤八平が大肝煎に任ぜられて岩手組と改称されている。組合村の構成は一六ヶ村四五七七石余と変わらない。その一覧は第3表に記した通りである。この史料のように黒岩村を南北に分けて一七ヶ村としている場合もあるが、南・北黒岩村ならびに芋嶋村と上灰庭新田はそれぞれ一村扱いとなるので、本目録では通常「岩手組一五ヶ村」と称すことにした。この一五ヶ村の位置については附図二を参照されたい。岩手組の名称は、佐藤家が大肝煎役の任にある一七六八（明和五）年までの二六年間と、そのあと臨時の代役が置かれた九年間の合計三五年間存続する。その後、岩手村の所属組は、第5表に示したように大肝煎の交替によって灰庭組・黒岩組・高畑組と変遷している。これら各組の構成は必ずしも岩手組当時と同じではなく、村組の変更が幾度か行われている。特に、一八一〇（文化七）年には頸城郡の榊原領知高が一万九千石余に増加したことに伴ない、大規模な組替が実施されている。

八三年刊)にも本街道に次ぐ太い線で示されている。同絵図は一五九五(文禄四)年の検地に基づいて作成されたもので、各町・村の知行主・等級・本納高・縄高・家数・人数の記載があることで知られているが、岩手村は岩出村として次のように見えている。

柿崎分岩出村 下

本百四拾四石壹升壹合

縄百四拾五石九斗三升五合

家拾三間三十人

これは岩手村の概況に関する最も古いデータであるが、ひとつ気になるのは岩出村が今とかなり離れた場所に描かれていることである。周辺の他の村の位置や川筋・道筋が極めて正確だけに単なる誤まりとも即断し難く、その理由は今後の検討に俟ちたい。

佐藤家文書の中で岩手村の概況を知り得る最も古い史料は、一五九八(慶長三)年の検地帳(整理番号八〇〇一)である。この検地は堀秀治によって実施されたもので、一反 \parallel 三六〇歩制や大・半・小の採用など古い方式に拠りながらも太閤検地の一地一作人原則を貫いている。その結果は、村高二一五石九斗三升三合余、名請人約七〇人(一部破損につき不明)、高請居屋敷一五軒となっている。ちなみに、地字名から見て、この時点の岩手村の位置は明らかに今と同じである。

この地域の村高は、松平光長改易の翌一六八二(天和二)年、幕府によって実施された総検地(天和検地)によって確定する。岩手村は本田二一九石四斗八合・新田二四石一斗三升三合の合計二四三石五斗四升壹合となる。これ以降の岩手村の概況については、一六九六(元禄九)年・一八〇八(文化五)年両年の村明細帳の主な部分を第4表にまとめたので見られたい。また、第5表として、岩手村の所属組(大肝煎名)・庄屋の変遷および明治期の行政沿革についてまとめたので史料利用の参考とされたい。なお、口絵写真に一八七一(明治四)年の村絵図を掲げておいた。特に、岩手村の家並が往還沿いに集中しており、宿場的な景観を見せていることに注目したい。現在もこのような景観はそう大きな変貌を見せぬまま残っている。

なお、佐藤家文書によって岩手村の分析を行った研究として、高沢裕一氏の諸論文(後掲参考文献参照)があることを付記しておく。

第4表 村明細帳にみる岩手村の概況

	高 反 別	小物成・諸役	家 数	人 数	除 地	御 普 請 所
一六九六(元禄九)年	石 合 村高243.541 内 { 226.960 田 11.216 畑 3.795 山 1.570 漆 反別2613-14 畝 歩 内 { 1639-0 田 227-14 畑 747-0 山	大豆納 (定役) 小役銀納 胡麻代銀納 (荏代銀納-脱力) (増減役) 蛙川役銀納 室役銀納 鍛冶役銀納 馬足役銀納	計 30軒 内 { 23 本田新田 高持百姓 4 名子百姓 1 鍛冶家 1 神主家 1 寺 家 外 2 穢多家	計 176人 内 { 95 男 79 女 1 神主 1 出家 外 { 6 穢多男 4 同 女	本寺同郷赤沢村雲門寺 禪宗 正源院 神主社善太夫支配 八幡領	堰 2ヶ所 { 1 高畑村岩手村立合堰 1 芋嶋村高畑村岩手村立合堰 橋 1ヶ所
一八〇八(文化五)年	同 上	大豆納 (定役) 小役銀 胡麻代 荏 代 (増減役) 棟役銀 大工役 木挽役 鍛冶役 造酒休中株役	計 26軒 内 { 5 本 棟 21 名子棟 外 2 穢多家 (寺家・杜家を除く)	計 181人 内 { 86 男 90 女 2 社人 1 医者 1 座当 1 尼 外 { 5 穢多男 7 同 女	頸城郡赤沢村雲門寺末寺 禪宗 正眼院除地 京都吉田七五三下五十嵐大和守守之 円田神社八幡宮境内除地 五十嵐大和守守之 山王権限境内除地	用水堰 2ヶ所 { 1 岩手村高畑村立会 (字大堰) 岩手村芋嶋村立会 (字丸山) 土橋 1ヶ所 頸城郡と荊羽郡へ往来 高畑村岩手村立会 川除場所 600間 (字米山川)

出典：「元禄九年子・越後国頸城郡下美守郷之内岩手村差出帳」(整理番号207)，「文化五年辰三月・黒岩組村鑑帳」(整理番号211)

第5表-(1) 近世岩手村の所属組・大肝煎と庄屋の変遷

西暦	岩手村所属村組・大肝煎			岩手村庄屋	
	(慶長～)		総肝煎 八木平右衛門 大肝煎 八木平右衛門 同 平左衛門 同 七兵衛 同 平兵衛	慶長3 万治元 寛文9	きもいり右馬丞 惣左衛門 安右衛門
1683	(天和3)～		大肝煎 八木平助	(天和3)～ ～(宝永2)	八兵衛
1685	貞享2～	馬正面組	年番 楡井美右衛門	(宝永7)～	友右衛門
1713	正徳3～	馬正面組			
1742	寛保2～		大肝煎 佐藤八平 (初め年番)	寛保3～	八平(兼)
		岩手組 (初め下美 守郷中組)		寛延2～	平六
1768	明和5～		代役 与一郎・久右衛門 吉右衛門・茂左衛門 彦右衛門・孫右衛門	明和2～	八平(兼)
1778	安永7～	灰庭組	大肝煎 湯本吉右衛門 代役 孫右衛門	明和5～	松五郎
1781	天明元～		大肝煎 星野孫右衛門		
1798	寛政10～	黒岩組	同 星野半左衛門	天明7～	喜太郎
1813	文化10～		同 星野孫右衛門	文化8～	松五郎 八平
			同 星野源右衛門		
1822	文政5～	元黒岩組	惣代 湯本平助	文政4～	高畑村 湯本平助(兼)
1837	天保8～	黒岩組	大肝煎 星野半左衛門 (改名佐五右衛門)	天保8～	啓助
1841	天保12～		同 湯本多十郎		
1866	慶応2～	高畑組	同 湯本宗十郎		
1871	明治4.2～	十二番組	郷長 三上喜三	明治3.3～	文吉

第5表-(2) 明治期岩手村の行政沿革

西暦	年 月	県 制	岩手村の所属区
1871	明治4. 2～	高田藩	十二番組 第十六大区第五小区
	明治4. 7～	高田県	
	明治4. 11～	柏崎県に合併	
1872	明治5. 2～		頸城郡第五十四区
	明治5. 8～		第七大区第八小区
1873	明治6. 6～	新潟県に合併	第六大区第八小区
	明治6. 9～		第七大区小八区二番組
1876	明治9. 7～		第七大区小七区
1879	明治12. 4～	(明治11.7 郡区町村編制法)	中頸城郡岩手・岩野・米山寺三ヶ村連合
1884	明治17～		中頸城郡上小野外十七ヶ村連合
1889	明治22. 4～	(明治22.4 市制・町村制施行)	中頸城郡黒川村に合併 (大字岩手となる)

注 1) 出典：佐藤家文書のほか、『柿崎町史』・『中頸城郡誌』第1巻・『新潟県史』資料編14・近代2などによった。

2) (1) 表のゴシック体で示した名前は、佐藤家(分家松五郎を含む)の人間である(附図一参照)。

3) (1) 表の()を付した年号は、就役・退役の年が不明のため、史料で確認できる範囲を示したものである。

佐藤家について

佐藤家には、その昔老女と娘が他所から岩手村に來住し、婿を取って佐藤家の祖となった、という家伝があるそうである。附図一の佐藤家略系図に見える蘭（のち千代）が、おそらくこの娘にあたるのであろう。今でも佐藤家では、この蘭の命日一月一日を祖先祭の日としている。婿惣左衛門（佐藤家初代）は、屋号「門前」佐藤家の出である。彼は一六五八（明暦四）年の年貢米皆済状（整理番号三一二八）の宛名が「岩手村惣左衛門・惣百姓中」となっていることから、この時期には既に岩手村庄屋の地位にあったと考えられる。その死後、二代八兵衛が幼少であつたために養子安右衛門が後見として庄屋役を勤める。そののちは一時期を除いて佐藤家が代々岩手村庄屋を世襲したこと、第5表に示した通りである。

四代八平（武求）は高田浦野家の出で、もと高田藩儒者と伝えられる人物であるが、先にも記したように、一七四二（寛保二）年、榊原氏の高田入部と共に下美守郷中組年番、次いで岩手組大肝煎に任ぜられている。彼が大肝煎を辞するのは一七六八（明和五）年である。五代平六（惣左衛門）も一時大肝煎見習であつたようだが役につくことはなく、結局、大肝煎役は八平一代で終わっている。

岩手村庄屋の方は、五代平六死後、佐藤家の本家と分家（松五郎家、屋号新屋^{あたし}）が交替あるいは連立の形で勤めたが、一八二一（文政四）年に八代八平が死去したあと、高畑村湯本平助が兼帯庄屋として入ってきている。一八三七（天保八）年には佐藤家一〇代啓助が庄屋となり明治に至るので、結局湯本平助が兼帯した一六年間だけ、岩手村庄屋役は佐藤本家分家の手から離れていたことになる。明治初期には一代文吉が戸長を勤めている。

佐藤家一族で注目されるのは、幕府代官の元締役と手代になった者がそれぞれ一人いることである。前者は二代八兵衛次男理助で、高田土肥家に養子として入り、のち土肥致栄と号して甲州代官奥野忠兵衛の元締役を勤めた模様である。後者は六代半治郎（半治）で、代官江川太郎左衛門・竹垣庄蔵らの手代を勤めている。佐藤家文書の中には、この兩名が元締・手代在役中のものを持ち帰ったと思われる各地の幕領関

係文書や地方書が含まれている。また岩手村庄屋文書の中に、享保期の甲州幕領文書の紙背を利用したものが散見するが、これも土肥致栄が甲州在勤中の文書を持ち帰ったものではないかと推定される。

ほかに注目すべき人物として、四代八平（武求）の三男柳助がいる。彼は竹直村小田家を嗣いで定右衛門と改名するが、のち小田穀山と号し、江戸に出て著名な儒者となっている。その著書に「周易古伝考」「論語翼大成」「穀山先生詩文集」などがある。

佐藤家の屋号は高原^{たかむら}である。これは、佐藤家屋敷が岩手村の家並とは少し離れた城山麓^{じょうやま}の小高い場所にあることに由来すると思われる。こゝは戦国期岩手城の館跡であると言われている。すぐ前に「大門」と通称されている場所があるのも、このことと関係がありそうである。しかし、一六九六（元禄九）年の岩手村絵図（整理番号九〇二六）を見ると、この場所は田地となっており、佐藤家（庄屋八兵衛）屋敷は岩手村家並の一画に位置している。一方、後掲の「家財胸控帳」（寛政二年成立・佐藤友之氏蔵）の中に「八兵衛様御治世 当屋敷開発之祖也」という記述が見られる。従って、佐藤家は元禄以降八兵衛在世中の享保までの間に今の場所に移転し、それから「高原」と呼ばれるようになったものと考えられる。整理番号二五三二に「正徳二年正月 家作普請日記」があるので、あるいはこれが移転時のものかも知れない。

次に、佐藤家の居村持高は一六九四（元禄七）年に三〇石余。享保期には九〇石、宝暦期には一二〇石を越している。文化期から文政期にかけてややまとまった土地を手放したことがあり持高が減少しているが、近世後期には居村でほぼ一四〇〜一五〇石（村高の約六割）を所持している。このほか、他村の持高は、宝暦期に既に一二〇石を越しており、幕末・明治初期には居村持高とほぼ同じ一四〇〜一五〇石規模に達している。明治期から昭和初期にかけての所有地地価は一万円から一万三千円、ほぼ三〇町歩規模の地主で、一八八七（明治二〇）年の資料では売米俵数が六〇〇俵となっている。農地改革以前の一九四五（昭和二〇）年時点では、田が三〇町六反（うち小作地三〇町）、畑が三町二反（うち小作地二町九反）の合計三三町八反、ほかに宅地が三千坪、年雇が三人、小作人が四六人という状況である。

小作地は一八七〇（明治三）年の時点では岩手村のほか一〇ヶ村に所在するが、近世以来の残存土地証文の範囲はさらに広く、二〇数ヶ村に及んでいる。佐藤家はこれらの小作地を、「直支配」方式と「支配人」依託方式の二つの形態で経営したようである。それについては高沢裕一氏の研究（後掲参考文献参照）を見られたい。

文書の特徴と整理方針

文書の全体構造と項目編成

既に述べたように、佐藤家文書は大別して、(一)岩手組大肝煎文書、(二)岩手村庄屋・戸長文書、(三)佐藤家の「家」文書、という作成・伝来の契機の異なる三つの文書群から構成されているので、本目録の編成にあたっては、

原則として、この三つの文書群をできるだけ明瞭に区別・復元するよう留意した。

(一)岩手組大肝煎文書——一七四二(寛保二)年の榊原家高田入部当初から一七六八(明和五)年までの二七年間、佐藤家四代八平が大肝煎役(最初は年番)にあったことにより作成され伝来された、岩手組の組合村行政に関する文書群である。高田榊原藩の地方支配機構は、民政三役所と称される領奉行・郡奉行・代官役の下に高田触元役所があって触元大肝煎が詰めており、その下に組合村(大肝煎)——村(庄屋)がピラミッド型に編成されていた。大肝煎の職務は、触元役所を通じて下される藩の触・達を組内に伝達することのほか、年貢収納の元締め、人身移動の取り締り、各種訴願の藩への取り次ぎや内済機能等々、広い範囲に及んでいる。その一端を示すものとして、一七四三(寛保三)年三月に出された「覚」は、大肝煎の職務の内、代官の管掌すべき事項を次のように定めている(『訂正越後頸城郡誌稿』上巻八七二頁)。

覚

一 御納所方之事	一 家建之事
一 郷中困窮之事	一 潰家之事
一 新家建之事	一 入牢者有之節之事
一 村役人旅行之事	一 出火之事、附留守中代役之者相届候事
一 行倒者死者等之事	一 堤川除等破損之事
一 村々植附之事	一 村役人名替判替

一村々ニ而難見届人柄之者其村ヨリ追放仕候節之事

一死去之届

一御大名様方御通行并御休泊注進其度可申出候

一公儀御役中右同断之事

此外

一不斗出行衛不知

一養子縁付

一村方引越願

一剃髮願

右四ヶ条ハ宗門改之節、横析帳面ニ書記、老ヶ年分宛為見可申候事

寛保三年亥三月^敗

代官中

組々大肝煎

佐藤家文書に含まれる岩手組大肝煎文書は、二七年という比較的短期間ながら大肝煎の有した機能の全般にわたってよくまとまった形で伝存している。本目録では、これを『支配』『土地』『貢租・諸懸』『普請』『戸口』『村政』『争論・訴訟』という七つの大項目に分けて配列した。この内、『貢租・諸懸』と『村政』の二つについては『貢租・諸懸〔組合村〕』『村政〔組合村〕』という独立項目を設けたが、他の五つについては次に述べる岩手村庄屋・戸長文書と共通の大項目とした。ただしこの場合は中項目に「組合村」「岩手村」の二つを置き、大肝煎文書と庄屋・戸長文書を明瞭に区分しておいた。従って、「組合村」を掲げた大項目・中項目を総合すれば岩手組大肝煎文書の全体が容易に復元できる形になっているのである。ただこの中には、岩手組成立以前および解消後の組合村関係文書が若干含まれている。項目名に「岩手組」を掲げず、「組合村」としたのはそのためである。

(二)岩手村庄屋・戸長文書——一五九八(慶長三)年の岩手村検地帳から昭和期に至る岩手村の行政文書である。この内近世の庄屋文書は一

部を除きほぼ元禄期以降のものである。享和・文政初期の約二〇年間の文書が大半欠けているが、ちょうど一八二〇（文政四）年に高畑村湯本平助が兼帯庄屋として入っているのを、過去二〇年間分の村方文書が参考資料として持ち出された可能性も考えられる。

近代の分は戸長文書と一括して呼んできたが、正確に言えば岩手村に独自の戸長が置かれ佐藤家（一代文吉）がこれを勤めるのは一八七三（明治六）年までであって、それ以降は岩手村惣代としての文書ということになる。また一部、一八八九（明治二二）年の町村合併によって黒川村大字岩手となったのちの大字文書も含まれている。以上の近代岩手村文書については、近世岩手村文書との連続性が強いので敢えてこれと分けることをせず、それぞれ同じ大項目の中に配列した。ただし、貢租関係や村政関係など、必要に応じて中項目で近代分を分割したものがある。

庄屋・戸長文書の大項目は、大肝煎文書と同じく『貢租・諸懸〔岩手村〕』『村政〔岩手村〕』の二つを独立項目とし、『支配』『土地』『普請』『戸口』『争論・訴訟』の五つについては大肝煎（組合村）文書と共通とし、中項目「岩手村」を設けてこれと区分した。

〔三〕佐藤家の「家」文書——佐藤家の家政・経営に関わって作成・伝来された文書群である。この内、量的に大きな部分を占めるのは、土地経営・米金貸借に関わる諸帳簿や諸証文類である。これらは佐藤家の私的な地主経営活動にもとづいて作成されたものではあるが、同時に、年貢や村入用の庄屋立替勘定等を通じて村の公的な貢租・諸懸り帳簿と密接に関連する側面も持っている。実際、佐藤家の地主帳簿なのか岩手村の年貢帳簿なのかにわかに類別し難い史料も存在するごとく、土地・貢租関係では庄屋文書と「家」文書の公私の区別が困難な場合がまま存在する。従って、量的なバランスも考慮に入れ、本目録では佐藤家の「家」文書を、土地・貢租関係を中心にした『佐藤家〔地主経営〕』と、それ以外の全くの奥向きに関わる『佐藤家〔家政〕』の二つの大項目に分けることにした。

残存形態と整理手順

第一次収蔵分（28A）は古書店から購入したもので佐藤家での保存形態がいかなるものであったかは知り得べくもないが、第二次収蔵分（57A）についても発見時には既に何度か整理・詰め替えなどが行なわれた跡がみえ、もともとの保存形態はわからなくなっていた。ただ、一七九〇（寛政二）年に作成された「家財胸控帳」（佐藤友之氏現蔵）には、道具・書画等と共に文書類の保存状況が記されている。最後に「御水帳箱御用筆司ノ諸書物除之ニ」とあるように、岩手村庄屋文書の中心部分は含まれてい

ないのであるが、掲げられている文書の多くは残存しており本目録に含まれている。参考として次に紹介しよう。

(表紙)

「

家財胸控帳

佐藤主

(前略)

不入鼠風呂棚帳面

上棚

一 宗門帳

十七冊

西ノ方隅

外箱入帳瀬戸物棚ノ上ノ壇ニ置

一 御関所手形
御割付并改寺改宗願 共ニ 同右ノ上ニ重ヌ

一 組中村鑑帳
組中 十四冊 右ノ順ニ置

一 寺社人別御改帳
同断 一冊 村鑑帳ノ上重ヌ

一 寺社明細帳
同断 右ノ上ニ重ヌ

一 高付帳
同断 四冊 右ノ順ニ置

一 五人組帳
同断 三冊 同順ニ置

一 御用留
三十五冊 同順置

(朱書) 内

式冊 寛保年中

四冊 延享年中

三冊 寛延年中

十三冊 宝暦年中

二冊 明和年中

小以

外二冊

吉木村蠟御点所御用留帳
日記帳

(朱書) 是ハ叔父半治竹垣庄蔵様へ事ひ候せつ之御用留と相見ゆる

一 組中御皆済帳 十四冊 同断順並

一 同断万納元帳 十五冊 同断同

一 御巡見人馬割 一団 同断同

一 箱訴一件 同断同

一 御用触出帳 東ノ隅

一 小懸帳
楞嚴寺隠田一件 一団 東ノ極隅

一 御巡見割符帳 同並ヒ

一 組中 反別合毛
御検見願帳共 同並ヒ

中棚上(壇)二

一組中諸書上扣帳 東ノ隅

(朱書) 随分まと紙杯ニ用テ不苦

一同諸願書 右上ニ重ヌ

一先納金調帳 西ノ極隅下

一郡御奉行所へ御答書 同並ミ置

一信州御料村殺害一件書 同並ミ置

一御大名御所替 共ニ 袋入 同並ミ置

御伺覚書

中棚上(壇)三

一婚姻一切取組目録 都而折紙包共ニ一集置 袋ニ入置

久敷調方懦弱ニいたし置大ニ虫とし候目録も有之、
其上混雜いたし今更調直シ候も大造故、唯虫弘致置
事に候

一万書留家業帳 往古カ已来

一秋毛取揚帳 同断

極下棚四止

八兵衛様御治世 當屋敷開発之祖也 西ノ隅堆積置

一諸帳面 一年々私用書狀上リ 西ノ隅際カ
東ノ角迄

不入鼠箱入帳面

一歳々脩家帳 身代帳ノ事也 白箱入

是ハ不入鼠梯子ヲ登テ直見付置也、西壁付也

一組中諸納帳 赤箱入

但右ノ箱ノ上ニ重子置
痛タル鏝付ケテ有

是ハ組中小懸御年貢諸普請願出入取暖其外ハ平老在
役中手懸候事とも有増雜入、尤勝テ大切之書物ハ内
ノ帳面箱へ移納メ置也、右ノ中ニ郡中御入用御普所
之大概并関川通川除御入用所之絵図面壹枚、是ハ随
分大切ニ仕度事、後ニ入用可有、能々可有了簡事ニ
候

座敷帳面箱

一水元出入并ニ山林絵図面 二枚 始終 共ニ袋入

一米山出入替証文 右同袋ニ上覆 致シ入置

一政要書留 御公法録也

一公事方覚書

一 地方覚書	一	一 公事方一書留	二
一 評定所法式書	一	一 御代官中へ	一
一 諸事書留	一	一 御触書	一
一 詮義方覚書	一	一 地方一様記	一
一 一集二入	一	一 御代官所勤方帳	一
一 御関所改書	一	一 在々御普請定法書	一
一 今世俗書誤不宜分	一	一 行倒方一件	一
一 宿場一件御法書	一	一 出火一件	一
一 質地御掟法	一	一 寺院訴論裁断	一
一 一集二袋入	一	一 名主与頭勘定出入裁許書	一
一 信州 高井郡 困民箱訴一件	一	一 一集二袋入	一
一 御触書 八平老在役中	三	一 廻船方覚書	一
一 享保十五戌々明和四亥迄	一	一 検地一件	一
一 信州水内郡殺害人吟味口書	一	一 新検二付窺書	一
一 難船吟味書物一件	一	一 御裁許御証文	一
一 出雲崎附 村々山里蠟納帳	二	一 越後 陸奥村高付	一
一 河浦附 碓水御関所近所	一	一 一集致袋入	一
一 御仕置ノ覚書	一	一 頸城 三嶋郡高反別石盛亨	一
一 質地一件取捌書	二	一 別ニ頸城計之高付一添置	一
一 一集袋入	一	一 信州山中領御林壳木伺一件	一

一 信州酒造ニヨリ訴状ノ写	一	一下条堰仕請極	一
一 常陸ノ河内郡山林出入写	一	一大御所様薨御ニ付覚書	一
一 雑集留	一	一 飛驒騒動一件	一
一 一集一袋ニ入	一	一 高畑方飛地巨細	一
一 御請書写	二	一 皆雜り込袋入	一
一 御改方書付	一	一手負人御吟味書松叔父御役中一	一
一 御料所之御書付写	一	是ハ安永八亥年四月八日柏崎 ^ヲ 磯八と申もの米山寺	
一 下条堰普請積帳	一	ヘ市立いたし穢多共と爭論之上喧嘩ニ及ひ終數ヶ所	
一 岩堰出入濟口証文	一	手負候由、其せつ高田 ^ヲ 御檢使御下被遊庄屋与頭悉	
一 一集袋ニ入置	一	ク尽勞候由、右御吟味書是也	
一 荒川国役御普請絵図	一	外御水帳箱御用筆司ノ諸書物除之ニ	
一 中江懸高村限帳	一	(後略)	

右の史料に記録されているようなもとの保存形態は既に伝わっていないとは言え、袋や包みに一括されて保存されてきた文書については、比較的良く元の姿が残されている。とりわけ佐藤家文書に特徴的なこととして、貢租・諸懸関係の帳簿・書付類が一年分ごと一〇〜二〇数点ずつ一括りにされ、袋に入れて保存されていることがあげられる。これは後世になって整理されたものではなく、早くから毎年毎年そのような保存方法が採られてきたものと認められる。このような一括文書の整理に当たっては、ごく少数の明らかな誤入を訂正したほかは、原則として元の保存形態をそのまま残している。出納には大変不便であるが、原形保存上やむを得ないので利用に際してはその点を了承された。なお、このような一括文書の目録掲載方法は、原則としてはそれぞれ同じ箇所にとめて掲載したが、貢租・諸懸関係の年次別一括文書については、検索の便を考えて内容の分類を行い、年次毎に一括掲載することはしなかった(詳しくは「文書の配列と概要」の「貢租・諸

懸」の部分で後述する)。また、貢租・諸懸関係以外の一括文書であっても、互いに関連性の認められないものについて別々の項目に分散して掲載したことがある。

はかに整理手順の問題に関しては、バラバラになった冊子型史料を復元したものが若干あること、破損の甚しい文書について裏打ちなどの補修を行ったこと、残簡断片類を整理の都合上、仮に綴った場合があることなどを記しておきたい。

文書の表題の付け方については「凡例」に記しておいたが、一、二補足しておく。

文書の表題

冊子型史料の「控」「写」「下書」等の表示については、(原表題にその記載があるものは別として)明らかに下書あるいは写であり、かつそのことを表示しなければ検索上何らかの不便を来すと予想される場合に限り、表題の下に(下書)(写)と記した。冊子型史料の多数を占めるのは、領主方役所等への差上諸帳面の控であるが、これについては煩雑になるのでいちいち(控)と注記しなかった。

次に、書付型史料の表題については、これまでの当館の史料目録では、(……ニ付、願書)(……ニ付、達書)のように、文書内容を中心に置き仮表題であることを示す()を付ける方法を広く採用してきたのであるが、本目録ではこれをやめている。本目録で採ったのは、「差出人+文書様式名」をもって表題の柱となし、内容摘記は「」で別に記すという方式である。書付型史料には一般にもともと原表題がない場合が多いので(柱書・事書は直ちに原表題とは言えない。ただ近代に入り、柱書・事書部分が表題の形に変化する場合がある)、表題にいちいち()を付すことも省略した。本目録で書付型史料の表題に()が付いているのは、断定に至らず推定に留まった場合に限り、と理解していただきたい。従来の当館の目録でも、書状については早くからかかる表題表記法が採られており、第三十七集では信濃国松代真田家文書(大名)について全面的に採用されているが、本目録はこれを村方文書に広く適用したものである。ただこれはあくまで原則であり、表題の付け方が慣行的に固まっているもの(たとえば年貢割付状を受取者(村)の名を冠して「何々村年貢割付状」とすること)などについては、今回はあえて右の方式を適用しなかった。書付型史料の表題表記をこのように改変した目的は、何よりも見やすい目録を作ることにあるが、史料学的な観点から文書名称付与の問題を再検討する必要性を感じているためでもある。いずれにせよ本目録で採用した方法はひとつの試論であり、文書様式名も仮のものであることをお断わりしておきたい。

文書の配列と概要

『支配』 この大項目は、「領知」「組合村」「岩手村」の三つの中項目で構成されている。「領知」は、作成契機が組合村とも岩手村とも分別し難いもので、「分限帳」「郷村高帳」の二小項目から成っている。

「組合村」には、「触書・御用留」「夫人足・伝馬御用」「御林」「才覚金」の四小項目を置き、これらに関わる岩手組大肝煎文書を配列した。この内、最初の小項目に配列した御用留は大肝煎の職務の全体を知る上で重要である。ただこれには、単に「御用留」と題するものと、「御用書留・村方触出帳」と題するものとの二系統があることに留意されたい。大ざっぱに言って、前者が大肝煎から藩役人に宛てた上申文書の控を中心に、藩役人から来る下達文書の内、組内村々に伝達する必要のないものなどを書き留めたものであるのに対して、後者は藩の諸役人や触元役所から下される触・達の大部分と、それを組内村々へ触れ知らせたものの控であるようである。

中項目「岩手村」の構成も「組合村」と大差なく、「触書・布告・御用留」「夫人足・伝馬御用」「御用金」の三小項目から成っている。岩手村庄屋の御用留は最初「御用状留帳」という名称で佐藤八平が大肝煎を辞した翌一七六九（明和六）年からあり、一七九四（寛政六）年に「御用留（帳）」と改称して明治に至り、「御布告留」に連続している。この内、一八六七（慶応三）年から一八七一（明治四）年までの「御用留」の一部が『新潟県史』資料編13・近代一（一九八〇年刊）に翻刻されているので参照されたい。

『土地』

この項目は、「組合村」「岩手村」「明治期土地制度」の三つの中項目から構成されている。まず「組合村」であるが、ここには岩手組各村の土地関係帳簿の写が「検地帳・高反別帳」「小前高附帳」「起返地」の三つの小項目に分けて配列されている。そのほかにもうひとつ、「質地証文控」という小項目を設けている。これは、組内各村の百姓が質地契約を行う場合、本証文のほかに控証文を作成し、質取人（金主）が年季中の年貢・諸役を滞りなく相勤めるべき旨の請合文言を奥書証印して、本証文と共に大肝煎所に差し出したものである。大肝煎は契約を確認すると、本証文の方にその旨裏書を加え、本証文だけを質取人に返す。こうしたわけで大肝煎所には組

内各村の質地証文の控が残ることになるのである。

中項目「岩手村」は、「〔検地帳・名寄帳・高反別帳〕」「〔小前高附帳〕」「〔地割帳〕」「〔手作請作書上帳〕」「〔賃入・売買〕」の五小項目とした。この内、一五九八（慶長三）年の堀秀治検地帳（口絵写真参照）は原本で、佐藤家文書中、最も古い文書である。「〔小前高附帳〕」は貞享から明治に及んでおり、百姓持高の変化を知るに便利である。

小項目「〔地割帳〕」には地割制度に関する帳簿類をまとめた。越後は地割制度（一定年限ごとのくじ引による土地割替慣行）が広く分布している所として知られるが、岩手村の場合も例外でなく、一七一〇（宝永七）年以降、数次の地割帳が残っている。割替対象となるのは本田高二一九石余の内の一八二石九斗三合で、これは「前割十六軒名」とか「名割十六前」とか称されている。すなわち「十六前」という固定した割替基準があり、各人持分は一前＝一石四斗三升一合四夕の割で持高に応じて何前、何分と定められるのである。割替はこの持分を基準とし、いくつかに分けられた耕地ブロックごとに実施される。そのような耕地ブロックとしては「早稲田六拾歩割」「姫鶴田二百三拾歩割」「浦沖三百歩割」などの名が見えている。一般に、地割制度の行われている地域では、土地の賃入・売買の際にも多くこうした「前」「名」「軒前」などの単位が使われるので注意が必要である。

「明治期土地制度」は、地租改正関係史料の量が多いため、「岩手村」とは別に中項目を立てたものである。事業の推移にあわせて「〔地租改正〕」（明治四～一七年）、「〔地押調査〕」（一八～二三年）、「〔土地台帳〕」（二三年カ）、「〔地図更正〕」（二八～二九年）の四小項目を設け、ほかに「〔絵図・地図〕」を一括してまとめた。各小項目の中は細かい内容分類をせず年代順の配列となっている。

『貢租・諸懸（組合村）』

岩手組村々の年貢・諸懸に関して大肝煎所で作成された文書や組内村々から大肝煎所へ差し出された文書をまとめた。貢租・諸懸関係文書は、前述したように、その多くが一年分ずつ一束にまとめられて保存されている。各年次の一括文書の整理番号は第6表に示した通りで、一七四二（寛保二）年～一七六八（明和五）年のイタリック体数字が組合村関係の分である。これらを内容的に見ると「年貢・小物成」に関するもの、「郡中割」に関するもの、「組内割」に関するもの、の三つに大別できるので、中項目はこの三つに沿って立てた。

中項目「年貢・小物成」では、ほぼ納入手順に従って小項目を配列した。小項目名の大半は帳簿の表題をそのまま採用している。期間が短く帳簿の種類に大きな変化はないので、小項目をたどれば毎年の帳簿作成手続きがだいたい理解できる筈である。なお「刺米勘定帳」（刺米は欠米と同義）だけは小懸割方庄屋（後述）の手で作成され、納入手続きも郡中割・組内割と一括されるのであるが、刺米の性格上、「年貢・小物成」の項目に入れた。

「郡中割」は年貢・小物成以外に頸城郡神原全領で負担すべき諸懸りで、惣高割と役高割とに分かれる。惣高割となるのは、御城内松飾入用・触元会所諸入用・御領中御検見御休泊平均割など、役高割となるのは、御献上蔵代・佐州御伝馬賃のほか東中江御普請余荷金・荒川橋破損修繕御普請入用・関川御関所石垣御普請人足割等々の普請関係入費である。小項目「郡中割配賦目録」は、触元役所から大肝煎に対し岩手組の郡中割負担額を割り当てたもの、「高田小懸割帳」は、これをさらに岩手組各村へ割賦するために作成されたものである。郡中割（＝高田小懸）の岩手組各村への割賦は、次に述べる組内割と共に、組内から選任された小懸割方庄屋（四～七名）が大肝煎の監督下でこれを担当している。なお郡中割となるものの内、夫人足・伝馬関係と普請関係については、大項目『支配』『普請』を参照されたい。

「組内割」は岩手組の組内限りで負担すべき諸懸りで、小項目に表われているように、高田宿旅籠銭（大肝煎や庄屋が組の用で高田に出張した際の費用）・村方小入用（組内各村の村役人・百姓が立て替えた組の諸入費）・蔵方陣屋方入用・宗門改五人組改入用の四種類に分かれている。組内割はすべて小懸割方庄屋が担当している。

以上の郡中割・組内割の取立指引はひとつの帳簿で一括して行われているので、別に中項目「郡中組内小懸取立」を立ててここに配列した。

『貢租・諸懸（岩手村）』

この大項目には、岩手村の年貢・小物成・郡中割・組内割・村入用関係等、村民の負担に関する文書をまとめて収録した。村入用関係まで一括したのは、後述するように、村入用の勘定・取立に関する独自の帳簿が作成されず、すべて年貢・小物成・諸役の金納部分と同一帳簿で処理されているために、項目を分かつことができないからである。大項目名を『貢租・諸懸』とした理由もここにある。

再三述べているように、貢租・諸懸関係文書の主要なものは各年次ごとにひとまとめに保存されており、整理にあたってはこの形態を崩さ

第6表 貢租・諸懸関係文書〔岩手組・岩手村〕の年次別一括保存分一覧表

年号	西暦	整理番号	年号	西暦	整理番号	年号	西暦	整理番号
享保1	1716	461~462	明和2	1765	960~962, 964~970	天保2	1831	1279~1290
2	1717	463	3	1766	971~974, 975~983	3	1832	1291~1296
3	1718	464~465	4	1767	984~989	4	1833	1297~1301
4	1719	466	5	1768	990~994, 995~1001	5	1834	1302~1309
5	1720	470~474	6	1769	1002~1006	6	1835	1310~1316
6	1721	475~477	7	1770	1007~1017	7	1836	1317~1322
7	1722	478~482	8	1771	1018~1022	8	1837	1323~1342
8	1723	483~484	安永1	1772	1023~1025	9	1838	1343~1345
9	1724	485~489	2	1773	1026~1028	10	1839	1346~1349
10	1725	490~493	3	1774	1029~1031	11	1840	1350~1357
11	1726	494~496	4	1775	1032~1035	12	1841	1358~1371
12	1727	497~500	5	1776	1036~1040	13	1842	1372~1384
13	1728	501~503	6	1777	1041~1044	14	1843	1385~1394
14	1729	504~506	7	1778		弘化1	1844	1395~1399
15	1730	507~515	8	1779	1045~1050	2	1845	1400~1407
16	1731	516~527	9	1780		3	1846	1408~1422
17	1732	528~539	天明1	1781	1051~1072	4	1847	1423~1432
18	1733	540~549	2	1782	1074~1076	嘉永1	1848	1433~1443
19	1734	550~559	3	1783		2	1849	1444~1458
20	1735	560~567	4	1784	1077	3	1850	1459~1464
元文1	1736	568~573	5	1785		4	1851	1465~1470
2	1737	574~582	6	1786	1078~1081	5	1852	1471~1475
3	1738	583~587	7	1787	1082~1083	6	1853	1476~1481
4	1739	588~594	8	1788	1084~1086	安政1	1854	1482~1496
5	1740	595~603	寛政1	1789	1087~1090	2	1855	1497~1504
寛保1	1741	604~609	2	1790	1091~1094	3	1856	1505~1515
2	1742	610~613, 614~628	3	1791	1095~1100	4	1857	1516~1527
3	1743	629~634	4	1792	1101~1106	5	1858	1528~1539
延享1	1744	635, 636, 637~642	5	1793	1107~1116	6	1859	1540~1552
2	1745	643~647, 648~657	6	1794	1117~1127	万延1	1860	1553~1566
3	1746	658~660, 661~673	7	1795	1128~1133	文久1	1861	1567~1569
4	1747	674~678, 680~686	8	1796	1134~1142	2	1862	1570~1574
寛延1	1748	687~692, 693~710	9	1797	1143~1151	3	1863	1575~1577
2	1749	711~713	10	1798	1157~1161	元治1	1864	1578~1584
3	1750	714~715	11	1799	1162~1167	慶応1	1865	1585~1593
宝暦1	1751	716~717, 718~733	12	1800	1168~1174	2	1866	1594~1612
2	1752	734~738, 739~752	享和1	1801		3	1867	1613~1625
3	1753	753~755, 756~771			(史料大半欠)	明治1	1868	1626~1639
4	1754	772~775, 776~790	文政3	1820		2	1869	1640~1658
5	1755	792~796, 797~807	文政4	1821	1175~1183	3	1870	
6	1756	808~811, 812~822	5	1822	1184~1189	4	1871	1659~1671
7	1757	823~825, 826~847	6	1823	1190~1199	5	1872	1675~1685
8	1758	848~850, 851~863	7	1824	1200~1212	6	1873	1686~1694
9	1759	864~867, 868~878	8	1825	1213~1223	7	1874	1695~1704
10	1760	879~883, 884~897	9	1826	1224~1231	8	1875	1706~1709, 1710~1711
11	1761	898~900, 901~916	10	1827	1232~1240	9	1876	1712~1717, 1723~1727
12	1762	917~919, 920~928	11	1828	1241~1245, 1246~1250	10	1877	1728~1730
13	1763	929~932, 933~942	12	1829	1251~1261	11	1878	1731~1739
明和1	1764	943~951, 952~959	天保1	1830	1262~1278	12	1879	1748~1752

注1) No~Noが一括(一袋)であることを示す。

2) イタリック体で示したのは、組合村(岩手組)関係のものである(一部、岩手村のものが含まれている)。

ぬようにした。従って、閲覧利用の際は一年分を一括したまま出納することになるので、この点留意されたい。その場合、各年次一括文書の一連番号を第6表に掲げておいたので、利用されると便利である。

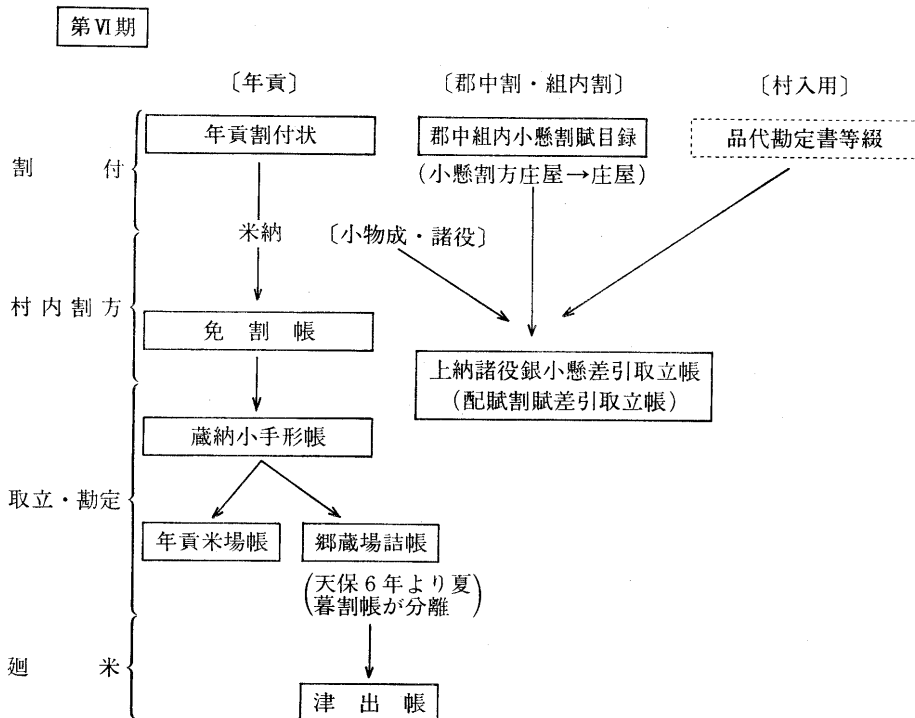
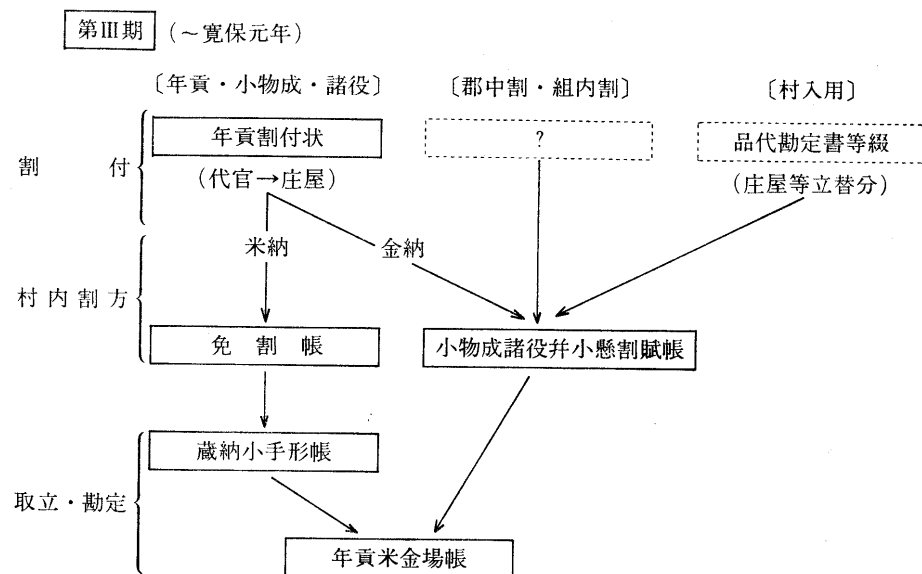
中項目は、「願書・請書」「損地・毛付」以下、ほぼ納入手順に従って立てた。重要な点について説明すると、次の通りである。

「書出」の内、「夫人足・伝馬御用」と「普請人足入用」は、それぞれ『支配』『普請』に入れたので、この中項目は、事実上〔村方諸入用・佐藤家貢租〕の一小項目から成っている。この小項目については若干の説明が必要である。先に述べた岩手村の年貢・諸懸関係の年次別一括文書の中には、帳簿類のほかに、数十通の書付類を綴ったものがほぼ毎分残されている（綴られずに袋に入っている年も若干ある）。その内容は、品代・賄賃等の勘定書・請取書類（通帳になっているものを含む）と、佐藤家の諸村持高分の年貢諸懸り算用目録を中心に、種々に及んでいる。これらの書付類は一面で佐藤家の「家」文書とも言えるのであるが（特に諸村持高分の年貢諸懸り算用目録はそうである）、村方の年貢帳簿類と一括されていることから判るように、多くは村入用や村年貢の庄屋立替機能に関わるものと推定され、これが年末に村方算用資料としてひとまとめにされたと理解できるので、〔村方諸入用・佐藤家貢租〕と題して、中項目「書出」の中に置くことにしたものである。ほかに、綴りになっていない書付や冊子で、村方諸入用・佐藤家貢租に関するもの若干をこの項目に収めた。なお、右の綴文書については一通一通の詳細な目録を掲載することはその数量からみても無理なので、一綴ごとに「延享元年諸村持高年貢諸懸り算用目録并品代勘定書等綴」のごとき表題を付すに留めた。ただ参考例として、一七四一（寛保元）年と一八六九（明治二）年の二年分については一通ごとの詳細目録を付けておいたので見られたい。

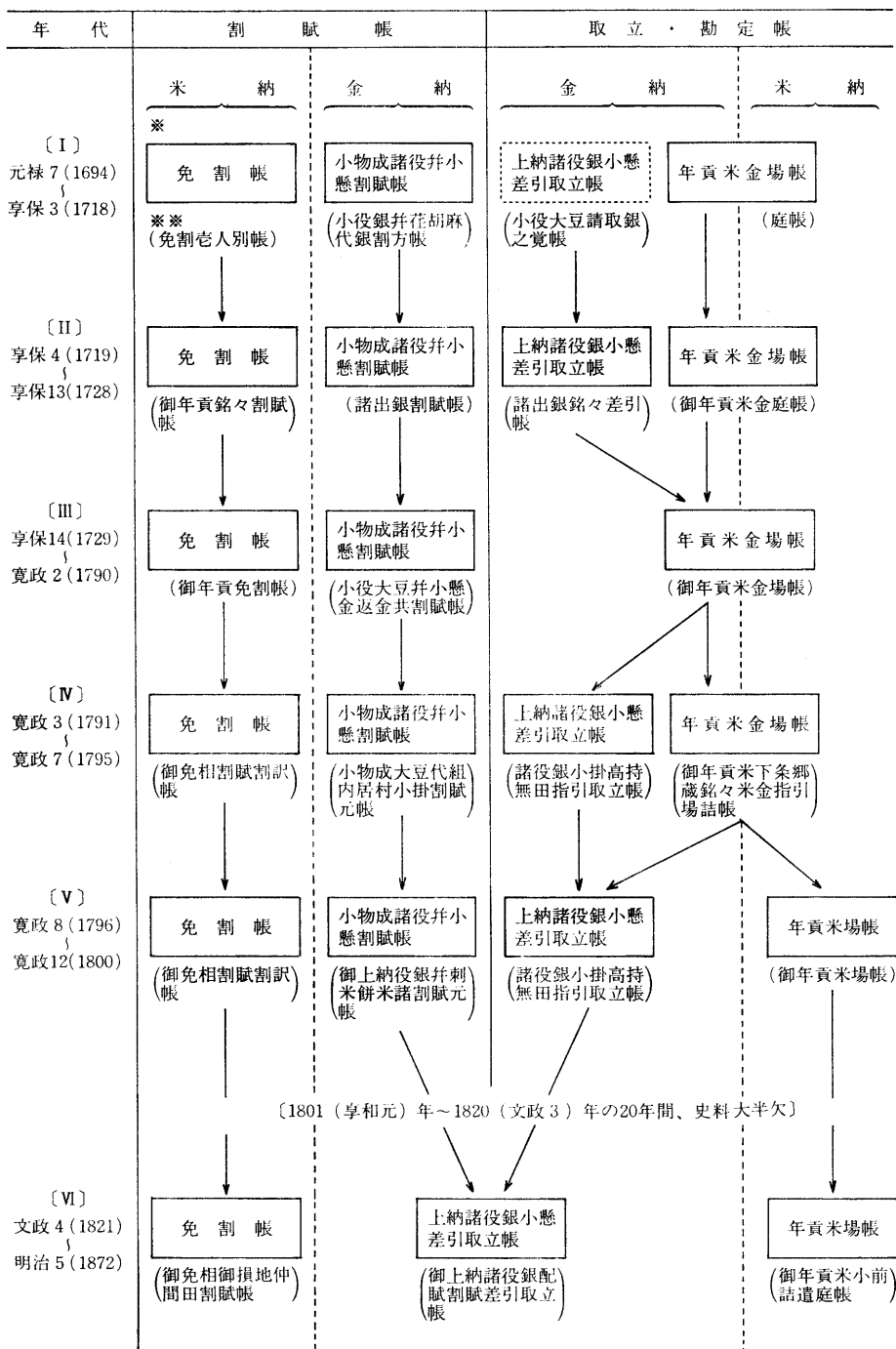
中項目「割付・皆済」には、「年貢割付状」（天和元年）・「年貢皆済目録」（明暦四年）のほかに、〔郡中・組内小懸割賦目録〕〔郡中・組内小懸請取目録〕および「年貢米小物成諸色入用目録」を収めた。割付状と皆済目録は一緒に保管されており、また対で利用することが多いと思われるので、同一中項目にまとめた。

中項目「村内割賦」「取立・納入」に配列した諸帳簿は、一六九四（元禄七）年から一八七九（明治一二）年に及んでいる。その間、帳簿体系はしばしば変更されているが、その大筋をとらえるために第1図・第2図を作成した。この両図で□内に記した文書名は、目録配列と

第1図 岩手村年貢・諸懸主要文書作成の手順



第2図 岩手村年貢・諸懸主要帳簿の変遷



注) ※ 元禄7～享保3までは、免割帳の中に年貢米金場帳にあたる部分が含まれている年が多いので注意。

※※ () 内は、それぞれの期間での代表的な原表題をひとつ記したもの。

の対照を容易にするために小項目名をそのまま使用した。原文書の表題は年によりさまざまであり、第2図にはそれぞれの時期の代表的な原表題を（ ）で付記しておいた。またこの両図はあくまで史料利用の便宜のために大筋をモデル的に示したものであって、実際の文書体系ははるかに複雑かつ変動の激しいものであると理解していただきたい。

まず第1図は、第2図にいう第Ⅲ期の内の榊原領以前の時期（享保一四～寛保元）と第Ⅵ期（文政四～明治五）における主要な年貢・諸懸関係文書の作成の流れを示したものである。両期に共通しているように、年貢割付状で割り当てられる米納年貢については免割帳で村内百姓への割賦が決められるが、小物成・諸役等の金納部分については、郡中割・組内割ならびに村方諸入用と共に一括され、別の帳簿が作られるのが特徴である。この両者は第Ⅲ期では最終的な決済勘定の段階で再び年貢米金場帳にまとめられるが、第Ⅵ期では、場帳は米納年貢のみの決算帳簿となり、小物成・諸役・小懸に関しては上納諸役銀小懸差引取立帳（配賦割賦差引取立帳）が村内割賦から取立勘定までを一冊でカバーする形に変化している。また第Ⅵ期には、郷藏場詰帳・郷藏入費夏暮割帳・津出帳という蔵方諸帳簿が新たにあらわれている。

第2図は、村内割賦と取立・勘定に関する主要帳簿の時期的変化を示したものである。第Ⅰ期は残存点数が少なく、一帳が他帳を兼ねる年も多いなど、帳簿体系は不安定で不明確な部分が大きい。第Ⅱ期以降はほぼまとまって残存しているが、変化が激しいのは取立・勘定関係の帳簿である。時に、寛政期に相次いで変更される点が注目される。一八〇一（享和元）年から一八二〇（文政三）年までの文書は、前述したように高畑村湯本平助が兼帯庄屋として入ったことと関係があるのであろうか、ほぼ完全に欠落している。

中項目「取立・納入」の中でもうひとつ説明しておかねばならないのは、「蔵納小手形帳・小手形・廻し米手形」の小項目である。この地域では年貢米は各組に一〇数ヶ所設けられた郷藏に集められるのであるが、各村百姓が郷藏に年貢米を納入した場合に立会庄屋（蔵組村々から一ないし二名が勤める）が発行する仮請取書が小手形である。また蔵納小手形帳は岩手村分の納入記録である。これに対し「廻し米手形」と名付けたものは、村と村とにわたって年貢米や小作米の請払を行う場合に、郷藏場詰の際の差引勘定で決済することを約束した手形で、「廻札」「廻米札」「廻手形」などと呼ばれている。高田や江戸への年貢廻米とは意味が違うので、これと区別するために「廻し米手形」という名称を付した。その機能を正確に理解するためには、この地域の年貢米・小作米納入の複雑な仕組み（この地域では高所持が村を越え

て錯綜しているためか小作米は直接地主に納入されず、年貢米と共に郷藏に納められた上で各村地主取分の算用が行われているを説明する必要があるが、今後の研究に俟ちたい。

中項目「廻米」のうち「今町会所」は、佐藤家が米山寺郷藏組の今町詰役として廻米業務に携った時の関係史料である。柿崎から今町までの小廻りと、灘廻りに関するものが中心である。

中項目「地租・地方税・村費」は、「大区小区制期」（明治五年八月）・「三新法制期」（明治一二年四月）・「市町村制期」（明治二二年四月）の三期に分割している。この中項目に入れたのは、地租関係では一八七七（明治一〇）年以降の文書（新潟県西半部では同年七月に改租が終了している）、地方税・村費関係では一八七二（明治五）年以降の文書である。それ以前の文書については、近世の年貢・諸懸関係文書からの連続性が強く認められるのでここには収めず、それぞれ前項までの各該当箇所に配列した。

『普 請』

普請関係史料の大半は人足・入用に関わるものである。これは本来、郡中割・組内割・村入用の重要部分を占めるものとして『貢租・諸懸』に含めるべきであるが、普請願書等も多数あるので、別に大項目を設けることにした。

中項目「組合村」は、普請課役の規模により、「国役普請」「郡中割・郷割普請」「岩手組諸村普請所」の三小項目に分けた。この内、柳原領中の郡中割普請所は一七四三（寛保三）年に下条堰・岩堰・岩崎堤・富川大堰・子安大堰・松野木堰・同所江浚・金屋大堰の八ヶ所（ほか東中江通が御料私領割合である）と定められている（「寛保三年御用留」・整理番号六三）。その内、下条堰と岩堰は岩手組・西嶋組の立会普請所であるので、小々項目を立てて関係文書をひとつにまとめておいた。

中項目「岩手村」は、「川除普請」「用水堰普請」「橋普請」の三つを区分し、さらに「普請人足用具留帳」「明治期普請修繕入費」の二小項目を加えた。川除・用水堰・橋ともに高畑村や芋嶋村との立会普請所関係が大半を占める（第4表参照）。特に岩手・高畑両村立会の往還御入用橋は重要であったようで数多くの関係文書が残存している。「普請人足用具留帳」は、毎年の岩手村百姓の普請人足入用勤高を決定する基礎帳簿で、一八九四（明治二七）年まで同じ様式のものが続いている。この帳簿はその性質上、年次別に一括されている年貢・諸懸関係文書の中に含まれている場合が多い。「明治期普請修繕入費」には、右の普請人足用具留帳を除く一八七一（明治四）年以降の文書を収めた。

『戸 口』

中項目「組合村」には、岩手組各村の宗門改帳・人別増減書上帳等の控と人別異動に関わる願書・届書類を収録した。この願書・届書類はいずれも定型的なもので、代官・郡奉行等に提出された文書の大肝煎所控である。内容により、「新家・禿家・棟役増減」「他国出・出奔・帰村」「改寺改宗」「引越」「他領縁組」「諸職・渡世」「剃髪」の七小項目に分類したが、これらの管掌事項は一七四三（寛保三）年三月に代官中から下達された「覚」（二八五頁参照）によって定められたものである。

中項目「岩手村」の内容もほぼ右と同じく、宗門改帳・五人組書上帳等の戸口関係帳簿と、人別異動に関する願書・届書類の庄屋所控である。宗門改帳と五人組書上帳には、貼札によってその後の異同を示し、これを次回の下帳にあてている場合がまま見うけられる。たとえば「寛政十二年申五人組書上帳」（整理番号二八六）は、その後一年間の変動箇所貼札をした上、表紙の年代の上にも「享和元年酉」と貼札している。つまりこれを下帳として、次年度の藩への上げ帳と村控帳の二冊が清書されるわけである。従って右の帳は、正確に言えば、「寛政十二年申五人組書上帳控、帳」が「享和元年酉五人組書上帳下帳」に転用されたものであるという複合的な性格を持っていることになるが、本目録ではこのような場合、原則として最初の作成年代を採り、「享和元年貼札有」のごとき注記を加えることにした。なお、「岩手村小前高附帳」（『土地』所収）と「年貢米諸色入用目録」（『貢租・諸懸（岩手村）』所収）の一部に同様の例が見られる。

『村政（組合村）』

『村政』に配列した文書点数はそれほど多くないのであるが、他の大項目と比べて内容が多岐にわたっていることから、組合村関係と岩手村関係とを別の大項目に分割することにした。

本項目は、組合村行政一般に関わる諸史料を収めたもので、「村況」「村役人」「諸伺・届書」「災害・救恤」「治安・吟味」「諸稼」「寺社」の七つの中項目から成っている。他の大項目に含まれず、かと言って独立した大項目を立てるほどの量がないものを仮にひとまとめに括ったのが本項目であると考えていただいてよいが、大肝煎の機能の多様性が一番良く表われているのがこの大項目であるとも言えよう。各中項目の内容は小項目名にほぼ尽くされているのでいちいち述べない。

『村政（岩手村）』

右と同じく、岩手村村政一般に関わる諸史料を集めた。中項目のたて方もほぼ右の場合と同じである。一、二点説明すると、「寺社」のうち「明治期寺社明細帳・上知払下関係書類」という小項目に入れたのは、明治期寺社関係として

一括保存されてあった内容分類困難な三つの包みである。主たる内容は小項目名に掲げたごときものであるが、細かく分類するとかえって利用上不便になると考え、年次順に配列するに留めた。このやり方は、『土地』の内「明治期土地制度」の配列方法にならったものである。

明治期以降の村政関係文書は関連各大項目および『村政〔岩手村〕』各中項目に分類配列したわけであるが、それ以外のものについてまとめたのが中項目「近代村政」である。

『争論・訴訟』

争論関係文書は、内容によってそれぞれの関係大項目に分類配列するのも一つの方法であるが、争論の裁決・内済や訴訟の取次ぎが大肝煎・庄屋の重要な機能のひとつであること、また文書点数もまとまっていることから、ひとつの大項目を設けることにしたものである（一部、必ずしも争論とは言えない一件文書を含んでいる）。

中項目「組合村」には、佐藤家が大肝煎として関わった岩手組諸村の争論関係文書だけでなく、それ以外の時期における諸村の争論文書も含まれる。これは佐藤家が扱人として関係したり、あるいは何らかの参考として写しおいたものである。小項目は争論の内容に従い、「用水争論」〔土地・貸借争論〕〔村役人・村方勘定争論〕〔その他〕の四つとした。

中項目「岩手村」には岩手村と他村との村間出入を中心に、一部、村内百姓間の争論関係文書も収められている。但し、佐藤家が当事者となっている争論については、『佐藤家「地主経営」』『諸村支配地』の方に入れた。小項目はだいたい「組合村」と同じであるが、「山林争論」が加わっている。なお、「組合村」「岩手村」ともに、用水堤堰等に関わる土地争論は、「用水争論」の項に含めたので、注意されたい。

『佐藤家「地主経営」』

佐藤家の「家」文書のうち土地・金融関係の経営史料を収録した本項目は、その量において一の大項目中最大のものとなっている。まず、中項目「家産」には佐藤家所持地の全体規模を知ることのできる史料が含まれる。

中項目「土地金融証文」は、「土地証文」「米金借用証文」「金子請取証文」「頼母子証文」の四種に大別し、ほかに「佐藤家差出証文」と「他家宛証文・その他」を別立てとした。このうち、小項目「土地証文」は質地証文・水入証文（小作証文）・上借証文それに水入証文に付属する小作田地名所反別帳などである。細かい内容分類をせずに「土地証文」と幅広く採ったのは、同一地所に関わる二、三種の証文が一件証文として一括されている事例が多いからである。本目録ではこのような場合、各文書を行問をあげずに並記することによって関連性を示

すことにした。また一括されていないが明らかに関連証文と認められるものについても同じ方法をとった。なお「土地証文」は量が多いので小々項目として各村名を立て、当該地所がどの村に所属するかによって分類・配列した。差出人の村を基準としないのは、一件証文の場合、各証文の差出人が同じ村に所属しているとは限らないからである。但し、「米金借用証文」も村ごとに小々項目を立てているが、こちらは差出人の村によって分けている。混同しないよう注意されたい。

中項目「地主帳簿」は、一四種類の帳簿を小項目に置き、ほかに「産米・売米」の一項を設けている。帳簿のうち最も長く持続しているのは「万書留帳」で、一七一九（享保四）年から一九一七（大正六）年に及び、さらに「諸支払明細簿」と名称を変えて一九四八（昭和二三）年まで続いている。内容は貢租支払から職人賃銀・奉公人給金、手作地の収納米記録などであり、記載項目・記載様式ともにほとんど変化しない。地主帳簿というよりもむしろ佐藤家の家計に関する元締帳簿とみられる。その他の諸帳簿の相互関連については十分に検討していないのであるが、主なものにつき大略を示すと第3図のようである。なお、明治期以降は「田畑山林入付米取立帳」一本となるので省略した。また、岩手村年貢帳簿（特に年貢米金場帳）とも密接な関連があるのであるが、これについても表示していない。

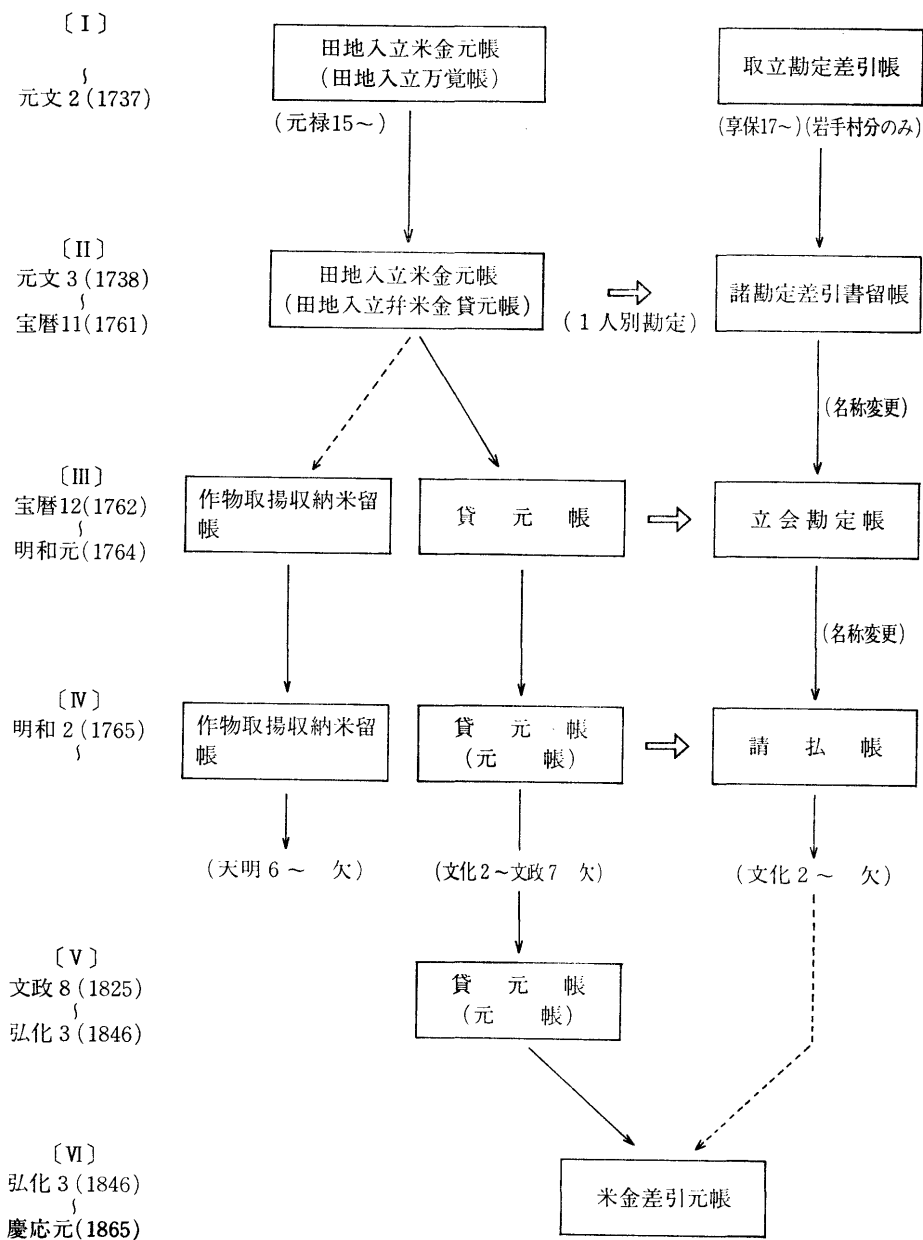
見られるように、一七六二（宝暦一二）年に帳簿組織の変更が行われている。これについては「宝暦一二年壬午・立会勘定牒」（整理番号二一九四）と「宝暦一二年午春改・已暮貸元牒」（同二〇九五）に記載があるので参照されたい。なおこれに先立ち、一七六一（宝暦一年）には佐藤家の所持地全体にわたって証文改が行われ、「田畑入立名所書留牒」なる冊子にまとめられた事実がある（整理番号九〇三四・九〇五三）。五代平六（惣左衛門）の時代に当たりますが、この時期、何らかの家政改革のようなことが試みられたのではないだろうか。

次に、中項目「諸村支配地」として「小作地経営」〔争論・一件〕の二小項目を置いた。「小作地経営」は小項目名としてはやや大仰であるが、「地主帳簿」に含めなかった一村（ないし一支配人）単位の小作帳簿や悪作引方帳、小作人からの諸願書等々、要するに他の項目に配列することが困難な小作地関係史料を村ごとにまとめたものである。

『佐藤家「家政」』

中項目「家政」には、「家系」〔相縁・縁組〕〔葬儀・法事〕の三小項目を中心に、家政に関して作成されたさまざまな文書が配列されている。「家系」は、系図・遺言書などである。「相縁・縁組」関係文書の多くは一件文書として残され

第3図 佐藤家主要地主帳簿の変遷



ている。この中には分家（屋号新屋）関係の諸証文なども多数含まれているので注意されたい。

中項目「家計・事業」では、まず「家計帳簿」として、「地主帳簿」に入れた万書留帳・諸支払明細簿以外の少数の金銭出納帳類をまとめた。「通帳」「代金勘定書・請取書」は、近世のものである場合、佐藤家の私的な家計に属するのか、又は村入用の庄屋立替分として村方勘定に回されたものであるのか、正確に判別することは困難である。年次ごとに綴られて岩手村の年貢帳簿と一括されている場合には、前述したごとく後者と判断して『貢租・諸懸（岩手村）』の「書出」に配列したのであるが、一冊・一通ずつバラバラになったものについては止むを得ずこの項目に一括した。

中項目「代官手代文書」は、「佐藤家について」のところで説明したように、二代八兵衛次男理助（のち土肥致栄）と六代半治が幕府代官の元締・手代を勤めたことにより伝来したと考えられるものである。内容は「幕府法制・地方書」と「諸国幕領史料」の二つに大別され、幕領支配文書として興味深いものを含んでいる。佐藤家の家政と直接の関連はないが、伝来の契機から言ってここに配列するのが適当であると考えた。

最後は「記録・学芸」である。「風聞・諸記録」以下、「蔵書目録」「文芸」「書札・手本」「医事・薬事」の五小項目とした。この内「風聞・諸記録」の中には前項「代官手代文書」に入れるべき文書が含まれている可能性があることを述べておく。

〔主な参考文献〕

- 『柿崎町史』（柿崎町史編纂会・一九三七年刊、一九七三年名著出版より復刊）
- 『中頸城郡誌』全四卷（新潟県中頸城郡教育会・一九四〇～四一年刊）
- 『訂正越後頸城郡誌稿』上・下巻（越後頸城郡誌稿刊行会編・一九六九年刊・豊島書房）
- 『新潟県史』資料編 6・13・14（新潟県・一九八〇～八三年刊）
- 『新潟県地主資料第拾集・新潟県大地主名簿』（財団法人農政調査会・一九六八年刊）

『高田藩制史研究』資料編研究編全六卷（中村辛一編・一九六七～七二年刊・風間書房）

『新潟県の歴史』（井上鋭夫著・一九七〇年刊・山川出版社）

『近世越後・佐渡史の研究』（小村式編・一九七六年刊・名著出版）

『雪と城と騒乱』（室岡博著・一九七五年刊・米峯出版）

高沢裕一「米作単作地帯の農業構造——新潟県を中心として——」（堀江英一編『幕末・維新の農業構造』所収・一九六三年）

同「地主制形成期の小作地経営について」（読史会創立五十年記念『国史論集』所収・一九五九年）

同「出稼ぎ労働と小作経営——越後頸城地方を例として——」（『史林』四五巻二号・一九六二年）

本間恂一「地租改正と地主豪農層の動向——新潟県自由民権運動との関連——」（『新潟史学』三号・一九七〇年、『近世越後・佐渡史の研究』

再録）

同「新潟県における地租改正関係史料（第一集）」（一九六三年刊）

井上鋭夫「近世割元に関する覚書——上越伴家文書について——」（『新潟大学法経論集』三巻一号・二号、一九五三・一九五四年）

松永靖夫「近世における地割制度——越後頸城郡広島村の場合——」（『地方史研究』九五号・一九六八年）

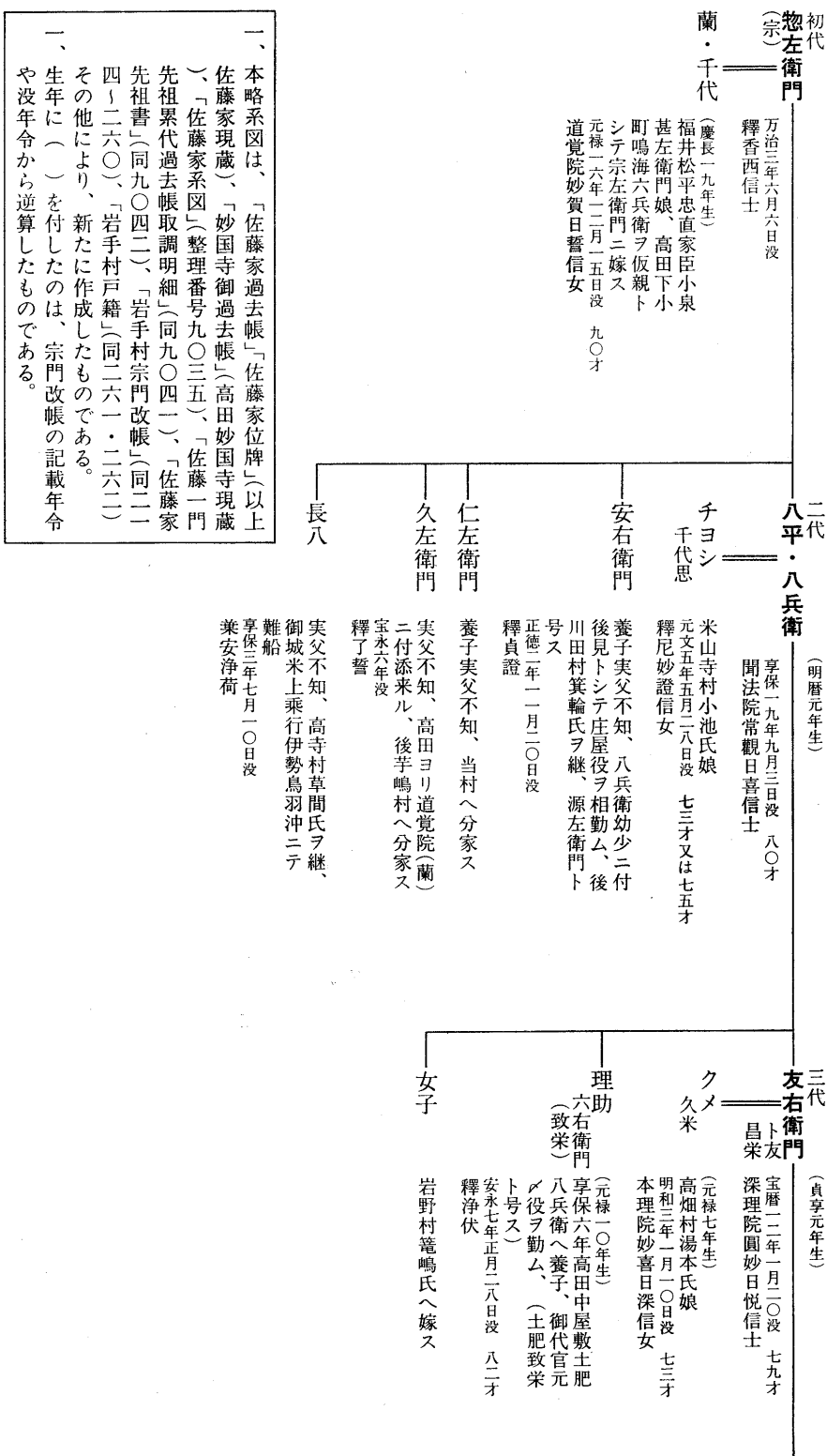
村上直「越後における幕府直轄領の分布について」（上越郷土研究会編『越後地方史の研究』所収・一九七五年刊、一九八一年再刊・国書

刊行会）

〔付記〕

本文書の整理および目録・解題作成は安藤正人が担当し、広瀬睦がこれに協力した。また、佐藤八平・佐藤友之・太田健一の各氏をはじめ、新潟県史編纂室主査本間恂一氏・新潟県文化財保護指導委員室岡博氏・上越市妙国寺住職中嶋教高氏らに御世話になった。末筆ながら深甚の謝意を表する次第である。

附図一・佐藤家略系図



四代

武求

(宝永七年生)

高田田端町浦野家ヨリ養子入、
実父浦野次郎三郎、実兄浦野
織右衛門

天明八年二月五日没 七九才
理性院圓乘日香信士

サキ

左喜

(宝永六年生)

三代友右衛門娘

明和九年一〇月一二月、四日没 六四才
照潤院妙栄日達信女

五代

平六・惣左衛門

(享保一六年生)

敬忠 江戸馬喰町郡代屋敷
弟半治宅ニテ死去

明和六年九月四日没 三九才
聰達院明道日邊信士

ちゅうじ

(元文四年生)

高畑村湯本多郎左衛門娘

天明三年八月五日没 四五才
榮善院妙達日性信女

男子

享保一二年九月五日没 二才
女秀童子

かね

元文三年八月三日没 四才
妙兼童女

つぎ

元文三年二月一六日没 二才
妙感童女

柳助
穀山

(元文五年生)
安永五年竹直村小田嘉左衛門
へ響養子、定右衛門ト改名、
江戸へ罷越儒行、穀山ト号ス
文化元年六月六日没 六五才
教譽受誓穀山居士

六代
半治郎・半治

(寛保二年生)
代官江川太郎左衛門外ノ
手代ヲ勤ム

明和九年九月八日没 三二才
法性院常観信士

千代

高田中屋敷土肥家へ嫁ス
上小野村三上喜惣右衛門娘
安永五年二月没

かん

速成院妙受

分家(新屋)
松五郎

(延享元年生)

しほ
(後妻)

明和五年分家
天明六年一〇月一九日没 四三才
園林院浄嚴
上小野村三上喜惣右衛門娘
天明七年一〇月二日没 三九才
寶珠院妙林

せの

高畑村湯本太郎左衛門へ嫁ス

久米

(宝曆七年生)
宝曆一二年没 五才
妙量童女
(宝曆九年生)

七代
喜太郎

昌栄 文化一三年正月一九日没 五八才
真如院法順日栄信士

べん
弁

(宝曆一〇年生)
竹直村小田定右衛門娘
安永六年一二月嫁入
文政七年二月一六日没 六五才
隨信院妙義日相信女

和吉

(宝曆一一年生)
安永九年一二月米山寺村長
兵衛方へ響養子

くめ

(宝曆一三年生)
安永六年一二月高田田端町
浦野織之進へ嫁ス

五三郎

(明和四年生)
寛政五年六月荊羽郡横山村
内山三左衛門方へ養子、内
山和助ト云、眼科修業、景
山ト号ス

六四郎

明和五年一二月生
寛政一〇年九月田中仙左衛
門方へ養子、仙左衛門ト云
文化五年三月二七日没

きし

安永二年二月生
半治娘、岩野村八郎兵衛方
へ嫁ス、後高田中屋敷町土
肥家ニ再嫁ス

友太郎・松五郎

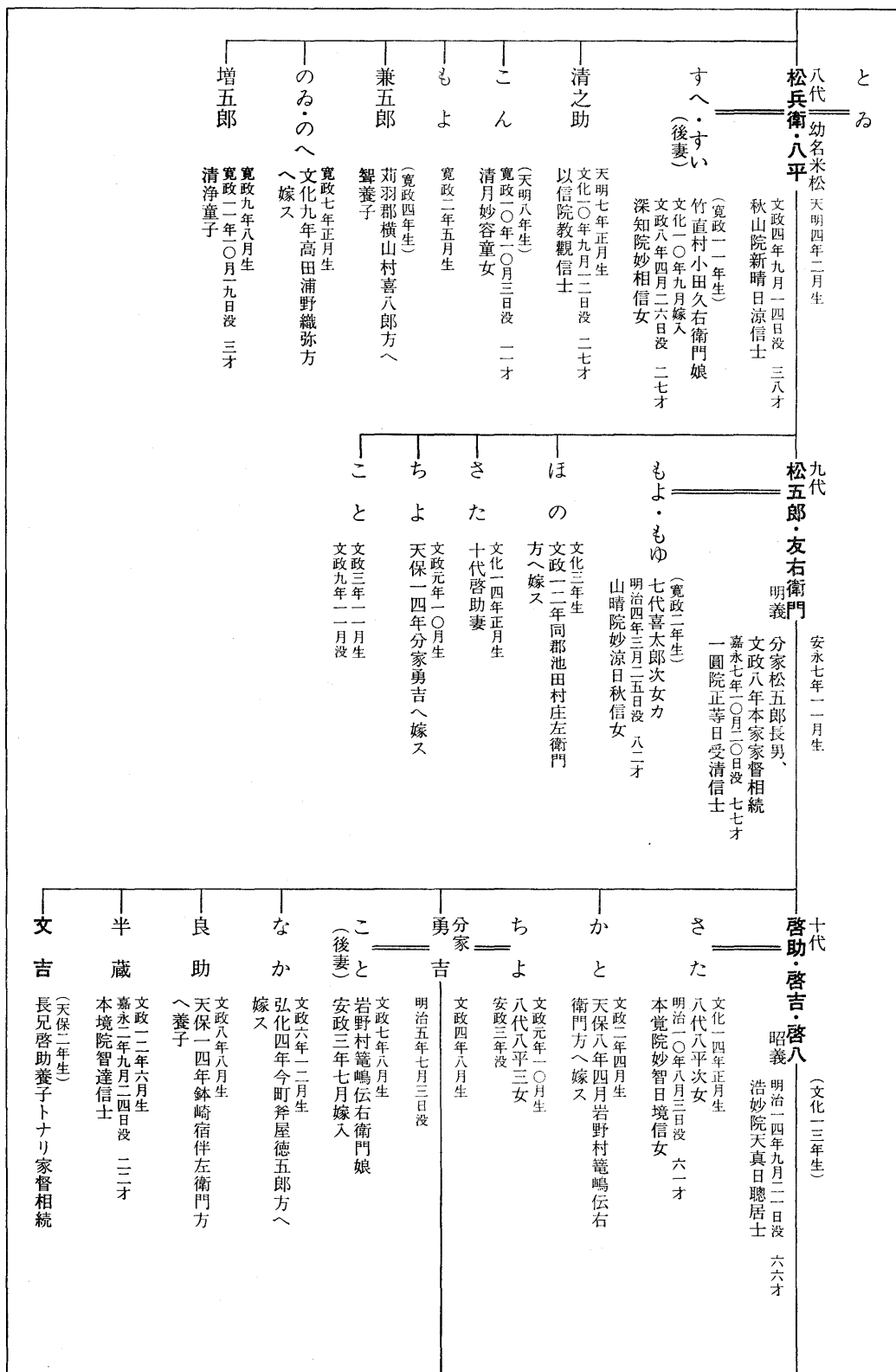
安永七年一二月生
文政八年本家督相統

八十吉・安吉

天明三年二月生
寛政一〇年一月上小
野村文平方へ養子入

りな

(天明五年生)
野村文平方へ養子入



はつ・はつの
(嘉永六年生)
上小野村三上喜三養女
明治三年八月嫁入
明治九年一月四日没 三三才
繫珠院妙覺日光信女

十一代
(天保二年生)

文吉

十代啓助末弟、啓助養子ト
ナリ家督相統
明治九年二月五日没 六六才
圓應院春嶽日了信士

ミチ・トク
(後妻)
(嘉永六年生)
柏崎町西巻源右衛門妹
明治二〇年四月嫁入
大正六年七月二八日没 六五才
圓融院妙諦日觀信女

てふ
弘化二年四月生
嘉永元年正月一六日没
妙勇童女

泰蔵・泰助
嘉永九年正月生
明治二二年一月没

與吉
直江津新町谷澤徳五郎二男
明治二二年八月養子入籍
安政四年六月生
文久二年生

ゆき
安政四年六月生

ため
文久二年生

十二代
明治一四年二月生

耕策

分家佐藤與吉長男、
明治二五年養子入籍
昭和二五年五月八日没
事觀院清徳日耕信士
明治一五年一〇月生
柏崎町西巻順九郎娘、
明治二三年四月佐藤文吉養女、
明治三六年七月佐藤耕策妻
昭和一九年二月九日没
浄心院純徳妙成信女

ナル

耕策
俊策
キク

十三代
明治三七年四月生

信・八平

美代
明治四〇年五月生
中根勵爾次女
昭和四年四月嫁入
明治三九年九月生
明治四一年七月生
明治四四年一月生
大正三年生
昭和一八年没
妙香院日慧法尼

ミキ

サク

恒二

カズ

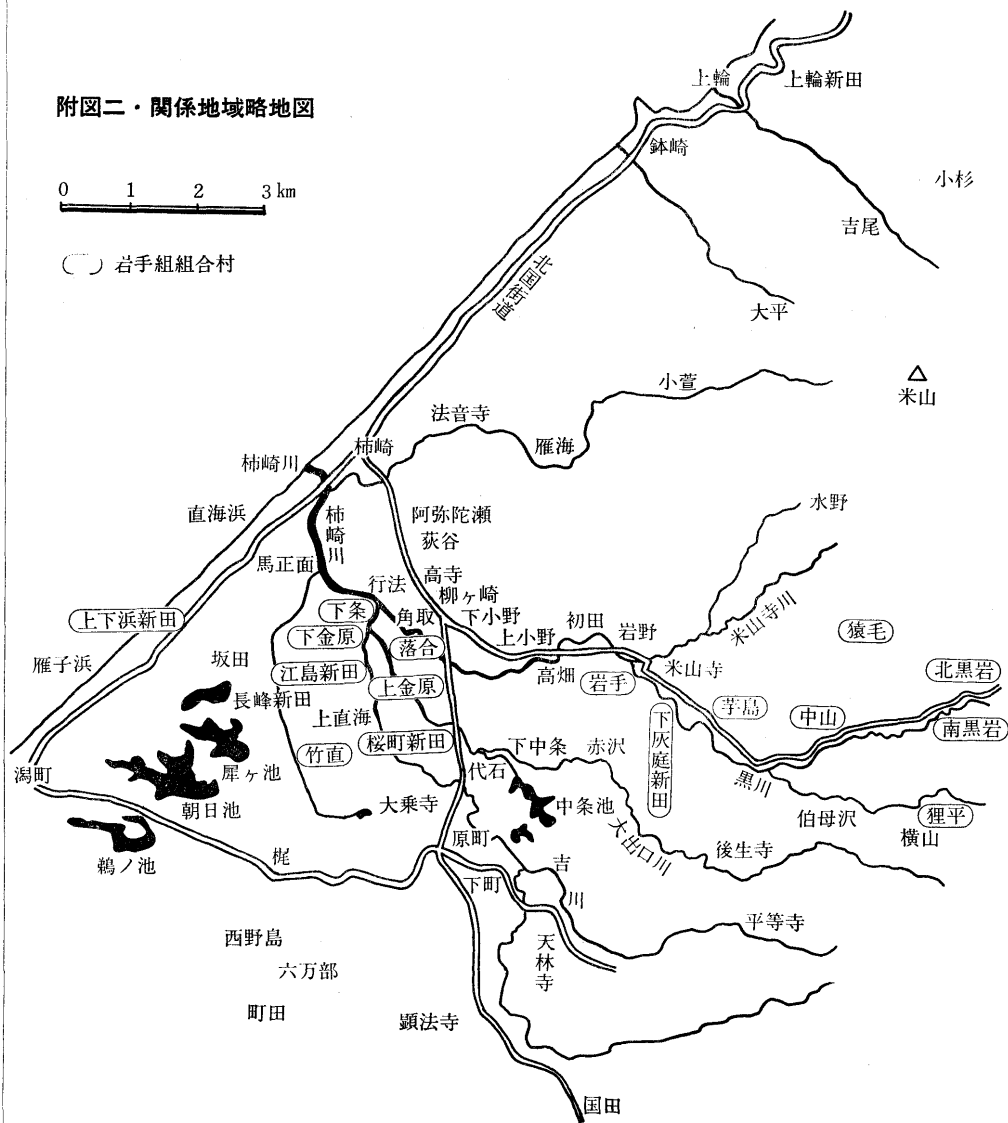
十四代
昭和五年六月生

友之

経子
昭和九年九月生
松本播州次女
昭和三五年一〇月嫁入
正之
昭和七年一月生
蘭子
昭和一年五月生
靖之
昭和十五年生
同年没

高之
昭和三八年二月生
昭和三九年四月生

附図二・関係地域略地図



史料館所蔵史料目録 第三十八集

越後国頸城郡岩手村佐藤家文書目録（その一）

昭和五十八年一〇月三十一日 印刷発行

東京都品川区豊町一丁目十六番十号

国文学研究資料館内

編集者 国立史料館
発行者

東京都中野区中央四丁目八番九号

印刷所 株式会社 三協社